

福山市子どもの生活に関する実態調査

報告書

2024年(令和6年)3月

福山市

目次

I 調査実施の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象者	1
3 調査方法	1
4 調査時期	1
5 有効回収数	1
6 報告書の見方	2
7 回答者の基本属性等	2
II 調査結果の概要	9
1 保護者の生活状況	9
2 子どもの生活状況	10
3 新型コロナウイルス感染症の影響	10
4 支援の利用状況や効果等	11
5 広島県や福山市の子ども政策への希望	11
6 総括(求められる支援など)	11
III 分析結果	12
1 保護者の生活状況	12
(1)経済的な状況, 暮らしの状況	12
(2)就労の状況	35
(3)保育の状況	45
(4)子どもとの関わり方	51
(5)学校との関わり・参加	72
(6)進学希望・展望	78
(7)頼れる人の有無・相手	90
(8)保護者の心理的な状態	106
2 子どもの生活状況, 「貧困の連鎖」リスクの発生状況	110
(1)学習の状況	110
(2)進学希望	130
(3)部活動等への参加状況	154
(4)日常的な生活の状況	159
(5)子どもの心理的な状態	177
(6)逆境体験	186
(7)ヤングケアラーの実態	191
3 新型コロナウイルス感染症の影響	206
(1)保護者の状況	206
(2)子どもの状況	210

4 支援の利用状況や効果等	218
(1)保護者の状況.....	218
(2)子どもの状況.....	229
5 広島県や福山市の子ども政策への希望.....	245
(1)保護者の状況.....	245
(2)子どもの状況.....	263
IV 参考資料.....	274
1 等価世帯収入の算出.....	274
2 調査票.....	276
(1)保護者票.....	276
(2)小学生票.....	292
(3)中学生票.....	308

I 調査実施の概要

1 調査目的

本調査は、子どもの生活状況の実態や家庭の状況、市の施策へのニーズを把握し、新たな施策や現在取り組んでいる施策の強化の必要性等を検討するための基礎資料とすることを目的として実施した。

2 調査対象者

小学5年生とその保護者、中学2年生とその保護者

3 調査方法

学校を通じた配付・回収

調査票は「小学生票」「中学生票」（以下「子ども票」と表記）及び「小学生保護者」「中学生保護者」（以下「保護者票」と表記）で構成され、学校を通じて配付した。子ども票と保護者票はそれぞれ無記名で記入の上、各々個別の封筒に入れ封かんした後、さらに世帯用の封筒に入れたものを、学校を通じて回収した。

4 調査時期

2023年（令和5年）7月10日（月）～7月24日（月）

5 有効回収数

調査対象区分		小学5年生の世帯	中学2年生の世帯
子ども	配付数	1,506人	1,523人
	有効回答数	1,199人	1,098人
	回答率	79.6%	72.1%
保護者	配付数	1,506人	1,523人
	有効回答数	1,207人	1,102人
	回答率	80.1%	72.4%

6 報告書の見方

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 設問に応じ、SA (Single Answer : 単数回答)、MA (Multi Answer : 複数回答)、NA (Numerical Answer : 数量回答)、FA (Free Answer : 自由回答) の別を示している。
- (3) MA は回答の合計が調査数を上回ることがある。
- (4) 図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 数表、図表、文中に示すnは、回答総数を表している。
- (6) その他や自由意見については、読みやすさ等を考慮し文章の表現を一部変更し掲載している。
- (7) 広島県の集計については、自治体の回収率の違いを調整するため、特段記載のない限りは統計的な処理に基づく集計（ウエイト付き集計）となっている。
- (8) この調査は、内閣府の「令和3年 子供の生活状況調査の分析」と共通する調査項目については全体集計の比較を行っている。

7 回答者の基本属性等

(1) 保護者の子どもとの続柄

保護者票問1. お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(SA)

		上段：(人) 下段：(%)					
		合計	母親	父親	祖父母	その他	無回答
福山市	小学5年生	1,207	1,103	74	5	-	25
		100.0	91.4	6.1	0.4	-	2.1
福山市	中学2年生	1,102	983	75	2	2	40
		100.0	89.2	6.8	0.2	0.2	3.6
広島県	小学5年生	8,087	7,187	780	34	18	68
		100.0	88.9	9.6	0.4	0.2	0.8
広島県	中学2年生	6,928	6,053	679	16	30	150
		100.0	87.4	9.8	0.2	0.4	2.2
国中学2年生		2,715	2,213	466	9	4	23
		100.0	81.5	17.2	0.3	0.1	0.8

※広島県はウエイト付き集計前の数値

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況, 暮らしの状況

(2) 保護者の年齢

保護者票問4. お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。(NA)

				上段：(人) 下段：(%)				
		合計	3 9 歳 以下	4 0 5 4 9 歳	5 0 5 5 9 歳	6 0 歳 以上	無 回 答	
福山市	小学5年生	母親	1,207	473	634	44	1	55
			100.0	39.2	52.5	3.6	0.1	4.6
	父親	1,207	298	609	126	5	169	
		100.0	24.7	50.5	10.4	0.4	14.0	
広島県	小学5年生	母親	1,102	200	695	142	-	65
			100.0	18.1	63.1	12.9	-	5.9
	父親	1,102	128	560	224	11	179	
		100.0	11.6	50.8	20.3	1.0	16.2	
広島県	小学5年生	母親	8,087	2,765	4,597	436	3	286
			100.0	34.2	56.8	5.4	0.0	3.5
	父親	8,087	1,876	4,341	985	61	824	
		100.0	23.2	53.7	12.2	0.8	10.2	
広島県	中学2年生	母親	6,928	1,154	4,542	901	4	327
			100.0	16.7	65.6	13.0	0.1	4.7
	父親	6,928	703	3,879	1,402	104	840	
		100.0	10.1	56.0	20.2	1.5	12.1	

※広島県はウエイト付き集計前の数値

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

(3) 保護者の居住地

保護者票問2. あなたがお住まいの市町を教えてください。(SA)

	上段：(人) 下段：(%)									
	合計	広島市	呉市	竹原市	三原市	尾道市	福山市	府中市	三次市	庄原市
小学5年生	1,207	2	-	-	-	-	1,183	-	-	-
	100.0	0.2	-	-	-	-	98.0	-	-	-
中学2年生	1,102	3	-	-	-	-	1,062	-	-	-
	100.0	0.3	-	-	-	-	96.4	-	-	-
	大竹市	東広島市	廿日市市	安芸高田市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	安芸太田町
小学5年生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中学2年生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	北広島町	大崎上島町	世羅町	神石高原町	広島県外	無回答				
小学5年生	-	-	-	-	-	22				
	-	-	-	-	-	1.8				
中学2年生	-	-	-	-	-	37				
	-	-	-	-	-	3.4				

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

(4) 同居家族の構成と人数

保護者票問3. お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(SA)

		上段：(人) 下段：(%)						
		合計	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
小学5年生	祖母	1,207	969	175	9			54
		100.0	80.3	14.5	0.7			4.5
	祖父	1,207	1,019	132	1			55
		100.0	84.4	10.9	0.1			4.6
	母親	1,207	13	1,189				5
		100.0	1.1	98.5				0.4
	父親	1,207	123	1,075				9
		100.0	10.2	89.1				0.7
姉・兄	1,207	544	422	158	27	3	53	
	100.0	45.1	35.0	13.1	2.2	0.2	4.4	
妹・弟	1,207	562	421	146	17	5	56	
	100.0	46.6	34.9	12.1	1.4	0.4	4.6	
その他	1,207	1,109	31	4	1	-	62	
	100.0	91.9	2.6	0.3	0.1	-	5.1	
中学2年生	祖母	1,102	874	160	3			65
		100.0	79.3	14.5	0.3			5.9
	祖父	1,102	942	90	1			69
		100.0	85.5	8.2	0.1			6.3
	母親	1,102	9	1,091				2
		100.0	0.8	99.0				0.2
	父親	1,102	122	976				4
		100.0	11.1	88.6				0.4
姉・兄	1,102	492	391	134	14	4	67	
	100.0	44.6	35.5	12.2	1.3	0.4	6.1	
妹・弟	1,102	495	377	127	27	7	69	
	100.0	44.9	34.2	11.5	2.5	0.6	6.3	
その他	1,102	1,004	20	2	-	3	73	
	100.0	91.1	1.8	0.2	-	0.3	6.6	

保護者票問5. お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(MA)

		上段：(人) 下段：(%)					
		合計	単身赴任中の お子さんの 母親が	単身赴任中の お子さんの 父親が	その他	単身赴任中の 者は いない	無回答
福山市	小学5年生	1,207	-	49	8	1,104	46
		100.0	-	4.1	0.7	91.5	3.8
	中学2年生	1,102	1	44	19	983	55
		100.0	0.1	4.0	1.7	89.2	5.0
広島県	小学5年生	8,222	4	467	97	7,511	144
		100.0	0.0	5.7	1.2	91.3	1.8
	中学2年生	7,061	4	462	128	6,313	156
		100.0	0.1	6.5	1.8	89.4	2.2

(5) 保護者の婚姻の状況

保護者票問6. お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(SA)

		上段：(人) 下段：(%)							
		合計	結婚 事実婚を 含む(再婚)	離婚	死別	未婚	わからない	いない	無回答
福山市	小学5年生	1,207	1,062	124	3	4	1	1	12
		100.0	88.0	10.3	0.2	0.3	0.1	0.1	1.0
	中学2年生	1,102	967	111	8	7	2	1	6
		100.0	87.7	10.1	0.7	0.6	0.2	0.1	0.5
広島県	小学5年生	8,222	7,396	687	36	43	9	16	36
		100.0	90.0	8.4	0.4	0.5	0.1	0.2	0.4
	中学2年生	7,061	6,230	652	58	34	15	20	51
		100.0	88.2	9.2	0.8	0.5	0.2	0.3	0.7
国中学2年生		2,715	2,358	283	37	20	10		7
		100.0	86.9	10.4	1.4	0.7	0.4		0.3

※以下、保護者票問6で「離婚」・「死別」・「未婚」を合わせて「ひとり親世帯」と定義する。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

(6) 日本語以外の言語使用

保護者票問8. ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(SA)

		合計	上段：(人) 下段：(%)			無回答
			て日本語のみを使用している	日本語の方が多いが、日本語以外の言語も使用する	日本語以外の言語が多い	
福山市	小学5年生	1,207 100.0	1,127 93.4	35 2.9	5 0.4	40 3.3
	中学2年生	1,102 100.0	1,017 92.3	24 2.2	6 0.5	55 5.0
広島県	小学5年生	8,222 100.0	7,827 95.2	232 2.8	35 0.4	129 1.6
	中学2年生	7,061 100.0	6,702 94.9	182 2.6	30 0.4	146 2.1
国中学2年生		2,715 100.0	2,623 96.6	81 3.0	5 0.2	6 0.2

(7) 保護者の最終学歴

保護者票問9. お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。(SA)

			合計	上段：(人) 下段：(%)										
				中学	中学、高校	中学、高校、専門学校	門学校、5年制の高等専	中学、高校、短大	校)、大学、高等専、または5年制の高校(または5年制の高等専、または5年制の高等専、または5年制の高等専)	校)、大学、大学院	その他	わからない	いない	無回答
福山市	小学5年生	母親	1,207 100.0	52 4.3	260 21.5	304 25.2	5 0.4	262 21.7	216 17.9	79 6.5	2 0.2	-	13 1.1	14 1.2
		父親	1,207 100.0	60 5.0	306 25.4	197 16.3	13 1.1	33 2.7	336 27.8	108 8.9	5 0.4	3 0.2	121 10.0	25 2.1
	中学2年生	母親	1,102 100.0	45 4.1	271 24.6	273 24.8	1 0.1	288 26.1	141 12.8	43 3.9	5 0.5	-	9 0.8	26 2.4
		父親	1,102 100.0	51 4.6	288 26.1	184 16.7	11 1.0	52 4.7	282 25.6	82 7.4	2 0.2	1 0.1	119 10.8	30 2.7
広島県	小学5年生	母親	8,222 100.0	269 3.3	1,559 19.0	1,720 20.9	44 0.5	1,736 21.1	1,979 24.1	712 8.7	32 0.4	17 0.2	93 1.1	60 0.7
		父親	8,222 100.0	288 3.5	1,855 22.6	1,067 13.0	74 0.9	284 3.4	2,754 33.5	1,064 12.9	30 0.4	32 0.4	682 8.3	92 1.1
	中学2年生	母親	7,061 100.0	209 3.0	1,377 19.5	1,417 20.1	38 0.5	1,749 24.8	1,434 20.3	605 8.6	41 0.6	22 0.3	92 1.3	76 1.1
		父親	7,061 100.0	235 3.3	1,546 21.9	957 13.6	72 1.0	304 4.3	2,194 31.1	942 13.3	21 0.3	36 0.5	657 9.3	95 1.3
国中学2年生		母親	2,715 100.0	110 4.1	841 31.0	1,154 42.5			573 21.1			6 0.2	31 1.1	
		父親	2,715 100.0	141 5.2	867 31.9	445 16.4			1,099 40.5			49 1.8	114 4.2	

(8) 子どもの性別

子ども票問1. あなたの性別を教えてください。(SA)

上段：(人) 下段：(%)

		合計	男	女	い そ 他 ・ 答 え た く な	無 回 答
福 山 市	小学5年生	1,199	566	605	6	22
		100.0	47.2	50.5	0.5	1.8
	中学2年生	1,098	518	541	24	15
		100.0	47.2	49.3	2.2	1.4
広 島 県	小学5年生	8,273	3,992	4,119	73	89
		100.0	48.3	49.8	0.9	1.1
	中学2年生	7,164	3,416	3,519	132	97
		100.0	47.7	49.1	1.8	1.4
国 中 学 2 年 生		2,715	1,300	1,362	33	20
		100.0	47.9	50.2	1.2	0.7

※広島県はウエイト付き集計前の数値

II 調査結果の概要

1 保護者の生活状況

経済的な状況について、等価世帯収入の水準により分類したところ、「中央値の2分の1未満」に該当するのは小学5年生世帯で10.6%、中学2年生世帯で9.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは、小学5年生世帯で37.6%、中学2年生世帯で35.8%となっている。親の婚姻状況から世帯の状況を分類したところ、「ひとり親世帯」は小学5年生世帯で10.8%、中学2年生世帯で11.4%となっている。等価世帯収入の水準には、世帯の状況や親の最終学歴、就労状況等が影響しており、「ひとり親世帯」や親の学歴が高校・短大までの世帯、正社員でない世帯は等価世帯収入の水準「中央値の2分の1未満」の割合が高くなる。

現在の暮らしの状況について、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では『苦しい』の割合が約4～5割となっており、「中央値以上」や「ふたり親世帯」と比べて大きな差がみられる。また、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、食料や衣服を買えなかったことや公共料金の未払いになったことがある割合が高くなっており、「中央値の2分の1未満」世帯では、食料や衣服が買えなかったことがある割合は約4割となっている。

過去1年間の間に負担に感じた支払いについて、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では小学5年生保護者は「授業料・学校納付金（給食費含む）」の割合が高く、中学2年生保護者は「お子さんの服・靴」の割合が高くなっている。

子どもが進むと思う進学先については、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では『大学またはそれ以上』を希望する割合が低くなっている。子どもの進学先について、『高校まで』と考える理由として、「中央値の2分の1未満」世帯やひとり親世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」と回答する割合が高くなっている。

保護者の心理的な状態について、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、「うつ・不安障がい相当」と考えられる割合は高くなっている。また、生活に対する満足度については低くなっている。

子どものことの悩みについて、どの世帯も「子どもの進学先や受験のことが心配である」、「子どもの教育費のことが心配である」と回答する割合が高くなっている。

2 子どもの生活状況

ふだんの勉強の仕方について、1日あたりの勉強時間は広島県や国と比較すると「まったくしない」の割合が高くなっている。また、等価世帯収入の水準「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、「塾で勉強する」の割合は低く、「学校の授業以外で勉強しない」の割合が高くなっている。学校の授業の理解度についても、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では『わからない』の割合が高くなっており、他の世帯に比べて、早い段階から授業がわからなくなったと回答する割合が高くなっている。

進学希望について、『大学またはそれ以上』の割合が国と比べて低く、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」ほど低くなっている。

部活動等への参加状況は、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では「参加していない」の割合が高くなっている。部活動に参加していない理由として、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、「費用がかかるから」、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」と回答した割合が高くなる傾向がみられる。

日常的な生活の状況について、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、毎日朝食を食べている割合が低くなっている。また、生活満足度について、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」ほど低くなっている。

子どもの心理的な状況について、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、「情緒の問題」、「仲間関係の問題」、「向社会的」のスコアが高くなる傾向がある。また、「逆境体験」を経験している割合も高くなっており、「逆境体験」を経験している場合には、生活満足度が低くなる傾向がみられる。

ヤングケアラーの実態について、言葉の認知度は「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」ほど低くなっている。ヤングケアラーにあてはまると思うかについて、「あてはまる」の回答は、収入や世帯の状況に関わらず1~2%程度となっているが、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、「分からない」の割合が高くなっている。家族の世話の状況について、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、「世話をしている人はいない」の割合が低くなっている。

学校や周りの人に助けて欲しいことや手伝ってほしいことについて、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、「自分のことについて話を聞いてほしい」の割合が高い傾向にある。家族の世話についての相談方法では、収入や世帯の状況に関わらず「直接会って」の割合が高くなっている。また、中学2年生では、「SNS（ラインやツイッターなど）」の割合は約4割と高くなっている。

3 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響について、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに「生活に必要な支出の変化」で「増えた」と回答した割合が高くなっている。

子どもへの影響では、「家族で外食する回数」、「家族で旅行する回数」で「減った」と回答した割合が高くなっているが、「家族で家で過ごす時間」は「増えた」と回答した割合が高くなっている。

4 支援の利用状況や効果等

保護者の支援制度の利用状況について、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、「就学援助」や「児童扶養手当」の利用は5～6割前後となっているが、「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」の利用は1割未満となっている。

子どもの居場所の利用状況について、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」は、約3割の子どもが利用しており、国と比較しても高くなっている。利用による変化として、小学5年生では「友だちが増えた」、中学2年生では「勉強する時間が増えた」が高くなっている。また、「夕ご飯を無料か安く食べることができる場所」と「勉強を無料でみてくれる場所」については、利用している子どもは1割未満だが、「あれば利用したいと思う」は3～4割となっている。

5 広島県や福山市の子ども政策への希望

広島県の子どもに関する取組で特に力を入れてほしいと思うことについて、保護者・子どものいずれについても「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が最も高くなっており、選んだ理由としては、基礎学力に加えて、コミュニケーション能力等、将来社会で役に立つことももっと学びたいという意見が多くみられる。「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が高くなっており、子育て支援や経済的な支援についての意見が多くみられる。

保護者と子どもにとって望む支援について、「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、「生活や就学のための経済的補助」と回答した割合が高くなっており、前回調査と比較しても、増加傾向となっている。

6 求められる支援など

子どものことの悩みについて、前回調査と同様、「子どもの進学先や受験のことが心配である」、「子どもの教育費のことが心配である」の割合が高くなっており、どちらも増加している。

等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、「子どもの進学先や受験のことが心配である」、「子どもの教育費のことが心配である」に加え、「子どもの基本的な生活習慣が身についていない」、「子どものいじめなど、友人関係が心配である」、「子どもにかかわる時間が取れない」が高い傾向がある。

保護者と子どもにとって望む支援について、前回調査と比較すると、小学5年生保護者と中学2年生保護者ともに、「生活や就学のための経済的補助」、「職場体験等の機会や仕事に就けるようにするための就労に関する支援」が増加している。

等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」世帯や「ひとり親世帯」では、「生活や就学のための経済的補助」のほか、「低い家賃で住める住居の提供」、「母子世帯やDV被害の受け入れができる施設の充実」の割合が高くなっている。

Ⅲ 分析結果

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

保護者票問 20. 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(SA)

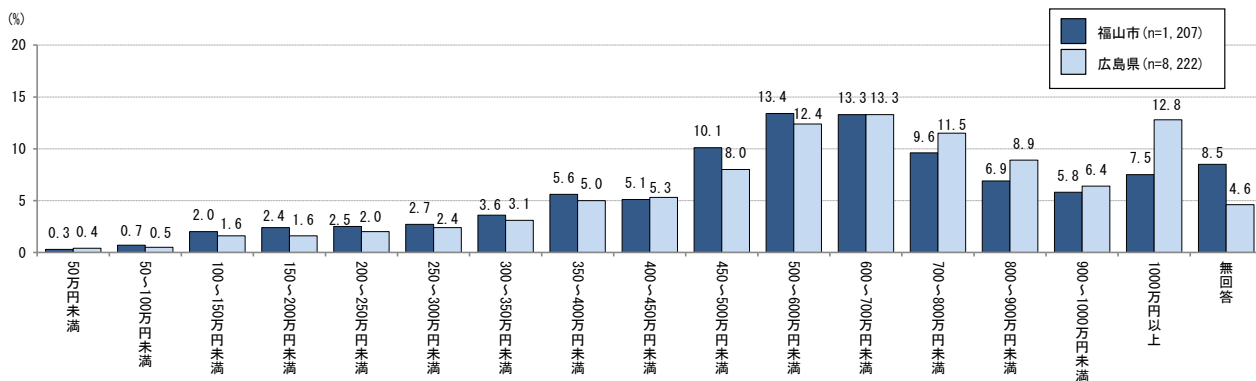
【全体】

※2022年の年間収入についてお答えください。

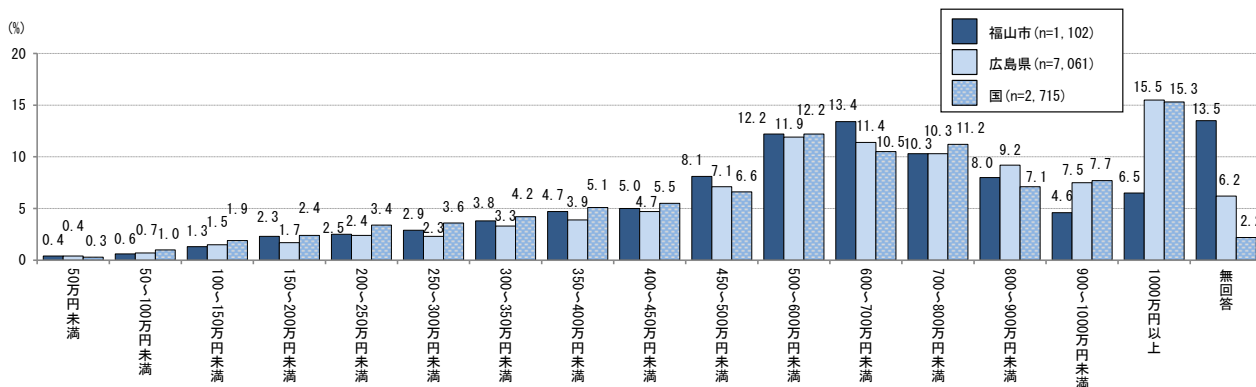
※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入（定期収入，賞与等）
- ・事業収入（原材料費，人件費，営業上の諸経費等を除く），内職収入（材料費等を除く）
- ・公的年金・恩給，その他の社会保障給付金（生活保護，児童手当，児童扶養手当等）
- ・農林漁業収入（農機具等の材料費，営業上の諸経費等を除く）
- ・資産収入（預貯金利子，家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。）
- ・その他の収入（仕送り，養育費，個人年金，各種祝い金等）

【小学5年生の保護者】



【中学2年生の保護者】



世帯全体の年間収入について、小学5年生の保護者では、「500～600万円未満」が13.4%と最も高く、次いで、「600～700万円未満」が13.3%、「450～500万円未満」が10.1%などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「600～700万円未満」が13.4%と最も高く、次いで、「500～600万円未満」が12.2%、「700～800万円未満」が10.3%などの順となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

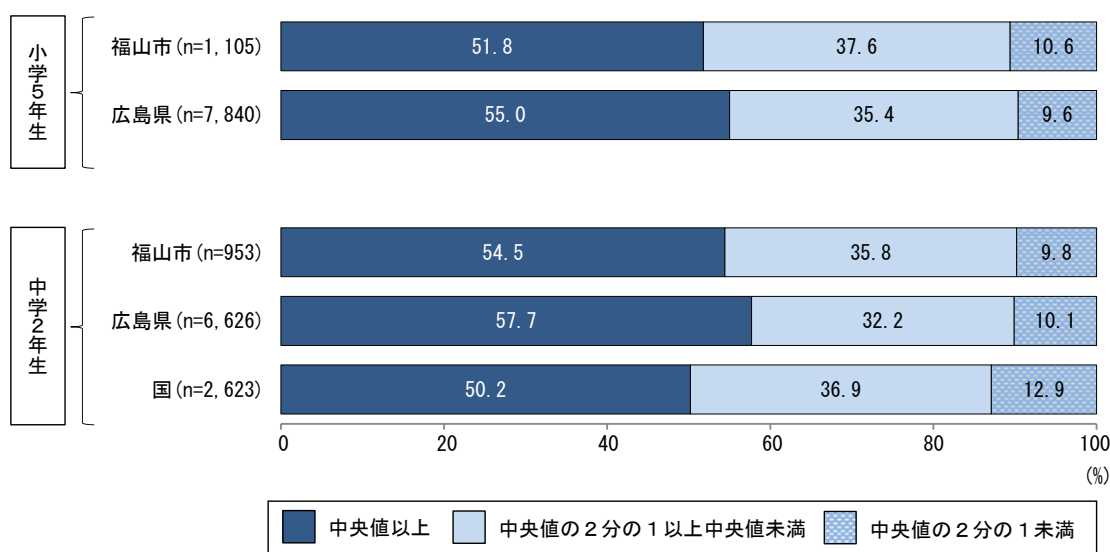
本資料においては、世帯の年間収入の水準について、「子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行う。

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする）。

○上記の値を、保護者票問3で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

【全体】

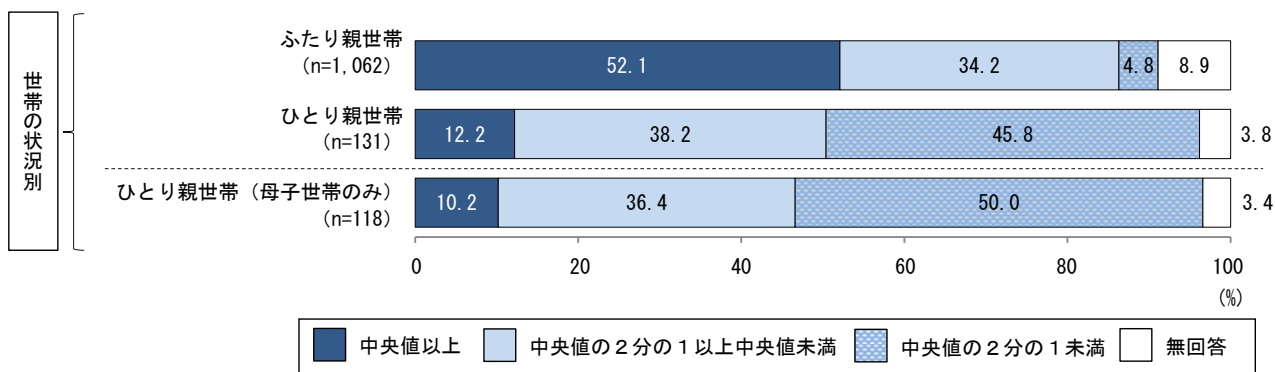


※国調査は単身赴任が含まれていない。また、無回答を除いて集計しているため、同様の方法で分析している。

等価世帯収入の水準について、小学5年生の保護者では、「中央値の2分の1未満」が10.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」が37.6%、「中央値以上」が51.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

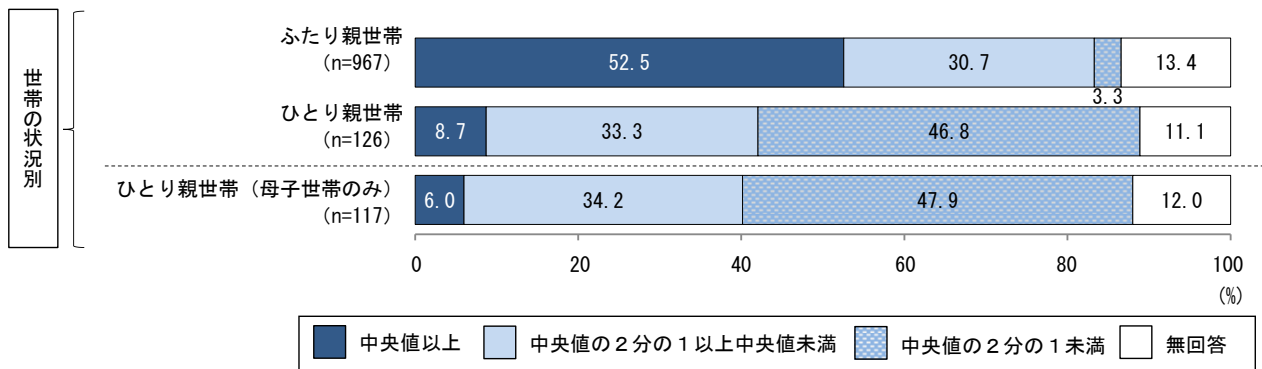
中学2年生の保護者では、「中央値の2分の1未満」が9.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」が35.8%、「中央値以上」が54.5%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



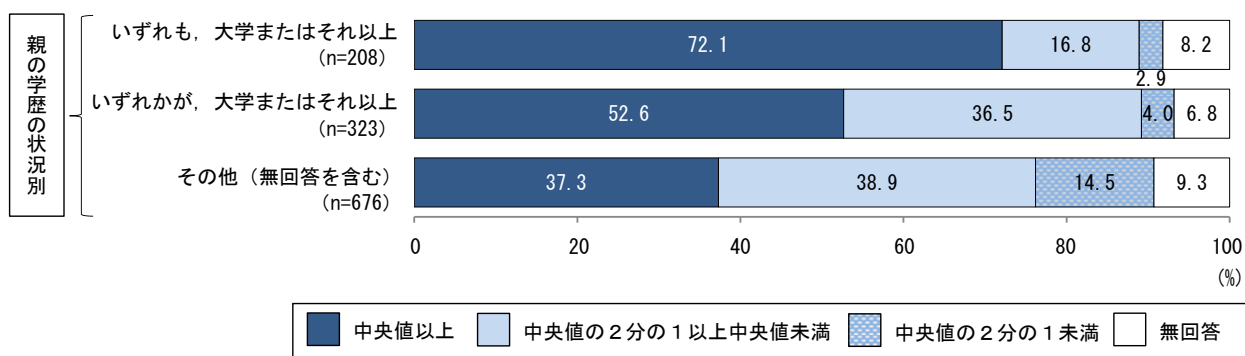
世帯の状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「ふたり親世帯」では4.8%、「ひとり親世帯全体」では45.8%、「母子世帯のみ」では50.0%となっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



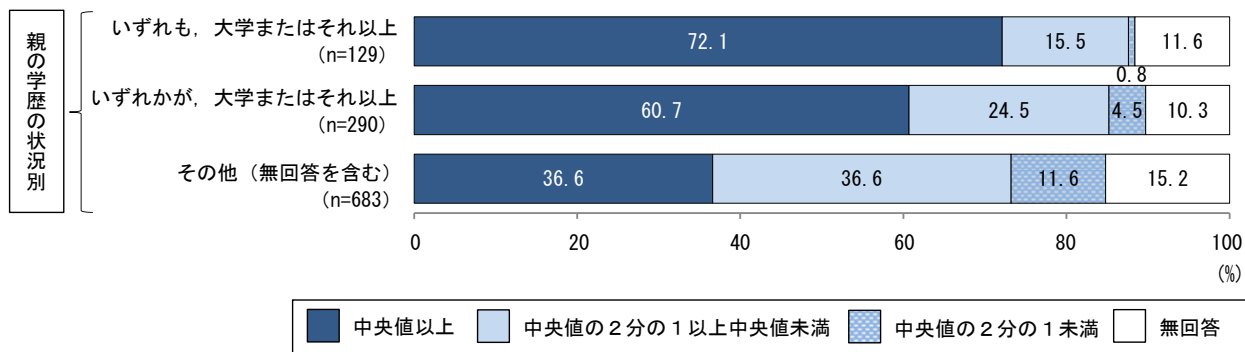
世帯の状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「ふたり親世帯」では3.3%、「ひとり親世帯全体」では46.8%、「母子世帯のみ」では47.9%となっている。

【親の学歴状況別_小学5年生の保護者】



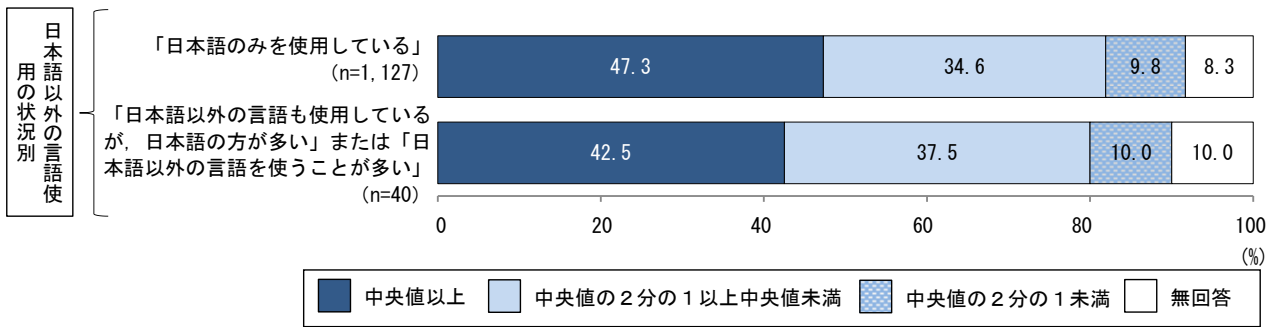
親の学歴状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「いずれも、大学またはそれ以上」では2.9%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では4.0%となっている。

【親の学歴状況別_中学2年生の保護者】



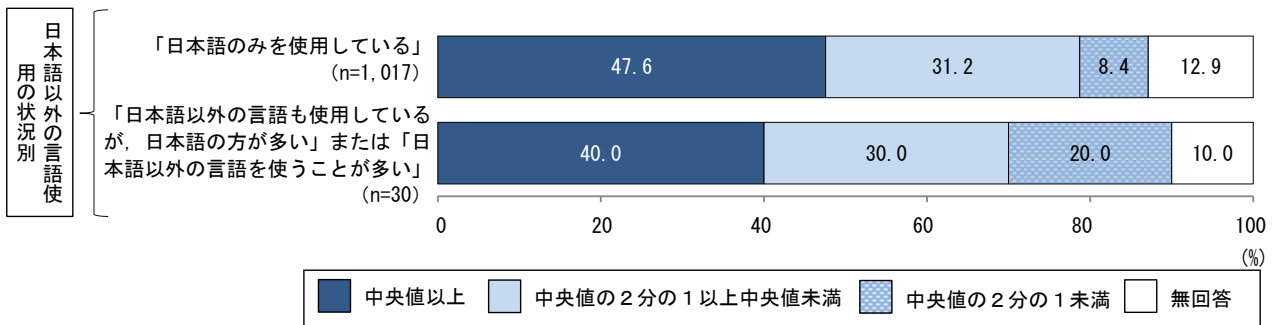
親の学歴状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「いずれも、大学またはそれ以上」では0.8%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では4.5%となっている。

【日本語以外の言語使用状況別_小学5年生の保護者】



日本語以外の言語使用状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「日本語のみを使用している」では9.8%、『日本語以外も使用している（「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」と「日本語以外の言語を使うことが多い」を合わせた割合）』では10.0%となっている。

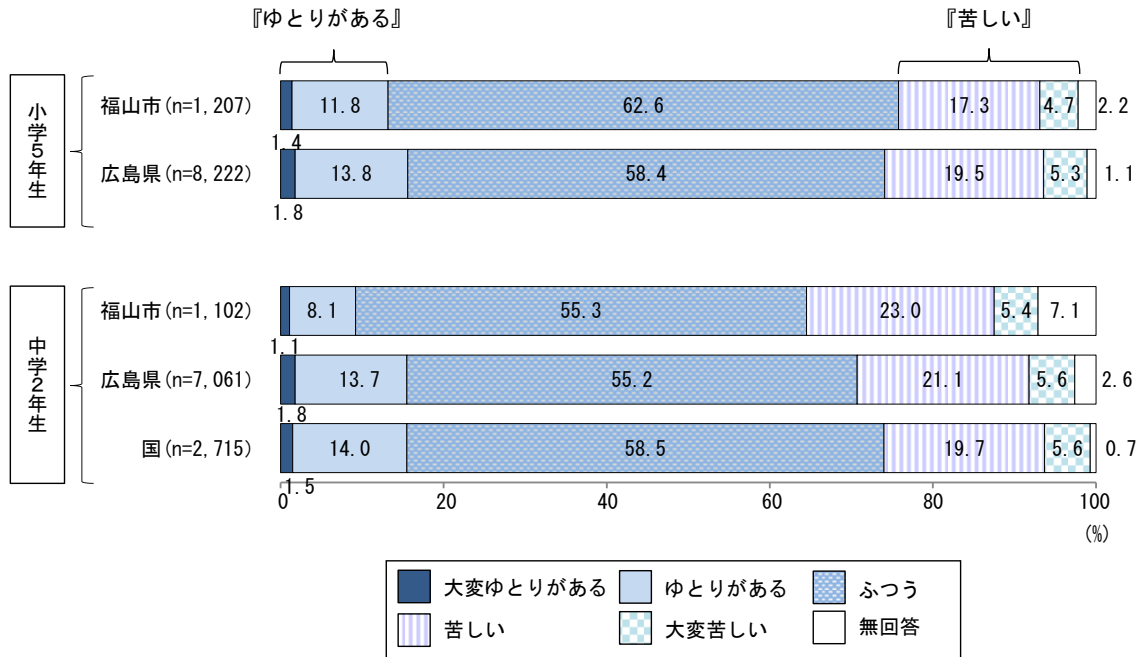
【日本語以外の言語使用状況別_中学2年生の保護者】



日本語以外の言語使用状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「日本語のみを使用している」では8.4%、『日本語以外も使用している』では20.0%となっている。

保護者票問 19. あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(SA)

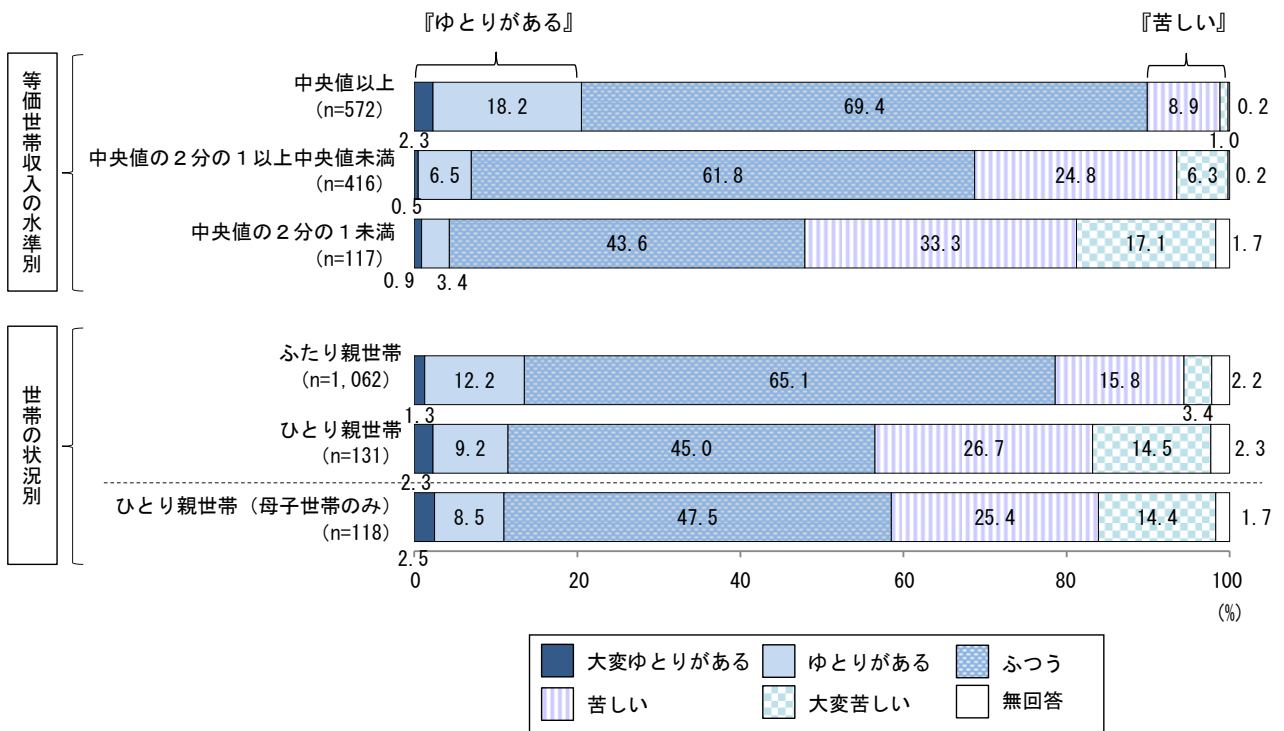
【全体】



暮らしの状況について、小学5年生の保護者では、『ゆとりがある（「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた割合）』が13.2%、「ふつう」が62.6%、『苦しい（「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合）』が22.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『ゆとりがある』が9.2%、「ふつう」が55.3%、『苦しい』が28.4%となっている。広島県と比較すると、『ゆとりがある』は、福山市（9.2%）が広島県（15.5%）を6.3ポイント下回っている。国と比較すると、『ゆとりがある』は、福山市（9.2%）が国（15.5%）を6.3ポイント下回っている。

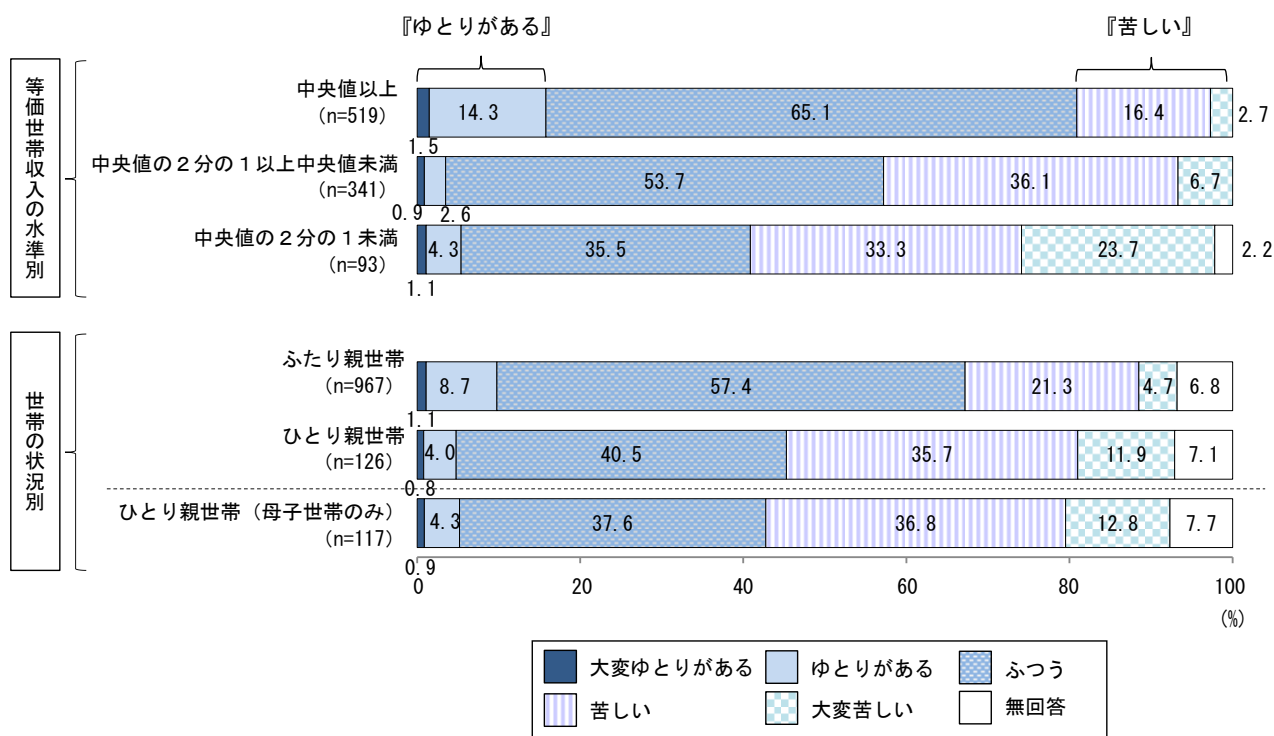
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では9.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では31.1%、「中央値の2分の1未満」では50.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では19.2%、「ひとり親世帯全体」では41.2%、「母子世帯のみ」では39.8%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

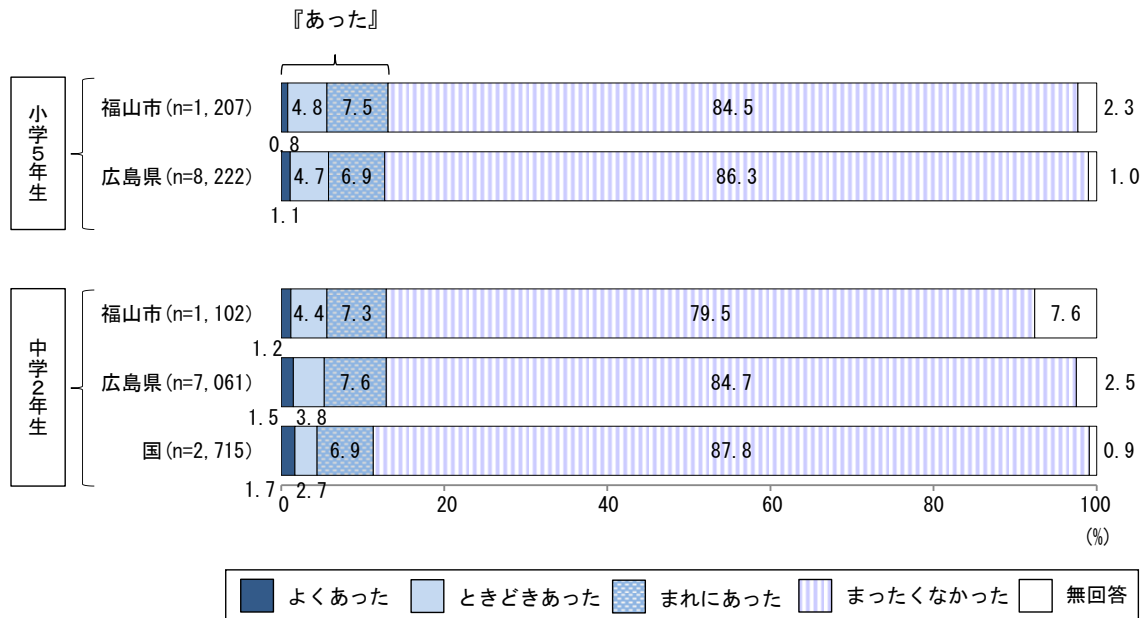


等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では19.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では42.8%、「中央値の2分の1未満」では57.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では26.0%、「ひとり親世帯全体」では47.6%、「母子世帯のみ」では49.6%となっている。

保護者票問 21. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(SA)

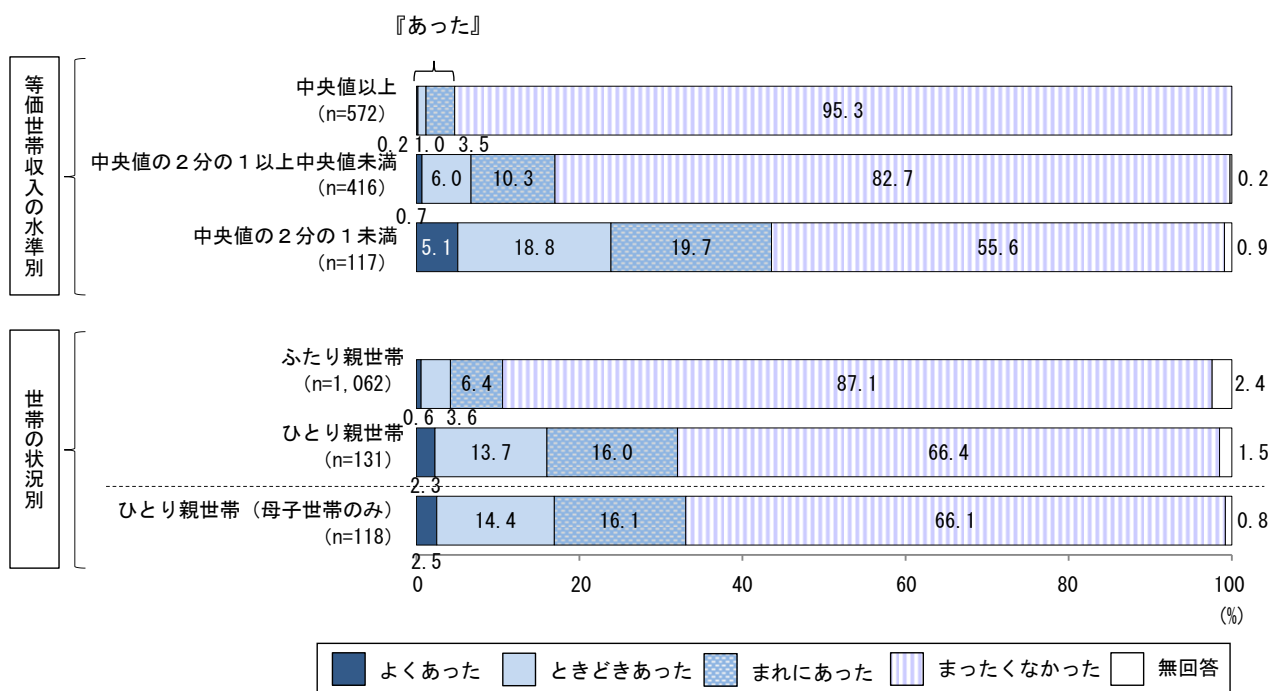
【全体】



食料が買えなかった経験について、小学5年生の保護者では、『あった（「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた割合）』が13.1%、「まったくなかった」が84.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あった』が12.9%、「まったくなかった」が79.5%となっている。広島県と比較すると、「まったくなかった」は、福山市（79.5%）が広島県（84.7%）を5.2ポイント下回っている。国と比較すると、「まったくなかった」は、福山市（79.5%）が国（87.8%）を8.3ポイント下回っている。

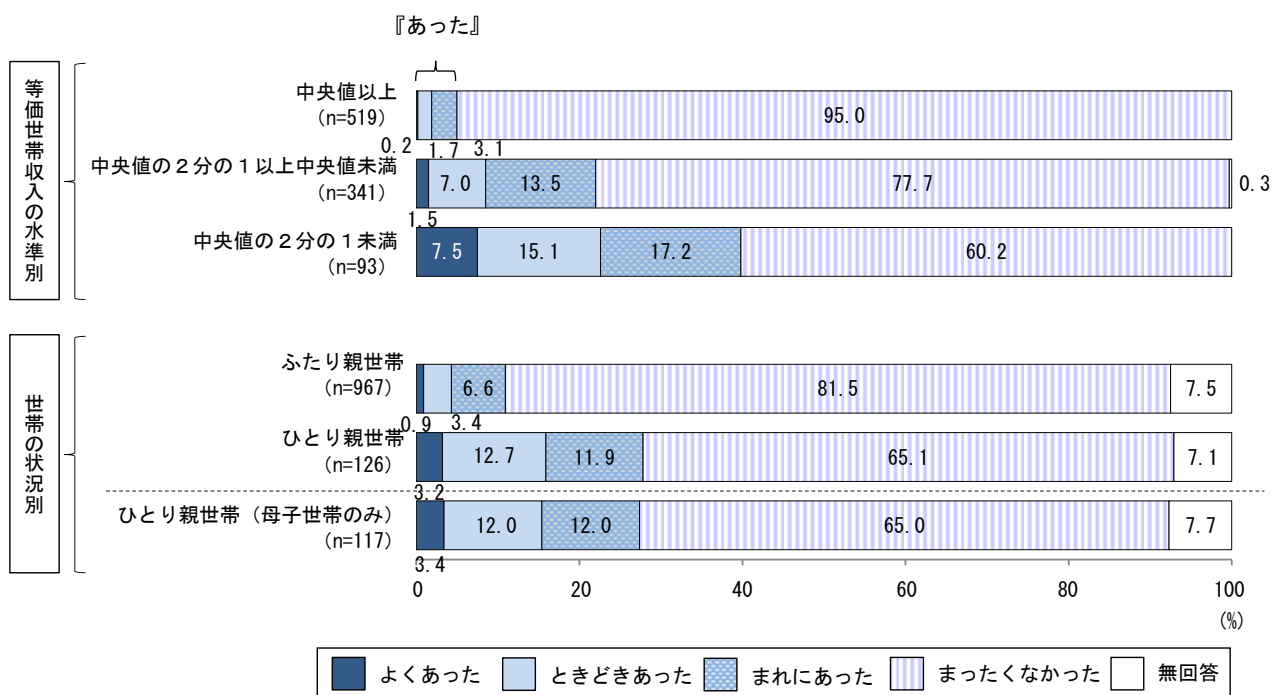
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 4.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 17.0%、「中央値の2分の1未満」では 43.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 10.6%、「ひとり親世帯全体」では 32.0%、「母子世帯のみ」では 33.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

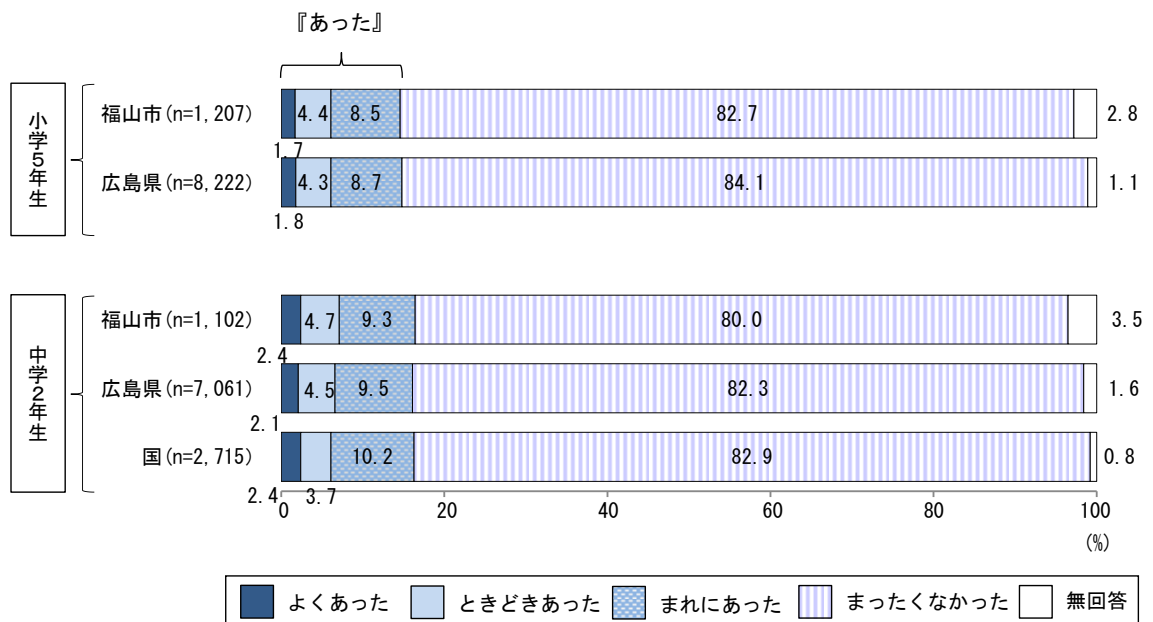


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 5.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 22.0%、「中央値の2分の1未満」では 39.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 10.9%、「ひとり親世帯全体」では 27.8%、「母子世帯のみ」では 27.4%となっている。

保護者票問 22. あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(SA)

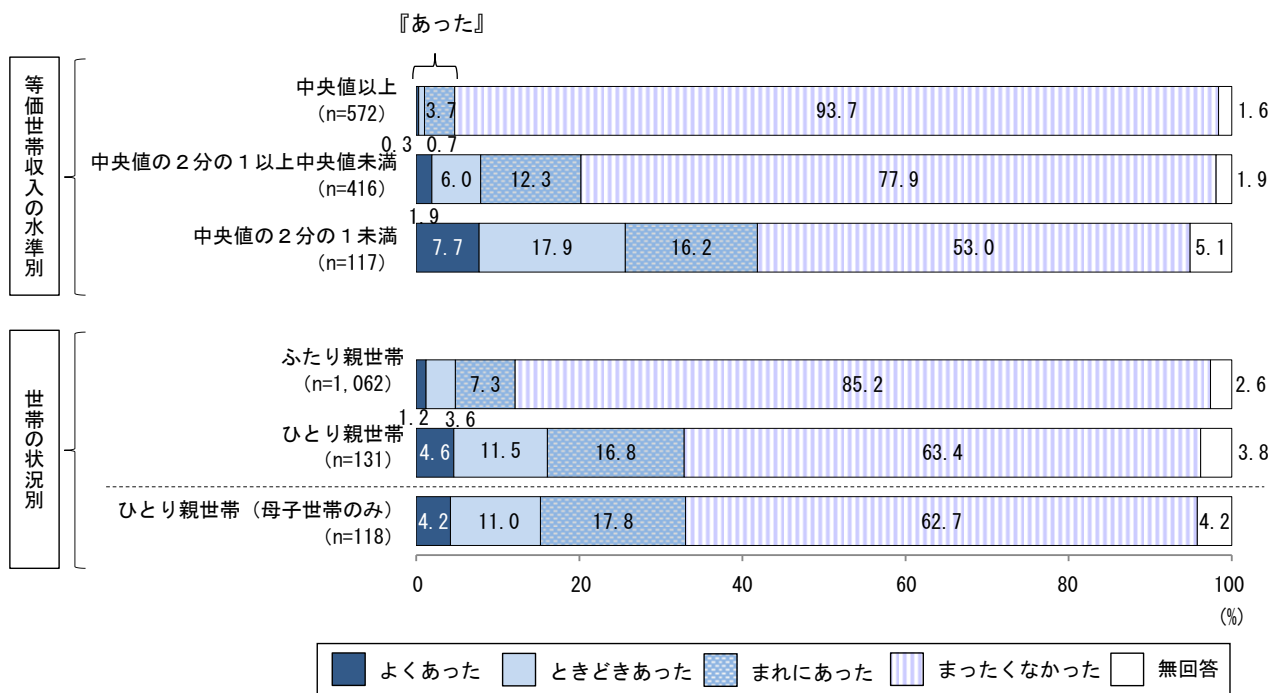
【全体】



衣服が買えなかった経験について、小学5年生の保護者では、『あった（「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた割合）』が14.6%、「まったくなかった」が82.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あった』が16.4%、「まったくなかった」が80.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

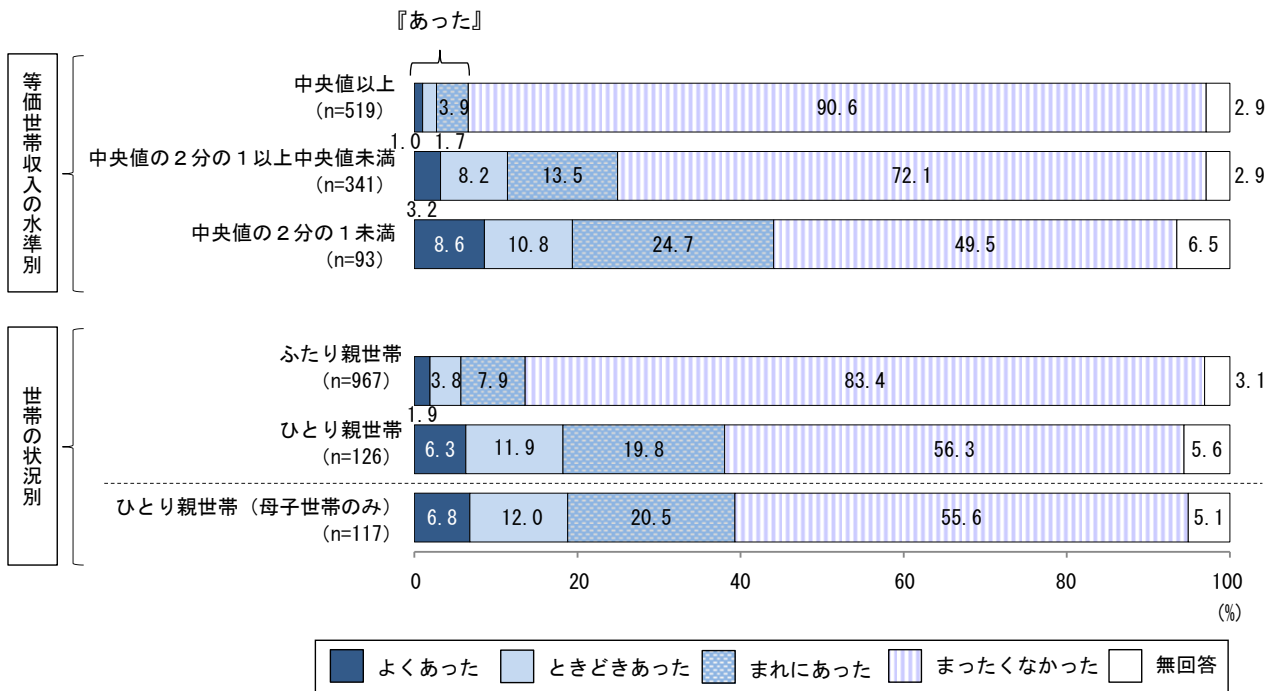
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 4.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 20.2%、「中央値の2分の1未満」では 41.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 12.1%、「ひとり親世帯全体」では 32.9%、「母子世帯のみ」では 33.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

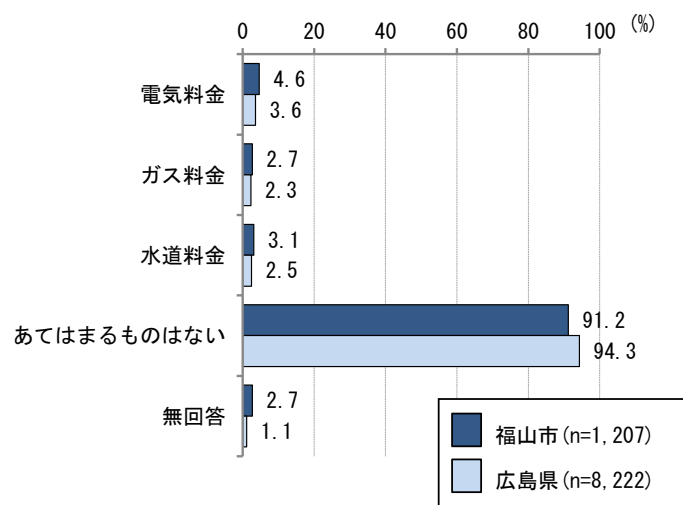


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 6.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 24.9%、「中央値の2分の1未満」では 44.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 13.6%、「ひとり親世帯全体」では 38.0%、「母子世帯のみ」では 39.3%となっている。

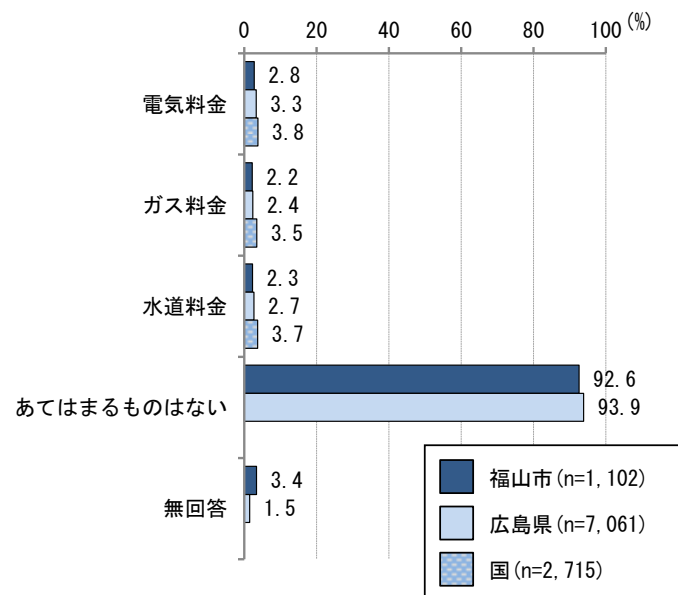
保護者票問 23. あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(MA)

【小学5年生の保護者】



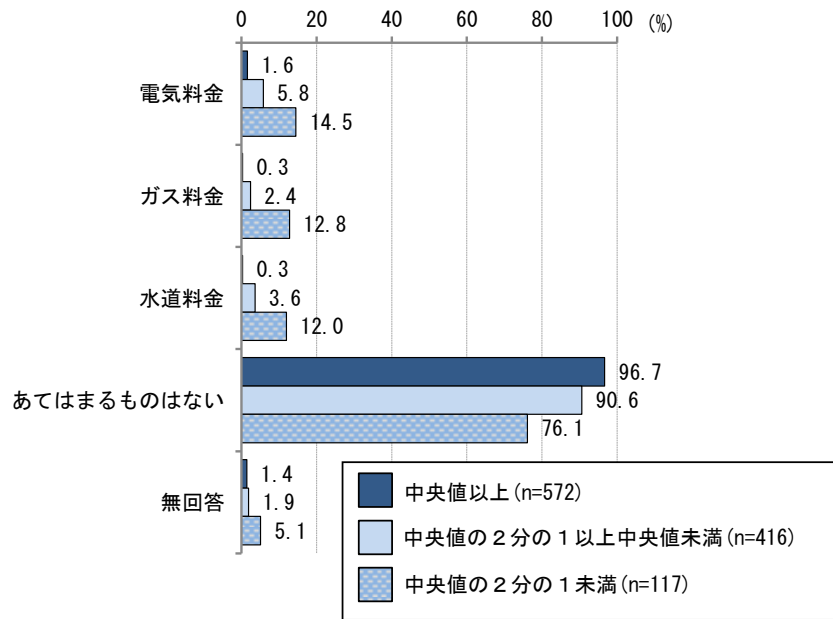
公共料金における未払いの経験について、小学5年生の保護者では、「電気料金」は4.6%、「ガス料金」は2.7%、「水道料金」は3.1%が「あった」となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生の保護者】



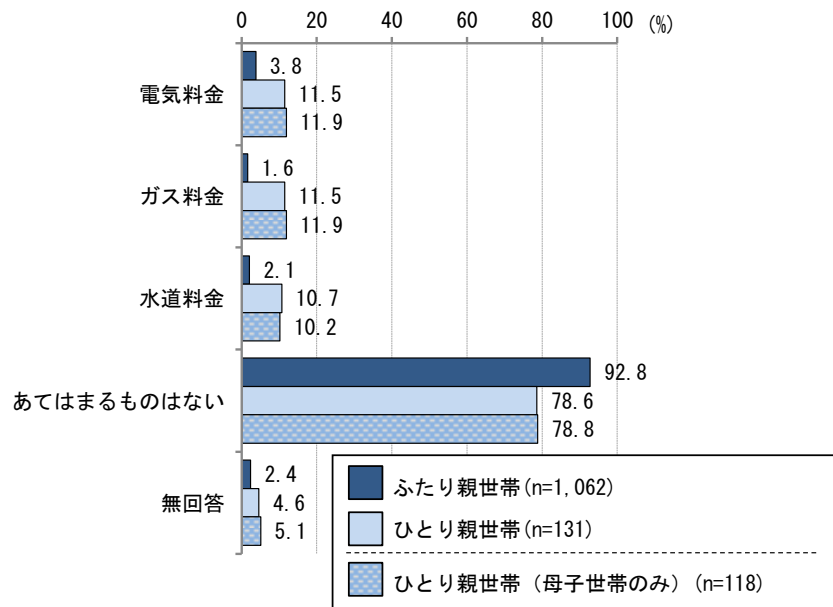
中学2年生の保護者では、「電気料金」は2.8%、「ガス料金」は2.2%、「水道料金」は2.3%が「あった」となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



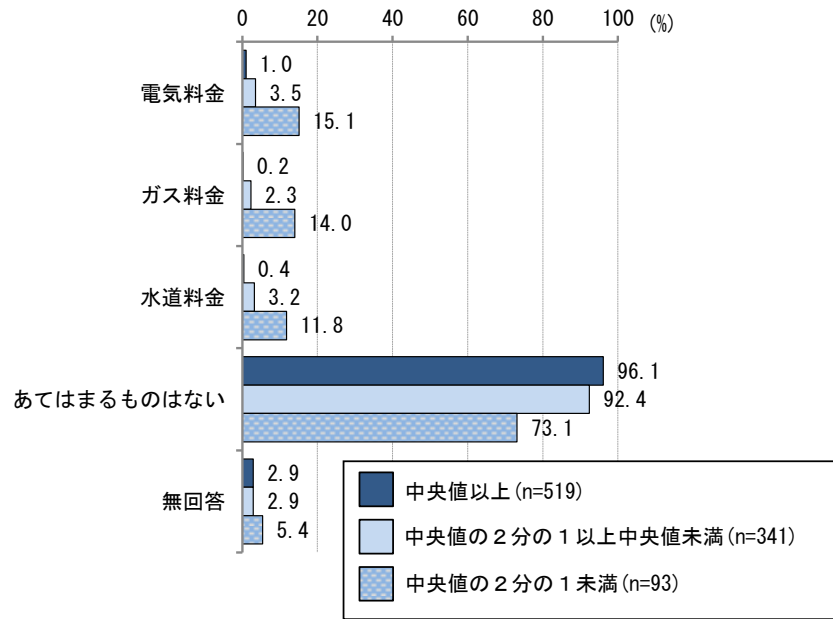
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「電気料金」は14.5%、「ガス料金」は12.8%、「水道料金」は12.0%が「あった」となっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



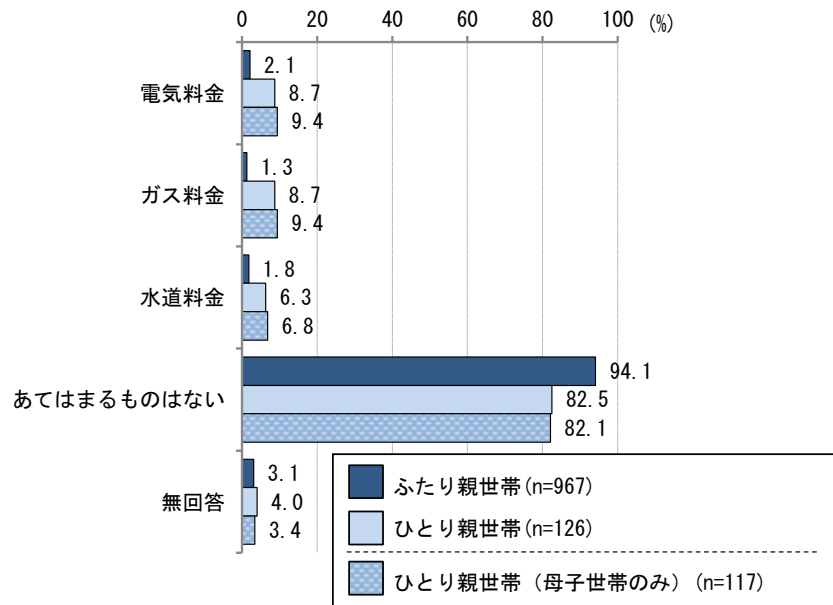
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」では、「電気料金」は11.5%、「ガス料金」は11.5%、「水道料金」は10.7%が「あった」となっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「電気料金」は15.1%、「ガス料金」は14.0%、「水道料金」は11.8%が「あった」となっている。

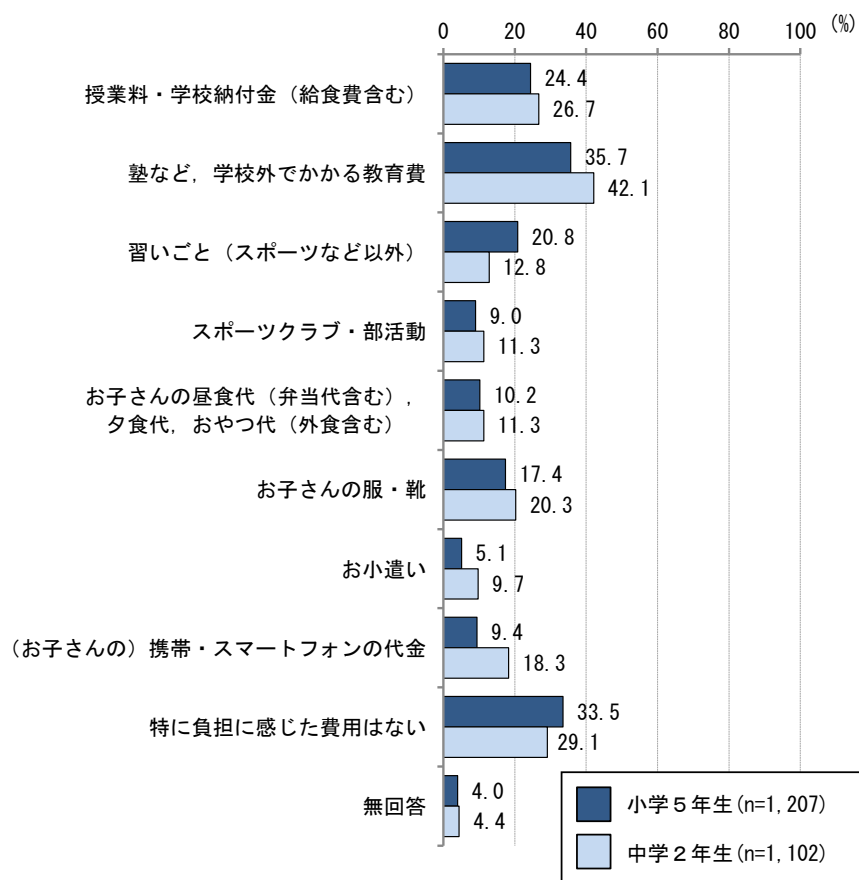
【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」では、「電気料金」は8.7%、「ガス料金」は8.7%、「水道料金」は6.3%が「あった」となっている。

保護者票問 24. あなたの世帯では、過去1年の間に、次の費用の支払いについて、負担に感じたもの
 がありますか。(MA)

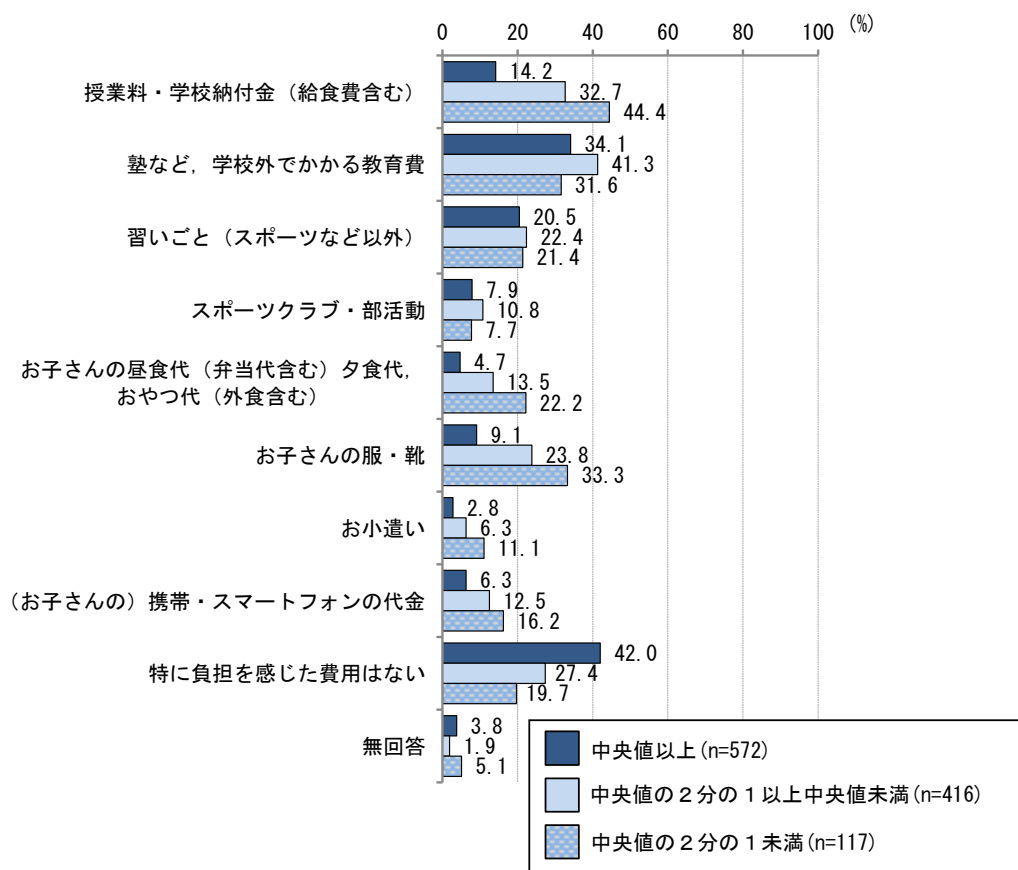
【全体】



過去1年の間で負担に感じた費用の支払いについて、小学5年生の保護者では、「塾など、学校外でかかる教育費」が35.7%と最も高く、次いで「授業料・学校納付金 (給食費含む)」が24.4%、「習いごと (スポーツなど以外)」が20.8%などの順となっている。また、「特に負担を感じた費用はない」は33.5%となっている。

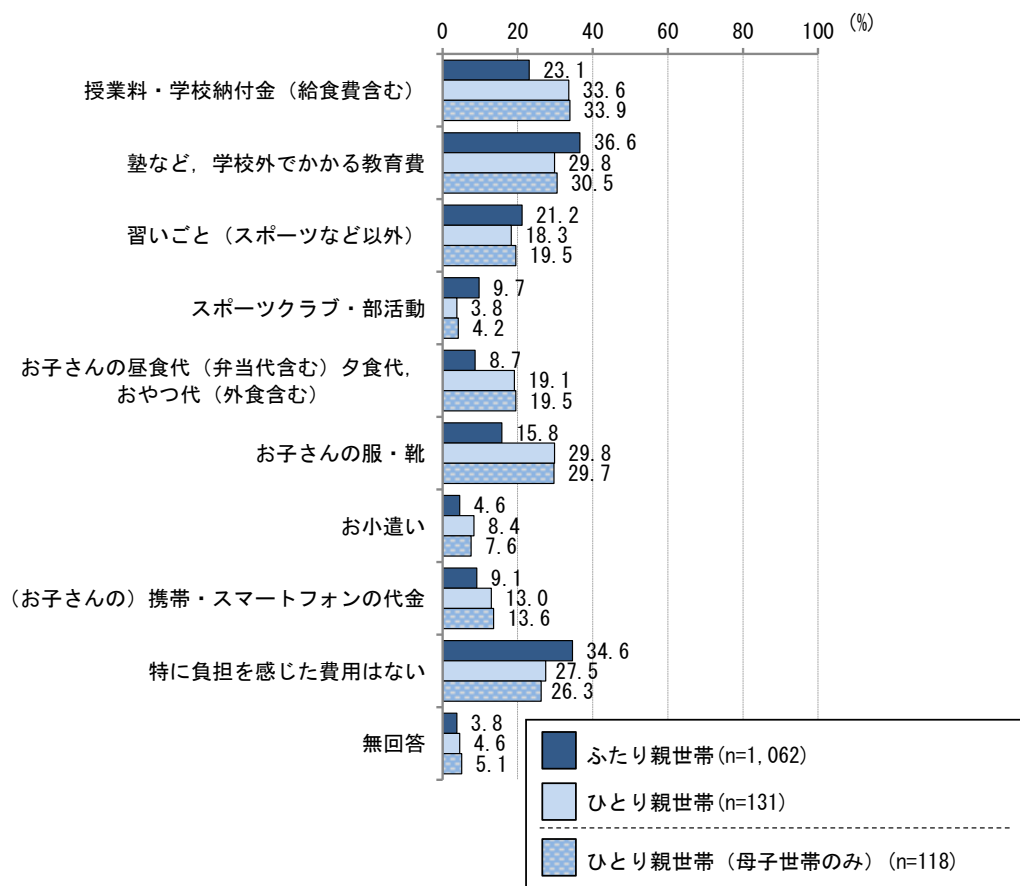
中学2年生の保護者では、「塾など、学校外でかかる教育費」が42.1%と最も高く、次いで「授業料・学校納付金 (給食費含む)」が26.7%、「お子さんの服・靴」が20.3%などの順となっている。また、「特に負担を感じた費用はない」は29.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



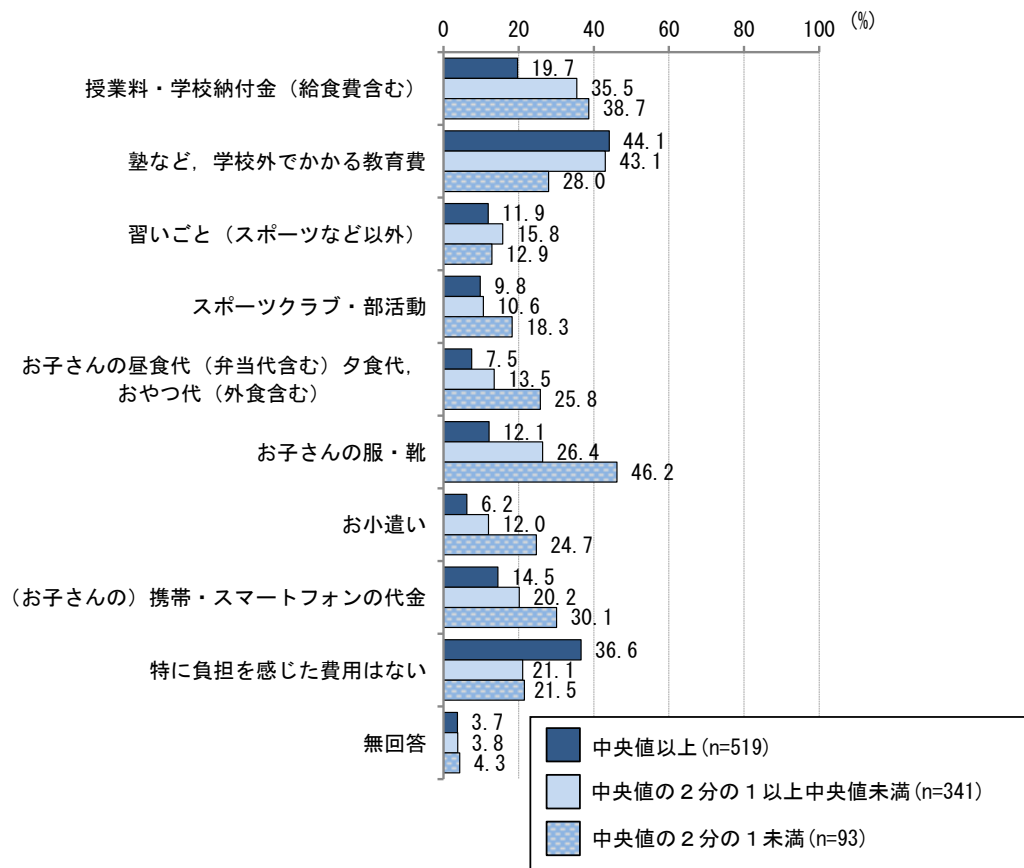
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「授業料・学校納付金 (給食費含む)」が44.4%、「お子さんの昼食代 (弁当代含む) 夕食代, おやつ代 (外食含む)」が22.2%、「お子さんの服・靴」が33.3%、「お小遣い」が11.1%、「(お子さんの) 携帯・スマートフォンの代金」が16.2%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



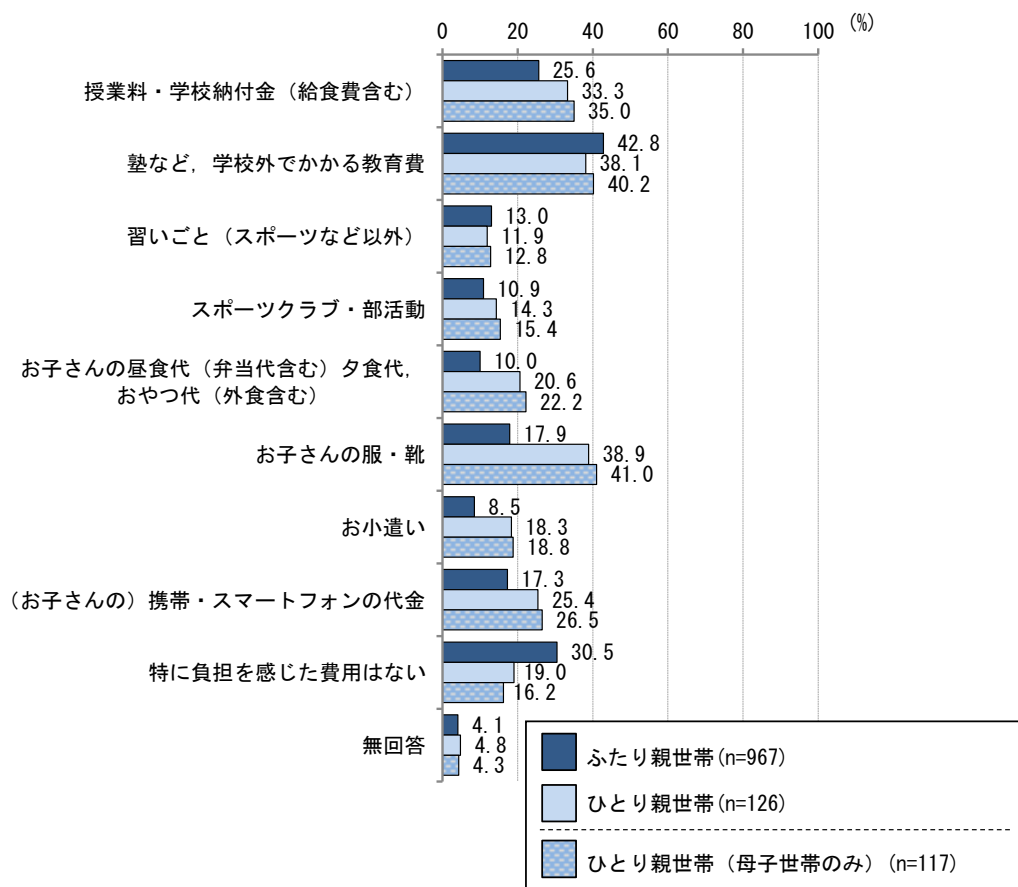
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「授業料・学校納付金 (給食費含む)」が 33.6%、「お子さんの昼食代 (弁当代含む) 夕食代, おやつ代 (外食含む)」が 19.1%、「お子さんの服・靴」が 29.8%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「授業料・学校納付金 (給食費含む)」が38.7%、「スポーツクラブ・部活動」が18.3%、「お子さんの昼食代 (弁当代含む) 夕食代, おやつ代 (外食含む)」が25.8%、「お子さんの服・靴」が46.2%、「お小遣い」が24.7%、「(お子さんの) 携帯・スマートフォンの代金」が30.1%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】

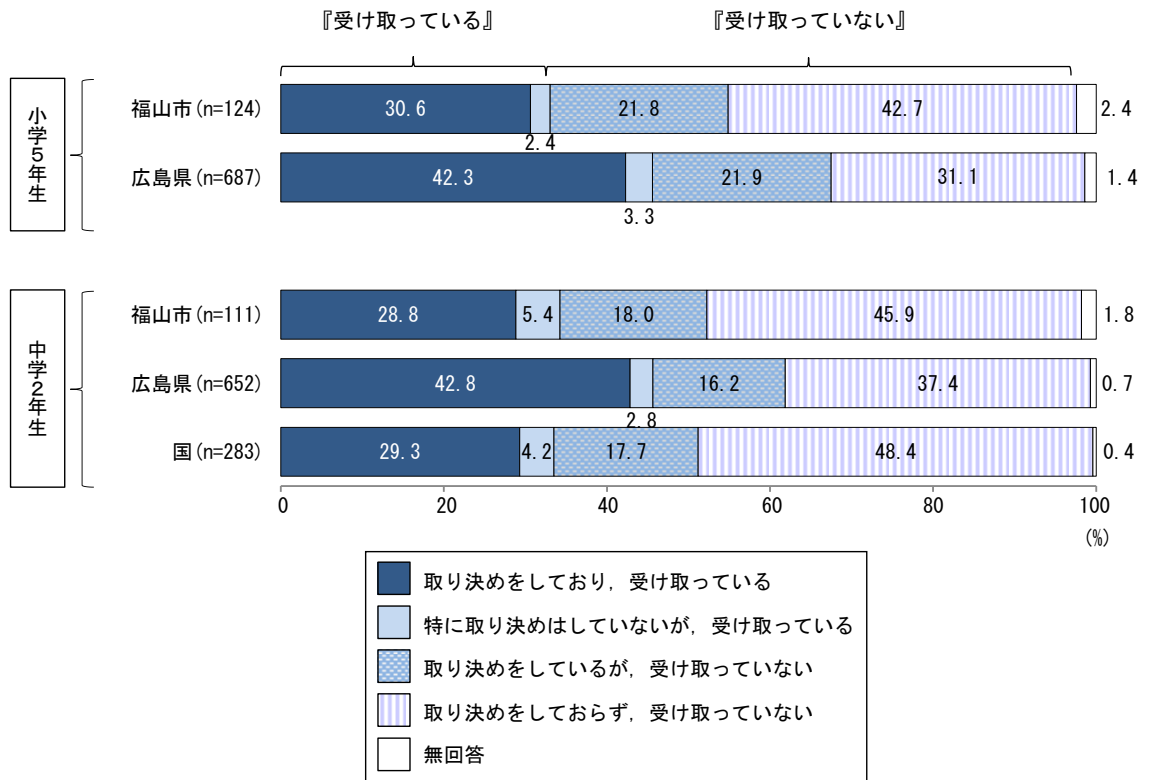


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「授業料・学校納付金 (給食費含む)」が 33.3%、「お子さんの昼食代 (弁当代含む) 夕食代, おやつ代 (外食含む)」が 20.6%、「お子さんの服・靴」が 38.9%、「お小遣い」が 18.3%、「(お子さんの) 携帯・スマートフォンの代金」が 25.4%と高くなっている。

※問6で「2 離婚」を選んだ方に

保護者票問7. 離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(SA)

【全体】



養育費の取り決めについて、小学5年生の保護者「離婚」該当者では、『受け取っている（「取り決めを
しており、養育費を受け取っている」と「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」
を合わせた割合）』が33.0%、『受け取っていない（「養育費の取り決めをしているが、受け取っ
ていない」と「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」を合わせた割合）』が64.5%と
なっている。広島県と比較すると、『受け取っている』は、福山市（33.0%）が広島県（45.6%）を
12.6ポイント下回っている。

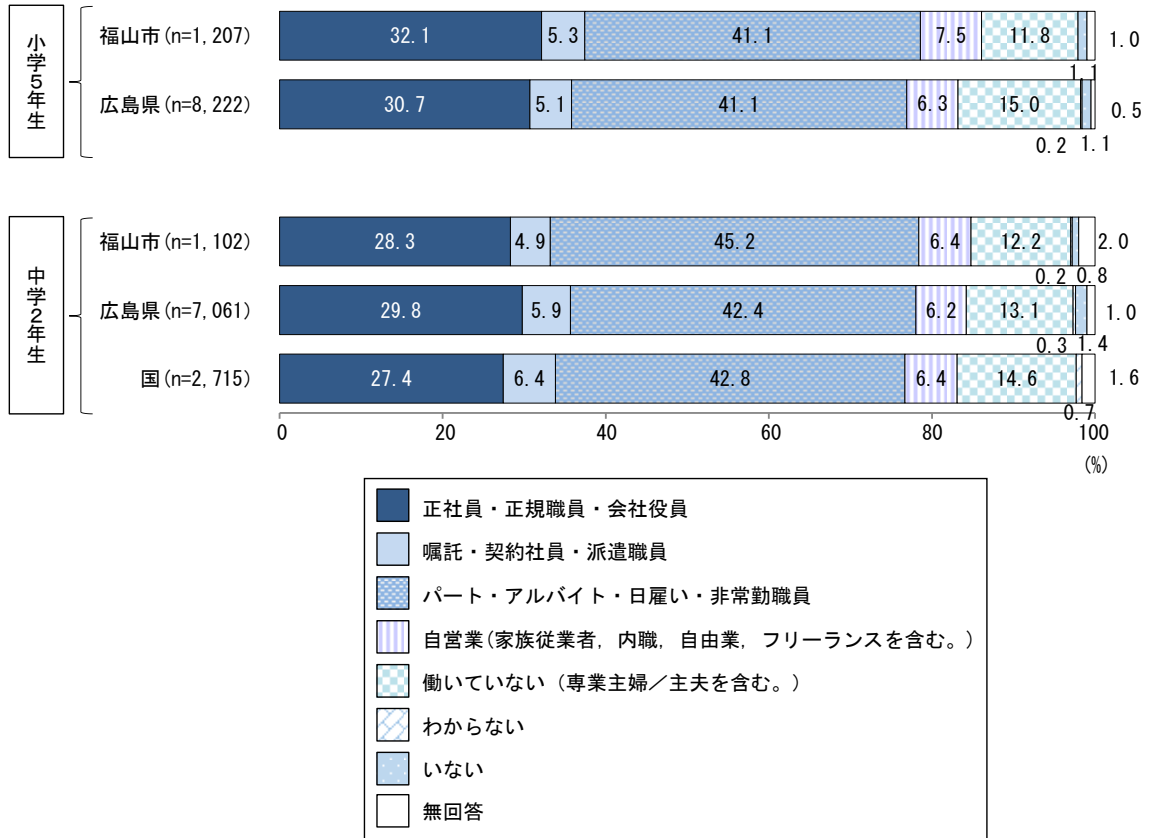
中学2年生の保護者「離婚」該当者では、『受け取っている』が34.2%、『受け取っていない』が
63.9%となっている。広島県と比較すると、『受け取っている』は、福山市（34.2%）が広島県（45.6%）
を11.4ポイント下回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

(2) 就労の状況

保護者票問 10. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(SA)

= 母親の就労状況 =

【全体】

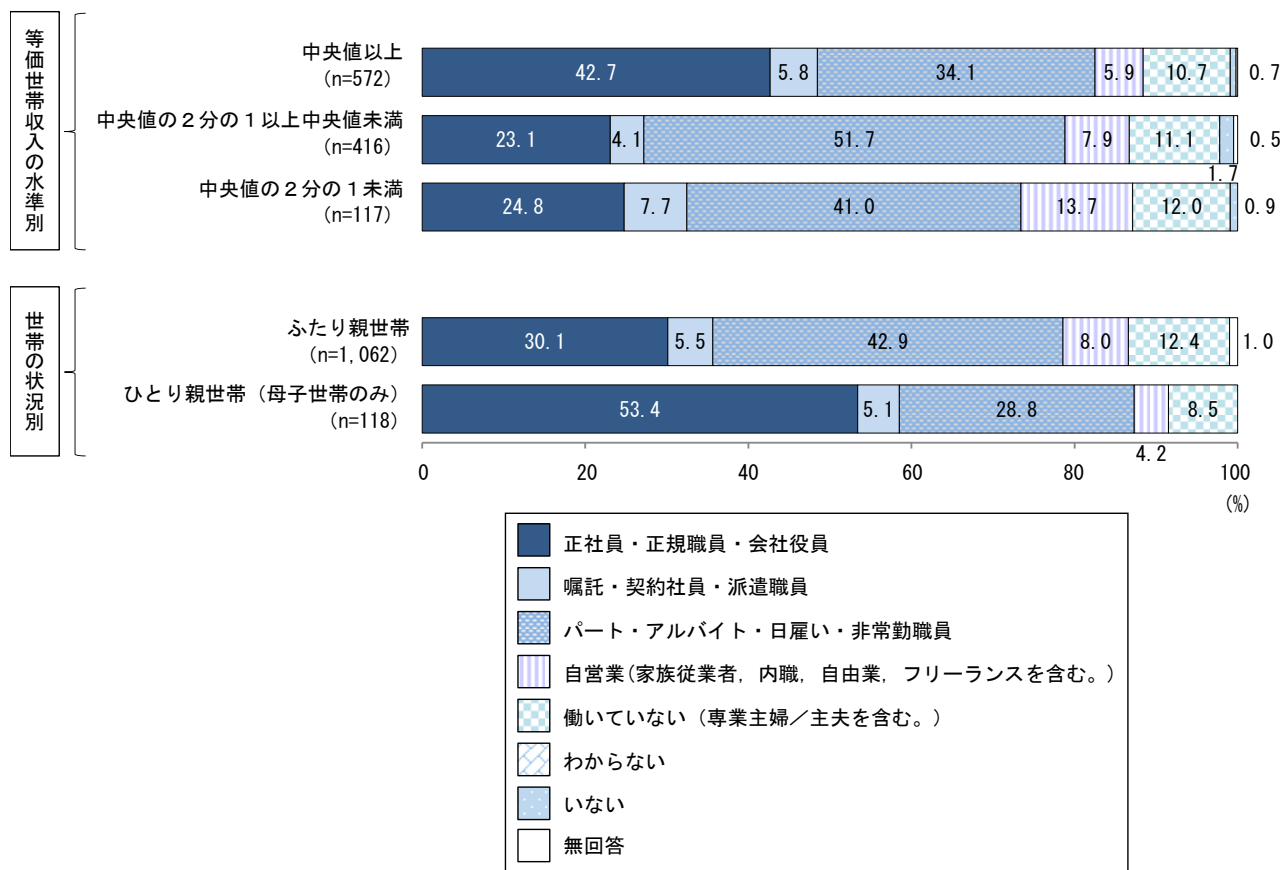


※国調査では「いない、わからない」という選択肢になっている

母親の就労状況について、小学5年生の保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が41.1%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が32.1%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む。)」が11.8%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が45.2%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が28.3%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む。)」が12.2%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

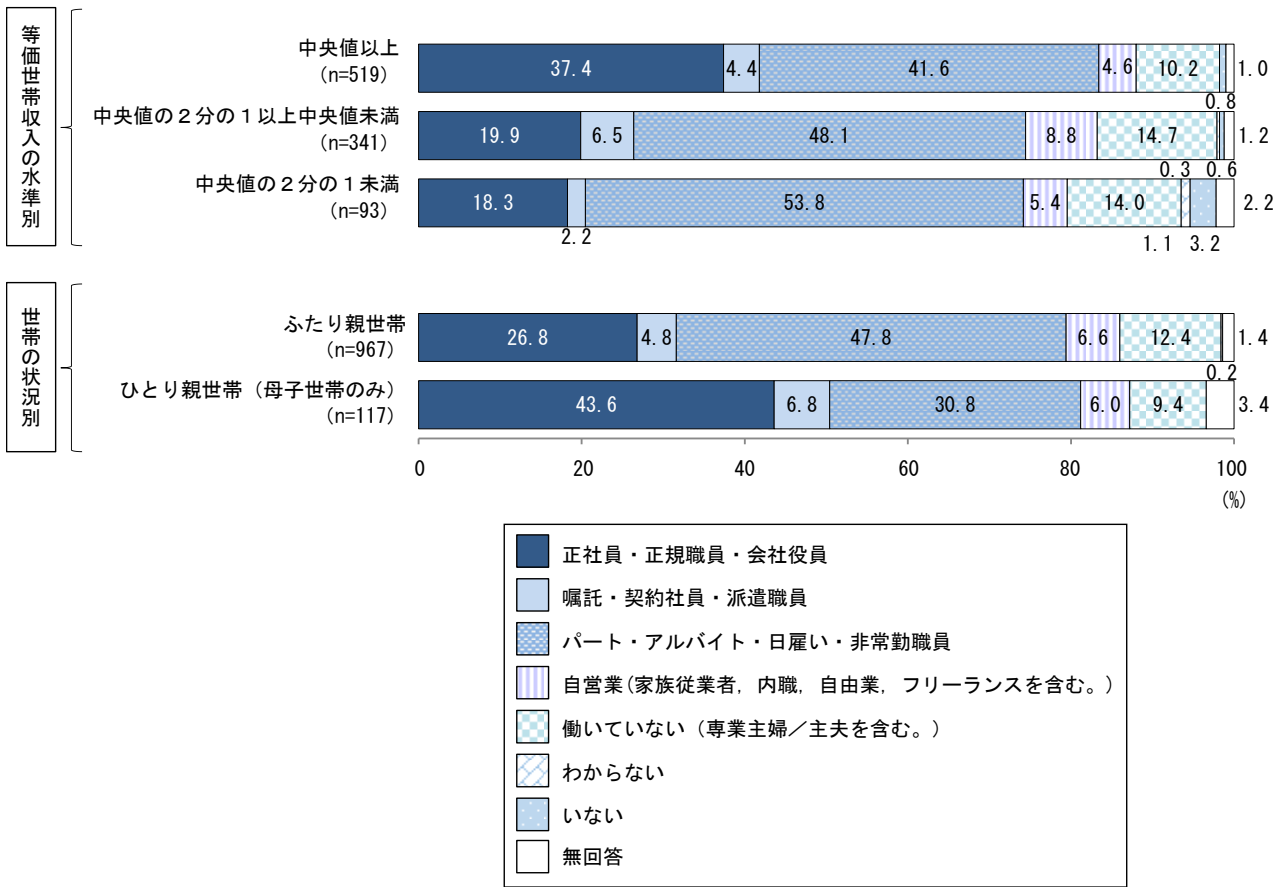
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「中央値以上」では42.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では23.1%、「中央値の2分の1未満」では24.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では30.1%、「母子世帯のみ」では53.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

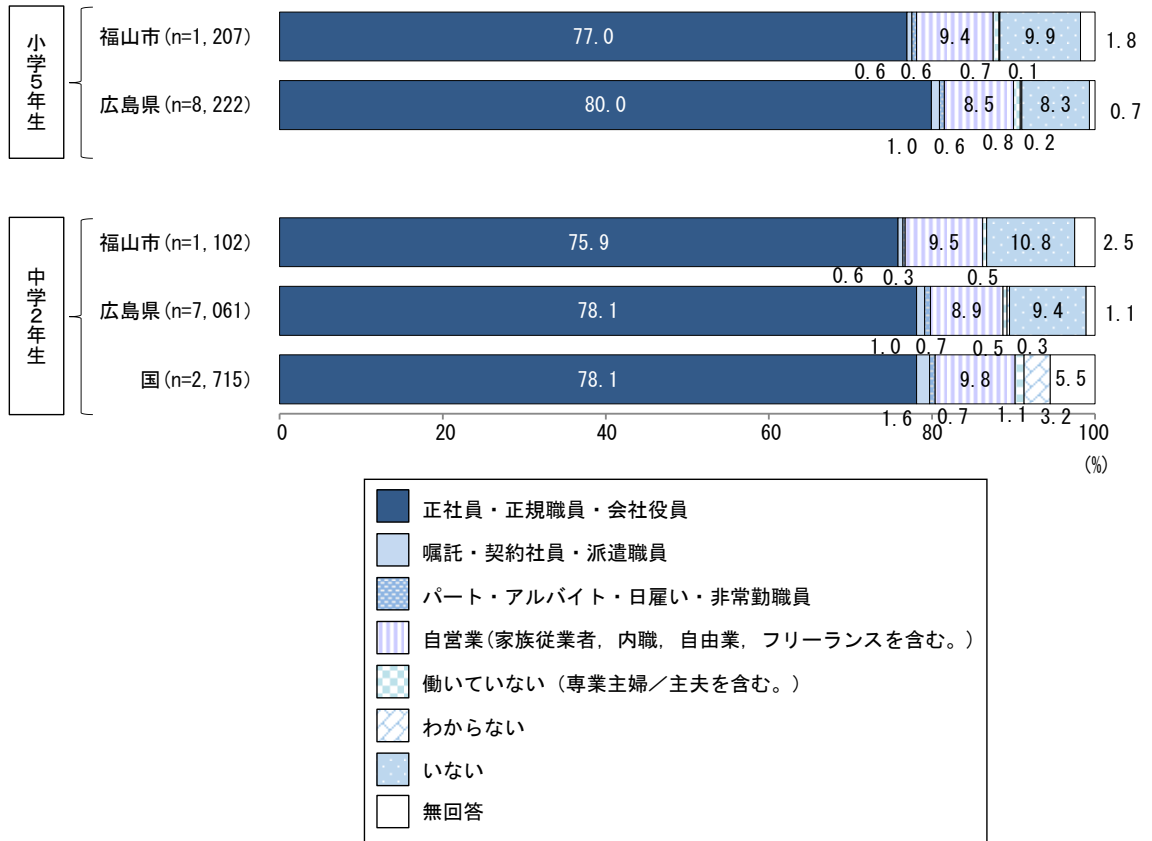


等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「中央値以上」では37.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では19.9%、「中央値の2分の1未満」では18.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では26.8%、「母子世帯のみ」では43.6%となっている。

= 父親の就労状況 =

【全体】

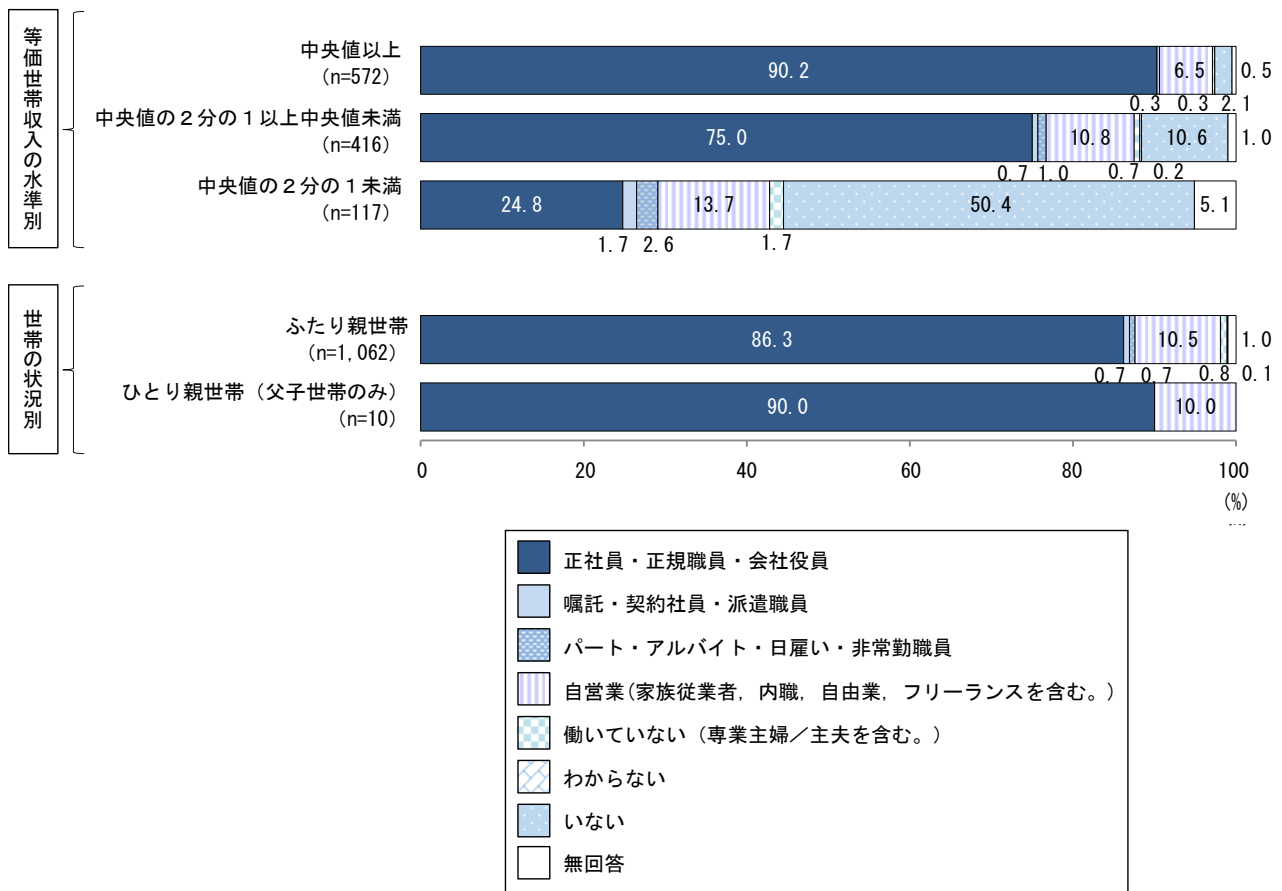


※国調査では「いない、わからない」という選択肢になっている

父親の就労状況について、小学5年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が77.0%と最も高く、次いで「いない」が9.9%、「自営業(家族従業者, 内職, 自由業, フリーランスを含む。)」が9.4%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が75.9%と最も高く、次いで「いない」が10.8%、「自営業(家族従業者, 内職, 自由業, フリーランスを含む。)」が9.5%などの順となっている。広島県, 国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

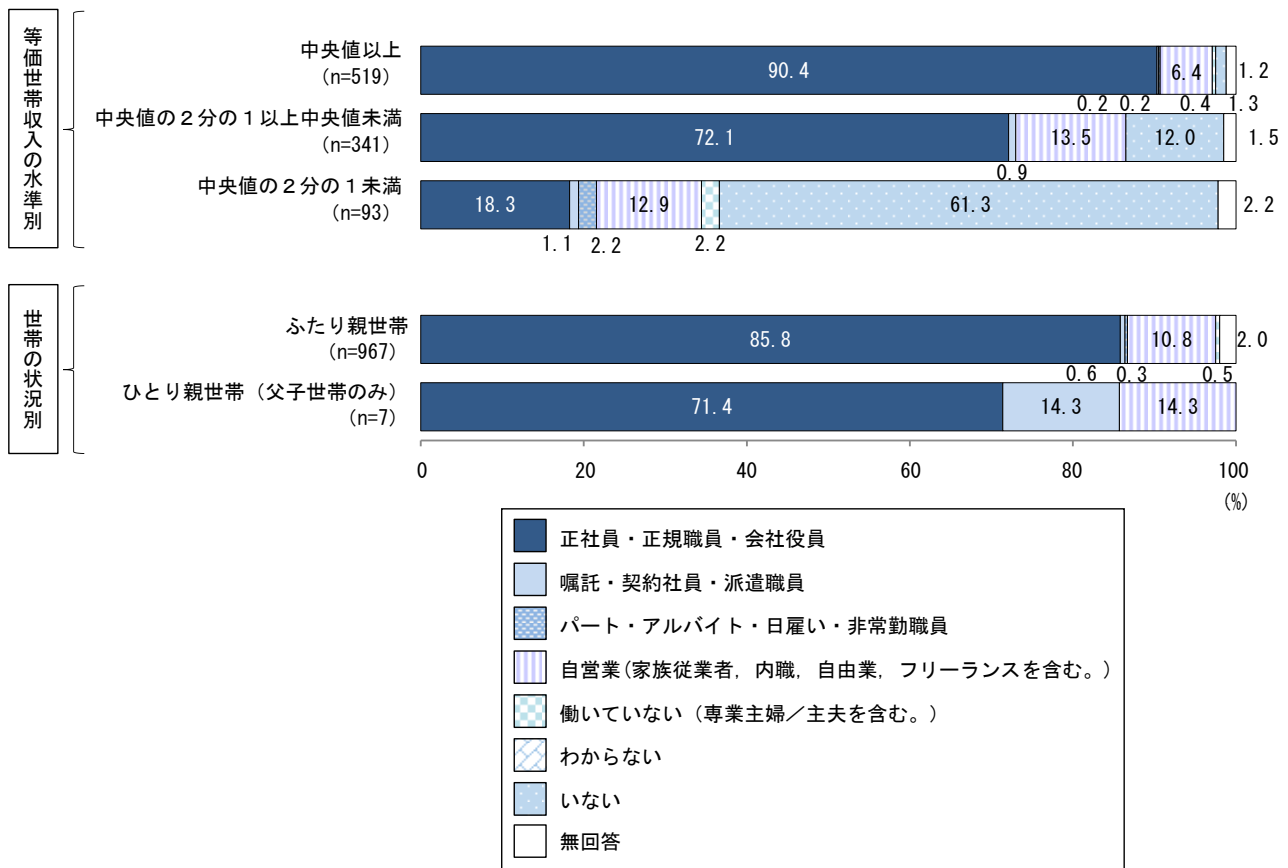
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「中央値以上」では90.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では75.0%、「中央値の2分の1未満」では24.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では86.3%、「父子世帯のみ」では90.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「中央値以上」では90.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では72.1%、「中央値の2分の1未満」では18.3%となっている。

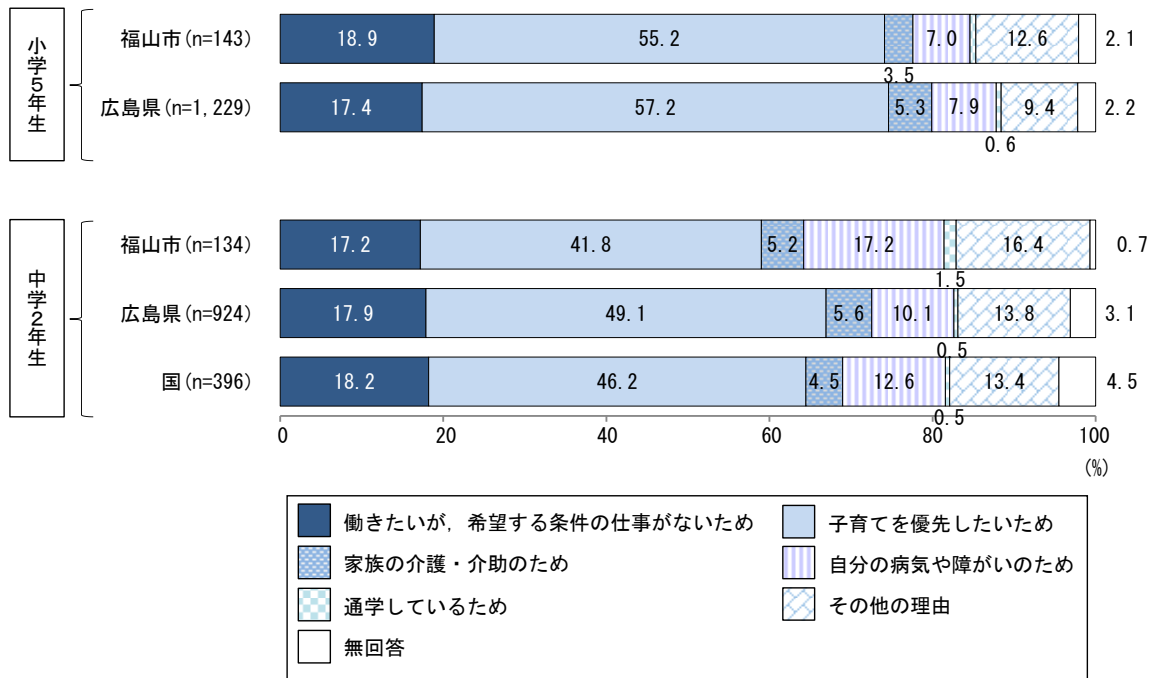
世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では85.8%、「父子世帯のみ」では71.4%となっている。

※問 10 で「5 働いていない」と答えた方に

保護者票問 11. 働いていない最も主な理由を教えてください。(SA)

= 母親が働いていない理由 =

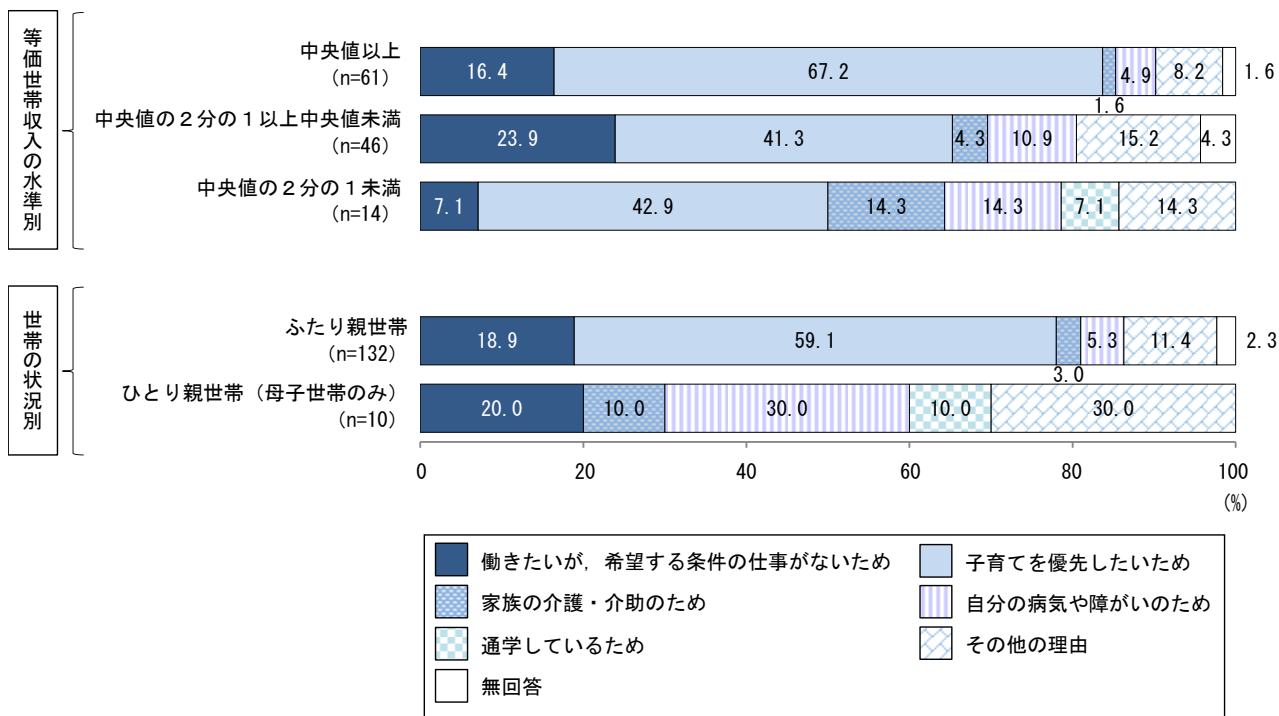
【全体】



母親が働いていない理由について、小学5年生の保護者では、「子育てを優先したいため」が55.2%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が18.9%、「その他の理由」が12.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「子育てを優先したいため」が41.8%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「自分の病気や障がいのため」がともに17.2%、「その他の理由」が16.4%などの順となっている。広島県と比較すると、「子育てを優先したいため」は、福山市(41.8%)が広島県(49.1%)を7.3ポイント下回っており、「自分の病気や障がいのため」は、福山市(17.2%)が広島県(10.1%)を7.1ポイント上回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

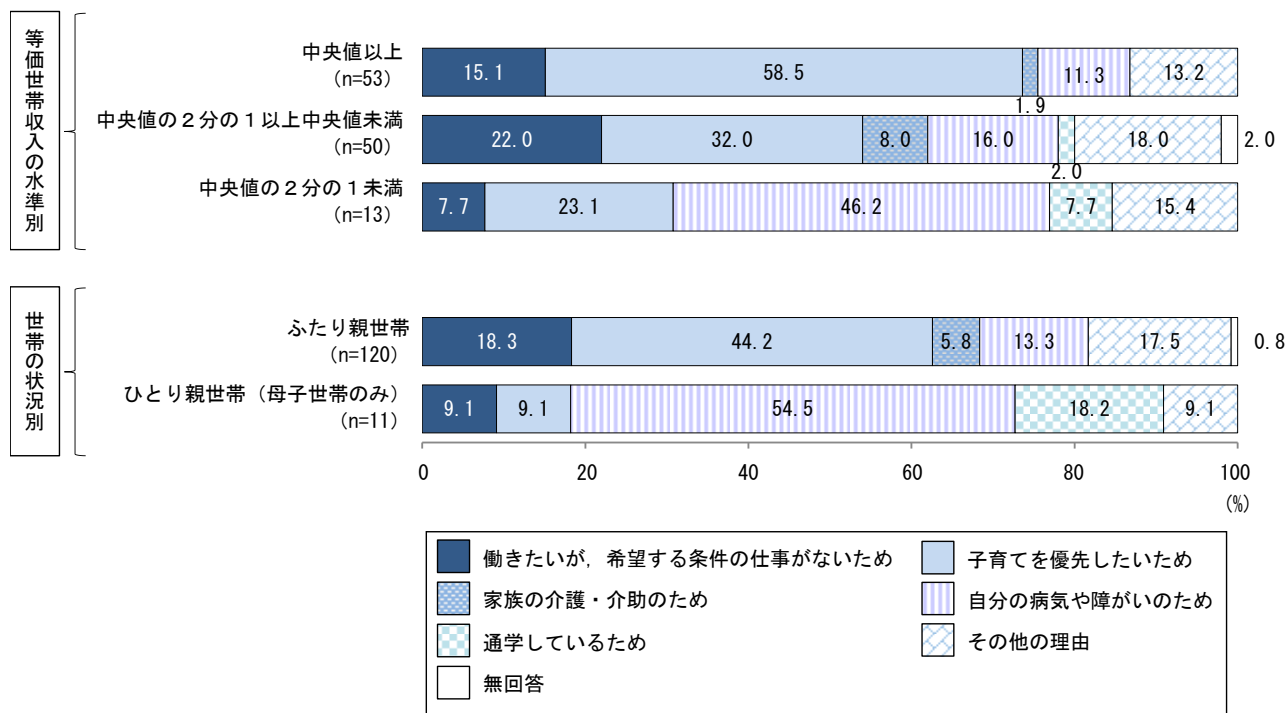
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「自分の病気や障がいのため」は、「中央値以上」では4.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では10.9%、「中央値の2分の1未満」では14.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「自分の病気や障がいのため」は、「ふたり親世帯」では5.3%、「母子世帯のみ」では30.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

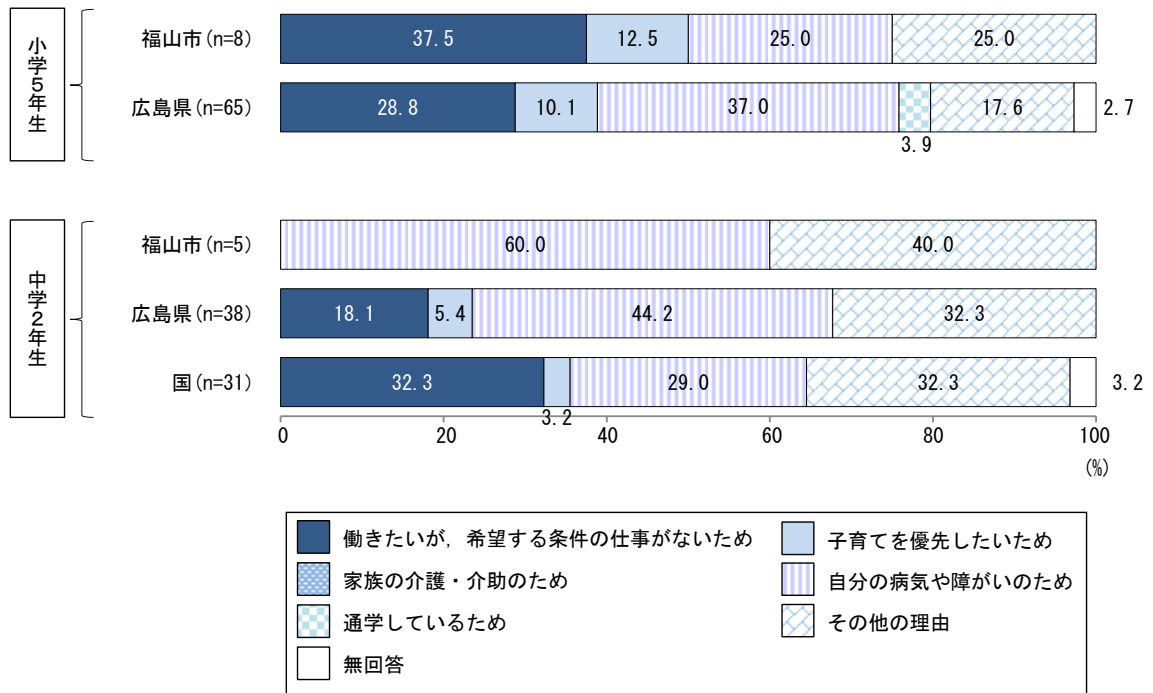


等価世帯収入の水準別にみると、「自分の病気や障がいのため」は、「中央値以上」では11.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では16.0%、「中央値の2分の1未満」では46.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「自分の病気や障がいのため」は、「ふたり親世帯」では13.3%、「母子世帯のみ」では54.5%となっている。

= 父親が働いていない理由 =

【全体】



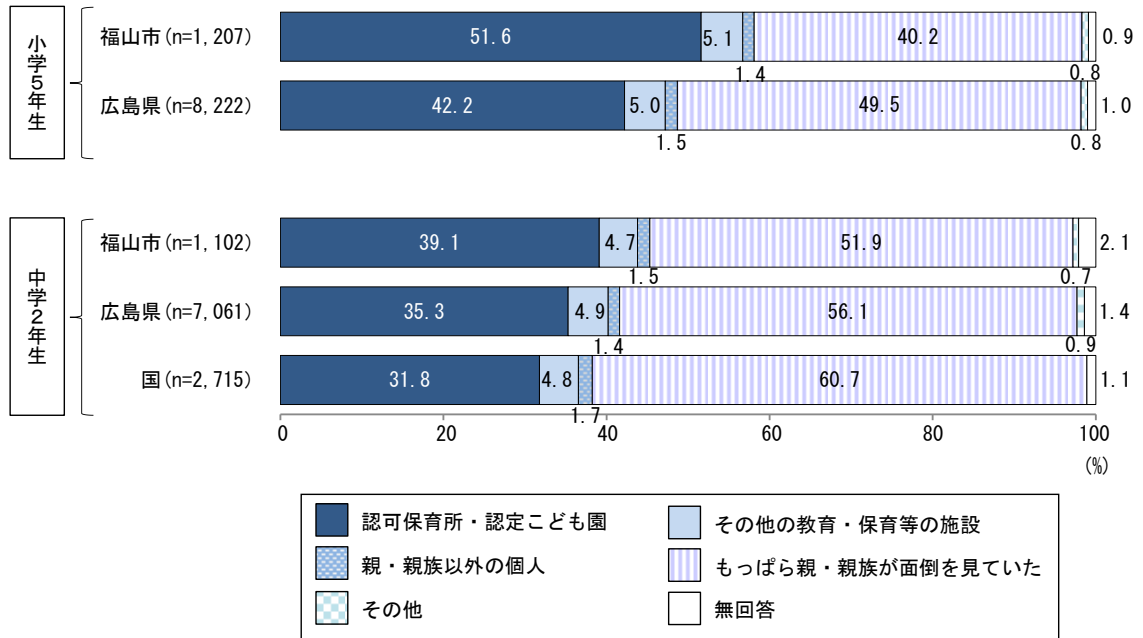
父親が働いていない理由について、小学5年生の保護者では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が37.5%と最も高く、次いで「自分の病気や障がいのため」、「その他の理由」がともに25.0%などの順となっている。広島県と比較すると、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」は、福山市(37.5%)が広島県(28.8%)を8.7ポイント、「その他の理由」は、福山市(25.0%)が広島県(17.6%)を7.4ポイント上回っており、「自分の病気や障がいのため」は、福山市(25.0%)が広島県(37.0%)を12.0ポイント下回っている。

中学2年生の保護者では、「自分の病気や障がいのため」が60.0%と最も高く、次いで「その他の理由」が40.0%となっている。広島県と比較すると、「自分の病気や障がいのため」は、福山市(60.0%)が広島県(44.2%)を15.8ポイント、「その他の理由」は、福山市(40.0%)が広島県(32.3%)を7.7ポイント上回っている。国と比較すると、「自分の病気や障がいのため」は、福山市(60.0%)が国(29.0%)を31.0ポイント、「その他の理由」は、福山市(40.0%)が国(32.3%)を7.7ポイント上回っている。

(3) 保育の状況

保護者票問 12. お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。(SA)

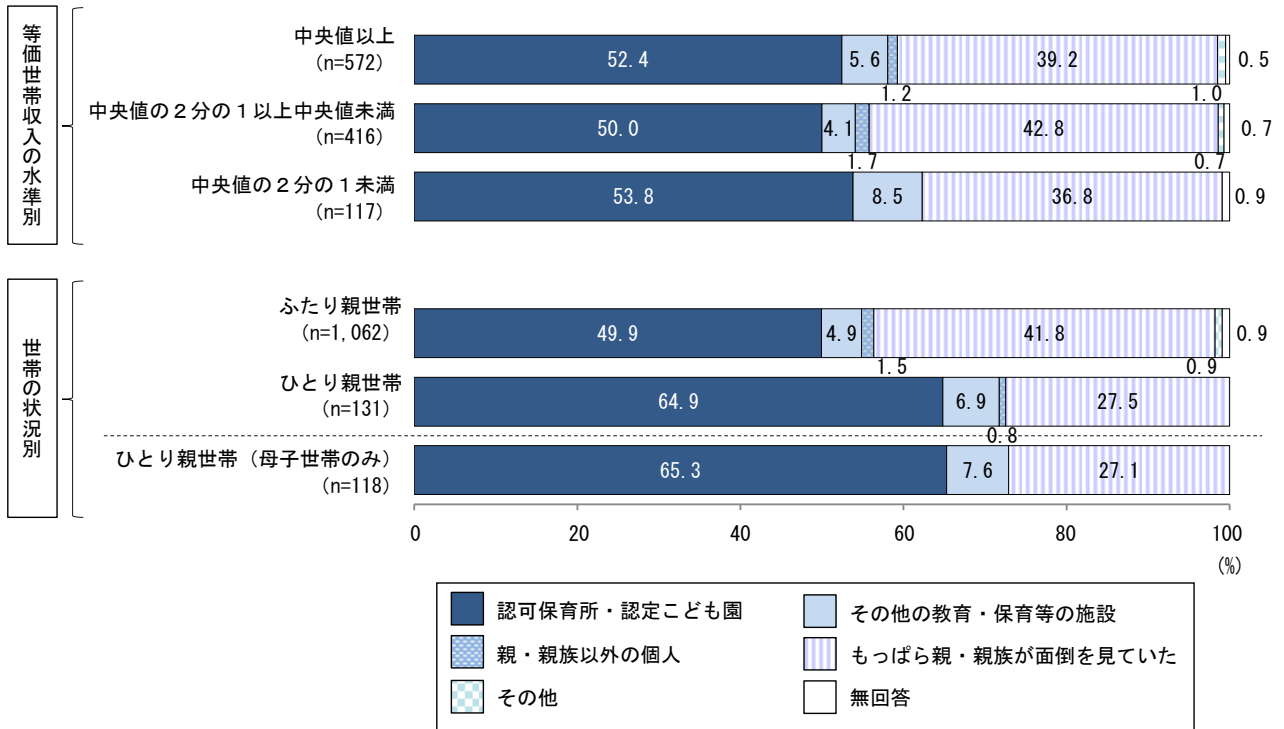
【全体】



子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等について、小学5年生の保護者では、「認可保育所・認定こども園」が51.6%と最も高く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が40.2%などの順となっている。広島県と比較すると、「認可保育所・認定こども園」は、福山市（51.6%）が広島県（42.2%）を9.4ポイント上回っており、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」は、福山市（40.2%）が広島県（49.5%）を9.3ポイント下回っている。

中学2年生の保護者では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が51.9%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」が39.1%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」は、福山市（51.9%）が国（60.7%）を8.8ポイント下回っており、「認可保育所・認定こども園」は、福山市（39.1%）が国（31.8%）を7.3ポイント上回っている。

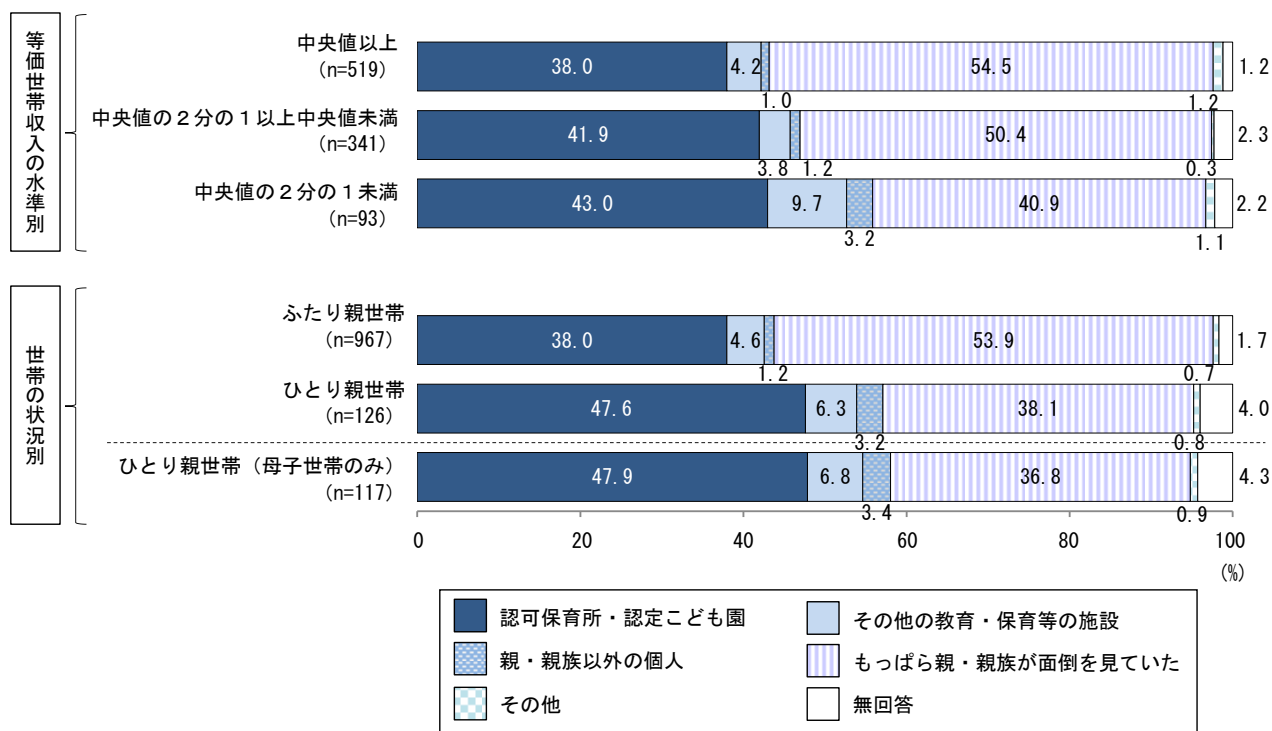
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」は、「中央値以上」では39.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では42.8%、「中央値の2分の1未満」では36.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」は、「ふたり親世帯」では41.8%、「ひとり親世帯全体」では27.5%、「母子世帯のみ」では27.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

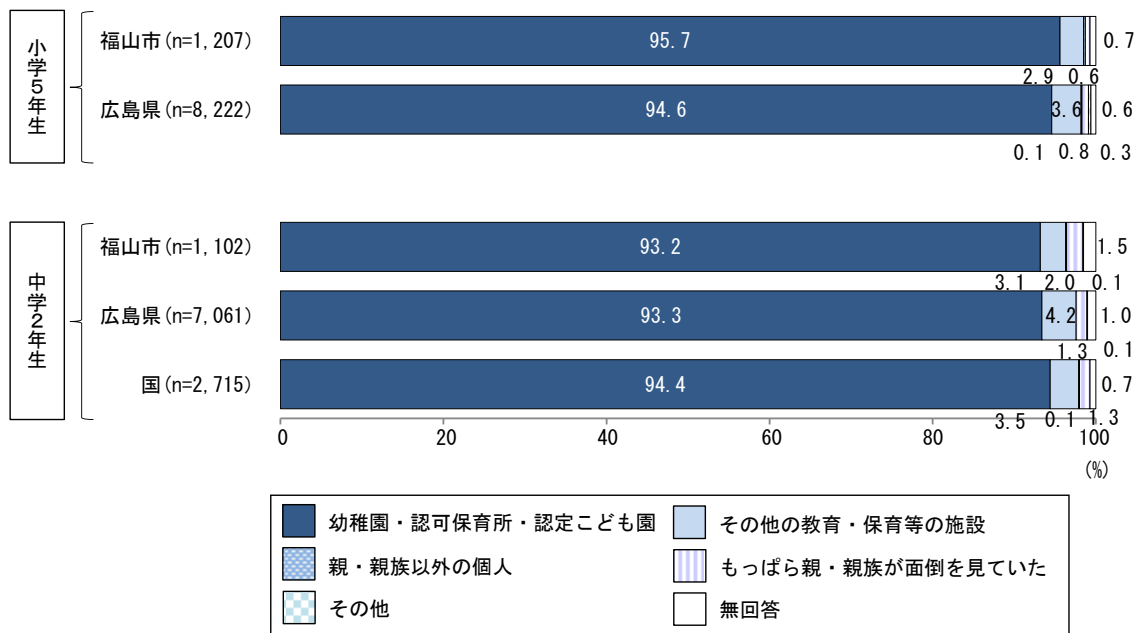


等価世帯収入の水準別にみると、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」は、「中央値以上」では54.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では50.4%、「中央値の2分の1未満」では40.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」は、「ふたり親世帯」では53.9%、「ひとり親世帯全体」では38.1%、「母子世帯のみ」では36.8%となっている。

保護者票問 13. お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（SA）

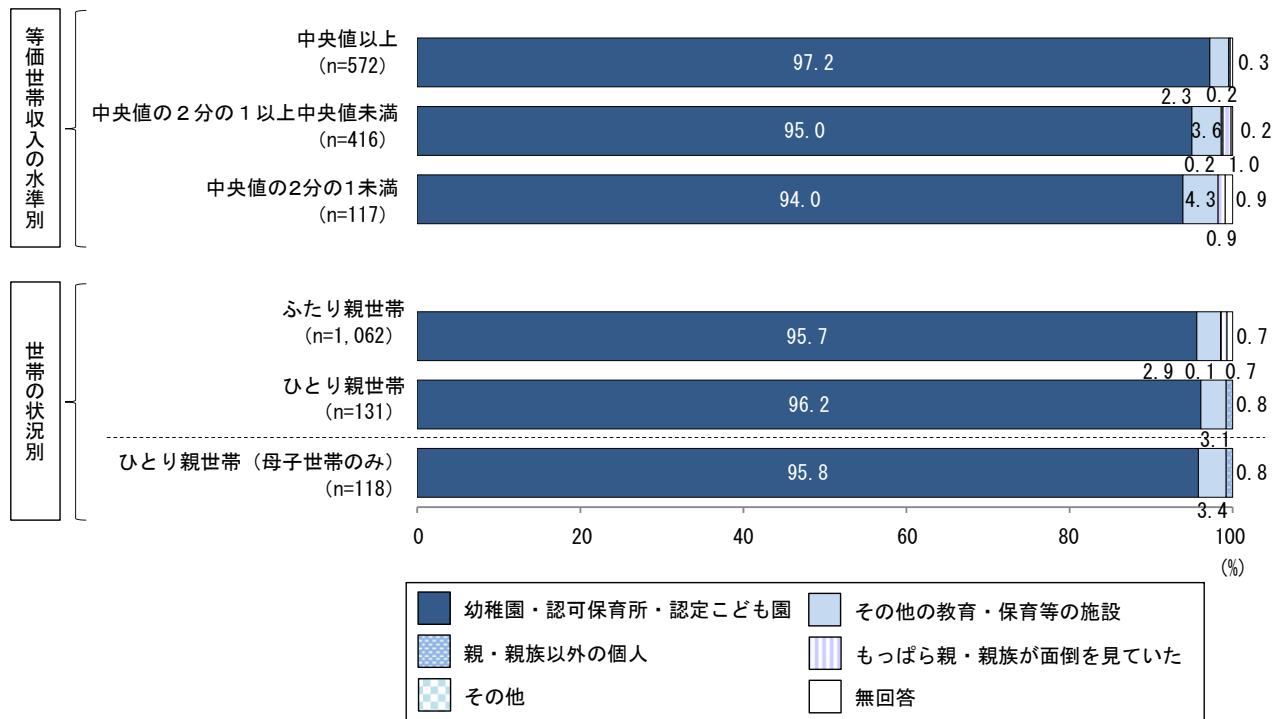
【全体】



子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等について、小学5年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が95.7%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が2.9%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が93.2%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が3.1%などの順となっている。広島県，国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

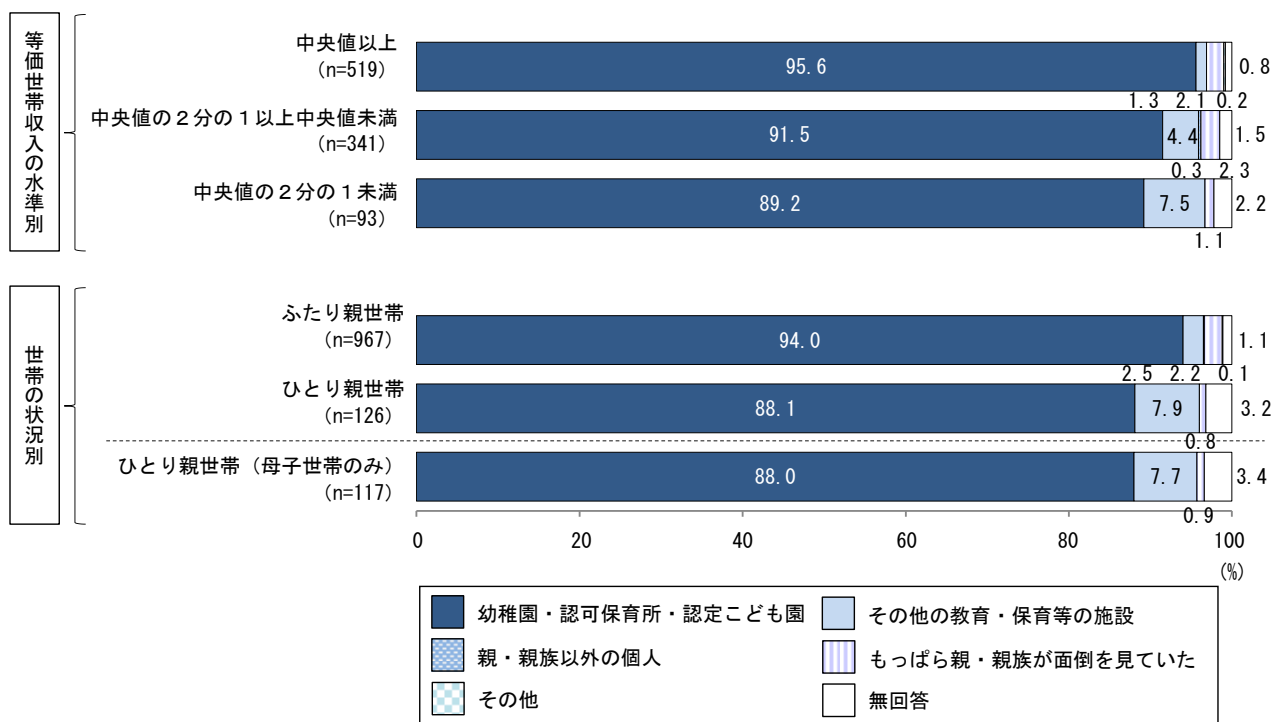
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は、「中央値以上」では97.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では95.0%、「中央値の2分の1未満」では94.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は、「ふたり親世帯」では95.7%、「ひとり親世帯全体」では96.2%、「母子世帯のみ」では95.8%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は、「中央値以上」では95.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では91.5%、「中央値の2分の1未満」では89.2%となっている。

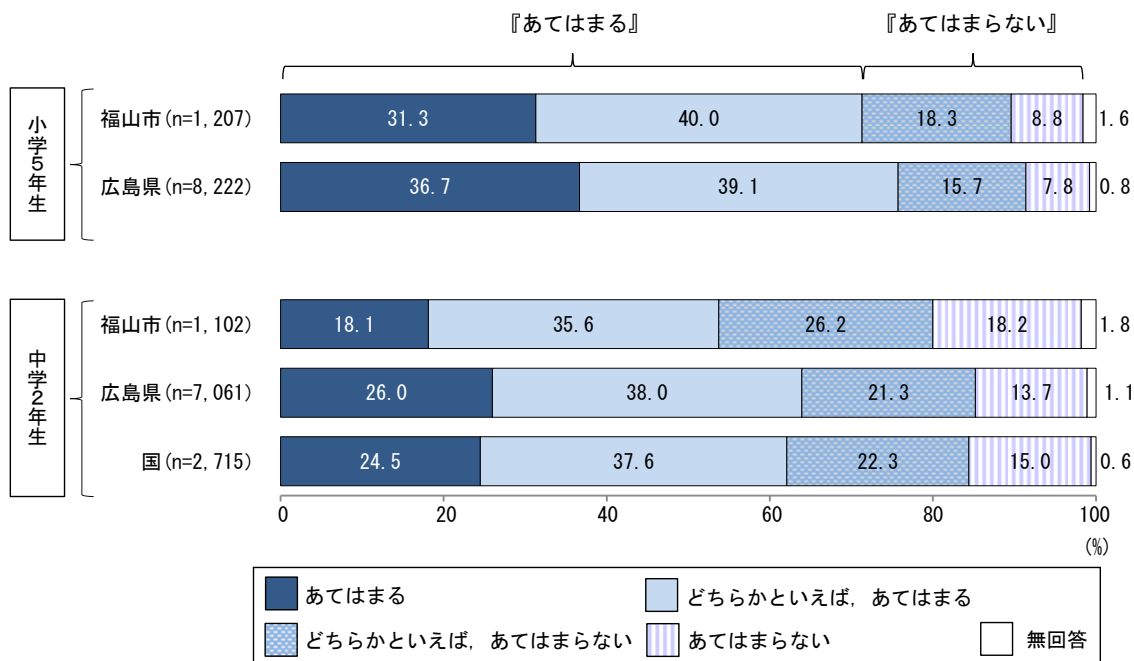
世帯の状況別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は、「ふたり親世帯」では94.0%、「ひとり親世帯全体」では88.1%、「母子世帯のみ」では88.0%となっている。

(4) 子どもとの関わり方

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(SA)

= a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている =

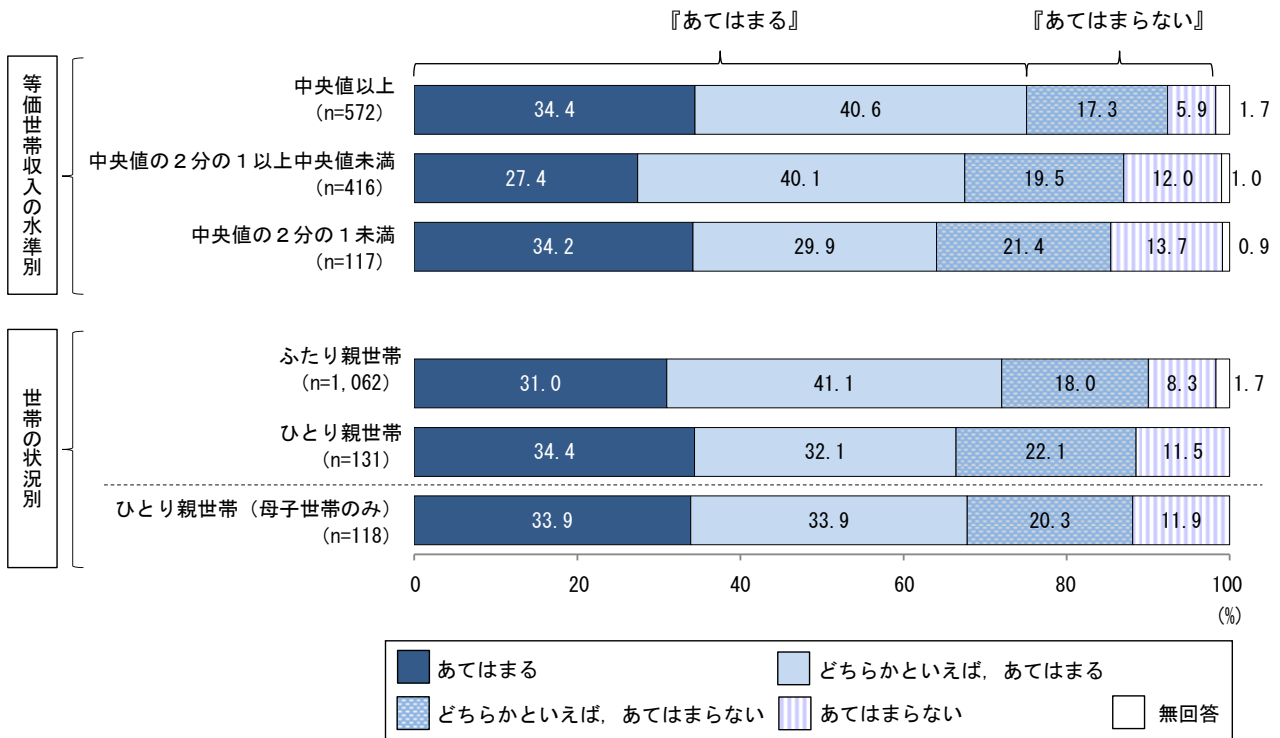
【全体】



テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合）が71.3%、『あてはまらない（「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合）が27.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が53.7%、『あてはまらない』が44.4%となっている。広島県と比較すると、『あてはまる』は、福山市（53.7%）が広島県（64.0%）を10.3ポイント下回っている。国と比較すると、『あてはまる』は、福山市（53.7%）が国（62.1%）を8.4ポイント下回っている。

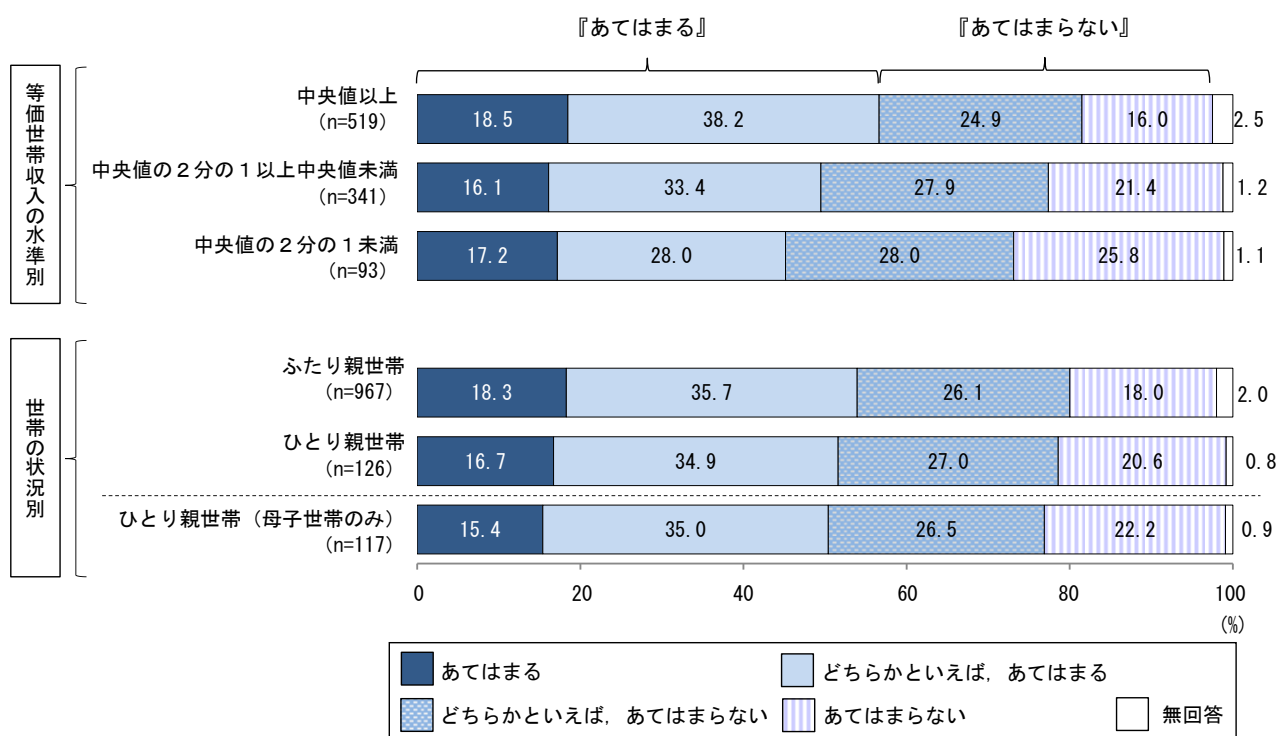
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では23.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では31.5%、「中央値の2分の1未満」では35.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では26.3%、「ひとり親世帯全体」では33.6%、「母子世帯のみ」では32.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

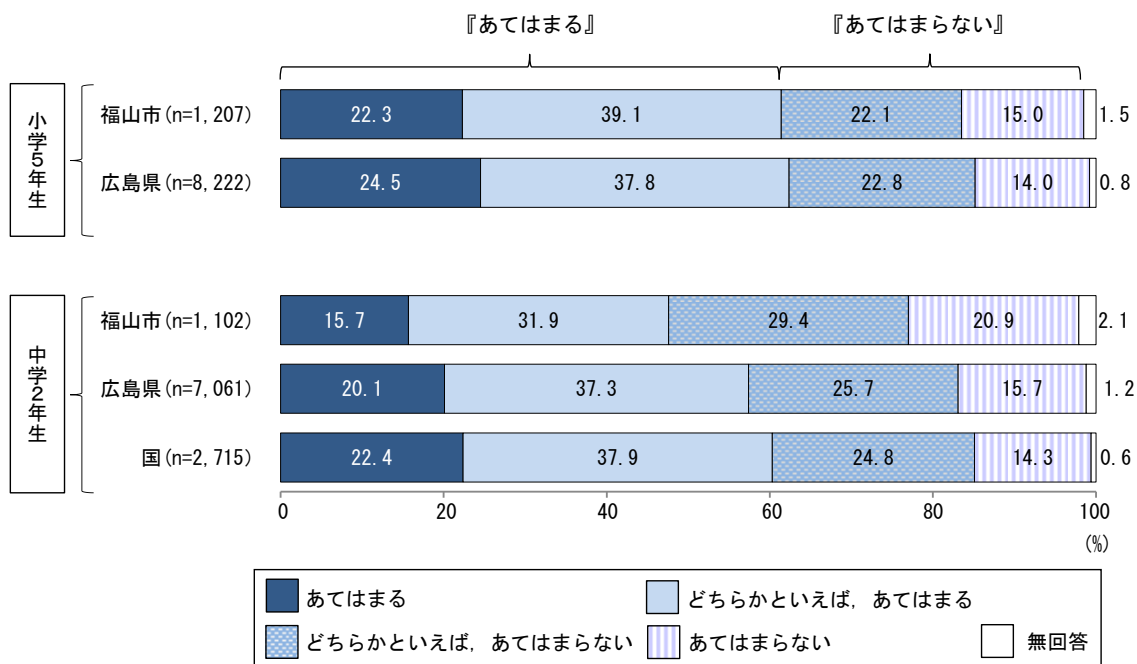


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では40.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では49.3%、「中央値の2分の1未満」では53.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では44.1%、「ひとり親世帯全体」では47.6%、「母子世帯のみ」では48.7%となっている。

= b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている =

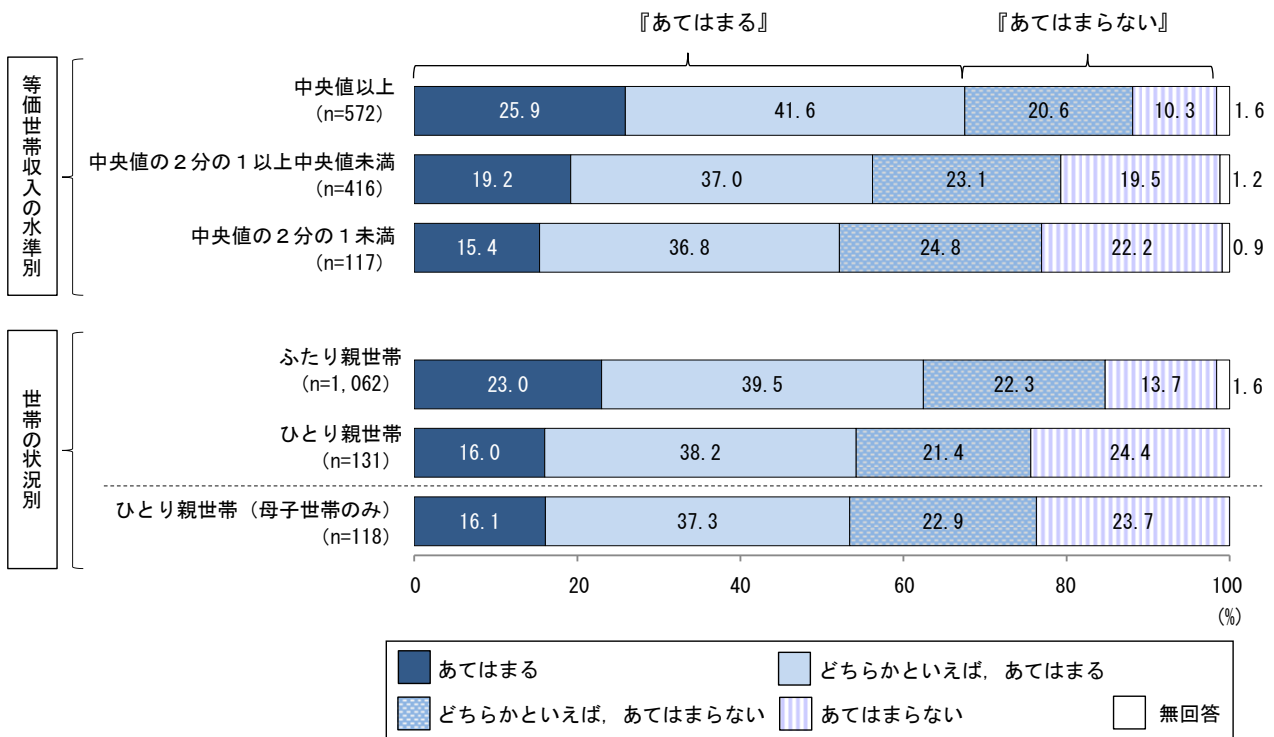
【全体】



子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が 61.4%、『あてはまらない』が 37.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が 47.6%、『あてはまらない』が 50.3%となっている。広島県と比較すると、『あてはまる』は、福山市 (47.6%) が広島県 (57.4%) を 9.8 ポイント下回っている。国と比較すると、『あてはまる』は、福山市 (47.6%) が国 (60.3%) を 12.7 ポイント下回っている。

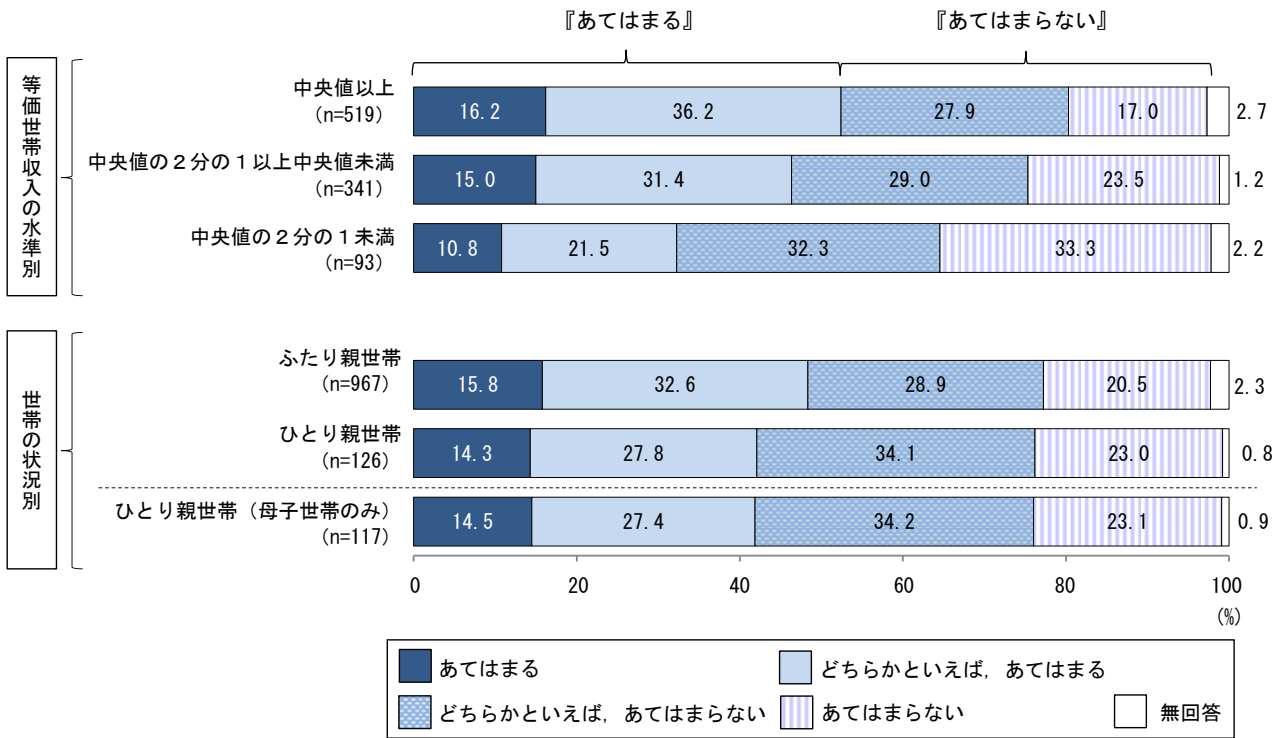
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では30.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では42.6%、「中央値の2分の1未満」では47.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では36.0%、「ひとり親世帯全体」では45.8%、「母子世帯のみ」では46.6%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

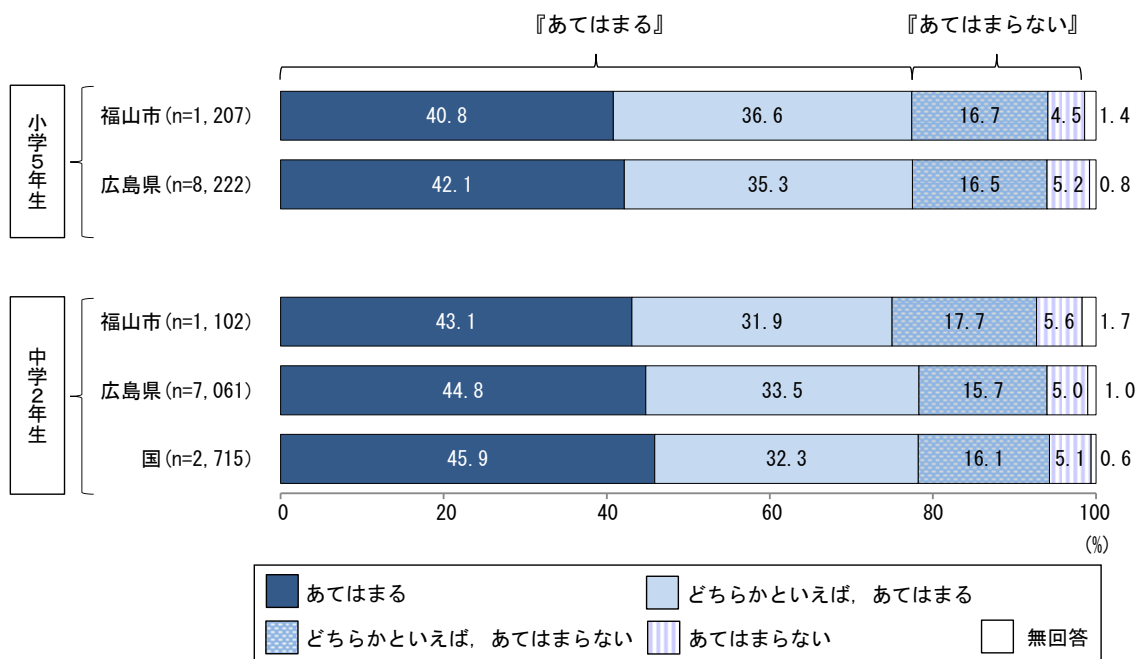


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では44.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では52.5%、「中央値の2分の1未満」では65.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では49.4%、「ひとり親世帯全体」では57.1%、「母子世帯のみ」では57.3%となっている。

= c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた =

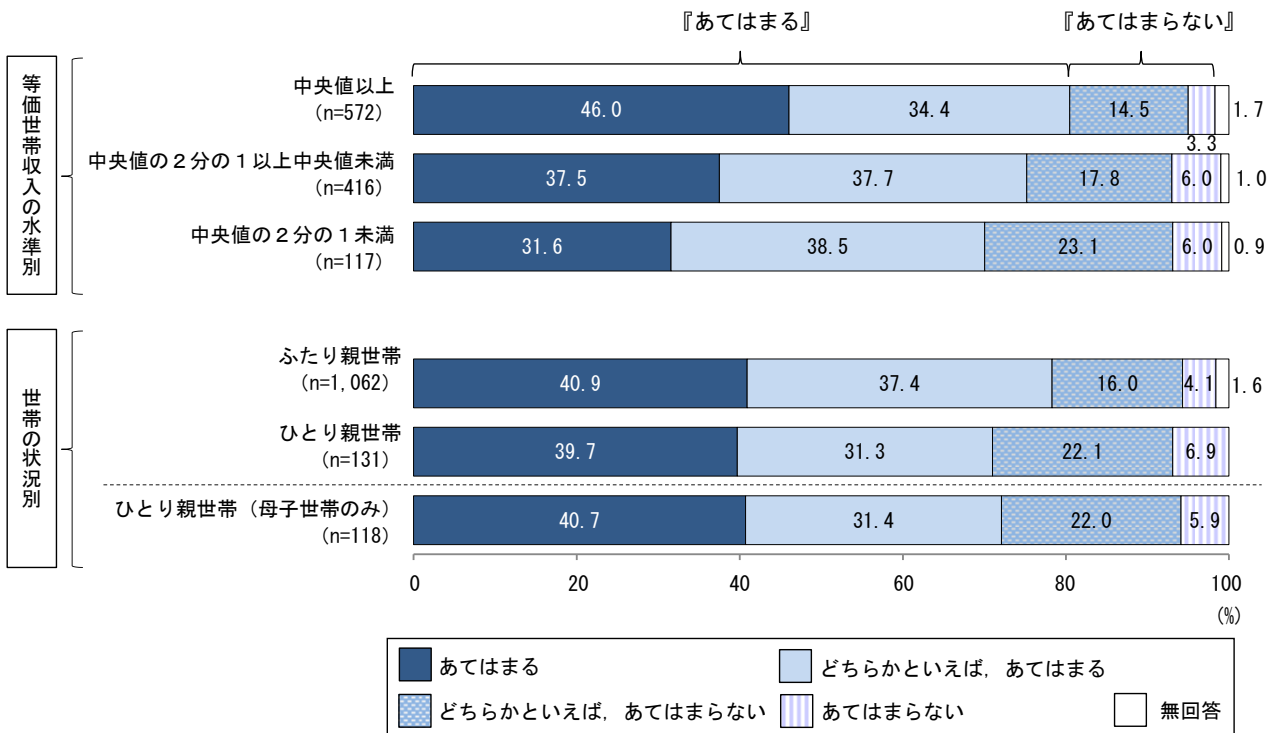
【全体】



子どもが小さいころに絵本の読み聞かせをしていたかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が77.4%、『あてはまらない』が21.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が75.0%、『あてはまらない』が23.3%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

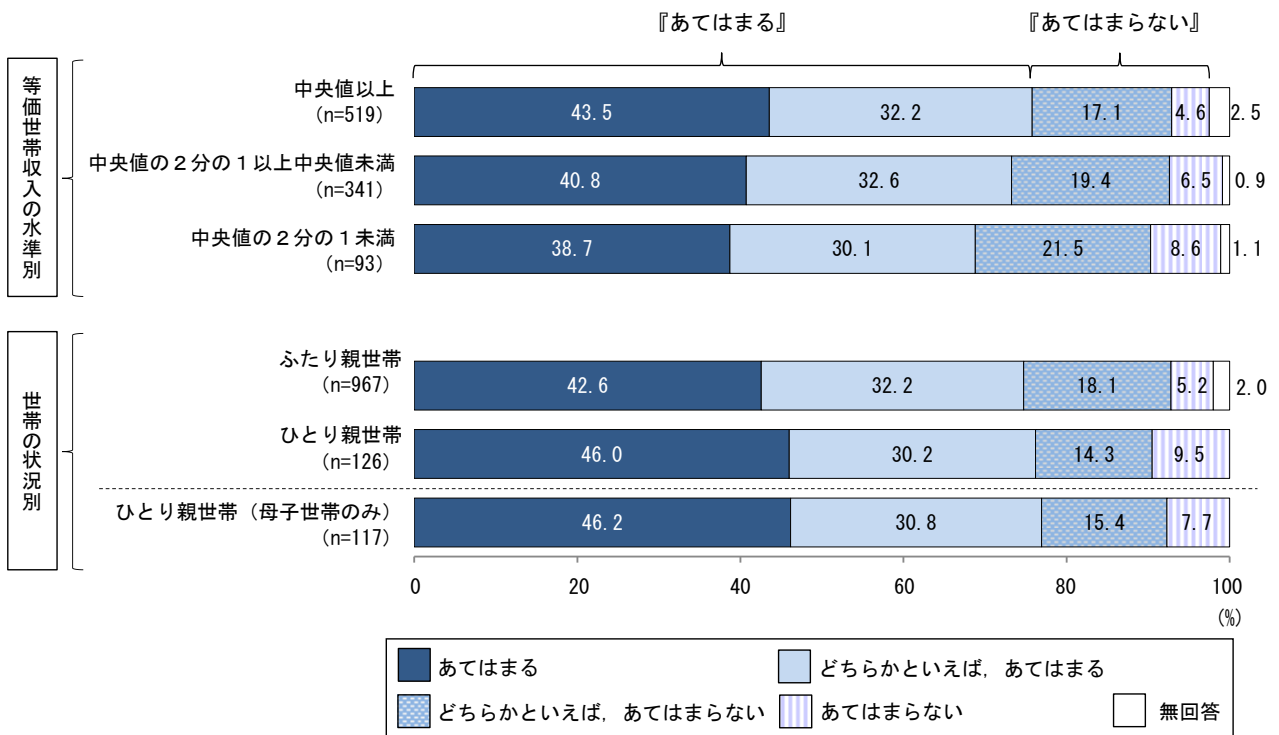
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では17.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では23.8%、「中央値の2分の1未満」では29.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では20.1%、「ひとり親世帯全体」では29.0%、「母子世帯のみ」では27.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

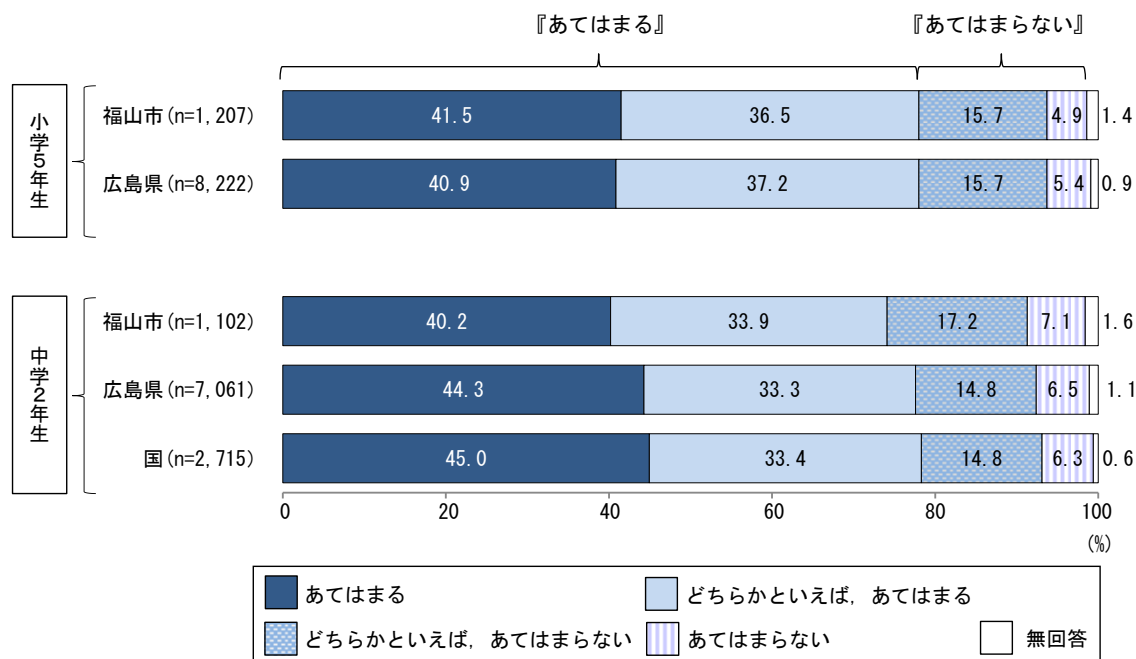


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では21.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では25.9%、「中央値の2分の1未満」では30.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では23.3%、「ひとり親世帯全体」では23.8%、「母子世帯のみ」では23.1%となっている。

= d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる =

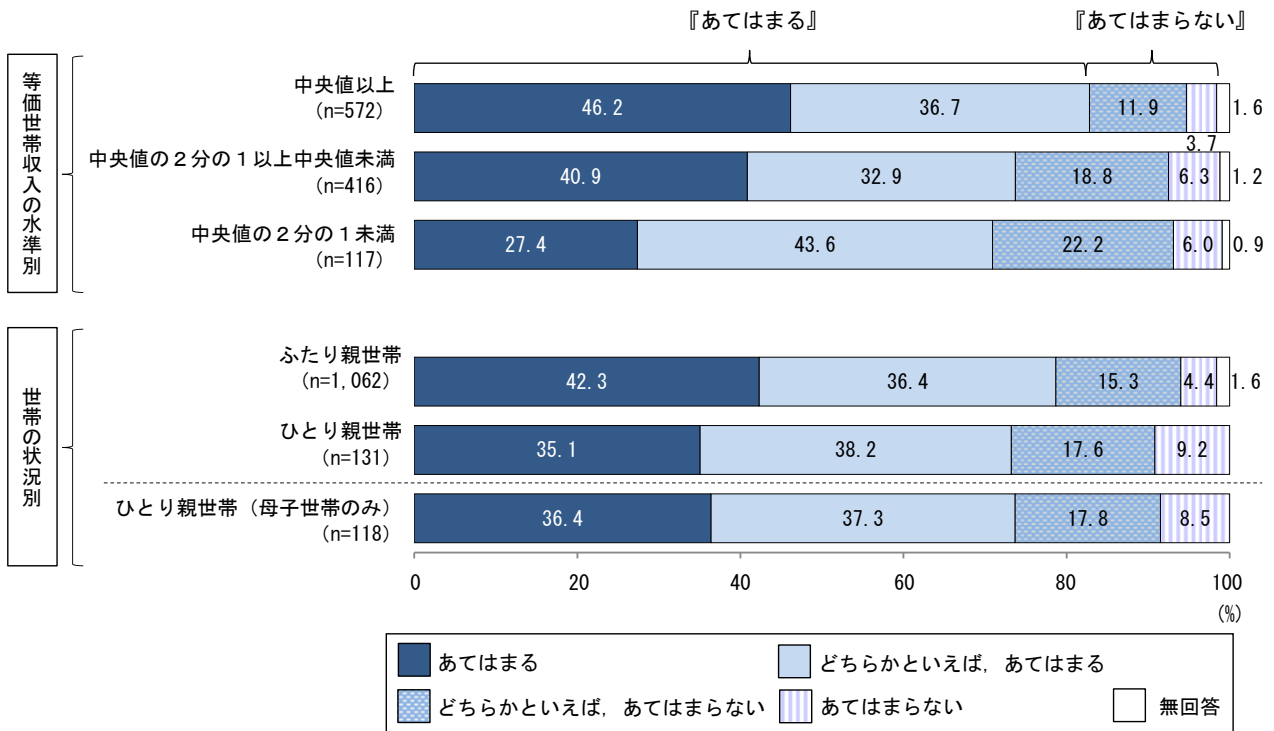
【全体】



子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が78.0%、『あてはまらない』が20.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が74.1%、『あてはまらない』が24.3%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

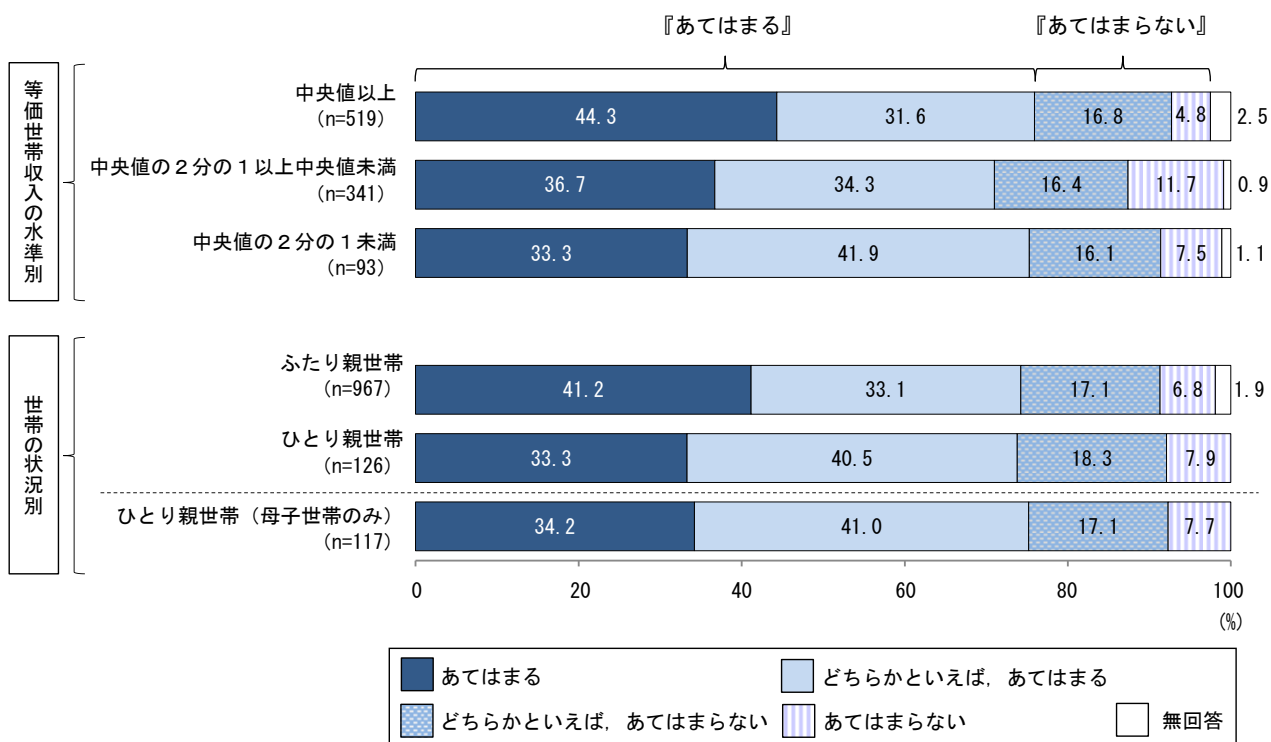
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では15.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では25.1%、「中央値の2分の1未満」では28.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では19.7%、「ひとり親世帯全体」では26.8%、「母子世帯のみ」では26.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

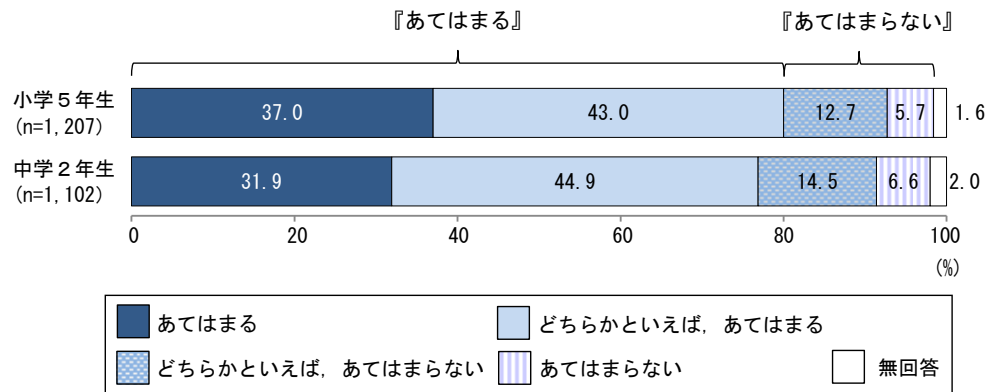


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では21.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では28.1%、「中央値の2分の1未満」では23.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では23.9%、「ひとり親世帯全体」では26.2%、「母子世帯のみ」では24.8%となっている。

= e) SNS やインターネット上のトラブルにまきこまれないようなルールを決めている =

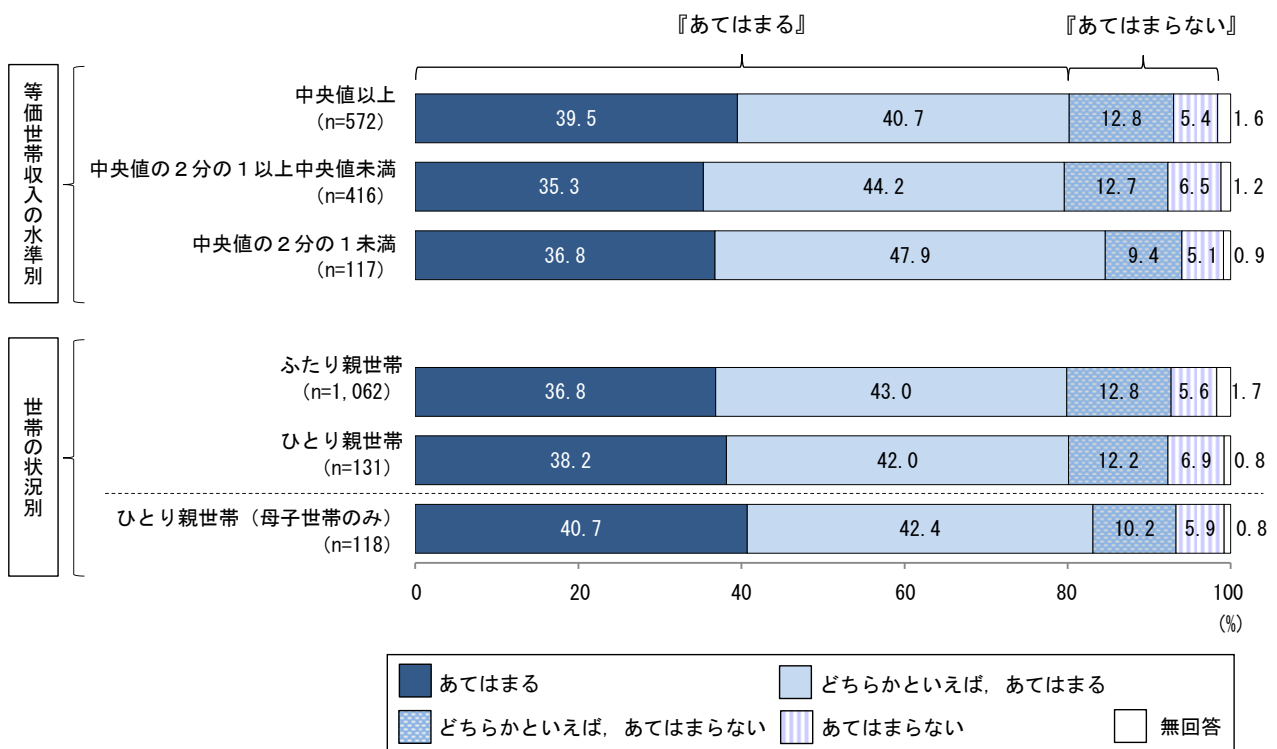
【全体】



SNS やインターネット上のトラブルにまきこまれないようなルールを決めているかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が80.0%、『あてはまらない』が18.4%となっている。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が76.8%、『あてはまらない』が21.1%となっている。

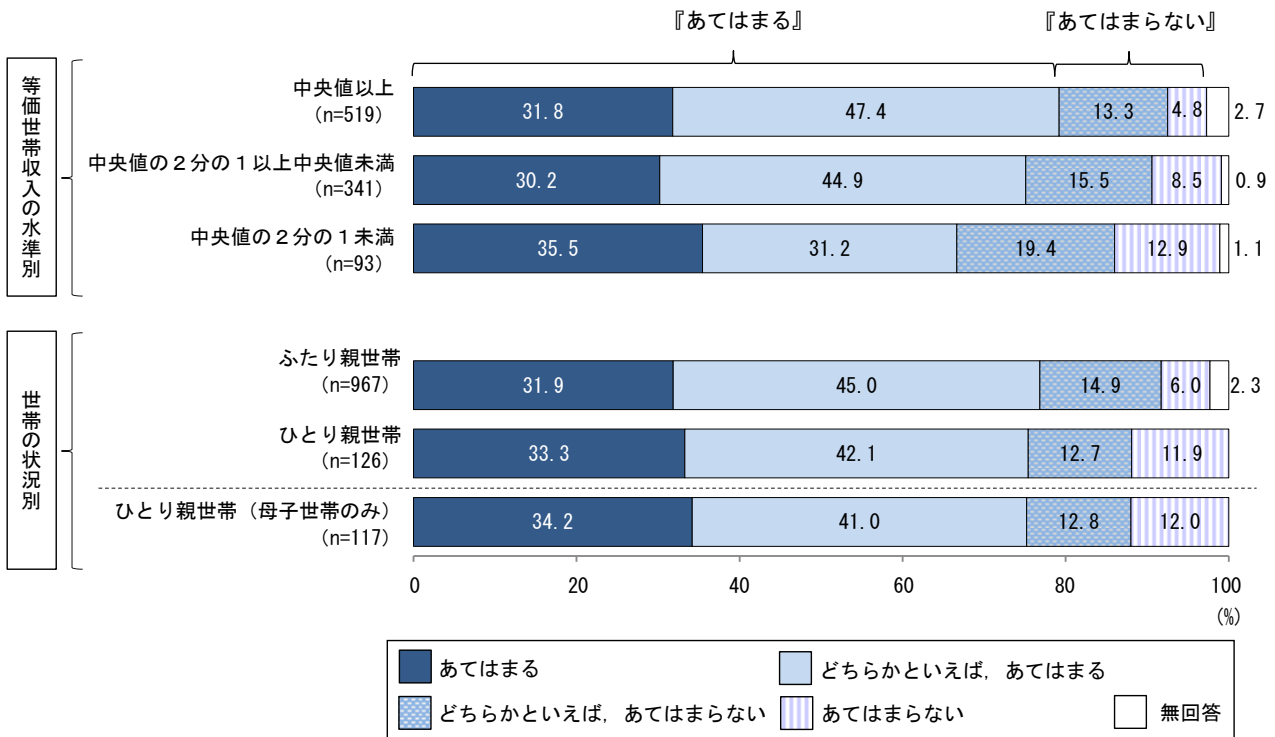
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では18.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では19.2%、「中央値の2分の1未満」では14.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では18.4%、「ひとり親世帯全体」では19.1%、「母子世帯のみ」では16.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

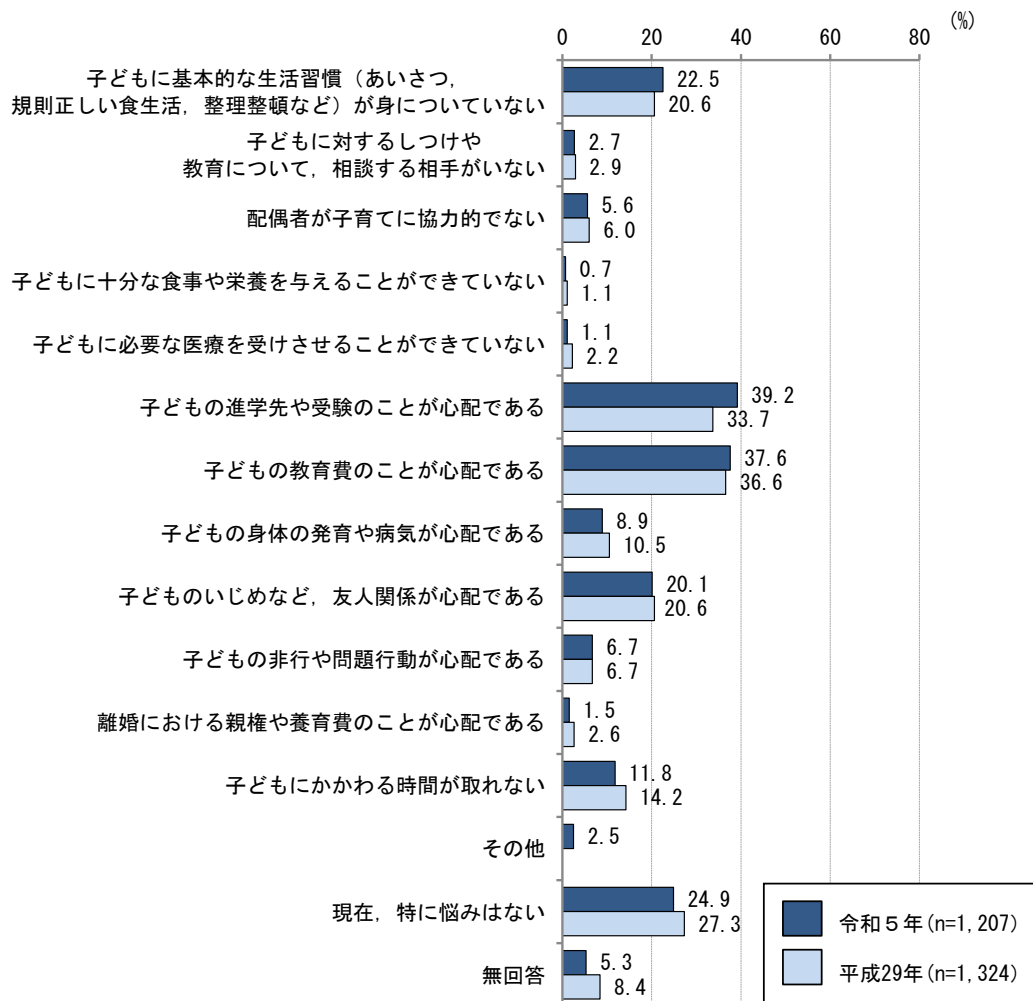


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では18.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では24.0%、「中央値の2分の1未満」では32.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では20.9%、「ひとり親世帯全体」では24.6%、「母子世帯のみ」では24.8%となっている。

保護者票問 32. 子どものことについて、現在、悩んでいることはありますか。(MA)

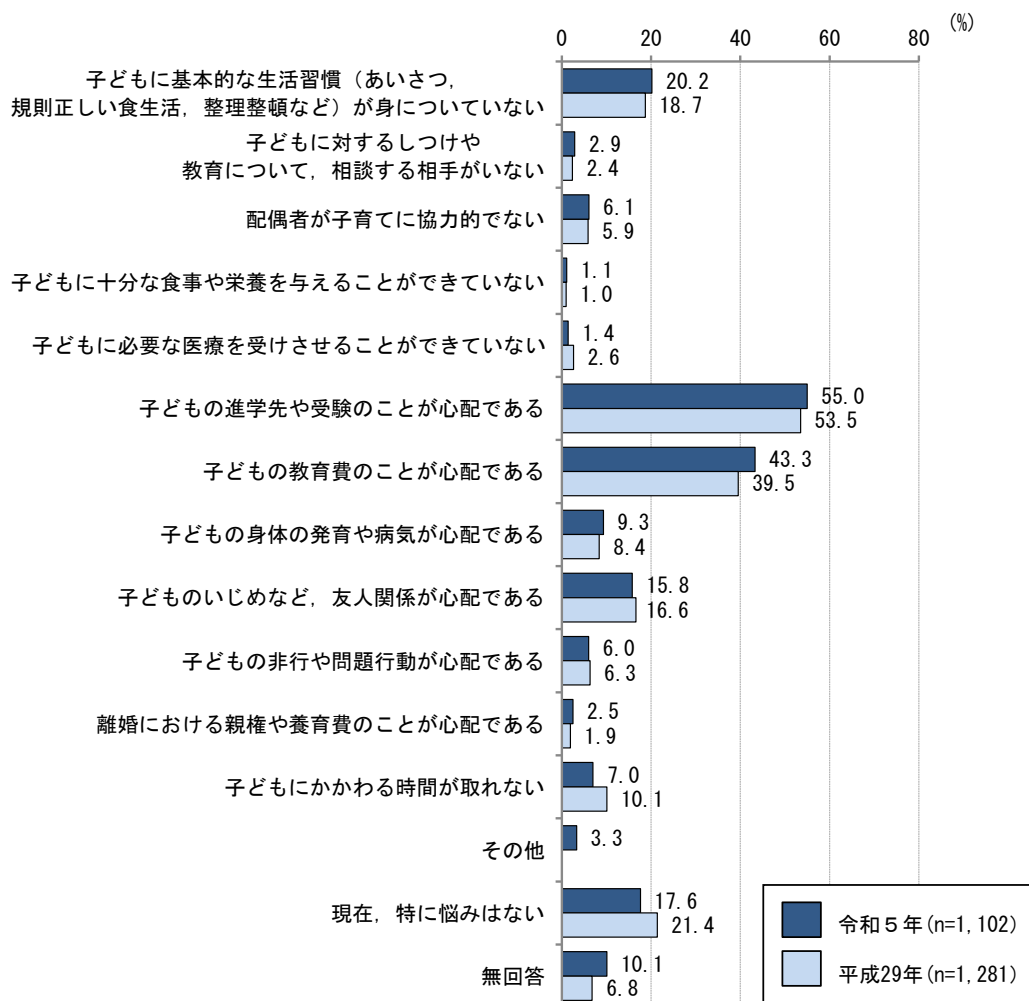
【小学5年生の保護者】



※平成29年に「その他」の項目なし

子どものことの悩みについて、小学5年生の保護者では、「子どもの進学先や受験のことが心配である」が39.2%と最も高く、次いで「子どもの教育費のことが心配である」が37.6%、「子どもに基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など）が身につけていない」が22.5%などの順となっている。前回調査と比較すると、「子どもの進学先や受験のことが心配である」は、令和5年（39.2%）が平成29年（33.7%）を5.5ポイント上回っている。

【中学2年生の保護者】



※平成29年に「その他」の項目なし

子どものことの悩みについて、中学2年生の保護者では、「子どもの進学先や受験のことが心配である」が55.0%と最も高く、次いで「子どもの教育費のことが心配である」が43.3%、「子どもに基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など）が身につけていない」が20.2%などの順となっている。前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

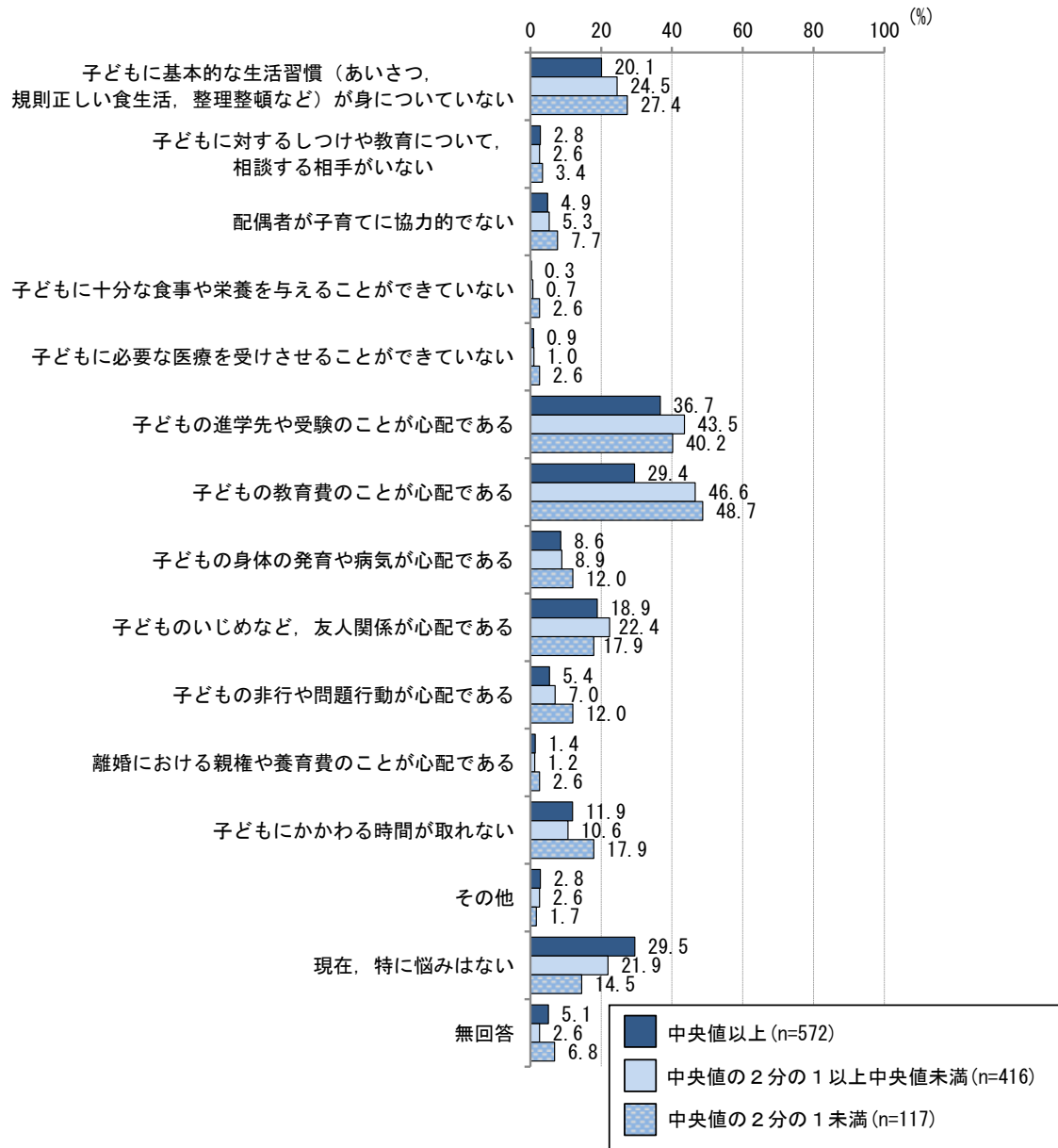
【その他の意見】

(件)

自由意見	意見数
精神面について	16
学校について	13
家庭内の問題について	8
趣味・娯楽について	8
経済的不安について	4
仕事と子育ての両立について	2
その他	8

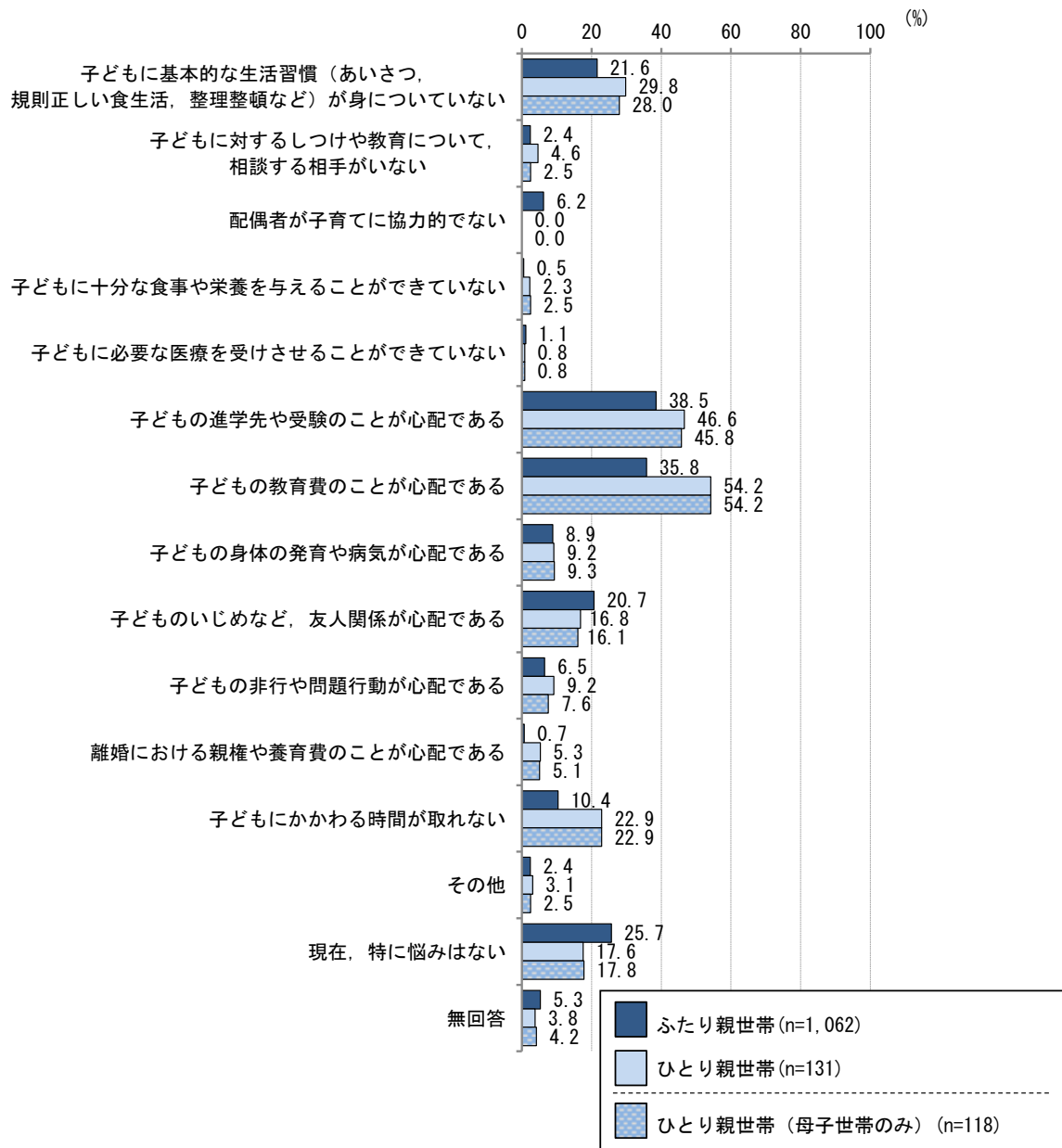
子どものことの悩みのその他の意見について、精神面や学校についての意見が多数みられる。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



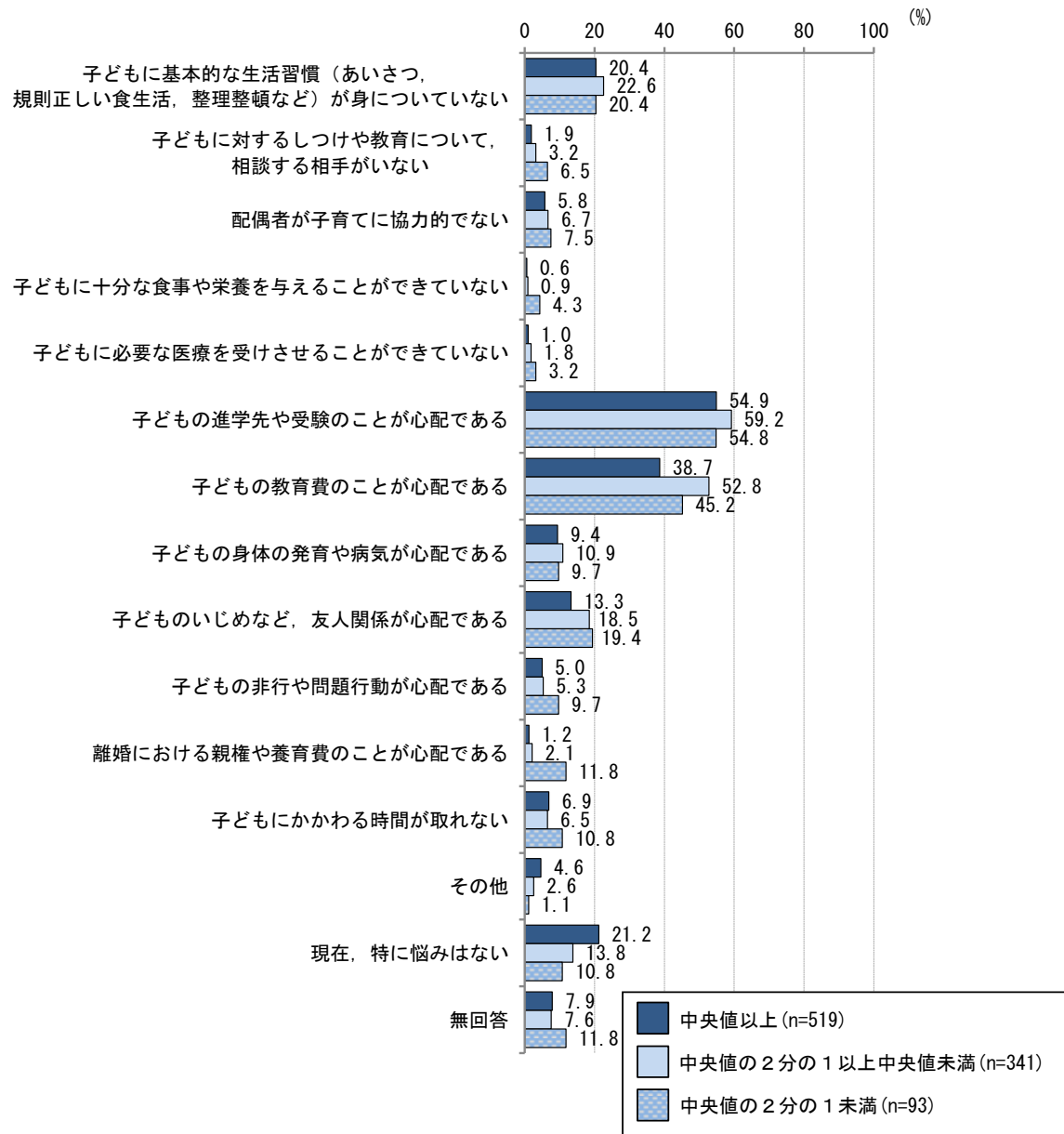
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「子どもに基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など）が身につけていない」が27.4%、「子どもの教育費のことが心配である」が48.7%、「子どもの非行や問題行動が心配である」が12.0%、「子どもにかかわる時間が取れない」が17.9%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



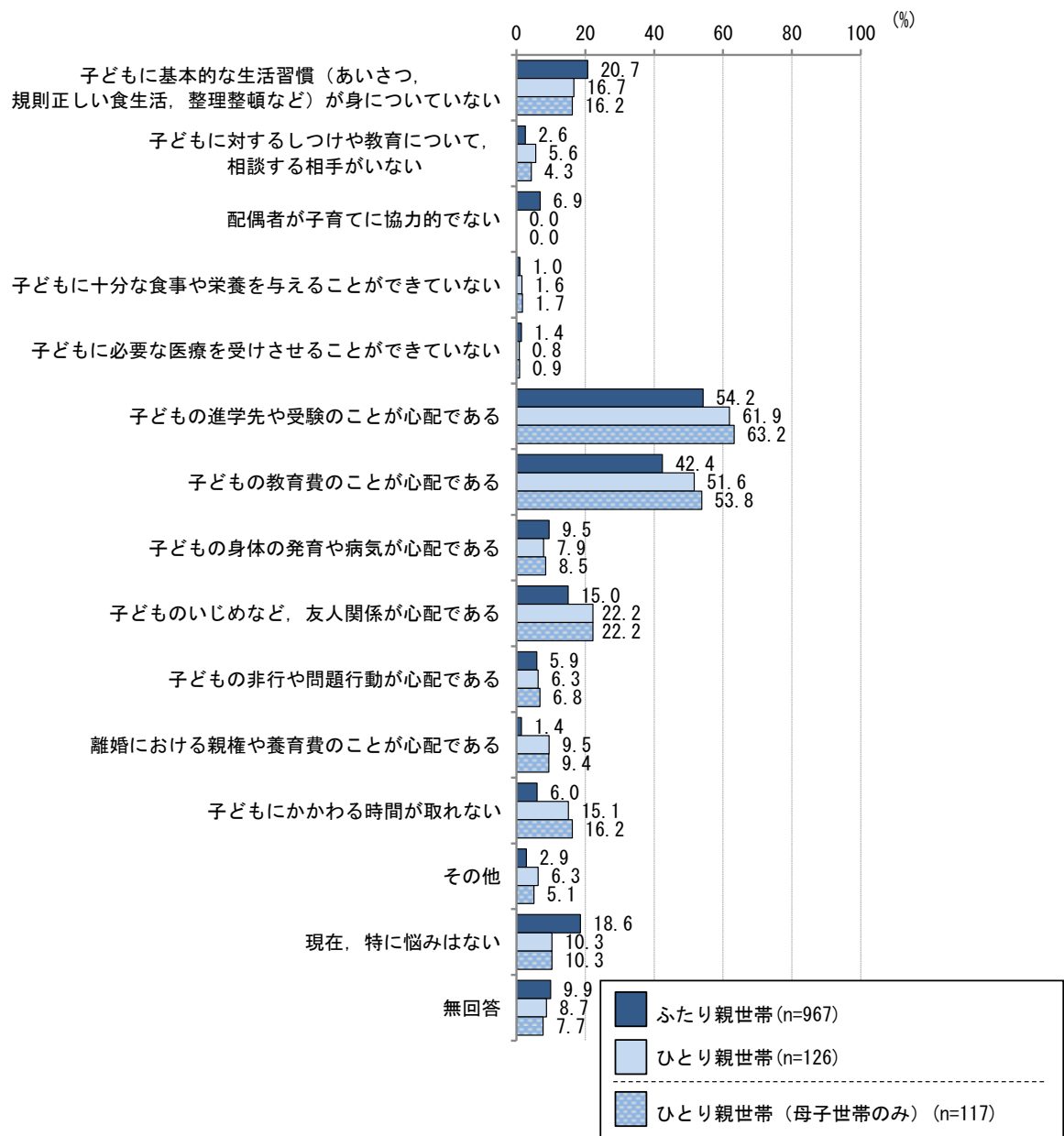
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「子どもに基本的な生活習慣 (あいさつ, 規則正しい食生活, 整理整頓など) が身につけていない」が 29.8%, 「子どもの進学先や受験のことが心配である」は 46.6%, 「子どもの教育費のことが心配である」は 54.2%, 「子どもにかかわる時間が取れない」は 22.9% と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「子どもの進学先や受験のことが心配である」が最も高く、「中央値以上」では54.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では59.2%、「中央値の2分の1未満」では54.8%となっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



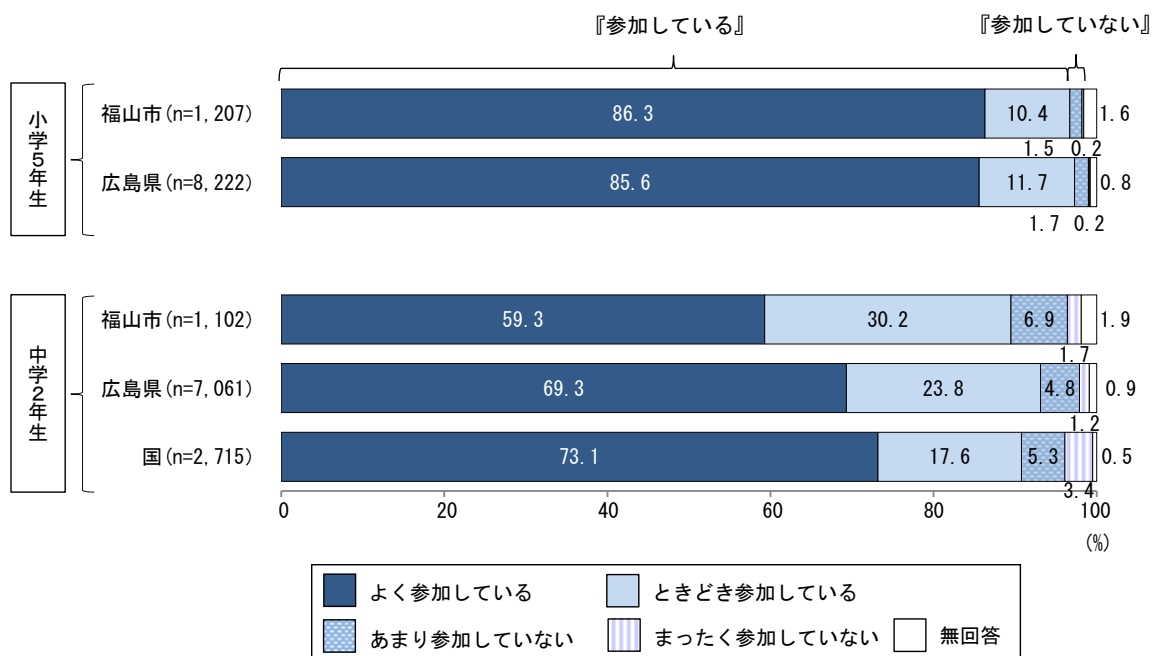
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「子どもの進学先や受験のことが心配である」が61.9%、「子どもの教育費のことが心配である」は51.6%、「子どものいじめなど、友人関係が心配である」は22.2%、「離婚における親権や養育費のことが心配である」は9.5%、「子どもにかかわる時間が取れない」は15.1%と高くなっている。一方で、「現在、特に悩みはない」は10.3%と低くなっている。

(5) 学校との関わり・参加

保護者票問 15. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(SA)

= a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加 =

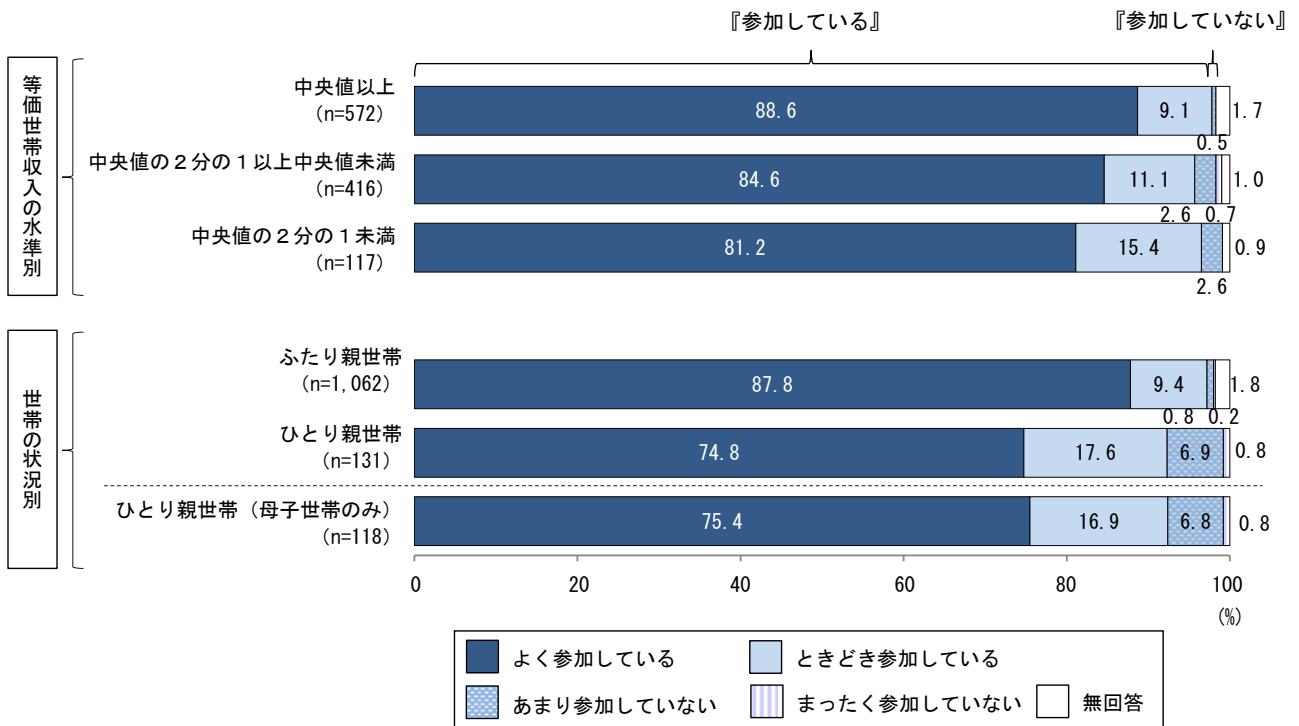
【全体】



授業参観や運動会などの学校行事について、小学5年生の保護者では、『参加している（「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合）』が96.7%、『参加していない（「あまり参加していない」と「まったく参加していない」を合わせた割合）』が1.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『参加している』が89.5%、『参加していない』が8.6%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

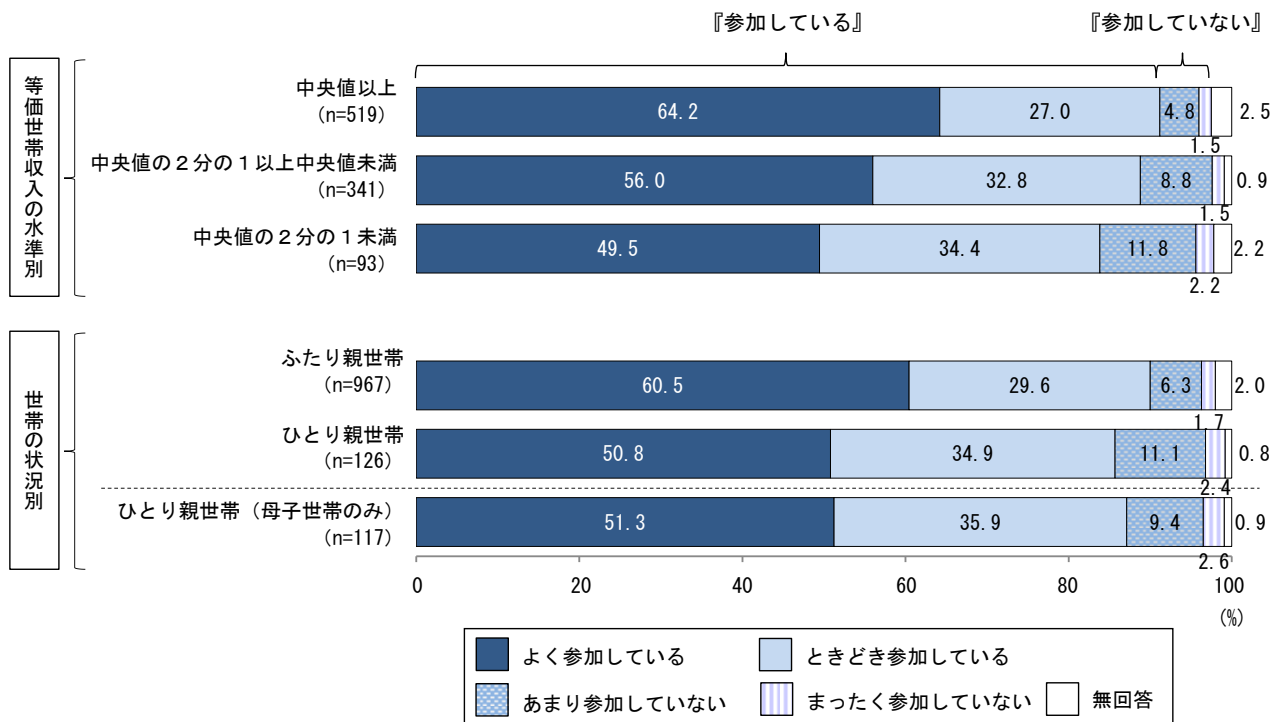
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では97.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では95.7%、「中央値の2分の1未満」では96.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では97.2%、「ひとり親世帯全体」では92.4%、「母子世帯のみ」では92.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

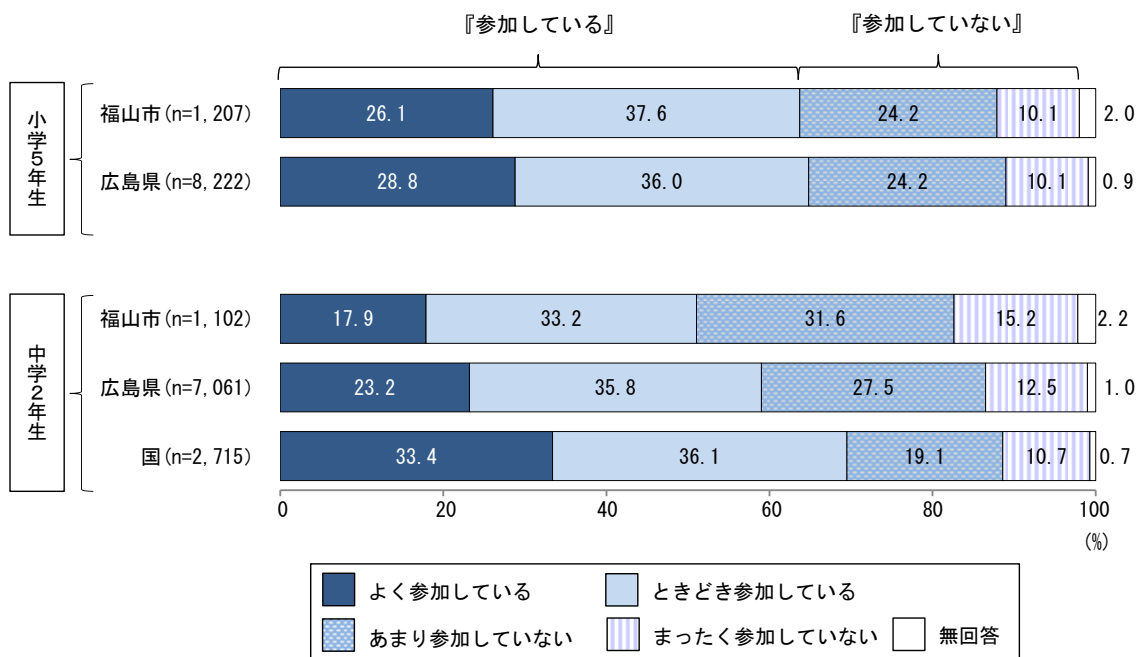


等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では91.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では88.8%、「中央値の2分の1未満」では83.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では90.1%、「ひとり親世帯全体」では85.7%、「母子世帯のみ」では87.2%となっている。

= b) P T A活動や保護者会, 放課後学習支援等のボランティアなどへの参加 =

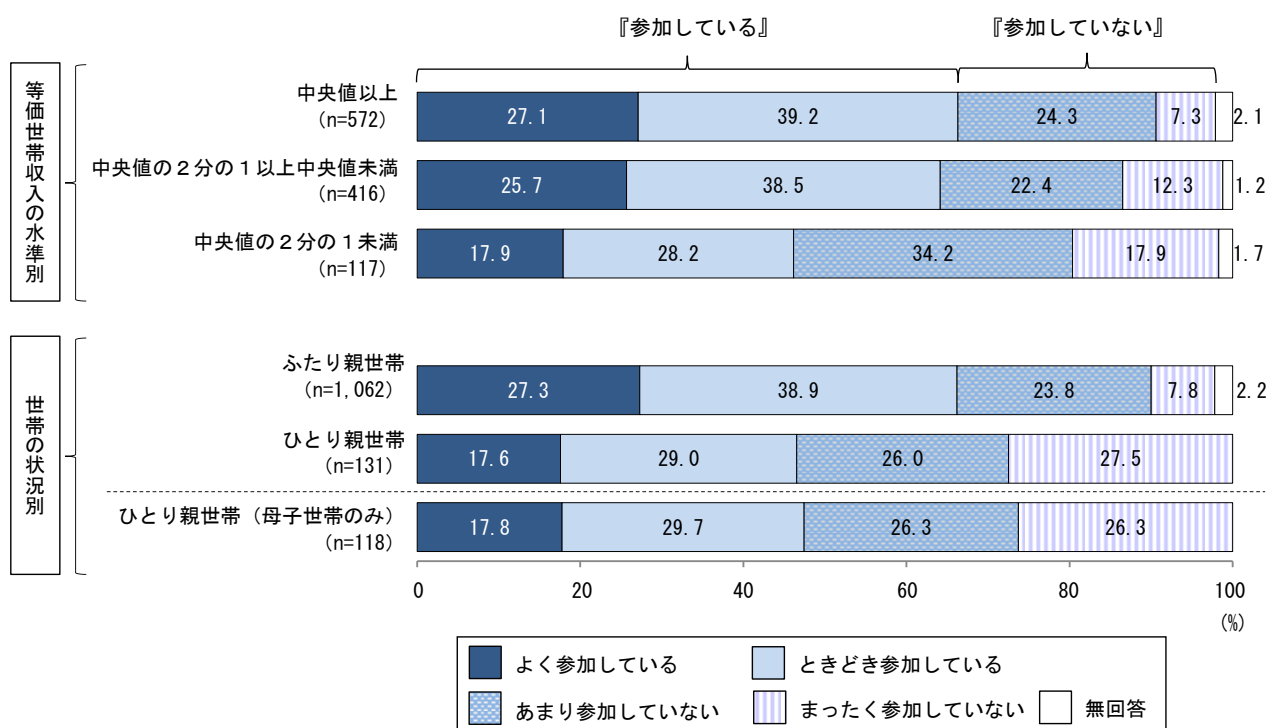
【全体】



P T A活動や保護者会, 放課後学習支援等のボランティアなどについて, 小学5年生の保護者では, 『参加している』が 63.7%, 『参加していない』が 34.3%となっている。広島県と比較すると, 大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では, 『参加している』が 51.1%, 『参加していない』が 46.8%となっている。広島県と比較すると, 『参加している』は, 福山市 (51.1%) が広島県 (59.0%) を 7.9ポイント下回っている。国と比較すると, 『参加している』は, 福山市 (51.1%) が国 (69.5%) を 18.4ポイント下回っている。

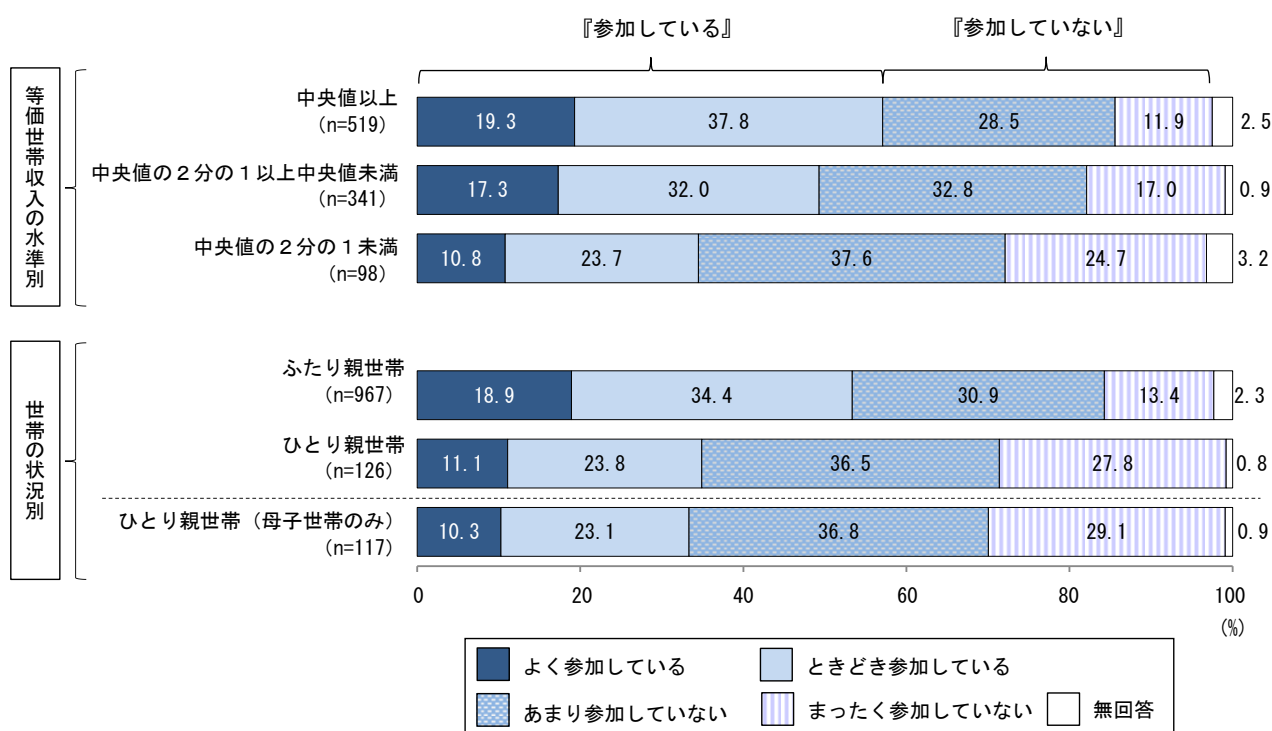
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では66.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では64.2%、「中央値の2分の1未満」では46.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では66.2%、「ひとり親世帯全体」では46.6%、「母子世帯のみ」では47.5%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



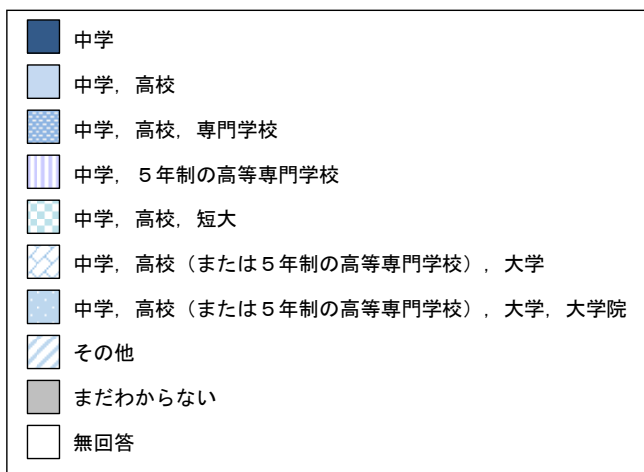
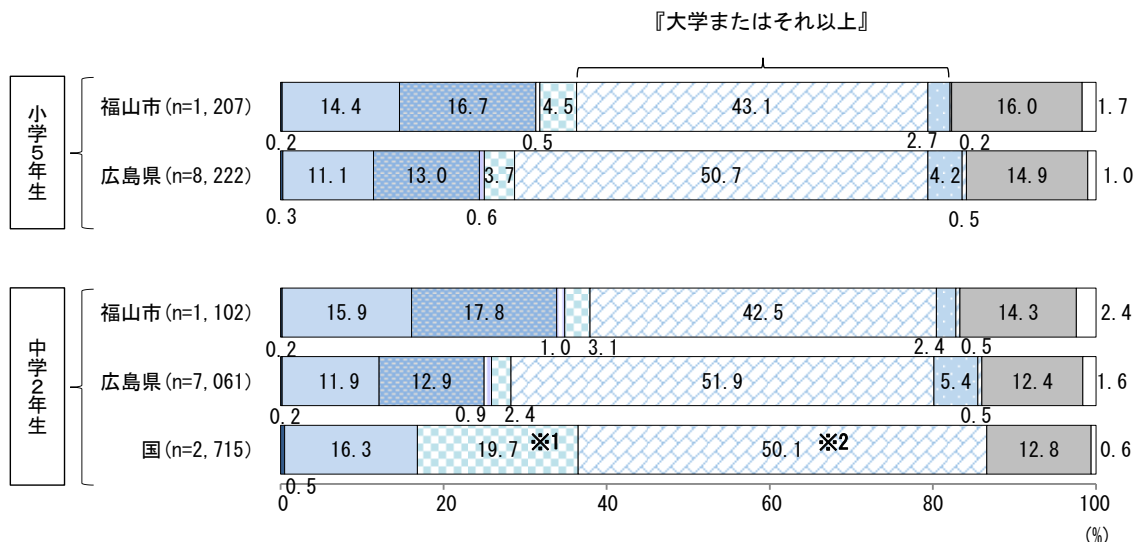
等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では57.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では49.3%、「中央値の2分の1未満」では34.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では53.3%、「ひとり親世帯全体」では34.9%、「母子世帯のみ」では33.4%となっている。

(6) 進学希望・展望

保護者票問 16. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(SA)

【全体】

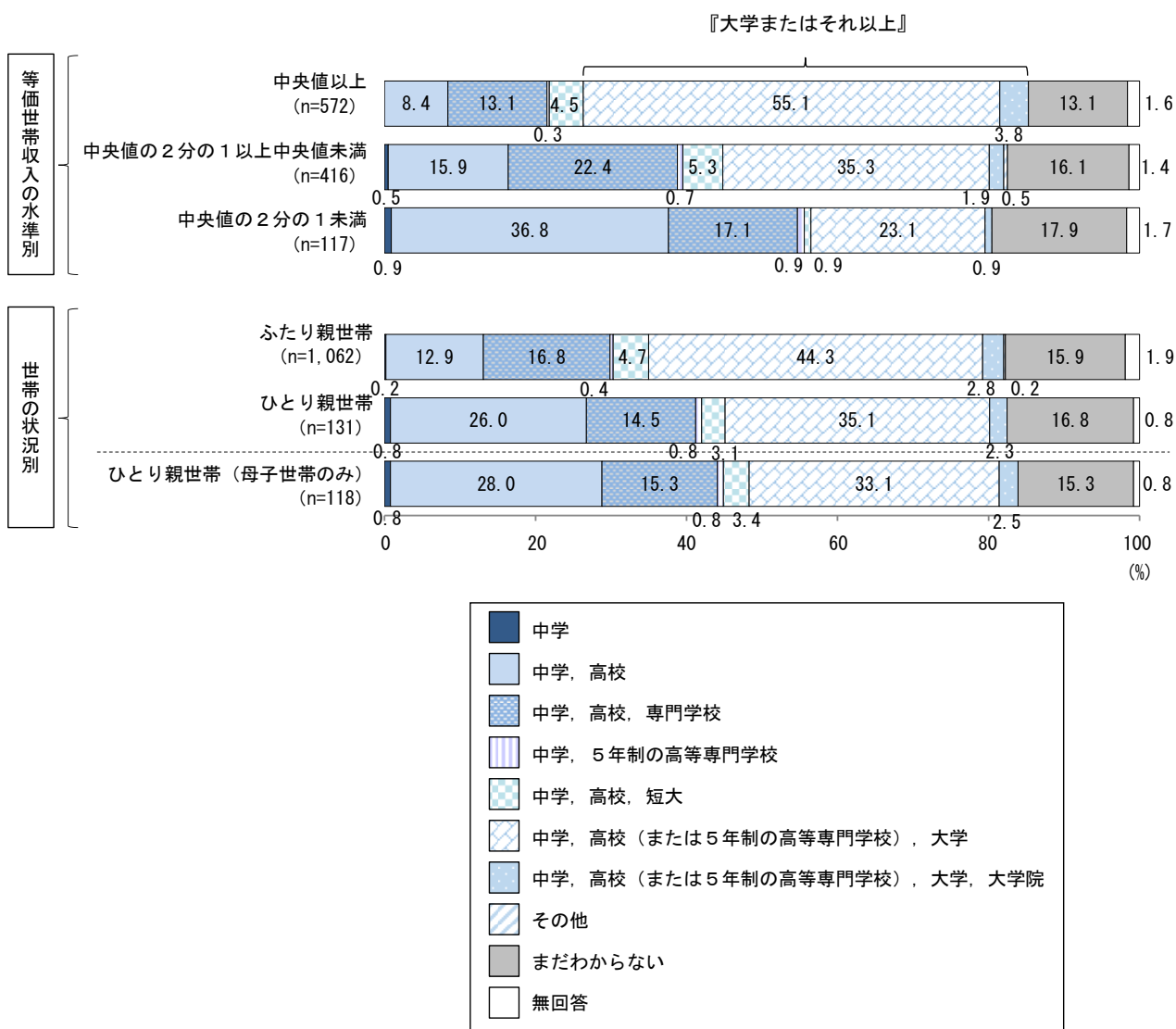


※1: 国調査では「短大・高専・専門学校まで」という選択肢になっている
 ※2: 国調査では「大学またはそれ以上」という選択肢になっている

子どもが将来どの学校に進学すると思うかについて、小学5年生の保護者では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が43.1%と最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」が16.7%、「まだわからない」が16.0%などの順となっている。広島県と比較すると、『大学またはそれ以上（「大学またはそれ以上（「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」を合わせた割合）』は、福山市(45.8%)が広島県(54.9%)を9.1ポイント下回っている。

中学2年生の保護者では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が42.5%と最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」が17.8%、「中学、高校」が15.9%などの順となっている。広島県と比較すると、『大学またはそれ以上』は、福山市(44.9%)が広島県(57.3%)を12.4ポイント下回っている。国と比較すると、『大学またはそれ以上』は、福山市(44.9%)が国(50.1%)を5.2ポイント下回っている。

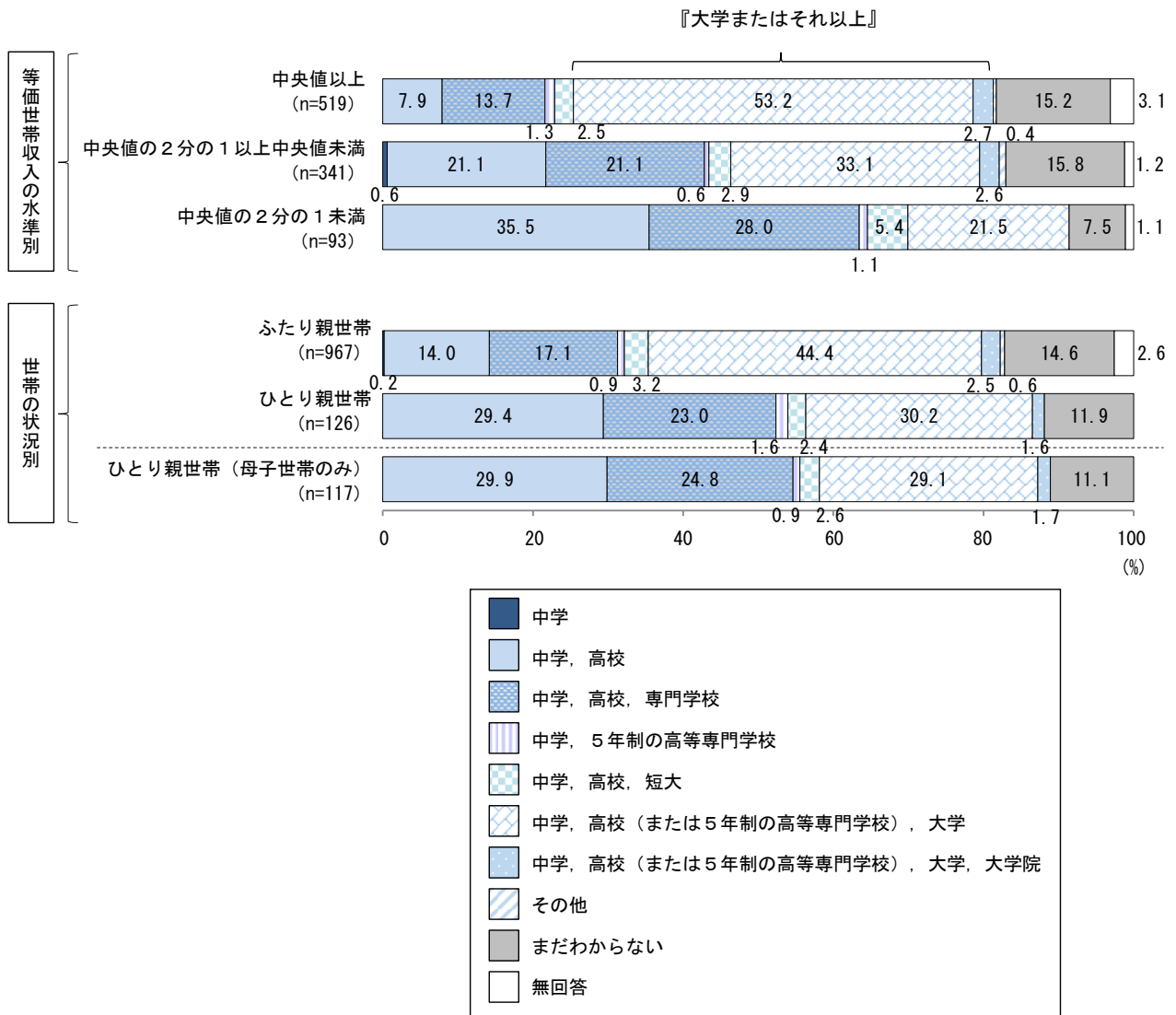
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では58.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では37.2%、「中央値の2分の1未満」では24.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では47.1%、「ひとり親世帯全体」では37.4%、「母子世帯のみ」では35.6%となっている。

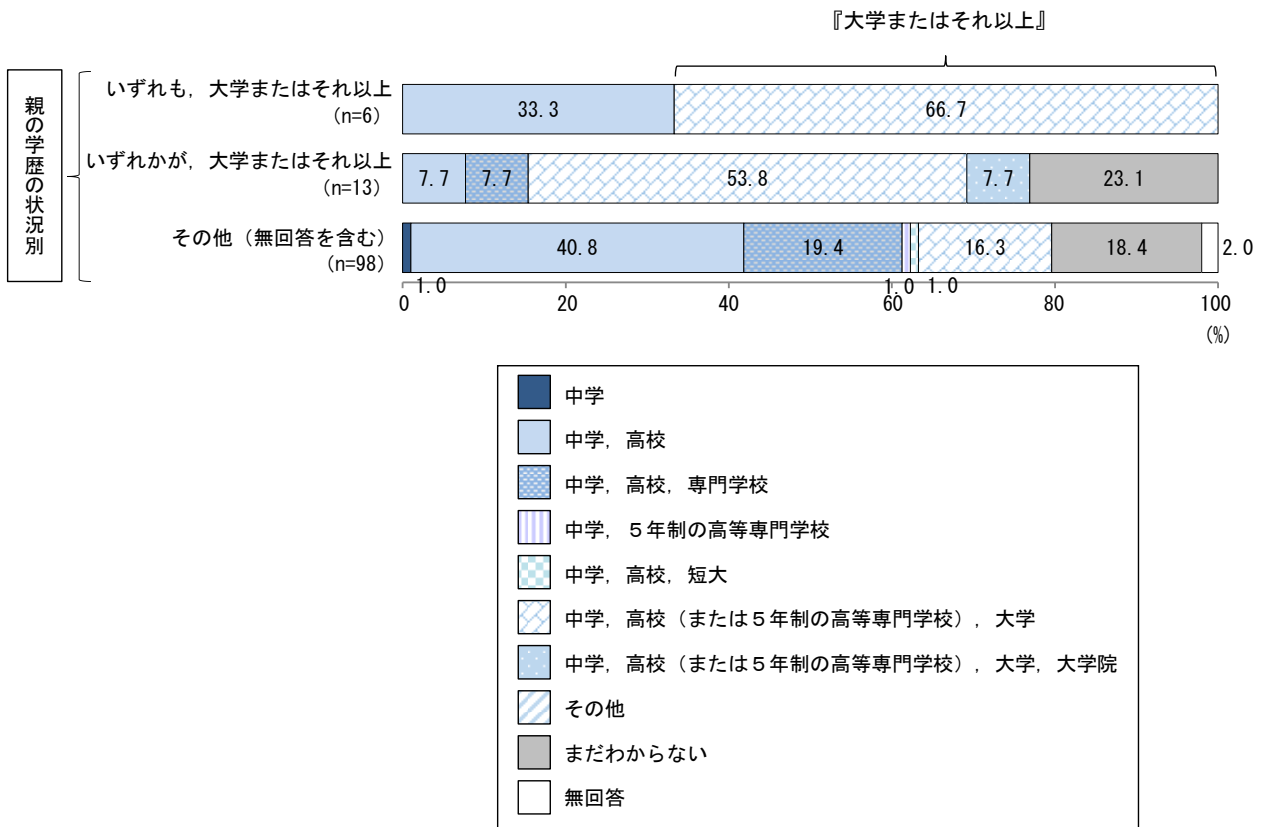
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では55.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では35.7%、「中央値の2分の1未満」では21.5%となっている。

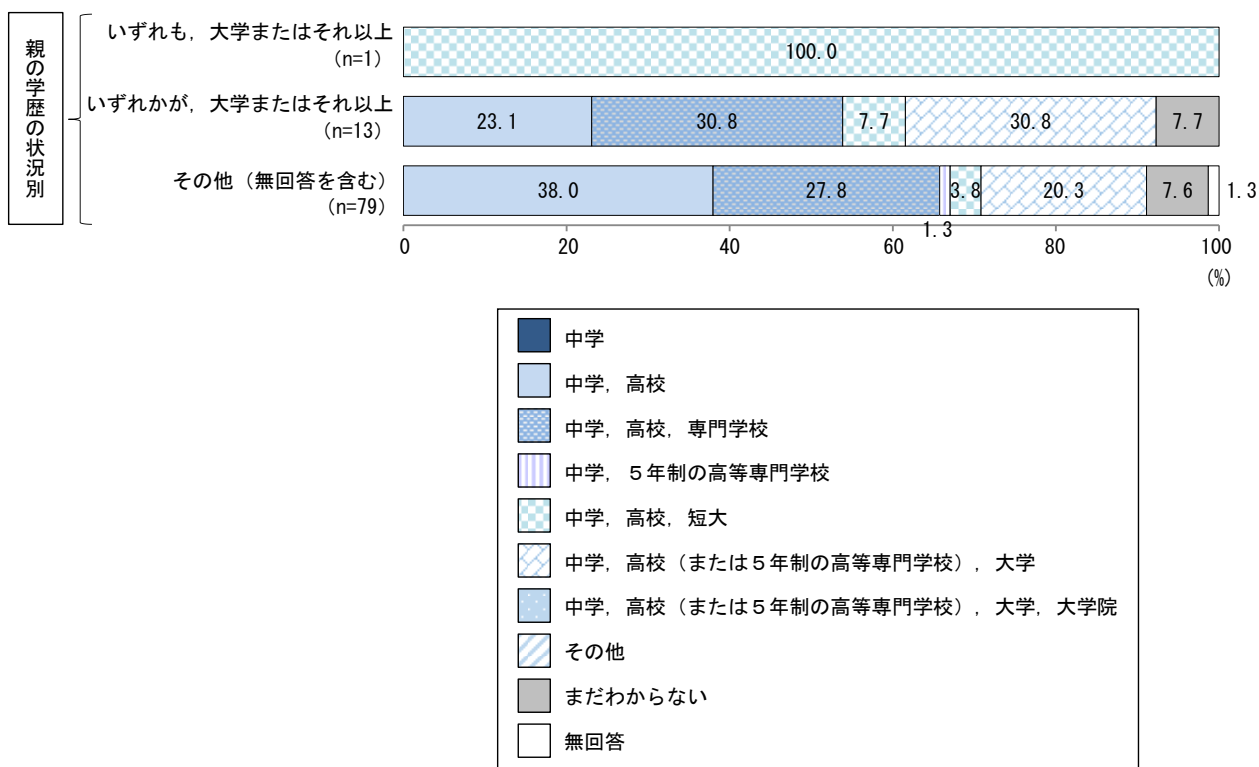
世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では46.9%、「ひとり親世帯全体」では31.8%、「母子世帯のみ」では30.8%となっている。

【親の学歴状況別（等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合）_小学5年生の保護者】



等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、親の学歴状況別では、『大学またはそれ以上』は、「いずれも、大学またはそれ以上」では66.7%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では61.5%、「その他（無回答を含む）」では16.3%となっている。

【親の学歴状況別（等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合）_中学2年生の保護者】

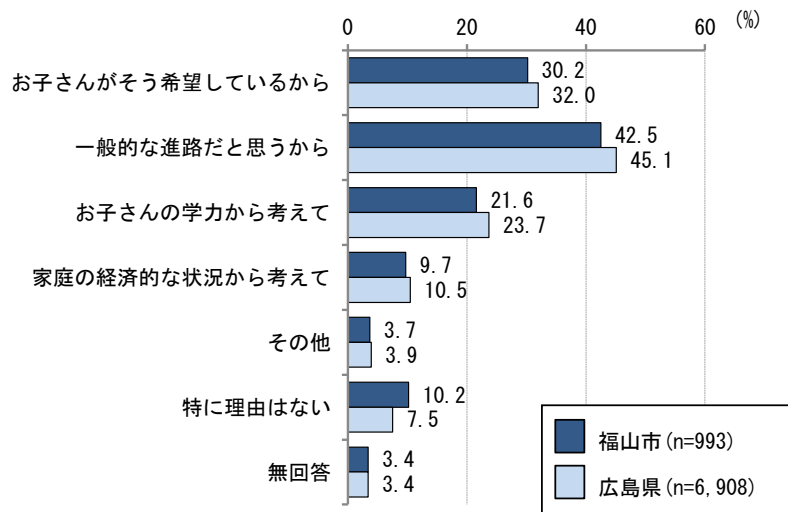


等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、親の学歴状況別では、『大学またはそれ以上』は、「いずれかが、大学またはそれ以上」では30.8%、「その他（無回答を含む）」では20.3%となっている。

※問 16 で「1～8 お子さんが進学する学校」を答えた方に

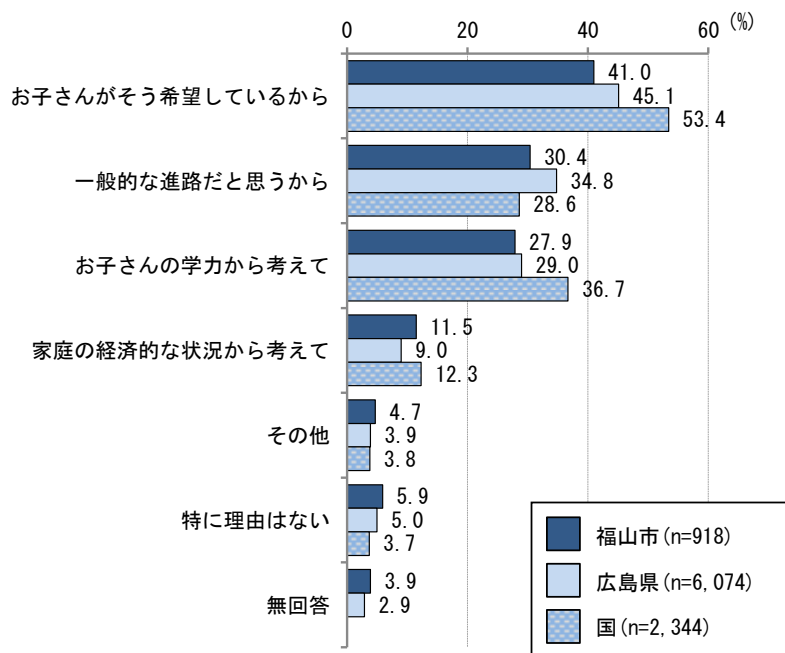
保護者票問 17. その理由は何ですか。(MA)

【小学5年生の保護者】



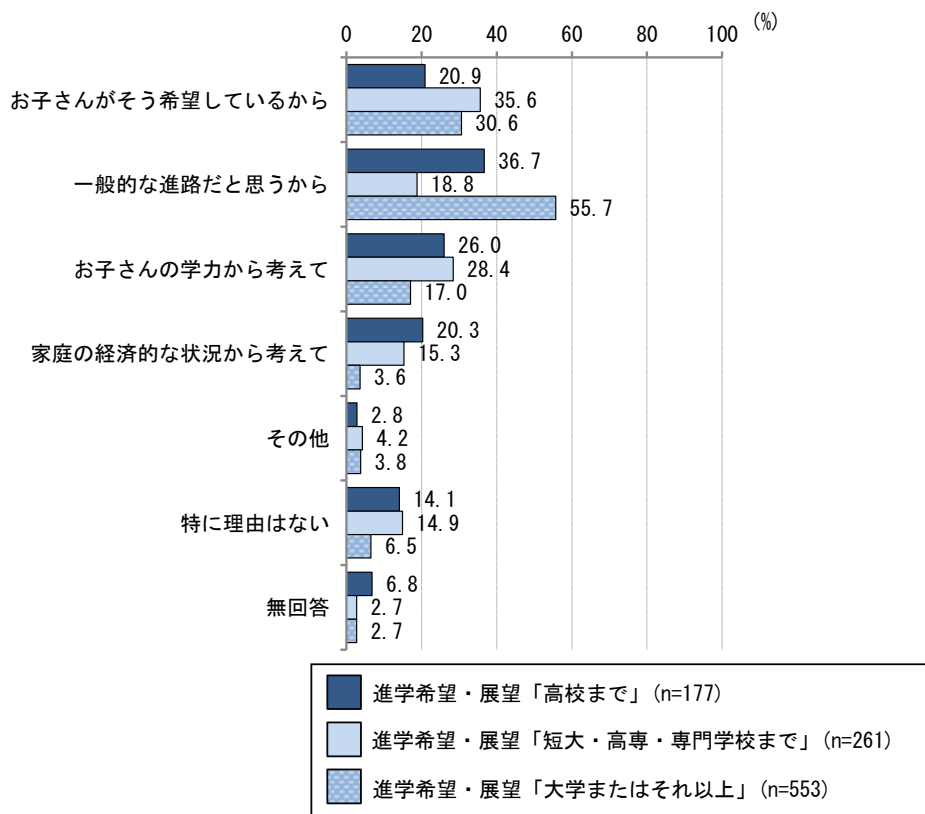
子どもの進学先に関する保護者の考えについて、小学5年生の保護者では、「一般的な進路だと思うから」が42.5%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」が30.2%、「お子さんの学力から考えて」が21.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生の保護者】



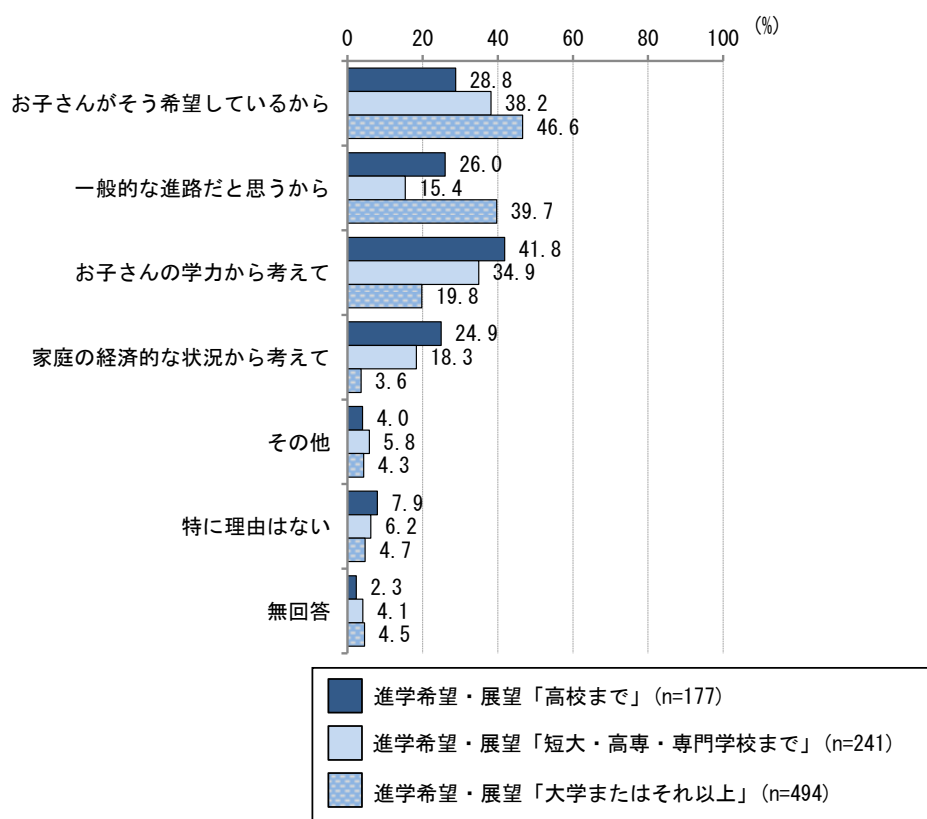
子どもの進学先に関する保護者の考えについて、中学2年生の保護者では、「お子さんがそう希望しているから」が41.0%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」が30.4%、「お子さんの学力から考えて」が27.9%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「お子さんがそう希望しているから」は、福山市（41.0%）が国（53.4%）を12.4ポイント、「お子さんの学力から考えて」は、福山市（27.9%）が国（36.7%）を8.8ポイント下回っている。

【子どもの進学先に関する希望・展望の回答別_小学5年生の保護者】



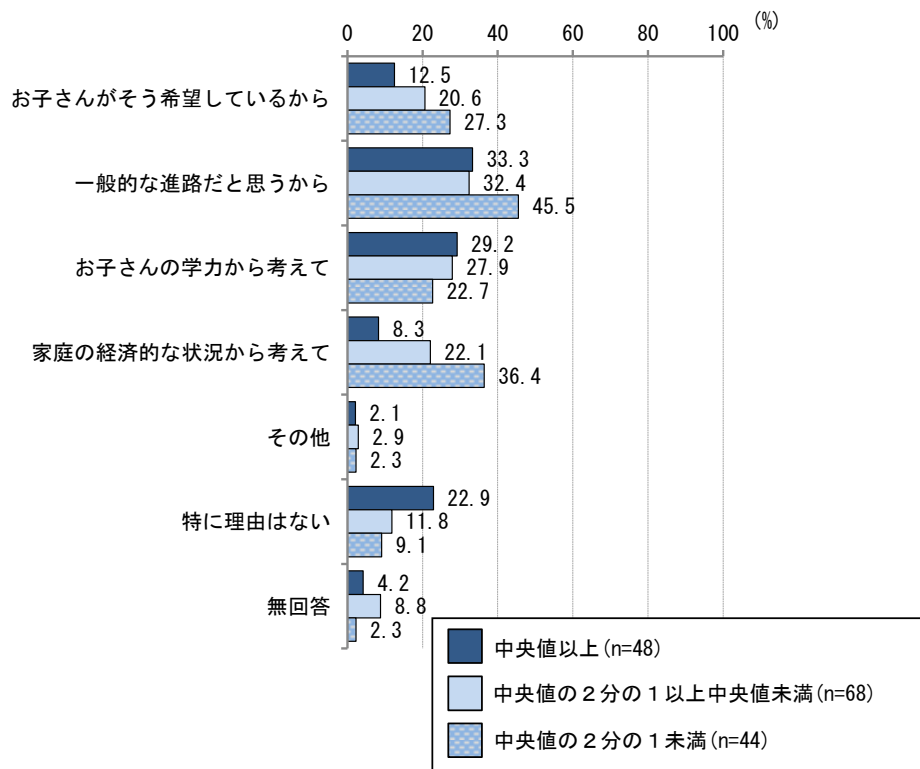
子どもの進学先に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「家庭の経済的な状況から考えて」が20.3%となっており、『専門学校・高専・短大まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

【子どもの進学先に関する希望・展望の回答別_中学2年生の保護者】



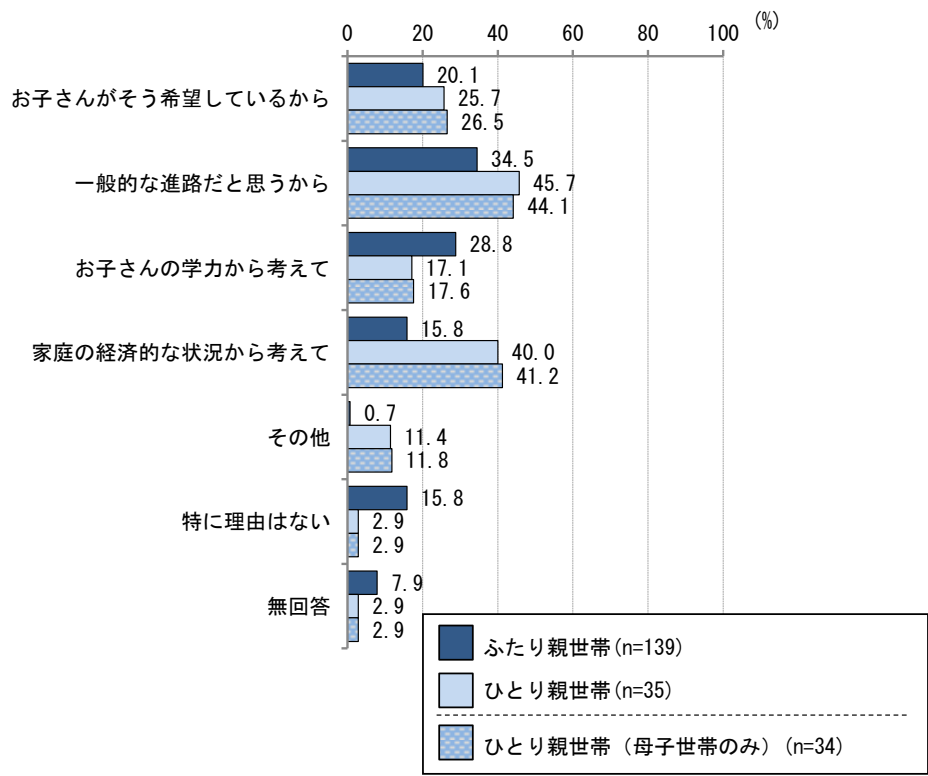
子どもの進学先に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「お子さんの学力から考えて」が41.8%、「家庭の経済的な状況から考えて」が24.9%となっており、『専門学校・高専・短大まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

【等価世帯収入の水準別（高校までを希望している場合）_小学5年生の保護者】



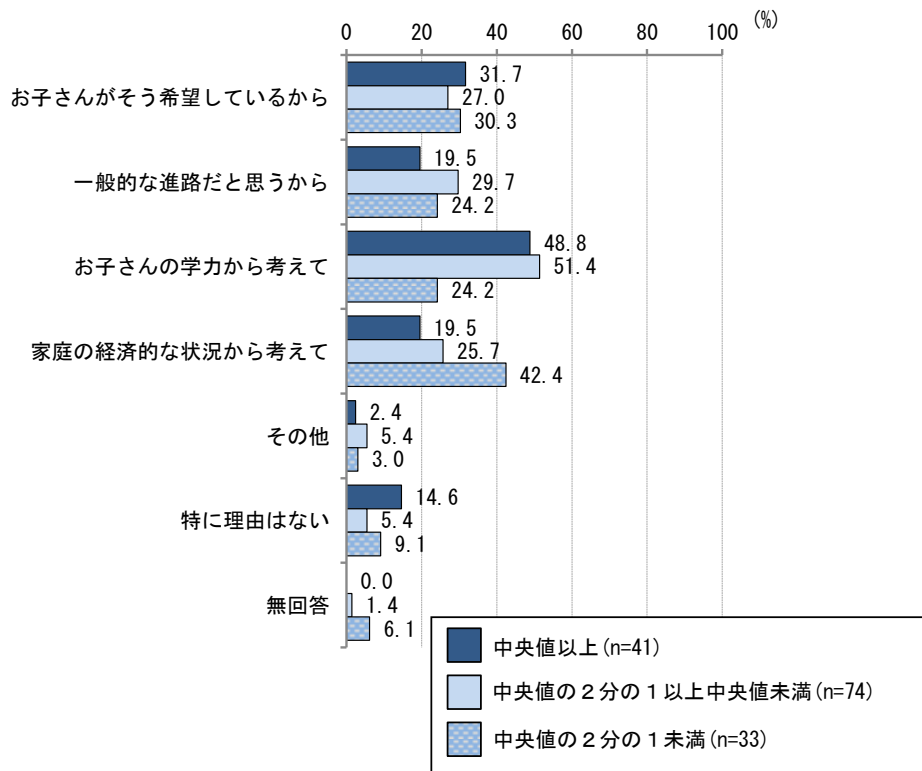
『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「お子さんがそう希望しているから」が27.3%、「一般的な進路だと思うから」が45.5%、「家庭の経済的な状況から考えて」が36.4%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（高校までを希望している場合）_小学5年生の保護者】



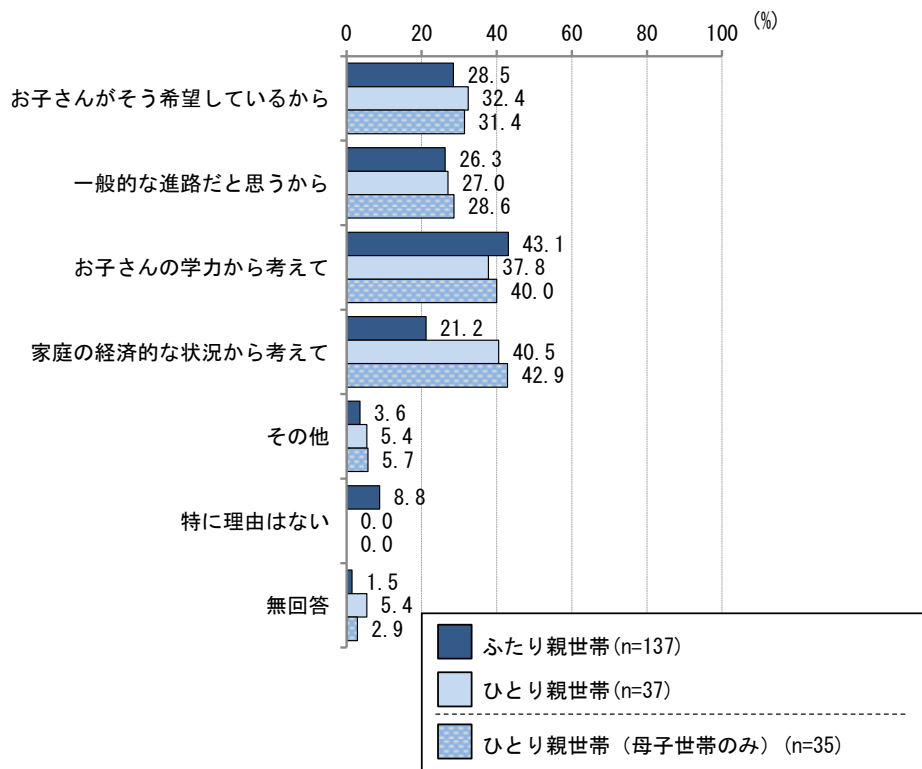
『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「お子さんがそう希望しているから」が25.7%、「一般的な進路だと思うから」が45.7%、「家庭の経済的な状況から考えて」が40.0%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別（高校までを希望している場合）_中学2年生の保護者】



『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家庭の経済的な状況から考えて」が42.4%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（高校までを希望している場合）_中学2年生の保護者】



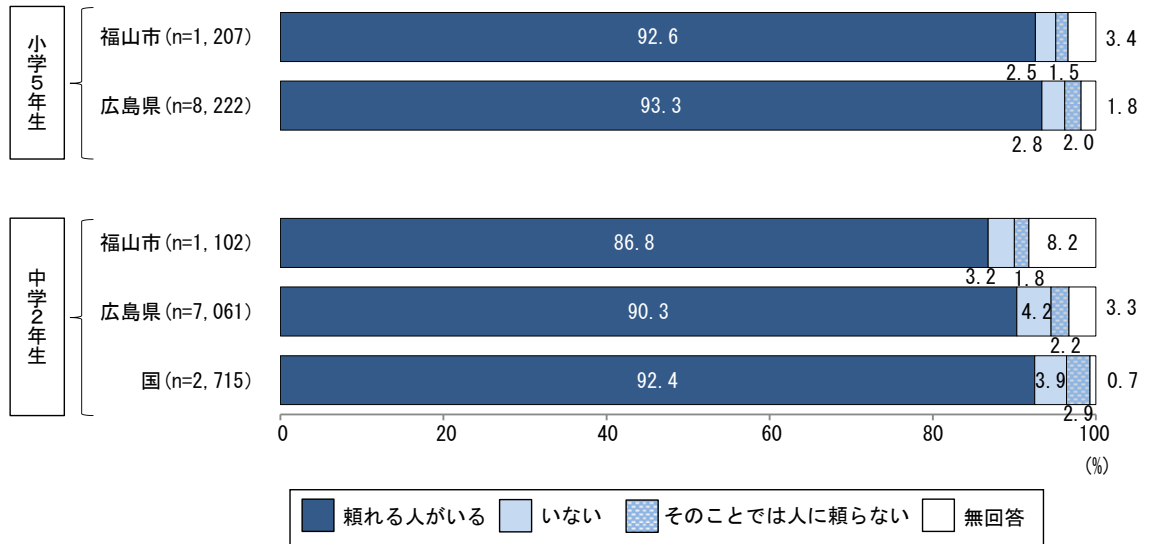
『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「家庭の経済的な状況から考えて」が40.5%と高くなっている。

(7) 頼れる人の有無・相手

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(SA)
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(MA)

= a) 子育てに関する相談 =

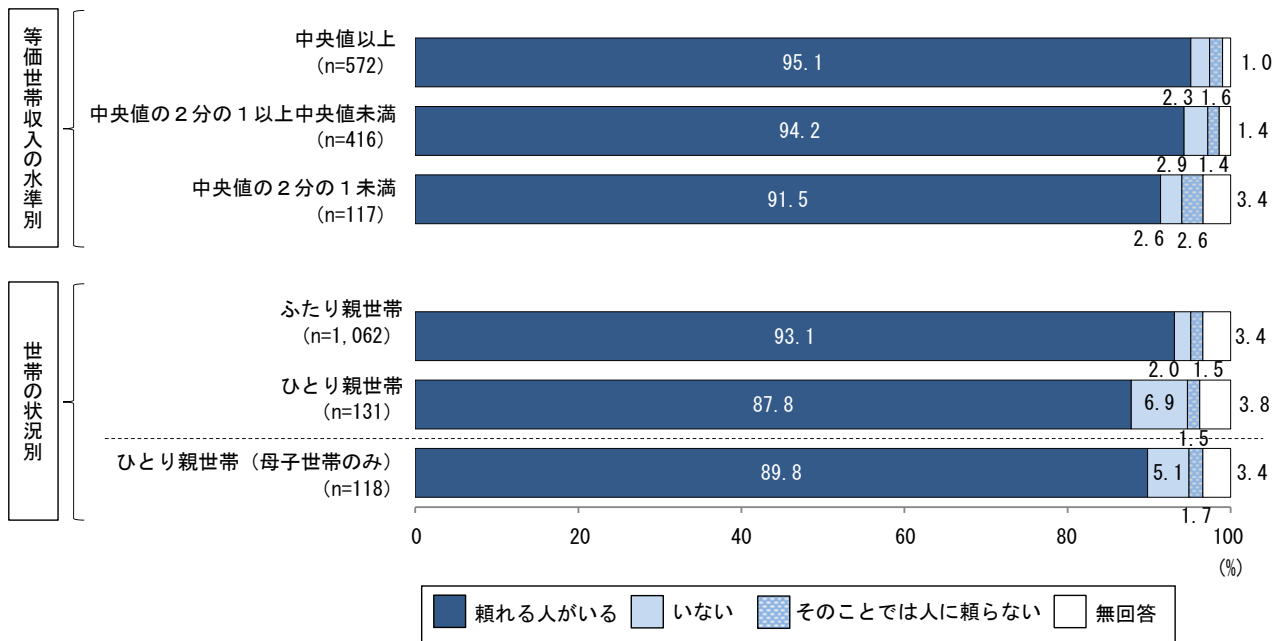
【全体】



子育てに関する相談について、小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が92.6%、「いない」が2.5%、「そのことでは人に頼らない」が1.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が86.8%、「いない」が3.2%、「そのことでは人に頼らない」が1.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「頼れる人がいる」は、福山市(86.8%)が国(92.4%)を5.6ポイント下回っている。

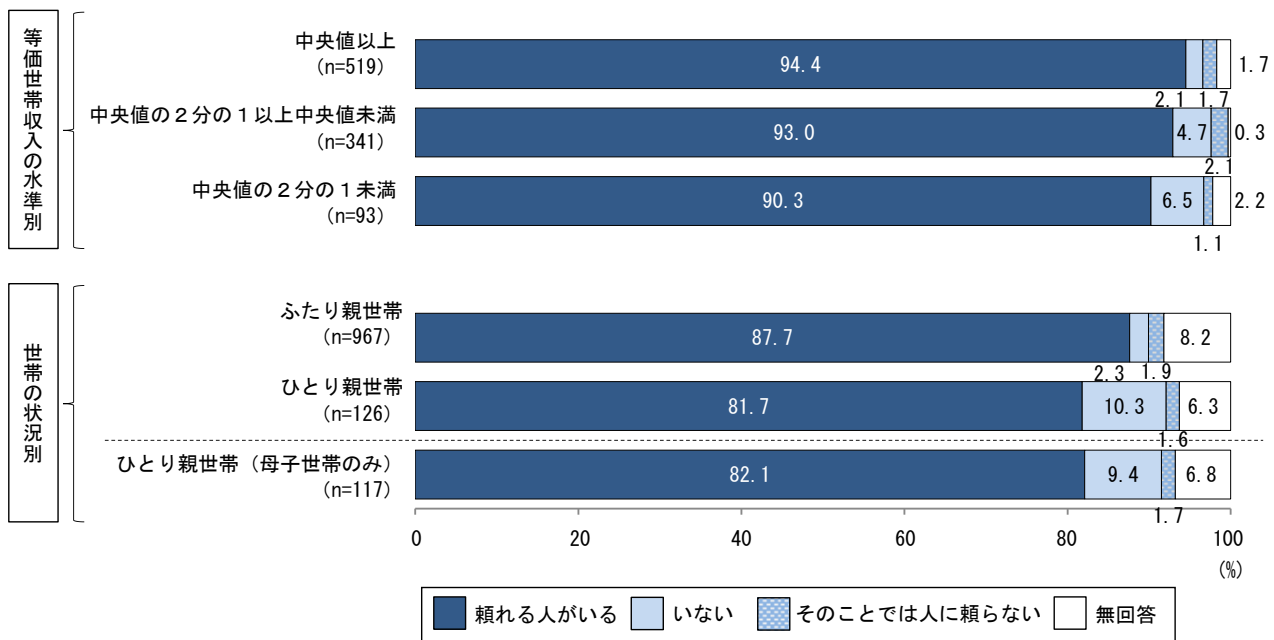
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では2.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.9%、「中央値の2分の1未満」では2.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では2.0%、「ひとり親世帯全体」では6.9%、「母子世帯のみ」では5.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

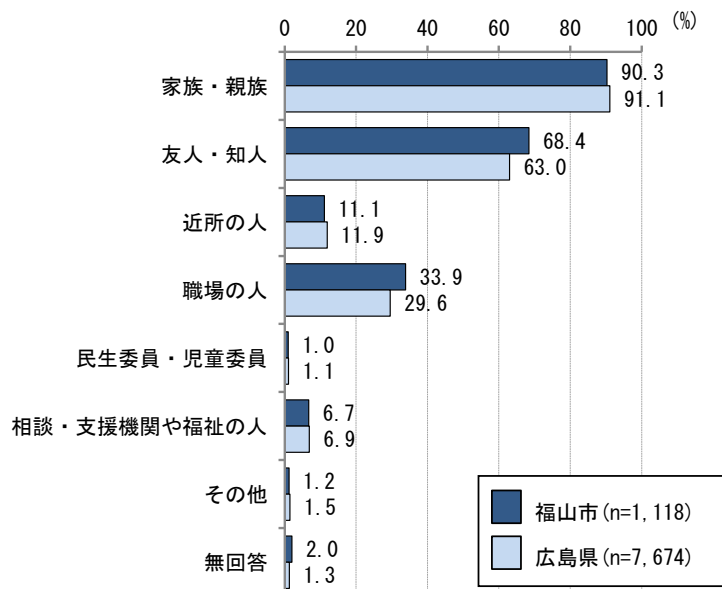


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では2.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では4.7%、「中央値の2分の1未満」では6.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では2.3%、「ひとり親世帯全体」では10.3%、「母子世帯のみ」では9.4%となっている。

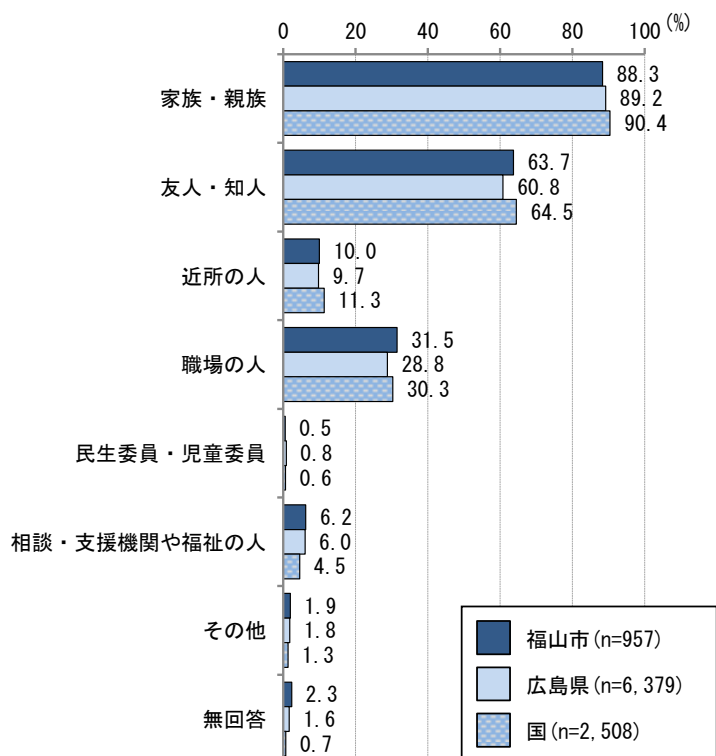
<「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手>

【小学5年生の保護者】



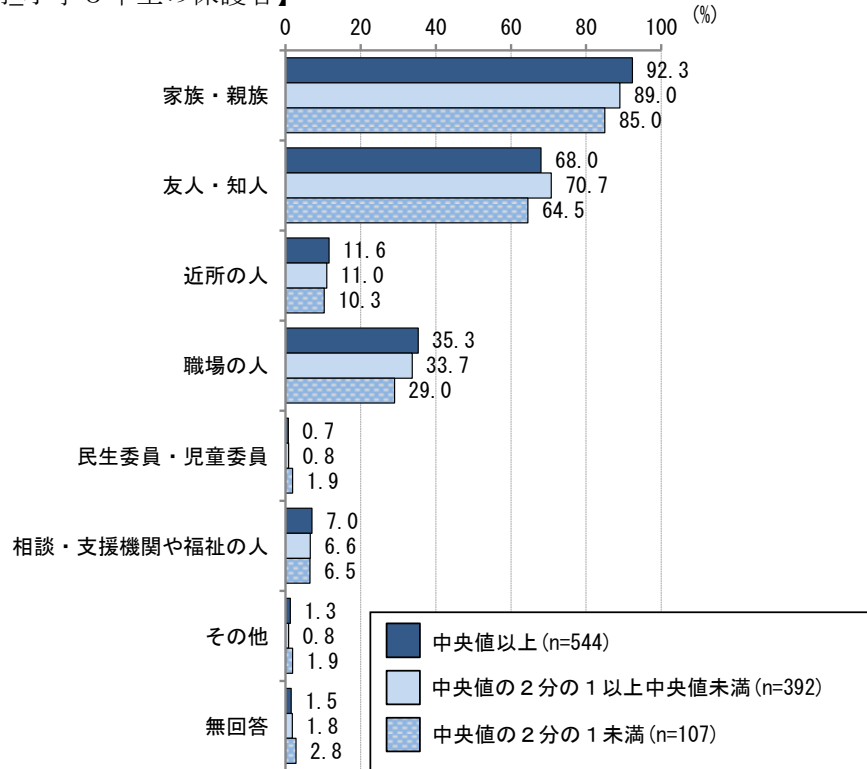
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学5年生の保護者では、「家族・親族」が90.3%と最も高く、次いで「友人・知人」が68.4%、「職場の人」が33.9%などの順となっている。広島県と比較すると、「友人・知人」は、福山市（68.4%）が広島県（63.0%）を5.4ポイント上回っている。

【中学2年生の保護者】



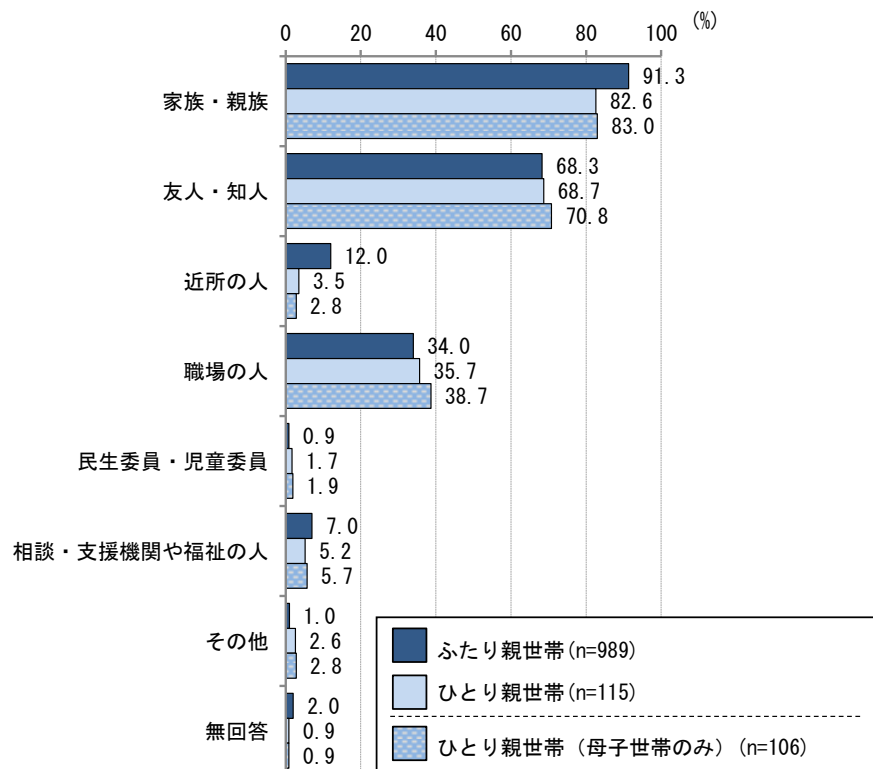
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、中学2年生の保護者では、「家族・親族」が88.3%と最も高く、次いで「友人・知人」が63.7%、「職場の人」が31.5%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



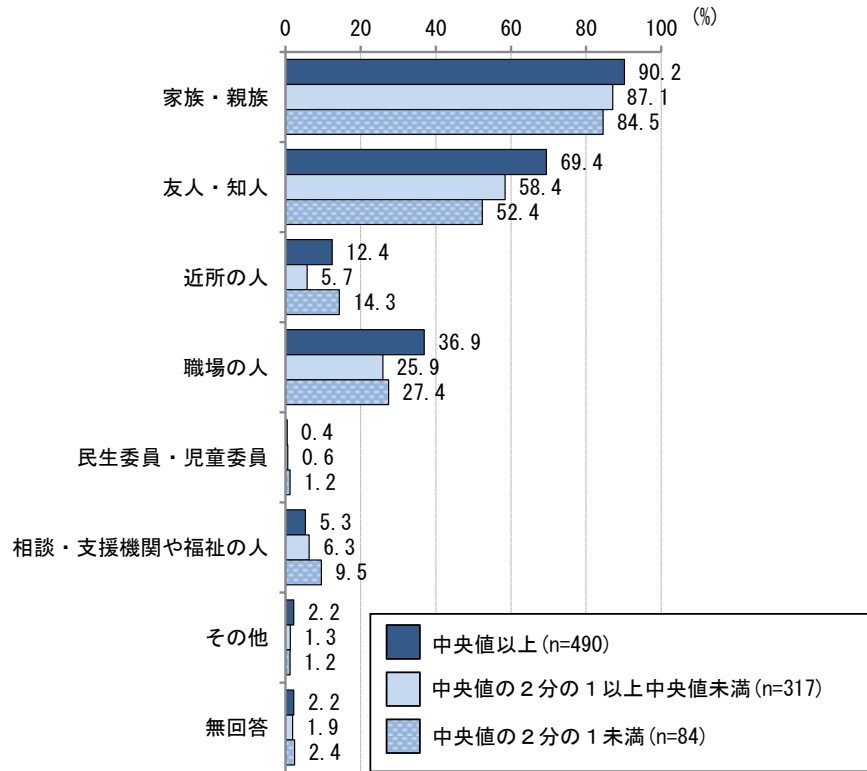
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家族・親族」が85.0%、「友人・知人」が64.5%、「職場の人」が29.0%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



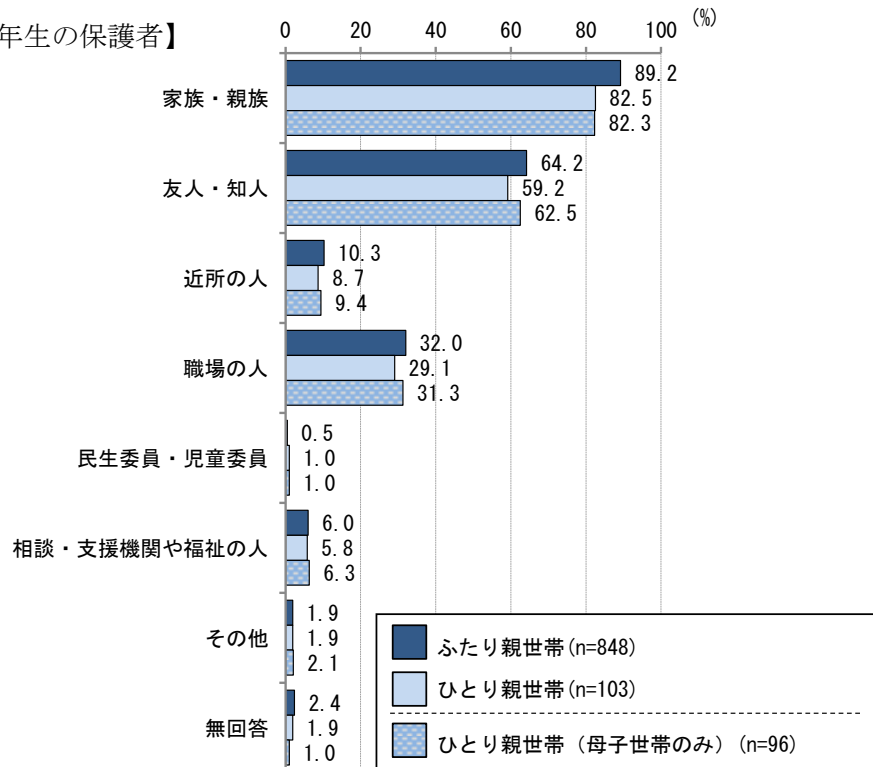
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が82.6%、「近所の人」が3.5%と低くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



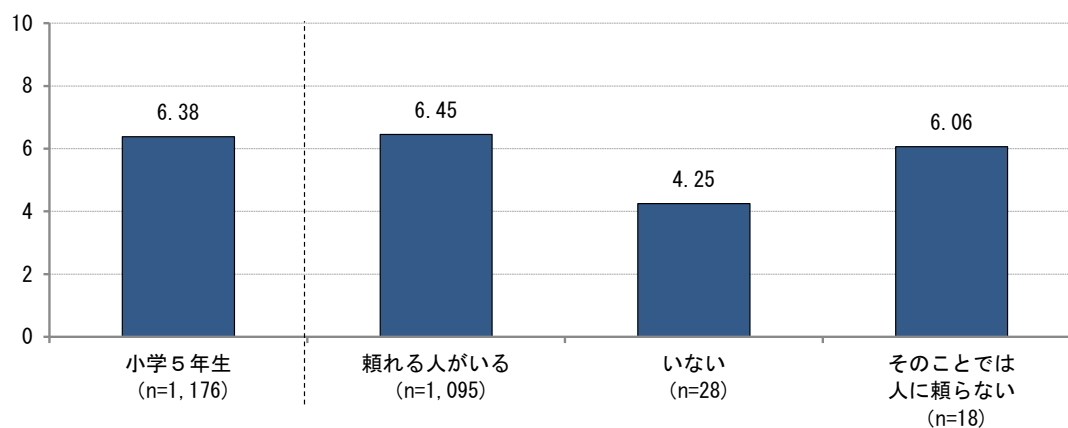
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「友人・知人」が52.4%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



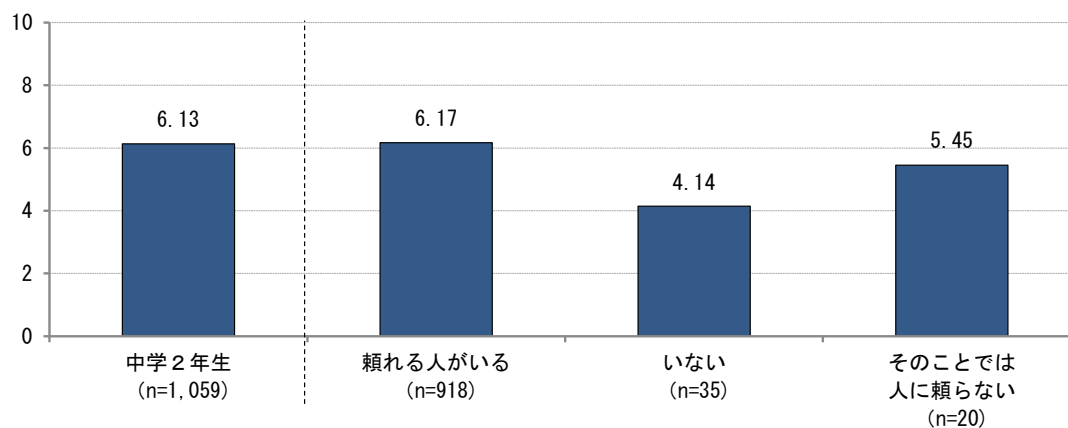
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて「家族・親族」が82.5%、「友人・知人」が59.2%と低くなっている。

【子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度_小学5年生の保護者】



子育てに関する相談をできる人の有無別にみると、保護者の生活の満足度の平均値は、「いない」(4.25)が「頼れる人がいる」(6.45)を2.20点下回っている。

【子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度_中学2年生の保護者】

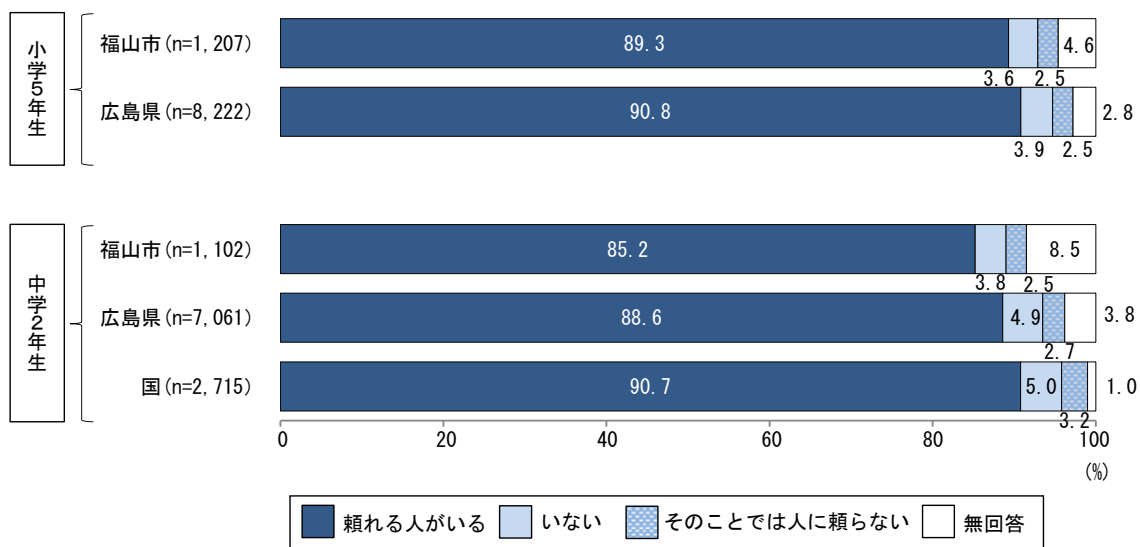


子育てに関する相談をできる人の有無別にみると、保護者の生活の満足度の平均値は、「いない」(4.14)が「頼れる人がいる」(6.17)を2.03点下回っている。

※保護者の生活の満足度に関する調査結果はP108に掲載。

= b) 重要な事柄の相談 =

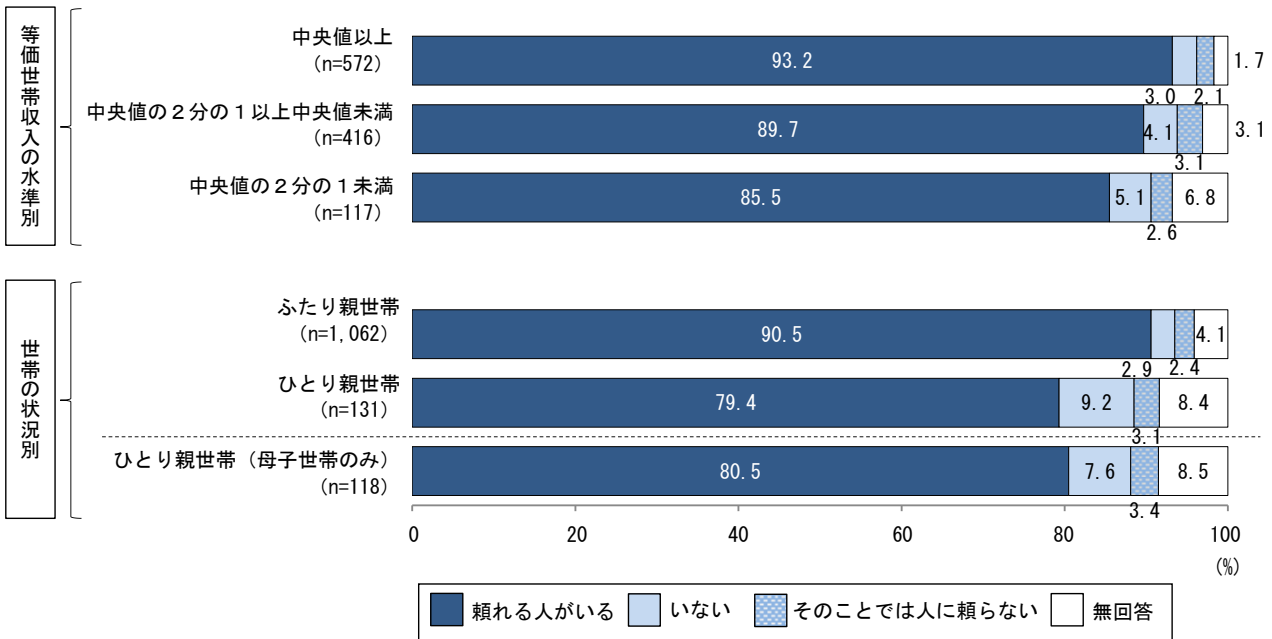
【全体】



重要な事柄の相談について、小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が89.3%、「いない」が3.6%、「そのことでは人に頼らない」が2.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が85.2%、「いない」が3.8%、「そのことでは人に頼らない」が2.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「頼れる人がいる」は、福山市（85.2%）が国（90.7%）を5.5ポイント下回っている。

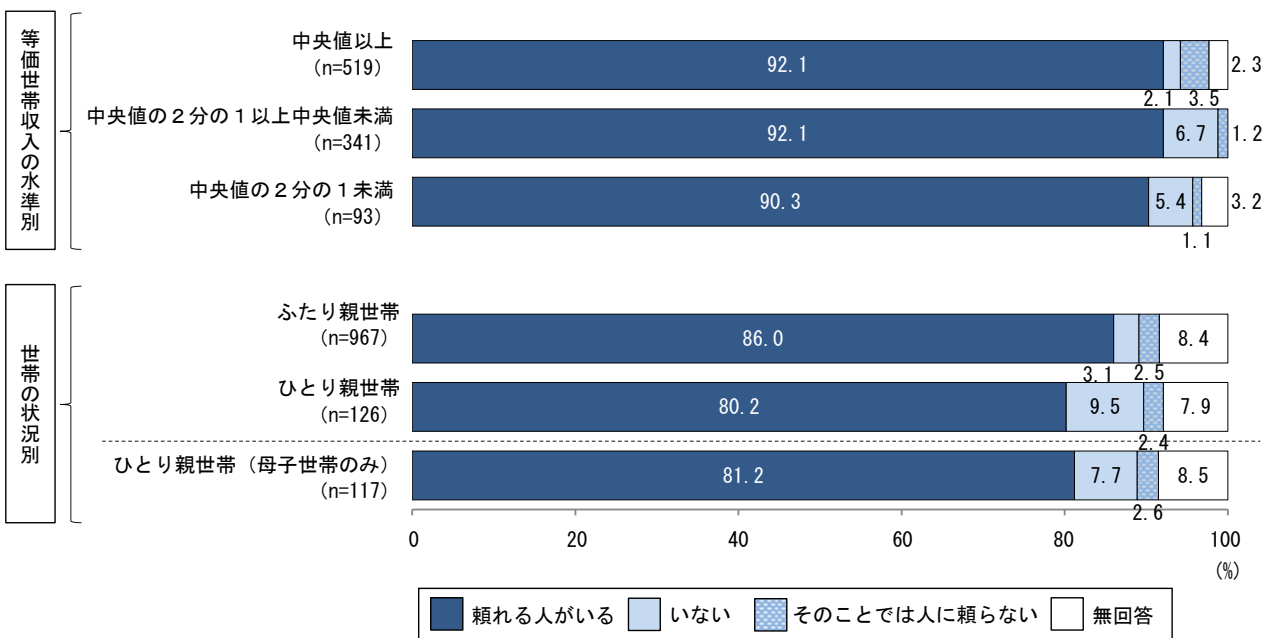
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では3.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では4.1%、「中央値の2分の1未満」では5.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では2.9%、「ひとり親世帯全体」では9.2%、「母子世帯のみ」では7.6%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

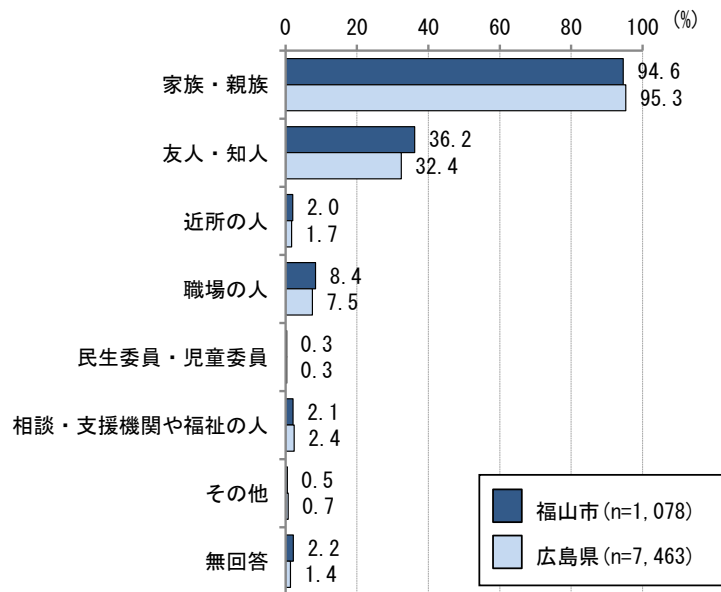


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では2.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では6.7%、「中央値の2分の1未満」では5.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では3.1%、「ひとり親世帯全体」では9.5%、「母子世帯のみ」では7.7%となっている。

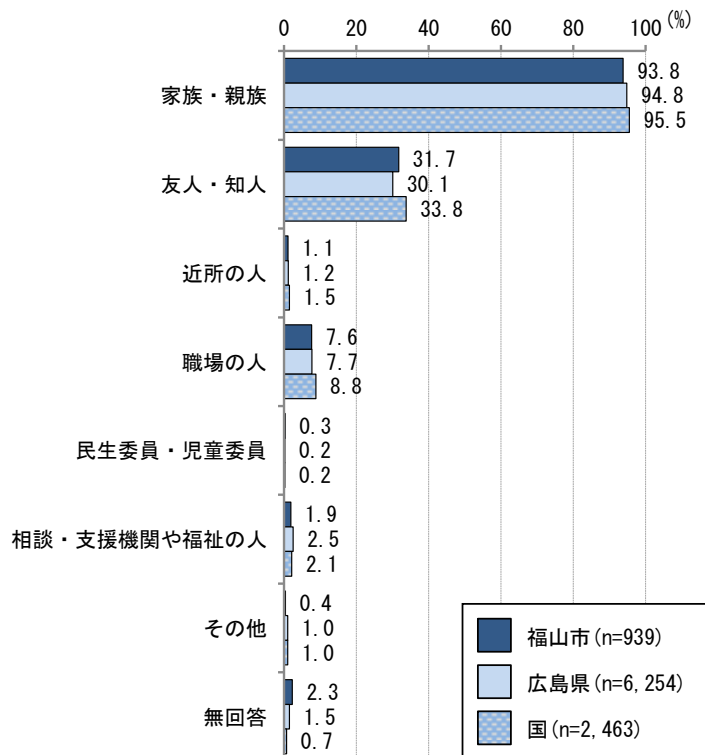
<「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手>

【小学5年生の保護者】



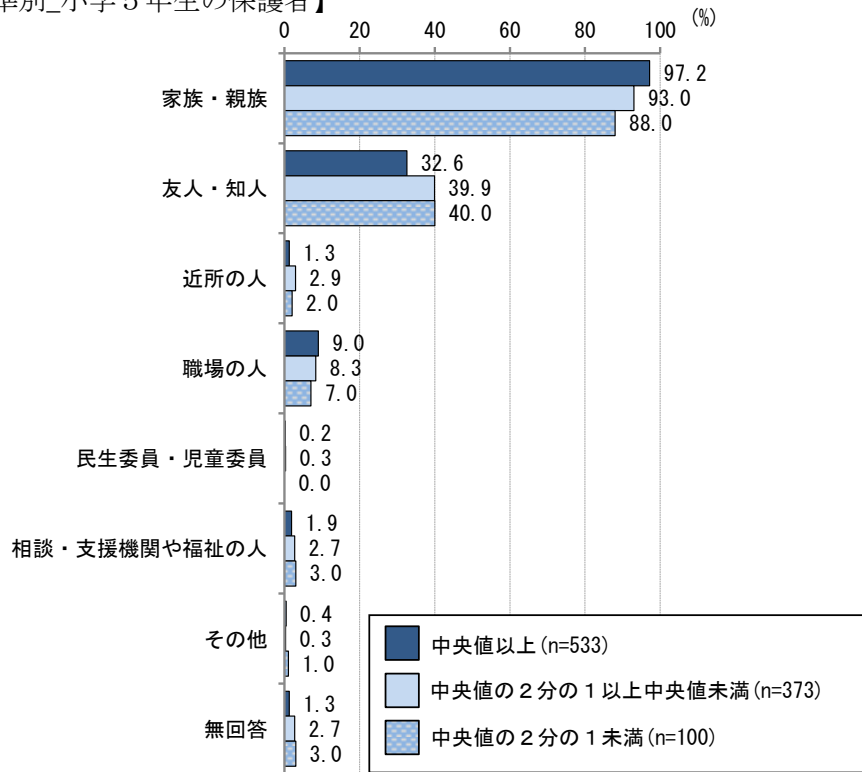
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学5年生の保護者では、「家族・親族」が94.6%と最も高く、次いで「友人・知人」が36.2%、「職場の人」が8.4%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生の保護者】



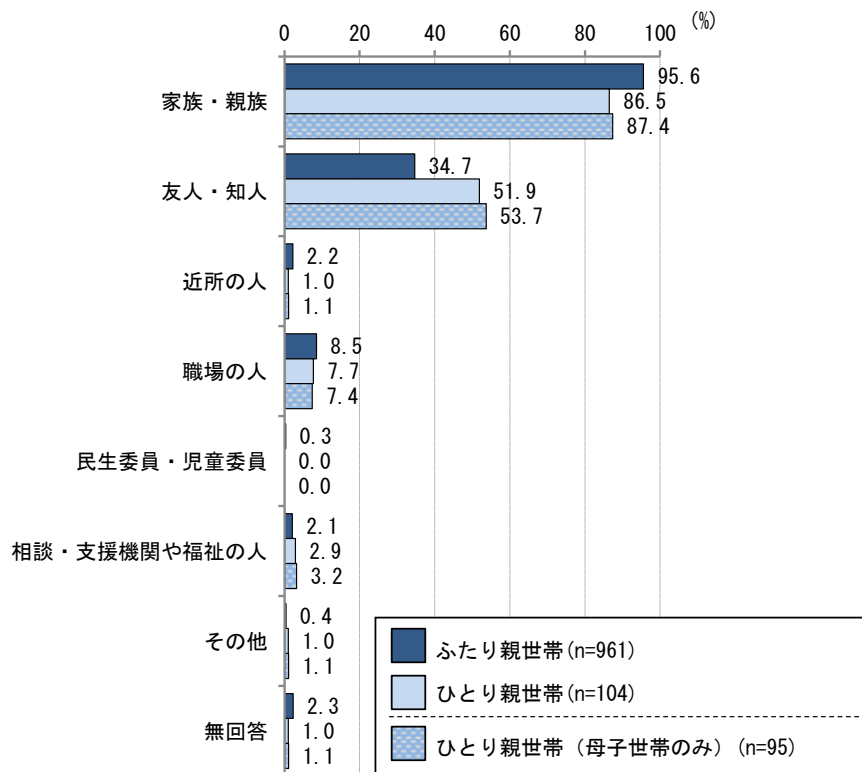
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、中学2年生の保護者では、「家族・親族」が93.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が31.7%、「職場の人」が7.6%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



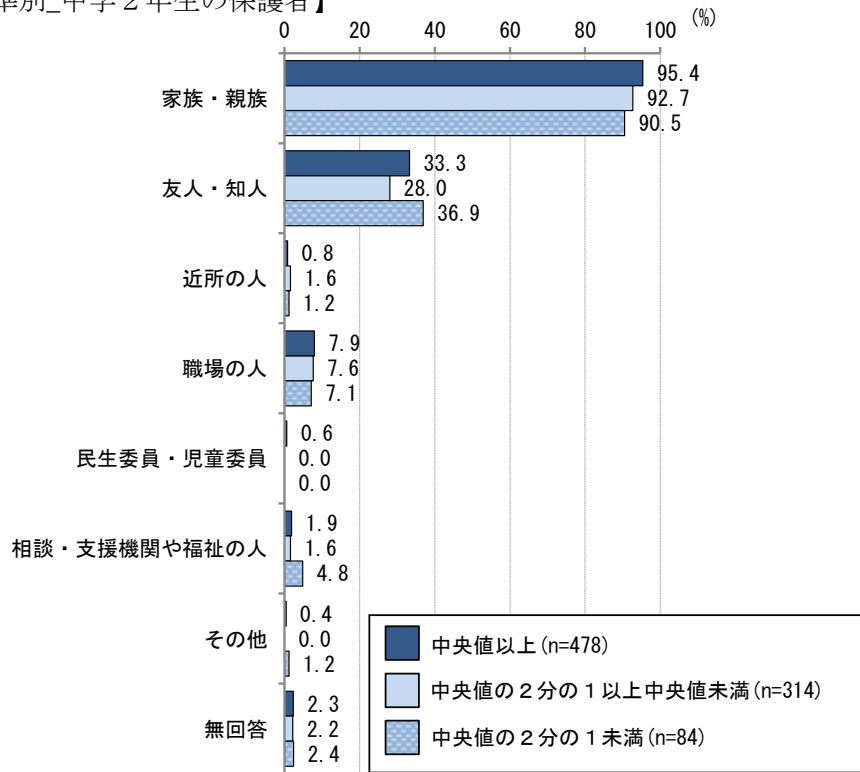
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家族・親族」が88.0%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「友人・知人」は40.0%と高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



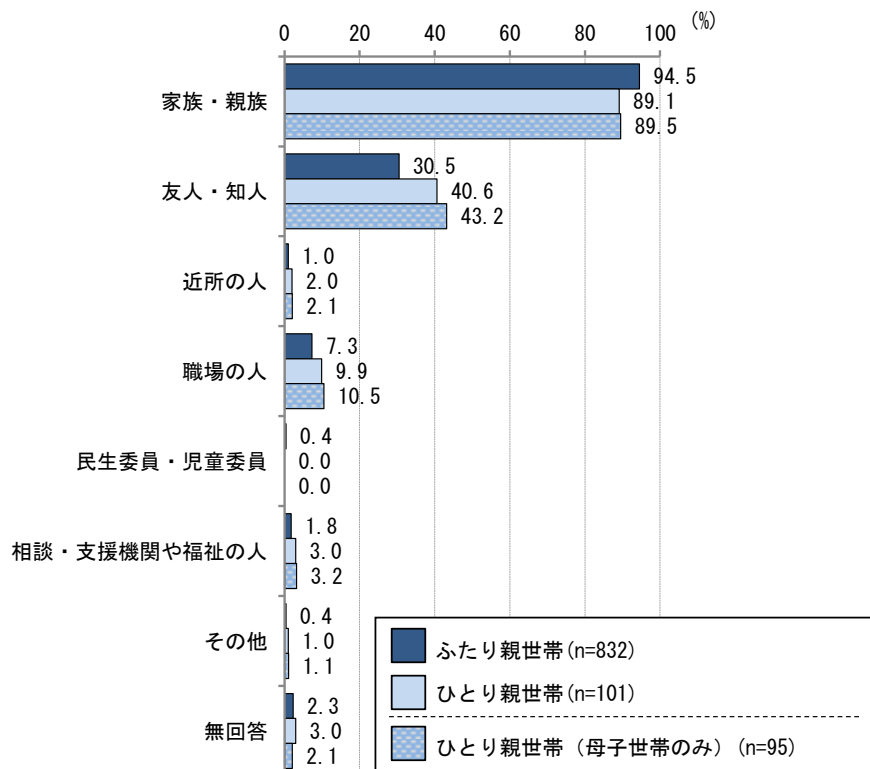
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が86.5%と低くなっている。一方で、「友人・知人」は51.9%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「友人・知人」が36.9%と他の世帯と比べて高くなっている。

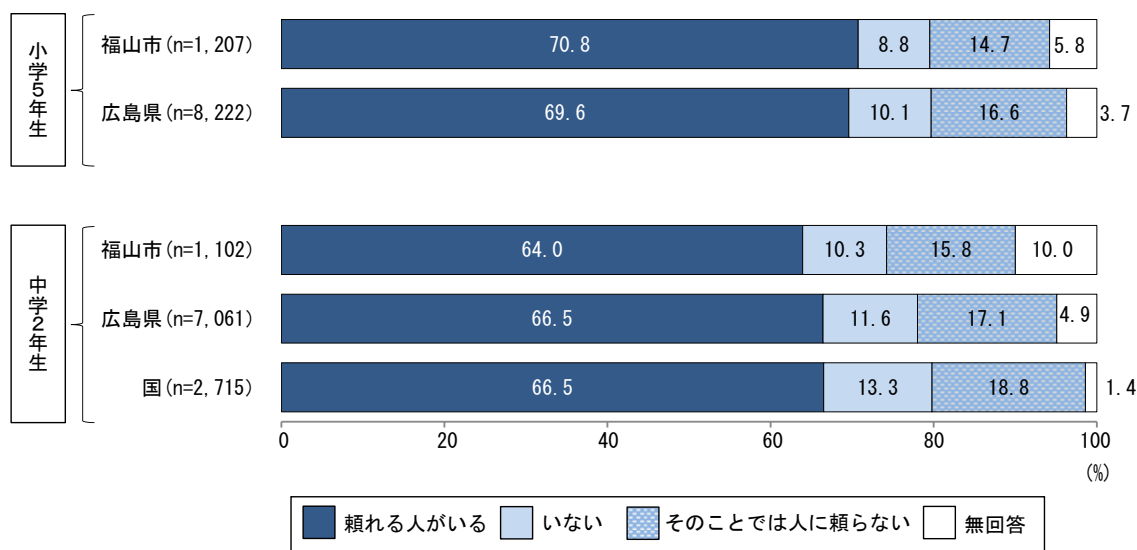
【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が89.1%と低くなっている。一方で、「友人・知人」は40.6%と高くなっている。

= c) いざという時のお金の援助 =

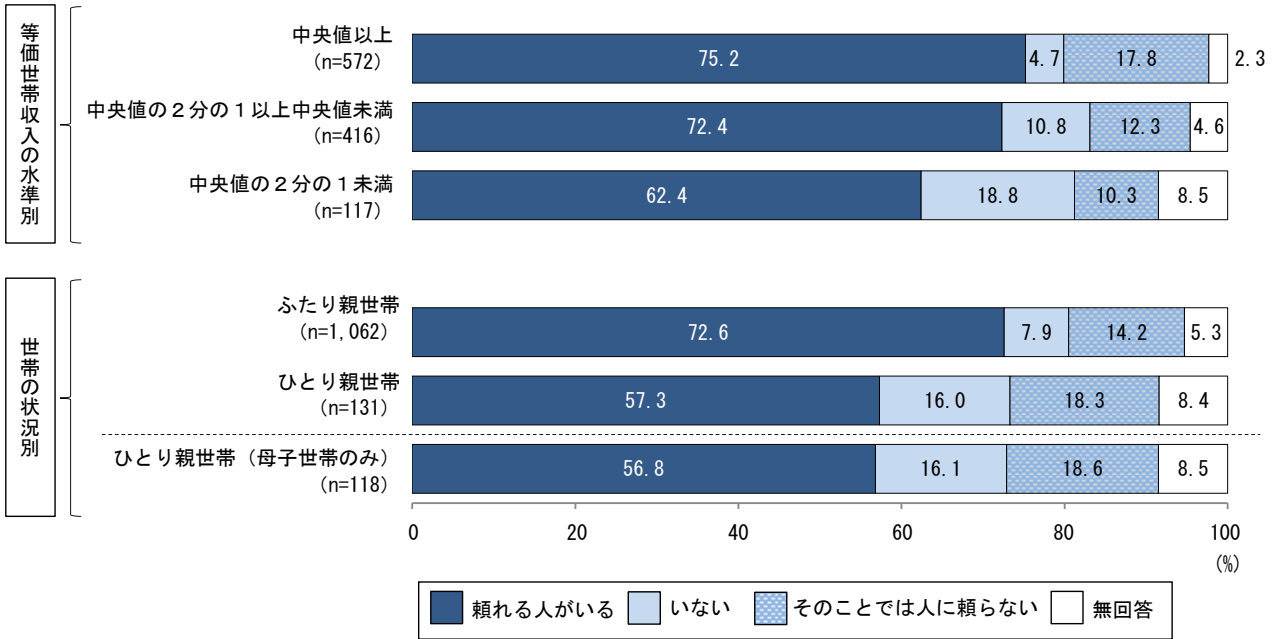
【全体】



いざという時のお金の援助について、小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が70.8%、「いない」が8.8%、「そのことでは人に頼らない」が14.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が64.0%、「いない」が10.3%、「そのことでは人に頼らない」が15.8%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

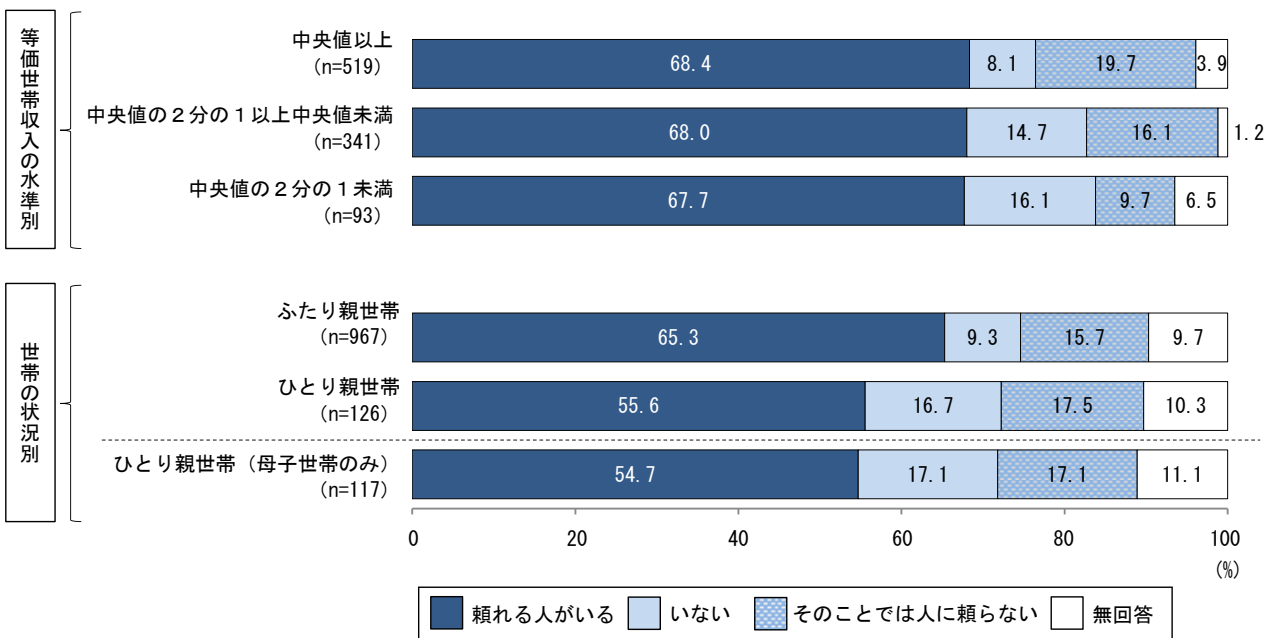
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では4.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では10.8%、「中央値の2分の1未満」では18.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では7.9%、「ひとり親世帯全体」では16.0%、「母子世帯のみ」では16.1%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

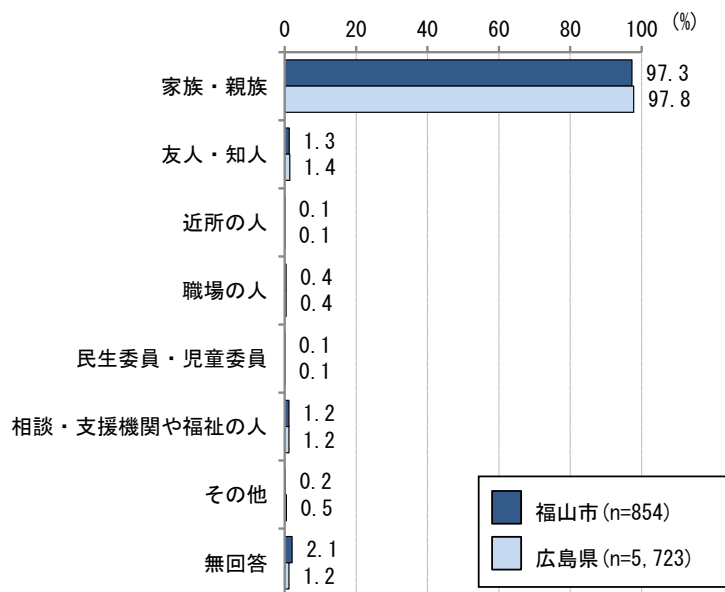


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では8.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では14.7%、「中央値の2分の1未満」では16.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では9.3%、「ひとり親世帯全体」では16.7%、「母子世帯のみ」では17.1%となっている。

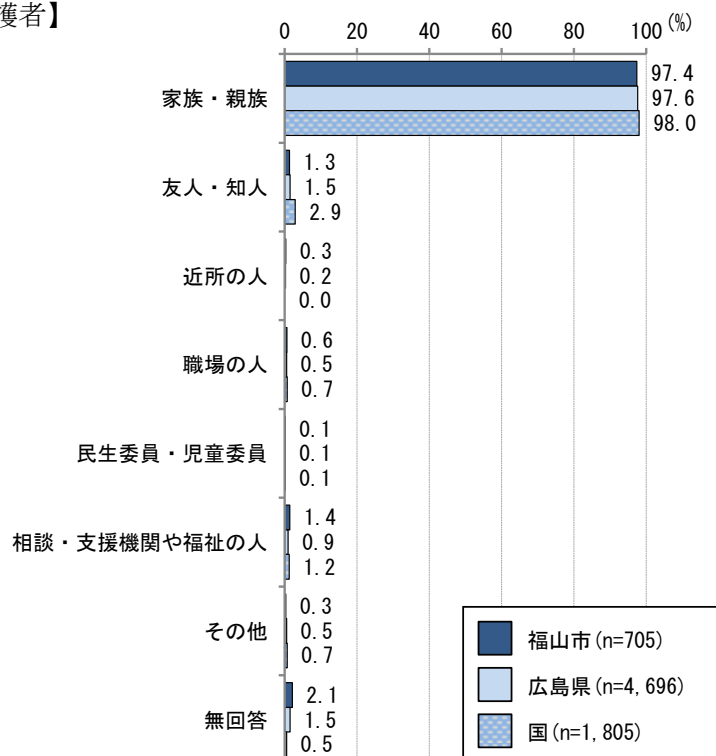
<「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手>

【小学5年生の保護者】



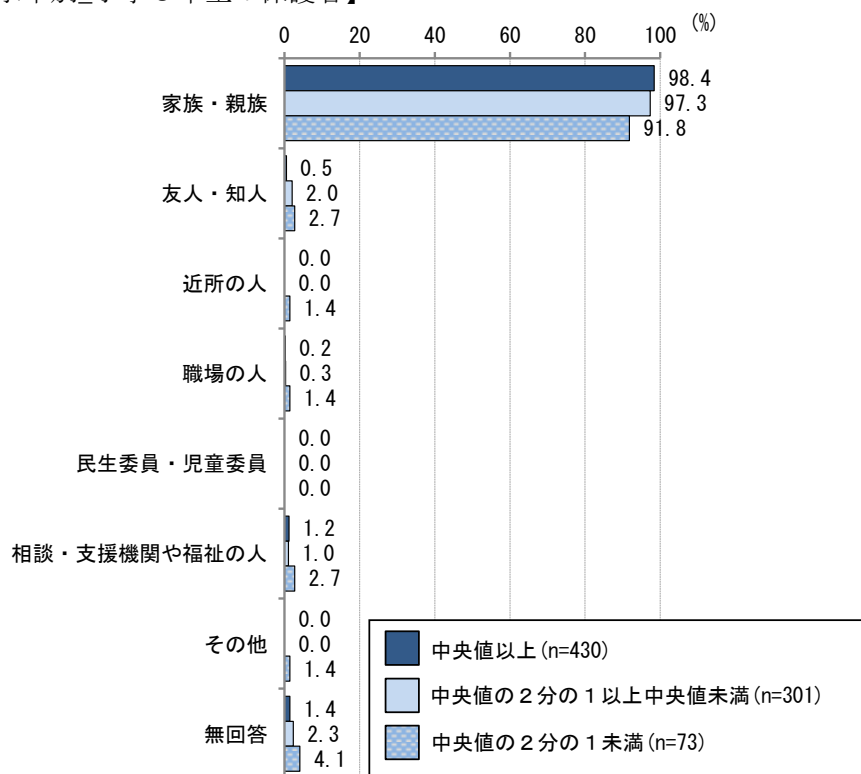
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学5年生の保護者では、「家族・親族」が97.3%と最も高く、次いで「友人・知人」が1.3%、「相談・支援機関や福祉の人」が1.2%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生の保護者】



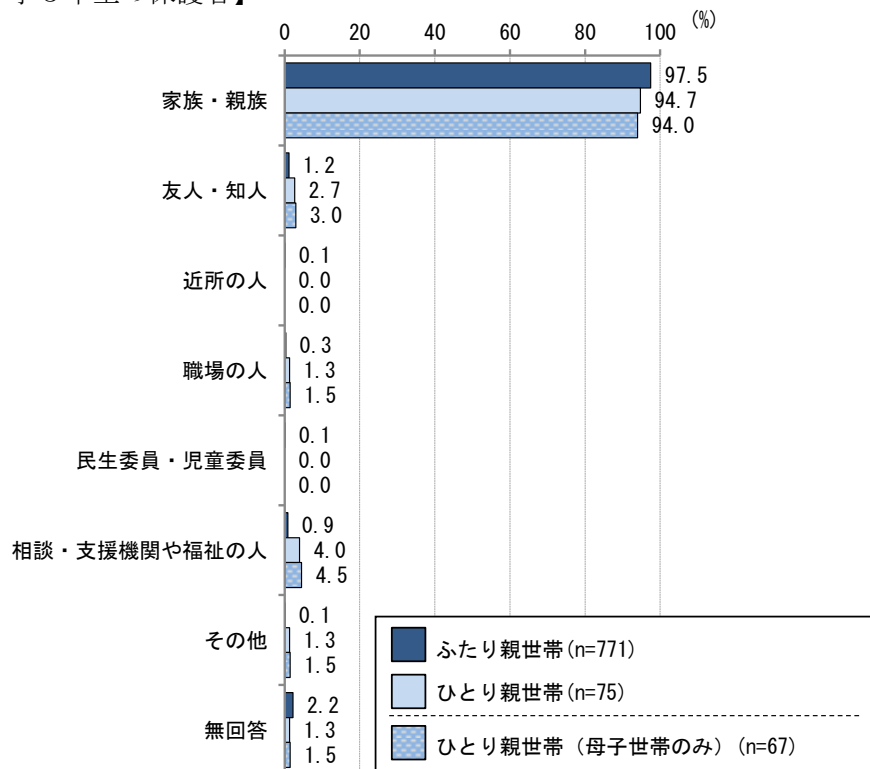
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、中学2年生の保護者では、「家族・親族」が97.4%と最も高く、次いで「相談・支援機関や福祉の人」が1.4%、「友人・知人」が1.3%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



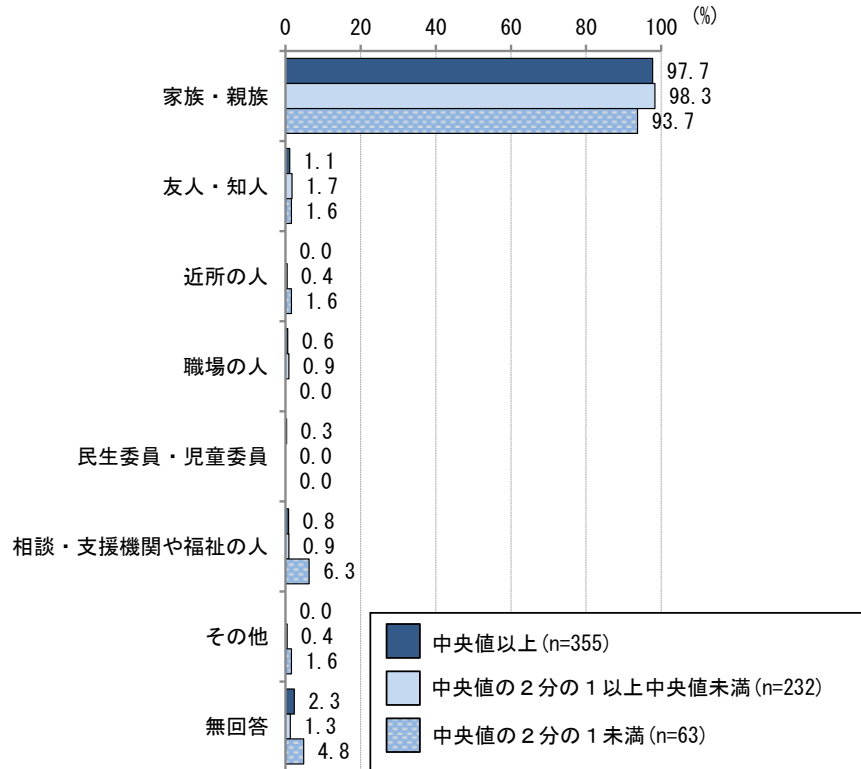
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家族・親族」が91.8%と他の世帯に比べて低くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



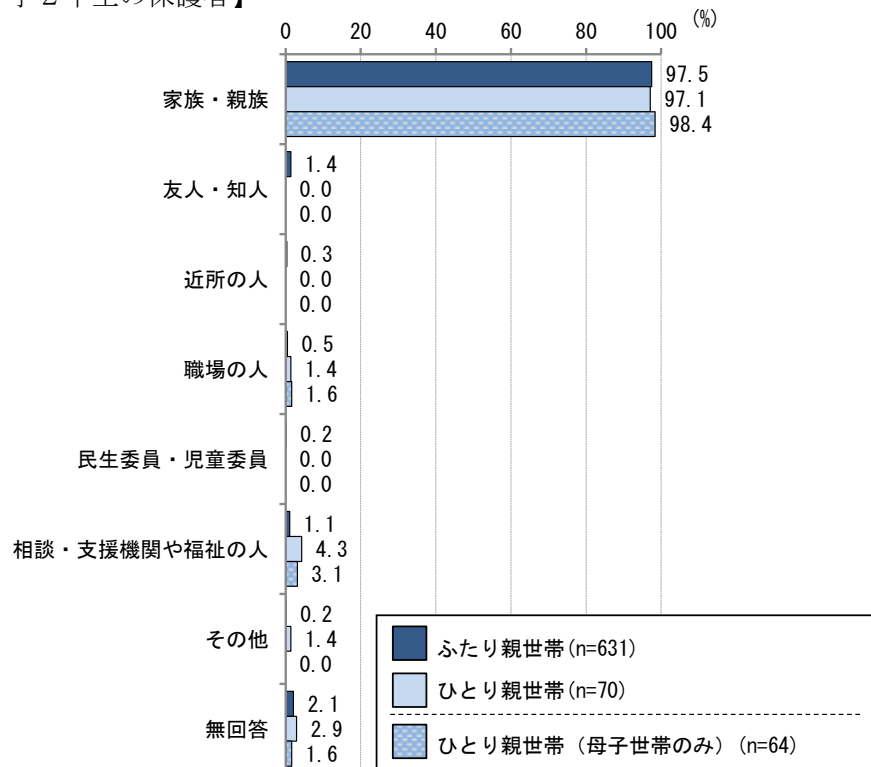
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が94.7%となっており、「ふたり親世帯」と大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「相談・支援機関や福祉の人」が6.3%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が97.1%となっており、「ふたり親世帯」と大きな差はみられない。

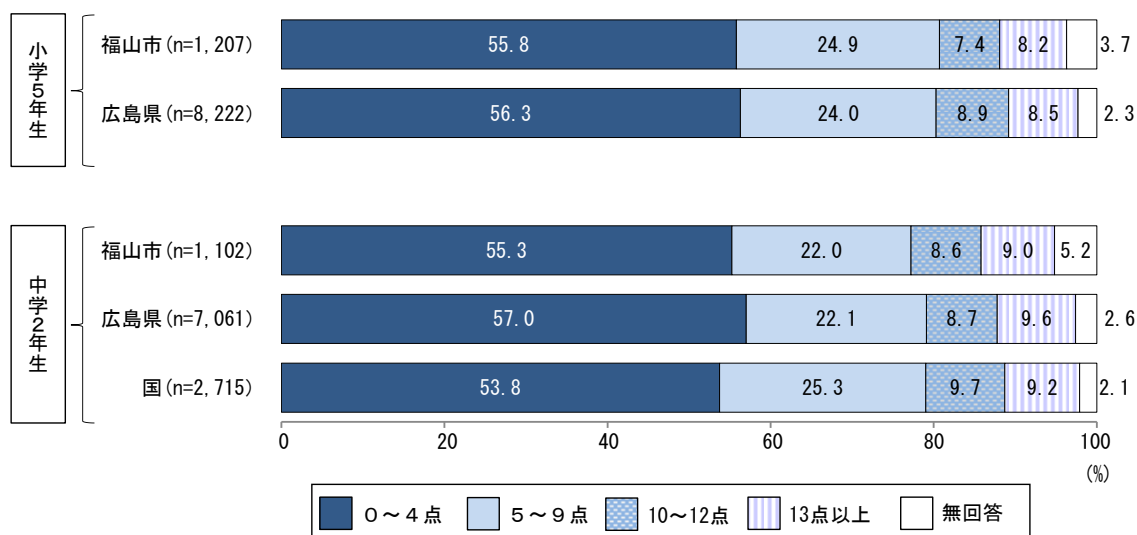
(8) 保護者の心理的な状態

保護者票問 25. 次の a~f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(SA)

- a. 神経過敏に感じた
- b. 絶望的だと感じた
- c. そわそわ、落ち着かなく感じた
- d. 気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じた
- e. 何をするのも面倒だと感じた
- f. 自分は価値のない人間だと感じた

「保護者の心理的な状態」に関して、本調査では「K6※」と呼ばれる指標を把握するための 6 つの項目を設定した。採点方法は、1 つの質問ごとに 0 点（「5 まったくない」）から 4 点（「1 いつも」）を振り、0 点から 24 点で合計を計算した。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示している。

【全体】

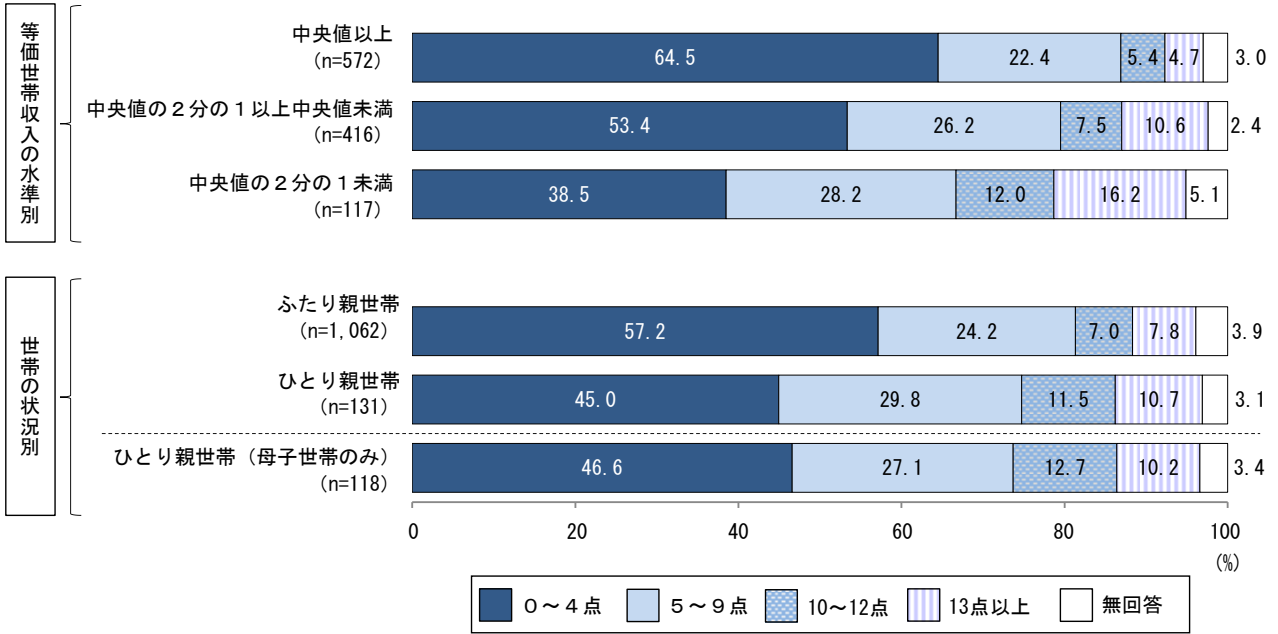


K6 のスコアについて、小学 5 年生の保護者では、「うつ・不安障がい相当」とされている「13 点以上」は 8.2% となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学 2 年生の保護者では、「13 点以上」は 9.0% となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

※K6 は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障がいなどの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、調査において心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されている。

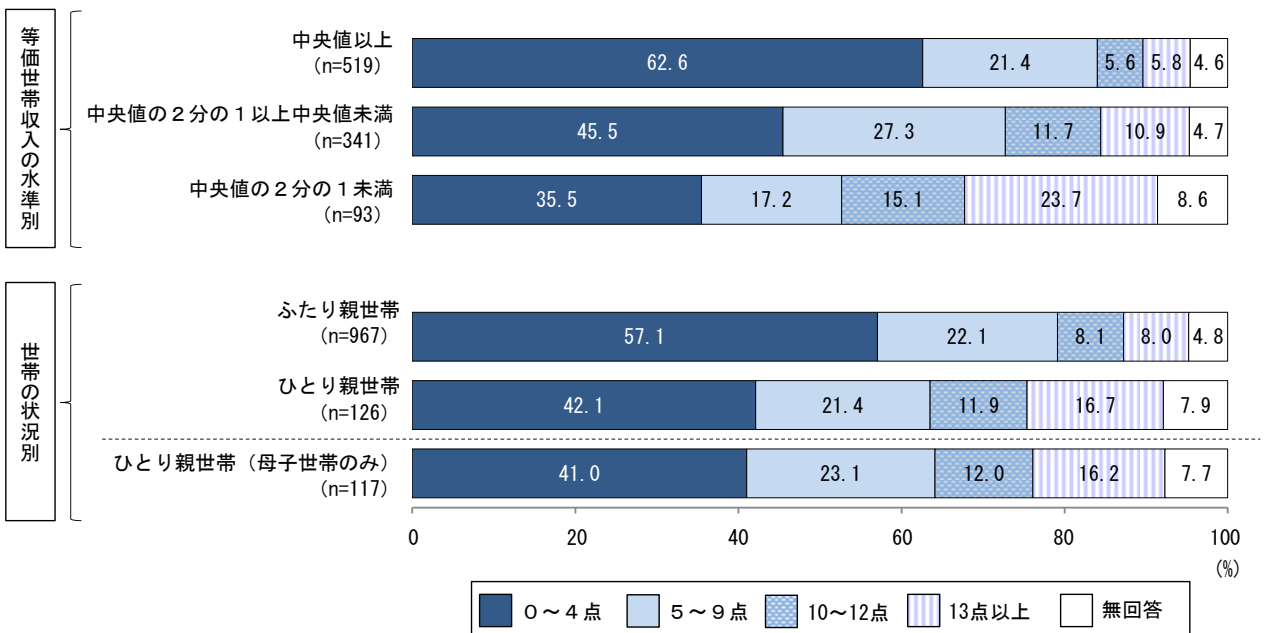
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「13点以上」は、「中央値以上」では4.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では10.6%、「中央値の2分の1未満」では16.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「13点以上」は、「ふたり親世帯」では7.8%、「ひとり親世帯全体」では10.7%、「母子世帯のみ」では10.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

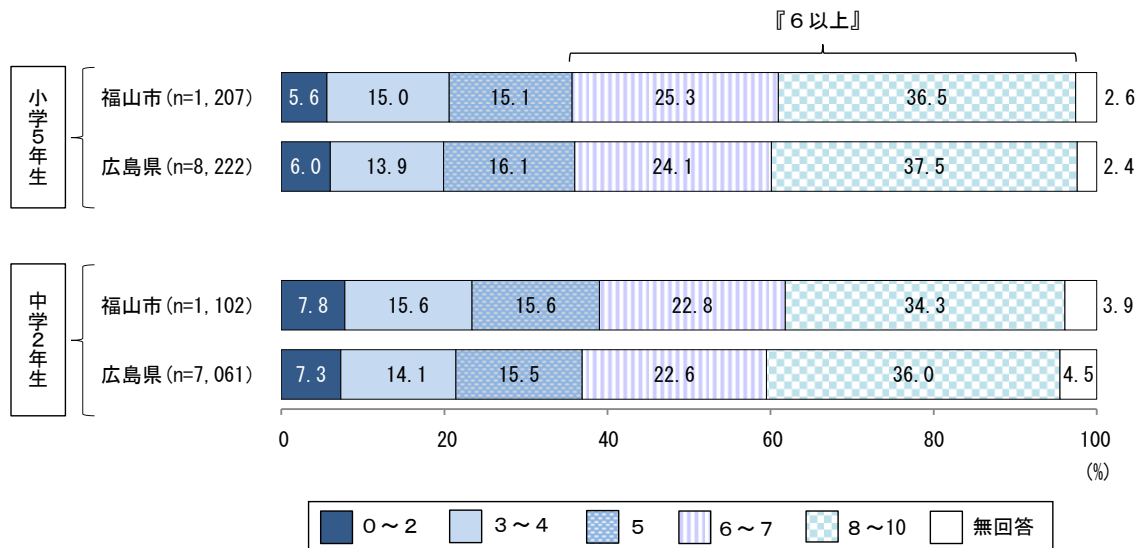


等価世帯収入の水準別にみると、「13点以上」は、「中央値以上」では5.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では10.9%、「中央値の2分の1未満」では23.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「13点以上」は、「ふたり親世帯」では8.0%、「ひとり親世帯全体」では16.7%、「母子世帯のみ」では16.2%となっている。

保護者票問 26. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(SA)
「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で答えてください。

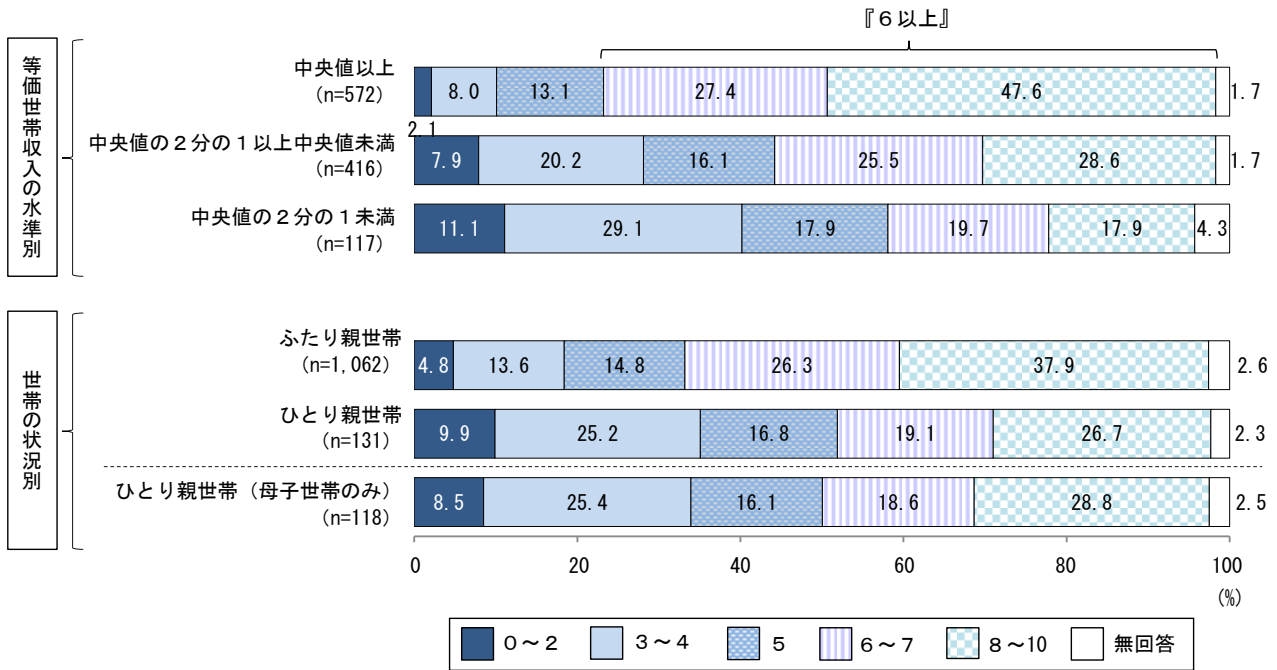
【全体】



最近の生活の満足度について、小学5年生の保護者では、「0~2」が5.6%、「3~4」が15.0%、「5」が15.1%、「6~7」が25.3%、「8~10」が36.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「0~2」が7.8%、「3~4」が15.6%、「5」が15.6%、「6~7」が22.8%、「8~10」が34.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

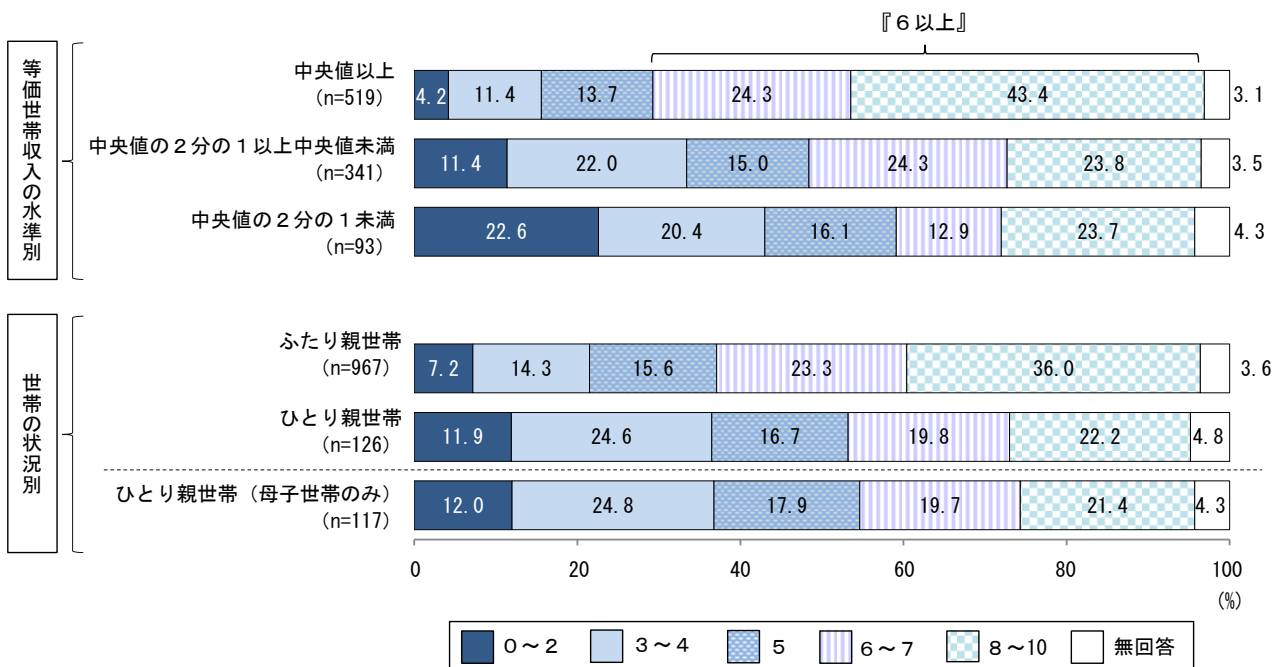
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では75.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では54.1%、「中央値の2分の1未満」では37.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では64.2%、「ひとり親世帯全体」では45.8%、「母子世帯のみ」では47.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では67.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では48.1%、「中央値の2分の1未満」では36.6%となっている。

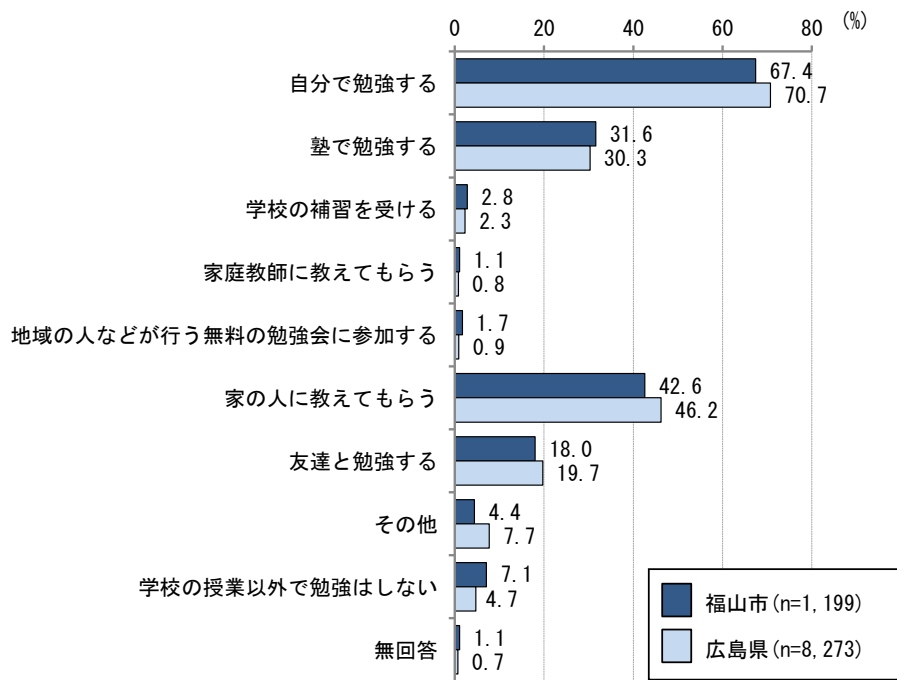
世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では59.3%、「ひとり親世帯全体」では42.0%、「母子世帯のみ」では41.1%となっている。

2 子どもの生活状況, 「貧困の連鎖」リスクの発生状況

(1) 学習の状況

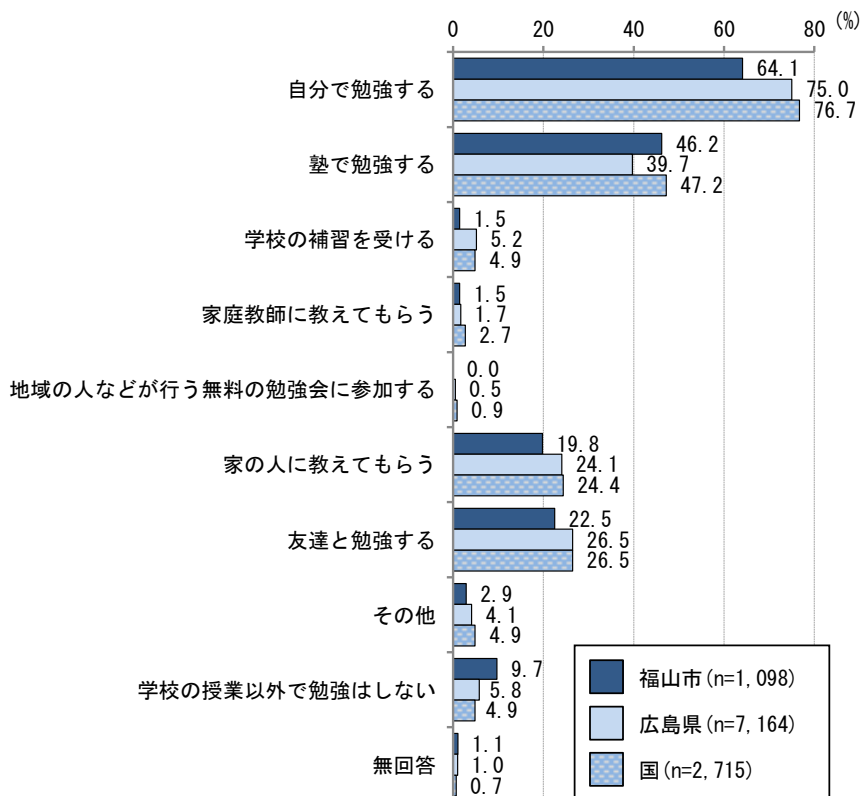
子ども票問2. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(MA)
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。

【小学5年生】



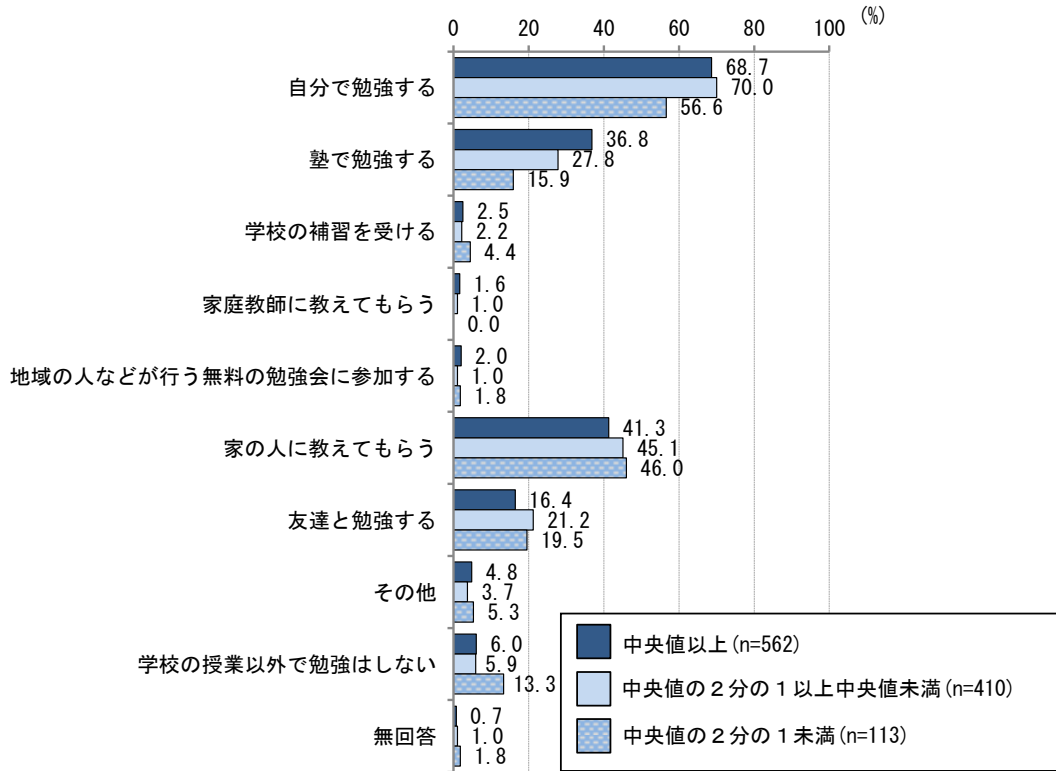
ふだんの勉強の仕方について、小学5年生では、「自分で勉強する」が67.4%と最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」が42.6%、「塾で勉強する」が31.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生】



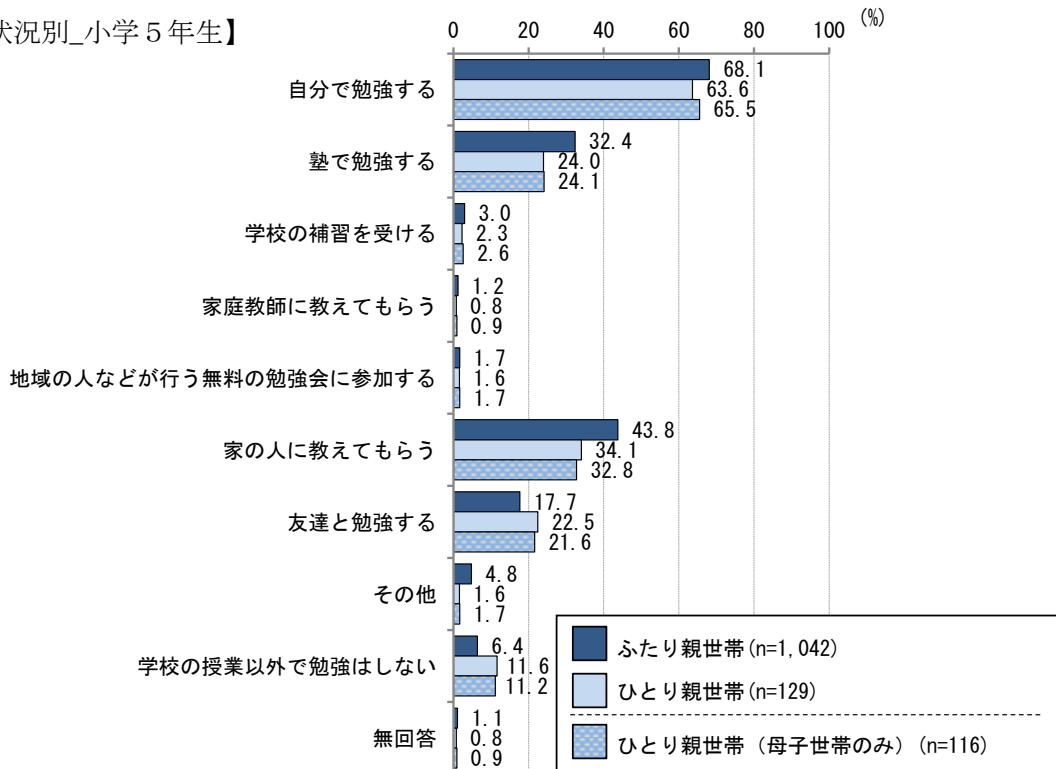
ふだんの勉強の仕方について、中学2年生では、「自分で勉強する」が64.1%と最も高く、次いで「塾で勉強する」が46.2%、「友達と勉強する」が22.5%などの順となっている。広島県と比較すると、「自分で勉強する」は、福山市(64.1%)が広島県(75.0%)を10.9ポイント下回っており、「塾で勉強する」は、福山市(46.2%)が広島県(39.7%)を6.5ポイント上回っている。国と比較すると、「自分で勉強する」は、福山市(64.1%)が国(76.7%)を12.6ポイント下回っている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】

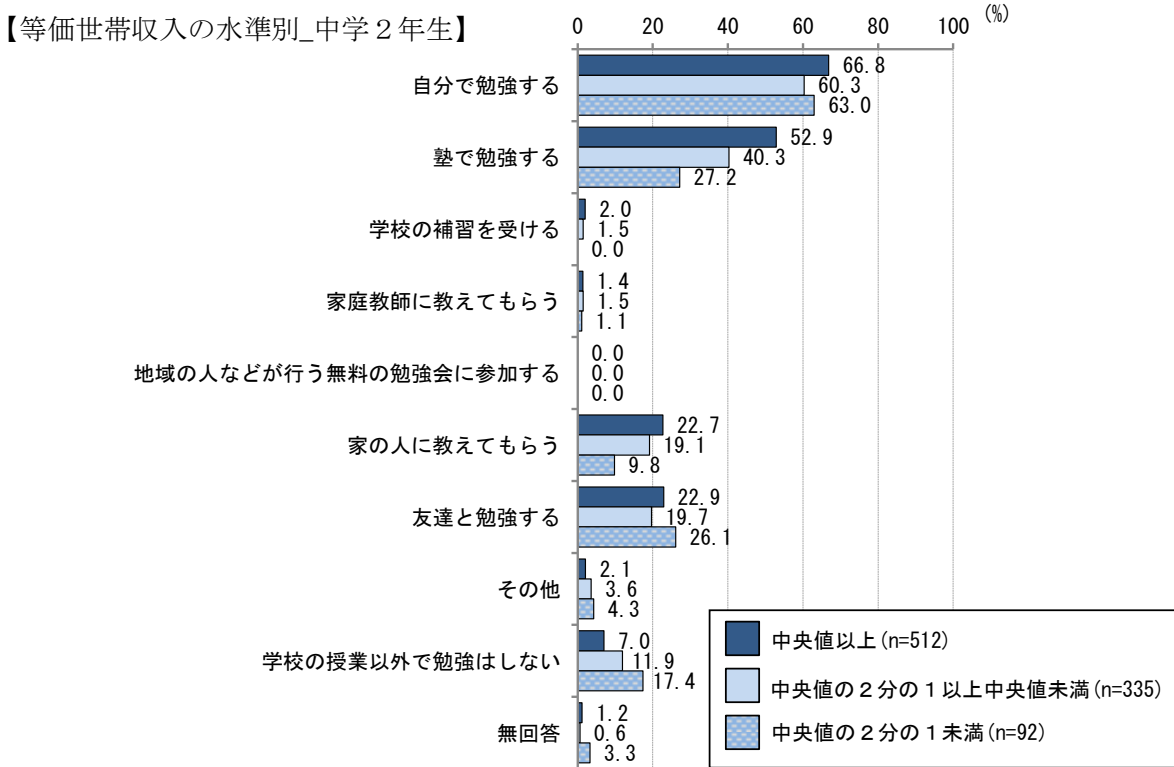


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「自分で勉強する」が56.6%、「塾で勉強する」が15.9%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「学校の授業以外で勉強はしない」は13.3%と高くなっている。

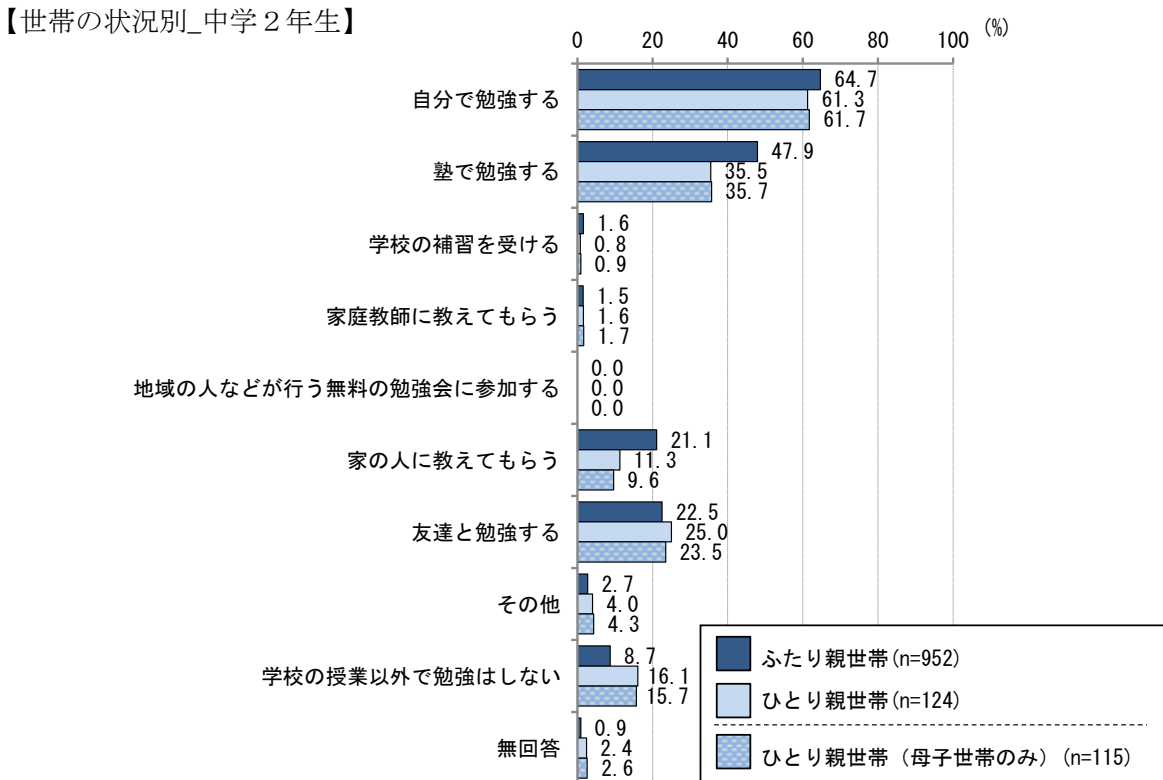
【世帯の状況別_小学5年生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「自分で勉強する」が63.6%、「塾で勉強する」は24.0%、「家の人に教えてもらう」は34.1%と低くなっている。一方で、「学校の授業以外で勉強はしない」は11.6%と高くなっている。



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「塾で勉強する」が27.2%、「家の人に教えてもらう」が9.8%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「友達と勉強する」は26.1%、「学校の授業以外で勉強はしない」は17.4%と高くなっている。

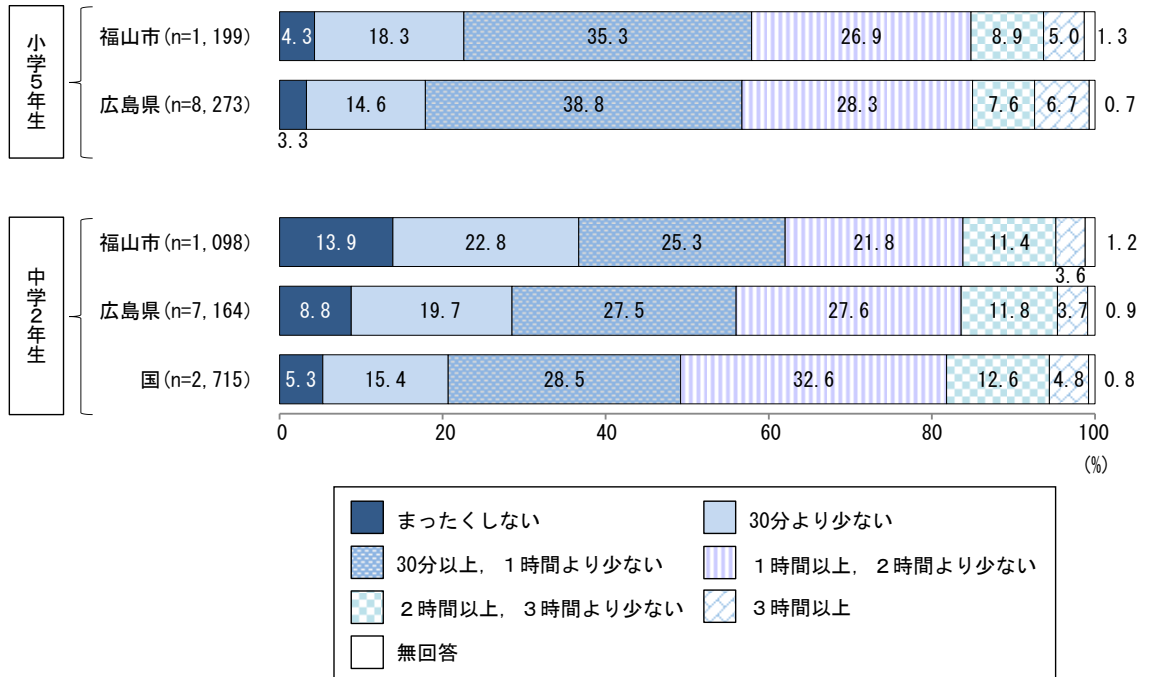


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「塾で勉強する」が35.5%、「家の人に教えてもらう」が11.3%と低くなっている。一方で、「学校の授業以外で勉強はしない」は16.1%と高くなっている。

子ども票問3. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
 (SA)
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

= a) 学校がある日 (月～金曜日) =

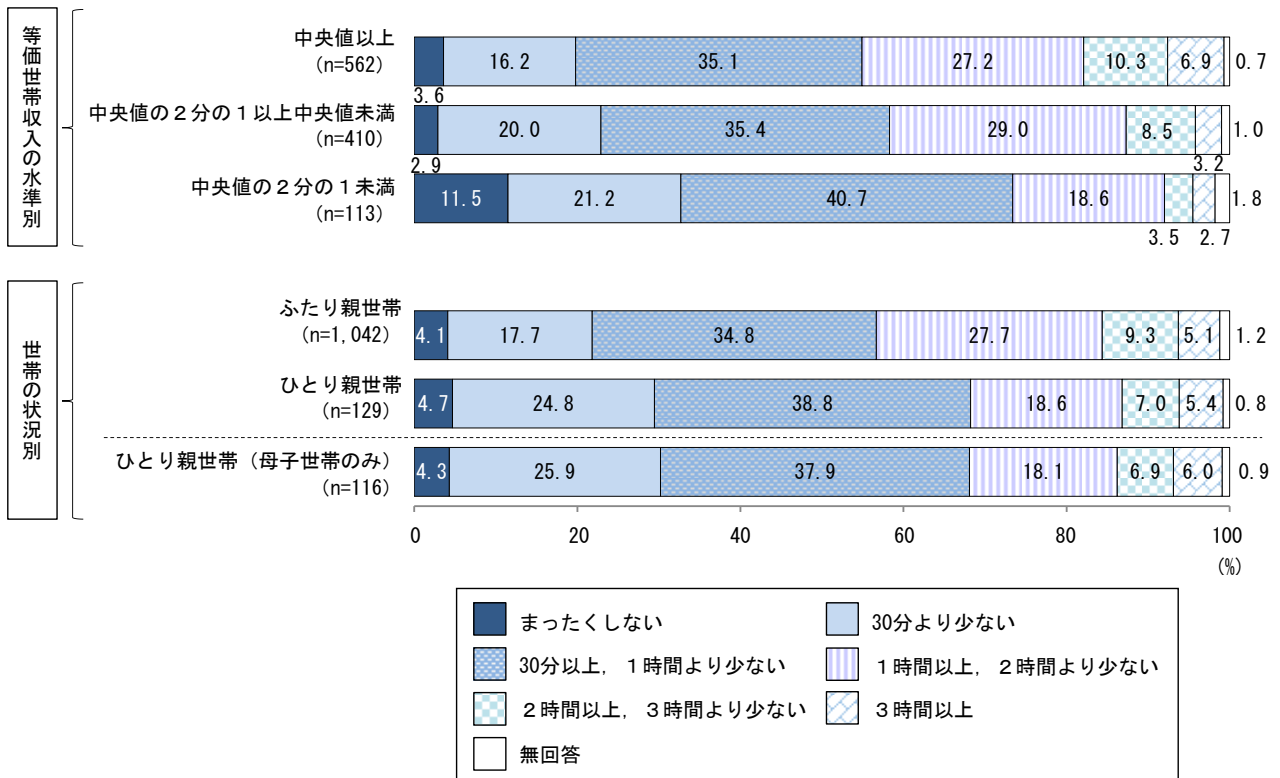
【全体】



1日あたりの勉強時間(学校がある日)について、小学5年生では、「30分以上、1時間より少ない」が35.3%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が26.9%、「30分より少ない」が18.3%などの順となっている。また、「まったくしない」は4.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「30分以上、1時間より少ない」が25.3%と最も高く、次いで「30分より少ない」が22.8%、「1時間以上、2時間より少ない」が21.8%などの順となっている。また、「まったくしない」は13.9%となっている。広島県と比較すると、「まったくしない」は、福山市(13.9%)が広島県(8.8%)を5.1ポイント上回っており、「1時間以上、2時間より少ない」は、福山市(21.8%)が広島県(27.6%)を5.8ポイント下回っている。国と比較すると、「まったくしない」は、福山市(13.9%)が国(5.3%)を8.6ポイント、「30分より少ない」は、福山市(22.8%)が国(15.4%)を7.4ポイント上回っており、「1時間以上、2時間より少ない」は、福山市(21.8%)が国(32.6%)を10.8ポイント下回っている。

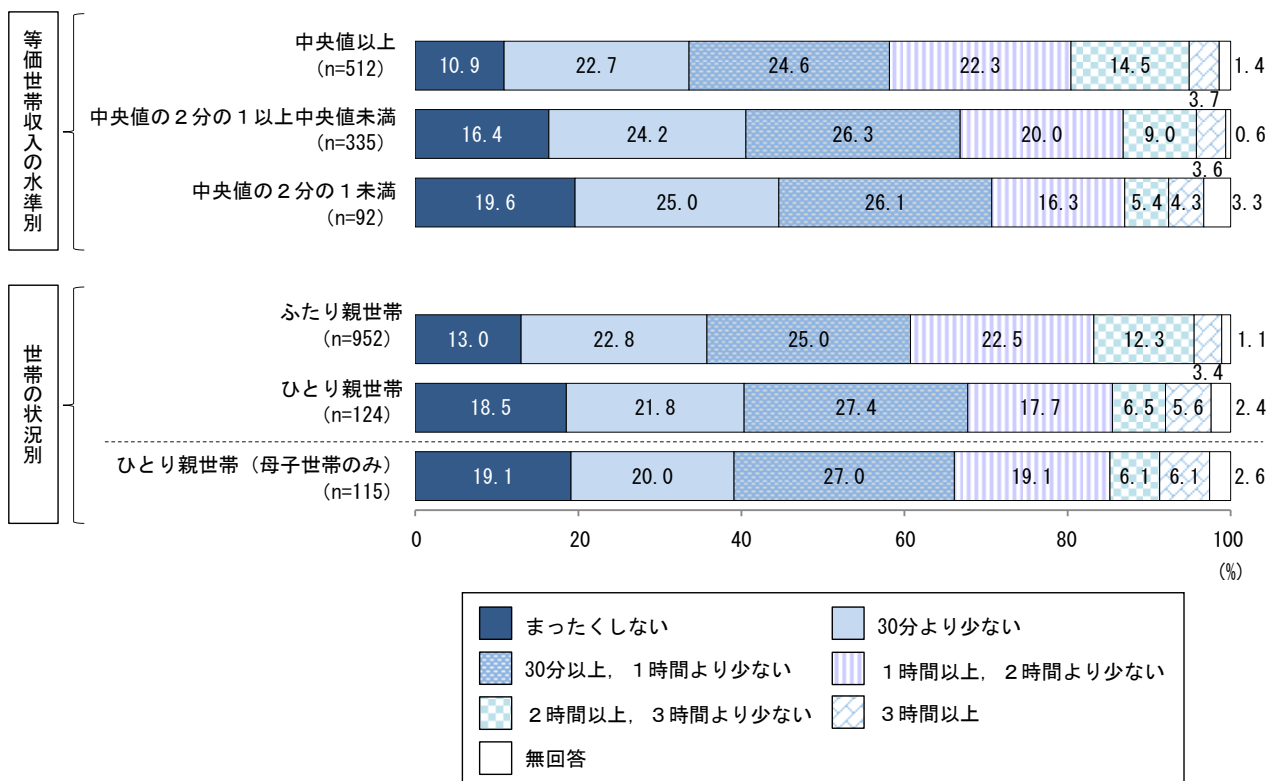
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「まったくしない」は、「中央値以上」では3.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.9%、「中央値の2分の1未満」では11.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「まったくしない」は、「ふたり親世帯」では4.1%、「ひとり親世帯全体」では4.7%、「母子世帯のみ」では4.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

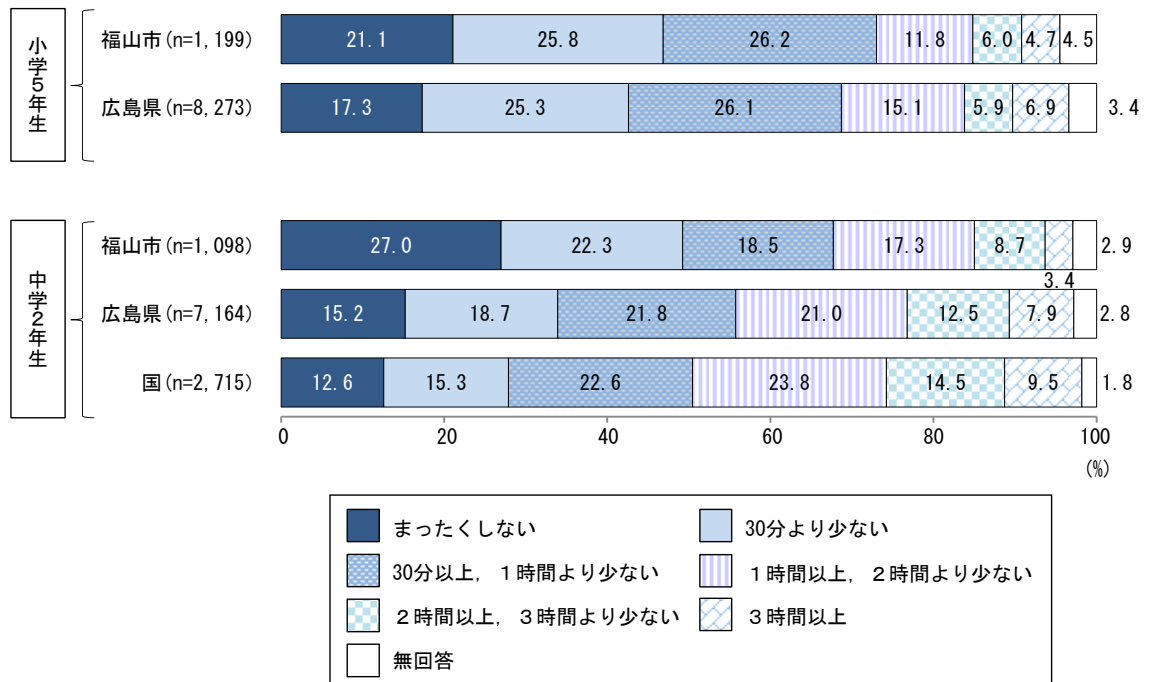


等価世帯収入の水準別にみると、「まったくしない」は、「中央値以上」では10.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では16.4%、「中央値の2分の1未満」では19.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「まったくしない」は、「ふたり親世帯」では13.0%、「ひとり親世帯全体」では18.5%、「母子世帯のみ」では19.1%となっている。

= b) 学校がない日 (土・日曜日・祝日) =

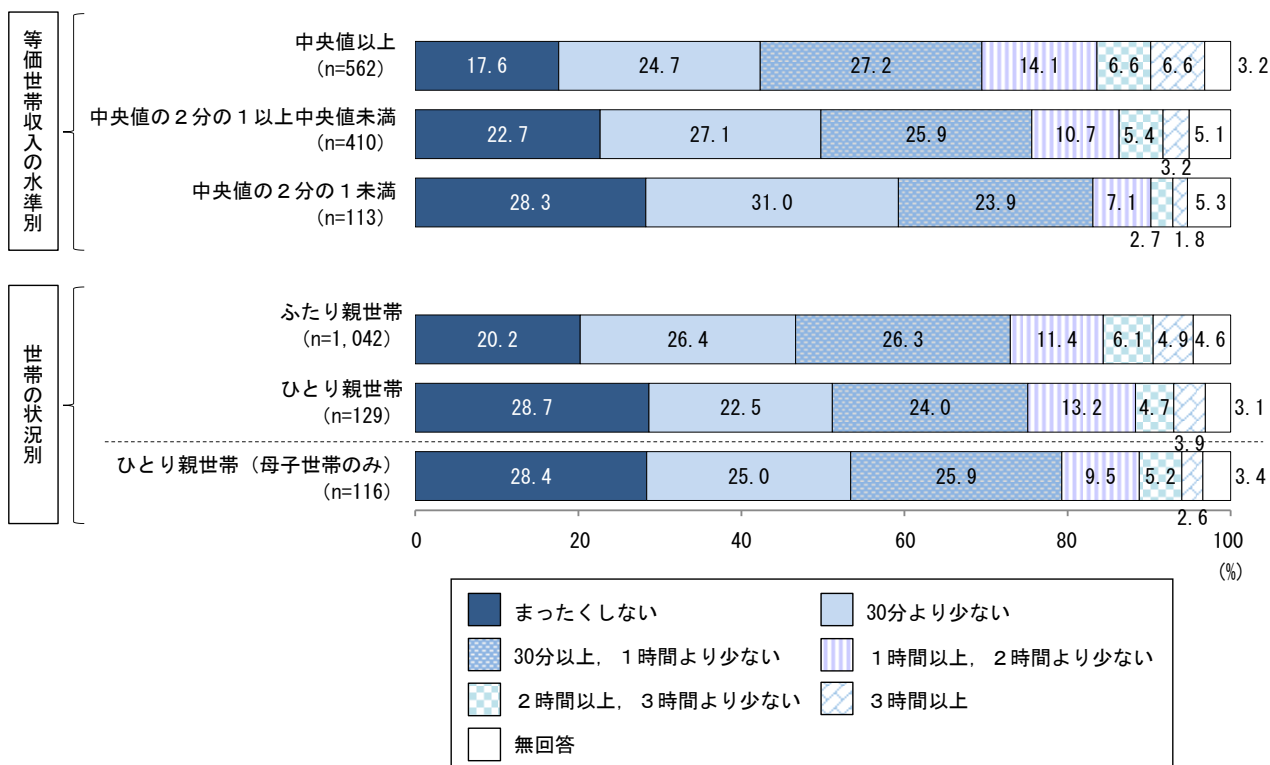
【全体】



1日あたりの勉強時間(学校がない日)について、小学5年生では、「30分以上、1時間より少ない」が26.2%と最も高く、次いで「30分より少ない」が25.8%、「まったくしない」が21.1%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「まったくしない」が27.0%と最も高く、次いで「30分より少ない」が22.3%、「30分以上、1時間より少ない」が18.5%などの順となっている。広島県と比較すると、「まったくしない」は、福山市(27.0%)が広島県(15.2%)を11.8ポイント上回っている。国と比較すると、「まったくしない」は、福山市(27.0%)が国(12.6%)を14.4ポイント、「30分より少ない」は、福山市(22.3%)が国(15.3%)を7.0ポイント上回っており、「1時間以上、2時間より少ない」は、福山市(17.3%)が国(23.8%)を6.5ポイント、「2時間以上、3時間より少ない」は、福山市(8.7%)が国(14.5%)を5.8ポイント、「3時間以上」は、福山市(3.4%)が国(9.5%)を6.1ポイント下回っている。

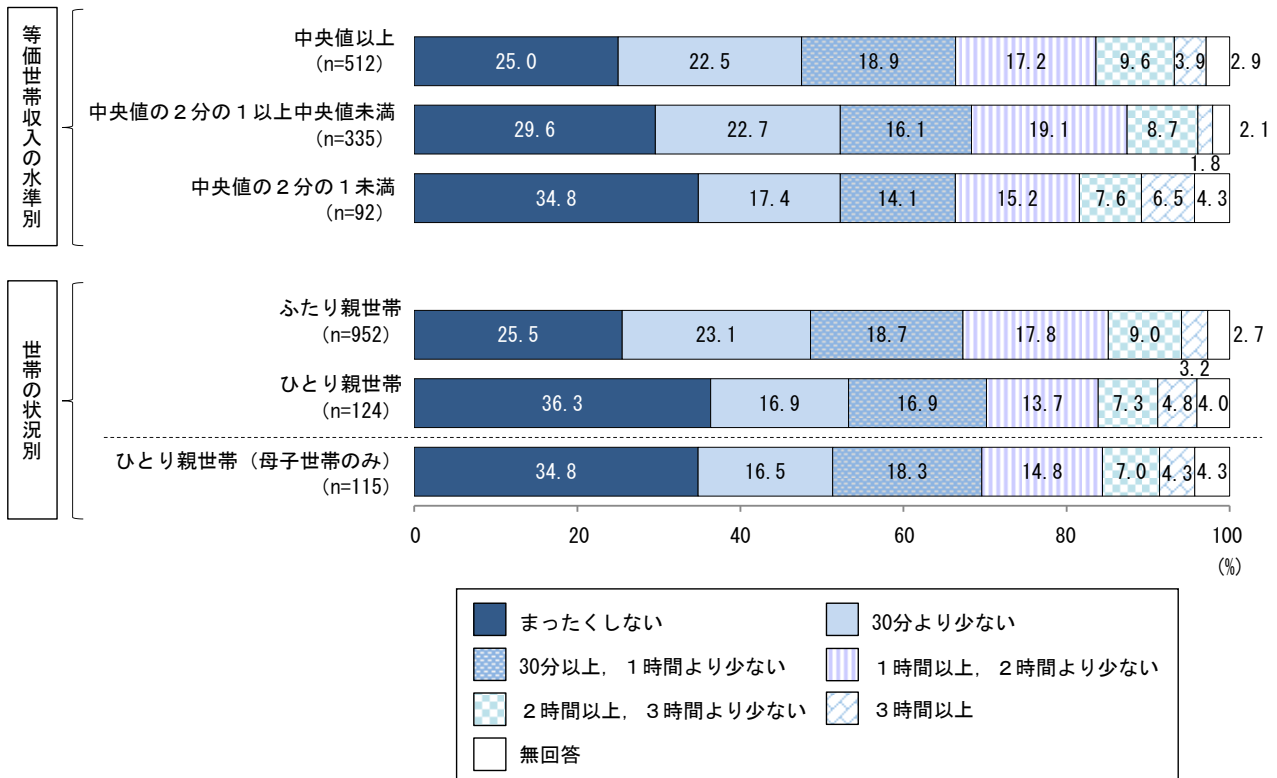
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「まったくしない」は、「中央値以上」では17.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では22.7%、「中央値の2分の1未満」では28.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「まったくしない」は、「ふたり親世帯」では20.2%、「ひとり親世帯全体」では28.7%、「母子世帯のみ」では28.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

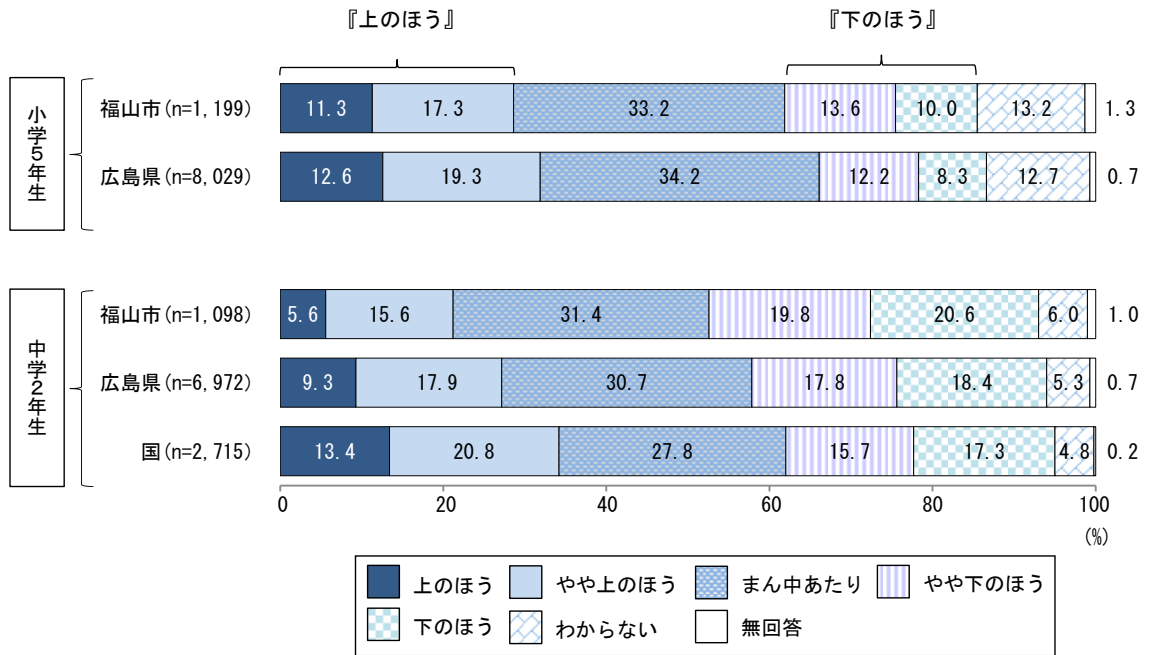


等価世帯収入の水準別にみると、「まったくしない」は、「中央値以上」では25.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では29.6%、「中央値の2分の1未満」では34.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「まったくしない」は、「ふたり親世帯」では25.5%、「ひとり親世帯全体」では36.3%、「母子世帯のみ」では34.8%となっている。

子ども票問4. あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(SA)

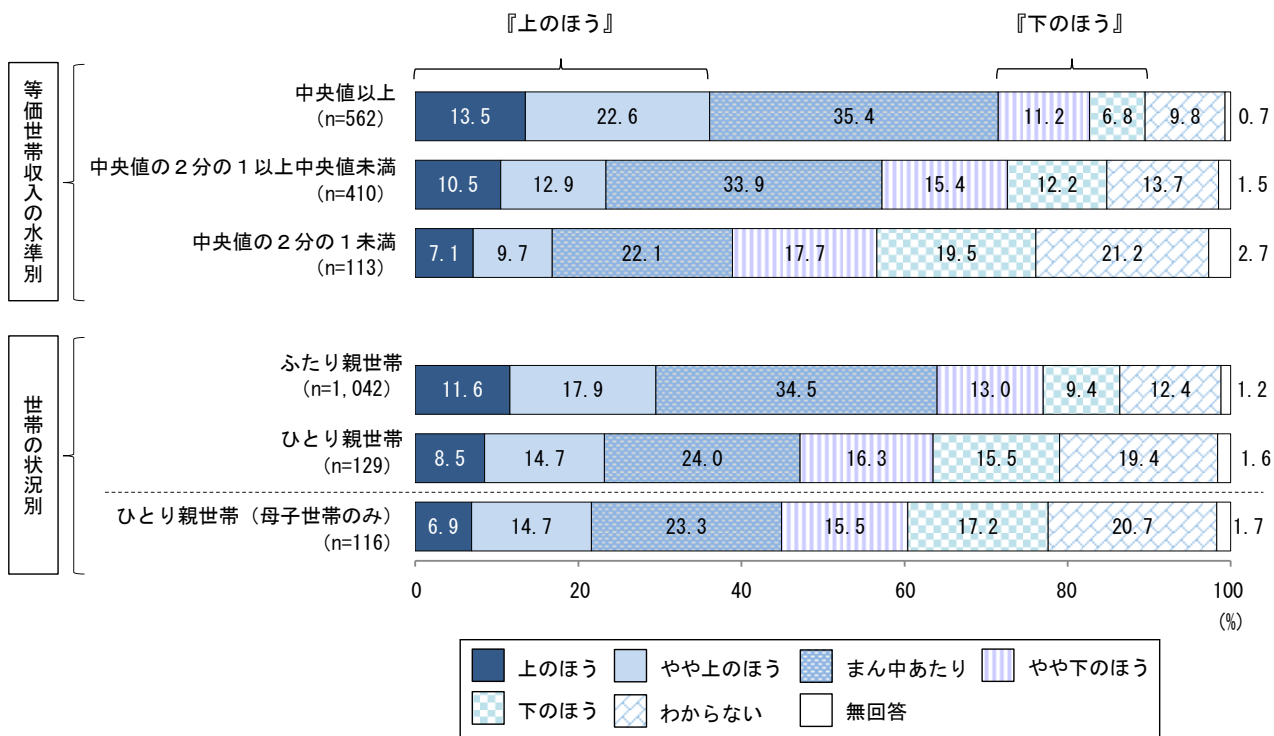
【全体】



クラスの中での成績について、小学5年生では、『上のほう（「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた割合）』が 28.6%、「まん中あたり」が 33.2%、『下のほう（「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた割合）』が 23.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、『上のほう』が 21.2%、「まん中あたり」が 31.4%、『下のほう』が 40.4%となっている。広島県と比較すると、『上のほう』は、福山市（21.2%）が広島県（27.2%）を 6.0ポイント下回っている。国と比較すると、『上のほう』は、福山市（21.2%）が国（34.2%）を 13.0ポイント下回っている。

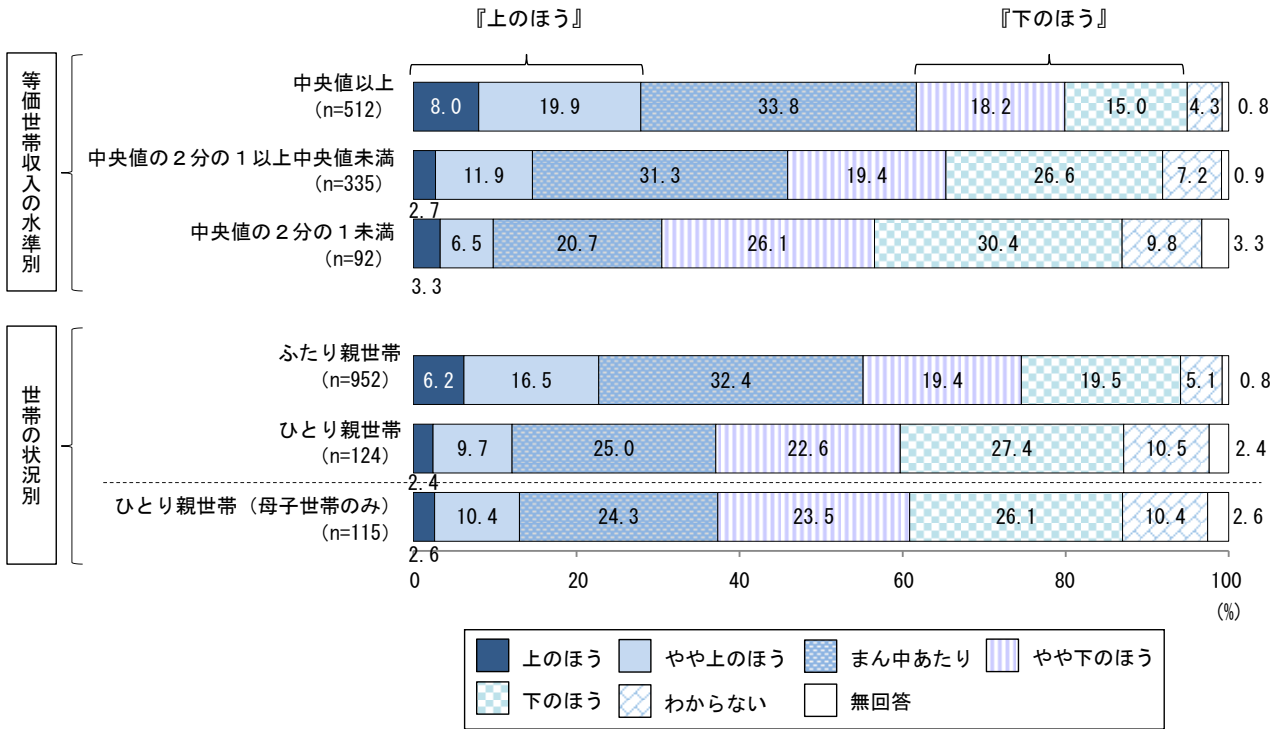
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『下のほう』は、「中央値以上」では18.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では27.6%、「中央値の2分の1未満」では37.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『下のほう』は、「ふたり親世帯」では22.4%、「ひとり親世帯全体」では31.8%、「母子世帯のみ」では32.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

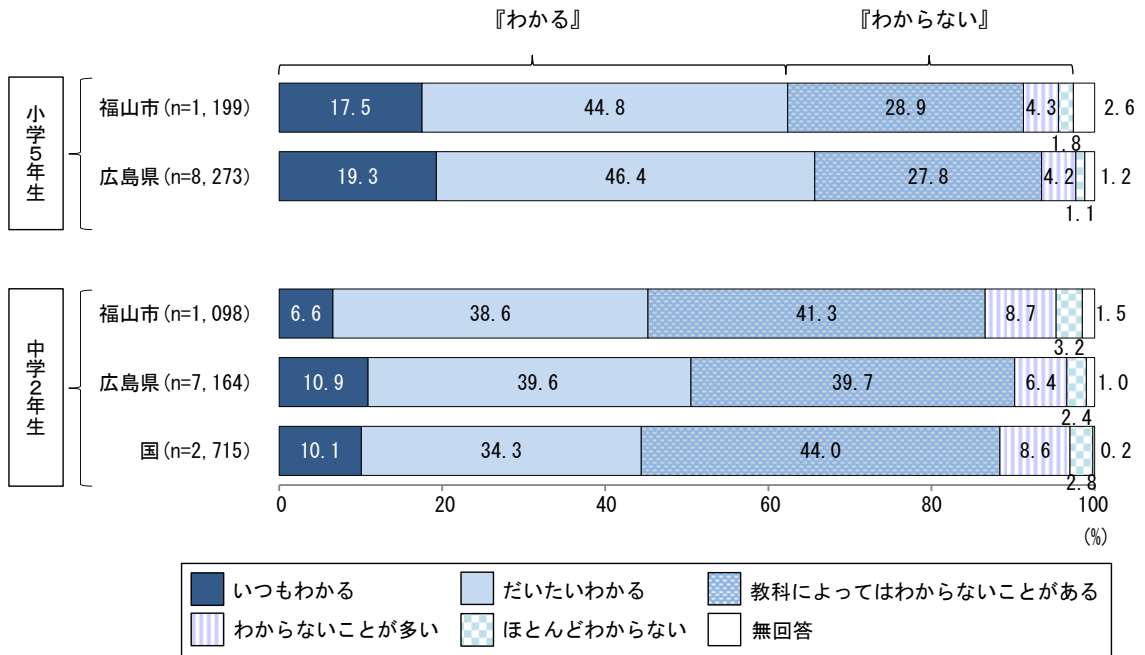


等価世帯収入の水準別にみると、『下のほう』は、「中央値以上」では33.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では46.0%、「中央値の2分の1未満」では56.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『下のほう』は、「ふたり親世帯」では38.9%、「ひとり親世帯全体」では50.0%、「母子世帯のみ」では49.6%となっている。

子ども票問5. あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(SA)

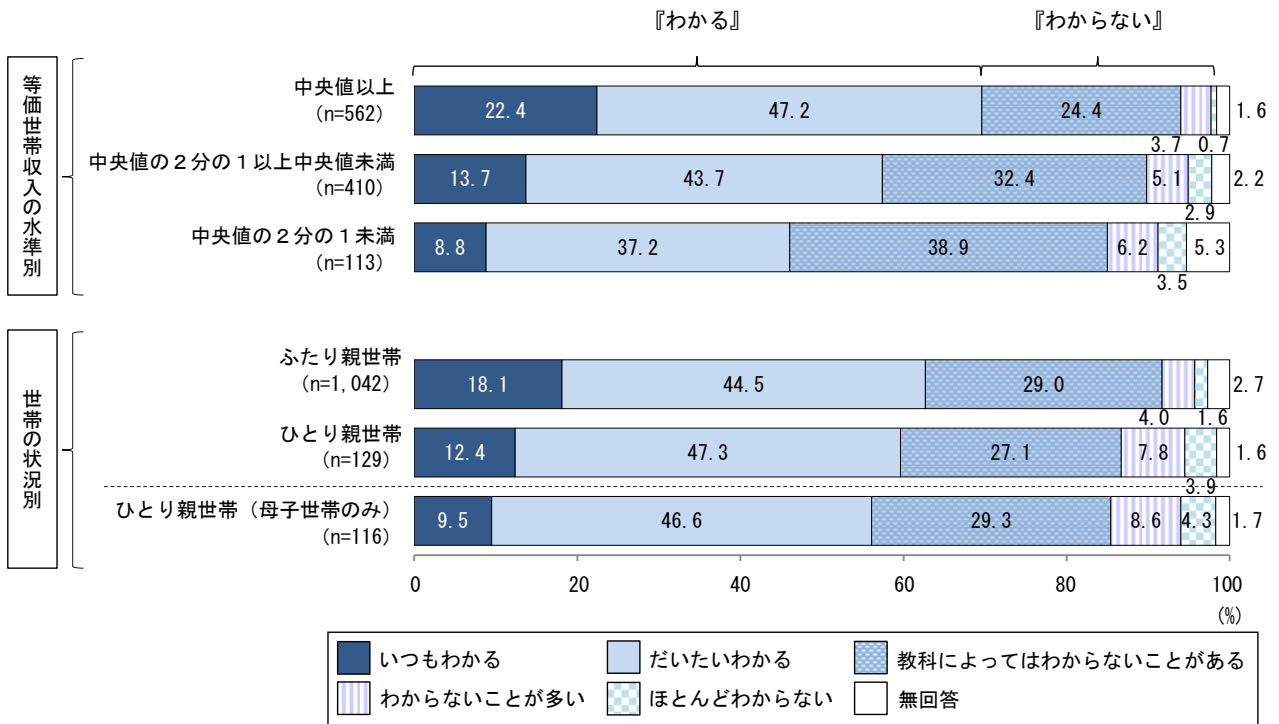
【全体】



授業の理解状況について、小学5年生では、『わかる（「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合）』が62.3%、『わからない（「教科によってはわからないことがある」と「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合）』が35.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、『わかる』が45.2%、『わからない』が53.2%となっている。広島県と比較すると、『わかる』は、福山市（45.2%）が広島県（50.5%）を5.3ポイント下回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

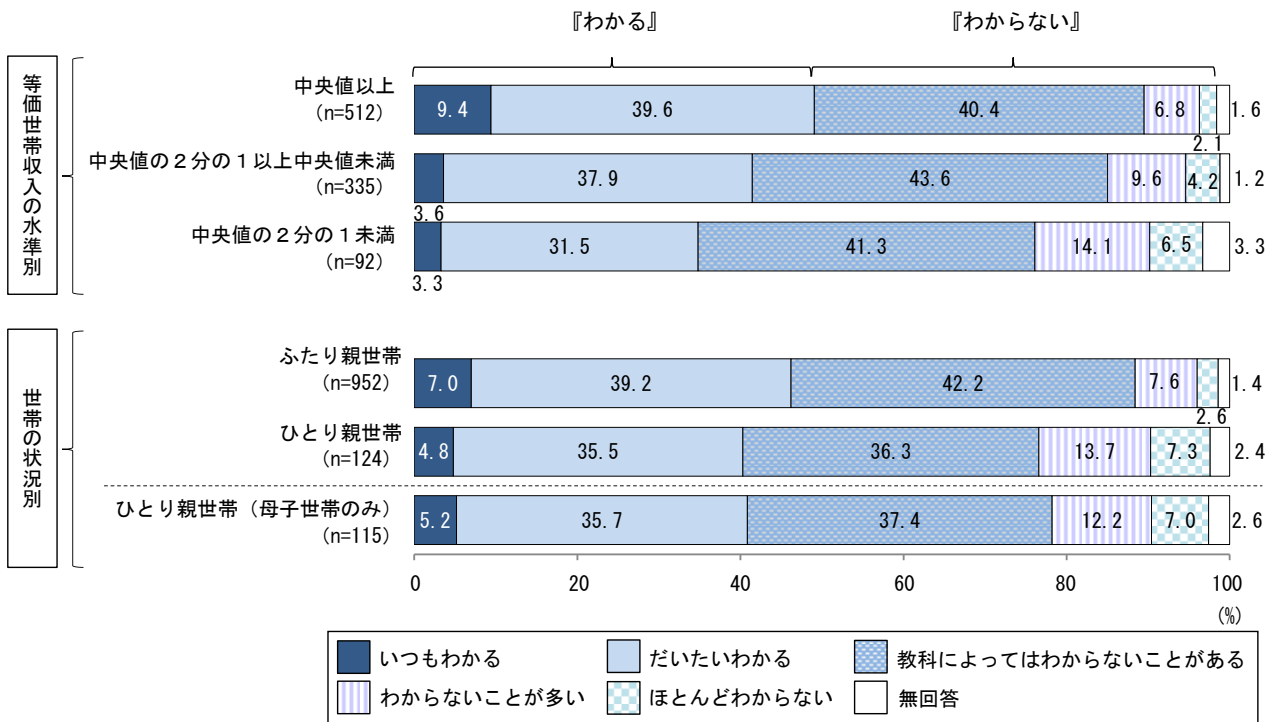
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『わからない』は、「中央値以上」では28.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では40.4%、「中央値の2分の1未満」では48.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『わからない』は、「ふたり親世帯」では34.6%、「ひとり親世帯全体」では38.8%、「母子世帯のみ」では42.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



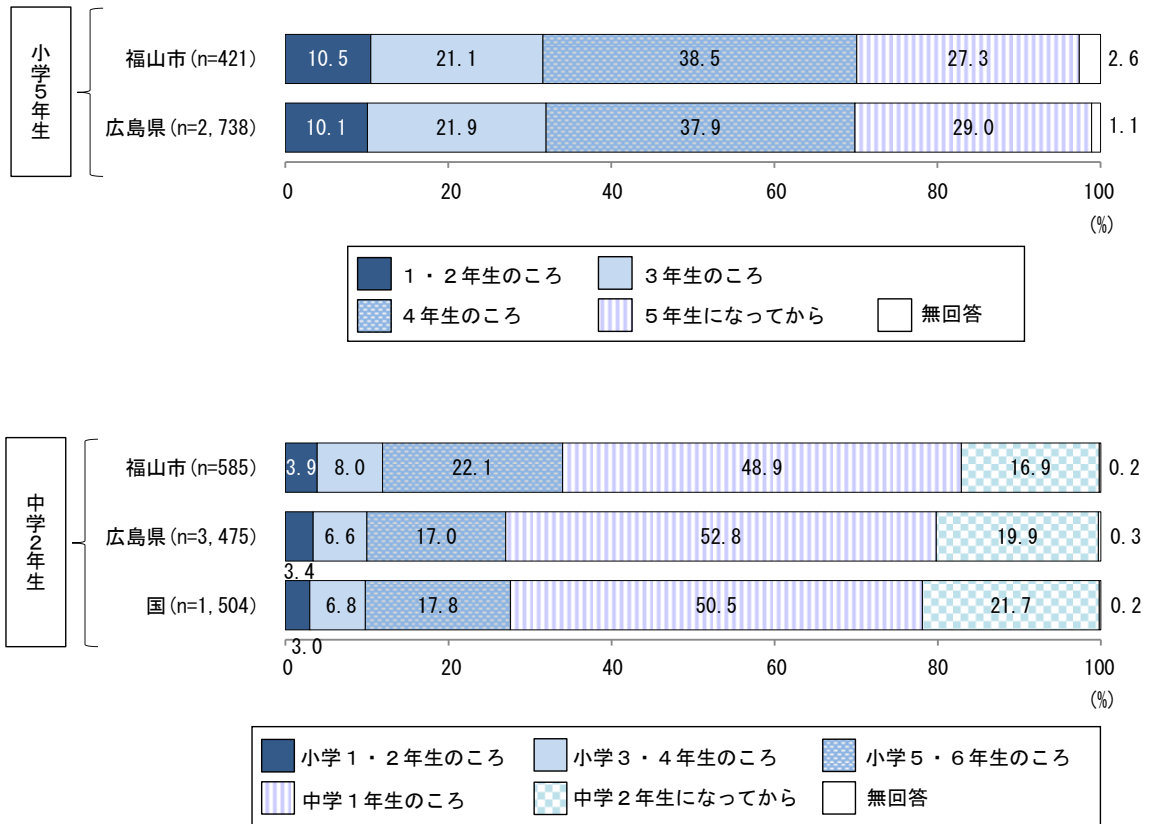
等価世帯収入の水準別にみると、『わからない』は、「中央値以上」では49.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では57.4%、「中央値の2分の1未満」では61.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『わからない』は、「ふたり親世帯」では52.4%、「ひとり親世帯全体」では57.3%、「母子世帯のみ」では56.6%となっている。

※問5で「3～5 学校の授業がわからない」を答えた方に

子ども票問6. いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(SA)

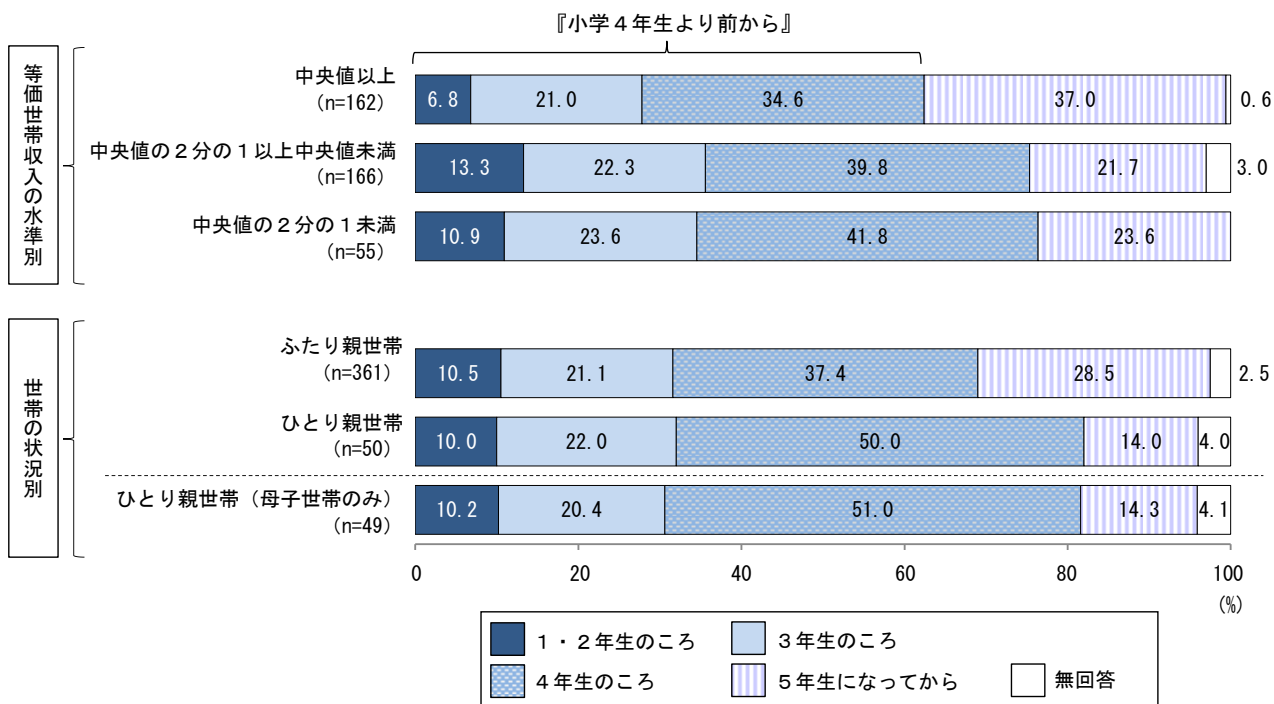
【全体】



授業がわからなくなった時期について、小学5年生では、「4年生のころ」が38.5%と最も高く、次いで「5年生になってから」が27.3%、「3年生のころ」が21.1%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「中学1年生のころ」が48.9%と最も高く、次いで「小学5・6年生のころ」が22.1%、「中学2年生になってから」が16.9%などの順となっている。広島県と比較すると、「小学5・6年生のころ」は、福山市(22.1%)が広島県(17.0%)を5.1ポイント上回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

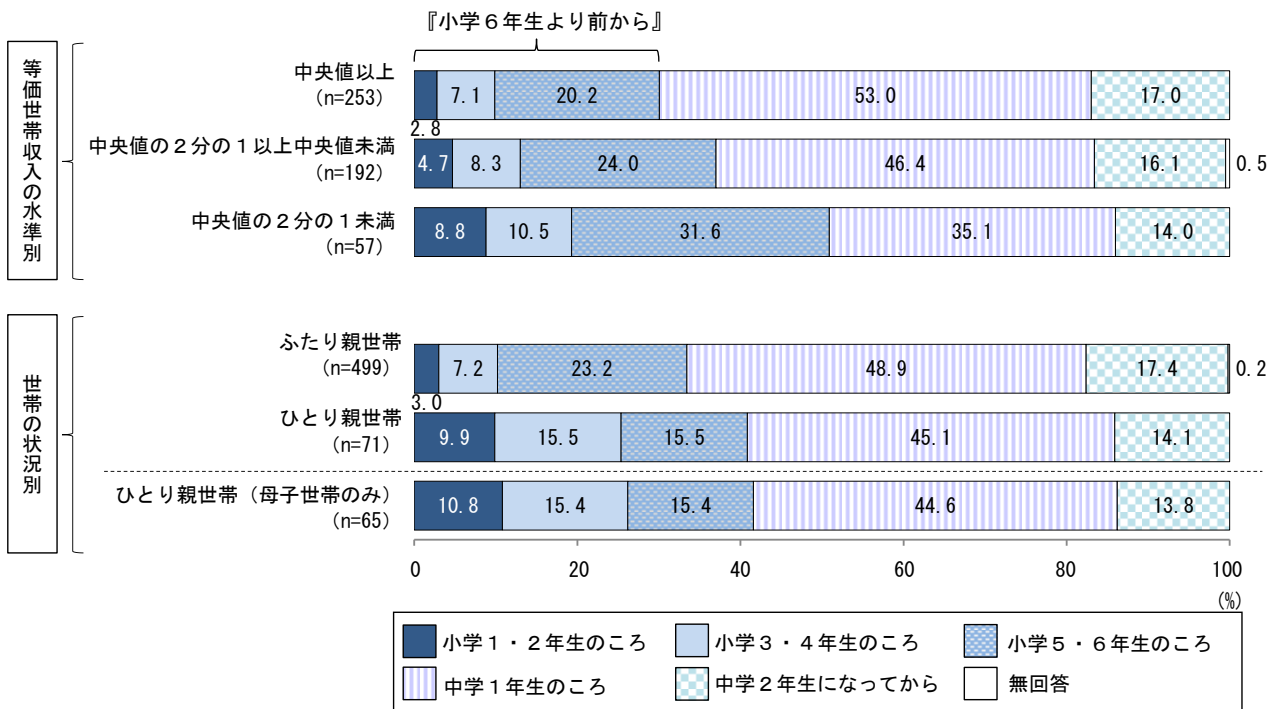
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『小学4年生より前から（「小学1・2年生のころ」と「小学3年生のころ」と「小学4年生のころ」を合わせた割合）』は、「中央値以上」では62.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では75.4%、「中央値の2分の1未満」では76.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『小学4年生より前から』は、「ふたり親世帯」では69.0%、「ひとり親世帯全体」では82.0%、「母子世帯のみ」では81.6%となっている。

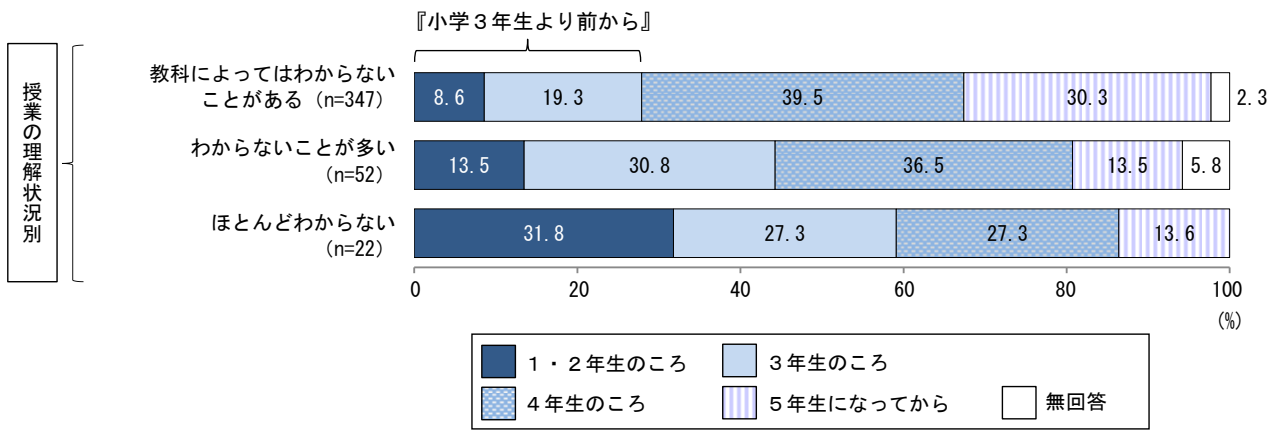
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『小学6年生より前から（「小学1・2年生のころ」と「小学3・4年生のころ」と「小学5・6年生のころ」を合わせた割合）』は、「中央値以上」では30.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では37.0%、「中央値の2分の1未満」では50.9%となっている。

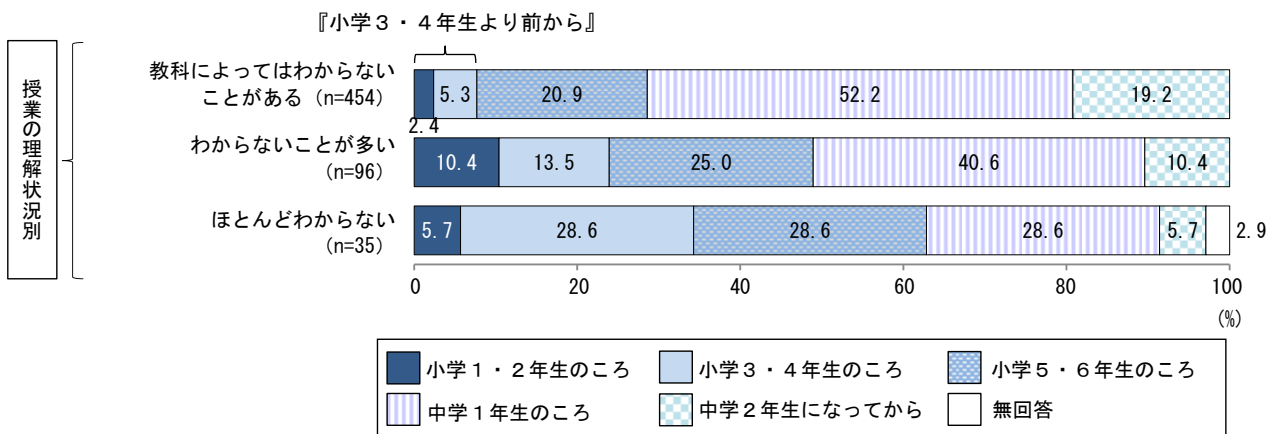
世帯の状況別にみると、『小学6年生より前から』は、「ふたり親世帯」では33.4%、「ひとり親世帯全体」では40.9%、「母子世帯のみ」では41.6%となっている。

【授業の理解状況別_小学5年生】



授業の理解状況別にみると、「わからないことが多い」や「ほとんどわからない」では、『小学3年生より前から』が「教科によってはわからないことがある」に比べて高くなっている。

【授業の理解状況別_中学2年生】

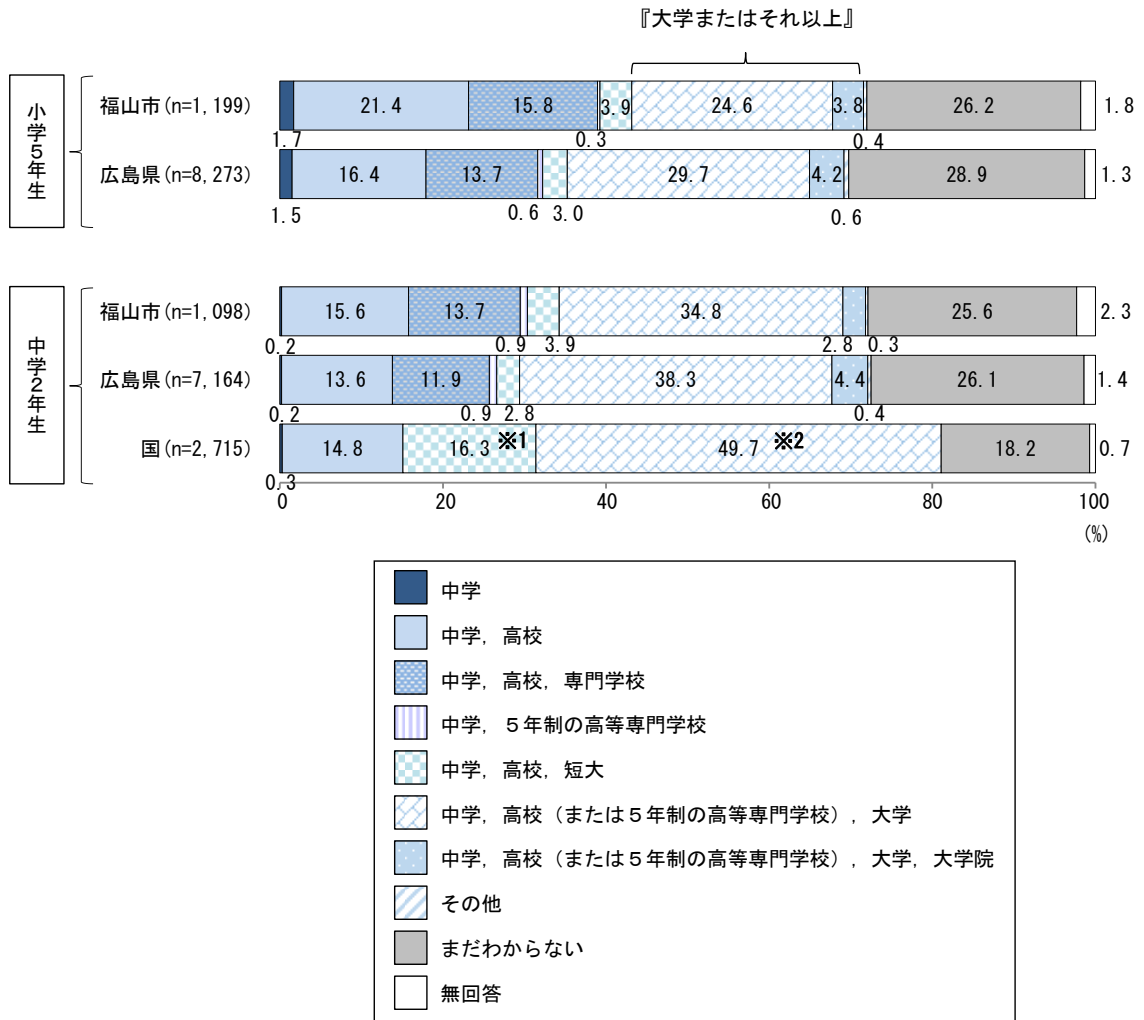


授業の理解状況別にみると、「わからないことが多い」や「ほとんどわからない」では、『小学3・4年生より前から』が「教科によってはわからないことがある」に比べて高くなっている。

(2) 進学希望

子ども票問7. あなたは, 将来, どの学校に進学したいですか。(SA)

【全体】

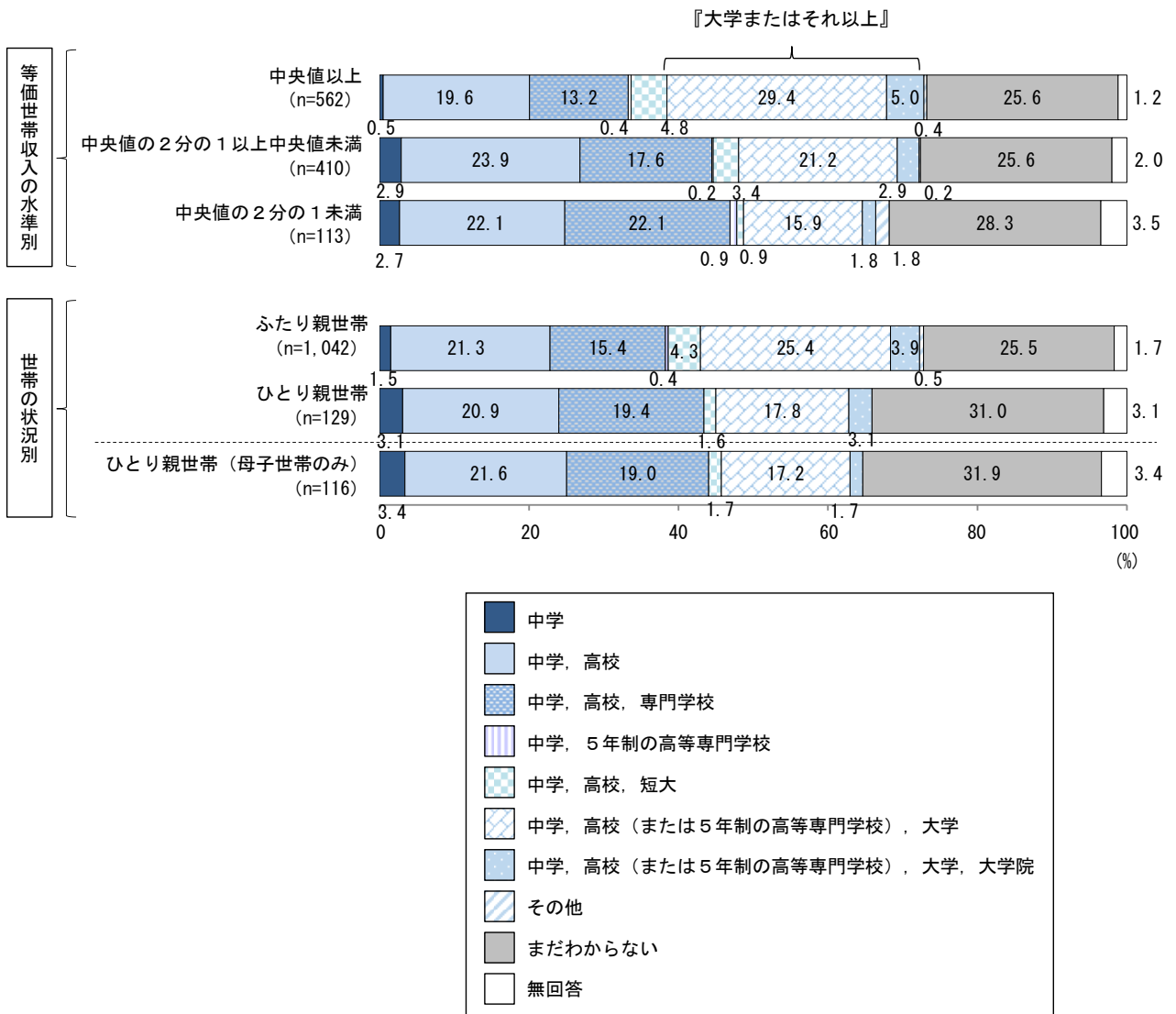


※1: 国調査では「短大・高専・専門学校まで」という選択肢になっている
 ※2: 国調査では「大学またはそれ以上」という選択肢になっている

進学希望について, 小学5年生では, 「中学, 高校 (または5年制の高等専門学校), 大学」が24.6%と最も高く, 次いで, 「中学, 高校」が21.4%, 「中学, 高校, 専門学校」が15.8%などの順となっている。また, 「まだわからない」との回答は26.2%となっている。広島県と比較すると, 『大学またはそれ以上』は, 福山市 (28.4%) が広島県 (33.9%) を5.5ポイント下回っている。

中学2年生では, 「中学, 高校 (または5年制の高等専門学校), 大学」が34.8%と最も高く, 次いで, 「中学, 高校」が15.6%, 「中学, 高校, 専門学校」が13.7%などの順となっている。また, 「まだわからない」との回答は25.6%となっている。広島県と比較すると, 『大学またはそれ以上』は, 福山市 (37.6%) が広島県 (42.7%) を5.1ポイント下回っている。国と比較すると, 『大学またはそれ以上』は, 福山市 (37.6%) が国 (49.7%) を12.1ポイント下回っており, 「まだわからない」は, 福山市 (25.6%) が国 (18.2%) を7.4ポイント上回っている。

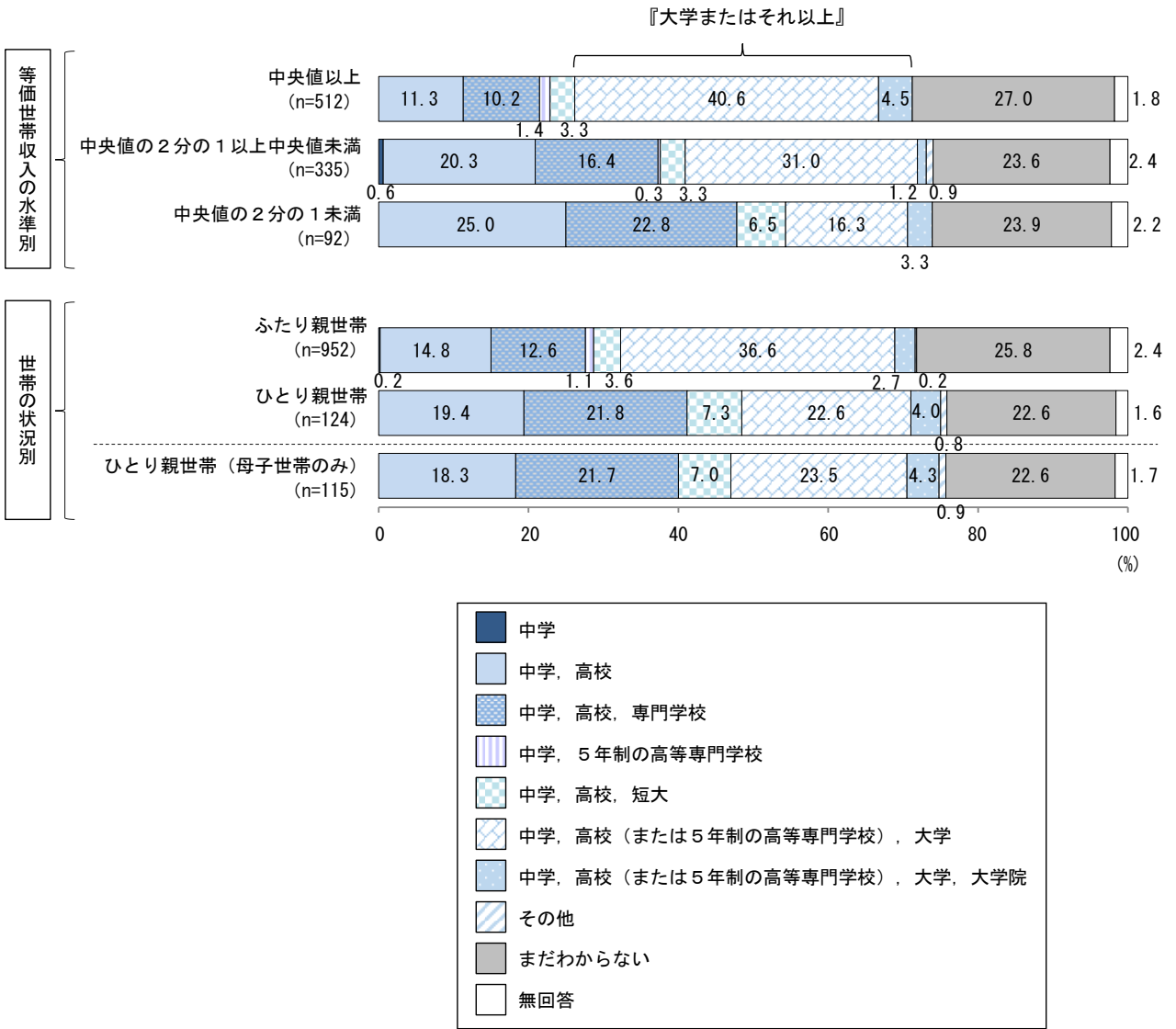
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では34.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では24.1%、「中央値の2分の1未満」では17.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では29.3%、「ひとり親世帯全体」では20.9%、「母子世帯のみ」では18.9%となっている。

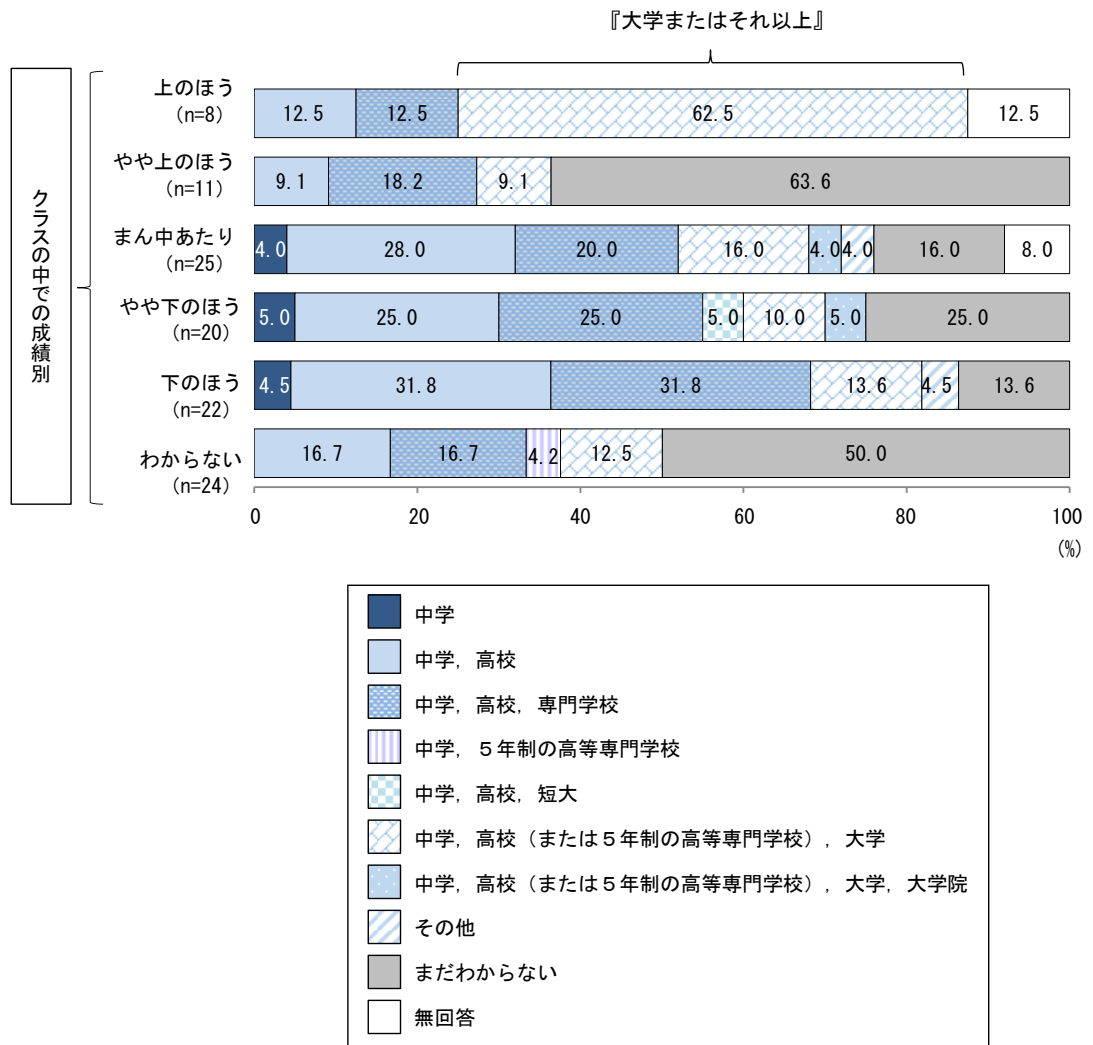
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では45.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では32.2%、「中央値の2分の1未満」では19.6%となっている。

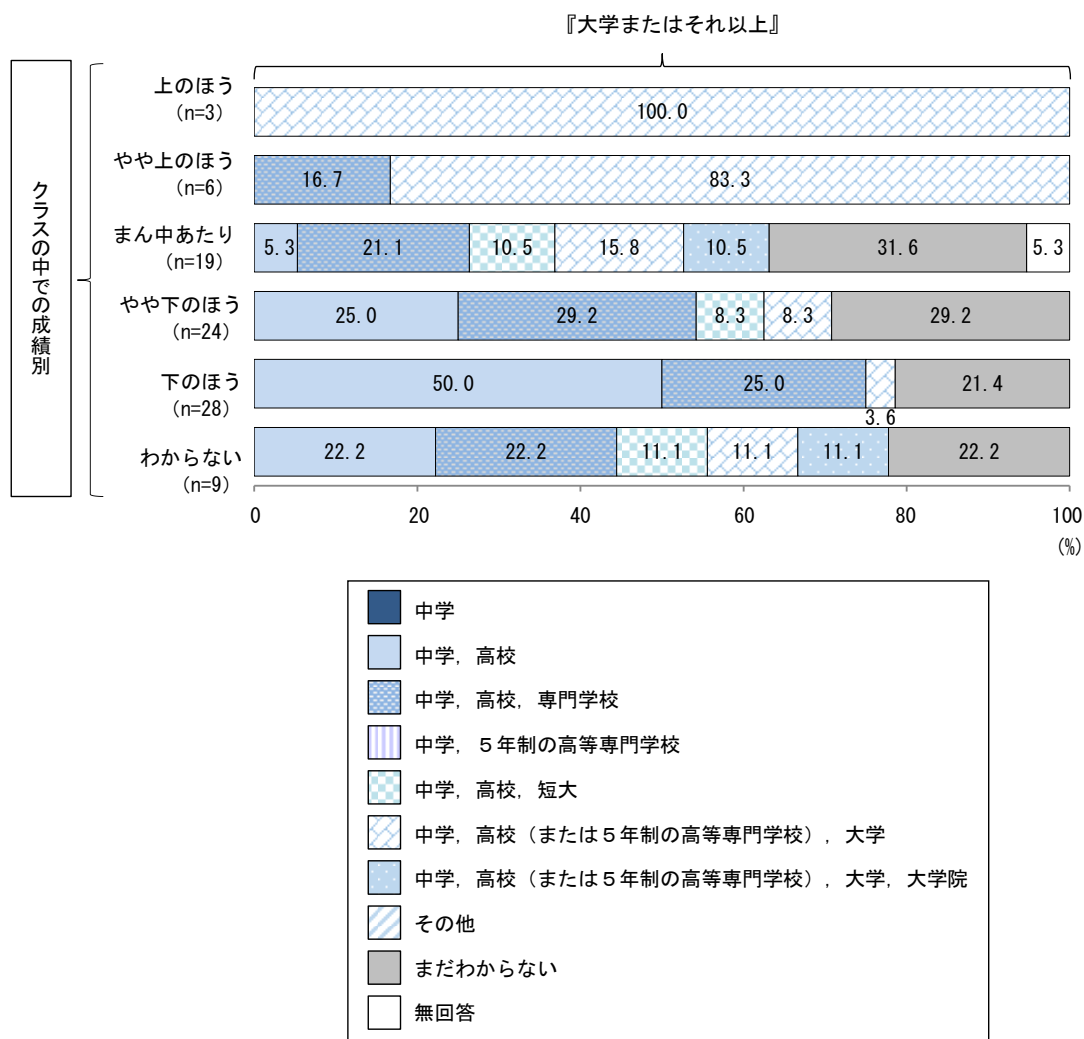
世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では39.3%、「ひとり親世帯全体」では26.6%、「母子世帯のみ」では27.8%となっている。

【クラスの中での成績別 (等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合) _小学5年生】



クラスの中での成績別にみると、収入が低い場合であっても、成績が「上のほう」の場合には、『大学またはそれ以上』を希望する割合が62.5%と高くなっている。

【クラスの中での成績別 (等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合) _中学2年生】



クラスの中での成績別にみると、収入が低い場合であっても、成績が『上のほう』の場合には、『大学またはそれ以上』を希望する割合が高くなっている。

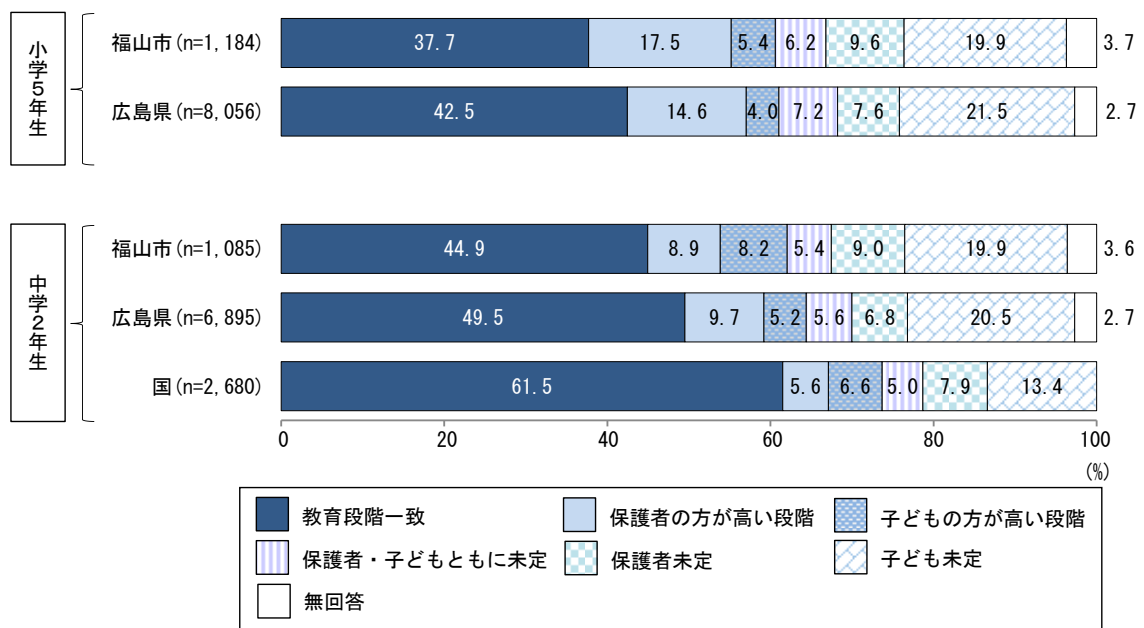
= 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況 =

保護者が考える子どもの進学段階に関する希望・展望の回答 (P. 78 参照) と、子ども自身が進学したいと思う教育段階 (P. 130 参照) の一致・不一致の状況について、「教育段階一致」、「保護者の方が高い段階」、「子どもの方が高い段階」、「保護者・子どもともに未定」、「保護者未定」、「子ども未定」の6分類で集計した。

※短大・高専・専門学校、大学・大学院はそれぞれ同じ段階として集計した。

※保護者・子どものいずれか、または両方が「8 その他」や「無回答」の場合は無回答として集計した。

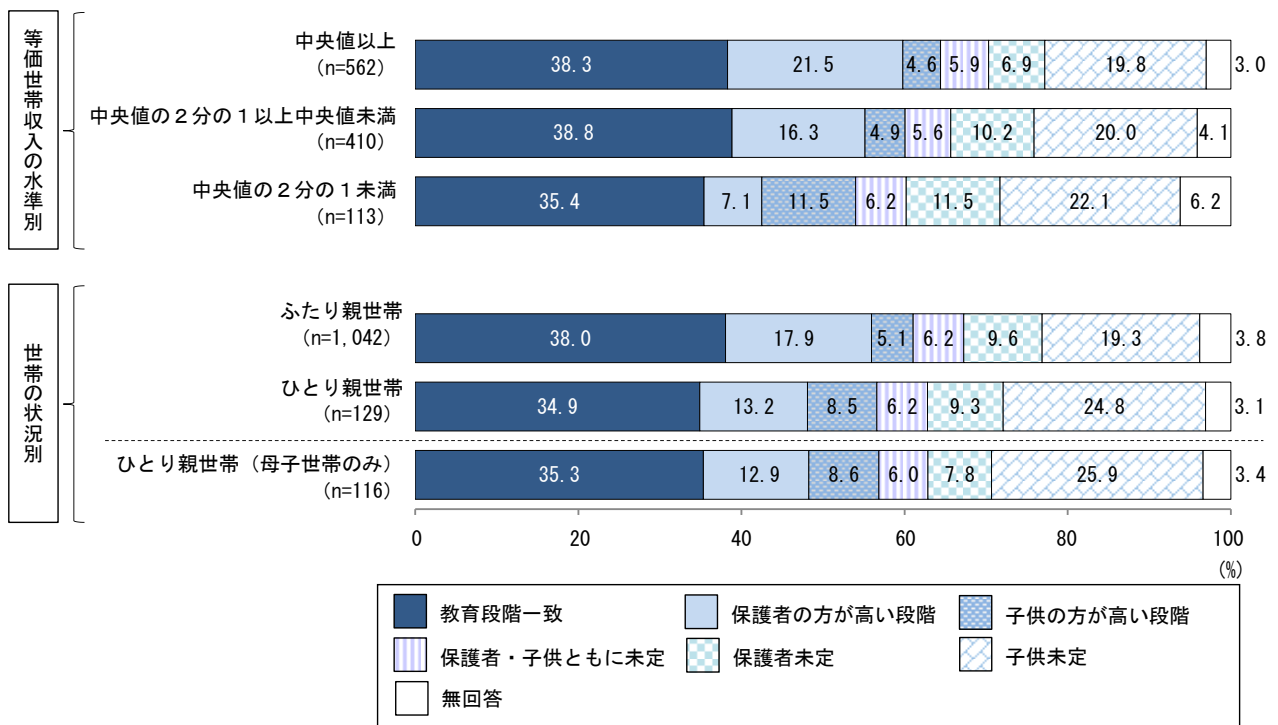
【全体】



保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況について、小学5年生では、「教育段階一致」が37.7%と最も高く、次いで「子ども未定」が19.9%、「保護者の方が高い段階」が17.5%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「教育段階一致」が44.9%と最も高く、次いで「子ども未定」が19.9%、「保護者未定」が9.0%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「教育段階一致」は、福山市 (44.9%) が国 (61.5%) を16.6ポイント下回っており、「子ども未定」は、福山市 (19.9%) が国 (13.4%) を6.5ポイント上回っている。

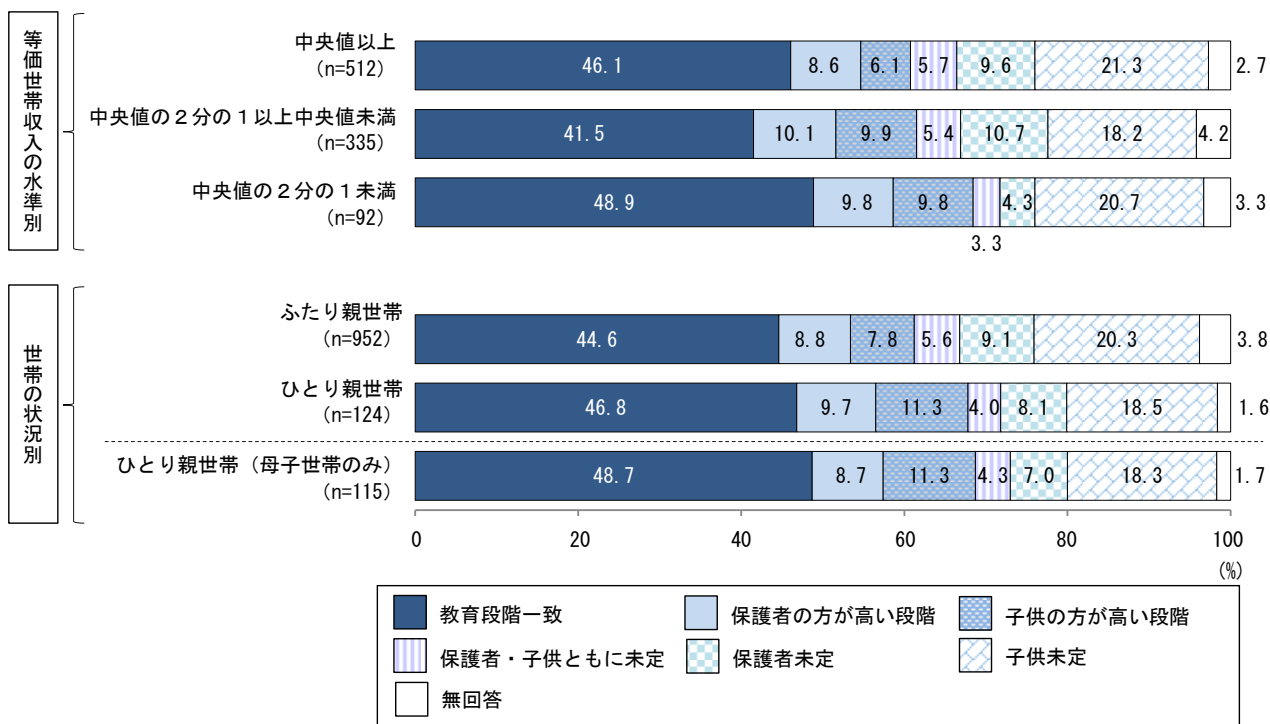
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」は、「中央値以上」では38.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では38.8%、「中央値の2分の1未満」では35.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」は、「ふたり親世帯」では38.0%、「ひとり親世帯全体」では34.9%、「母子世帯のみ」では35.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



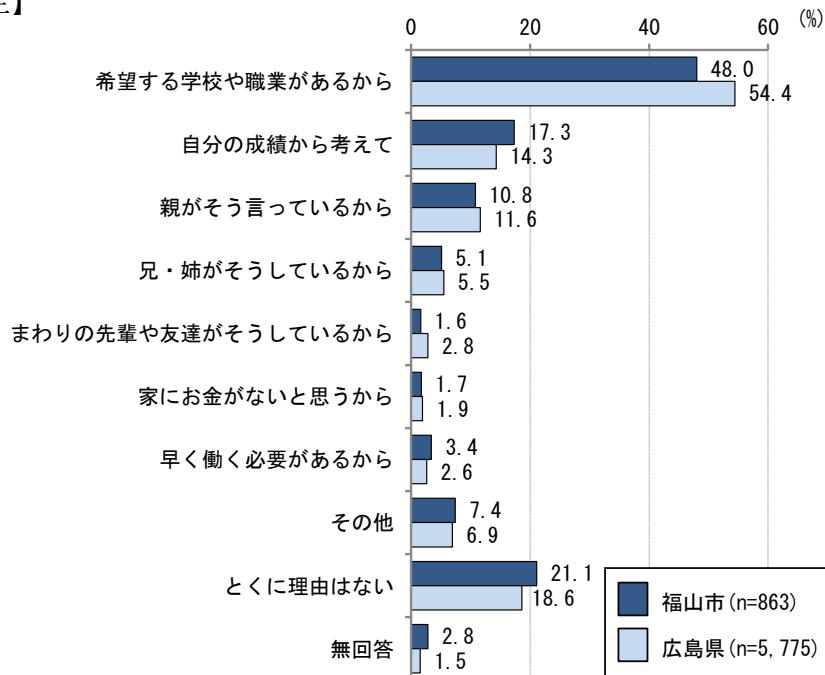
等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」は、「中央値以上」では46.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では41.5%、「中央値の2分の1未満」では48.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」は、「ふたり親世帯」では44.6%、「ひとり親世帯全体」では46.8%、「母子世帯のみ」では48.7%となっている。

※問7で「1～8 将来進学したい学校」を答えた方に

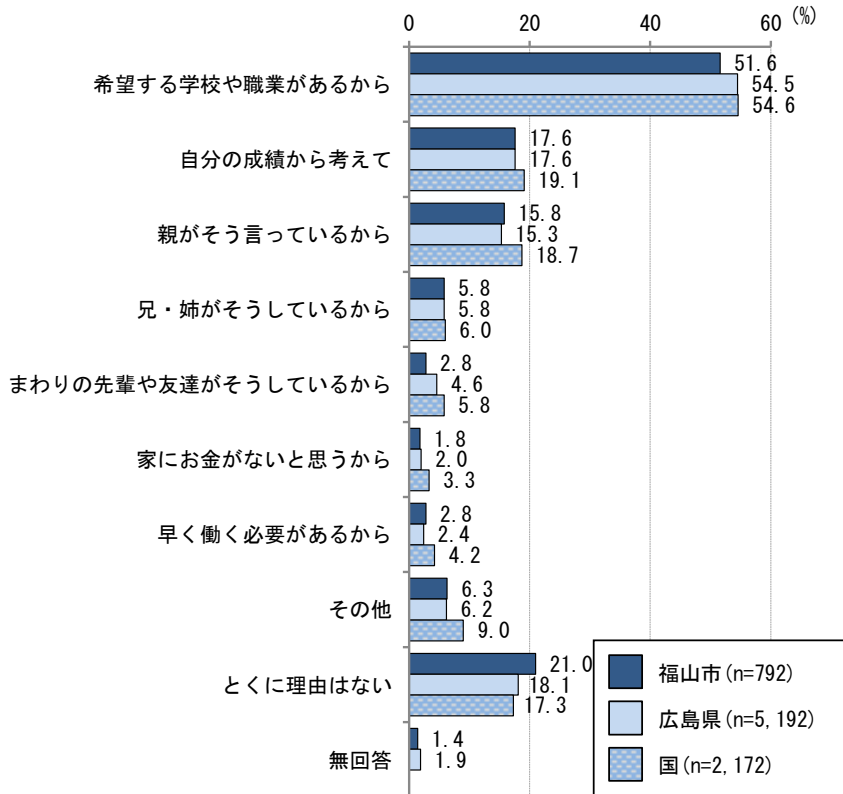
子ども票問8. その理由を教えてください。(MA)

【小学5年生】



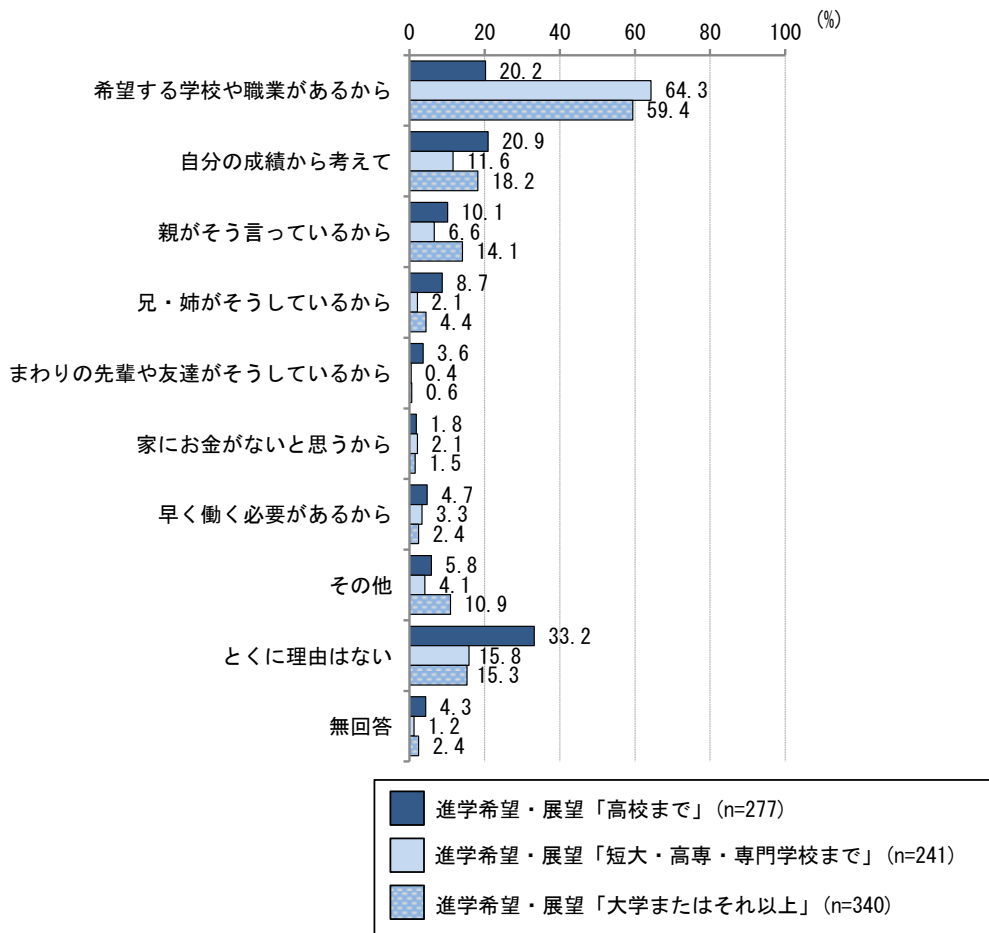
進学希望の理由について、小学5年生では、「希望する学校や職業があるから」が48.0%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が17.3%、「親がそう言っているから」が10.8%などの順となっている。また、「とくに理由はない」との回答は21.1%となっている。広島県と比較すると、「希望する学校や職業があるから」は、福山市(48.0%)が広島県(54.4%)を6.4ポイント下回っている。

【中学2年生】



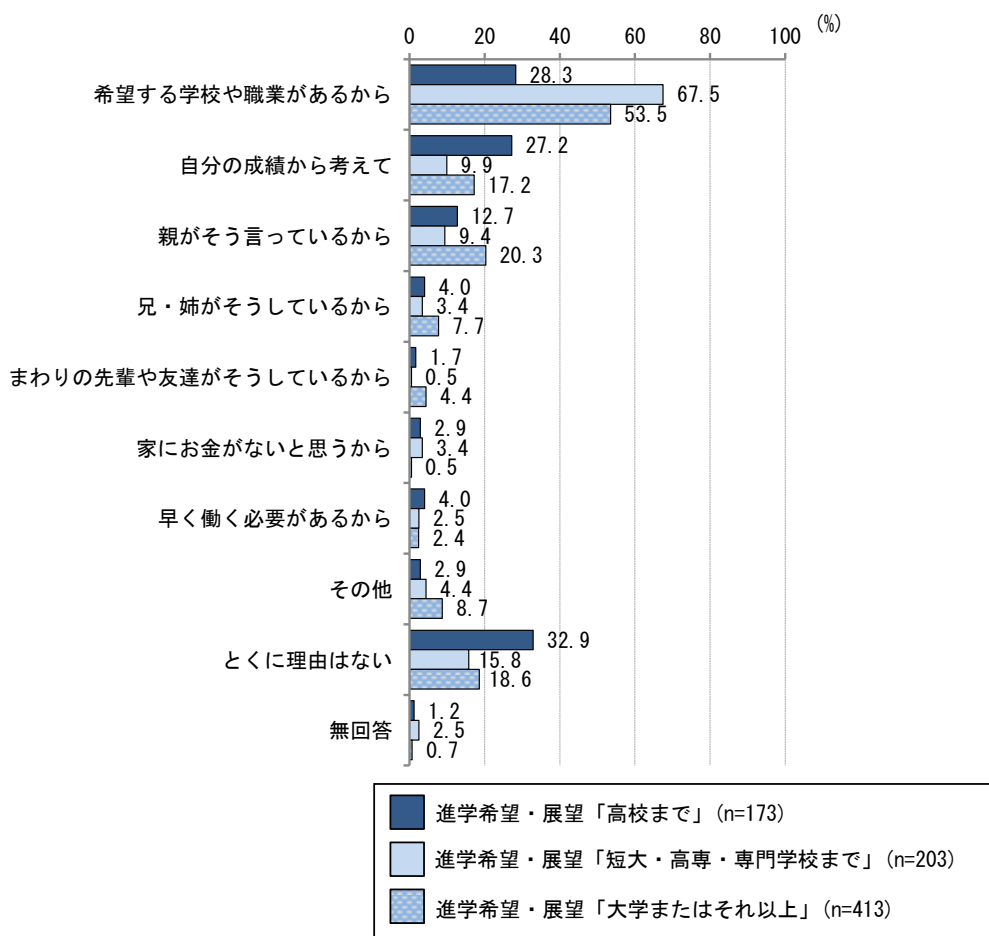
進学希望の理由について、中学2年生では、「希望する学校や職業があるから」が51.6%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が17.6%、「親がそう言っているから」が15.8%などの順となっている。また、「とくに理由はない」との回答は21.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【進学したいと思う教育段階別_小学5年生】



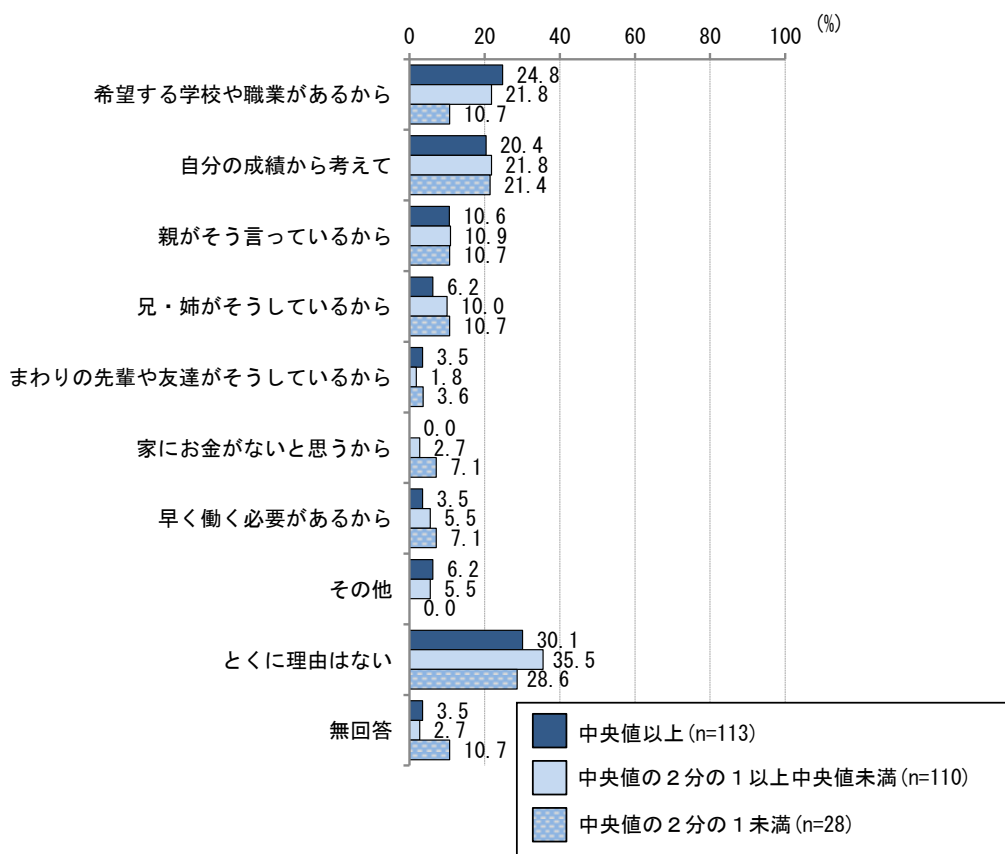
進学したいと思う教育段階別にみると、『高校まで』では、「自分の成績から考えて」が 20.9%、「兄・姉がそうしているから」が 8.7%となっており、『専門学校・高専・短大まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。一方で、「希望する学校や職業があるから」は 20.2%となっており、『専門学校・高専・短大まで』や『大学またはそれ以上』と比べて低くなっている。

【進学したいと思う教育段階別_中学2年生】



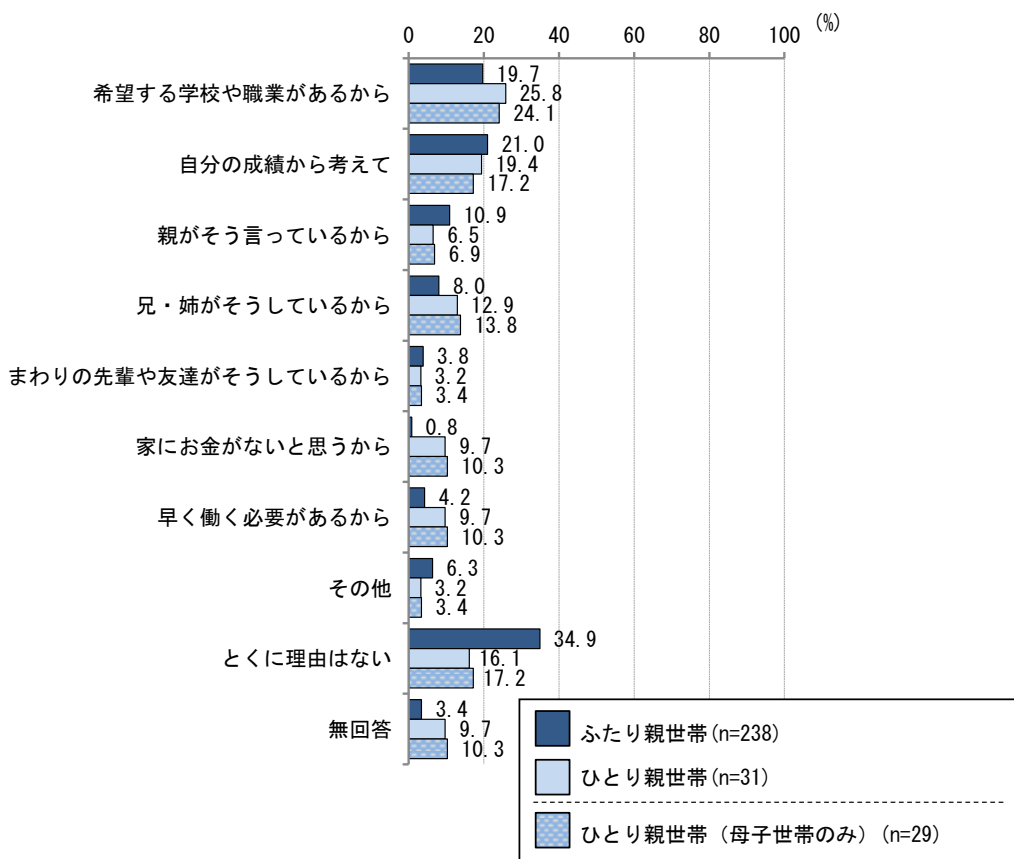
進学したいと思う教育段階別にみると、『高校まで』では、「自分の成績から考えて」が 27.2%となっており、『専門学校・高専・短大まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。一方で、「希望する学校や職業があるから」は 28.3%となっており、『専門学校・高専・短大まで』や『大学またはそれ以上』と比べて低くなっている。

【等価世帯収入の水準別 (高校までを希望している場合) _小学5年生】



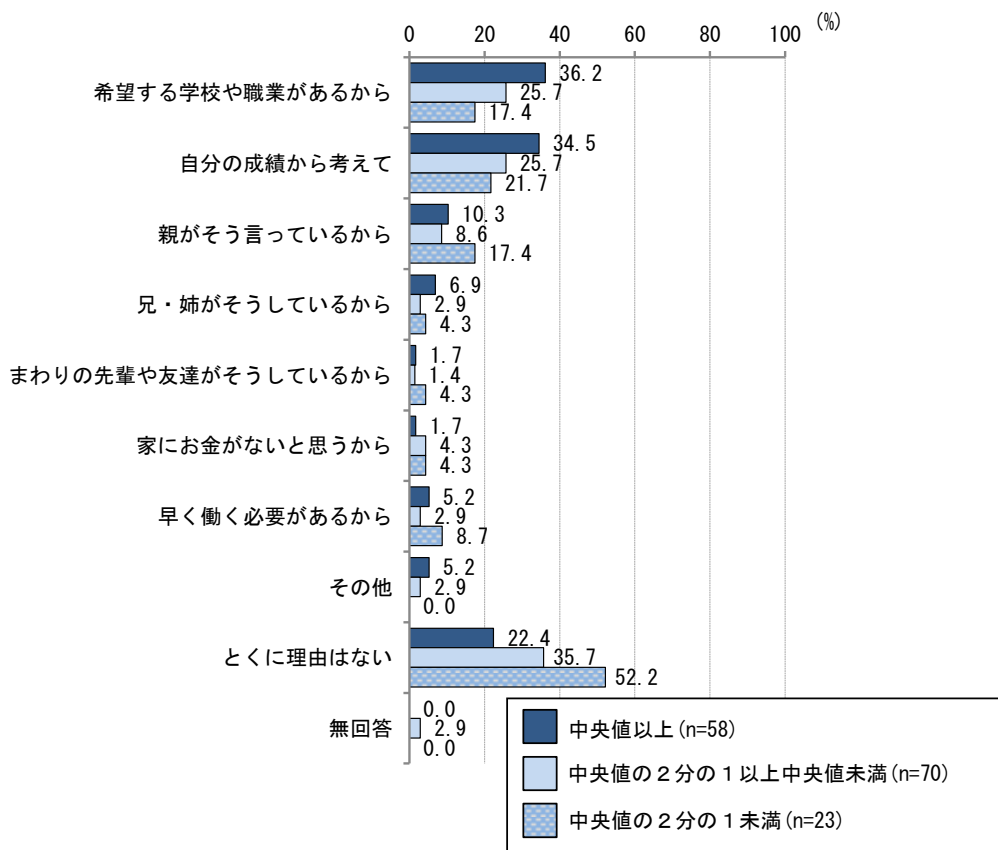
『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「希望する学校や職業があるから」が10.7%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別（高校までを希望している場合）_小学5年生】



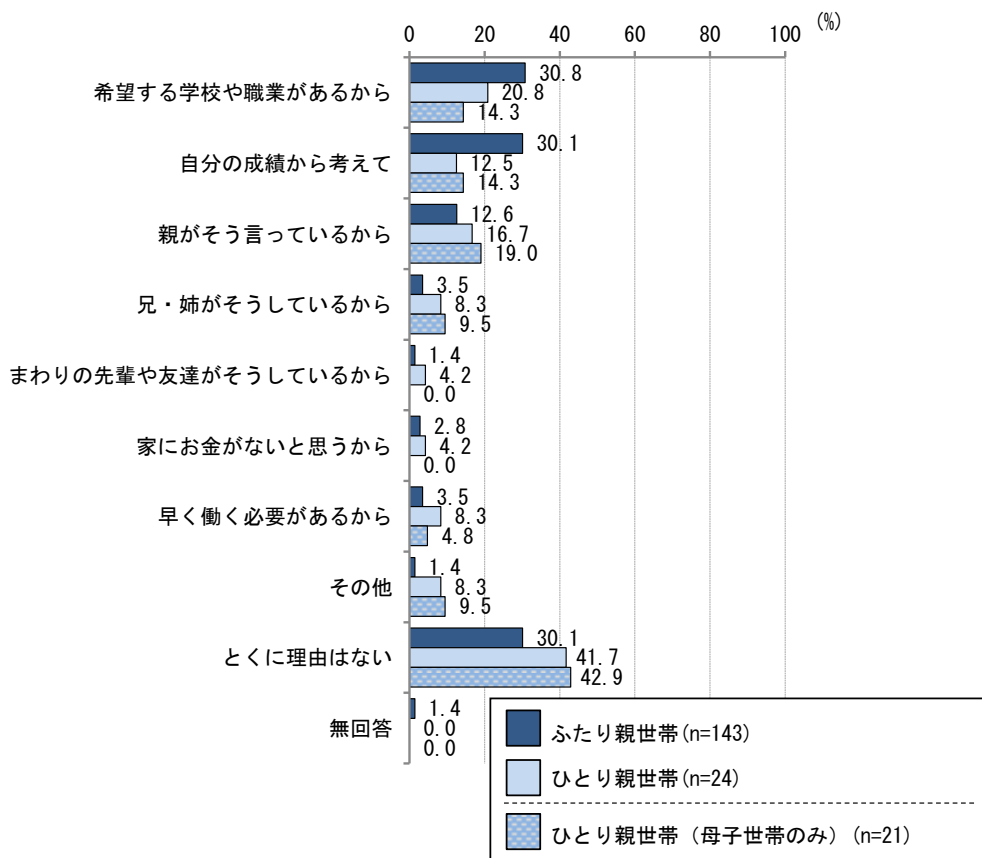
『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「希望する学校や職業があるから」が25.8%、「家にお金がないと思うから」が9.7%、「早く働く必要があるから」が9.7%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別 (高校までを希望している場合) _中学2年生】



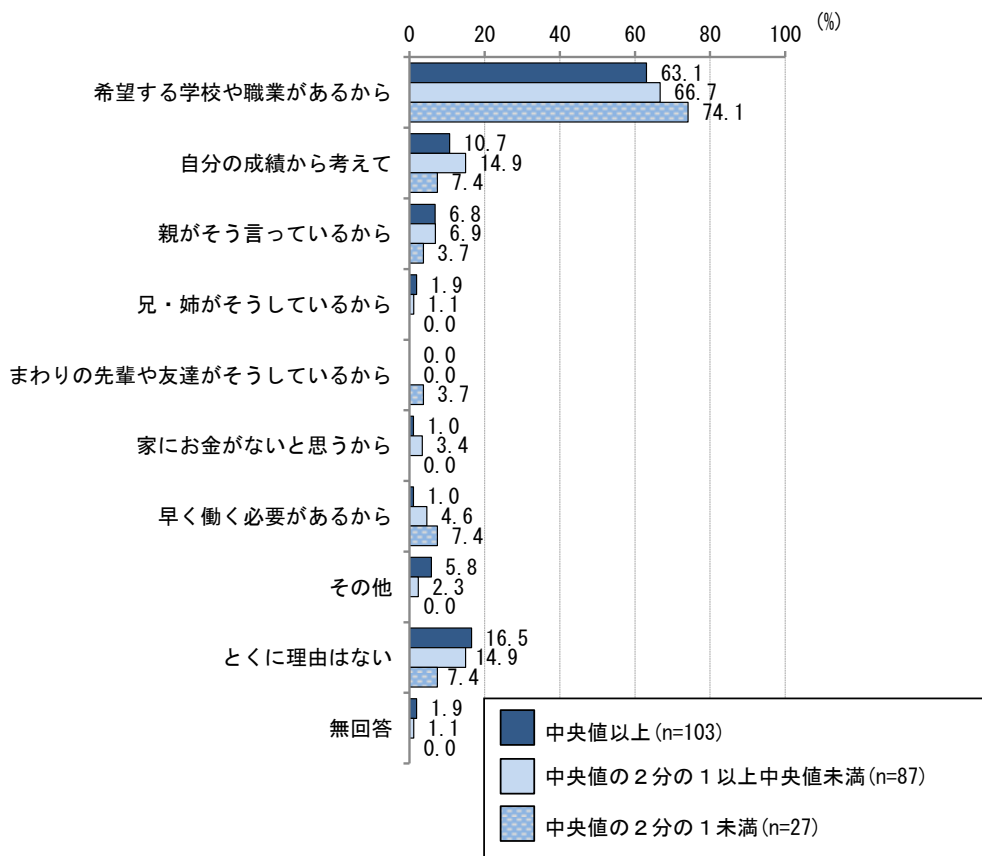
『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「親がそう言っているから」が17.4%、「とくに理由はない」が52.2%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（高校までを希望している場合）_中学2年生】



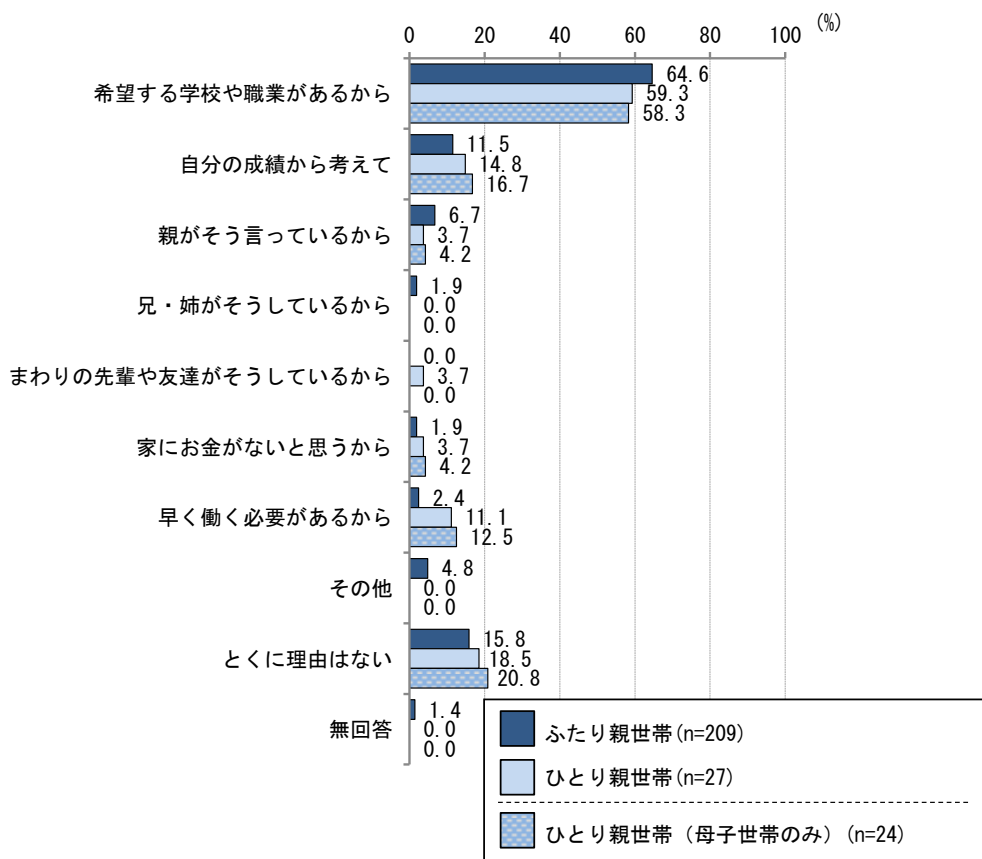
『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「希望する学校や職業があるから」が20.8%、「自分の成績から考えて」が12.5%と低くなっている。

【等価世帯収入の水準別 (短大・高専・専門学校までを希望している場合) _小学5年生】



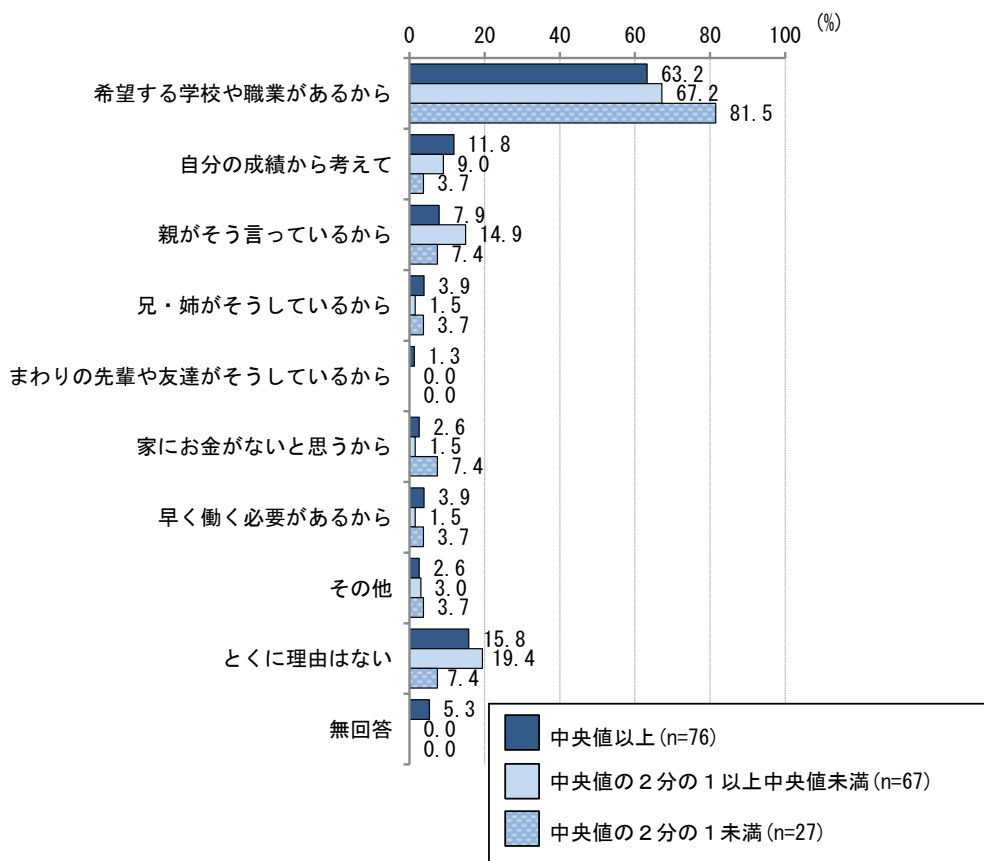
『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「希望する学校や職業があるから」が74.1%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（短大・高専・専門学校までを希望している場合）_小学5年生】



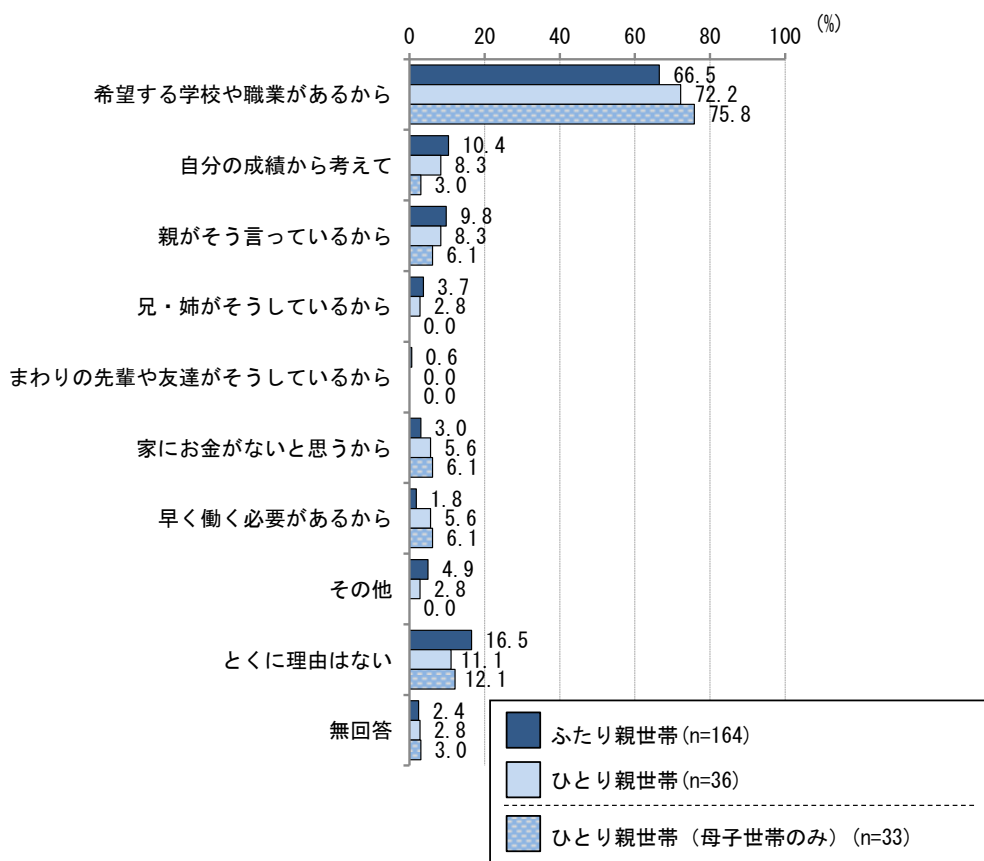
『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「早く働く必要があるから」が11.1%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別 (短大・高専・専門学校までを希望している場合) _ 中学2年生】



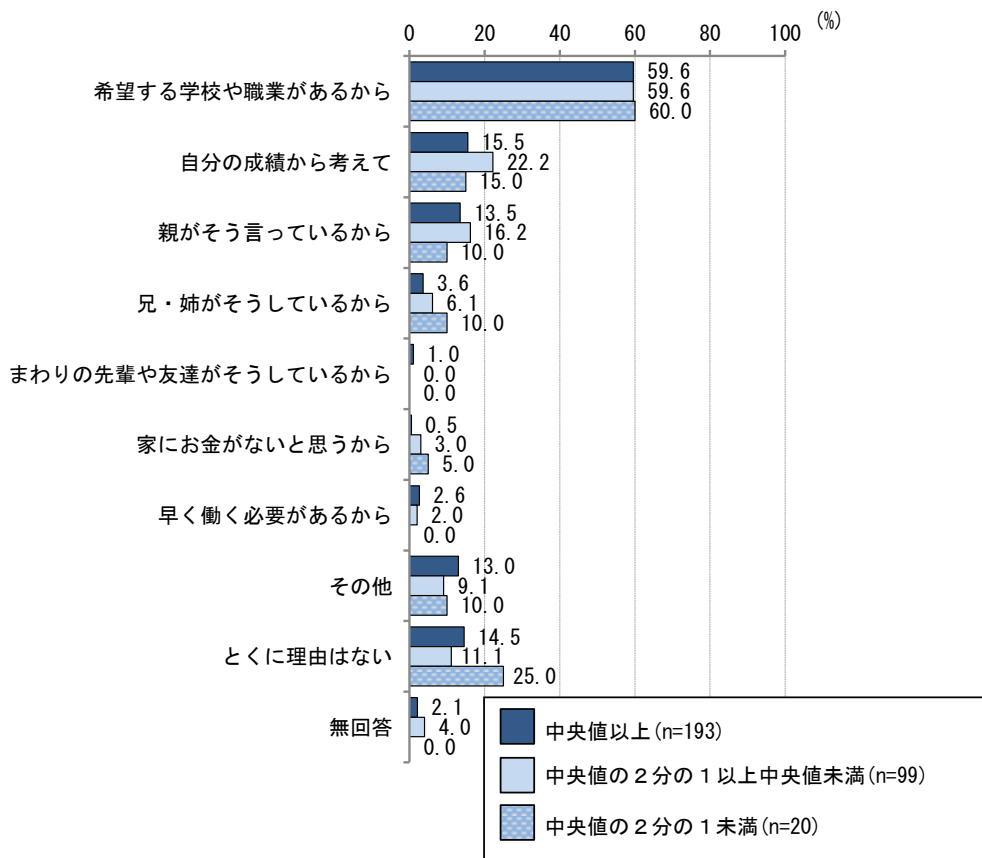
『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「希望する学校や職業があるから」が81.5%、「家にお金がないと思うから」が7.4%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（短大・高専・専門学校までを希望している場合）_中学2年生】



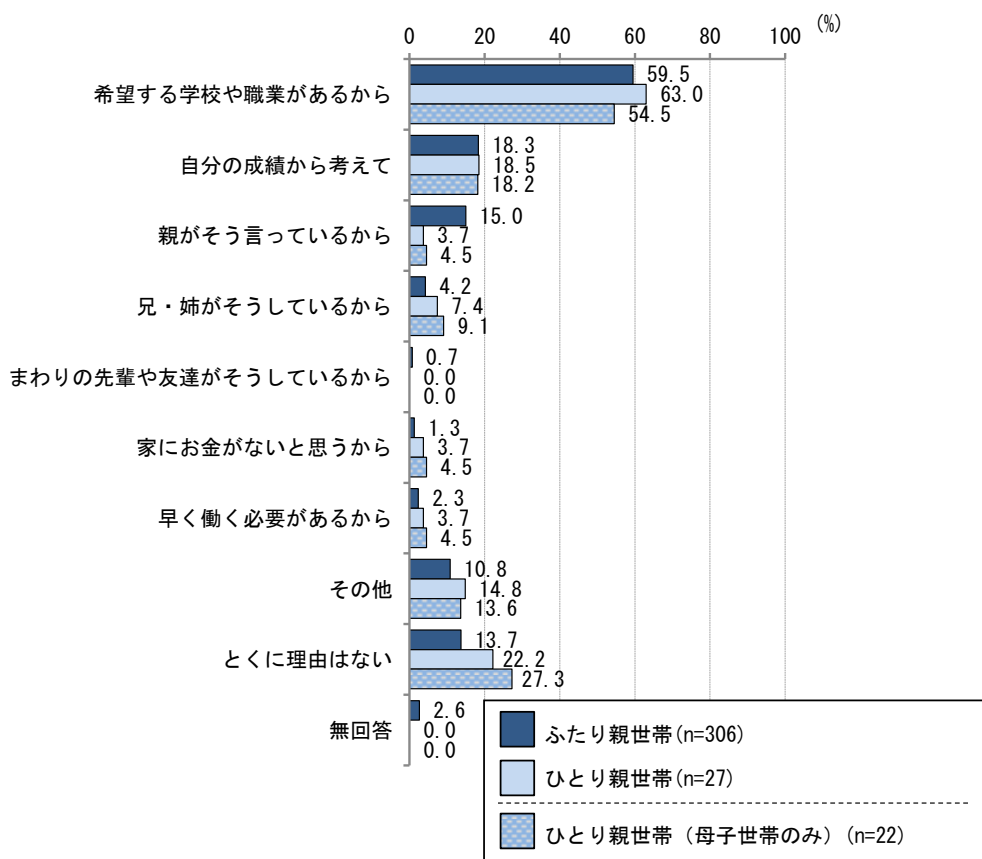
『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「希望する学校や職業があるから」が 72.2%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別 (大学またはそれ以上を希望している場合) _小学5年生】



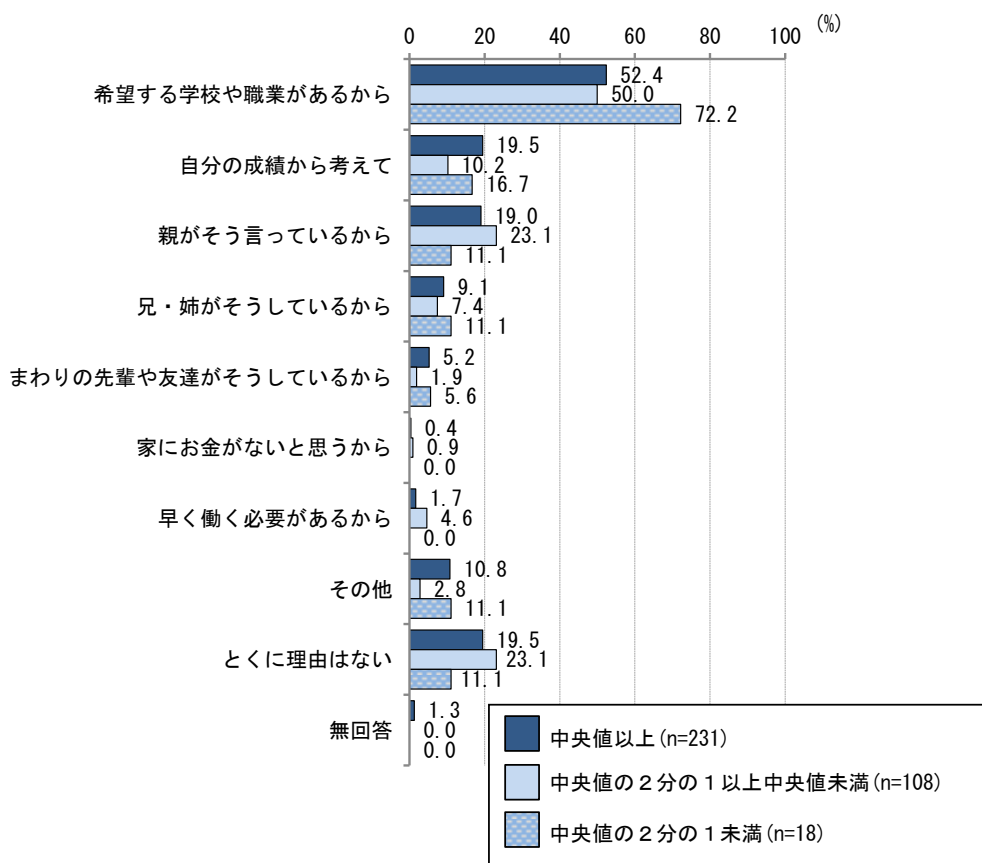
『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「中央値以上」では59.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では59.6%、「中央値の2分の1未満」では60.0%となっている。

【世帯の状況別（大学またはそれ以上を希望している場合）_小学5年生】



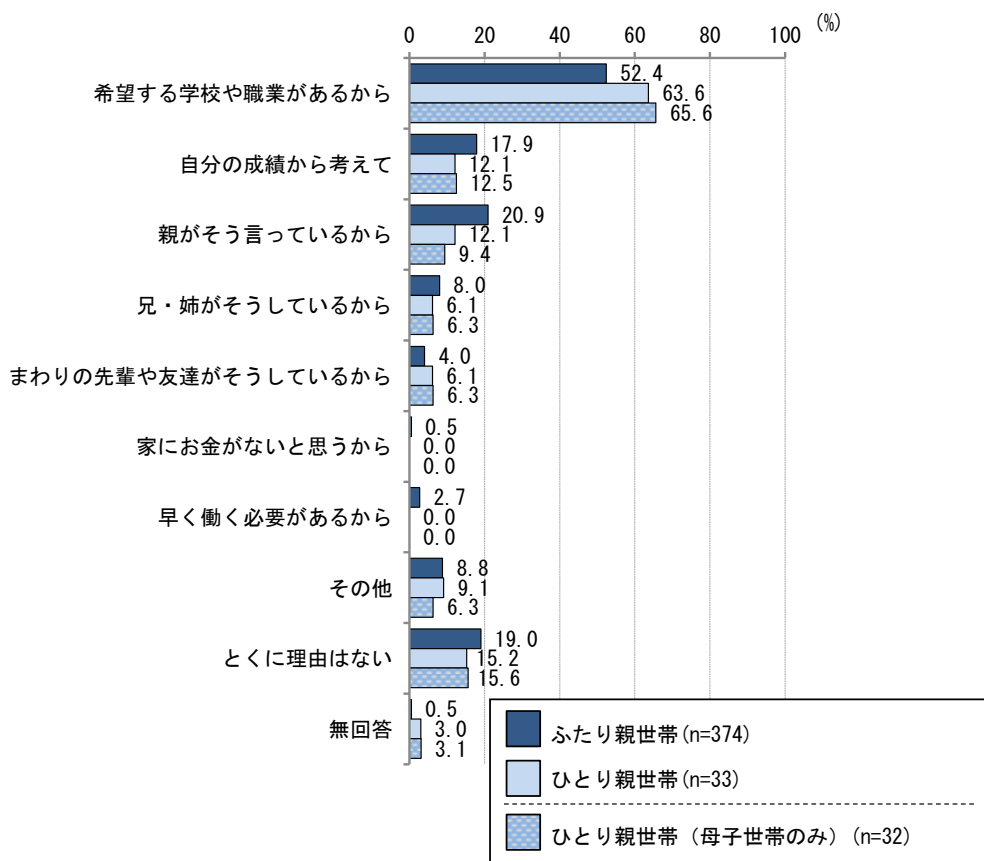
『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「ふたり親世帯」では59.5%、「ひとり親世帯全体」では63.0%、「母子世帯のみ」では54.5%となっている。

【等価世帯収入の水準別 (大学またはそれ以上を希望している場合) _中学2年生】



『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「希望する学校や職業があるから」が72.2%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別 (大学またはそれ以上を希望している場合) _中学2年生】

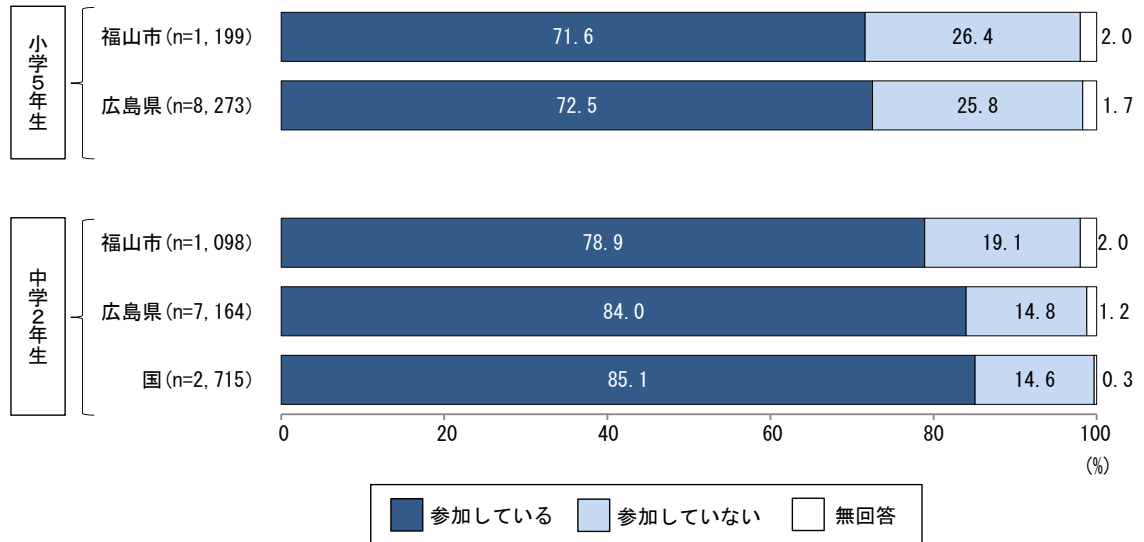


『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「希望する学校や職業があるから」が63.6%と高くなっている。

(3) 部活動等への参加状況

子ども票問9. あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校のクラブ（部活動）に参加していますか。(SA)

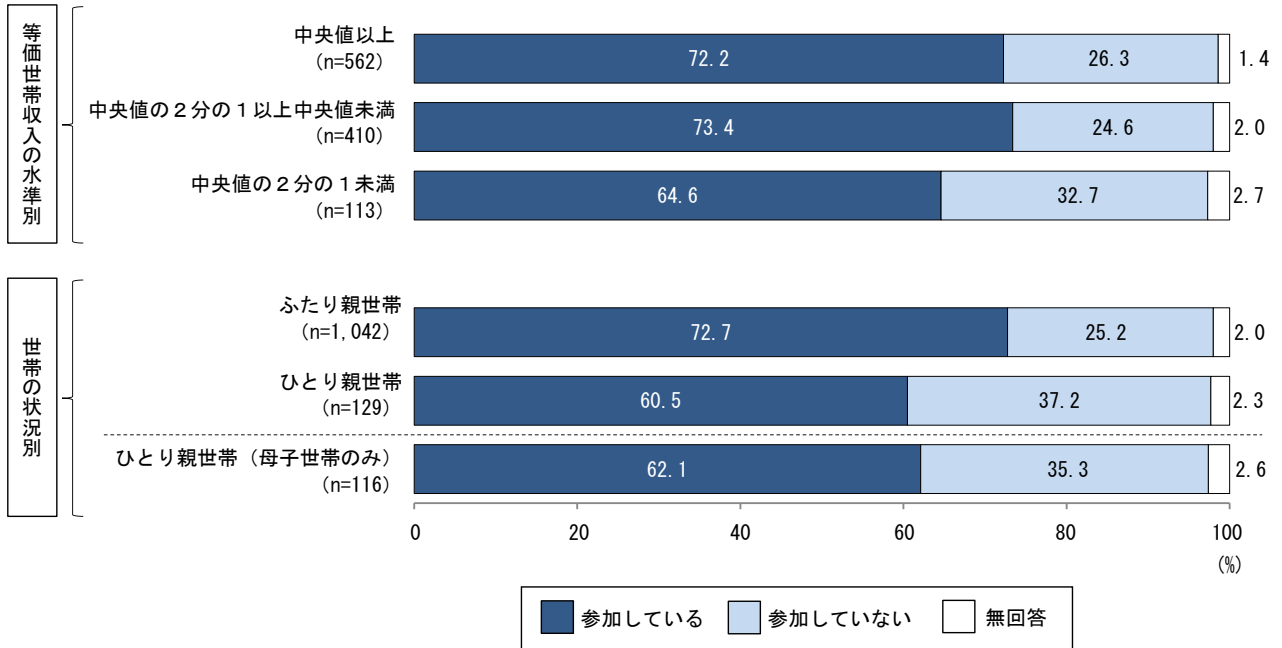
【全体】



部活動等への参加状況について、小学5年生では、「参加している」が71.6%、「参加していない」が26.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「参加している」が78.9%、「参加していない」が19.1%となっている。広島県と比較すると、「参加している」は、福山市（78.9%）が広島県（84.0%）を5.1ポイント下回っている。国と比較すると、「参加している」は、福山市（78.9%）が国（85.1%）を6.2ポイント下回っている。

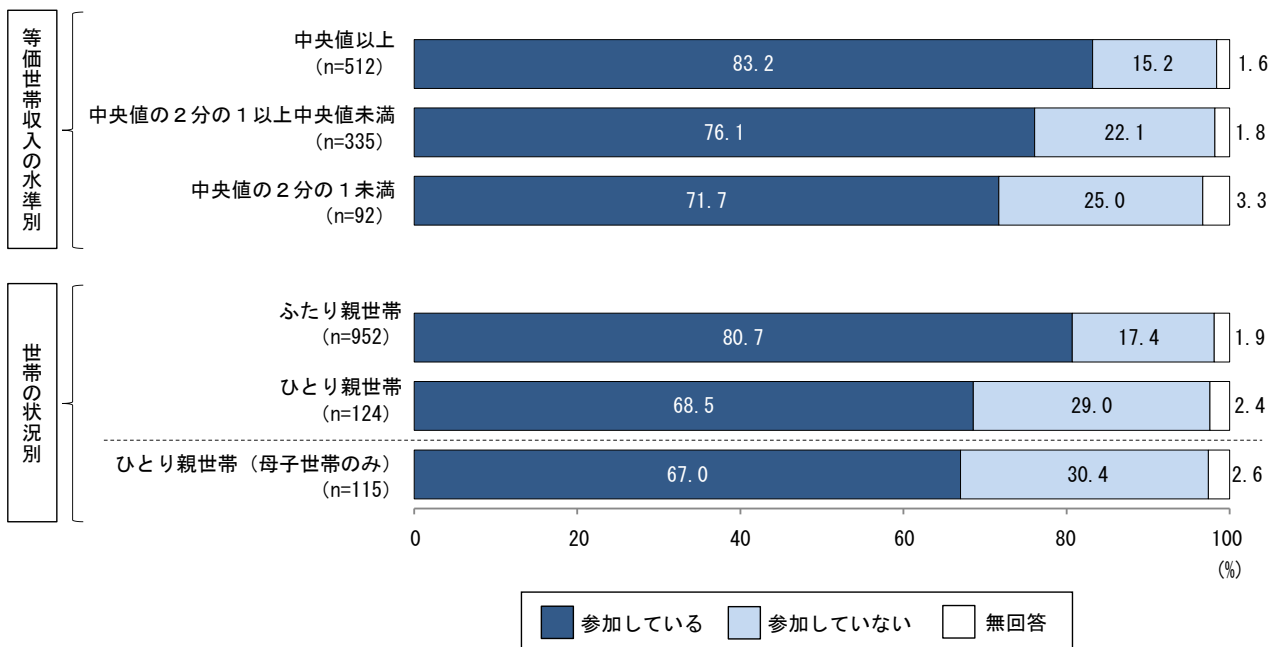
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」は、「中央値以上」では26.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では24.6%、「中央値の2分の1未満」では32.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」は、「ふたり親世帯」では25.2%、「ひとり親世帯全体」では37.2%、「母子世帯のみ」では35.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



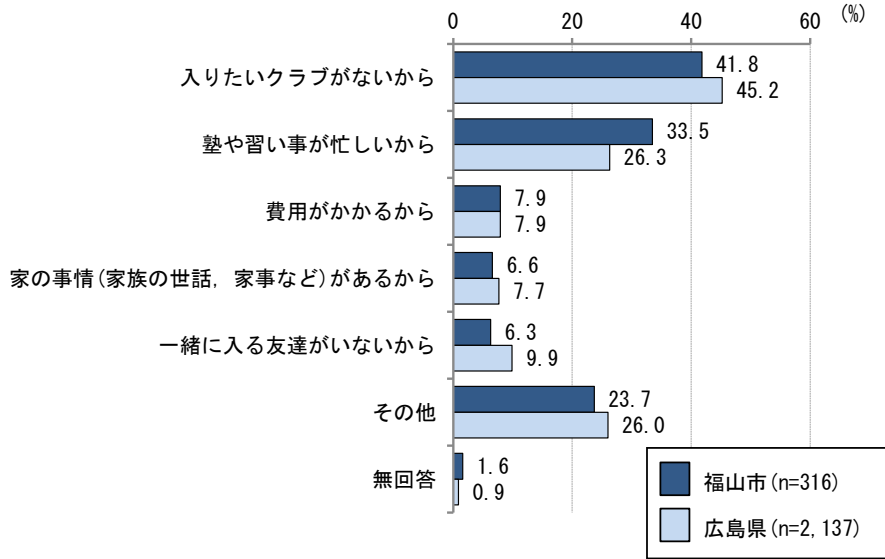
等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」は、「中央値以上」では15.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では22.1%、「中央値の2分の1未満」では25.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」は、「ふたり親世帯」では17.4%、「ひとり親世帯全体」では29.0%、「母子世帯のみ」では30.4%となっている。

※問9で「2 参加していない」と答えた方に

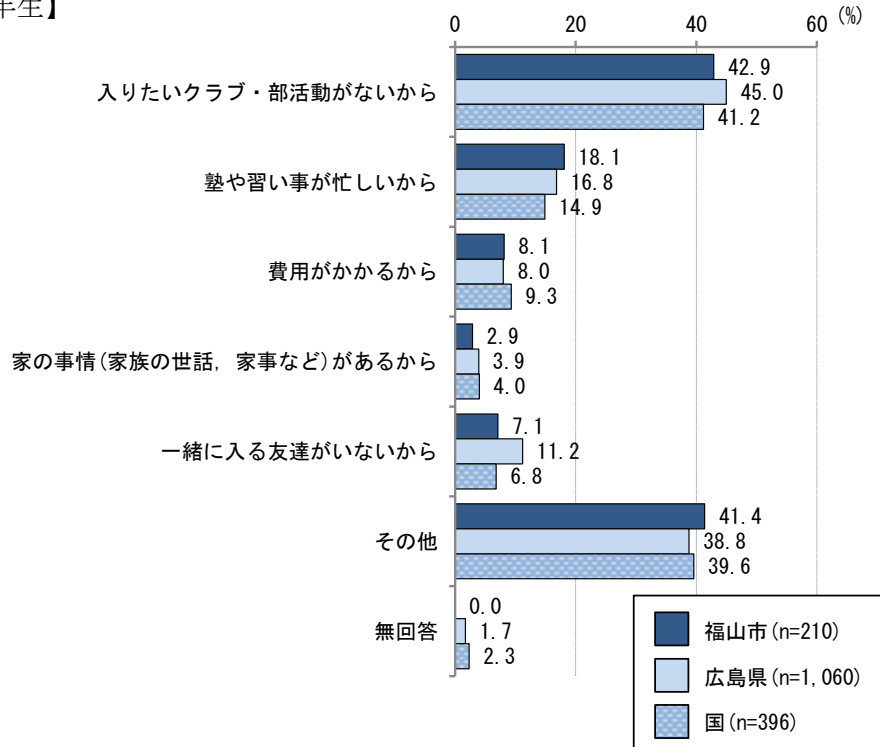
子ども票問10. 参加していない理由は何ですか。(MA)

【小学5年生】



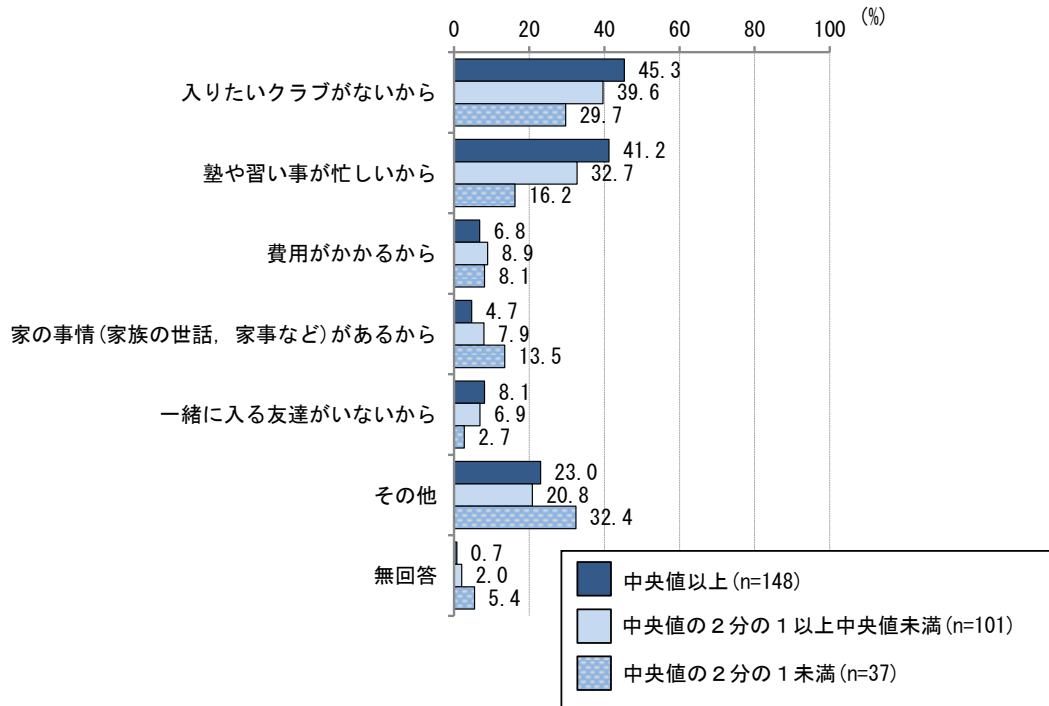
部活動等に参加していない理由について、小学5年生では、「入りたいクラブがないから」が41.8%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が33.5%、「費用がかかるから」が7.9%などの順となっている。広島県と比較すると、「塾や習い事が忙しいから」は、福山市(33.5%)が広島県(26.3%)を7.2ポイント上回っている。

【中学2年生】



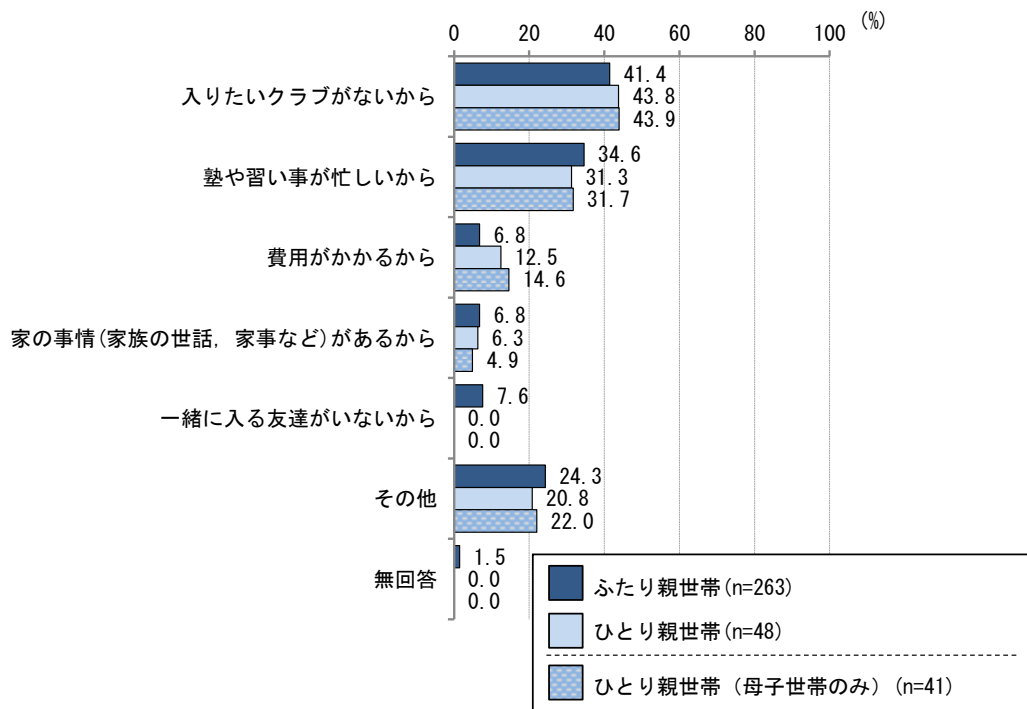
部活動等に参加していない理由について、中学2年生では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が42.9%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が18.1%、「費用がかかるから」が8.1%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



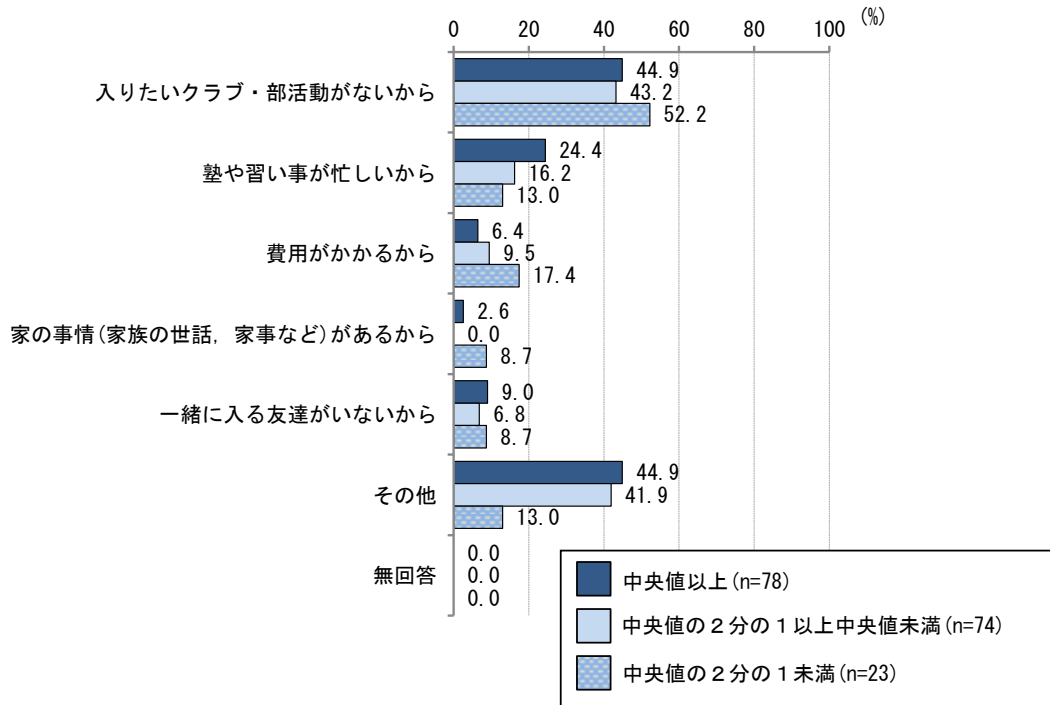
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「入りたいクラブがないから」が29.7%、「塾や習い事が忙しいから」が16.2%、「一緒に入る友達がいないから」が2.7%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「家の事情(家族の世話, 家事など)があるから」が13.5%と高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



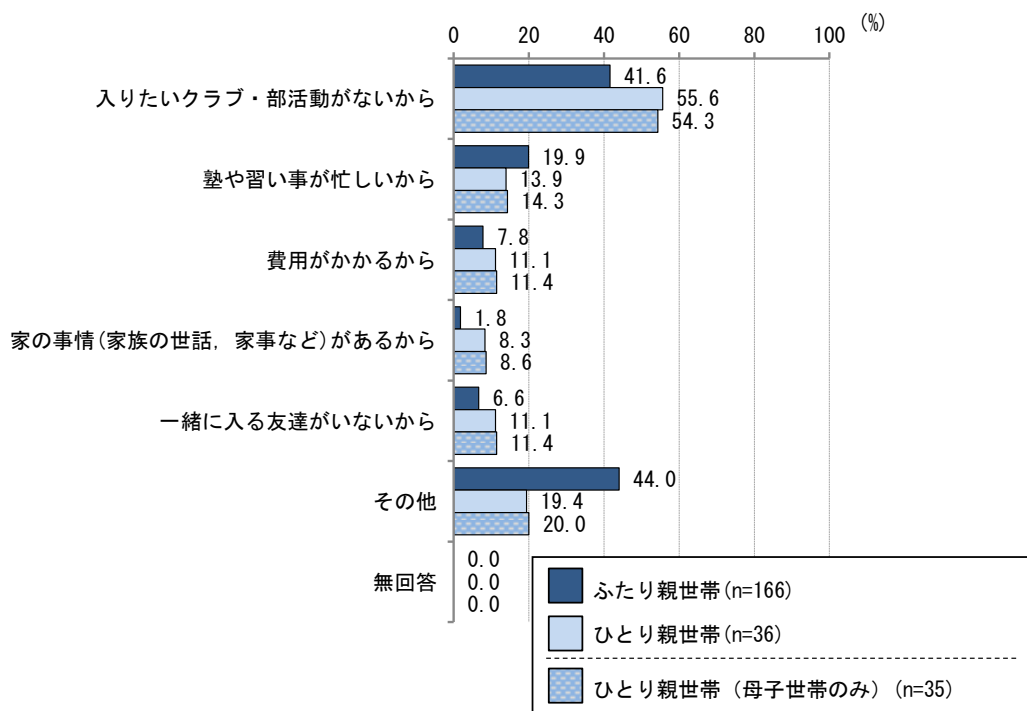
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「費用がかかるから」が12.5%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「塾や習い事が忙しいから」は13.0%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「入りたいクラブ・部活動がないから」は52.2%、「費用がかかるから」は17.4%と高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生】



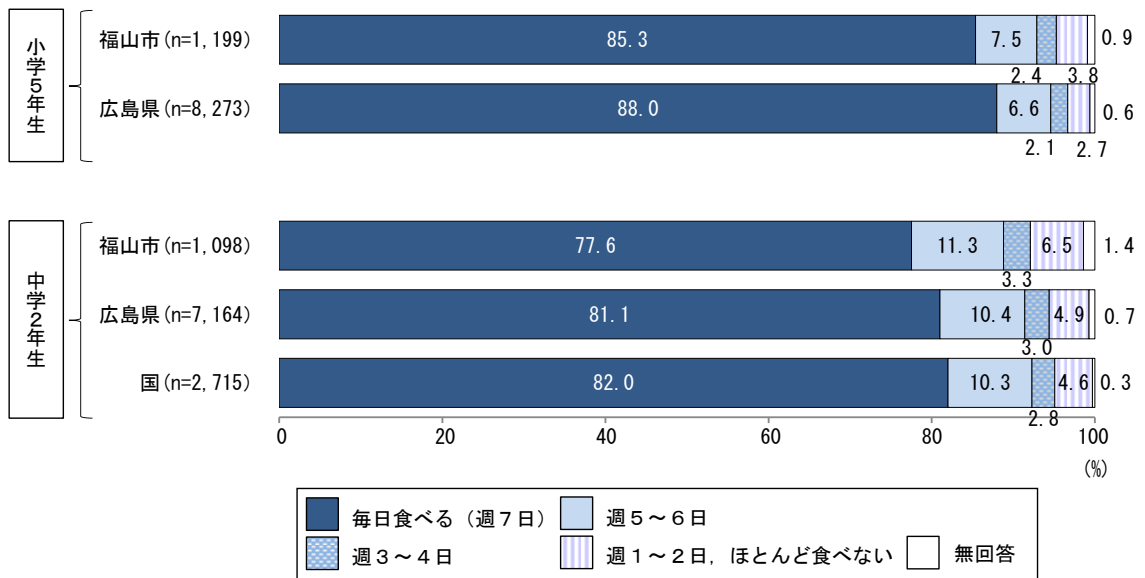
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「塾や習い事が忙しいから」は13.9%と低くなっている。一方で、「入りたいクラブ・部活動がないから」が55.6%、「家の事情(家族の世話, 家事など)があるから」が8.3%と高くなっている。

(4) 日常的な生活の状況

子ども票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(SA)

= a) 朝食 =

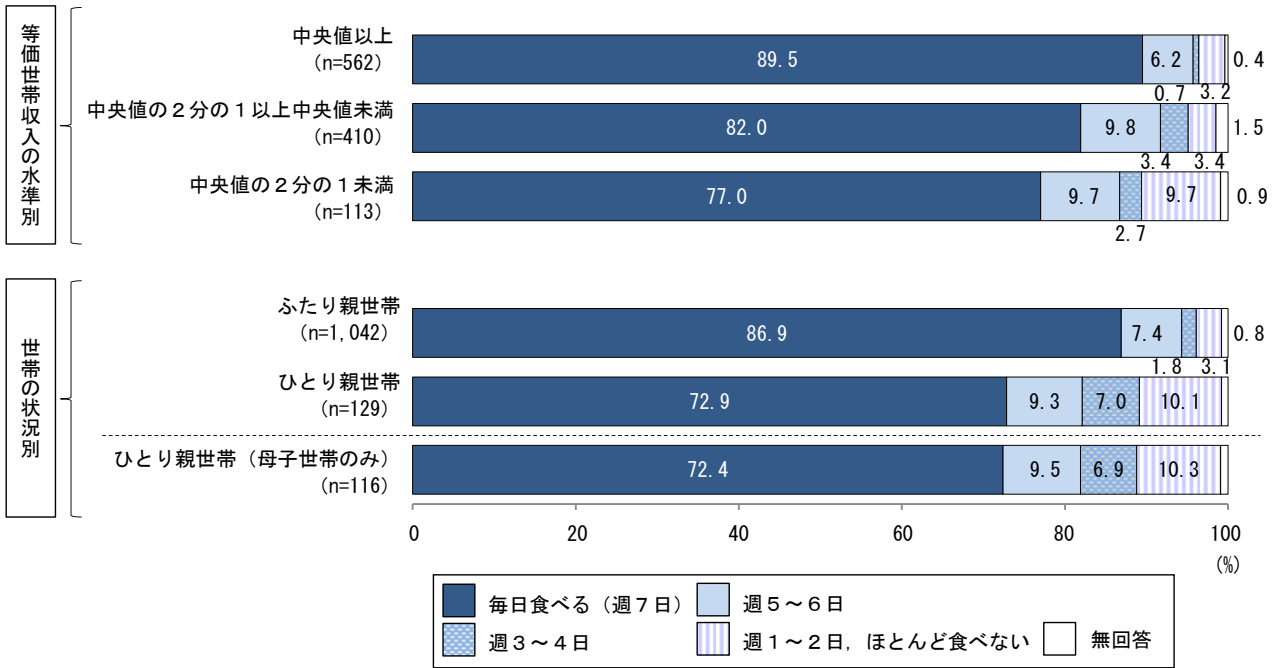
【全体】



朝食について、小学5年生では、「毎日食べる (週7日)」が85.3%、「週5~6日」が7.5%、「週3~4日」が2.4%、「週1~2日, ほとんど食べない」が3.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「毎日食べる (週7日)」が77.6%、「週5~6日」が11.3%、「週3~4日」が3.3%、「週1~2日, ほとんど食べない」が6.5%となっている。広島県, 国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

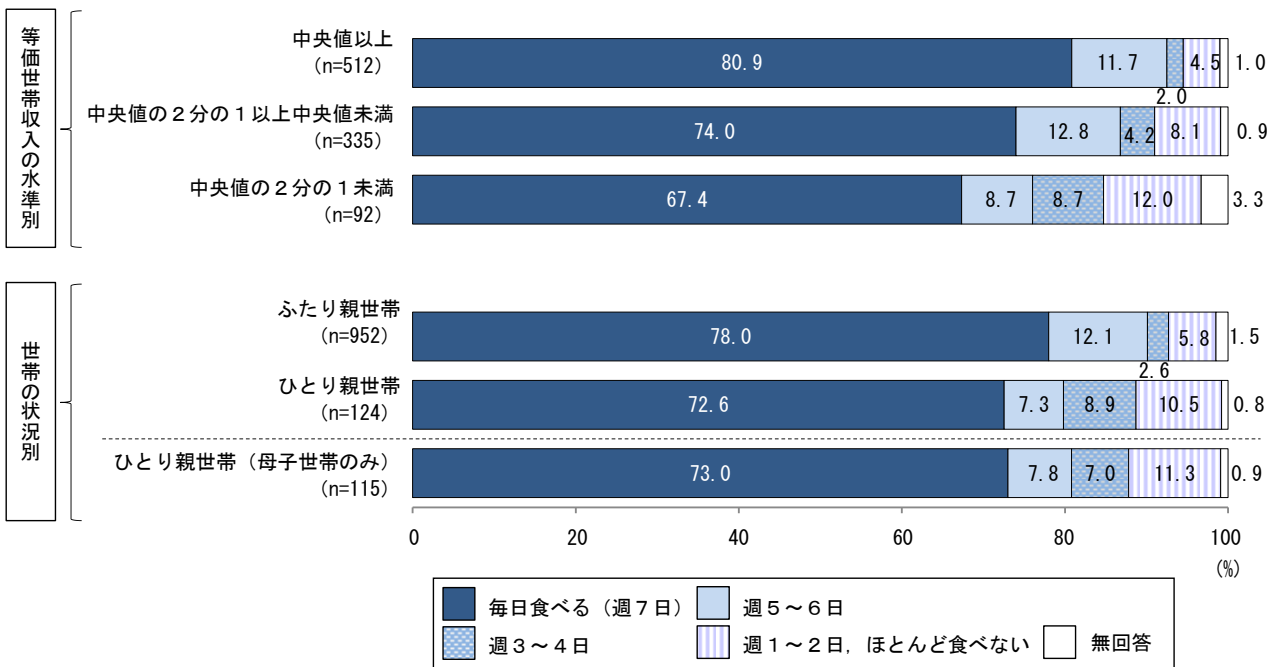
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 89.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 82.0%、「中央値の2分の1未満」では 77.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 86.9%、「ひとり親世帯全体」では 72.9%、「母子世帯のみ」では 72.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

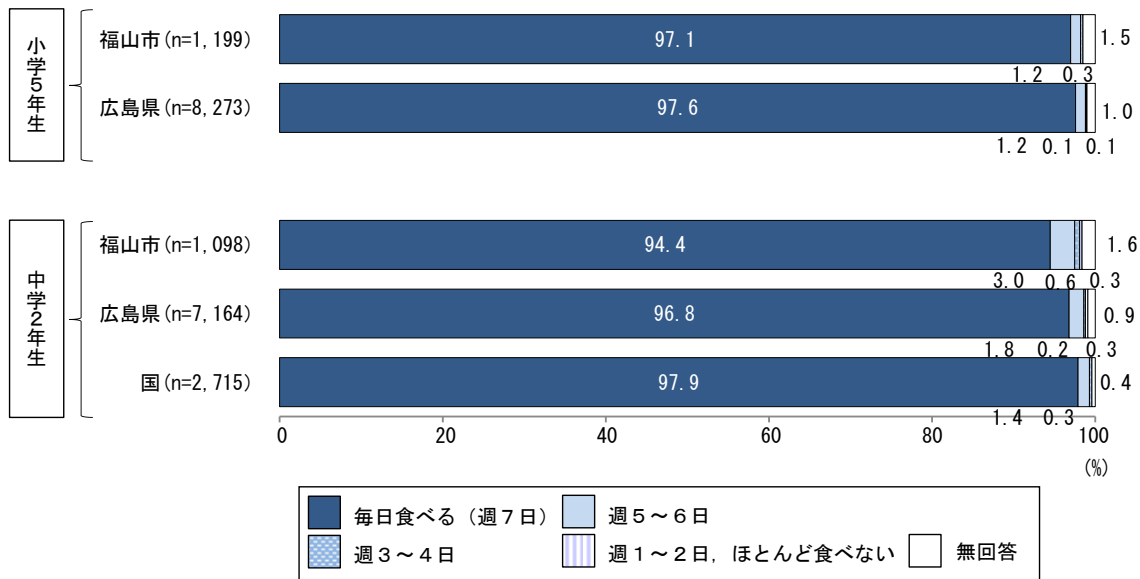


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 80.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 74.0%、「中央値の2分の1未満」では 67.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 78.0%、「ひとり親世帯全体」では 72.6%、「母子世帯のみ」では 73.0%となっている。

= b) 夕食 =

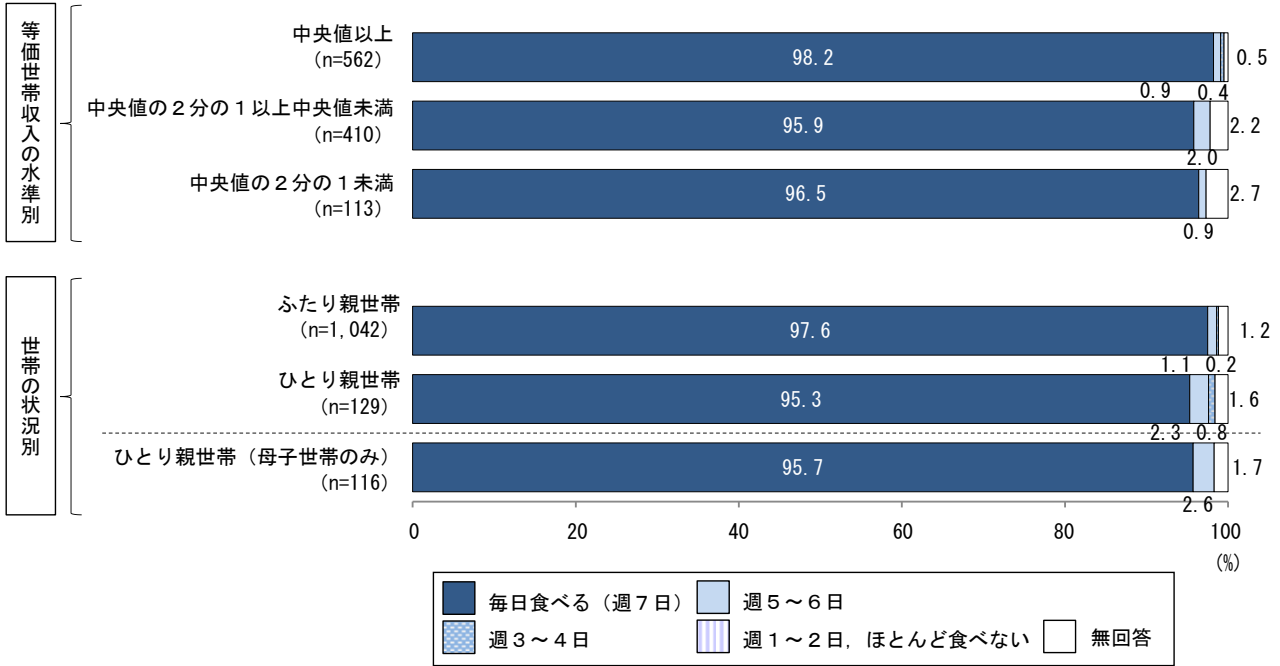
【全体】



夕食について、小学5年生では、「毎日食べる (週7日)」が97.1%、「週5~6日」が1.2%、「週3~4日」が0.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「毎日食べる (週7日)」が94.4%、「週5~6日」が3.0%、「週3~4日」が0.6%、「週1~2日, ほとんど食べない」が0.3%となっている。広島県, 国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

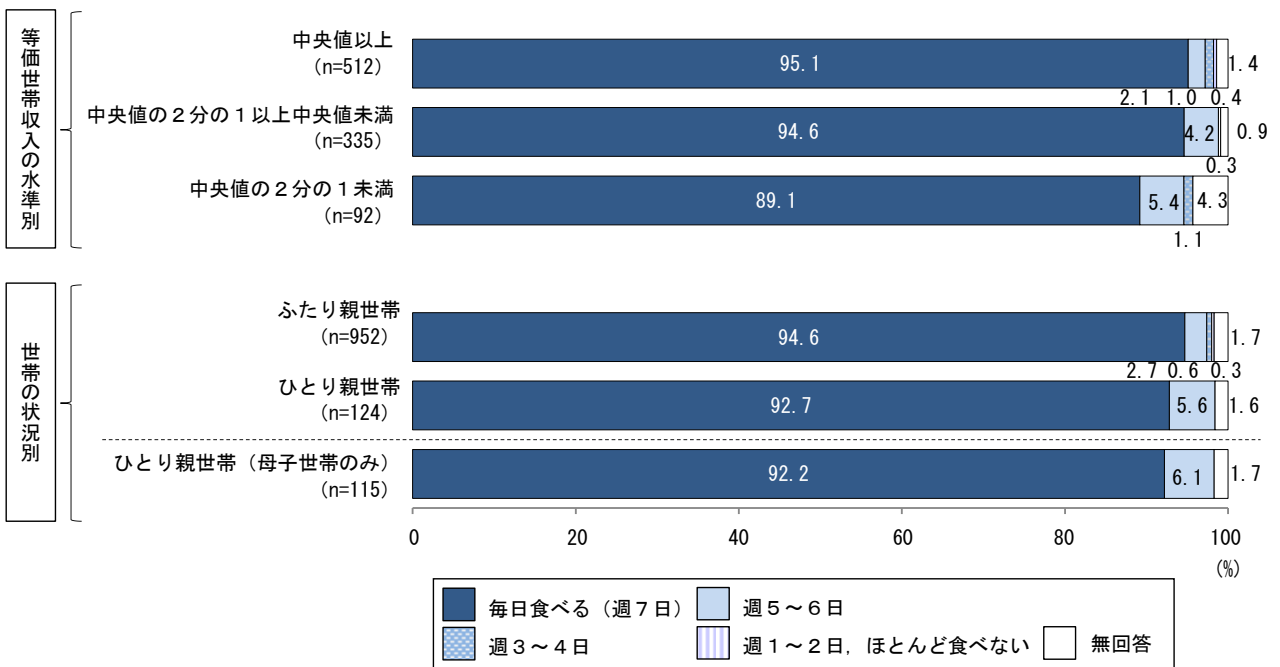
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 98.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 95.9%、「中央値の2分の1未満」では 96.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 97.6%、「ひとり親世帯全体」では 95.3%、「母子世帯のみ」では 95.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

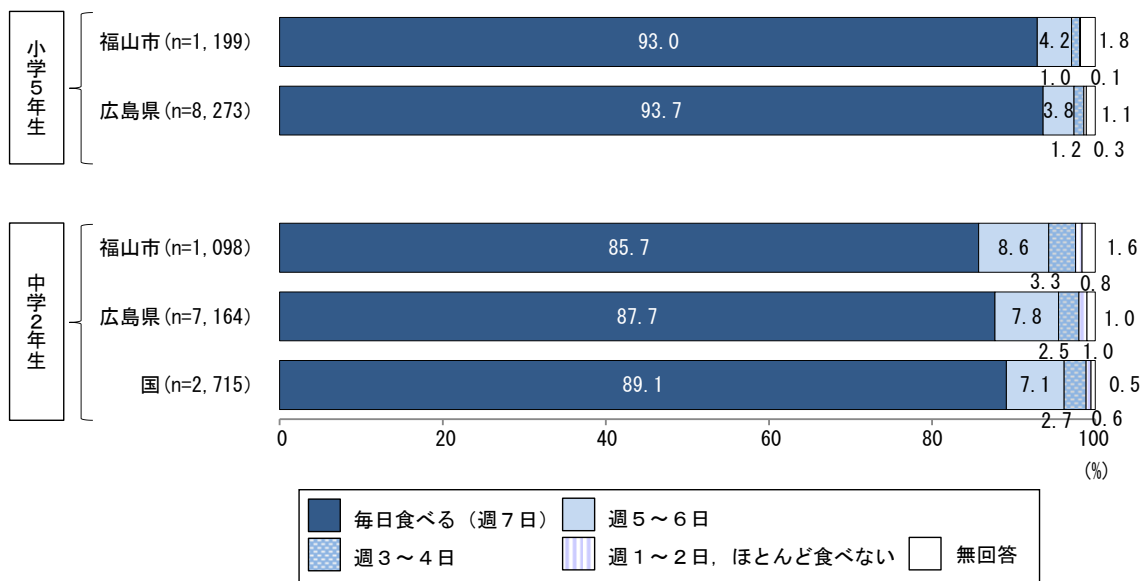


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 95.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 94.6%、「中央値の2分の1未満」では 89.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 94.6%、「ひとり親世帯全体」では 92.7%、「母子世帯のみ」では 92.2%となっている。

= c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食 =

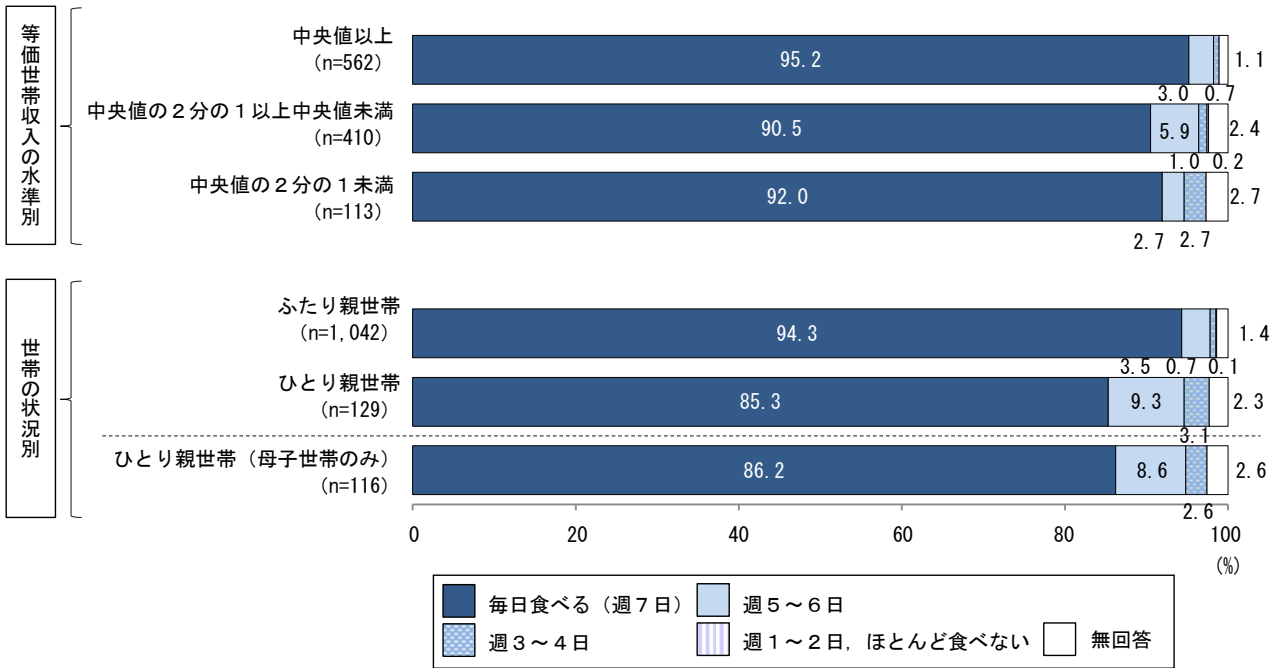
【全体】



夏休みや冬休みなどの期間の昼食について、小学5年生では、「毎日食べる (週7日)」が93.0%、「週5~6日」が4.2%、「週3~4日」が1.0%、「週1~2日, ほとんど食べない」が0.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「毎日食べる (週7日)」が85.7%、「週5~6日」が8.6%、「週3~4日」が3.3%、「週1~2日, ほとんど食べない」が0.8%となっている。広島県, 国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

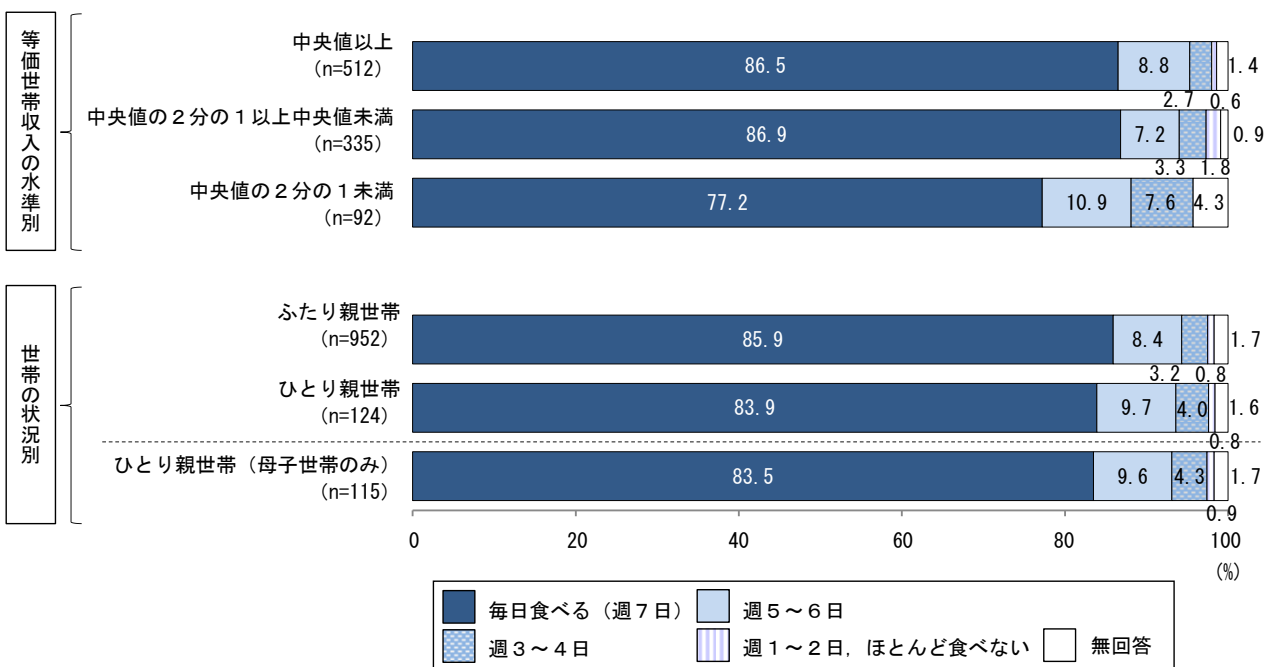
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 95.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 90.5%、「中央値の2分の1未満」では 92.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 94.3%、「ひとり親世帯全体」では 85.3%、「母子世帯のみ」では 86.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

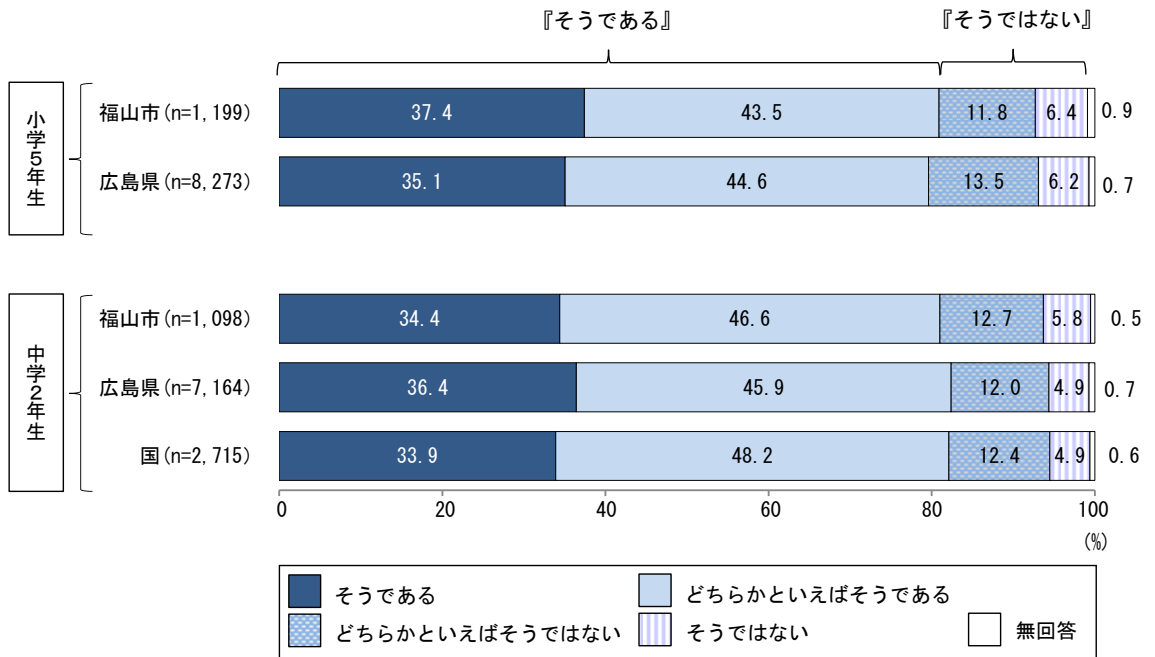


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 86.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 86.9%、「中央値の2分の1未満」では 77.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 85.9%、「ひとり親世帯全体」では 83.9%、「母子世帯のみ」では 83.5%となっている。

子ども票問 12. あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(SA)

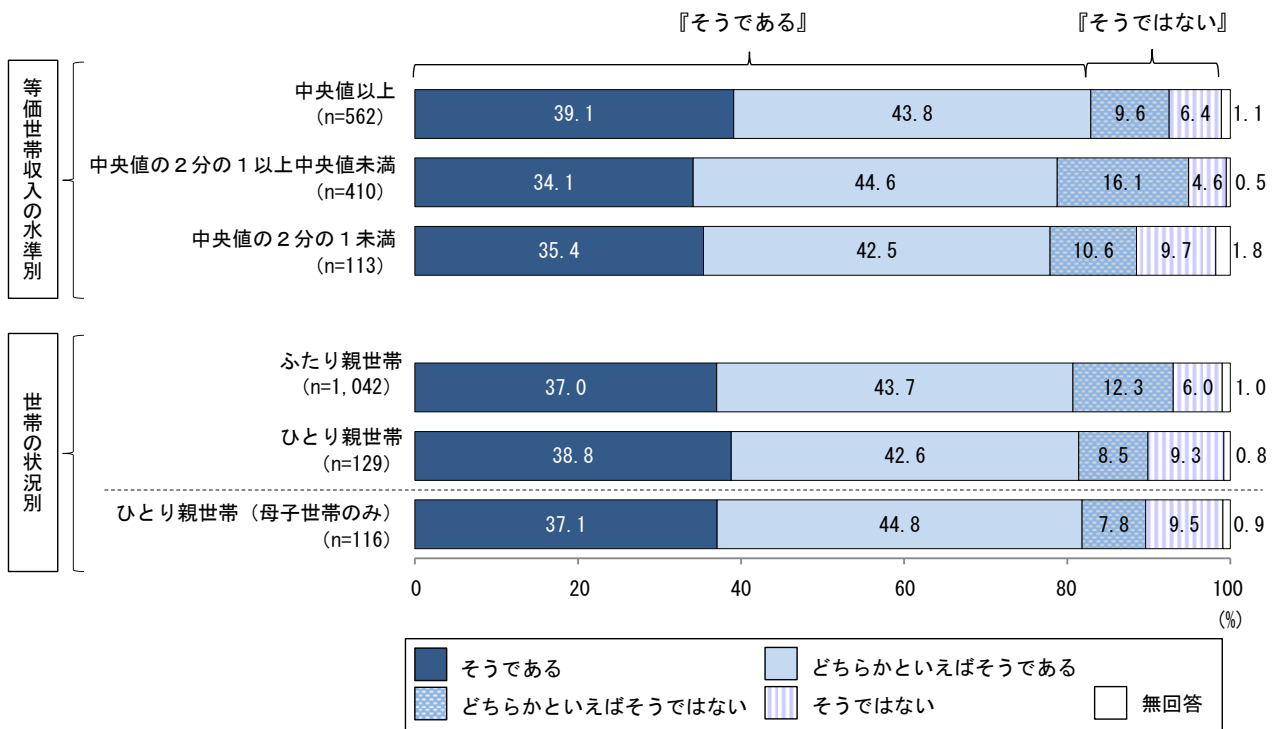
【全体】



就寝時間に関してほぼ同じ時間に寝ているかについて、小学5年生では、『そうである（「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合）』が80.9%、『そうではない（「どちらかといえばそうではない」と「そうではない」を合わせた割合）』が18.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、『そうである』が81.0%、『そうではない』が18.5%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

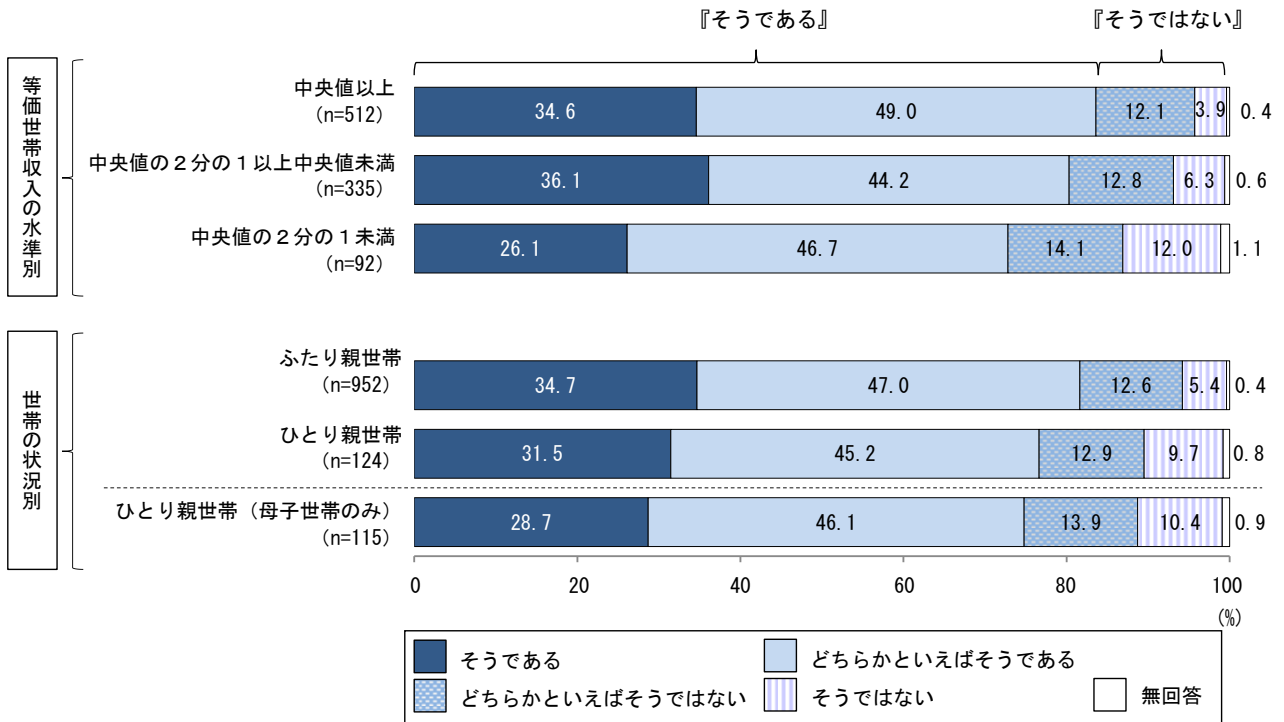
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『そうである』は、「中央値以上」では82.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では78.7%、「中央値の2分の1未満」では77.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『そうである』は、「ふたり親世帯」では80.7%、「ひとり親世帯全体」では81.4%、「母子世帯のみ」では81.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

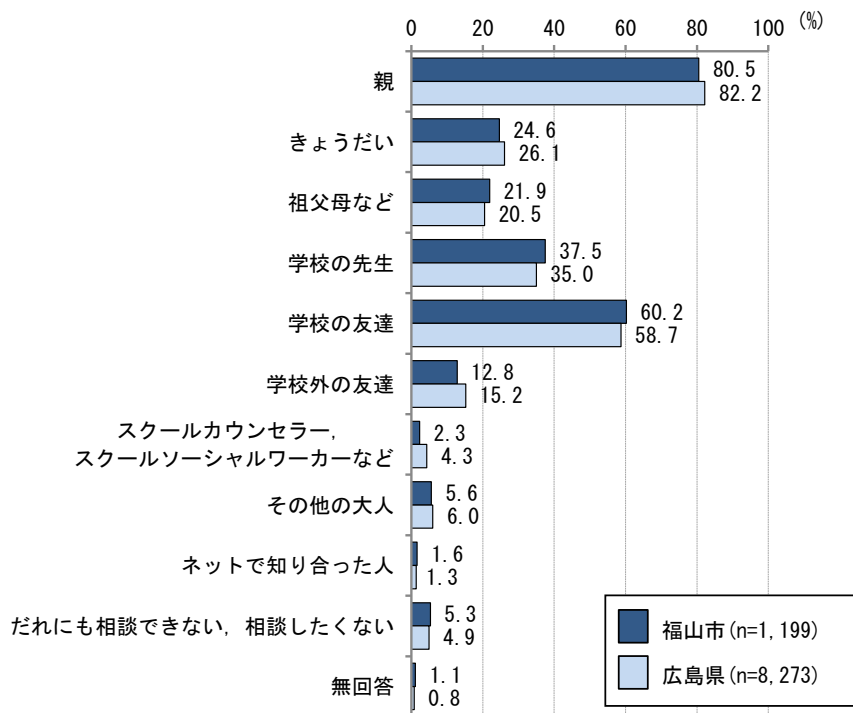


等価世帯収入の水準別にみると、『そうである』は、「中央値以上」では83.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では80.3%、「中央値の2分の1未満」では72.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『そうである』は、「ふたり親世帯」では81.7%、「ひとり親世帯全体」では76.7%、「母子世帯のみ」では74.8%となっている。

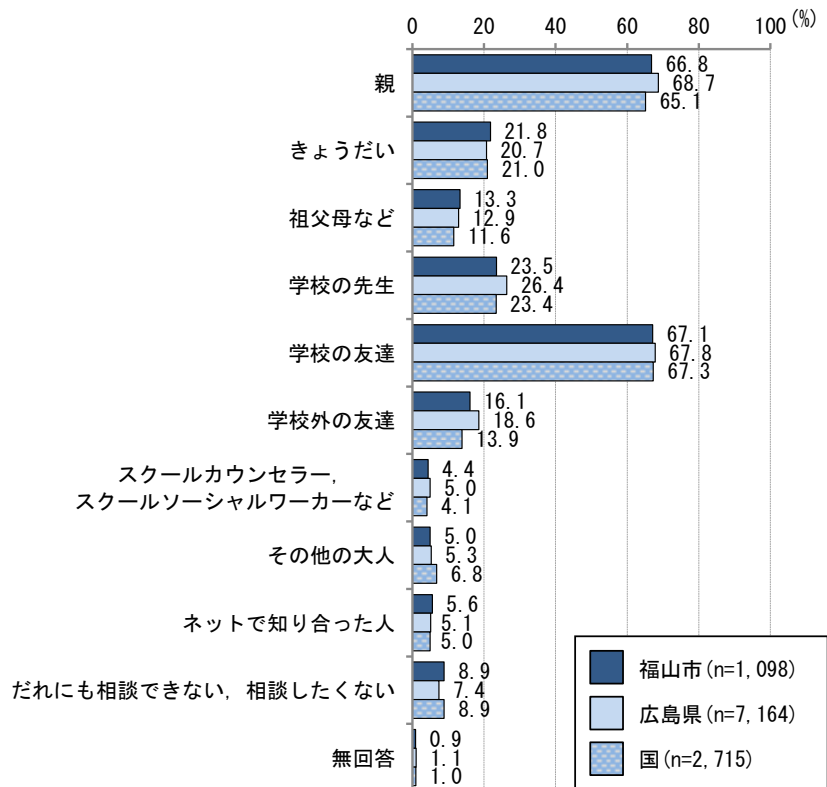
子ども票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき, あなたが相談できると思う人はだれですか。(MA)

【小学5年生】



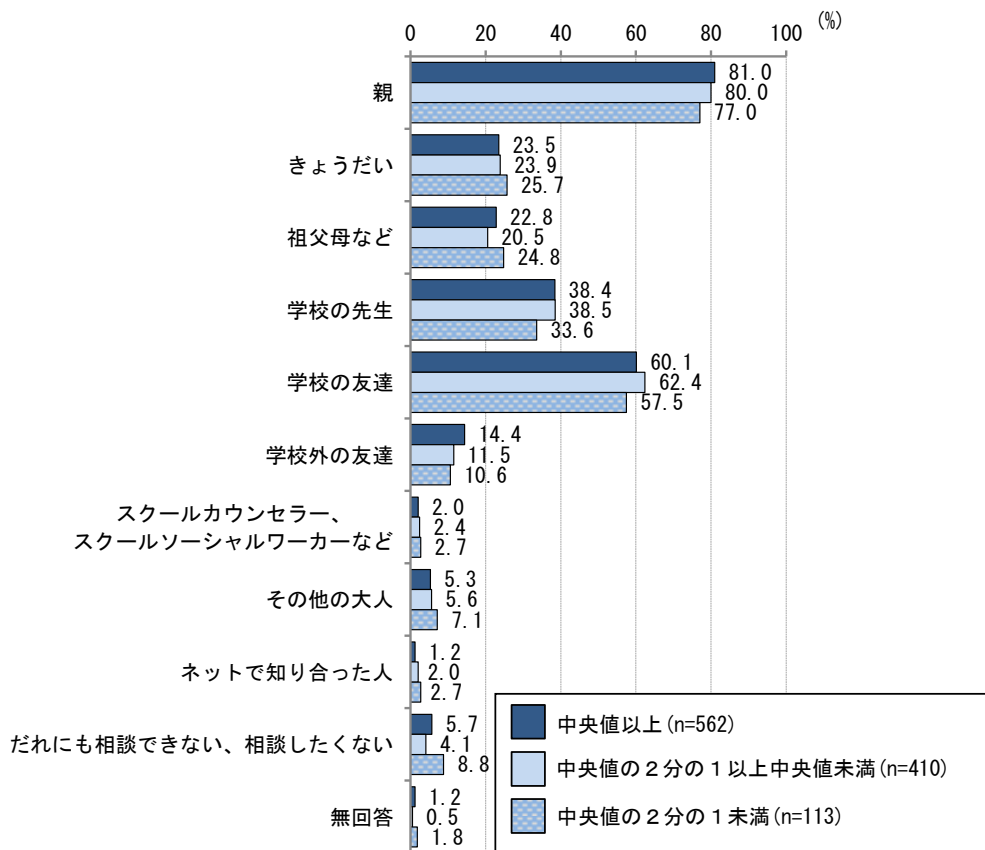
困っていることや悩みごとがあるとき相談できると思う人について, 小学5年生では, 「親」が80.5%と最も高く, 次いで「学校の友達」が60.2%, 「学校の先生」が37.5%などの順となっている。広島県と比較すると, 大きな差はみられない。

【中学2年生】



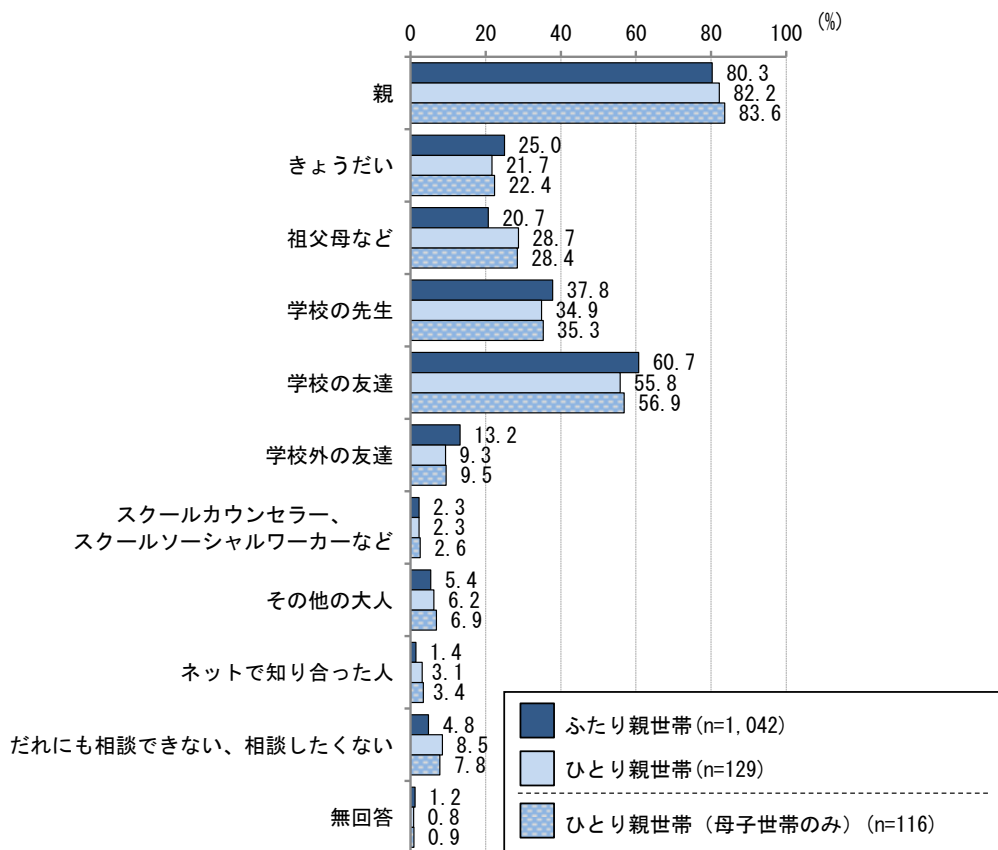
困っていることや悩みごとがあるとき相談できると思う人について、中学2年生では、「学校の友達」が67.1%と最も高く、次いで「親」が66.8%、「学校の先生」が23.5%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



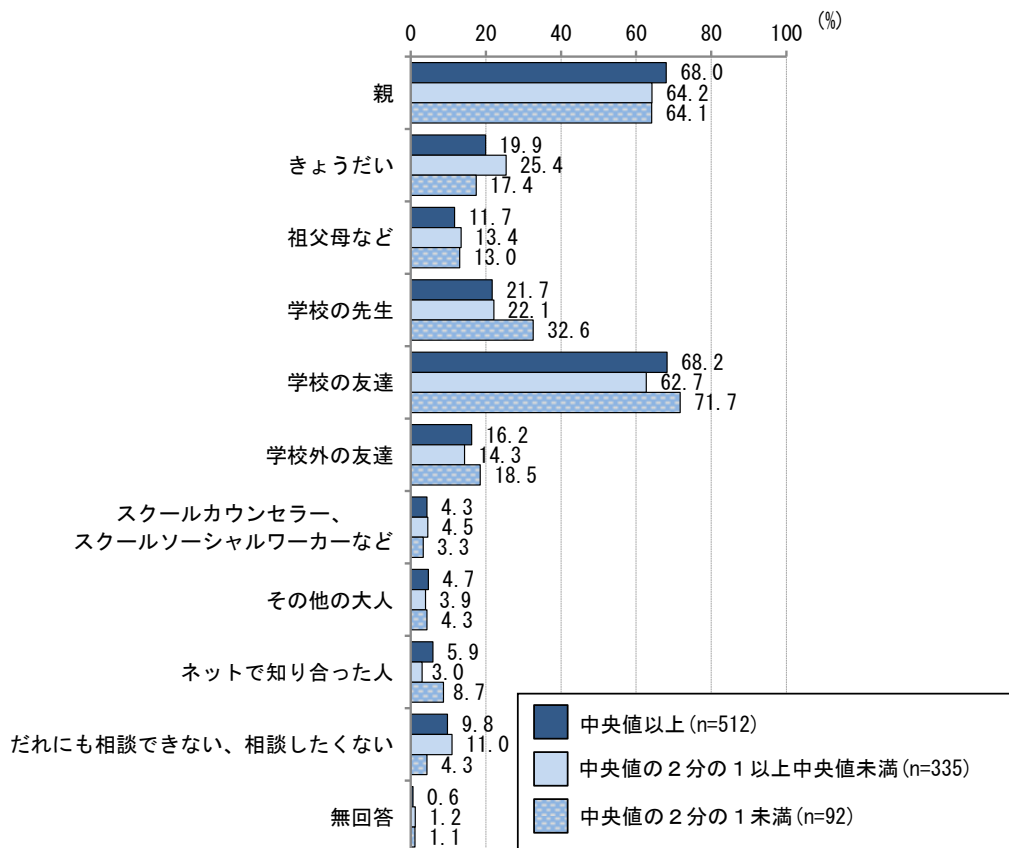
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「親」が77.0%となっており、他の世帯と大きな差はみられない。

【世帯の状況別_小学5年生】



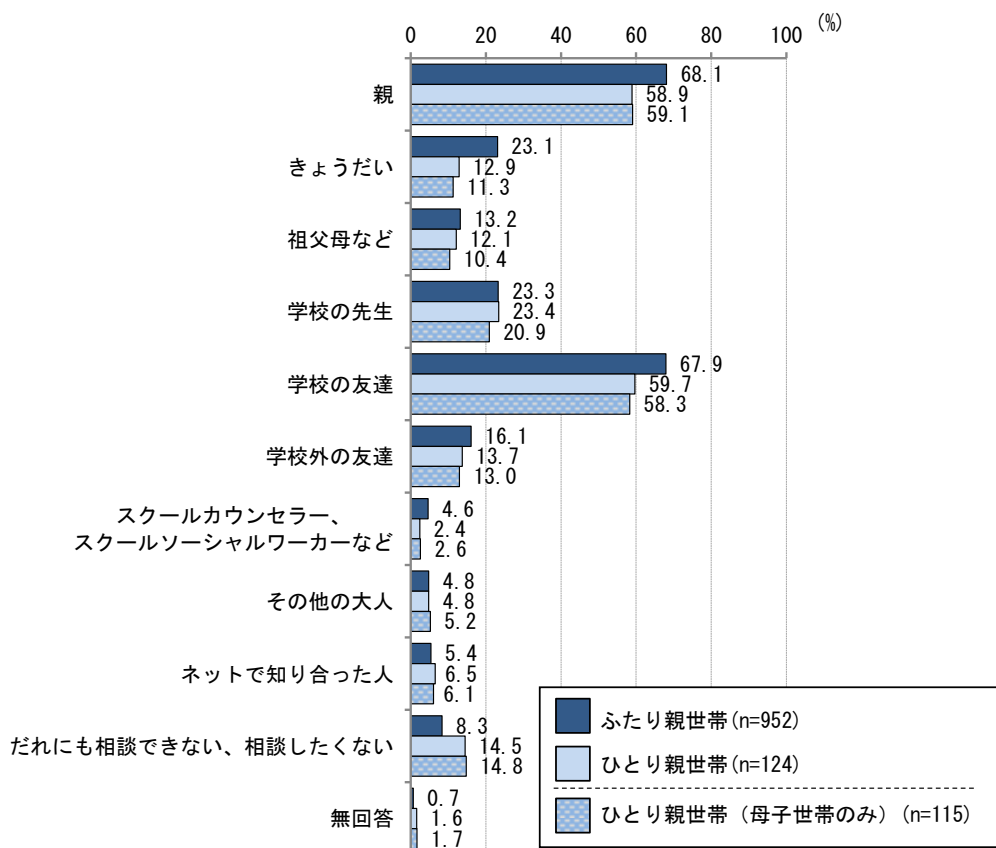
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「祖父母など」が28.7%と他の世帯と比べて高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「きょうだい」が17.4%、「だれにも相談できない、相談したくない」が4.3%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「学校の先生」は32.6%、「学校の友達」は71.7%、「ネットで知り合った人」は8.7%と高くなっている。

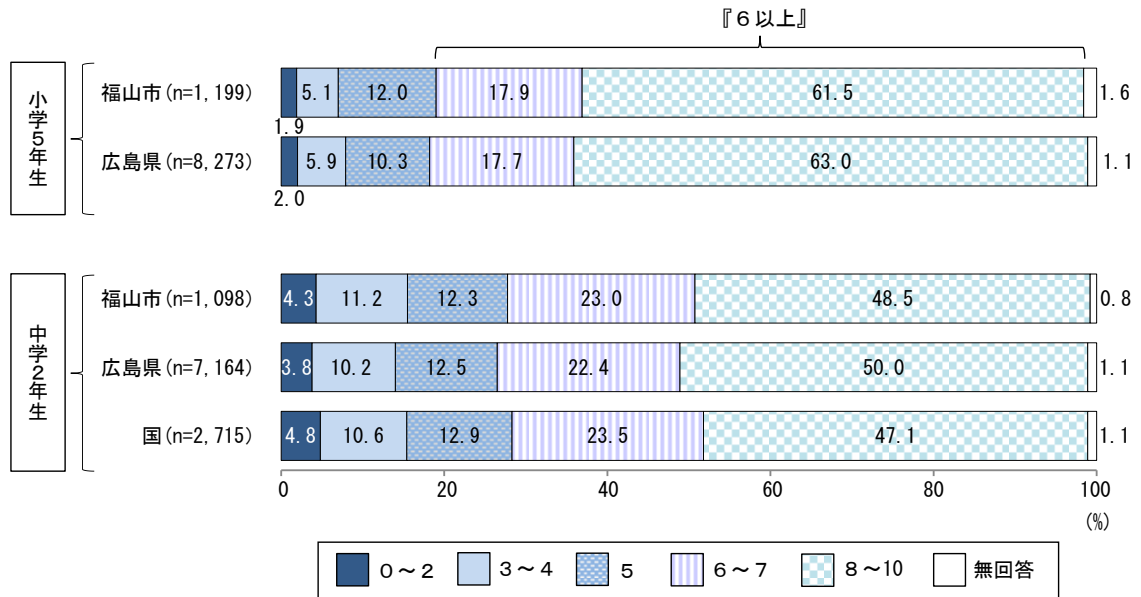
【世帯の状況別_中学2年生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「親」が58.9%、「きょうだい」が12.9%、「学校の友達」が59.7%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「だれにも相談できない、相談したくない」は14.5%と高くなっている。

子ども票問 14. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(SA)
 「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で教えてください。

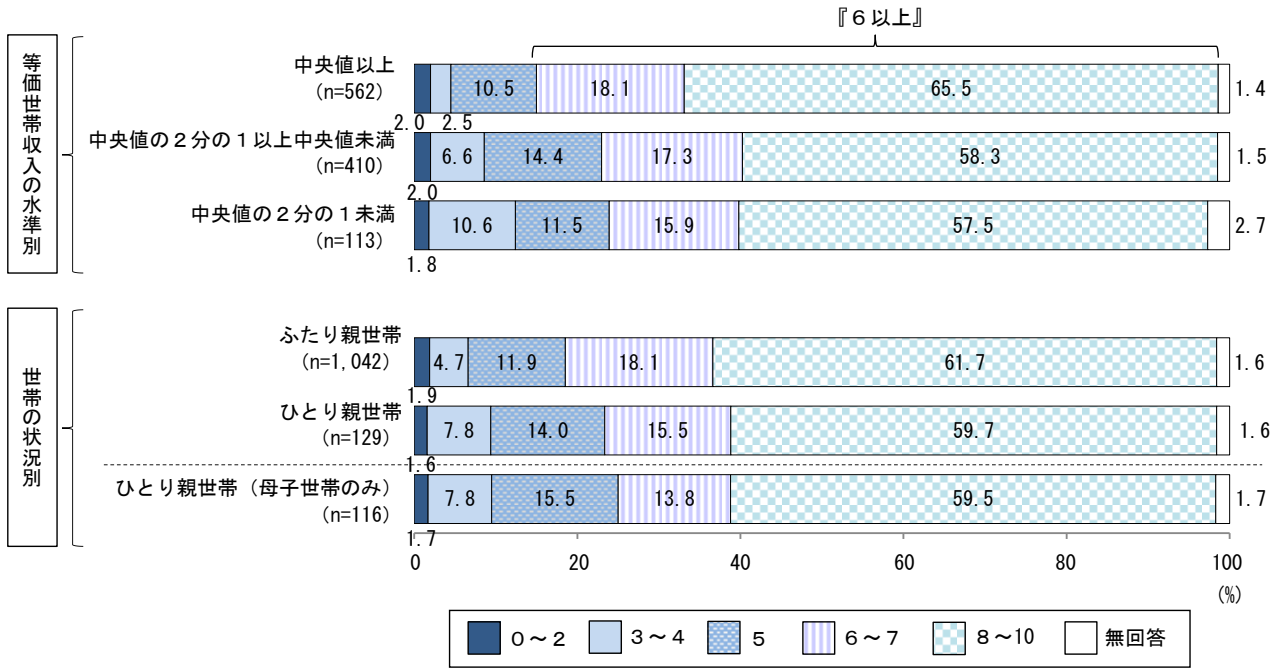
【全体】



最近の生活の満足度について、小学5年生では、「0~2」が1.9%、「3~4」が5.1%、「5」が12.0%、「6~7」が17.9%、「8~10」が61.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「0~2」が4.3%、「3~4」が11.2%、「5」が12.3%、「6~7」が23.0%、「8~10」が48.5%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

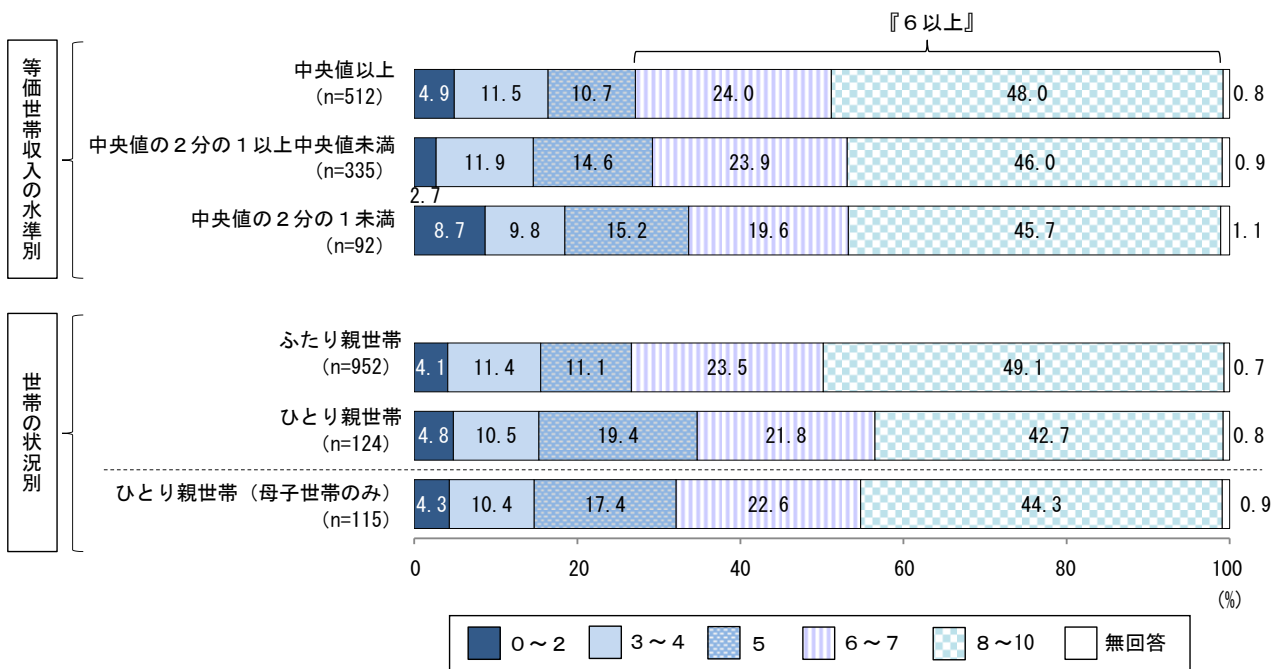
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では83.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では75.6%、「中央値の2分の1未満」では73.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では79.8%、「ひとり親世帯全体」では75.2%、「母子世帯のみ」では73.3%となっている。

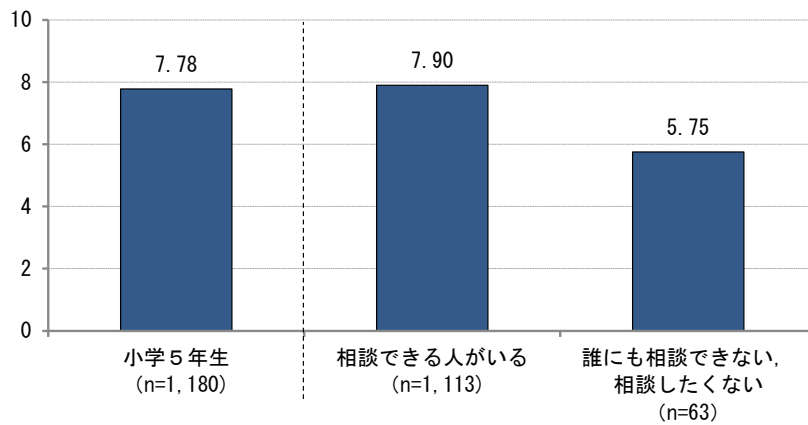
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では72.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では69.9%、「中央値の2分の1未満」では65.3%となっている。

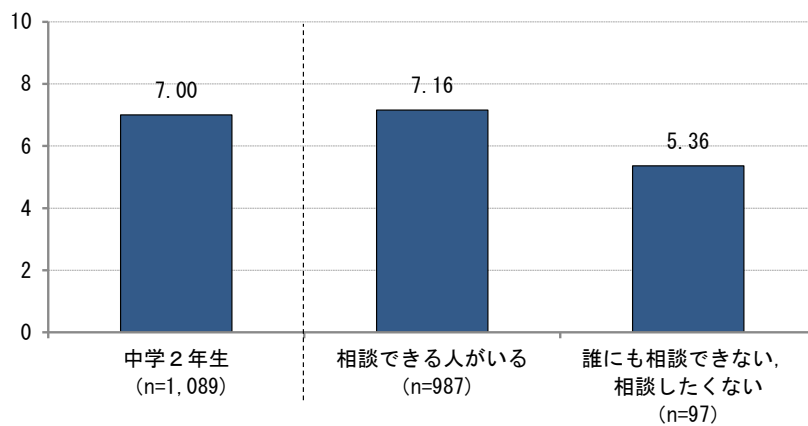
世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では72.6%、「ひとり親世帯全体」では64.5%、「母子世帯のみ」では66.9%となっている。

【相談できる人の有無別 生活満足度_小学5年生】



相談できる人の有無別にみると、子どもの生活の満足度の平均値は、「誰にも相談できない、相談したくない」(5.75)が「相談できる人がいる」(7.90)を2.15点下回っている。

【相談できる人の有無別 生活満足度_中学2年生】



相談できる人の有無別にみると、子どもの生活の満足度の平均値は、「誰にも相談できない、相談したくない」(5.36)が「相談できる人がいる」(7.16)を1.80点下回っている。

(5) 子どもの心理的な状態

「子どもの心理的な状態」に関して、調査では「強さと困難さアンケート (SDQ: Strengths and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、「情緒 (不安や抑うつなど)」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会性」を把握するための項目を設定した。

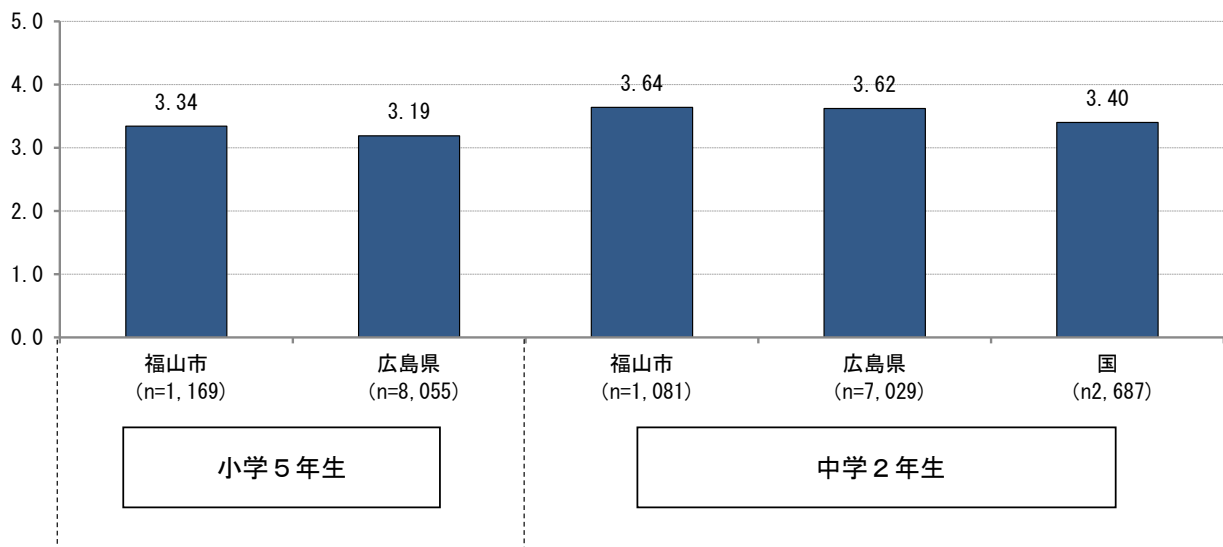
子ども票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのこ半年くらいのことを考えて答えてください。(SA)

= 情緒の問題 =

- b. 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e. 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h. 私は、落ち込んでしずんでいたりと、涙ぐんだりすることがよくある。
- j. 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o. 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

「情緒の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した (0~10点, 得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)。

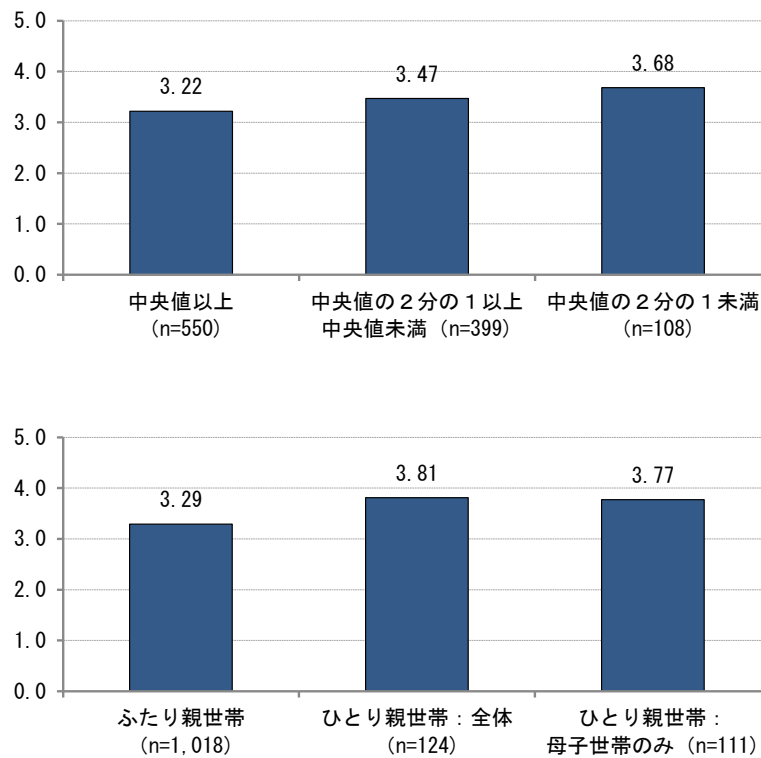
【全体】



「情緒の問題」について、小学5年生全体の平均値は3.34となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生全体の平均値は3.64となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

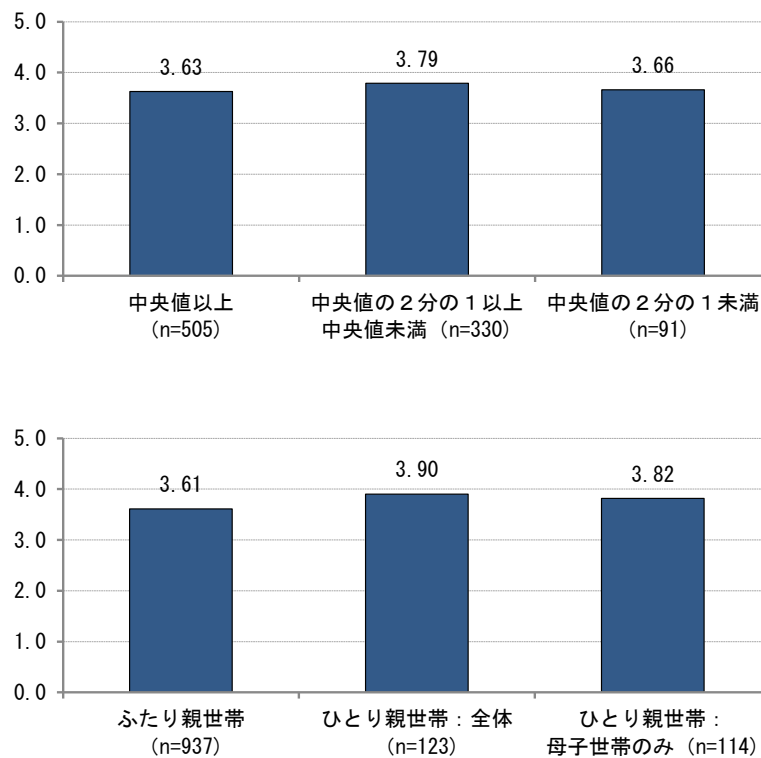
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」では3.22, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では3.47, 「中央値の2分の1未満」では3.68となっている。

世帯の状況別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では3.29, 「ひとり親世帯全体」では3.81, 「母子世帯のみ」では3.77となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」では3.63, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では3.79, 「中央値の2分の1未満」では3.66となっている。

世帯の状況別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では3.61, 「ひとり親世帯全体」では3.90, 「母子世帯のみ」では3.82となっている。

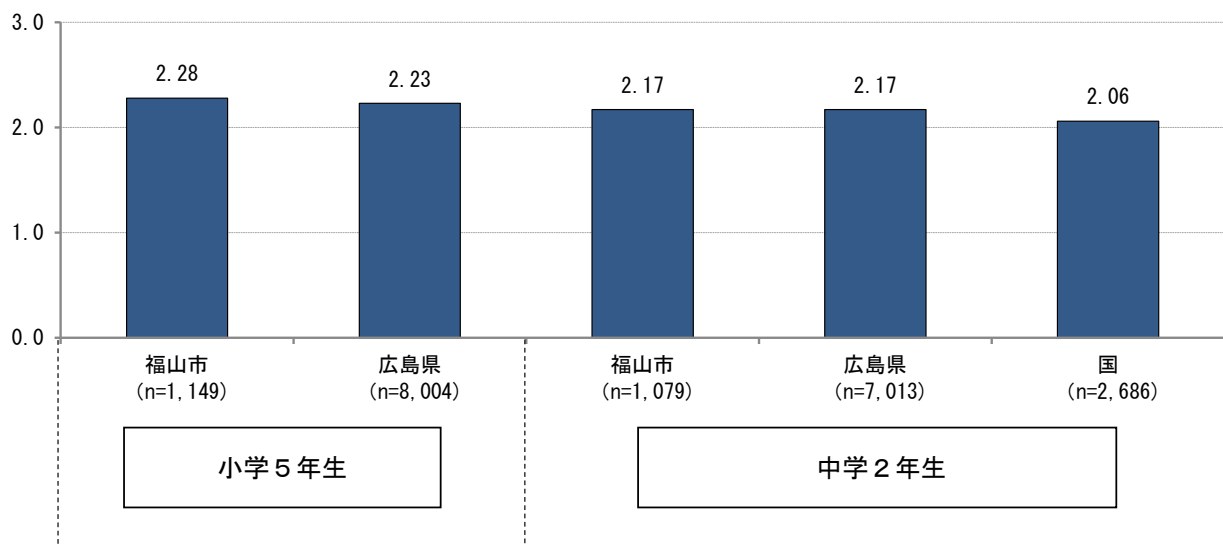
= 仲間関係の問題 =

- d. 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
 g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
 i. 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている。
 l. 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。
 n. 私は、他の子どもたちより、大人という方がうまくいく。

「仲間関係の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。

※「g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。」と「i. 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている。」の項目は逆転項目としてスコアを算出した。

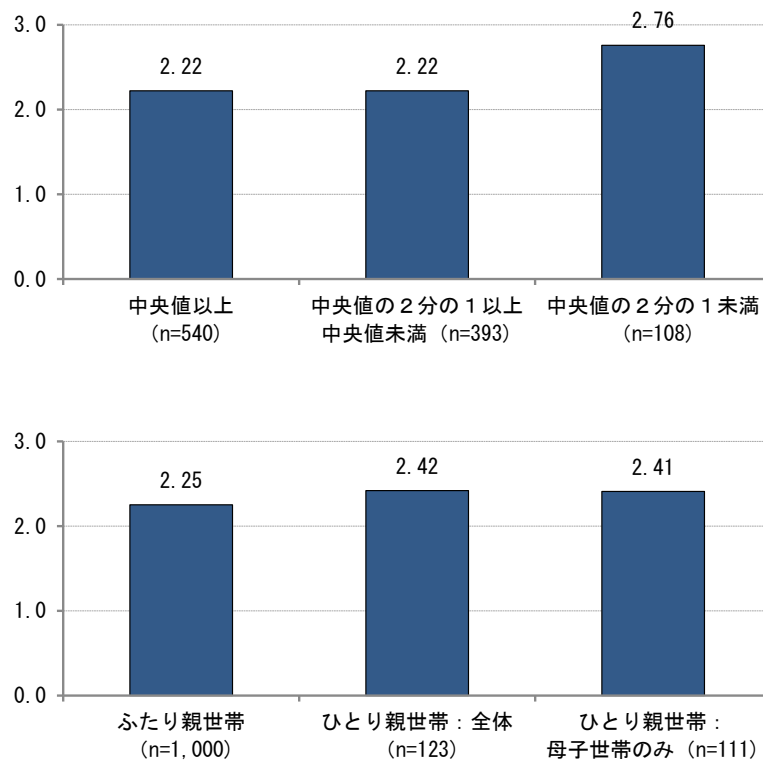
【全体】



「仲間関係の問題」について、小学5年生全体の平均値は2.28となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生全体の平均値は2.17となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

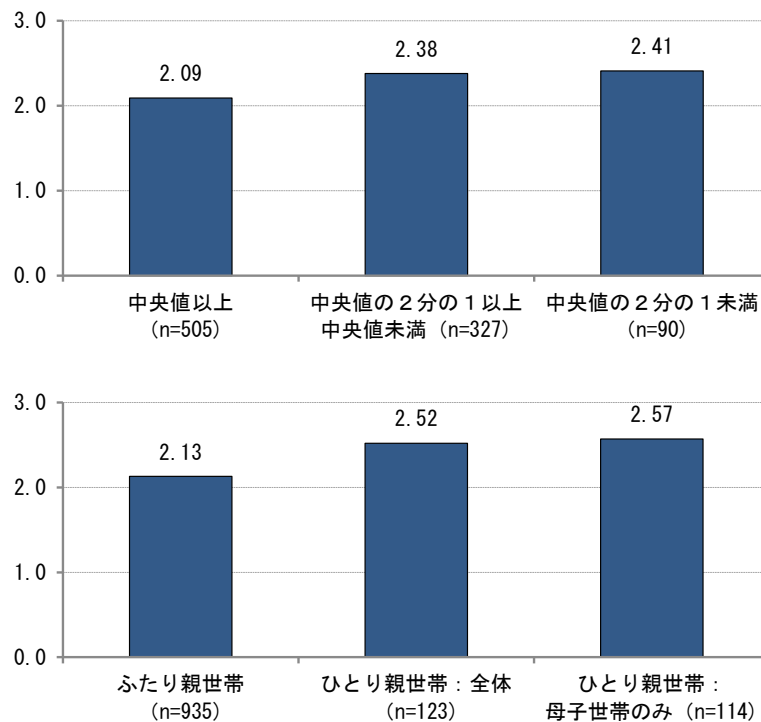
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」では2.22, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.22, 「中央値の2分の1未満」では2.76となっている。

世帯の状況別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では2.25, 「ひとり親世帯全体」では2.42, 「母子世帯のみ」では2.41となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」では2.09, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.38, 「中央値の2分の1未満」では2.41となっている。

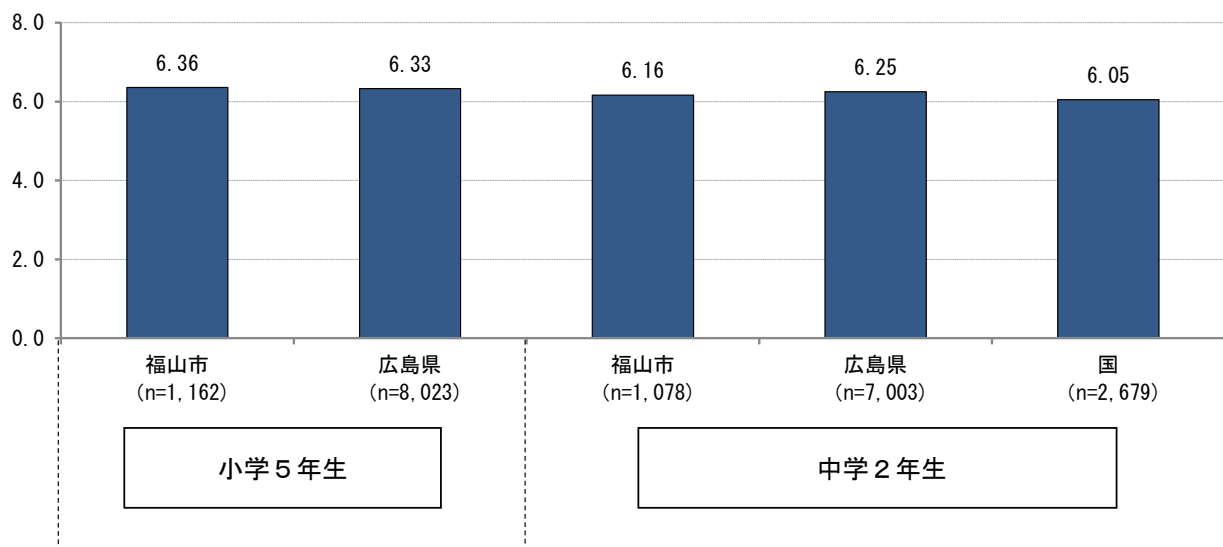
世帯の状況別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では2.13, 「ひとり親世帯全体」では2.52, 「母子世帯のみ」では2.57となっている。

= 向社会性 =

- a. 私は、他人に対して親切にしようとしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
 c. 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
 f. 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
 k. 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。
 m. 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子どもたちなど）。

「向社会性」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど、社会性が高いと考えられる）。

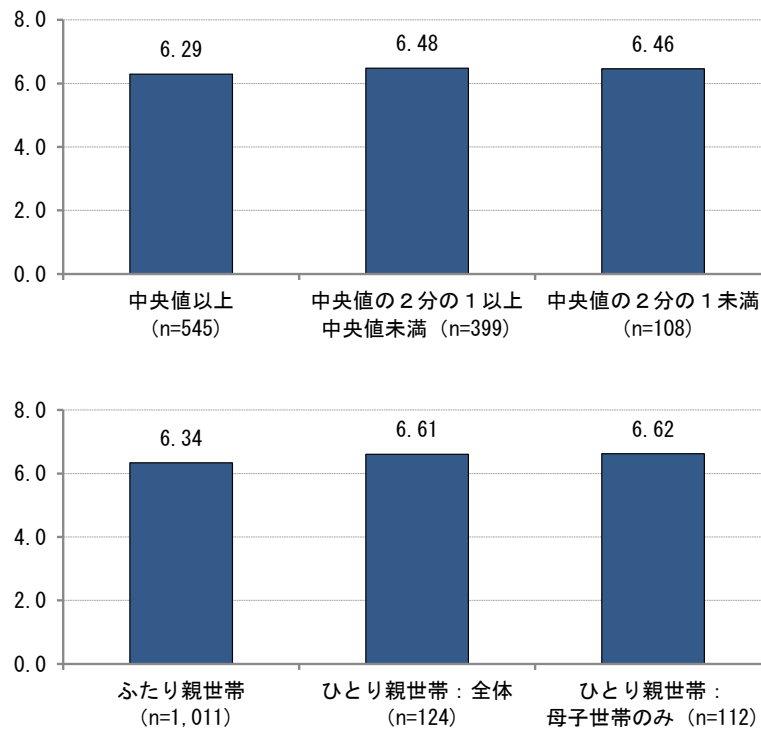
【全体】



「向社会性」について、小学5年生全体の平均値は6.36となっている。

中学2年生全体の平均値は6.16となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

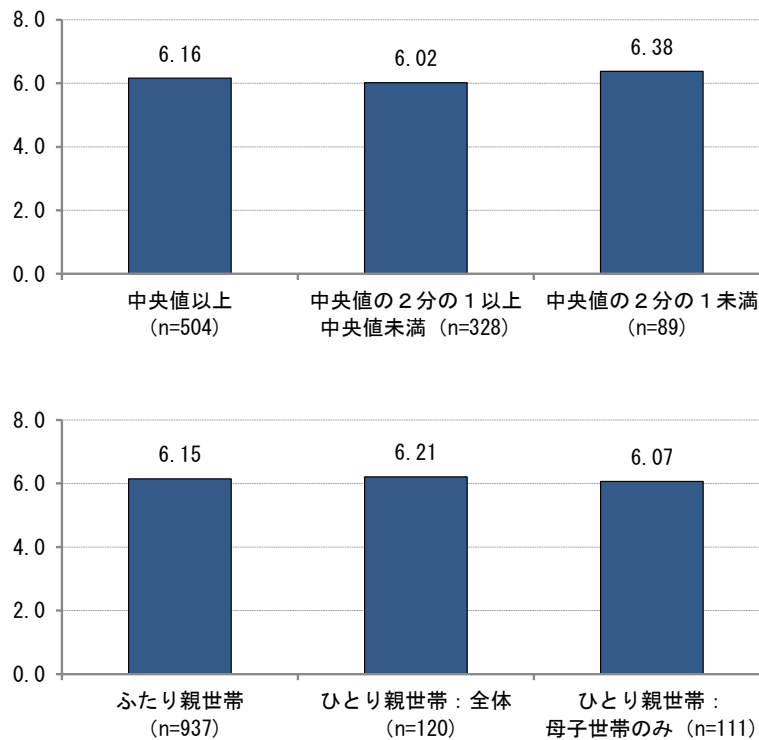
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」では6.29,「中央値の2分の1以上中央値未満」では6.48,「中央値の2分の1未満」では6.46となっている。

世帯の状況別にみると、「向社会性」の平均値は、「ふたり親世帯」では6.34,「ひとり親世帯全体」では6.61,「母子世帯のみ」では6.62となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」では6.16, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では6.02, 「中央値の2分の1未満」では6.38となっている。

世帯の状況別にみると、「向社会性」の平均値は、「ふたり親世帯」では6.15, 「ひとり親世帯全体」では6.21, 「母子世帯のみ」では6.07となっている。

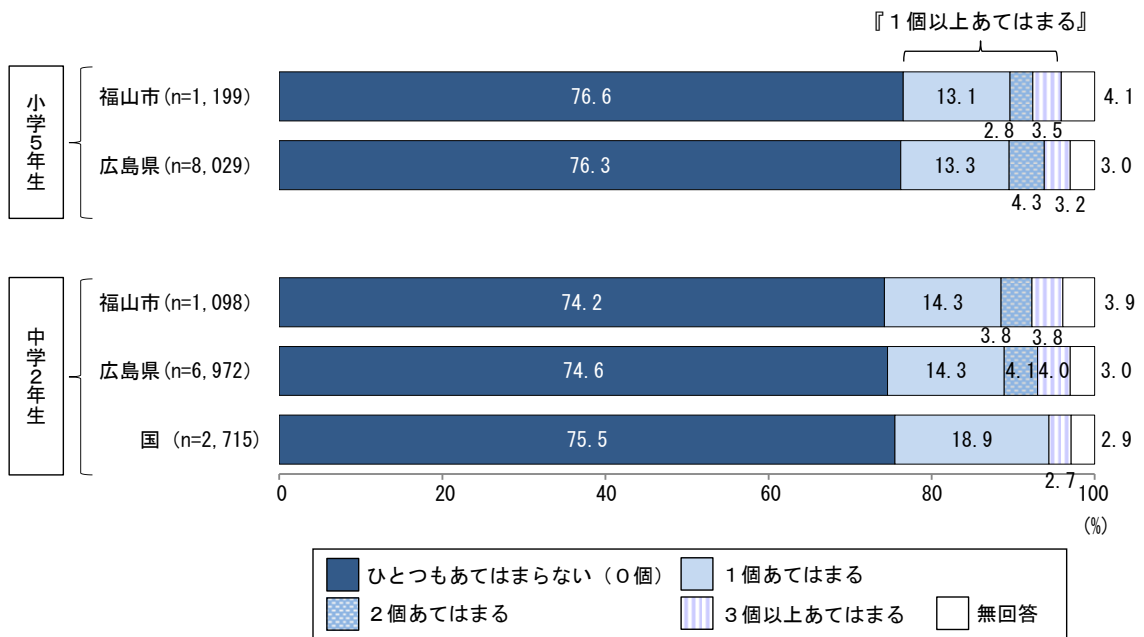
(6) 逆境体験

子ども票問 18. あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(SA)

- a. 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b. 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c. 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d. 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f. 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g. 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h. 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

「逆境体験」について、8つの項目を基に状況把握を行った。

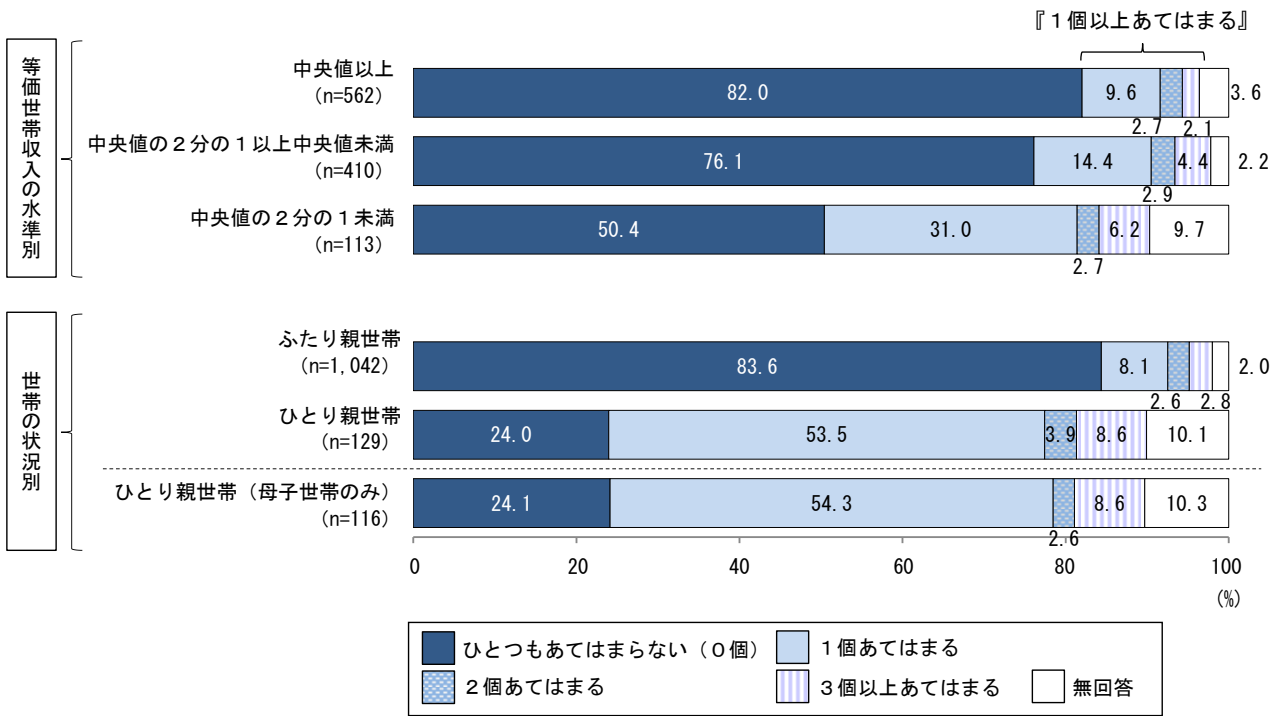
【全体】



「逆境体験」について、小学5年生では、「ひとつもあてはまらない (0個)」が76.6%、「1個あてはまる」が13.1%、「2個あてはまる」が2.8%、「3個以上あてはまる」が3.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「ひとつもあてはまらない (0個)」が74.2%、「1個あてはまる」が14.3%、「2個あてはまる」が3.8%、「3個以上あてはまる」が3.8%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】

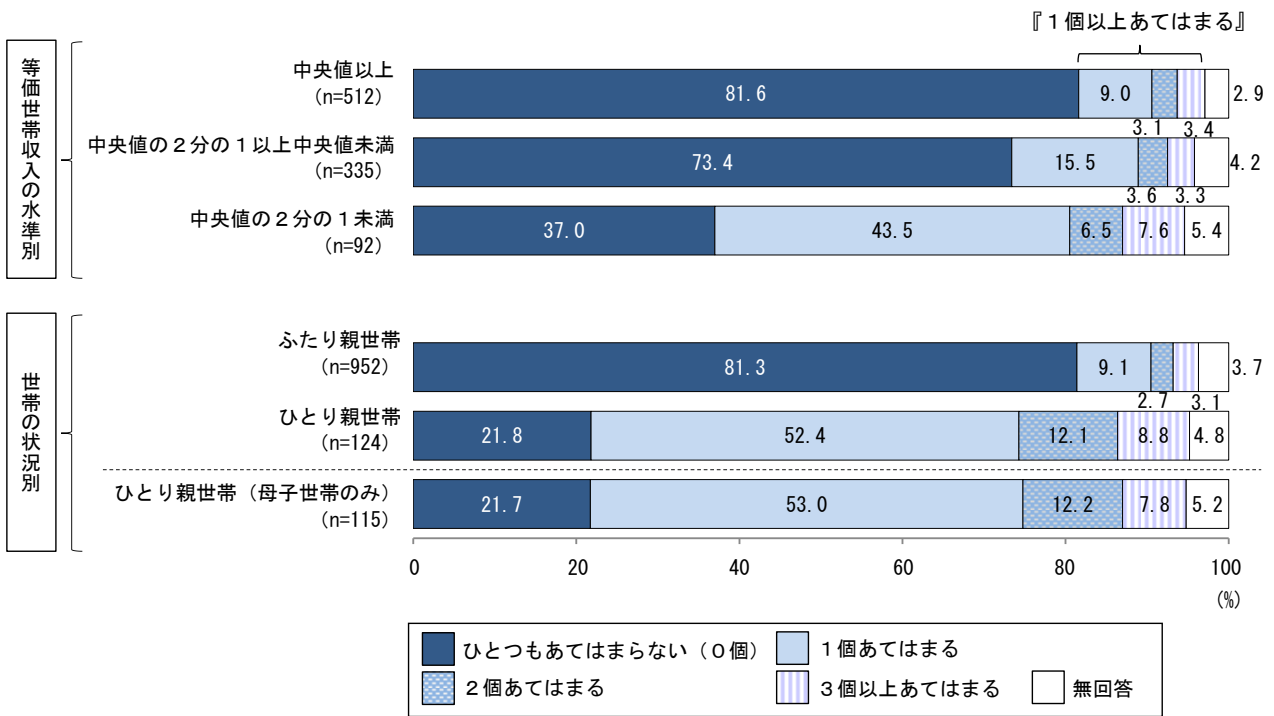


等価世帯収入の水準別にみると、『1個以上あてはまる（「1～2個あてはまる」と「3個以上あてはまる」を合わせた割合）』は、「中央値以上」では14.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では21.7%、「中央値の2分の1未満」では39.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『1個以上あてはまる』は、「ふたり親世帯」では13.5%、「ひとり親世帯全体」では66.0%、「母子世帯のみ」では65.5%となっている。

※ 「e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある」の項目があり、特にこの点についてひとり親世帯全体では該当する者の割合が高くなっていると考えられる。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

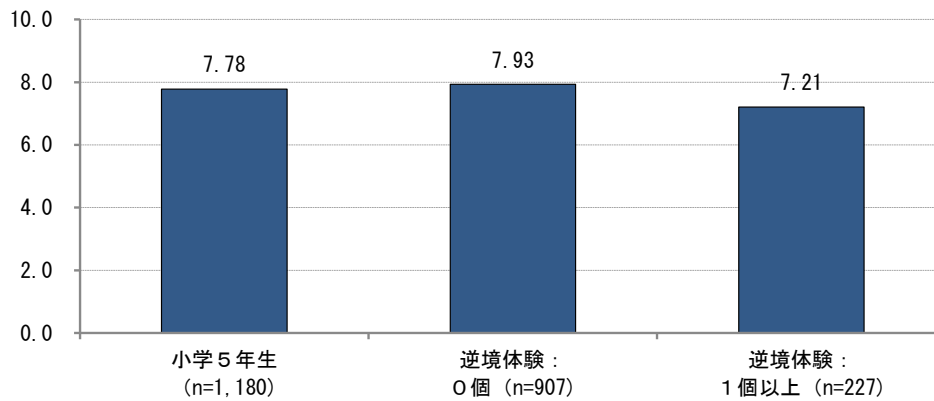


等価世帯収入の水準別にみると、『1個以上あてはまる』は、「中央値以上」では15.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では22.4%、「中央値の2分の1未満」では57.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『1個以上あてはまる』は、「ふたり親世帯」では14.9%、「ひとり親世帯全体」では73.3%、「母子世帯のみ」では73.0%となっている。

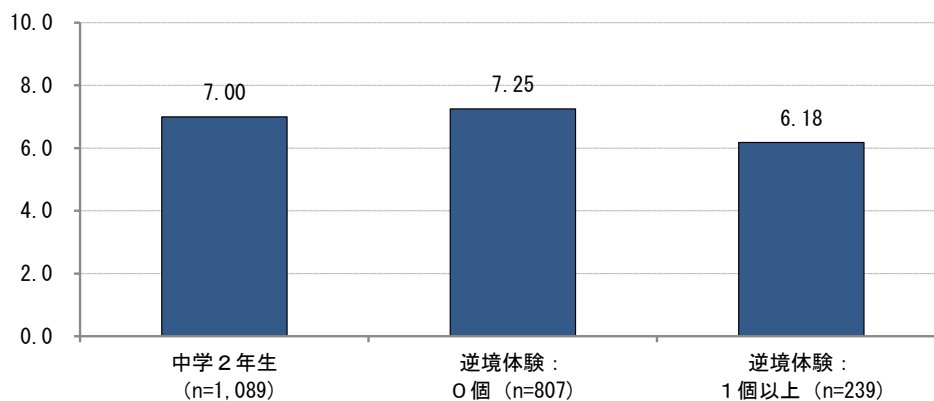
※「e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある」の項目があり、特にこの点についてひとり親世帯全体では該当する者の割合が高くなっていると考えられる。

【逆境体験の有無別 生活の満足度_小学5年生】



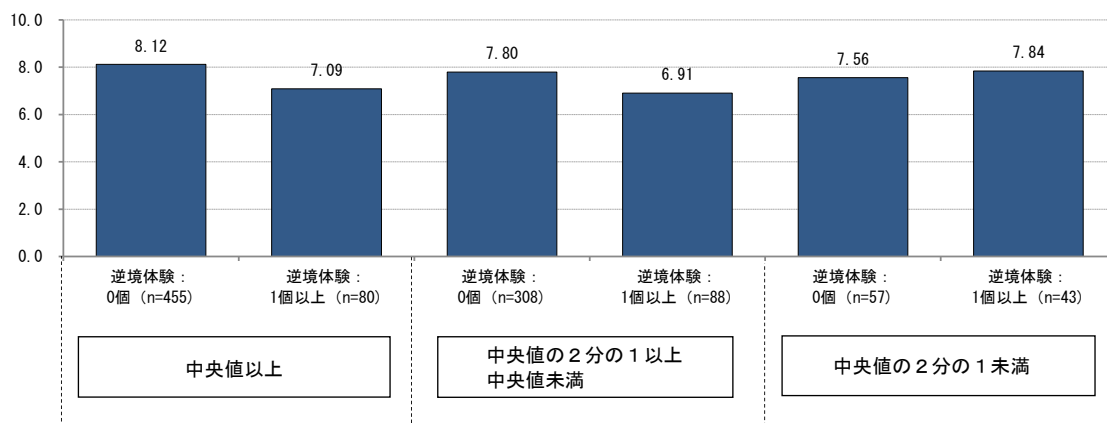
逆境体験の有無別にみると, 子どもの生活の満足度の平均値は, 「ひとつもあてはまらない(0個)」(7.93) が『1個以上あてはまる』(7.21) を 0.72 点上回っている。

【逆境体験の有無別 生活の満足度_中学2年生】

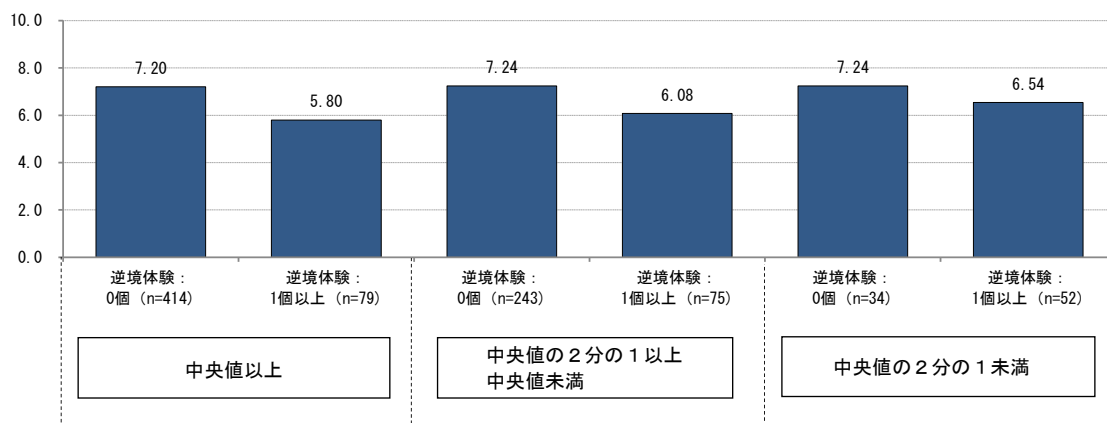


逆境体験の有無別にみると, 子どもの生活の満足度の平均値は, 「ひとつもあてはまらない(0個)」(7.25) が『1個以上あてはまる』(6.18) を 1.07 点上回っている。

【逆境体験の有無別×世帯収入の水準別 生活の満足度_小学5年生】



【逆境体験の有無別×等価世帯収入の水準別 生活の満足度_中学2年生】



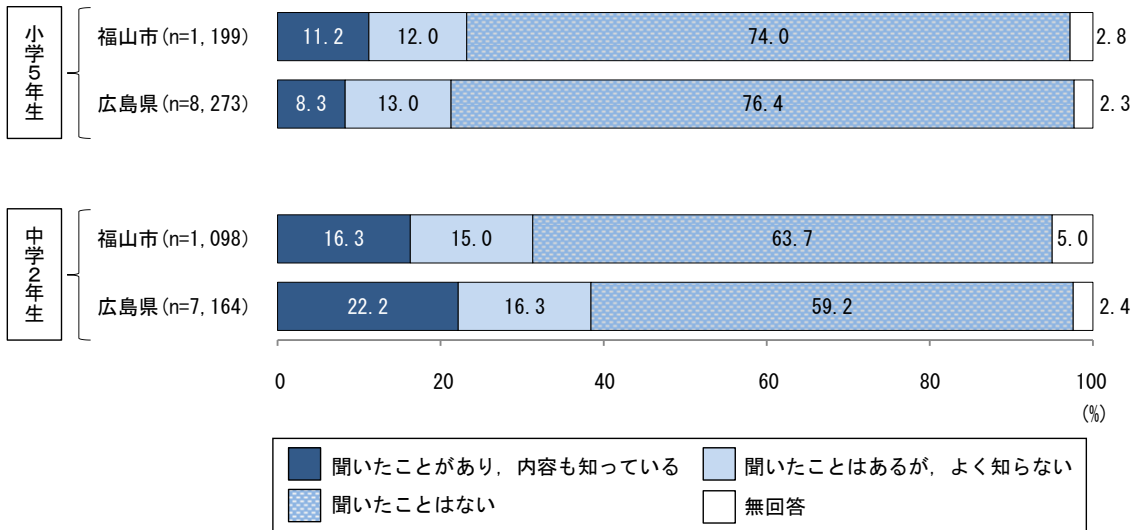
等価世帯収入の水準で分類した上で、逆境体験の有無別に子どもの生活満足度をみると、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっている場合が多い。

(7) ヤングケアラーの実態

子ども票問 21. あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(SA)

※ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利が守られていないと思われる18歳未満の子どもをいいます。

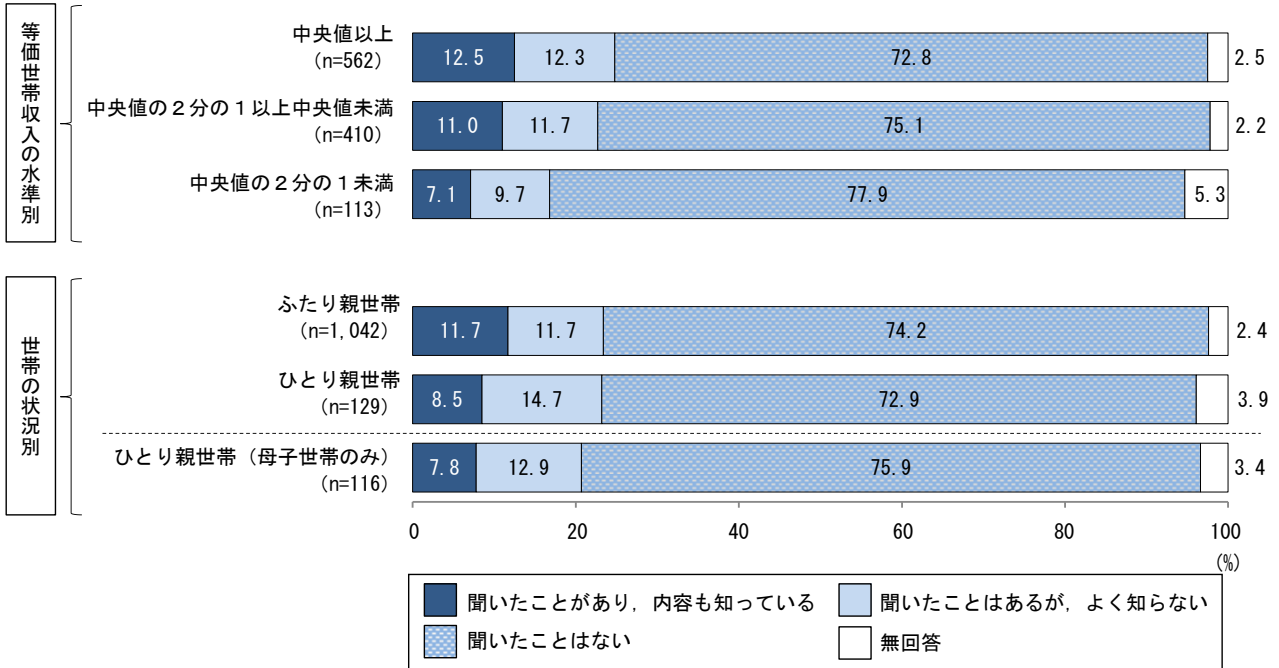
【全体】



ヤングケアラーの言葉の認知について、小学5年生では、「聞いたことがあります、内容も知っている」が11.2%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が12.0%、「聞いたことはない」が74.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「聞いたことがあります、内容も知っている」が16.3%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が15.0%、「聞いたことはない」が63.7%となっている。広島県と比較すると、「聞いたことがあります、内容も知っている」は、福山市(16.3%)が広島県(22.2%)を5.9ポイント下回っている。

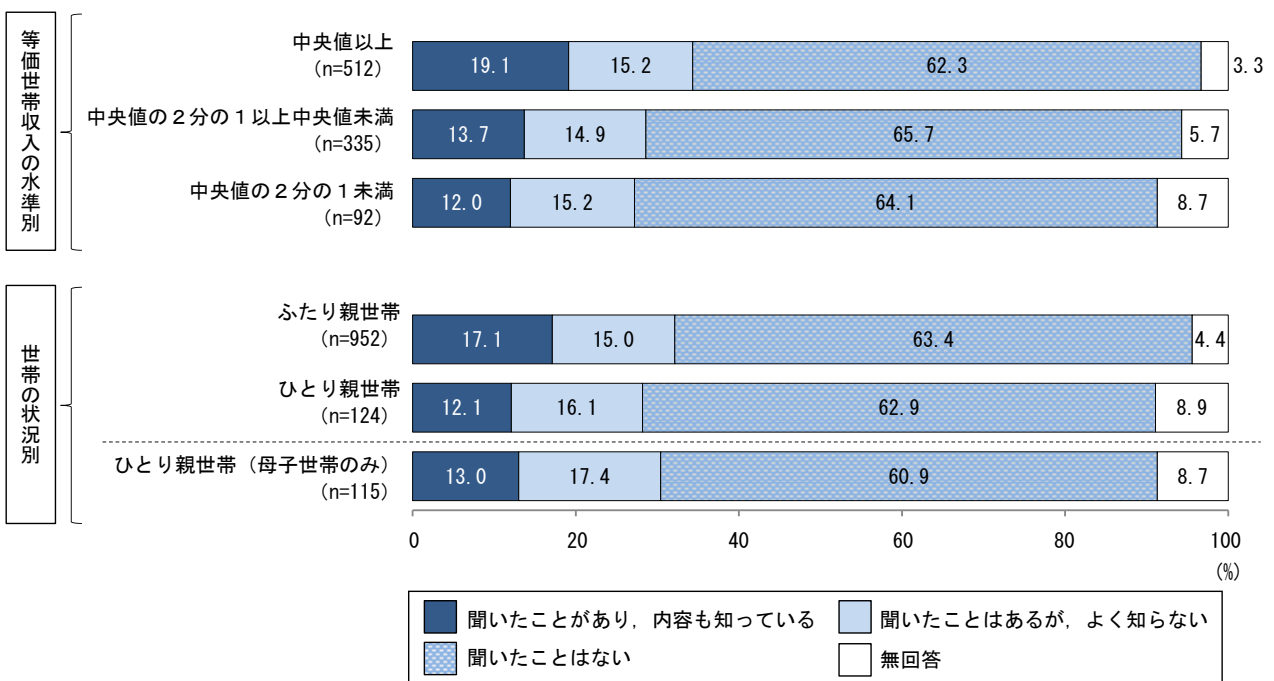
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「聞いたことはない」は、「中央値以上」では72.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では75.1%、「中央値の2分の1未満」では77.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「聞いたことはない」は、「ふたり親世帯」では74.2%、「ひとり親世帯全体」では72.9%、「母子世帯のみ」では75.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

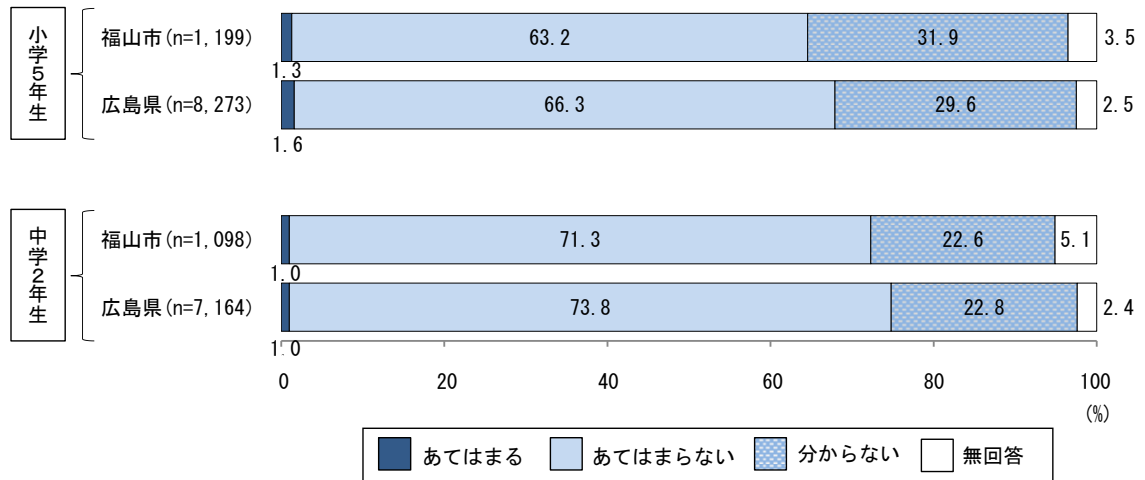


等価世帯収入の水準別にみると、「聞いたことはない」は、「中央値以上」では62.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では65.7%、「中央値の2分の1未満」では64.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「聞いたことはない」は、「ふたり親世帯」では63.4%、「ひとり親世帯全体」では62.9%、「母子世帯のみ」では60.9%となっている。

子ども票問 22. あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。(SA)

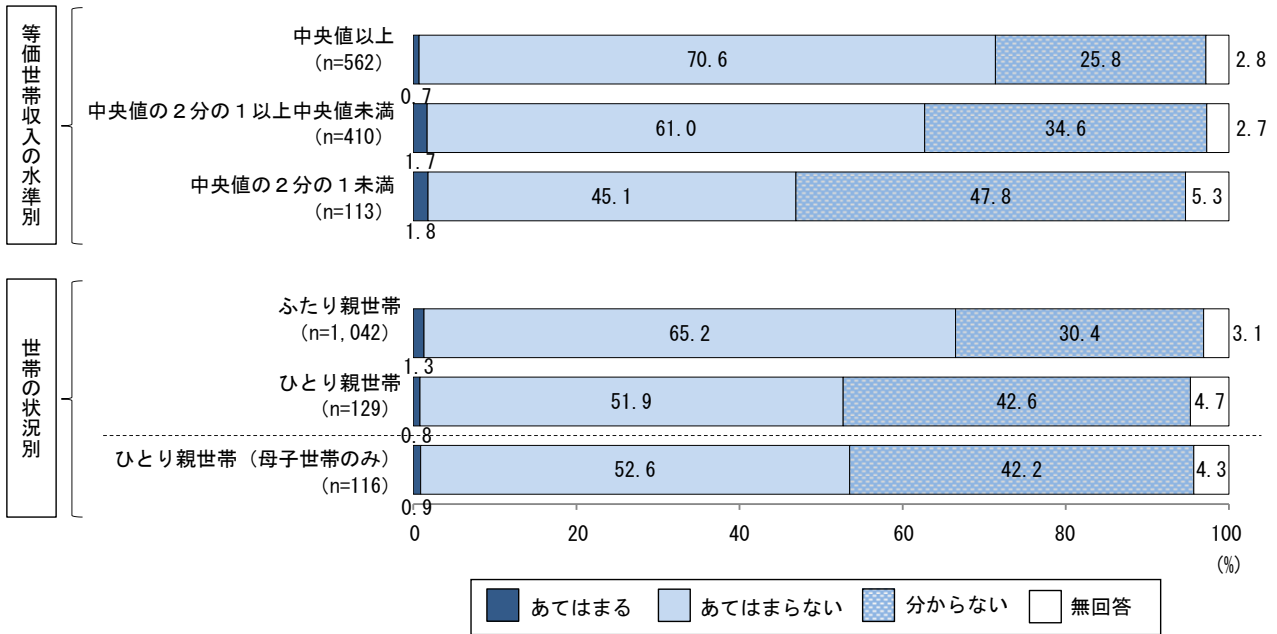
【全体】



ヤングケアラーにあてはまると思うかについて、小学5年生では、「あてはまる」が1.3%、「あてはまらない」が63.2%、「分からない」が31.9%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「あてはまる」が1.0%、「あてはまらない」が71.3%、「分からない」が22.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

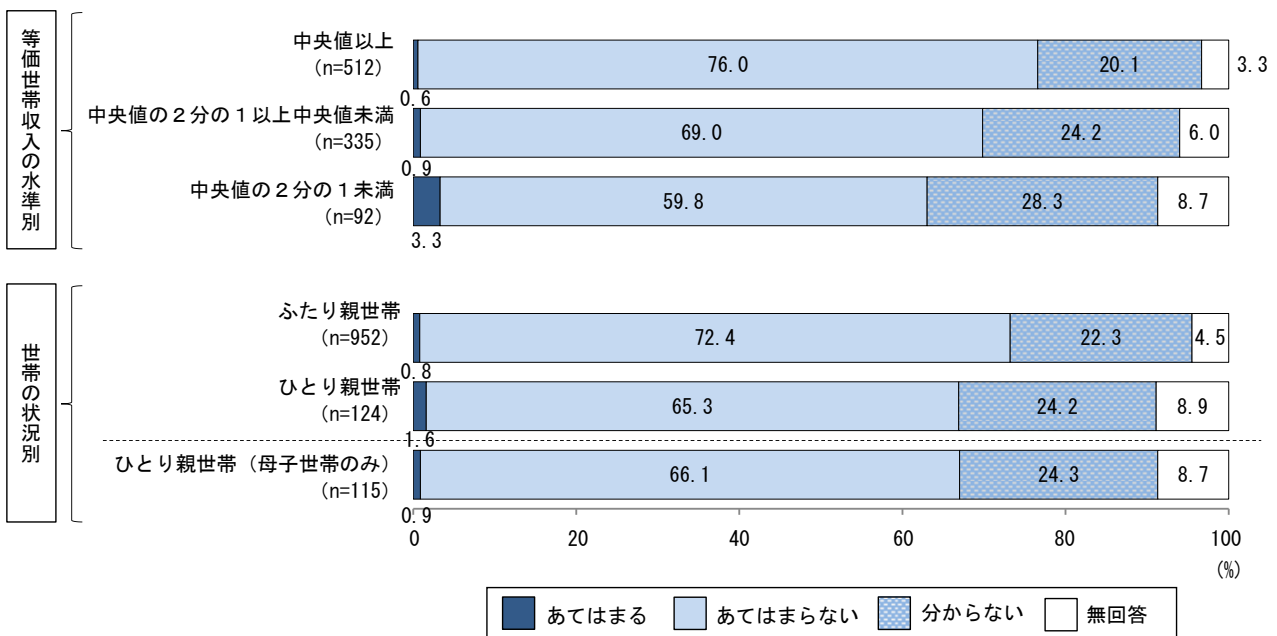
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あてはまる」は、「中央値以上」では0.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では1.7%、「中央値の2分の1未満」では1.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「あてはまる」は、「ふたり親世帯」では1.3%、「ひとり親世帯全体」では0.8%、「母子世帯のみ」では0.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

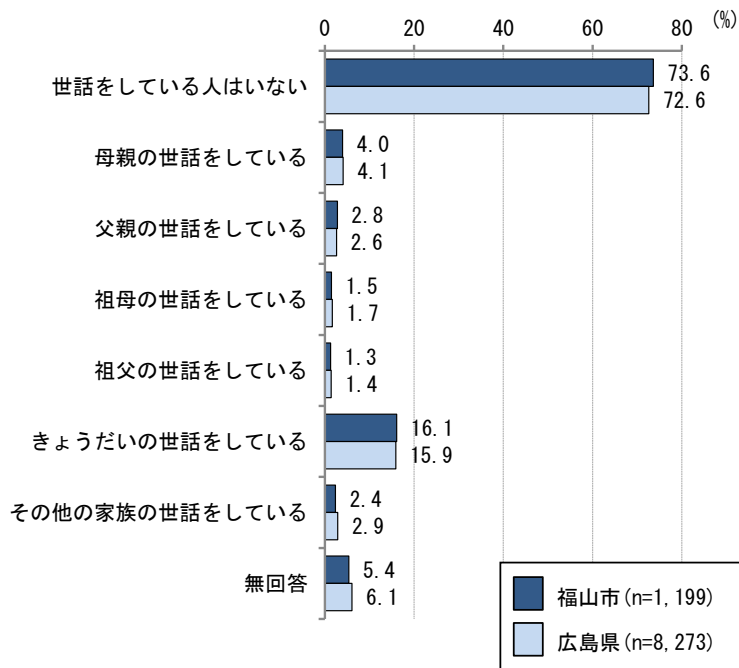


等価世帯収入の水準別にみると、「あてはまる」は、「中央値以上」では0.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では0.9%、「中央値の2分の1未満」では3.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「あてはまる」は、「ふたり親世帯」では0.8%、「ひとり親世帯全体」では1.6%、「母子世帯のみ」では0.9%となっている。

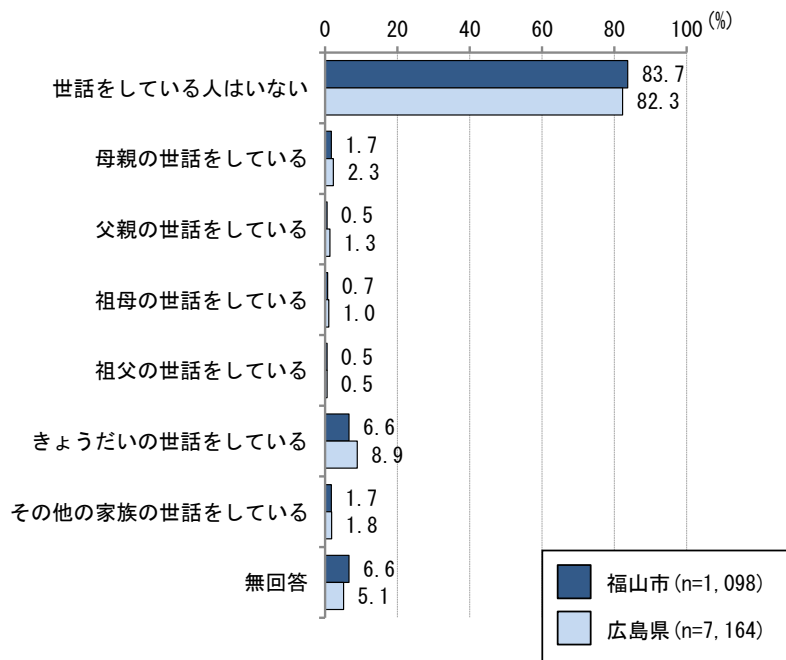
子ども票問 23. 家族の中にあなたが世話(※)をしている人はいますか。(MA)
 ※この質問でいう「世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話のことを指します。

【小学5年生】



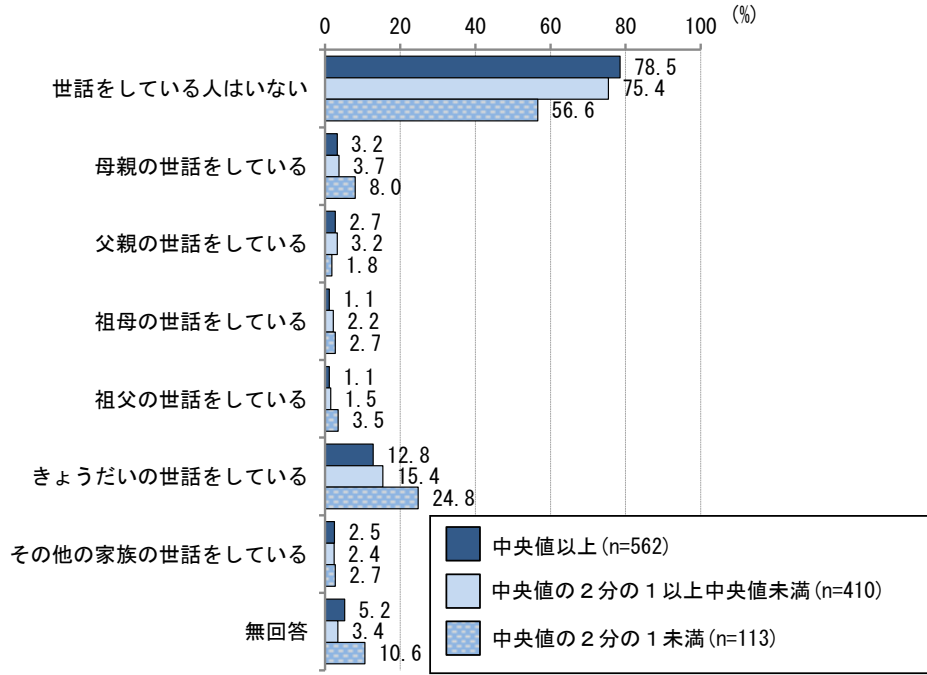
家族の世話について、小学5年生では、「世話をしている人はいない」が73.6%と最も高く、次いで「きょうだいの世話をしている」が16.1%、「母親の世話をしている」が4.0%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生】



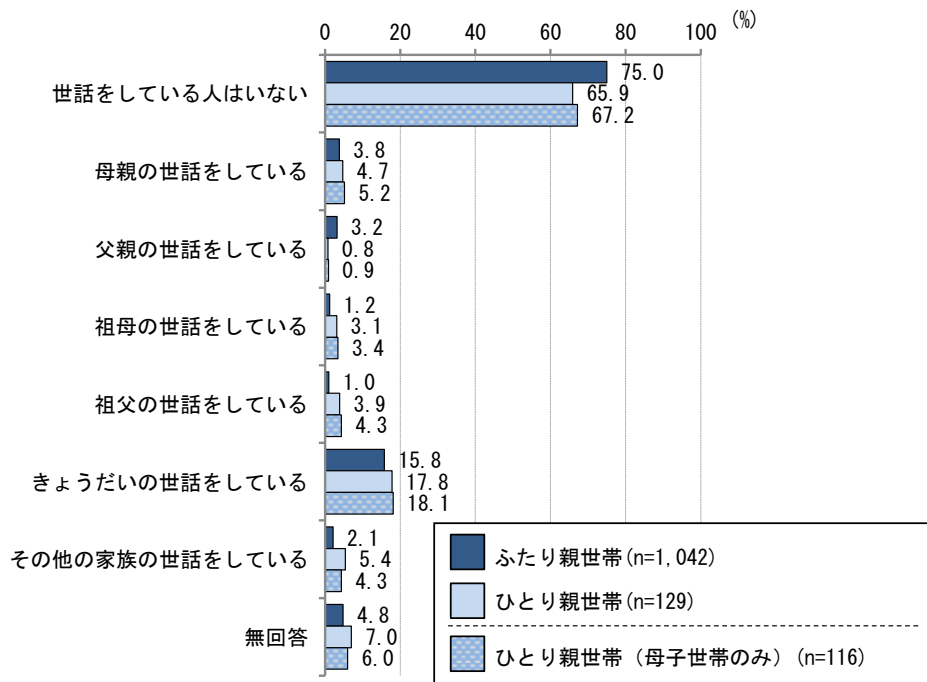
家族の世話について、中学2年生では、「世話をしている人はいない」が83.7%と最も高く、次いで「きょうだいの世話をしている」が6.6%、「母親の世話をしている」、「その他の家族の世話をしている」がともに1.7%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



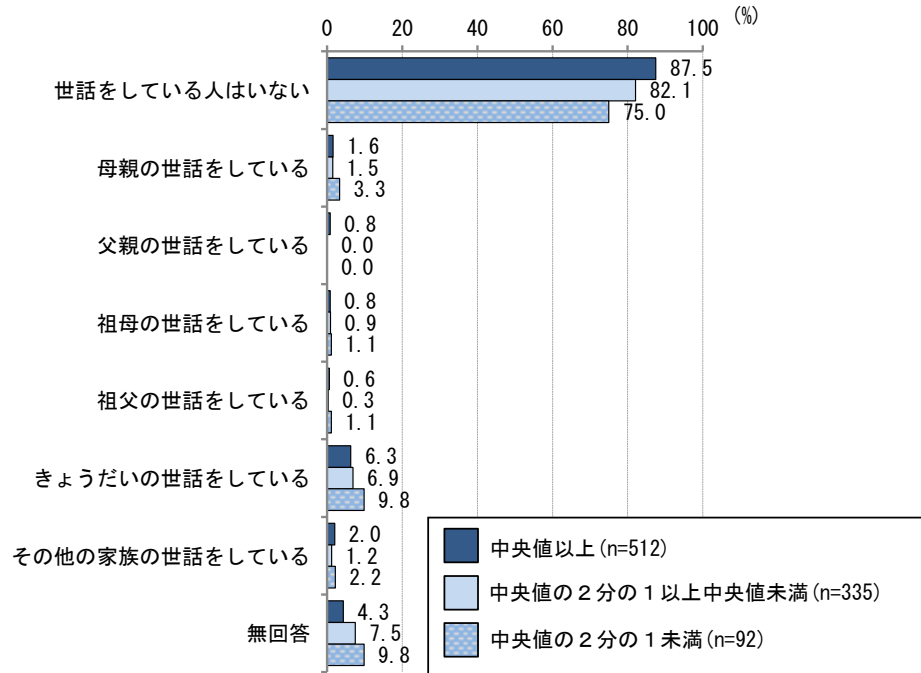
等価世帯収入の水準別にみると、「世話をしている人はいない」は、「中央値以上」では78.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では75.4%、「中央値の2分の1未満」では56.6%となっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



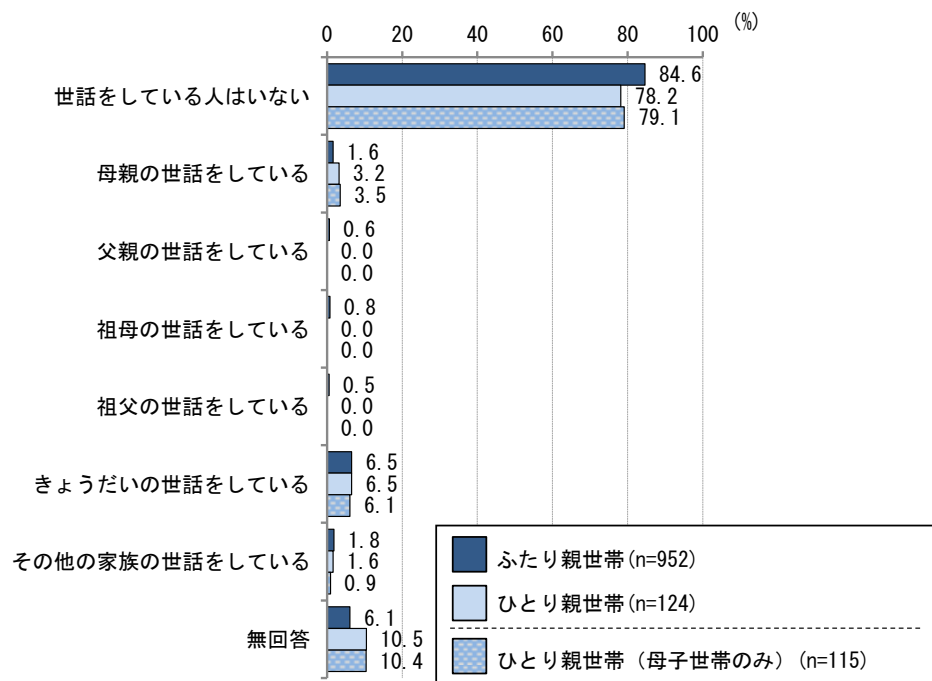
世帯の状況別にみると、「世話をしている人はいない」は、「ふたり親世帯」では75.0%、「ひとり親世帯全体」では65.9%、「母子世帯のみ」では67.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「世話をしている人はいない」は、「中央値以上」では87.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では82.1%、「中央値の2分の1未満」では75.0%となっている。

【世帯の状況別_中学2年生】

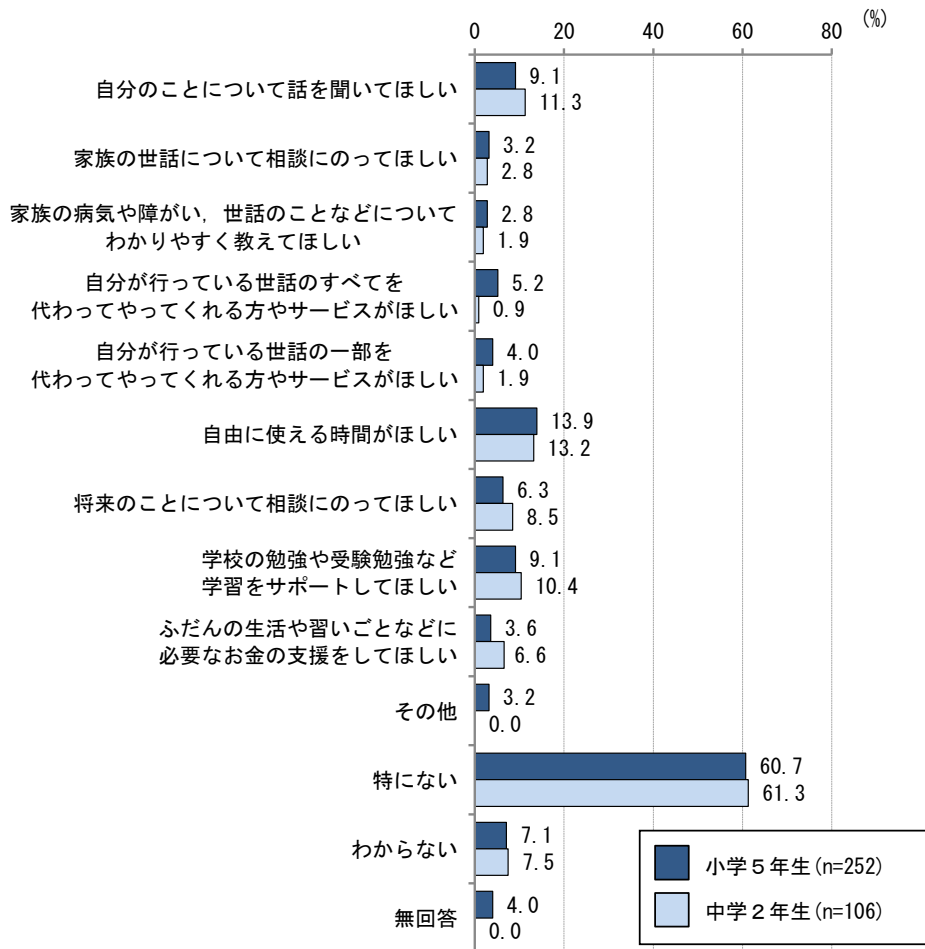


世帯の状況別にみると、「世話をしている人はいない」は、「ふたり親世帯」では84.6%、「ひとり親世帯全体」では78.2%、「母子世帯のみ」では79.1%となっている。

※問 23 で「2～7 世話をしている人」を答えた方に

子ども票問 24. 学校や周りの大人に助けてほしいことや、手伝ってほしいことはありますか。(MA)

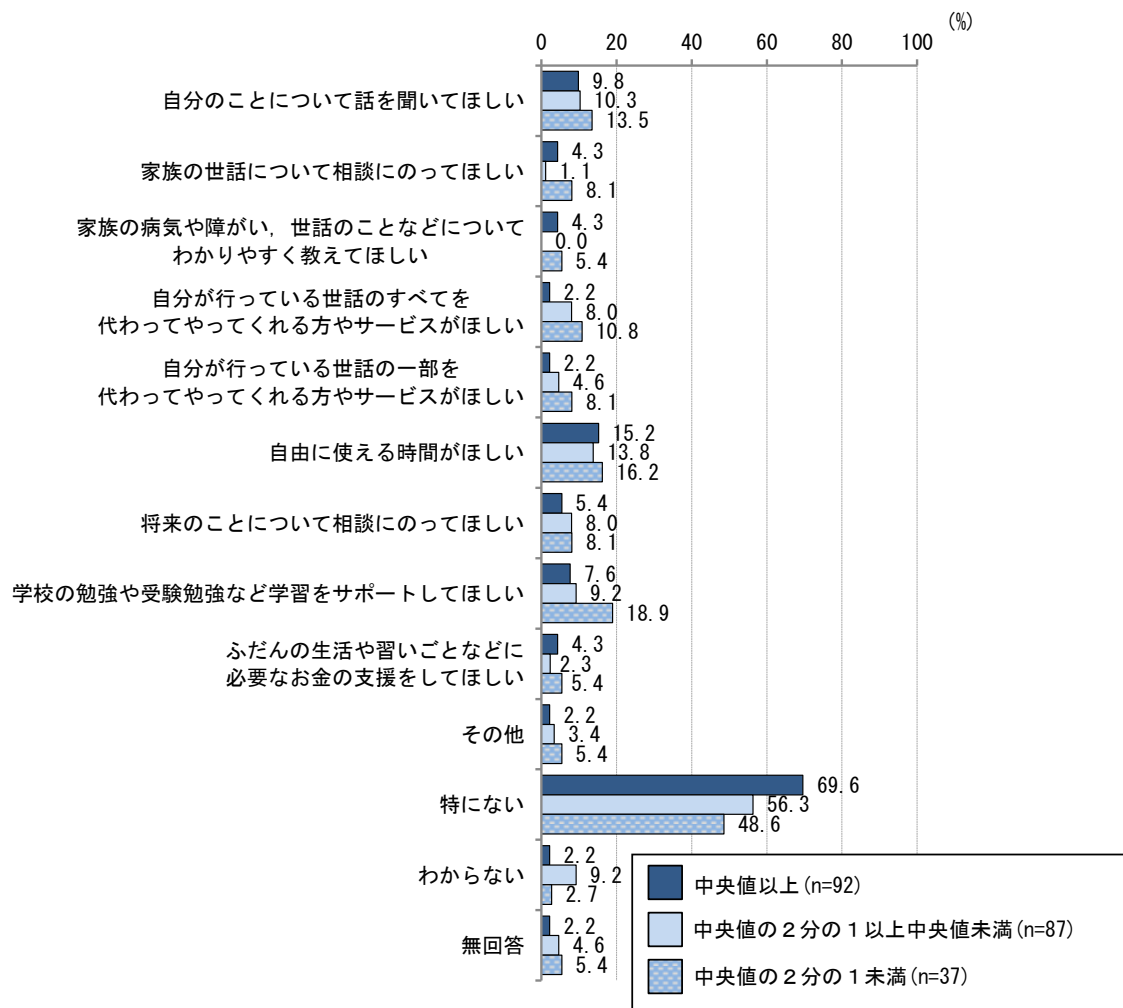
【全体】



学校や周りの人に助けて欲しいことや手伝ってほしいことについて、小学5年生では、「自由に使える時間がほしい」が13.9%と高く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」、「学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい」がともに9.1%、「将来のことについて相談にのってほしい」が6.3%などの順となっている。また、「特にない」は60.7%となっている。

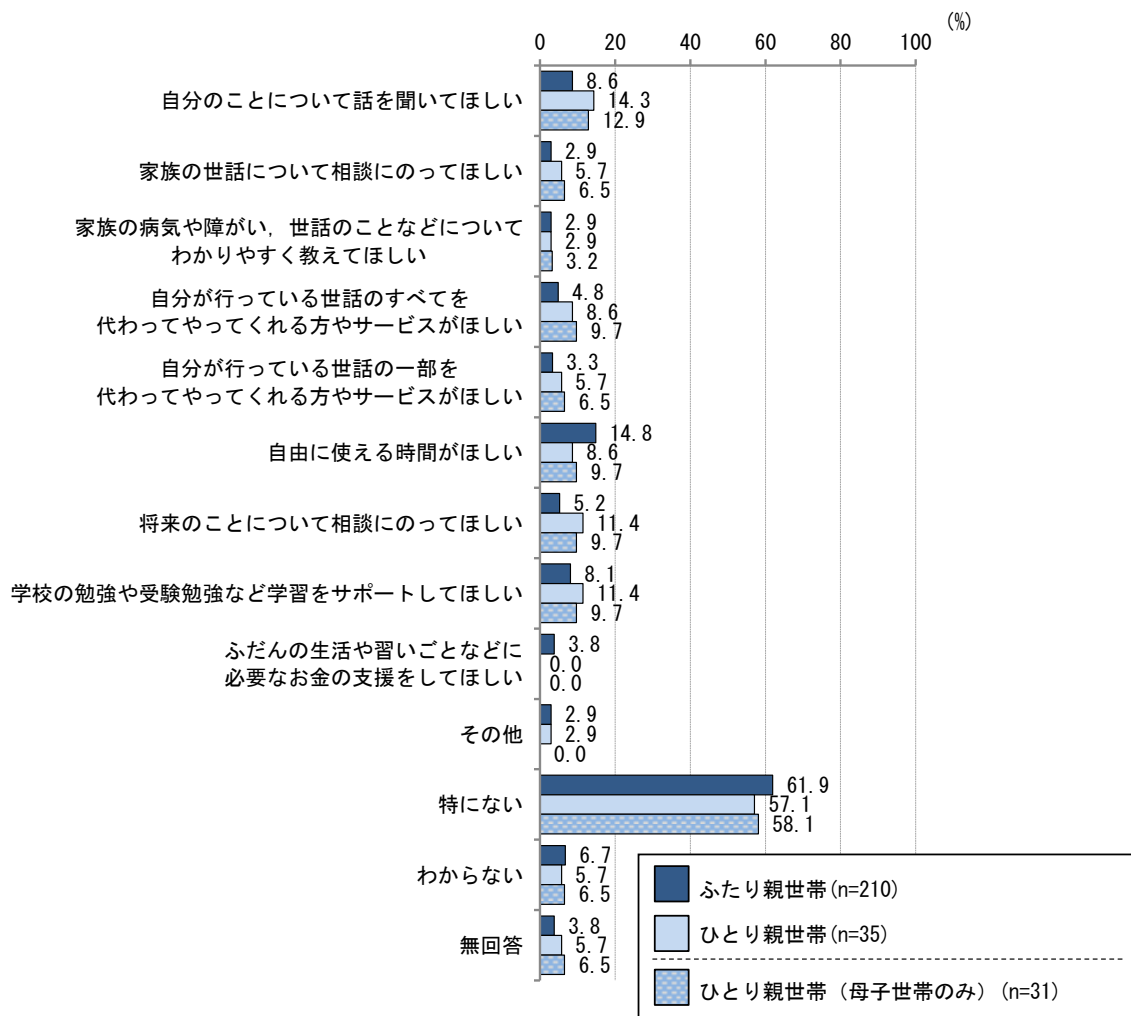
中学2年生では、「自由に使える時間がほしい」が13.2%と高く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」が11.3%、「学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい」が10.4%などの順となっている。また、「特にない」は61.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



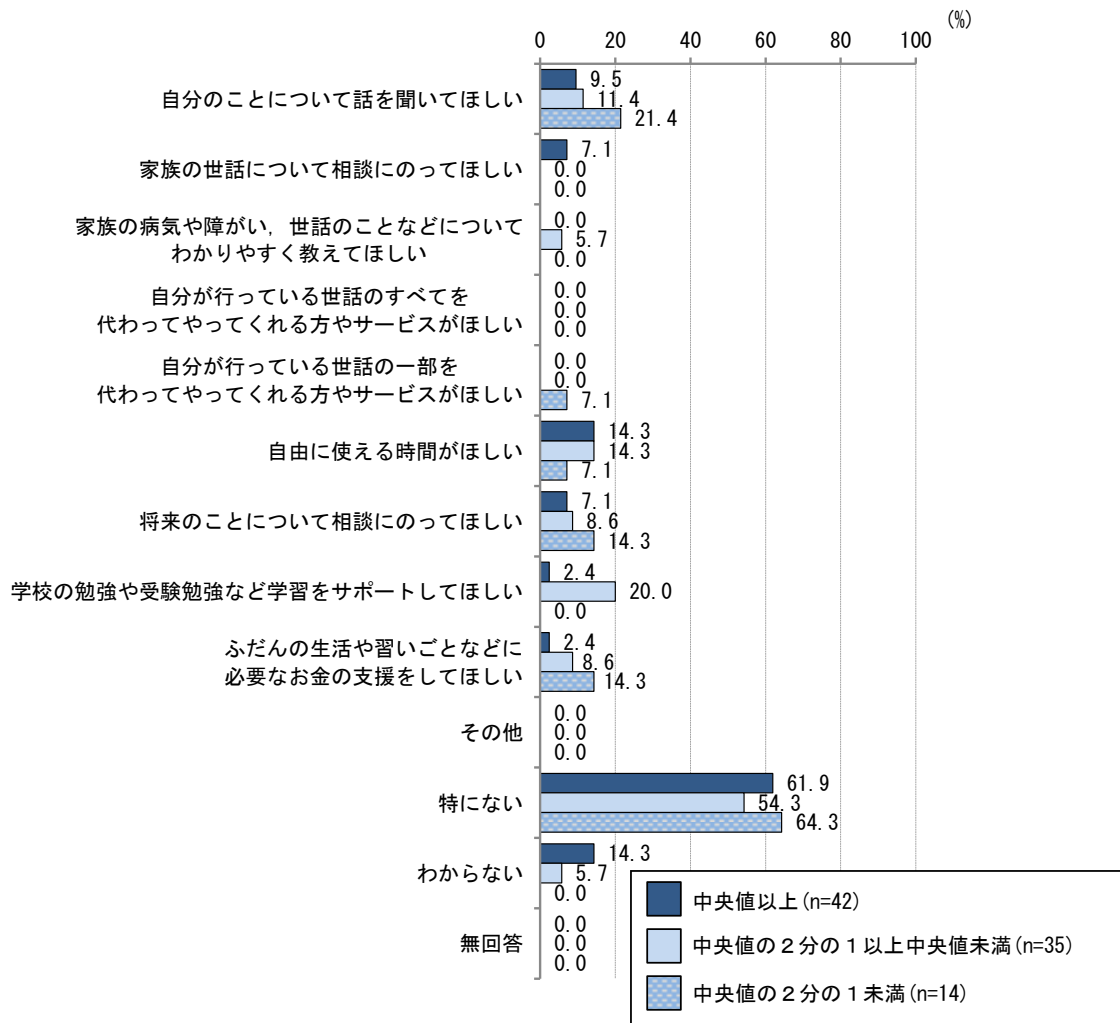
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家族の世話について相談にのってほしい」が8.1%、「自分が行っている世話のすべてを代わってやってくれる方やサービスがほしい」が10.8%、「自分が行っている世話の一部を代わってやってくれる方やサービスがほしい」が8.1%、「学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい」が18.9%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



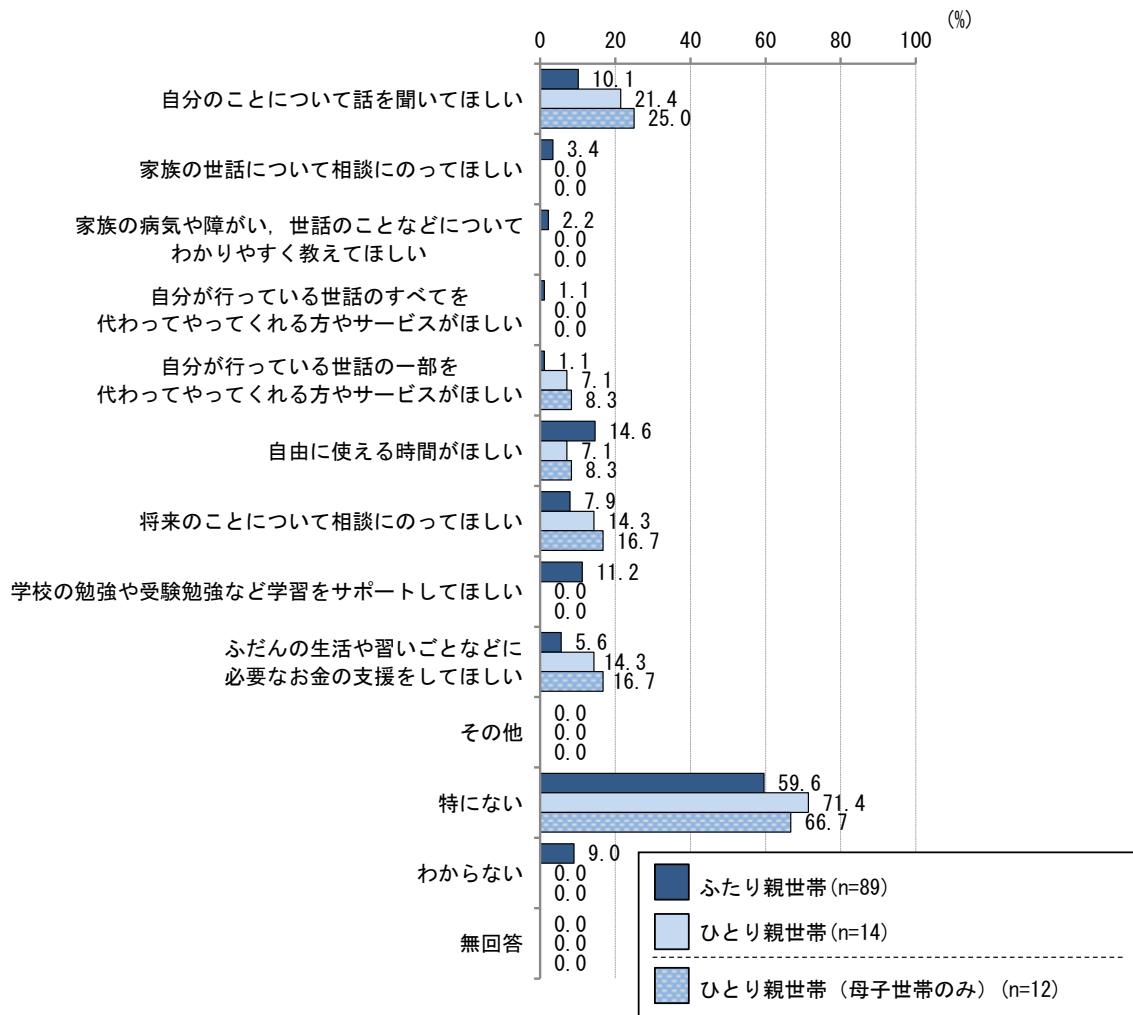
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「自分のことについて話を聞いてほしい」が14.3%、「将来のことについて相談にのってほしい」が11.4%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「自分のことについて話を聞いてほしい」が21.4%、「将来のことについて相談にのってほしい」が14.3%、「ふだんの生活や習いごとなどに必要なお金の支援をしてほしい」が14.3%と他の世帯と比べて高くなっている。

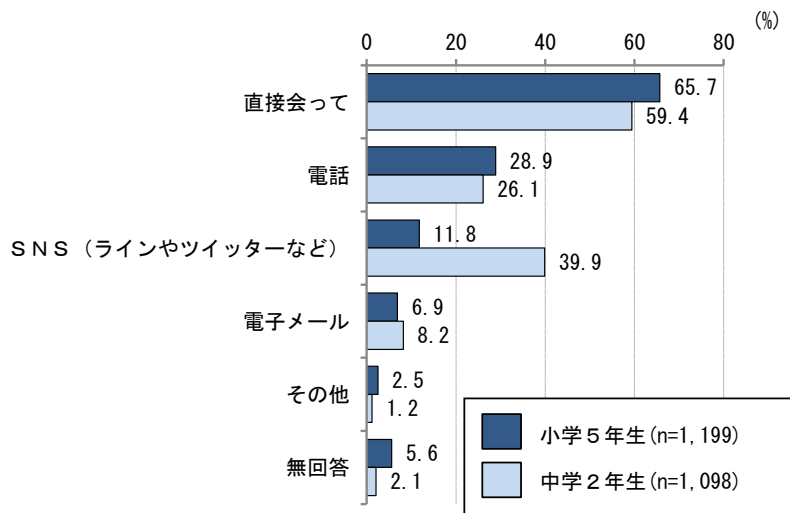
【世帯の状況別_中学2年生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「自分のことについて話を聞いてほしい」が21.4%、「自分が行っている世話の一部を代わってやってくれる方やサービスがほしい」が7.1%、「将来のことについて相談にのってほしい」が14.3%、「ふだんの生活や習いごとなどに必要なお金の支援をしてほしい」が14.3%と高くなっている。

子ども票問 25. もしもあなたが家族のお世話について、学校や周りの大人に話を聞いてもらったり、相談にのってもらおうとしたら、どのような方法が相談しやすいと思いますか。(MA)

【全体】



相談しやすい方法について、小学5年生では、「直接会って」が65.7%と最も高く、次いで「電話」が28.9%、「SNS (ラインやツイッターなど)」が11.8%などの順となっている。

中学2年生では、「直接会って」が59.4%と最も高く、次いで「SNS (ラインやツイッターなど)」が39.9%、「電話」が26.1%などの順となっている。

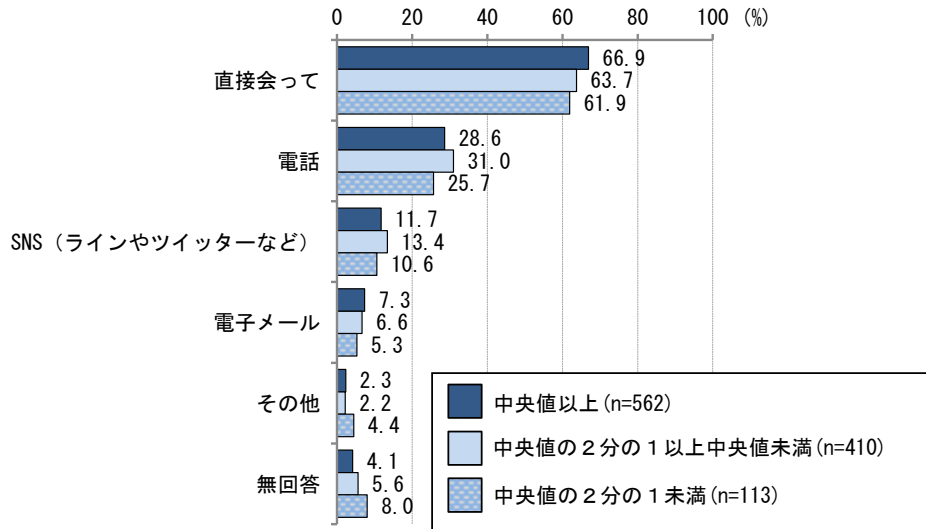
【その他の意見】

(件)

自由意見	意見数
手紙で相談したい	15
信頼できる人に相談したい	4
相談できる機会や窓口を作る	3
タブレット等で相談したい	1
どの様な方法でも相談できない	1
相談したくない・する必要はない	6

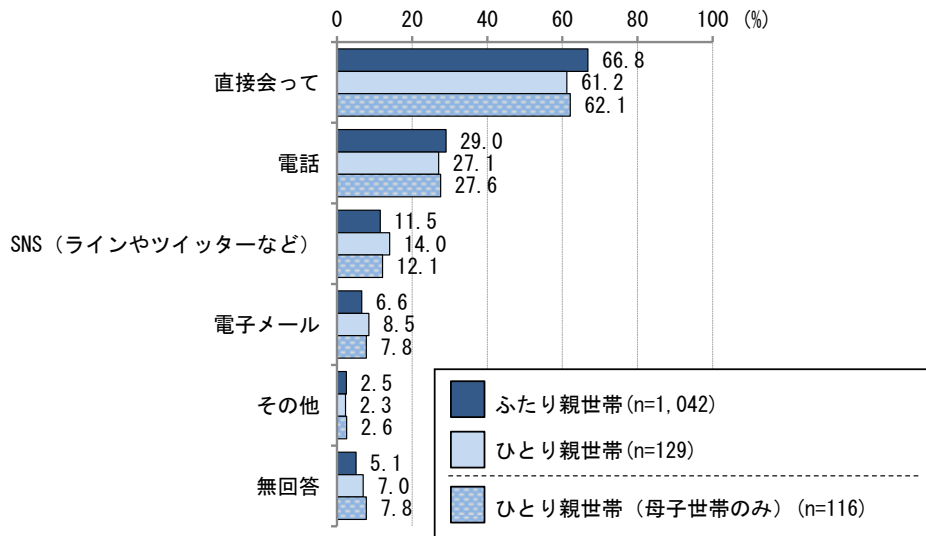
相談しやすい方法のその他の意見について、手紙で相談したいという意見が多数みられる。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



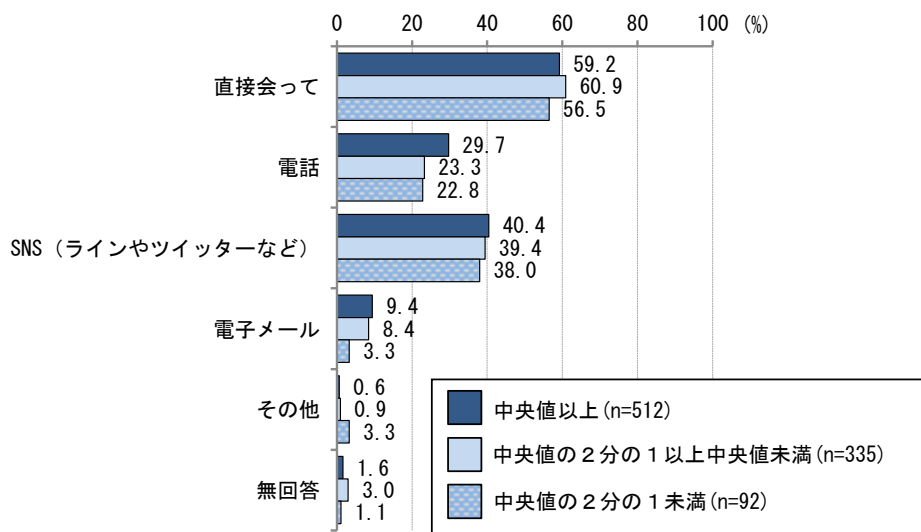
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「直接会って」が61.9%、「電話」が25.7%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



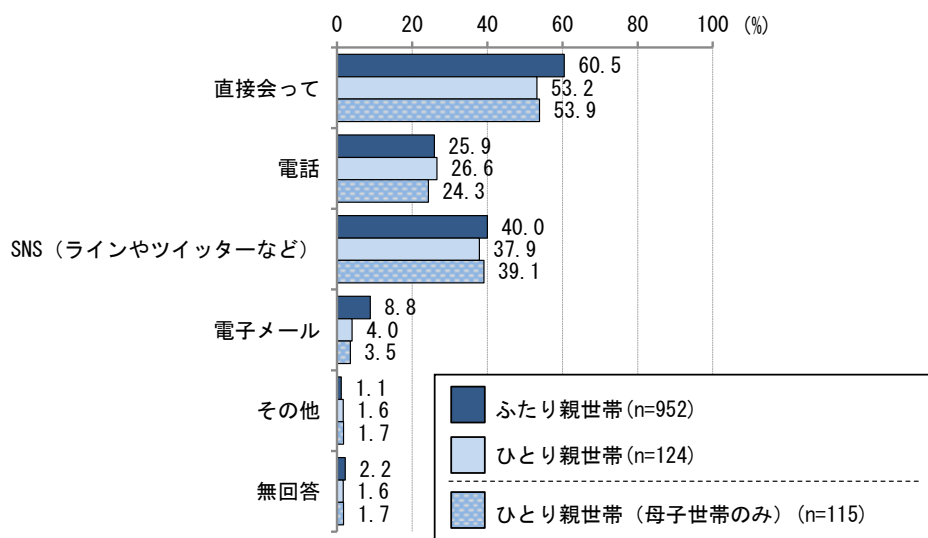
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「直接会って」が61.2%と低くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「電話」が22.8%、「電子メール」が3.3%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「直接会って」が53.2%と低くなっている。

3 新型コロナウイルス感染症の影響

(1) 保護者の状況

保護者票問 27. あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前（2019 年以前）と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）では、どのように変わりましたか。（SA）

保護者票問 28. あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）と現在を比べてどのように変わりましたか。（SA）

【小学5年生の保護者】

n=1,207

		問28			
		増えた	減った	変わらない	無回答
a)世帯全体の収入の変化					
問27	増えた	4.1	0.2	1.2	0.0
	減った	4.0	15.6	8.4	0.7
	変わらない	2.6	1.2	59.3	0.3
	無回答	0.1	0.0	0.0	2.3
b)生活に必要な支出の変化					
問27	増えた	41.5	1.5	7.5	0.5
	減った	1.7	2.7	1.0	0.2
	変わらない	5.5	0.2	35.0	0.2
	無回答	0.1	0.0	0.2	2.2
c)お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと					
問27	増えた	10.3	0.7	2.9	0.3
	減った	0.2	0.9	0.4	0.0
	変わらない	1.3	0.2	79.0	0.7
	無回答	0.0	0.0	0.2	2.9
d)お子さんと話をすること					
問27	増えた	12.3	0.4	7.1	0.2
	減った	0.2	2.4	0.7	0.0
	変わらない	1.7	0.9	71.0	0.6
	無回答	0.1	0.0	0.0	2.3

n=1,207

		問28			
		増えた	減った	変わらない	無回答
e)家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること					
問27	増えた	9.7	2.2	4.6	0.2
	減った	0.5	1.4	1.1	0.1
	変わらない	0.9	0.9	75.1	0.6
	無回答	0.0	0.1	0.0	2.6
		問28			
		増えた	減った	変わらない	無回答
f)あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと					
問27	増えた	22.5	4.9	9.4	0.2
	減った	0.3	0.7	0.7	0.1
	変わらない	0.9	0.5	56.9	0.3
	無回答	0.1	0.0	0.1	2.4

新型コロナウイルス感染症による変化について、小学5年生の保護者では、「生活に必要な支出の変化」で「増えた」が高くなっている。それ以外の項目では「変わらない」が最も高くなっている。

【中学2年生の保護者】

n=1,102

		問28			
		増えた	減った	変わらない	無回答
a)世帯全体の収入の変化					
問27	増えた	5.1	0.2	0.8	0.1
	減った	2.5	15.2	6.3	0.4
	変わらない	2.3	2.2	58.2	0.5
	無回答	0.0	0.0	0.0	6.5
b)生活に必要な支出の変化					
問27	増えた	41.4	0.8	7.8	0.5
	減った	1.8	1.0	1.5	0.2
	変わらない	5.1	0.4	32.8	0.1
	無回答	0.1	0.0	0.0	6.6
c)お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと					
問27	増えた	11.5	0.3	2.4	0.2
	減った	0.1	0.5	0.7	0.0
	変わらない	1.6	0.3	74.6	0.6
	無回答	0.0	0.0	0.1	7.1
d)お子さんと話をすること					
問27	増えた	9.6	0.6	4.4	0.2
	減った	0.5	3.7	1.4	0.0
	変わらない	1.5	0.5	70.3	0.4
	無回答	0.0	0.0	0.0	6.8

n=1,102

		問28			
		増えた	減った	変わらない	無回答
e)家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること					
問27	増えた	8.0	1.2	2.5	0.0
	減った	0.3	2.3	0.9	0.0
	変わらない	1.8	1.2	74.5	0.5
	無回答	0.0	0.0	0.0	6.9
		問28			
		増えた	減った	変わらない	無回答
f)あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと					
問27	増えた	21.2	3.9	7.7	0.3
	減った	0.5	1.5	0.7	0.0
	変わらない	1.3	0.9	54.8	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.1	6.8

中学2年生の保護者では、「生活に必要な支出の変化」で「増えた」が高くなっている。それ以外の項目では「変わらない」が最も高くなっている。

(2) 子どもの状況

子ども票問 16. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。(SA)

子ども票問 17. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。(SA)

【小学5年生】

n=1,199

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
a) 学校の授業以外で勉強する時間					
問16	増えた	16.1	2.3	5.1	0.3
	減った	4.9	4.4	3.8	0.1
	変わらない	7.8	3.5	48.5	0.3
	無回答	0.1	0.0	0.0	2.8
b) 学校の授業がわからないと感じること					
問16	増えた	11.8	4.1	3.7	0.3
	減った	1.9	11.8	4.5	0.1
	変わらない	2.7	6.3	49.5	0.4
	無回答	0.1	0.1	0.2	2.7
c) 地域のクラブ活動や学校のクラブ活動で活動する回数					
問16	増えた	10.7	1.0	3.3	0.3
	減った	17.3	9.5	6.0	0.3
	変わらない	3.8	2.3	41.5	0.6
	無回答	0.2	0.0	0.3	3.1
d) 食事を抜く回数					
問16	増えた	1.7	0.7	1.8	0.2
	減った	0.3	4.4	1.9	0.2
	変わらない	1.3	2.7	80.8	0.5
	無回答	0.0	0.2	0.3	3.0

n=1,199

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
e) 夜遅くまで起きている回数					
問16	増えた	17.3	2.3	6.0	0.6
	減った	0.8	6.1	3.0	0.3
	変わらない	3.0	1.8	55.5	0.3
	無回答	0.1	0.0	0.1	2.8
f) 親以外の大人や友達と話をすること					
問16	増えた	22.1	2.1	6.0	0.6
	減った	13.0	3.8	4.8	0.3
	変わらない	8.5	1.8	33.3	0.3
	無回答	0.4	0.2	0.1	2.9
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること					
問16	増えた	15.8	2.0	2.7	0.4
	減った	25.5	9.4	5.1	0.2
	変わらない	5.4	2.0	27.9	0.3
	無回答	0.3	0.0	0.4	2.8
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと					
問16	増えた	14.2	6.1	4.1	0.1
	減った	1.2	11.2	4.4	0.5
	変わらない	2.8	4.8	47.4	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.0	2.9
i) 家族で外食する回数					
問16	増えた	10.4	1.5	1.8	0.2
	減った	22.9	15.8	9.9	0.3
	変わらない	4.9	2.6	26.2	0.5
	無回答	0.0	0.0	0.1	2.8

n=1,199

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
j) 家族で旅行する回数					
問16	増えた	5.8	0.9	1.1	0.1
	減った	13.3	18.5	15.8	0.4
	変わらない	2.9	2.7	34.8	0.3
	無回答	0.0	0.2	0.1	3.0
k) 野外レジャーに行く回数 (キャンプ, バーベキュー, スポーツ観戦, 海水浴など)					
問16	増えた	6.8	1.2	1.6	0.1
	減った	11.2	16.1	13.5	0.3
	変わらない	3.1	2.3	40.4	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.0	3.2
l) 屋内施設に行く回数 (映画, 水族館, 博物館, 美術館など)					
問16	増えた	9.0	1.3	2.1	0.2
	減った	15.8	14.8	10.8	0.3
	変わらない	3.6	2.3	36.1	0.4
	無回答	0.0	0.0	0.3	3.1
m) 家族で家で過ごす時間					
問16	増えた	29.0	10.5	16.9	0.4
	減った	1.1	3.3	0.8	0.0
	変わらない	3.3	1.1	30.7	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.1	2.7

新型コロナウイルス感染症による変化について、小学5年生では、「家族で外食する回数」、「家族で旅行する回数」が感染拡大により「減った」が高くなっている。一方で、「家族で家で過ごす時間」は「増えた」が高くなっている。

【中学2年生】

n=1,098

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
a) 学校の授業以外で勉強する時間					
問16	増えた	17.5	2.1	6.1	0.3
	減った	2.8	5.4	4.2	0.0
	変わらない	8.0	2.6	46.4	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.2	4.2
b) 学校の授業がわからないと感じること					
問16	増えた	22.6	4.6	7.3	0.3
	減った	1.3	5.2	2.5	0.1
	変わらない	2.6	3.3	45.8	0.2
	無回答	0.0	0.0	0.4	4.1
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数					
問16	増えた	17.4	0.9	3.8	0.2
	減った	13.5	10.9	7.9	0.2
	変わらない	5.3	2.6	32.4	0.2
	無回答	0.0	0.1	0.2	4.5
d) 食事を抜く回数					
問16	増えた	4.0	1.3	1.9	0.0
	減った	0.7	4.4	1.1	0.2
	変わらない	1.5	2.1	77.9	0.7
	無回答	0.0	0.0	0.1	4.2

n=1,098

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
e) 夜遅くまで起きている回数					
問16	増えた	31.7	2.5	9.5	0.2
	減った	0.8	2.8	1.0	0.1
	変わらない	3.7	0.5	42.6	0.4
	無回答	0.0	0.0	0.1	4.2
f) 親以外の大人や友達と話をすること					
問16	増えた	21.8	1.9	6.0	0.4
	減った	10.2	4.6	5.3	0.1
	変わらない	7.2	1.8	36.1	0.3
	無回答	0.1	0.0	0.1	4.2
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること					
問16	増えた	12.9	0.7	2.0	0.2
	減った	22.0	15.1	10.7	0.1
	変わらない	4.4	1.3	25.9	0.1
	無回答	0.3	0.0	0.2	4.2
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと					
問16	増えた	18.9	3.5	7.1	0.1
	減った	0.8	5.9	3.7	0.1
	変わらない	2.6	3.2	49.4	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.1	4.4
i) 家族で外食する回数					
問16	増えた	6.1	0.7	1.2	0.2
	減った	18.0	18.7	13.8	0.4
	変わらない	4.2	1.8	30.4	0.1
	無回答	0.0	0.0	0.1	4.3

n=1,098

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
j) 家族で旅行する回数					
問16	増えた	4.0	0.5	0.8	0.0
	減った	9.8	21.7	19.8	0.4
	変わらない	2.2	1.9	34.2	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.2	4.3
k) 野外レジャーに行く回数 (キャンプ, パーベキュー, スポーツ観戦, 海水浴など)					
問16	増えた	4.7	0.5	1.5	0.0
	減った	8.0	17.2	16.4	0.3
	変わらない	2.8	2.0	41.6	0.1
	無回答	0.0	0.1	0.2	4.5
l) 屋内施設に行く回数 (映画, 水族館, 博物館, 美術館など)					
問16	増えた	10.6	1.3	2.4	0.0
	減った	11.7	15.8	10.9	0.2
	変わらない	4.0	1.5	36.9	0.2
	無回答	0.0	0.0	0.3	4.5
m) 家族で家で過ごす時間					
問16	増えた	26.1	9.0	18.4	0.1
	減った	1.0	5.2	1.5	0.0
	変わらない	2.4	1.0	30.6	0.2
	無回答	0.2	0.0	0.1	4.3

新型コロナウイルス感染症による変化について、中学2年生では、「家族で外食する回数」、「家族で旅行する回数」が感染拡大により「減った」が高くなっている。一方で、「家族で家で過ごす時間」は「増えた」が高くなっている。

新型コロナウイルス感染症の影響に関して、下記の定義でア～エに分類し、該当者と非該当者の生活満足度を比較した。

ア：問16で「減った」かつ問17で「減った」又は「変わらない」と回答した者

イ：問16で「変わらない」かつ問17で「減った」と回答した者

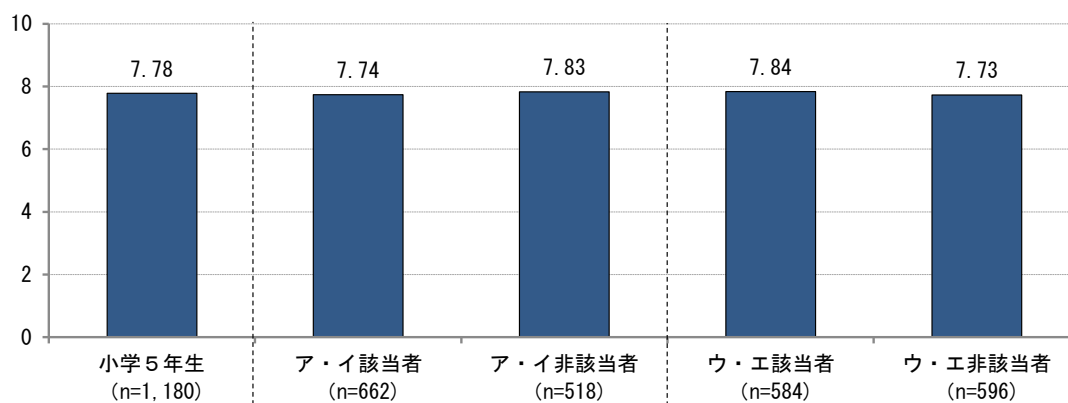
- i. 家族で外食する回数
- j. 家族で旅行する回数
- k. 野外レジャーに行く回数（キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など）
- l. 屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など）

ウ：問16で「増えた」かつ問17で「増えた」又は「変わらない」と回答した者

エ：問16で「変わらない」かつ問17で「増えた」と回答した者

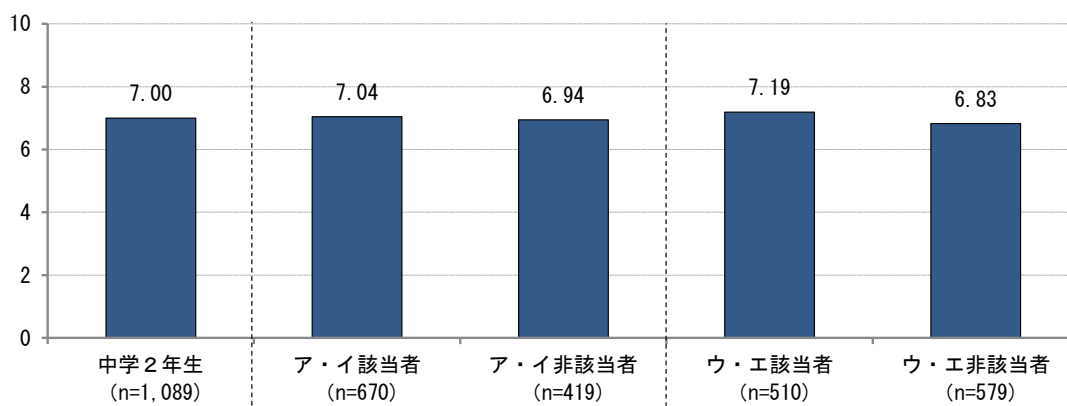
- m. 家族で家で過ごす時間

【新型コロナウイルス感染症の影響×生活満足度_小学5年生】



新型コロナウイルス感染症の影響での生活満足度についてみると、生活満足度の平均値は、「ア・イ該当者」(7.74)、「ウ・エ該当者」(7.84)となっている。

【新型コロナウイルス感染症の影響×生活満足度_中学2年生】



新型コロナウイルス感染症の影響での生活満足度についてみると、生活満足度の平均値は、「ア・イ該当者」(7.04)、「ウ・エ該当者」(7.19)となっている。

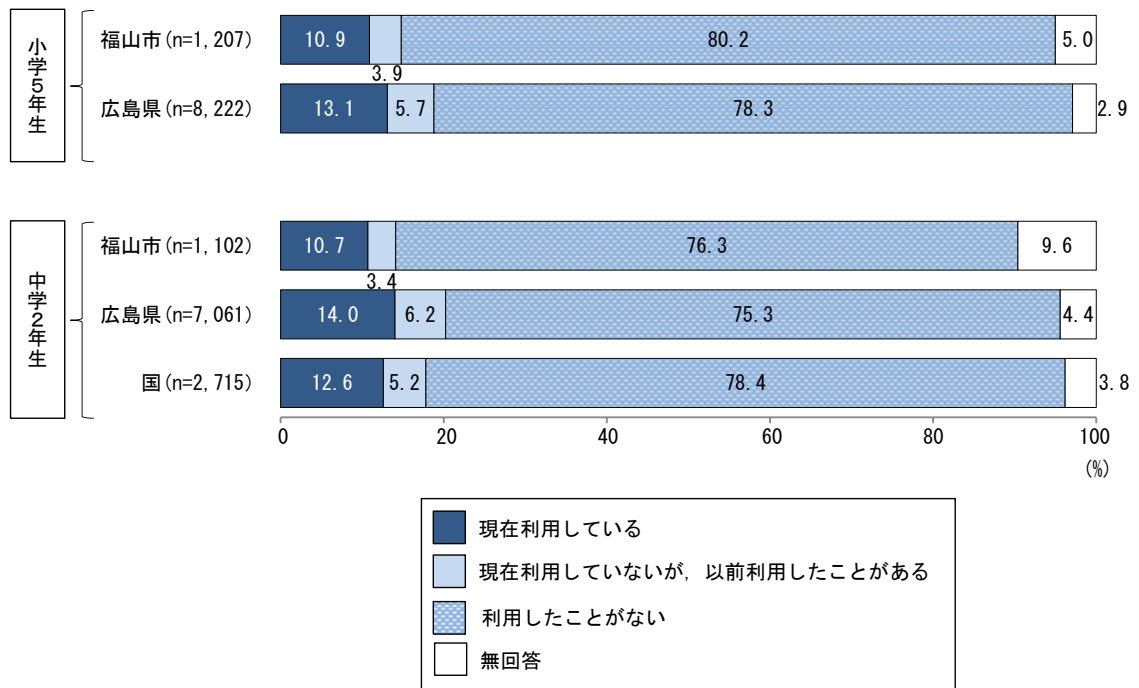
4 支援の利用状況や効果等

(1) 保護者の状況

保護者票問 29. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(SA)
また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(SA)

= a) 就学援助の利用状況 =

【全体】

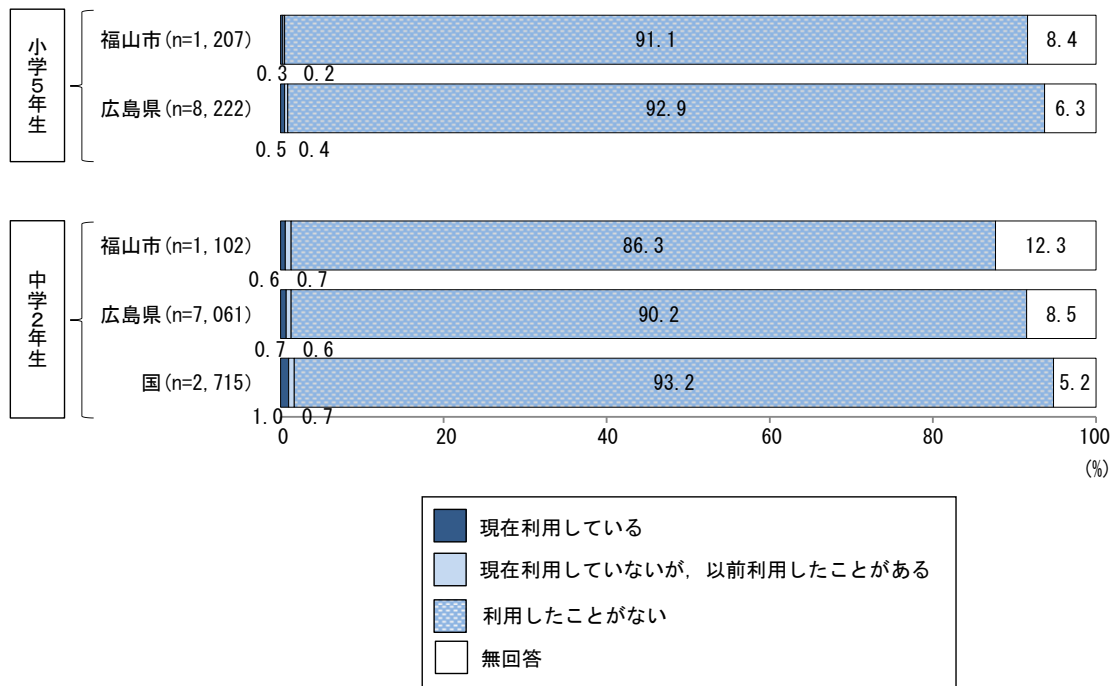


就学援助の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が10.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.9%、「利用したことがない」が80.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が10.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.4%、「利用したことがない」が76.3%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

= b) 生活保護の利用状況 =

【全体】

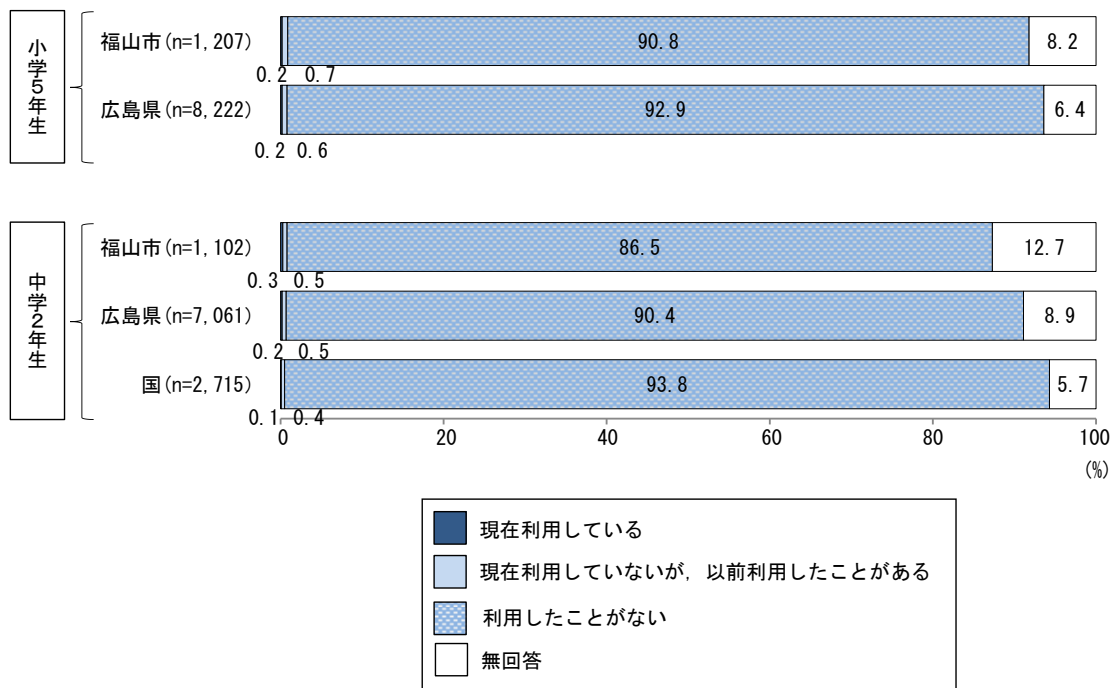


生活保護の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が0.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.2%、「利用したことがない」が91.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が0.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%、「利用したことがない」が86.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「利用したことがない」は、福山市（86.3%）が国（93.2%）を6.9ポイント下回っている。

= c) 生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況 =

【全体】

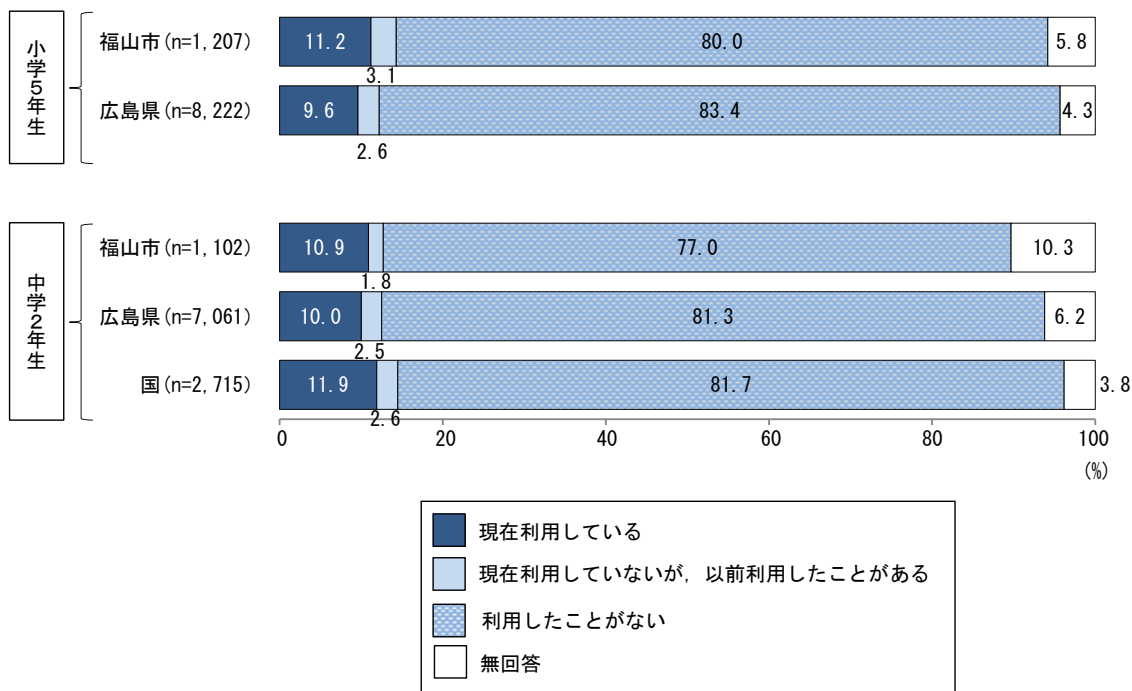


生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%、「利用したことがない」が90.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が0.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%、「利用したことがない」が86.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「利用したことがない」は、福山市（86.5%）が国（93.8%）を7.3ポイント下回っている。

= d) 児童扶養手当の利用状況 =

【全体】

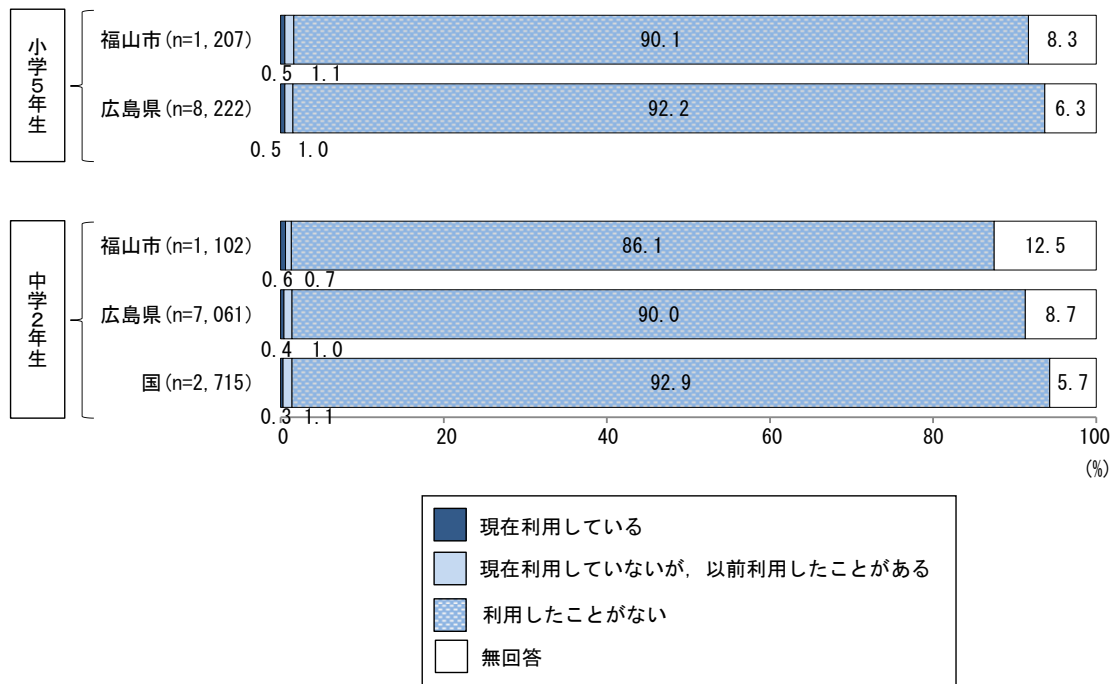


児童扶養手当の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が11.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.1%、「利用したことがない」が80.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が10.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.8%、「利用したことがない」が77.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

= e) 母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況 =

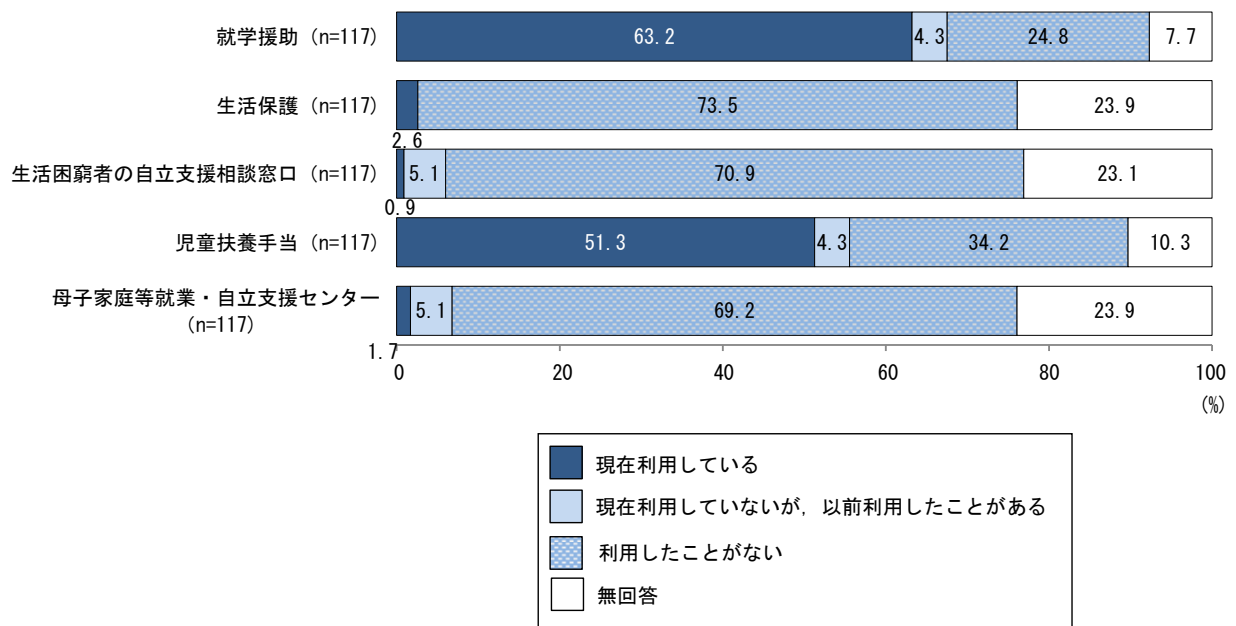
【全体】



母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が0.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.1%、「利用したことがない」が90.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

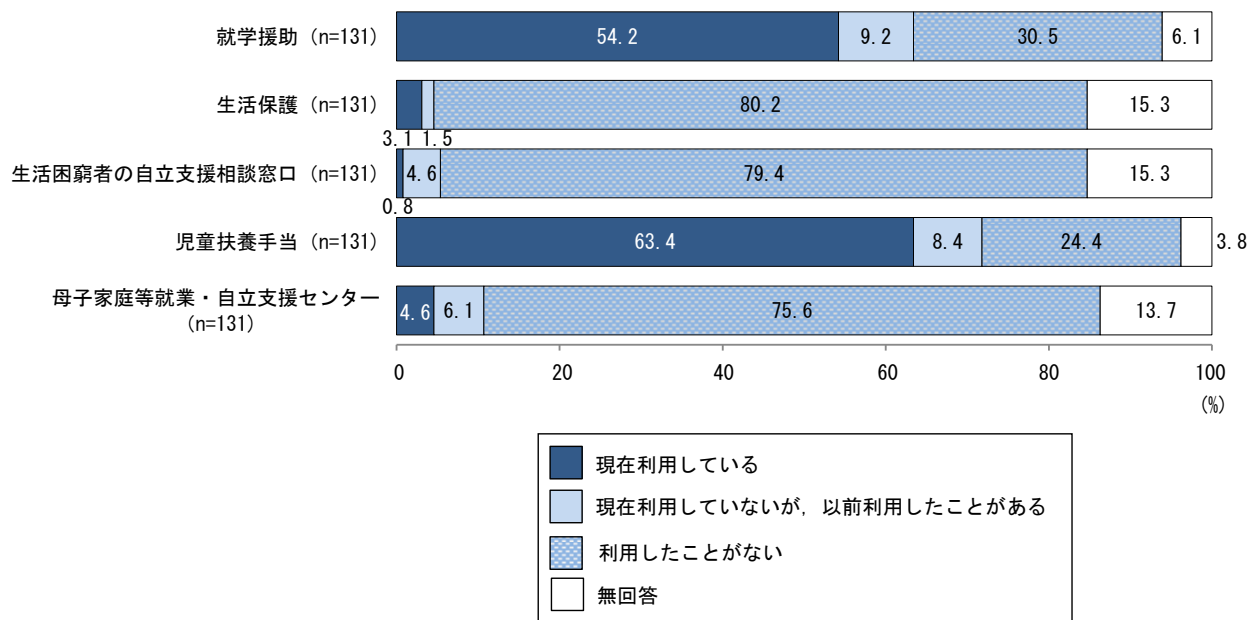
中学2年生の保護者では、「現在利用している」が0.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%、「利用したことがない」が86.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「利用したことがない」は、福山市(86.1%)が国(92.9%)を6.8ポイント下回っている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_小学5年生の保護者】



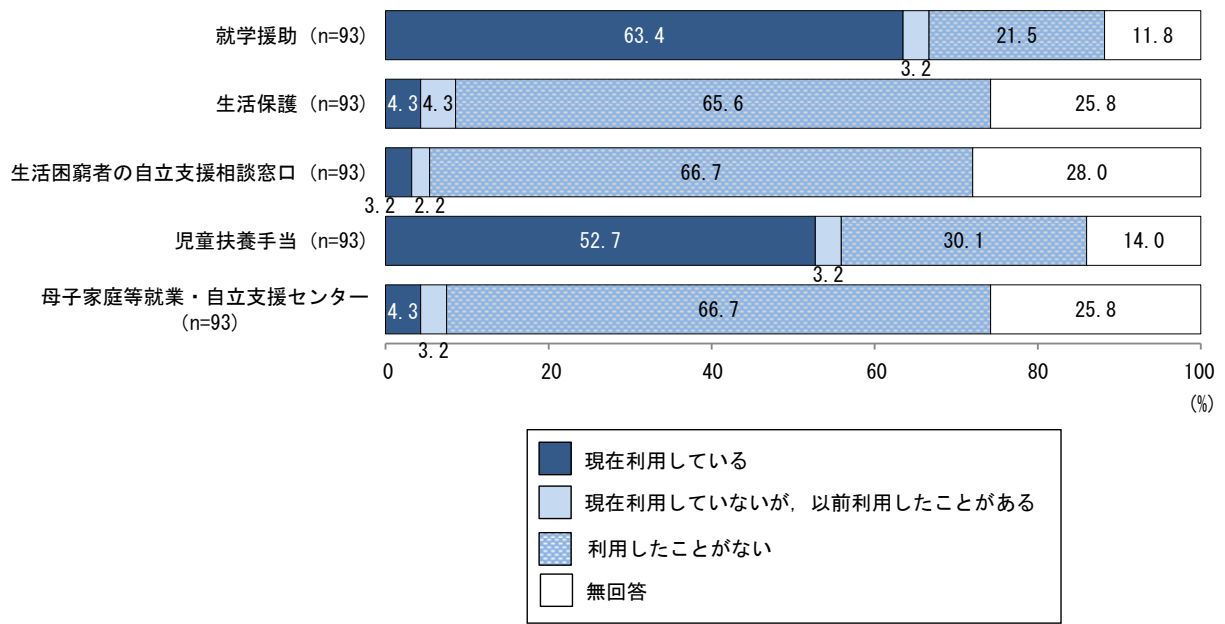
等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で63.2%、「児童扶養手当」で51.3%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯全体」の場合_小学5年生の保護者】



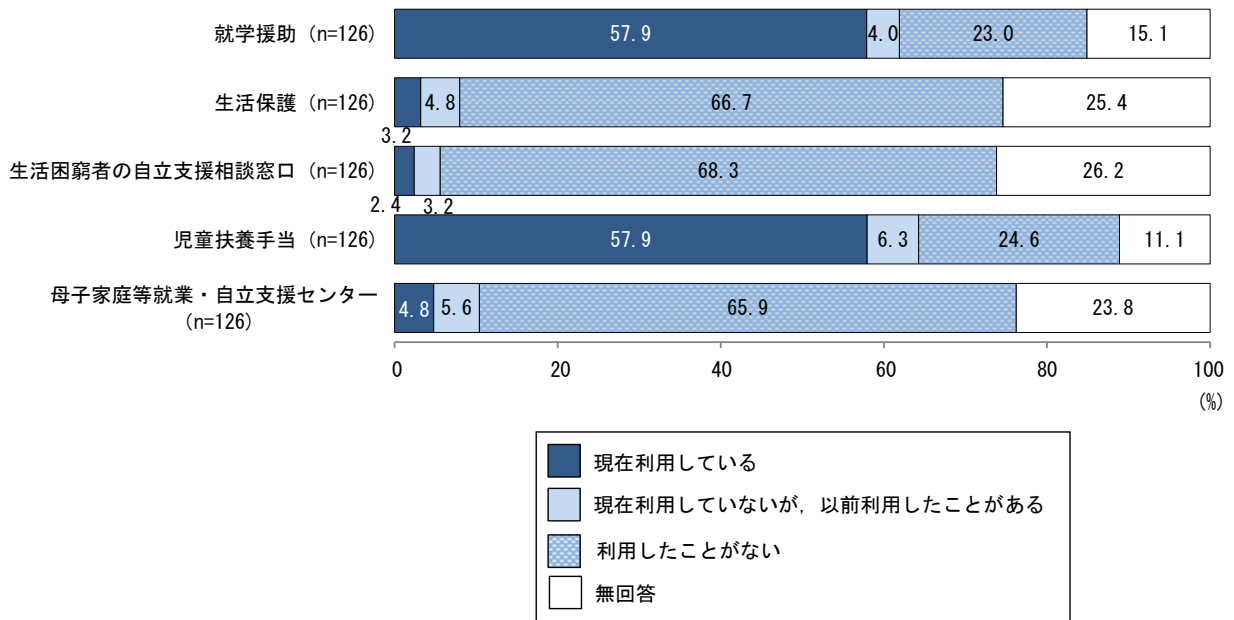
「ひとり親世帯全体」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で54.2%、「児童扶養手当」で63.4%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_中学2年生の保護者】



等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で63.4%、「児童扶養手当」で52.7%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

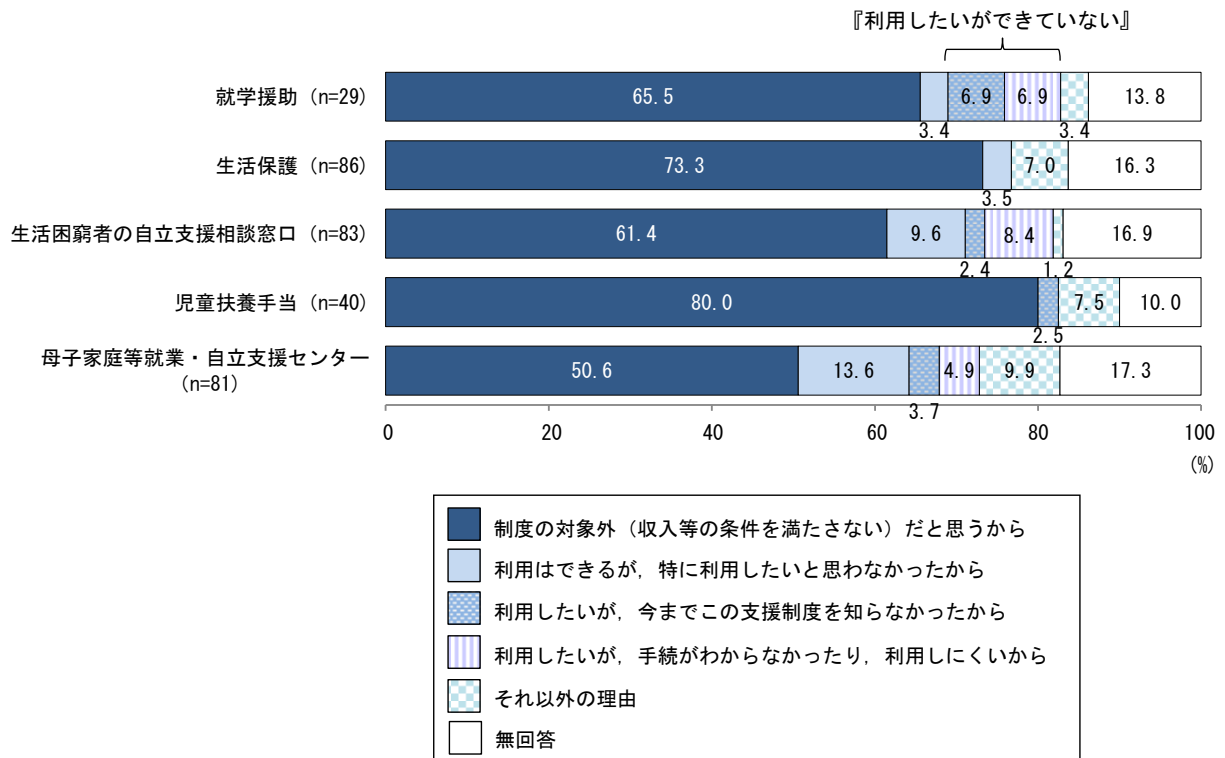
【世帯の状況が「ひとり親世帯全体」の場合_中学2年生の保護者】



「ひとり親世帯全体」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」、「児童扶養手当」でともに57.9%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

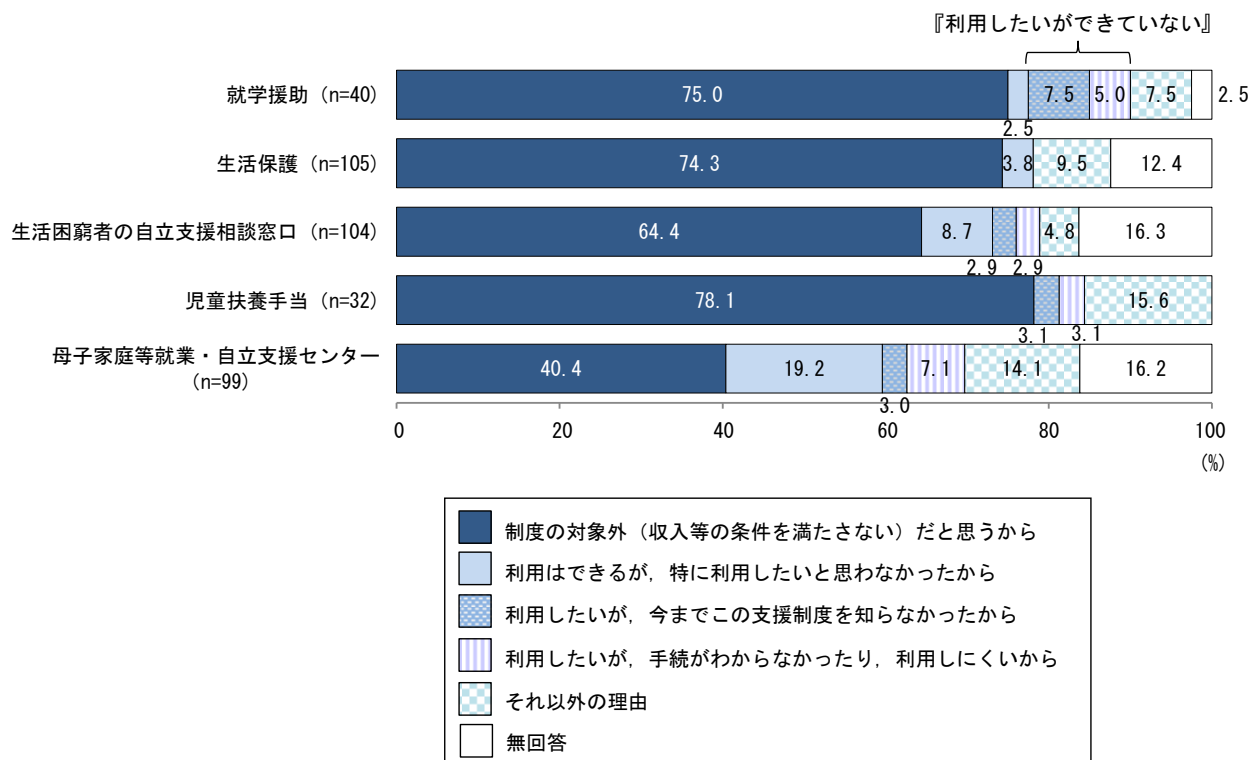
= 支援制度を利用していない理由 =

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_小学5年生の保護者】



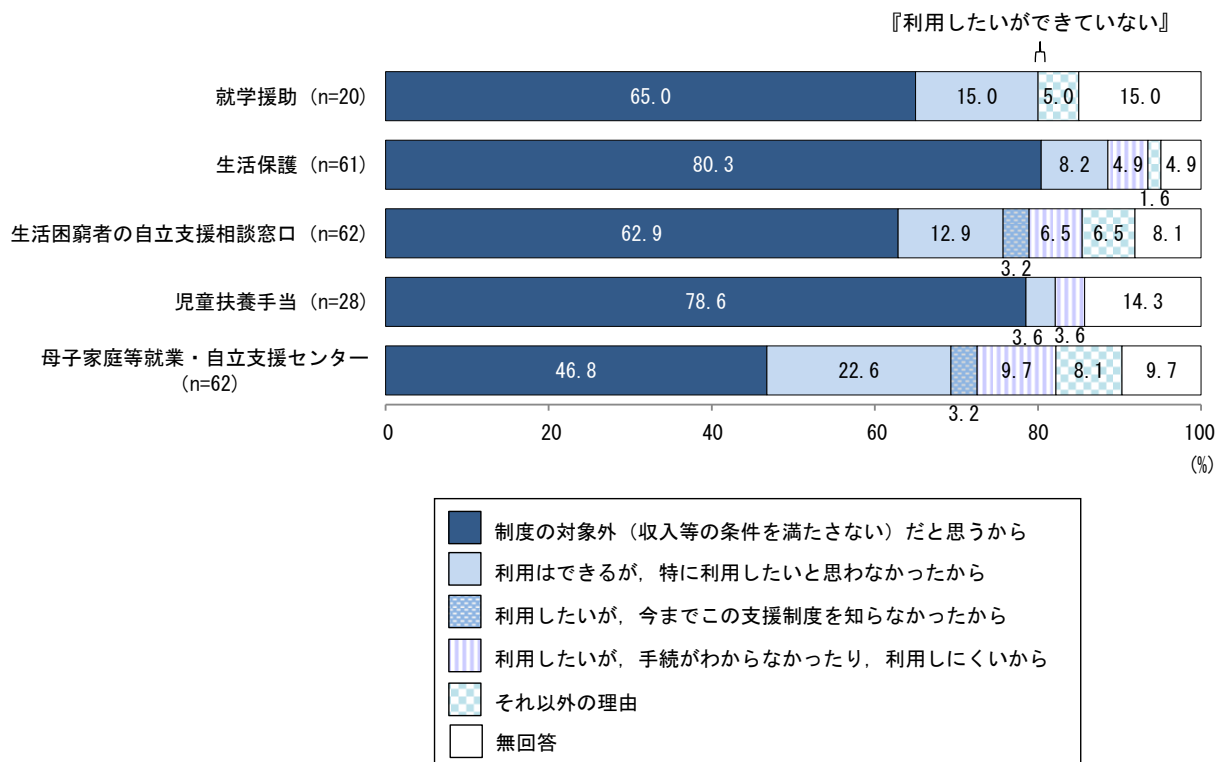
各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、小学5年生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外 (収入等の条件を満たさない) だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない (「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合)』は、「就学援助」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」で1割超となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯全体」の場合_小学5年生の保護者】



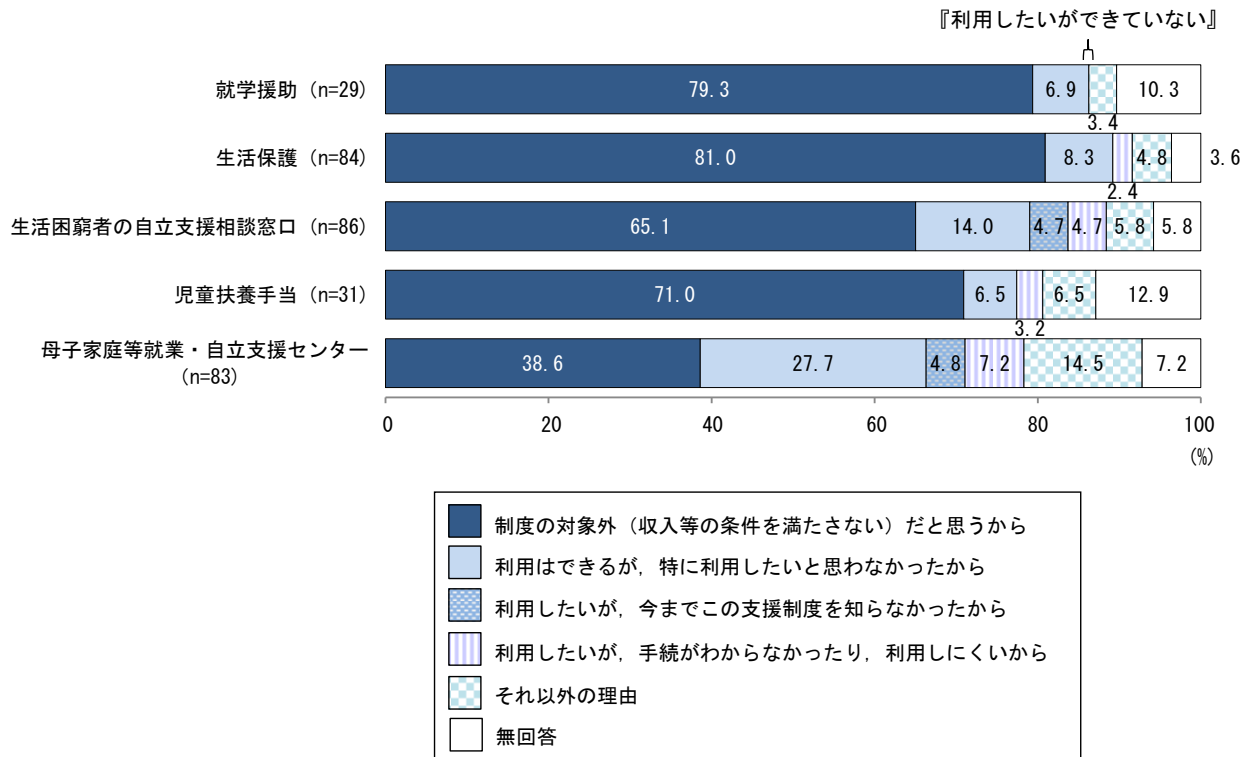
各支援制度を利用していない理由について、「ひとり親世帯全体」に限って集計すると、小学5年生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外 (収入等の条件を満たさない) だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「就学援助」「母子家庭等就業・自立支援センター」で1割超となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_中学2年生の保護者】



各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、中学2年生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「母子家庭等就業・自立支援センター」で1割超となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯全体」の場合_中学2年生の保護者】



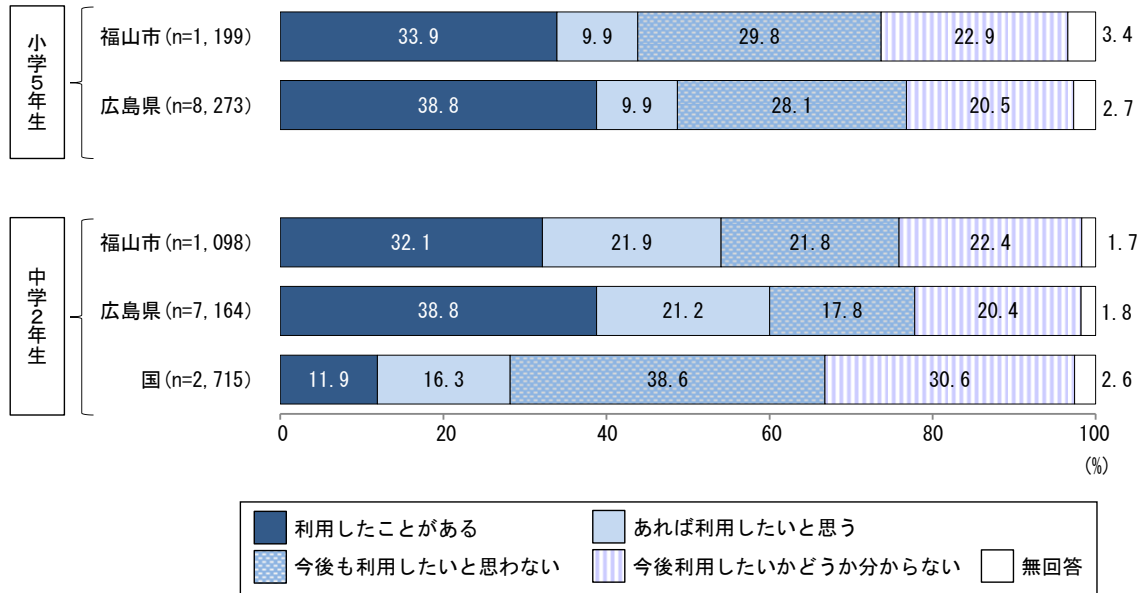
各支援制度を利用していない理由について、「ひとり親世帯全体」に限って集計すると、小学5年生の保護者では、中学2年生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外 (収入等の条件を満たさない) だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「母子家庭等就業・自立支援センター」で1割超となっている。

(2) 子どもの状況

子ども票問 19. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

= a) (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所 =

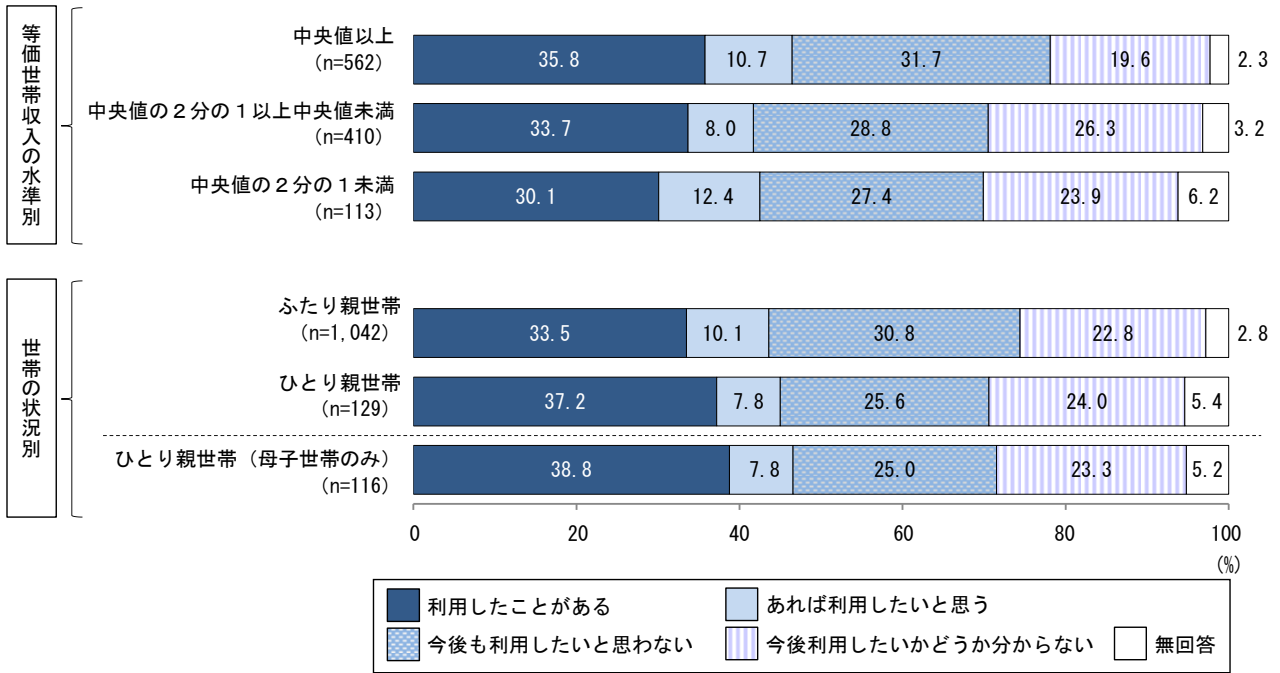
【全体】



平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用状況について、小学5年生では、「利用したことがある」が33.9%、「あれば利用したいと思う」が9.9%、「今後も利用したいと思わない」が29.8%、「今後利用したいかどうか分からない」が22.9%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

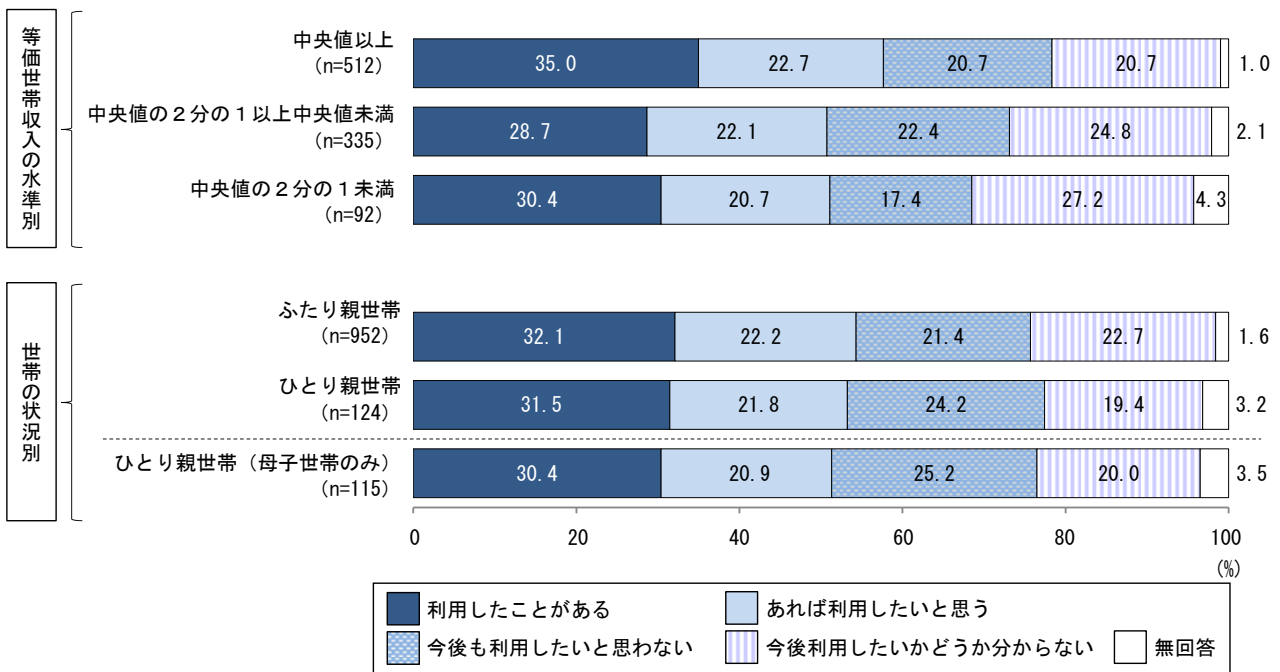
中学2年生では、「利用したことがある」が32.1%、「あれば利用したいと思う」が21.9%、「今後も利用したいと思わない」が21.8%、「今後利用したいかどうか分からない」が22.4%となっている。広島県と比較すると、「利用したことがある」は、福山市(32.1%)が広島県(38.8%)を6.7ポイント下回っている。国と比較すると、「利用したことがある」は、福山市(32.1%)が国(11.9%)を20.2ポイント、「あれば利用したいと思う」は、福山市(21.9%)が国(16.3%)を5.6ポイント上回っており、「今後も利用したいと思わない」は、福山市(21.8%)が国(38.6%)を16.8ポイント、「今後利用したいかどうか分からない」は、福山市(22.4%)が国(30.6%)を8.2ポイント下回っている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では10.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では8.0%、「中央値の2分の1未満」では12.4%となっている。
 世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では10.1%、「ひとり親世帯全体」では7.8%、「母子世帯のみ」では7.8%となっている。

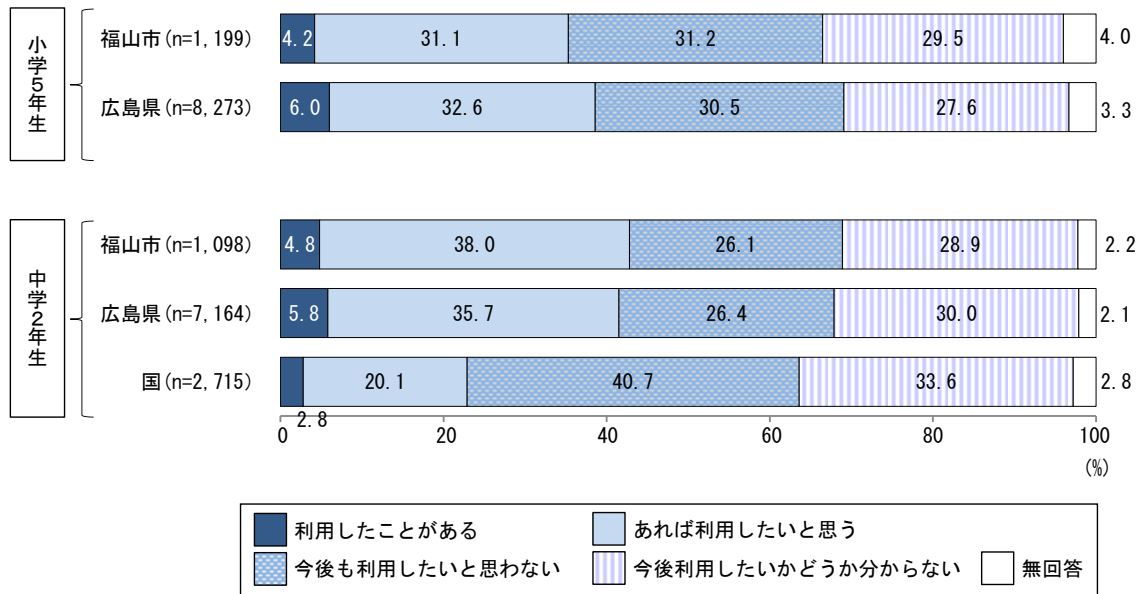
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では22.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では22.1%、「中央値の2分の1未満」では20.7%となっている。
 世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では22.2%、「ひとり親世帯全体」では21.8%、「母子世帯のみ」では20.9%となっている。

= b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など) =

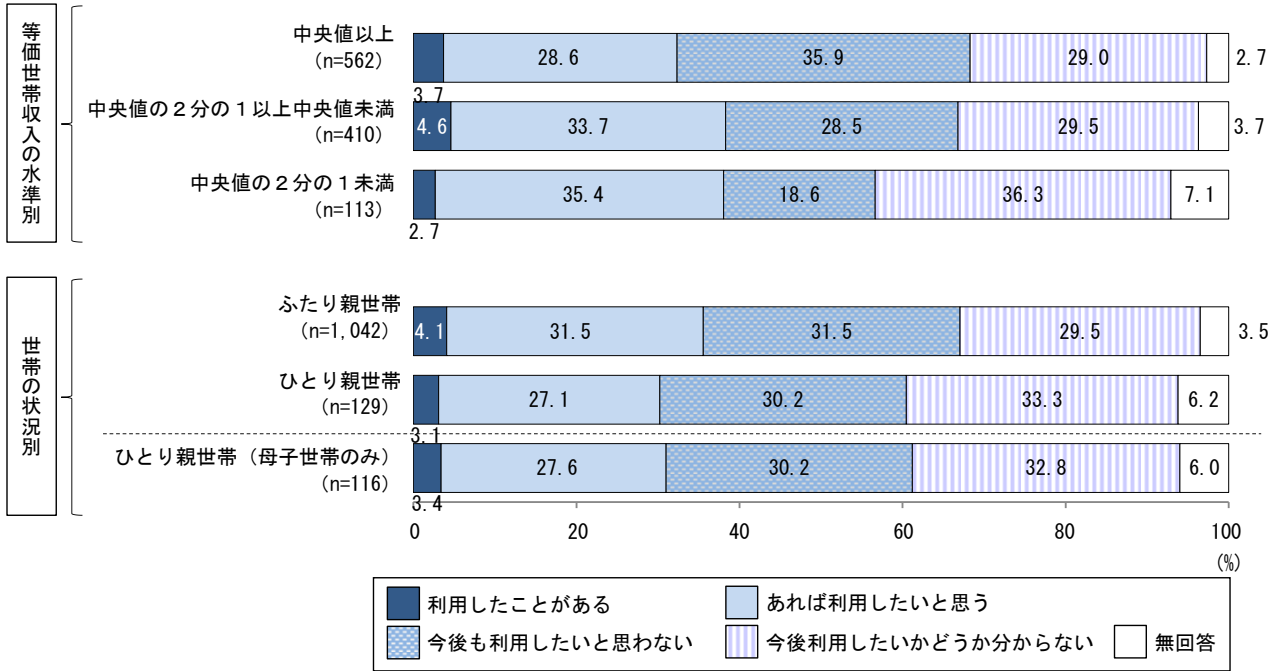
【全体】



夕ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況について、小学5年生では、「利用したことがある」が4.2%、「あれば利用したいと思う」が31.1%、「今後も利用したいと思わない」が31.2%、「今後も利用したいかどうか分からない」が29.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

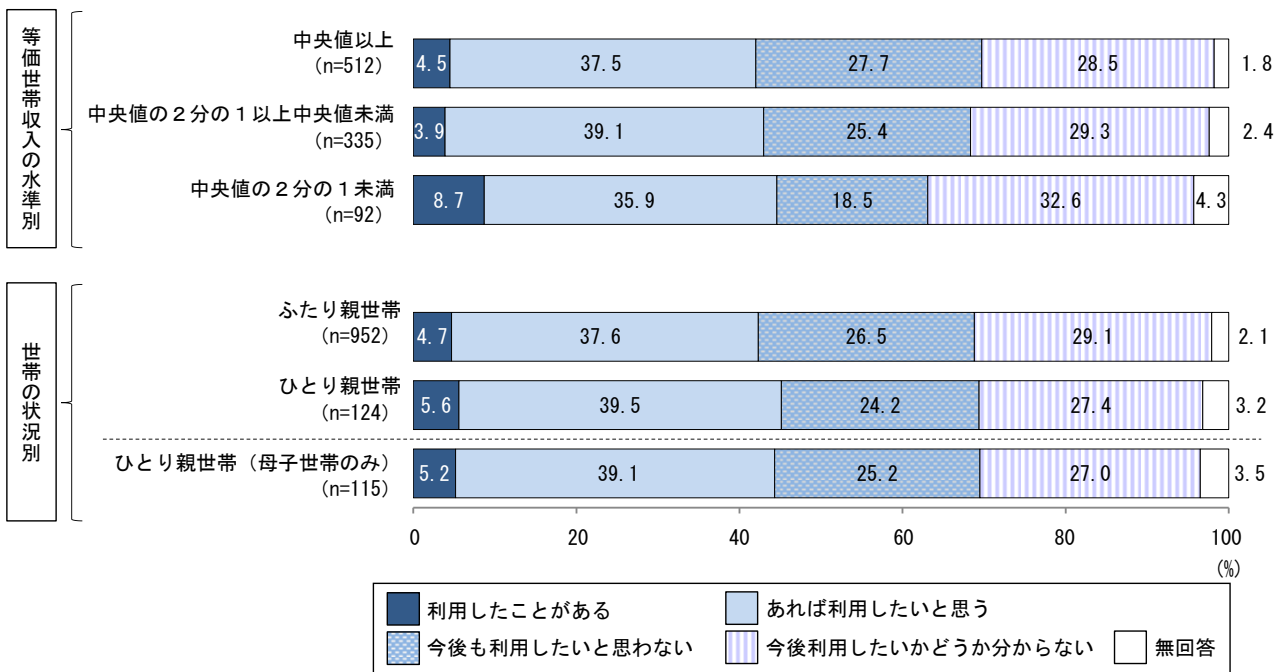
中学2年生では、「利用したことがある」が4.8%、「あれば利用したいと思う」が38.0%、「今後も利用したいと思わない」が26.1%、「今後も利用したいかどうか分からない」が28.9%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「あれば利用したいと思う」は、福山市(38.0%)が国(20.1%)を17.9ポイント上回っており、「今後も利用したいと思わない」は、福山市(26.1%)が国(40.7%)を14.6ポイント下回っている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では28.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では33.7%、「中央値の2分の1未満」では35.4%となっている。
 世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では31.5%、「ひとり親世帯全体」では27.1%、「母子世帯のみ」では27.6%となっている。

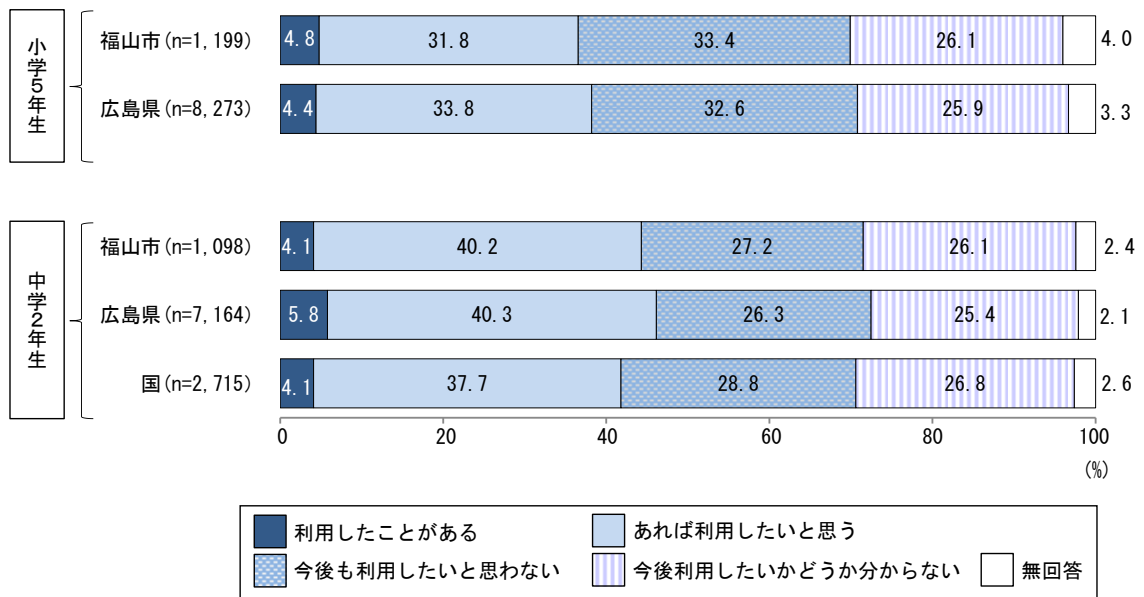
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では37.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では39.1%、「中央値の2分の1未満」では35.9%となっている。
 世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では37.6%、「ひとり親世帯全体」では39.5%、「母子世帯のみ」では39.1%となっている。

= c) 勉強を無料でみてくれる場所 =

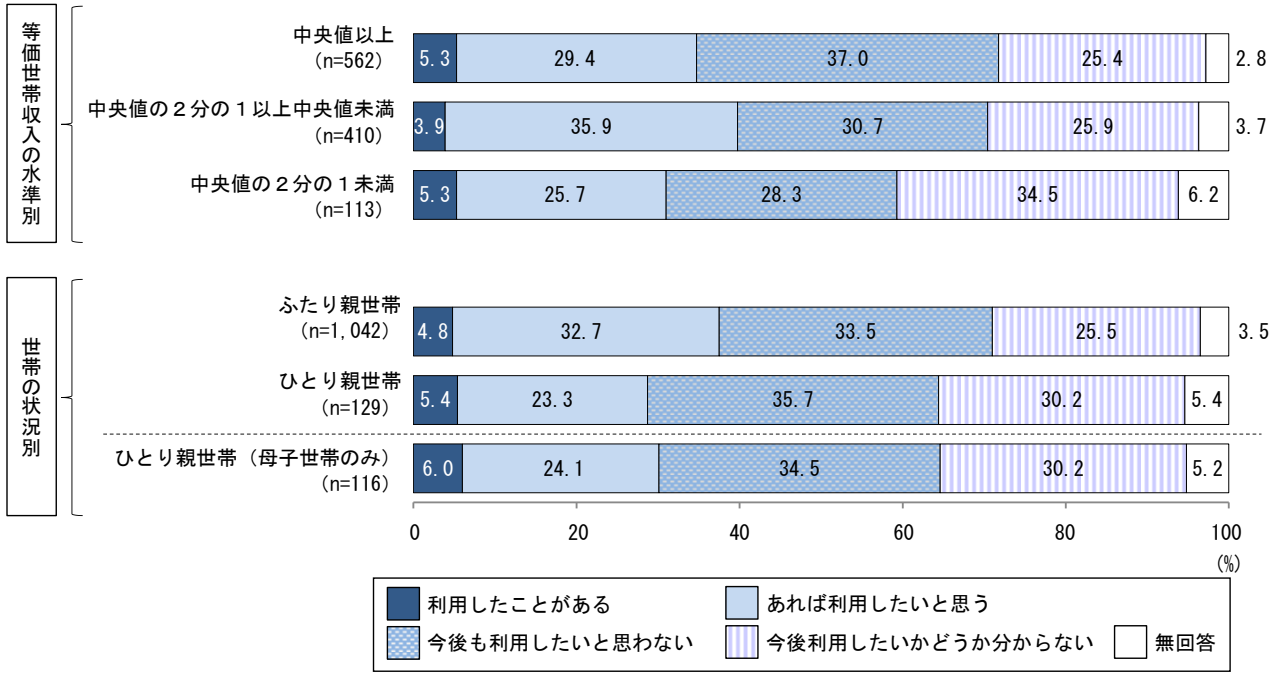
【全体】



勉強を無料でみてくれる場所について、小学5年生では、「利用したことがある」が4.8%、「あれば利用したいと思う」が31.8%、「今後も利用したいと思わない」が33.4%、「今後も利用したいかどうか分からない」が26.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

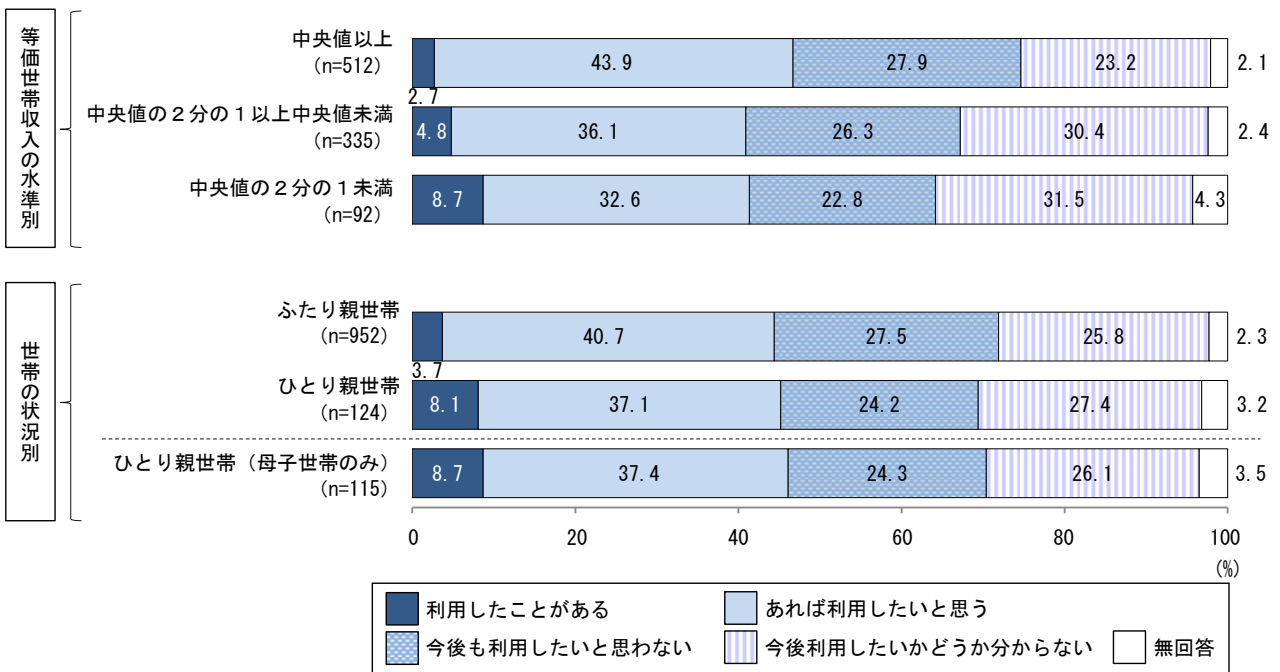
中学2年生では、「利用したことがある」が4.1%、「あれば利用したいと思う」が40.2%、「今後も利用したいと思わない」が27.2%、「今後も利用したいかどうか分からない」が26.1%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では29.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では35.9%、「中央値の2分の1未満」では25.7%となっている。
 世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では32.7%、「ひとり親世帯全体」では23.3%、「母子世帯のみ」では24.1%となっている。

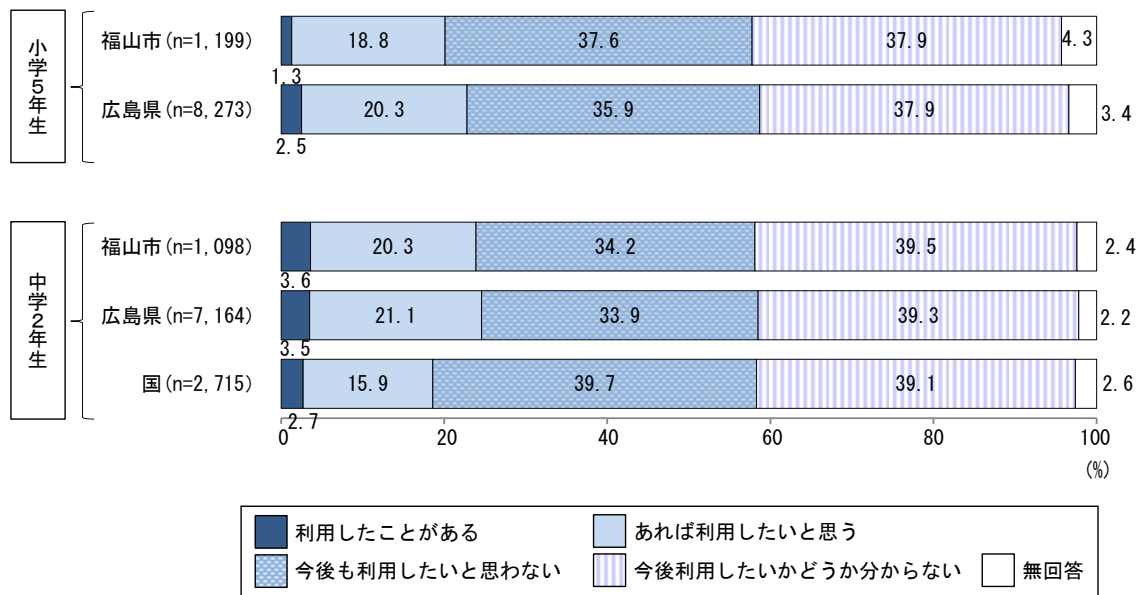
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では43.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では36.1%、「中央値の2分の1未満」では32.6%となっている。
 世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では40.7%、「ひとり親世帯全体」では37.1%、「母子世帯のみ」では37.4%となっている。

= d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。) =

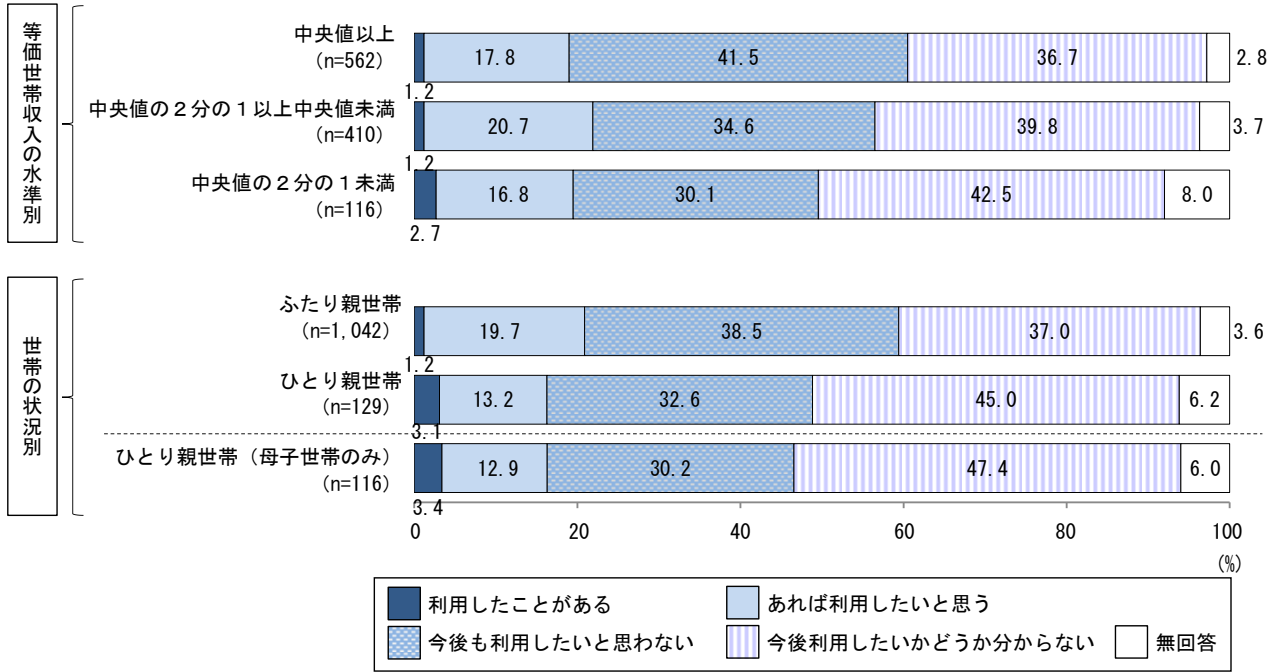
【全体】



何でも相談できる場所について、小学5年生では、「利用したことがある」が1.3%、「あれば利用したいと思う」が18.8%、「今後も利用したいと思わない」が37.6%、「今後も利用したいかどうか分からない」が37.9%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

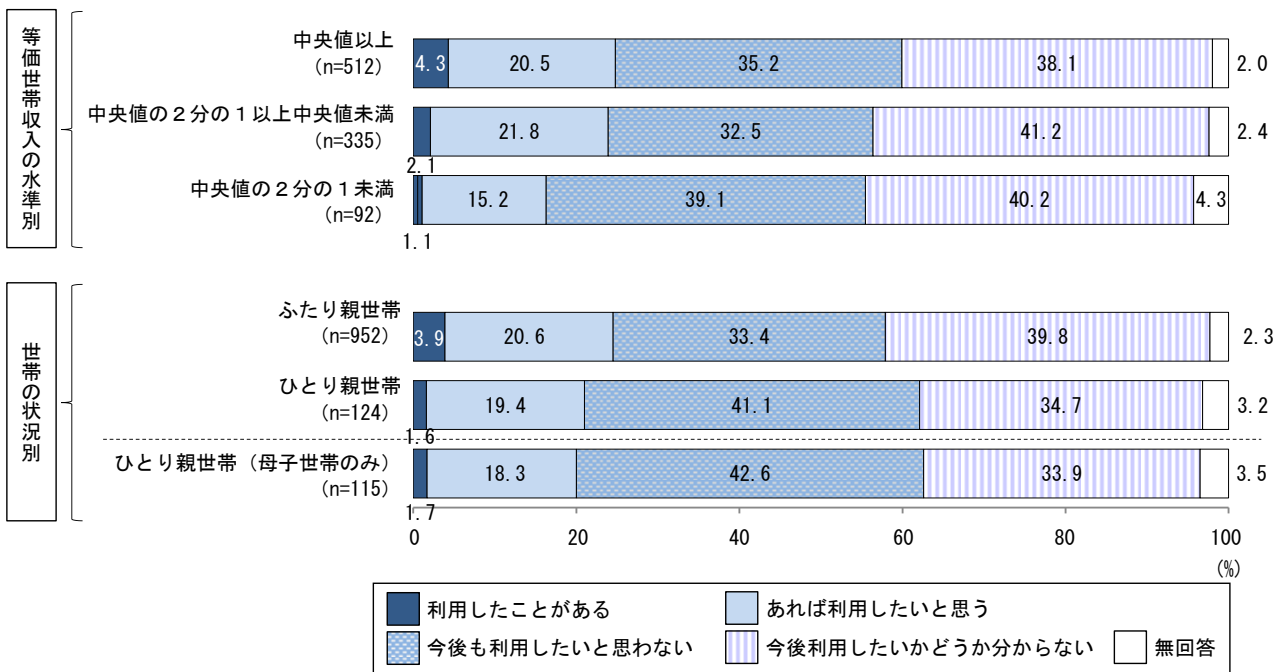
中学2年生では、「利用したことがある」が3.6%、「あれば利用したいと思う」が20.3%、「今後も利用したいと思わない」が34.2%、「今後も利用したいかどうか分からない」が39.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「今後も利用したいと思わない」は、福山市(34.2%)が国(39.7%)を5.5ポイント下回っている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では17.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では20.7%、「中央値の2分の1未満」では16.8%となっている。
 世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では19.7%、「ひとり親世帯全体」では13.2%、「母子世帯のみ」では12.9%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

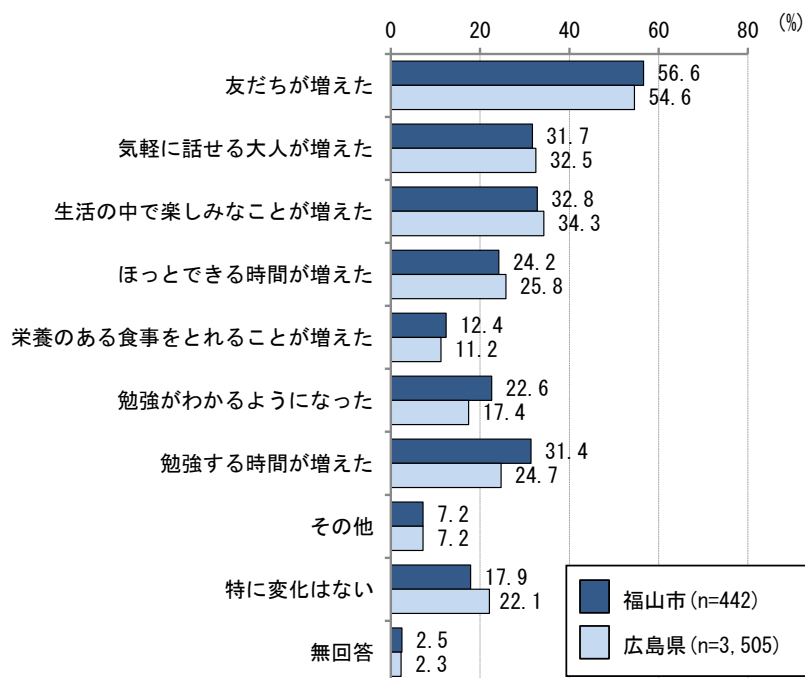


等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では20.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では21.8%、「中央値の2分の1未満」では15.2%となっている。
 世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では20.6%、「ひとり親世帯全体」では19.4%、「母子世帯のみ」では18.3%となっている。

※問 19 で 1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方に

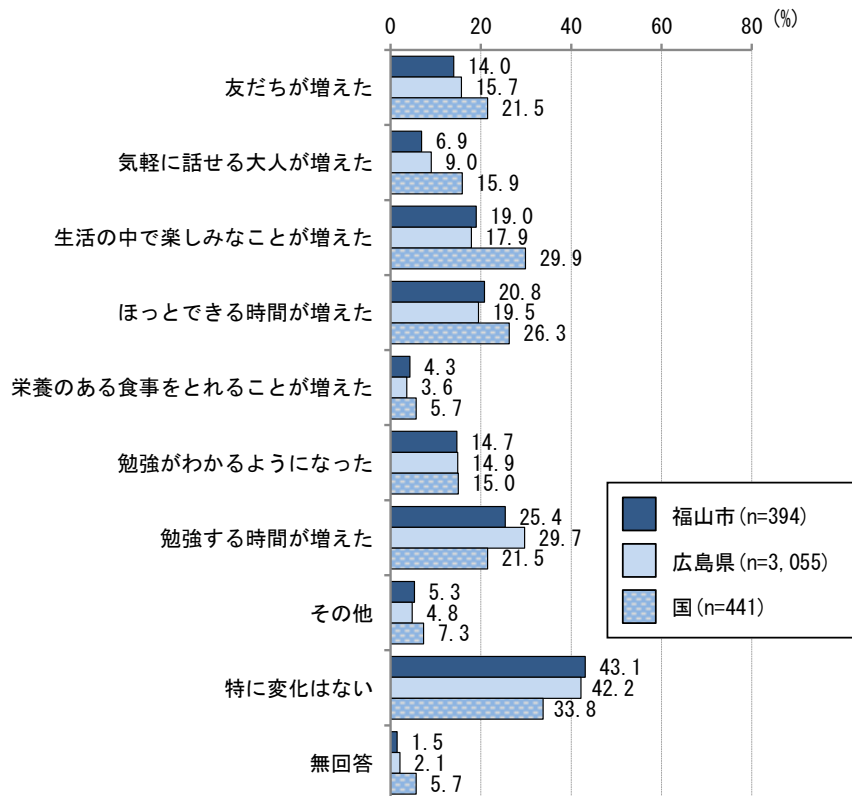
子ども票問 20. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(MA)

【小学 5 年生】



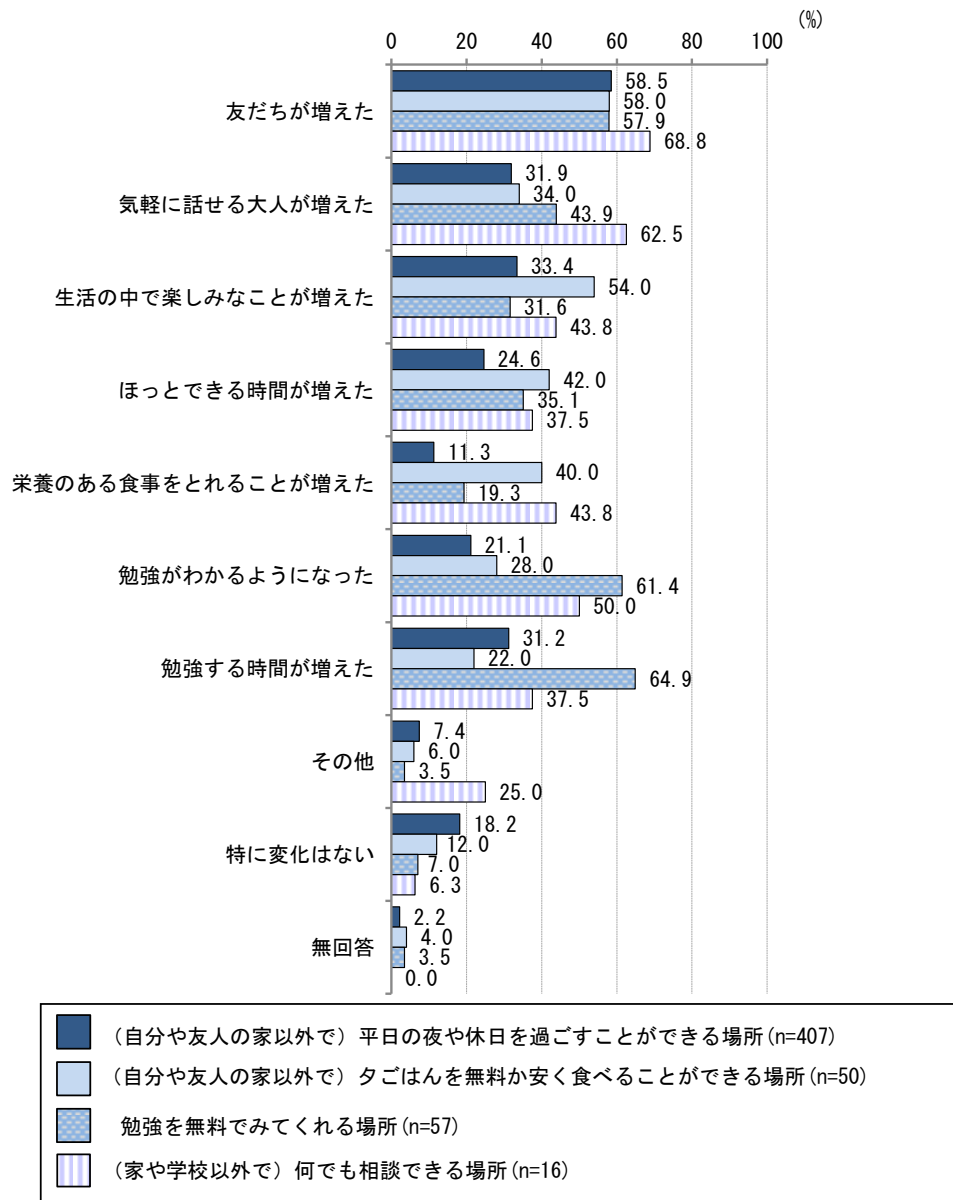
利用による変化について、小学 5 年生では、「友だちが増えた」が 56.6% と最も高く、次いで「生活の中で楽しいことが増えた」が 32.8%、「気軽に話せる大人が増えた」が 31.7% などの順となっている。広島県と比較すると、「勉強がわかるようになった」は、福山市 (22.6%) が広島県 (17.4%) を 5.2 ポイント、「勉強する時間が増えた」は、福山市 (31.4%) が広島県 (24.7%) を 6.7 ポイント上回っている。

【中学2年生】



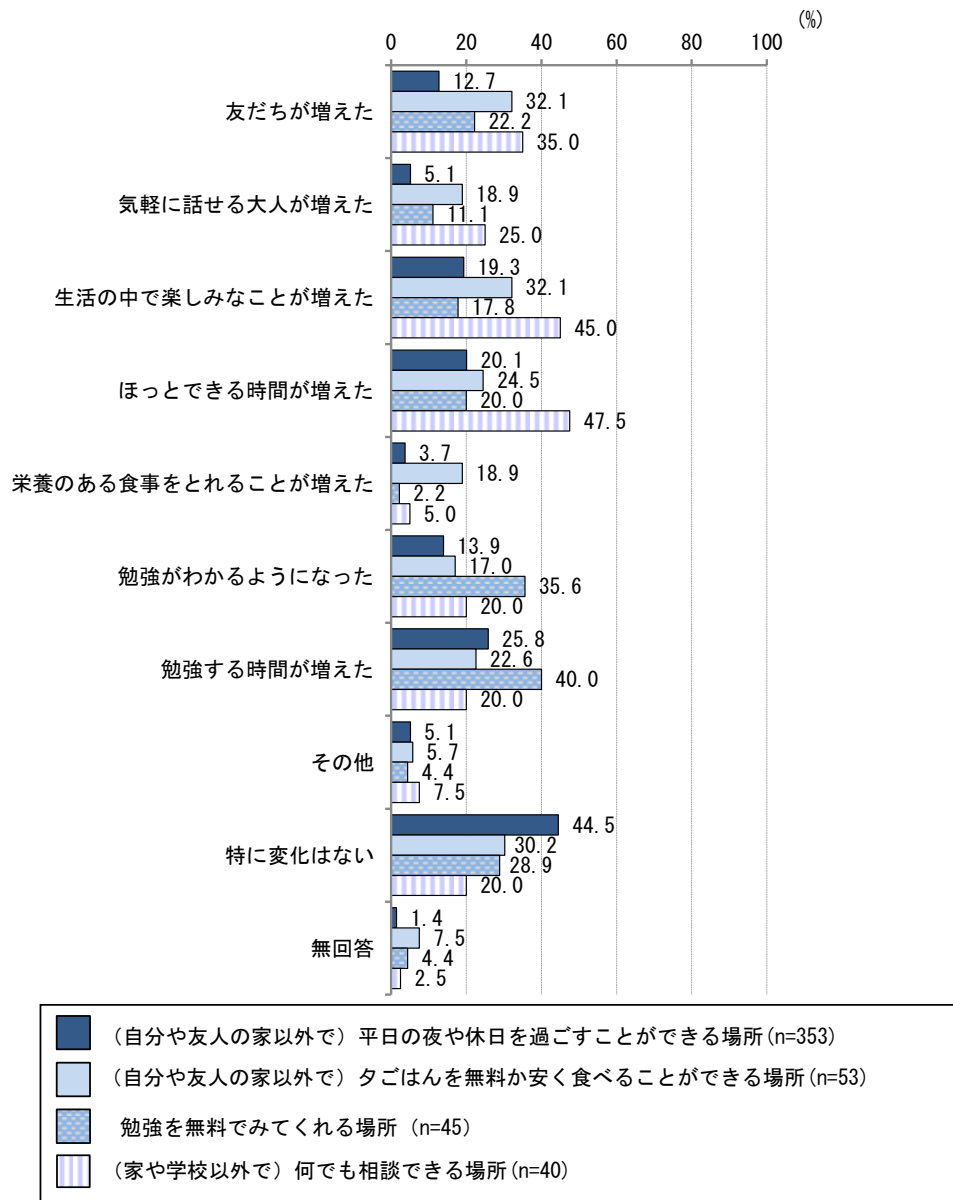
利用による変化について、中学2年生では、「勉強する時間が増えた」が25.4%と高く、次いで「ほっとできる時間が増えた」が20.8%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が19.0%などの順となっている。また、「特に変化はない」は43.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「友だちが増えた」は、福山市（14.0%）が国（21.5%）を7.5ポイント、「気軽に話せる大人が増えた」は、福山市（6.9%）が国（15.9%）を9.0ポイント、「生活の中で楽しみなことが増えた」は、福山市（19.0%）が国（29.9%）を10.9ポイント、「ほっとできる時間が増えた」は、福山市（20.8%）が国（26.3%）を5.5ポイント下回っており、「特に変化はない」は、福山市（43.1%）が国（33.8%）を9.3ポイント上回っている。

【利用した支援制度・利用場所の内容別_小学5年生】



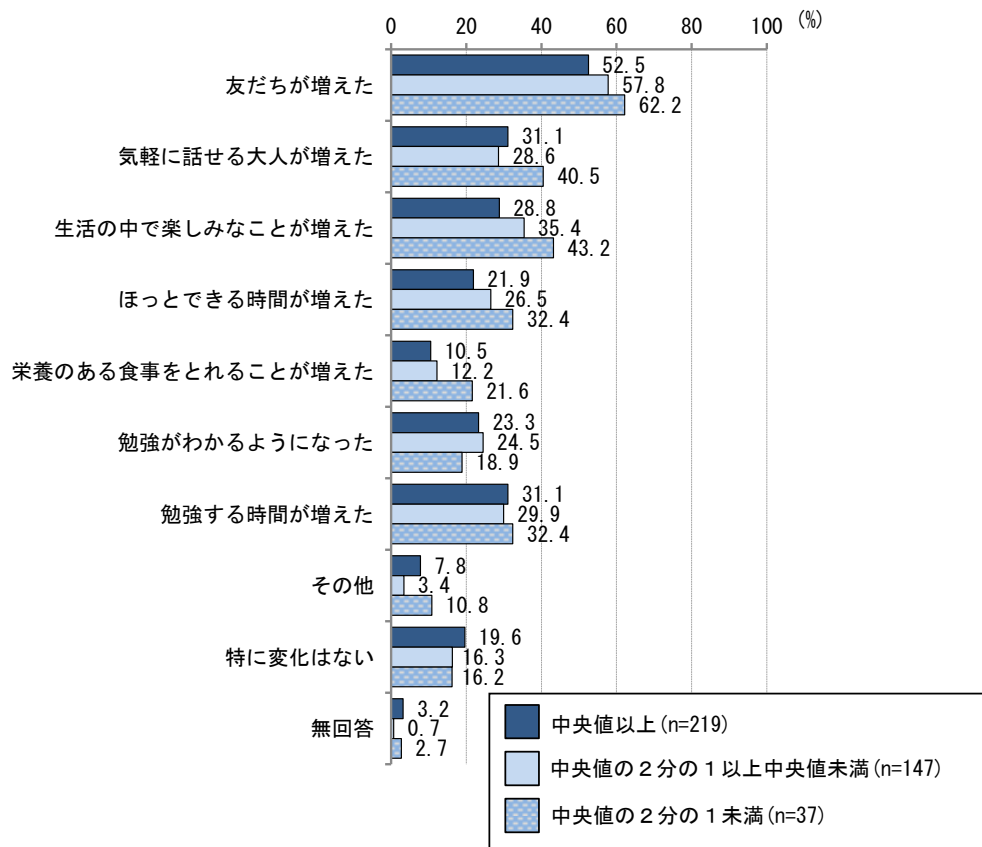
利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「勉強を無料でみてくれる場所」では、「勉強する時間が増えた」が 64.9%となっている。また、「何でも相談できる場所」では、「友だちが増えた」が 68.8%、「気軽に話せる大人が増えた」が 62.5%となっている。

【利用した支援制度・利用場所の内容別_中学2年生】



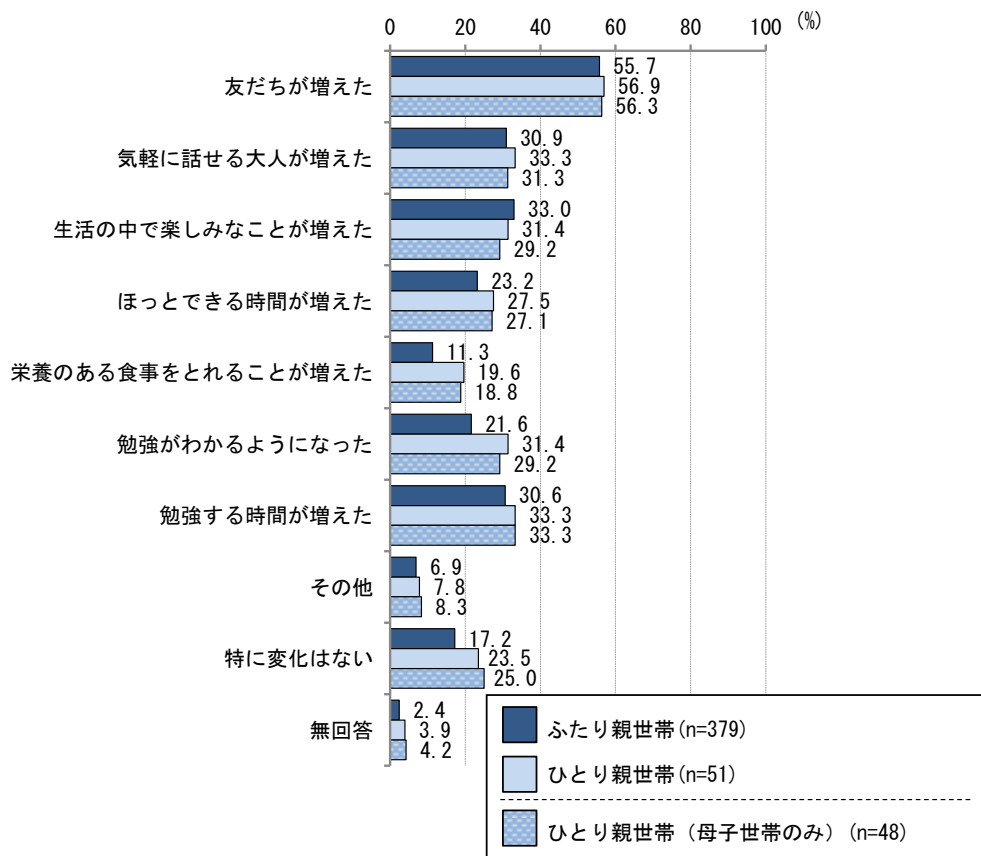
利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「勉強を無料でみてくれる場所」では、「勉強する時間が増えた」が 40.0%となっている。また、「何でも相談できる場所」では、「ほっとできる時間が増えた」が 47.5%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が 45.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



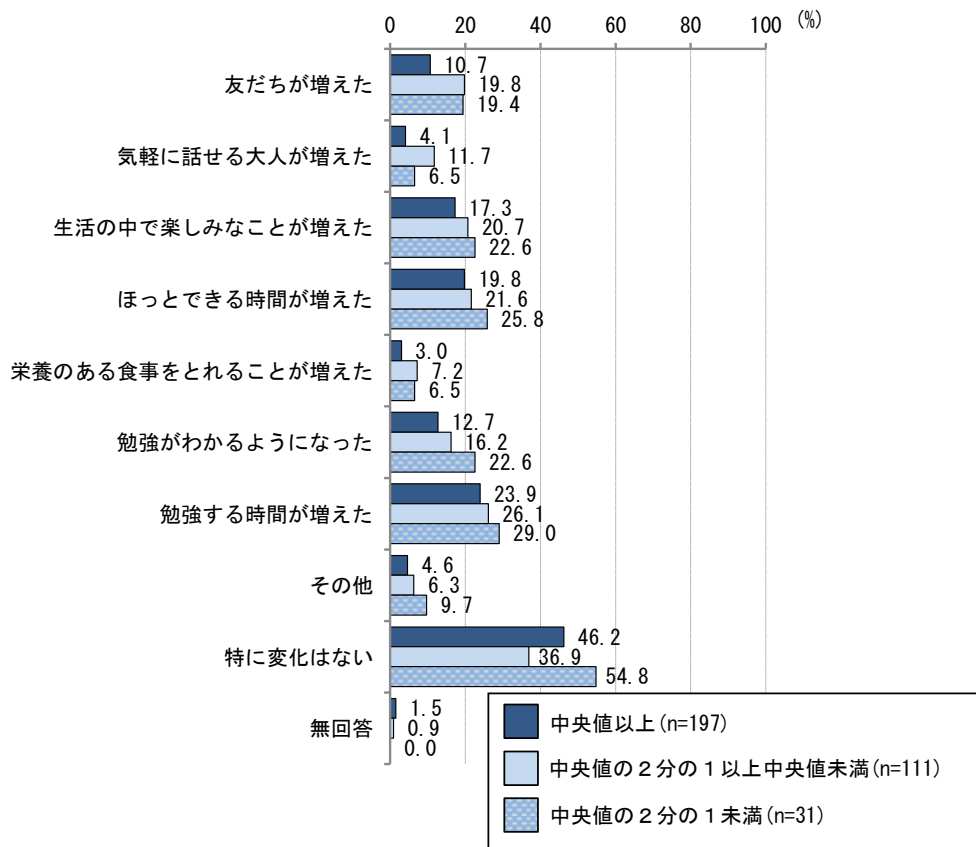
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「友だちが増えた」が62.2%、「気軽に話せる大人が増えた」が40.5%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が43.2%、「ほっとできる時間が増えた」が32.4%、「栄養のある食事をとれることが増えた」が21.6%と他の世帯と比べて高くなっている。一方で、「勉強がわかるようになった」は18.9%と低くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



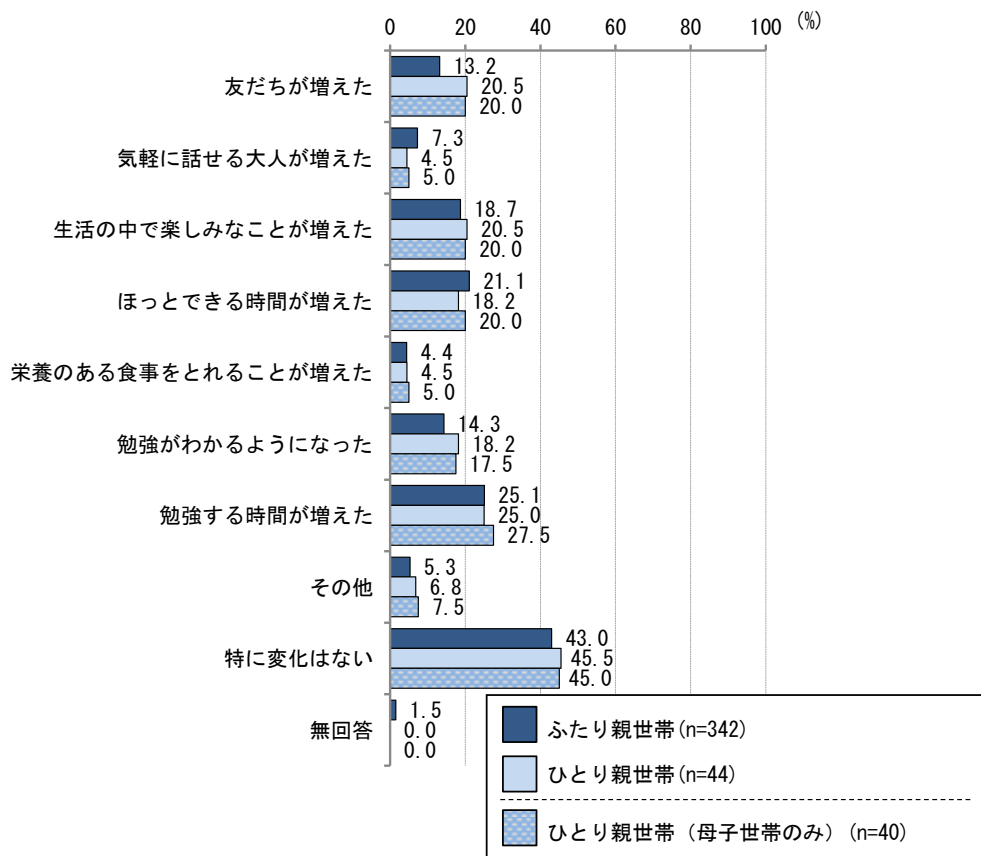
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「栄養のある食事をとれることが増えた」が19.6%、「勉強がわかるようになった」が31.4%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「生活の中で楽しみなことが増えた」が22.6%、「ほっとできる時間が増えた」が25.8%、「勉強がわかるようになった」が22.6%、「勉強する時間が増えた」が29.0%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生】



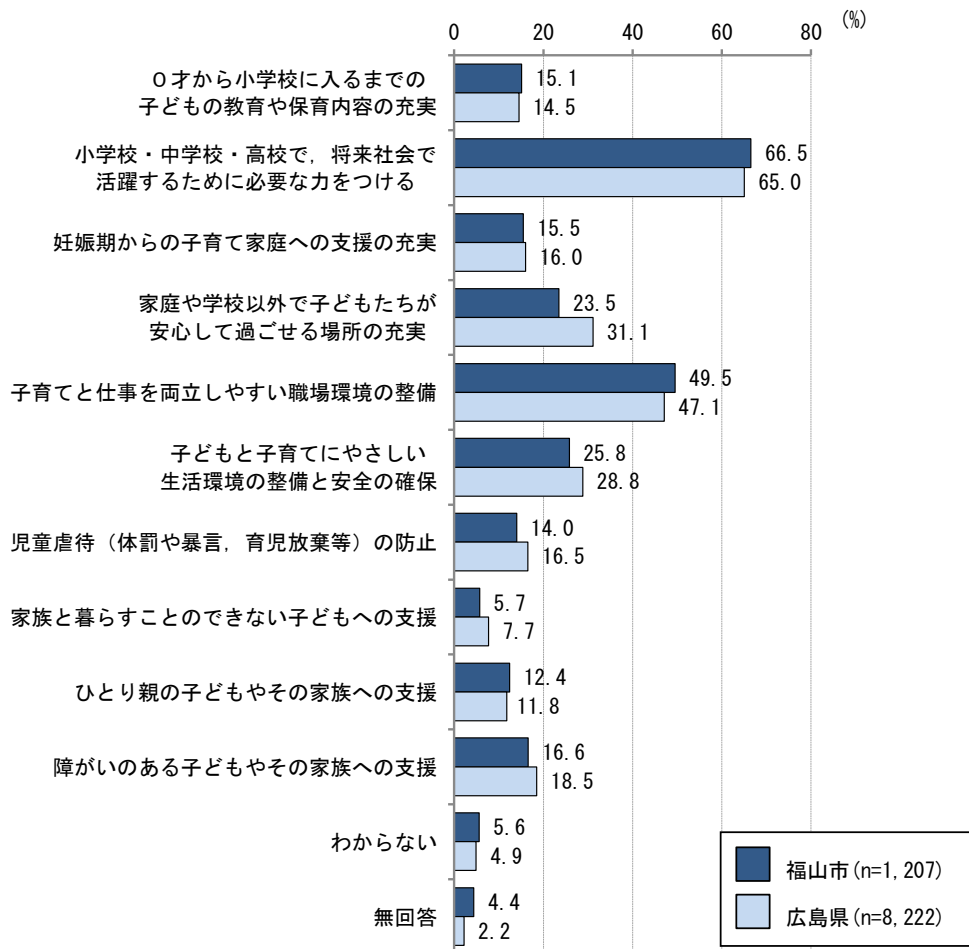
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「友だちが増えた」が20.5%と高くなっている。

5 広島県や福山市の子ども政策への希望

(1) 保護者の状況

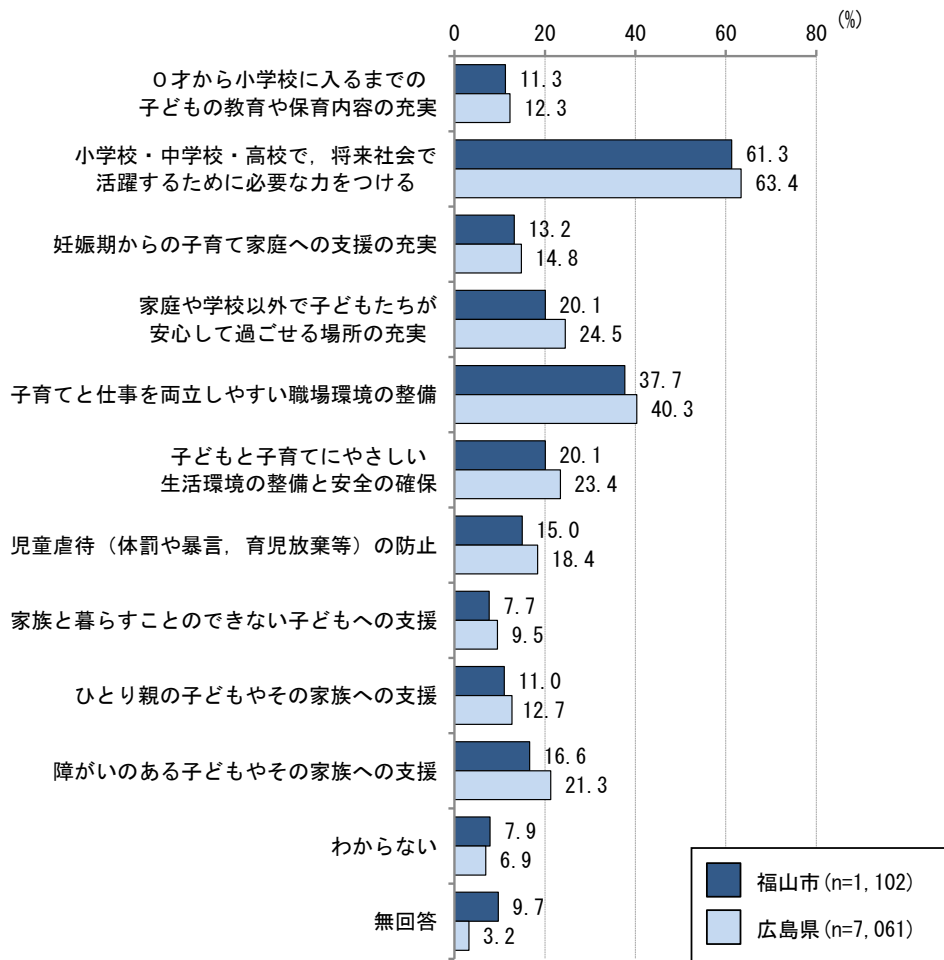
保護者票問 30. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。(3つまで)

【小学5年生の保護者】



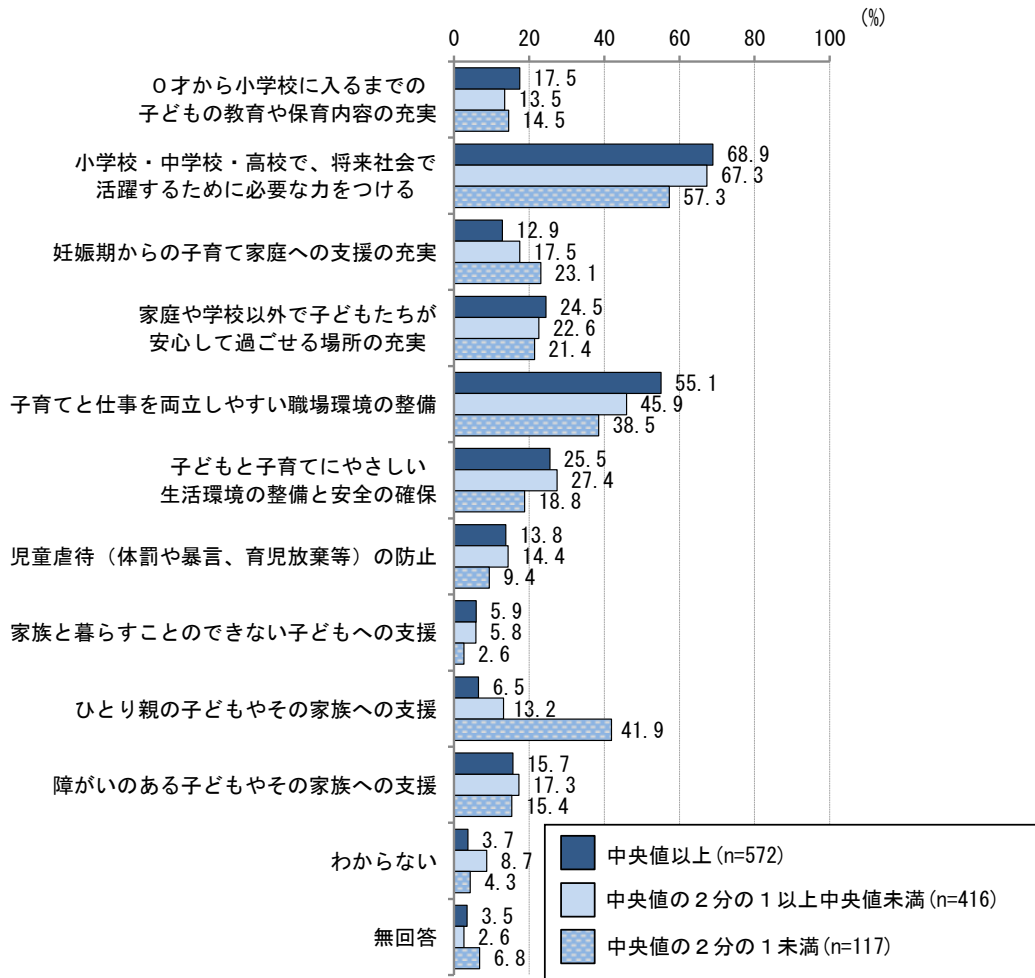
力を入れてほしい子どもに関する取組について、小学5年生の保護者では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が66.5%と最も高く、次いで「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が49.5%、「子どもと子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」が25.8%などの順となっている。広島県と比較すると、「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」は、福山市（23.5%）が広島県（31.1%）を7.6ポイント下回っている。

【中学2年生の保護者】



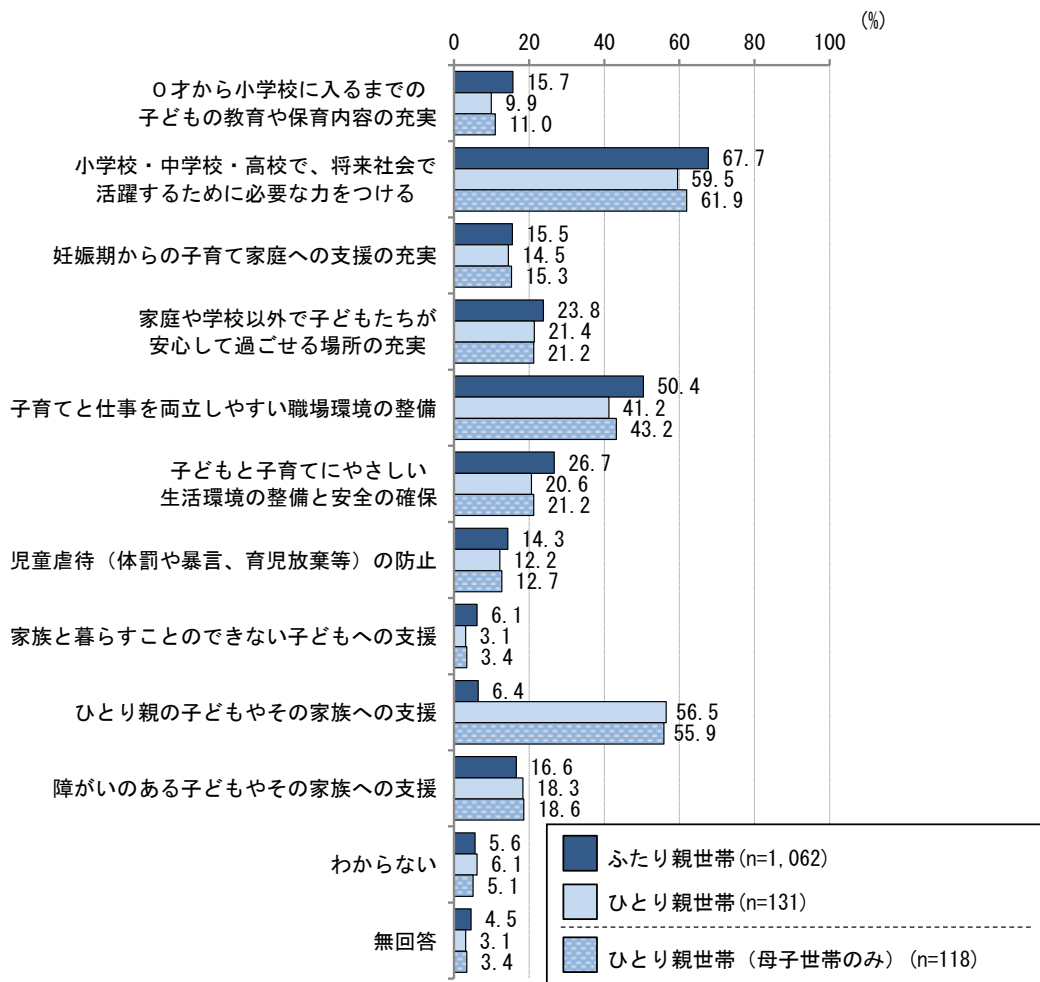
力を入れてほしい子どもに関する取組について、中学2年生の保護者では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が61.3%と最も高く、次いで「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が37.7%、「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」、「子どもと子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」がともに20.1%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



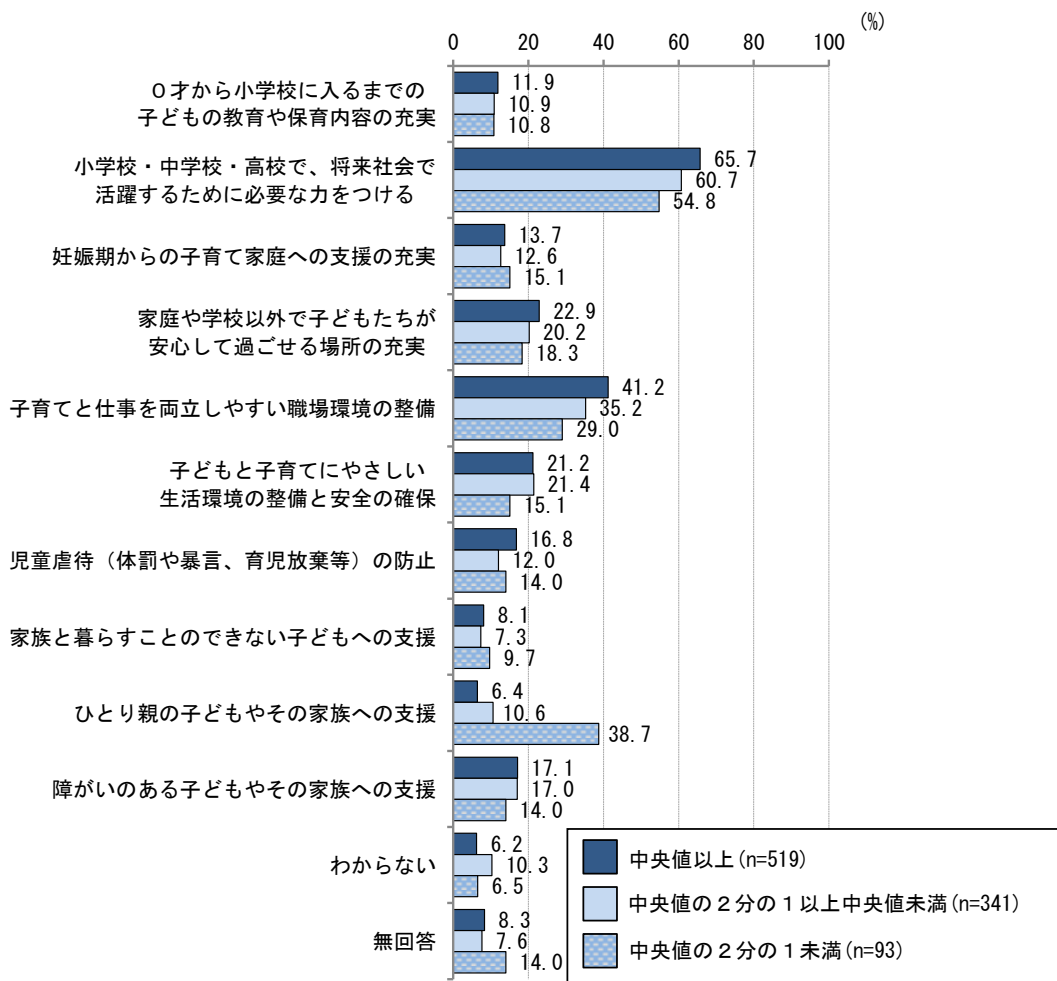
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」が23.1%、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が41.9%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



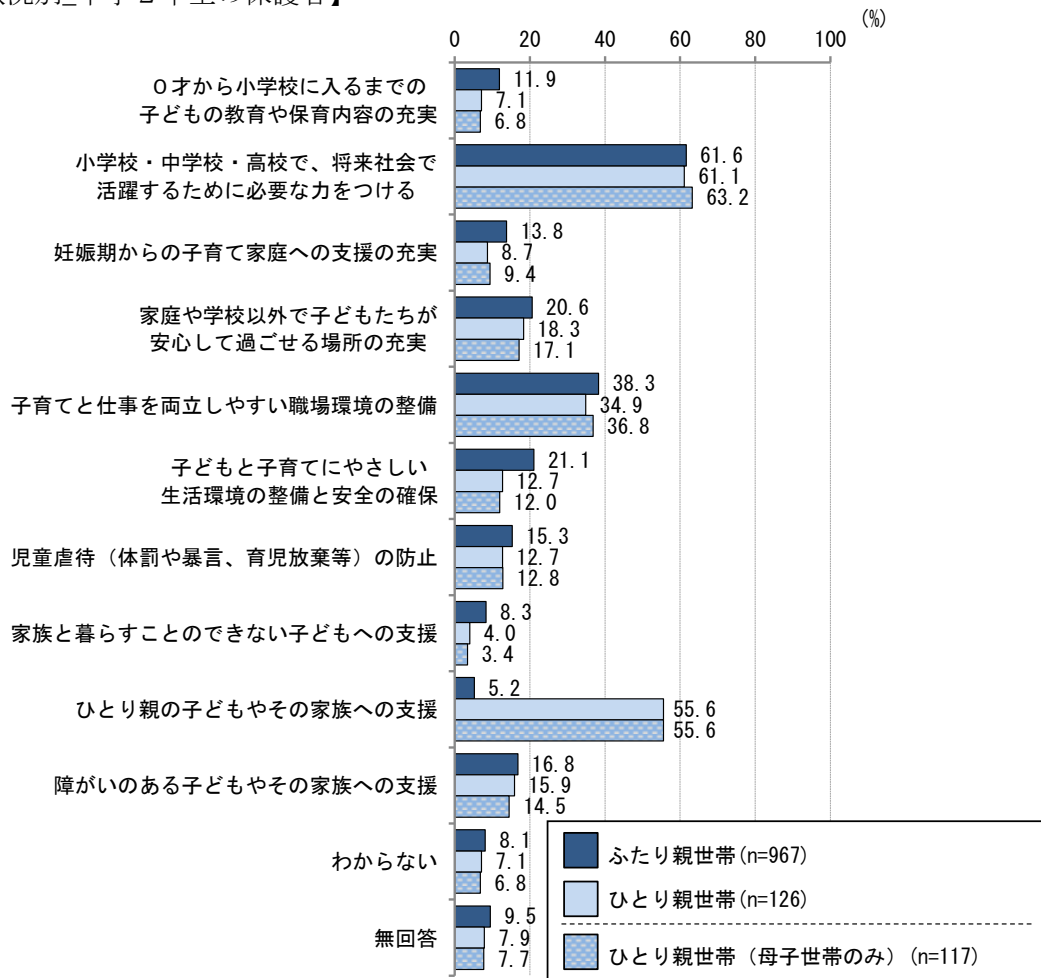
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が56.5%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が38.7%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が55.6%と高くなっている。

※問 30 で「特に力を入れてほしい取組」を答えた方に

保護者票問 31. 理由があれば教えてください。(FA)

＝ 「0才から小学校に入るまでの子どもの教育や保育内容の充実」の理由 (73件) ＝

【主な理由】

主な理由	
1	待機児童や兄弟（姉妹）が別々になっている家庭が居るから、待機児童0人、兄弟（姉妹）同じにして欲しい。
2	保育内容充実するために、人材の確保。ゆとりのある人数配置をして、事故のないようなところに取りくんでほしいです。
3	自宅保育だと発達を促す良い接し方、過ごし方がわからず、不安があった。
4	安心して預けられることが正規で仕事をつづけていくことにつながると思う。
5	一番大切な幼児期にたくさんの体験をして、可能性を広げてほしい。

＝ 「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」の理由 (336件) ＝

【主な理由】

主な理由	
1	今は塾に行かないと得られない情報があるなど、経済的に行かせる事ができない家庭は格差に悩むことがある。小中高でしっかり基礎は学ばせてほしい。
2	遊びや多様な実体験を通して対人関係や体を使う力を伸ばす。課題がある子力のある子不登校の子を含め、個に応じた学習機会を作ること。
3	友達同士のコミュニケーションだったり、人の事を思いやる気持ちを育ててほしい、基礎的な学力もついていけない子のためのフォローをしてほしい。
4	先生方が余裕を持って教育活動に取り組めるよう人材の確保や賃金の値上げなど。
5	もっと身近に国際交流や留学制度があってほしい。

= 「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」の理由 (71 件) =

【主な理由】

主な理由	
1	産婦人科や不妊治療への医療の充実が少子化対策につながる。
2	子どもの医療費を高校生まで無料にして欲しい。
3	妊産婦さんが孤立してしまわない様なそれでいて参加しやすい場所の提供があると良いと思う。
4	核家族が増えていると思うので、子育てに関する相談ができる場所が充実する事が必要だと思います。
5	子育ては十人十色で、「答え」がないので、悩みを抱える人も多いし、コミュニケーションが苦手な人は1人で抱え込み、虐待につながると思うので、支援側は細かく見てほしい。

= 「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」の理由 (91 件) =

【主な理由】

主な理由	
1	小学1年生の時、夕方18時までに必ず迎えに行かないといけなくて、保育園との違いに戸惑った。小1の壁を感じた。
2	放課後児童クラブの時間延長をしてほしい。長期休み8:30→8:00～に 毎日終了を18:00～19:00に
3	親の目が届かない時でも親も子も安心して気軽に利用出来る場所があるといい。特に夏休みなどの長期の休み。
4	不登校児の増加。学校へ行かない選択した子の得意な分野 好きな事 興味ある事 等体験できる場所があれば楽しい。
5	子どもが安心して過ごせないことには親も安心して仕事などができないと思うので。

= 「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」の理由 (191 件) =

【主な理由】

主な理由	
1	子どもの熱などでの休かがとりやすいと助かる。とれたとしても、仕事に戻ったときに何か言われたり理かいされないことが多い。
2	母親ばかり育児の負担がかかる（子どもの病気の際は母親が早退するケースが多い）ので父親も気がねなく早退欠勤できる環境があればよい。
3	働かざるをえない父母が増えている中子育てに時間をさけない親が増えている 大切な子育ての時期を優先できる環境に。
4	母親は仕事，子育てだけでなく，学校等の役員をかけ持ちしたり，とにかく負担が多いので，それに見合う働き方の仕組みを整えてもらいたい。
5	法定労働時間内しか働いていなくても，通勤にも時間がかかるし，拘束時間が長い。リモートやフレックスがあたり前になってほしい。

= 「子どもと子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の理由 (92 件) =

【主な理由】

主な理由	
1	近くに遊べる公園がないので，子どもが外で遊べない。
2	福山市内に，児童館や科学館などの幼児～高校生までが楽しく学べて遊べる場所が少なすぎる。
3	子ども 110 番の家など何かあった時にかげこめる家や施設などの充実。
4	子どもが小さい時は，どこへつれて行くのも大変なので遊ぶ所など充実させてほしい。雨でも無料で遊べる所など。近くに図書館作ってほしい。
5	子どもが登下校で巻きこまれる交通事故や犯罪が全国でもたくさん起こっているのに，家族でもよく話をして気をつけていますが，地域でも今は見守ってくださっていて助かるので，引き続き続けていただきたいです。

= 「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」の理由（66件） =

【主な理由】

主な理由	
1	夏休みになると、食べ物に困る子が増えるとニュースで見た。子ども食堂などの支援がとても大切だと思う。子どもは親を選べない。なら大人が不幸な子を増やさない努力をするべきだと思う。
2	悲しい事件が起こっていて、自分から助けを求められない子どもたちをもっと、周りが敏感に感じ取って、早く助けてあげてほしいです。
3	虐待の子のニュースは、子どもが小さい時、自分にもおこりえるかもしれないと思うくらいつらい時もありましたので、見守って下さる方がいるといいなと思います。
4	虐待が多い（ニュースでもよく耳にする）ので、そのような子が、すぐ保護される施設ができればよいのと思う。
5	1人でも虐待を受ける子どもが少なくなればと思いますし、親へのサポートをお願いいたします。

= 「家族と暮らすことのできない子どもへの支援」の理由（24件） =

【主な理由】

主な理由	
1	どんな環境にある子どもも明るく将来を見通せる様支援してもらいたい。
2	親からの虐待から守るための場所の門を広げ受け入れやすく、子どもからの SOS、親自身からの SOS を聞き取りやすい状況。新しい家族。
3	ニュース等で、育児放棄や虐待が増えている様感じます。その時、子ども達の受け皿になる施設がもっとあれば良いと思います。
4	色々な事情で家庭と暮らせない子が肩身が狭く生活しにくい環境だと思うので。
5	児童虐待を防止する事はとても難しいとニュース等を見て感じるので、せめて子ども達の受け皿になる施設の充実を。

= 「ひとり親の子どもやその家族への支援」の理由 (57件) =

【主な理由】

主な理由	
1	ひとり親で頼れる人がいないと仕事が満足にできず、収入に影響があり、生活が苦しい。
2	周りに同じような人がいないので、相談しにくい。苦しかったり、つらかったりしても自分の中でためこんで苦しかったのだ。
3	離婚した場合でも母親の貧困をなくしたり、負担を軽くして欲しい。
4	ひとり親の就労支援や障がいがある親子の支援をもっとしてほしい。もしくは情報提供がほしい。
5	ひとり親、特に母一人だと収入が低いので支援して欲しい。

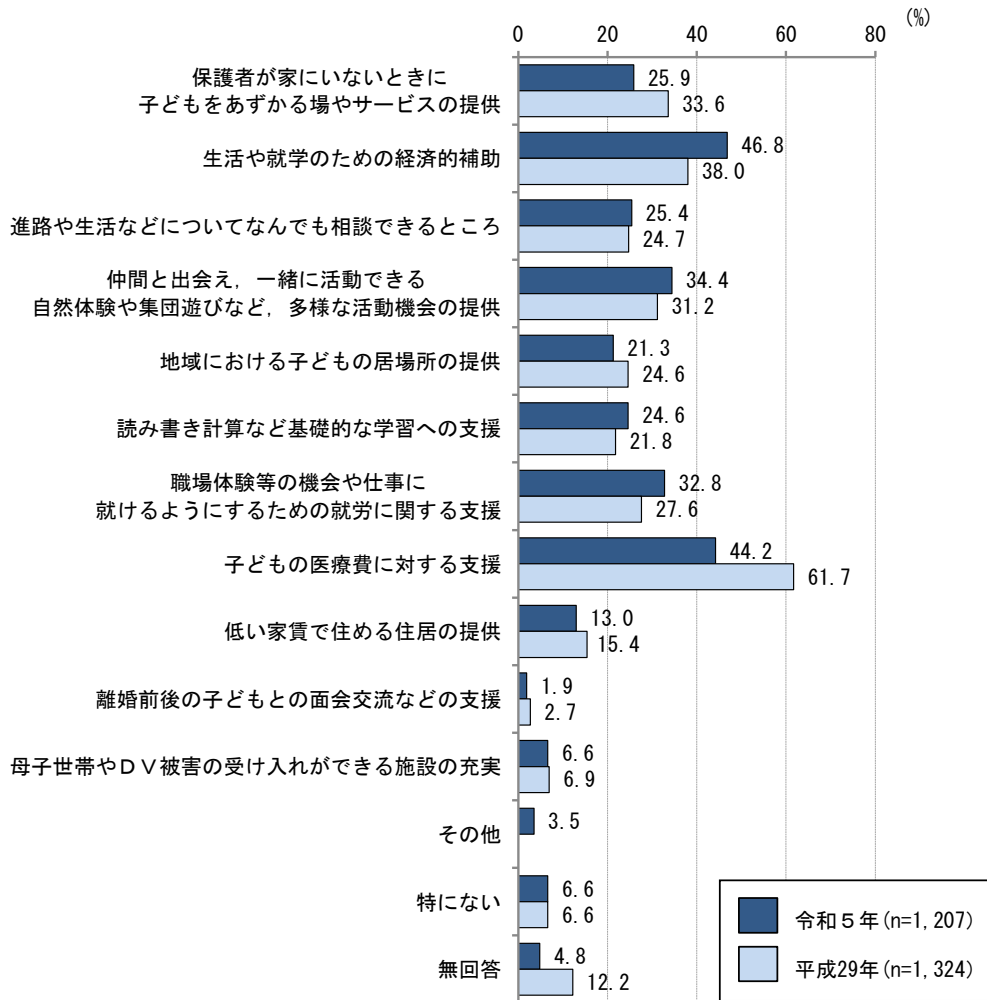
= 「障がいのある子どもやその家族への支援」の理由 (97件) =

【主な理由】

主な理由	
1	両親が働いている場合、夏休みなど長期休み時、デイの預り時間が短縮されているので困っている。
2	支援が必要な子を養育している家族が子の困まり感を理解していない人が多いと思うので、福祉サービス等利用周知や、理解していない人に子どもの事を理解させる何かをして欲しい。
3	障がいのあるお子さんは、実の親でさえ接し方が難しく、親への負担が大きいと思います。なのでその子が大人になった時に、ちゃんと自立して生活が出来る状態まで、支援する必要があると思う。
4	子どもが、病気で学校へ行けない日々が続いています。通院なども多いです。子ども医療費受給が中学生までなので、これから先が不安です。高校生までになることを切望します。
5	発達障がいの子がいるが、同じような子を持つ方と接することがないので、話したりできる場所があればと思う。

保護者票問 33. あなたとあなたの子どもにとって、現在、または将来的に、どのような支援があると良いと思いますか。(MA)

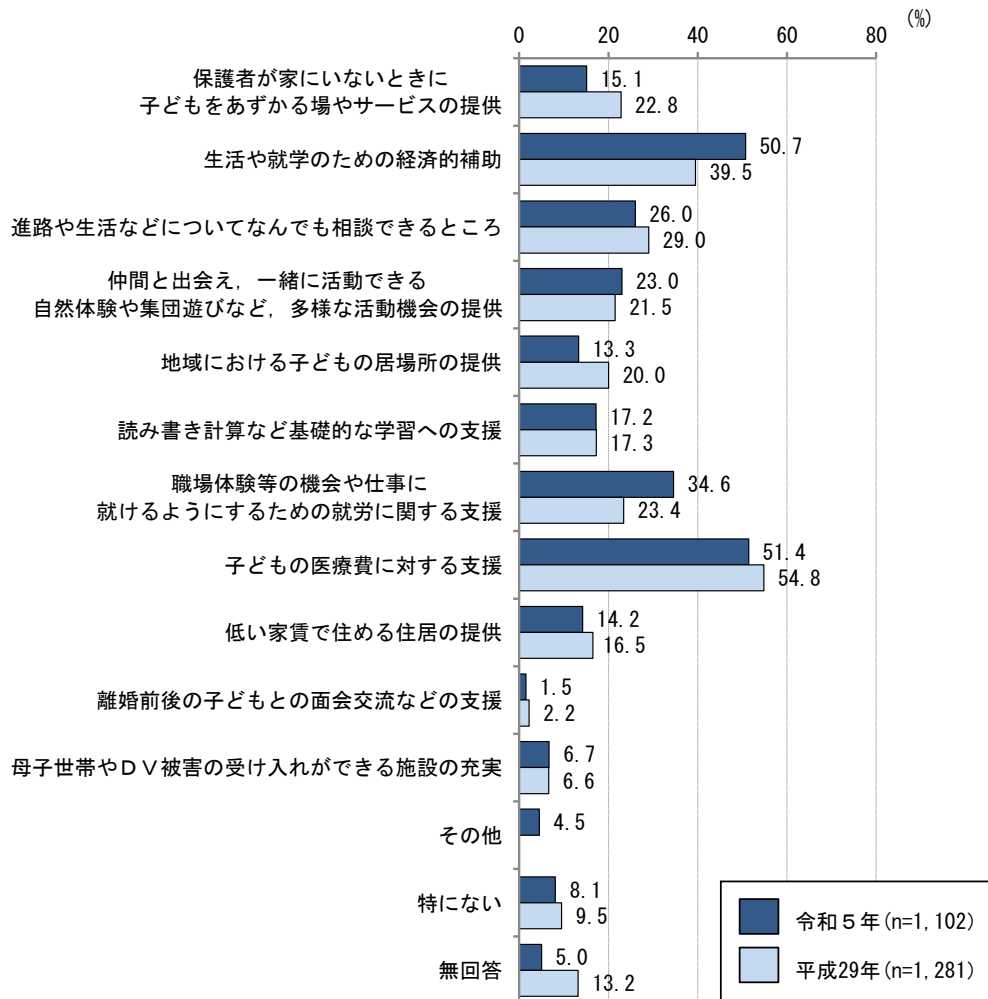
【小学5年生の保護者】



※平成29年に「その他」の項目なし

保護者と子どもにとって望む支援について、小学5年生の保護者では、「生活や就学のための経済的補助」が46.8%と最も高く、次いで「子どもの医療費に対する支援」が44.2%、「仲間と出会え、一緒に活動できる自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」が34.4%などの順となっている。前回調査と比較すると、「生活や就学のための経済的補助」は、令和5年(46.8%)が平成29年(38.0%)を8.8ポイント、「職場体験等の機会や仕事に就けるようにするための就労に関する支援」は、令和5年(32.8%)が平成29年(27.6%)を5.2ポイント上回っている。

【中学2年生の保護者】



※平成29年に「その他」の項目なし

保護者と子どもにとって望む支援について、中学2年生の保護者では、「子どもの医療費に対する支援」が51.4%と最も高く、次いで「生活や就学のための経済的補助」が50.7%、「職場体験等の機会や仕事に就けるようにするための就労に関する支援」が34.6%などの順となっている。前回調査と比較すると、「生活や就学のための経済的補助」は、令和5年（50.7%）が平成29年（39.5%）を11.2ポイント、「職場体験等の機会や仕事に就けるようにするための就労に関する支援」は、令和5年（34.6%）が平成29年（23.4%）を11.2ポイント上回っている。

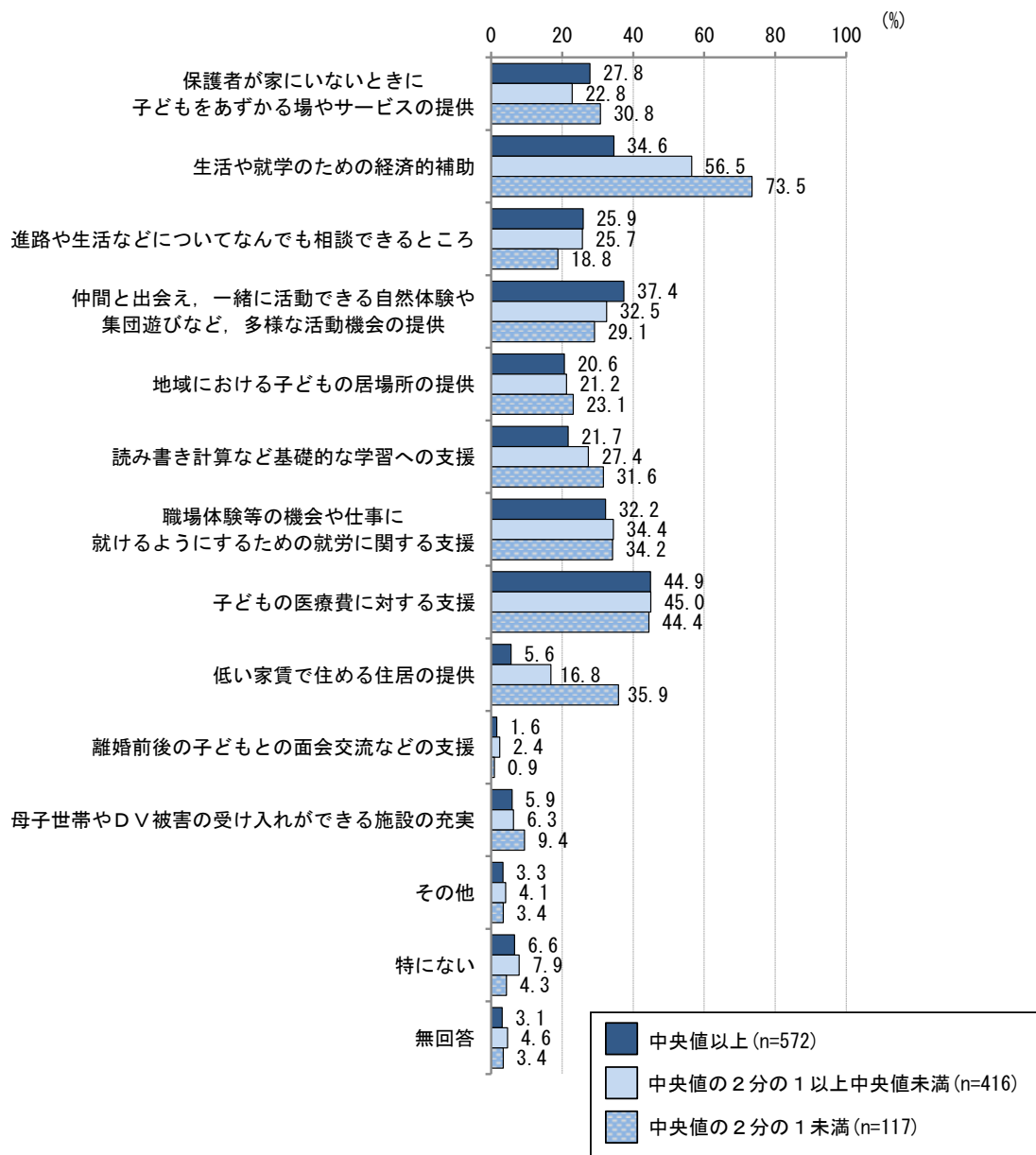
【その他の意見】

(件)

自由意見	意見数
学校について	32
支援制度について	16
医療・健診について	7
経済的不安について	4
仕事と子育ての両立について	4
学習環境について	4
習いごとについて	3
相談について	2
遊び場について	2
障がい福祉・療育について	2
イベントについて	1
その他	9

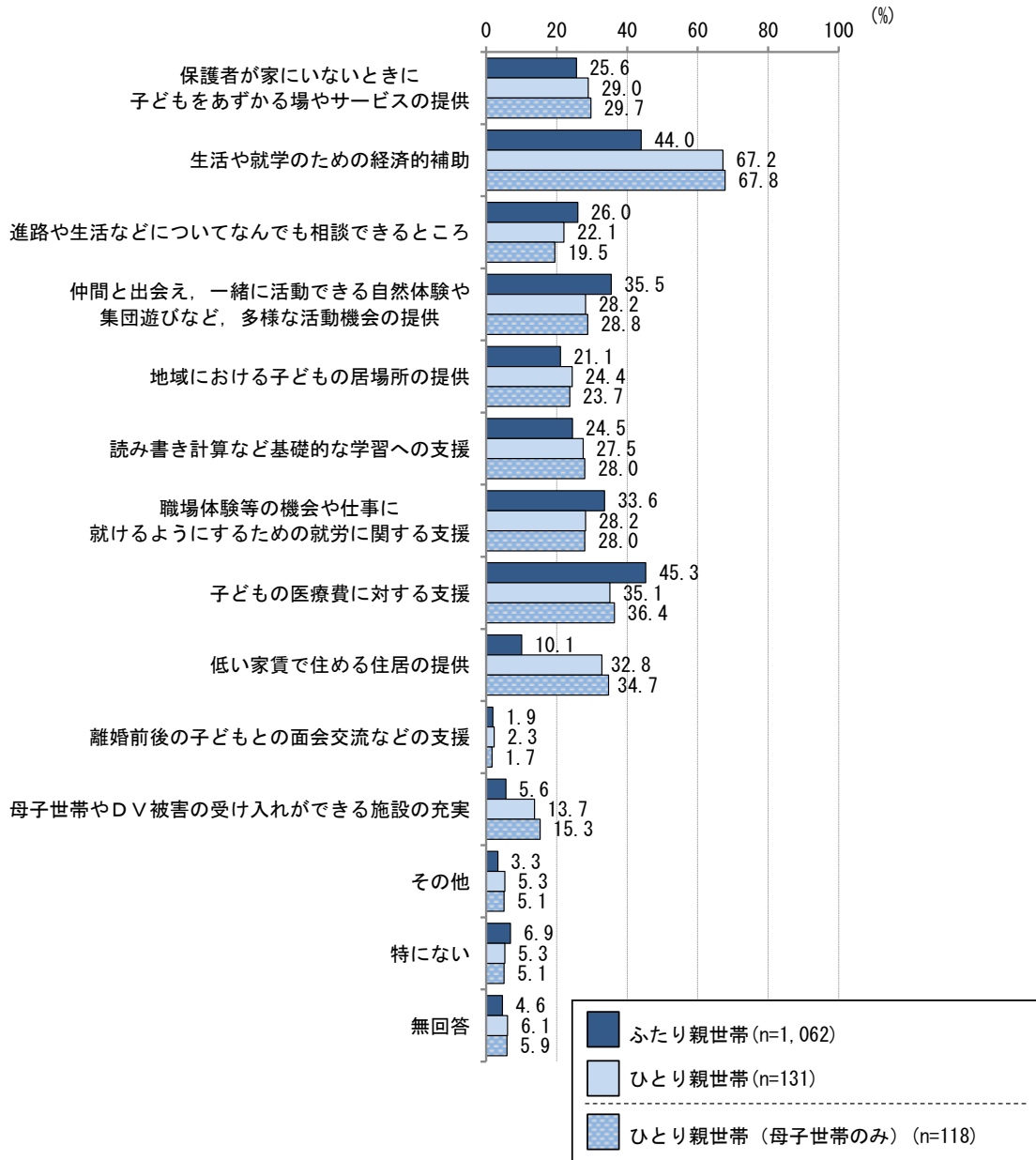
保護者と子どもにとって望む支援のその他の意見について、学校や支援制度についての意見が多数みられる。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



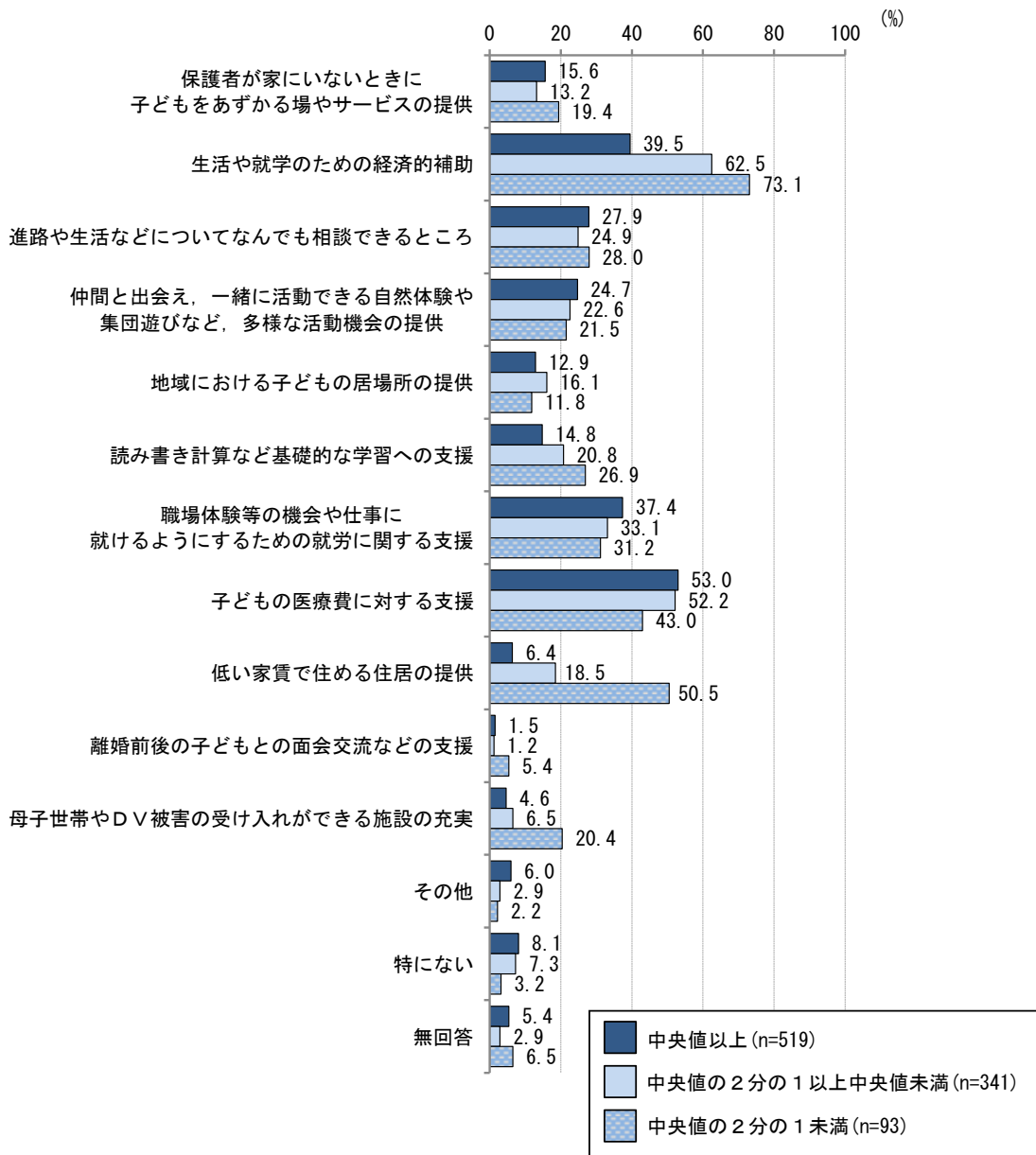
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「生活や就学のための経済的補助」が73.5%、「読み書き計算など基礎的な学習への支援」が31.6%、「低い家賃で住める住居の提供」が35.9%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



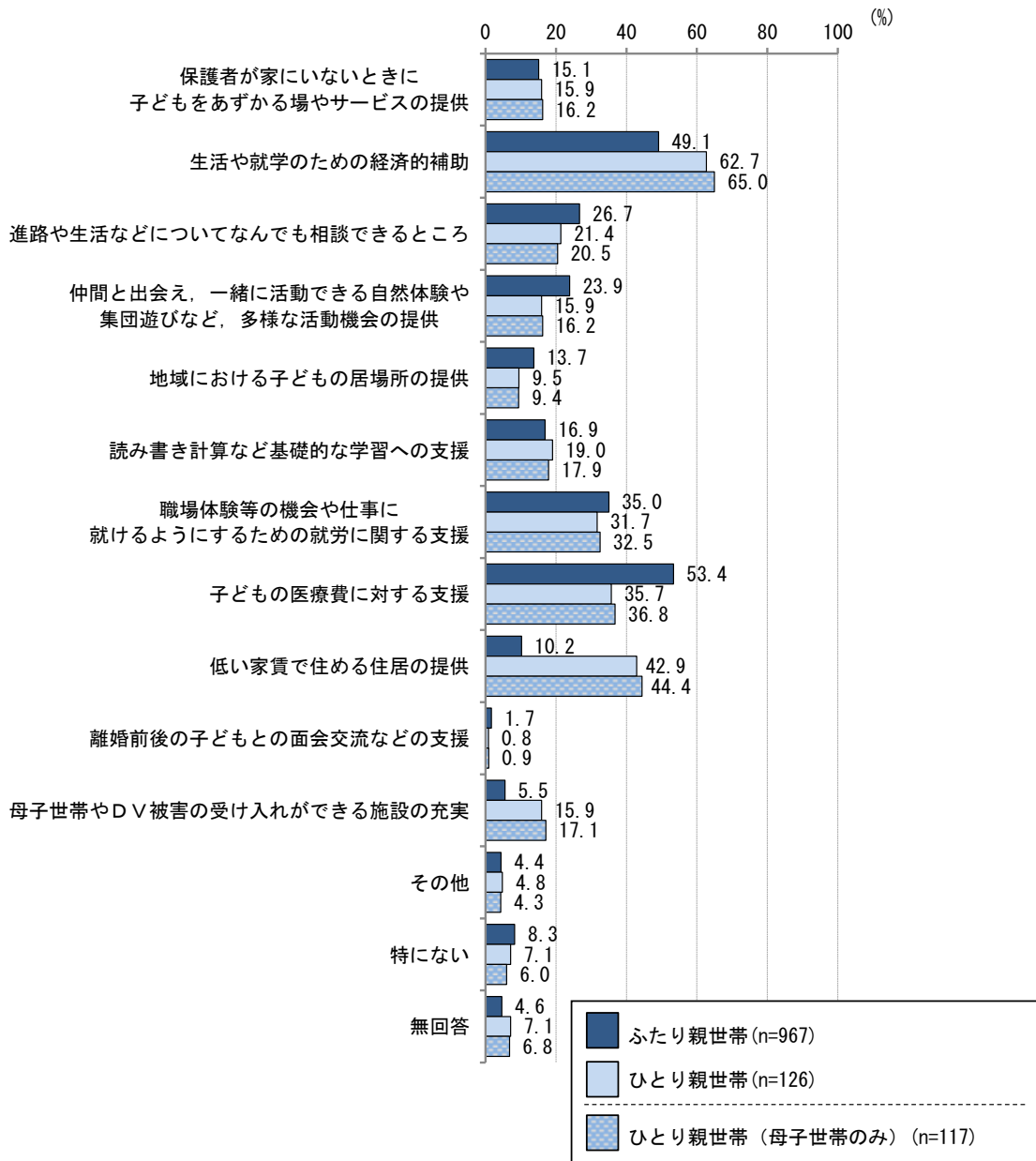
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「生活や就学のための経済的補助」が67.2%、「低い家賃で住める住居の提供」が32.8%、「母子世帯やDV被害の受け入れができる施設の充実」が13.7%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「生活や就学のための経済的補助」が73.1%、「読み書き計算など基礎的な学習への支援」が26.9%、「低い家賃で住める住居の提供」が50.5%、「母子世帯やDV被害の受け入れができる施設の充実」が20.4%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】

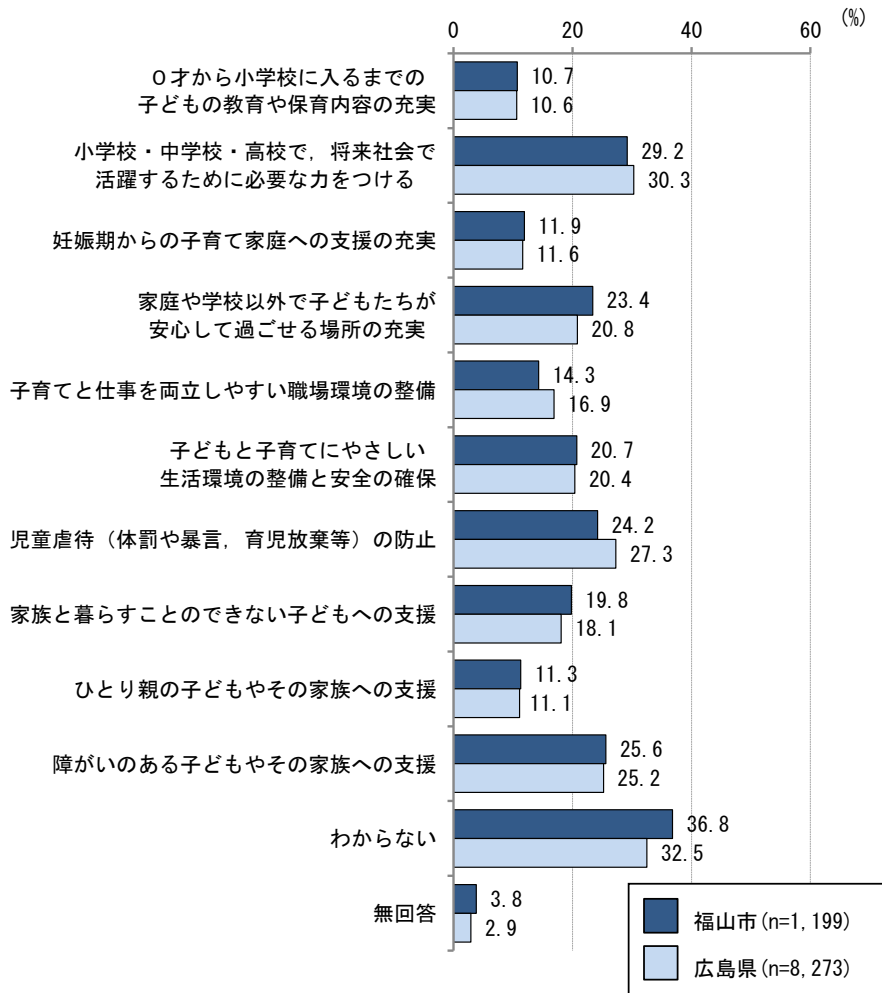


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「生活や就学のための経済的補助」が62.7%、「低い家賃で住める住居の提供」が42.9%、「母子世帯やDV被害の受け入れができる施設の充実」が15.9%と高くなっている。

(2) 子どもの状況

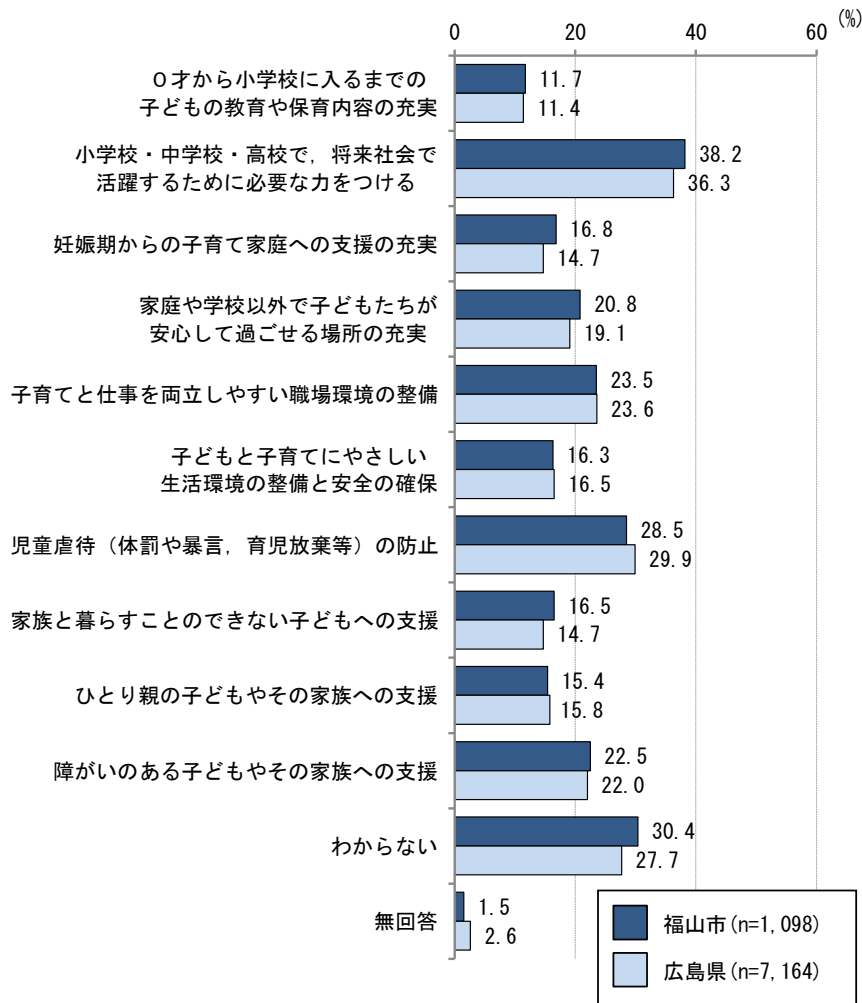
子ども票問 26. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(3つまで)

【小学5年生】



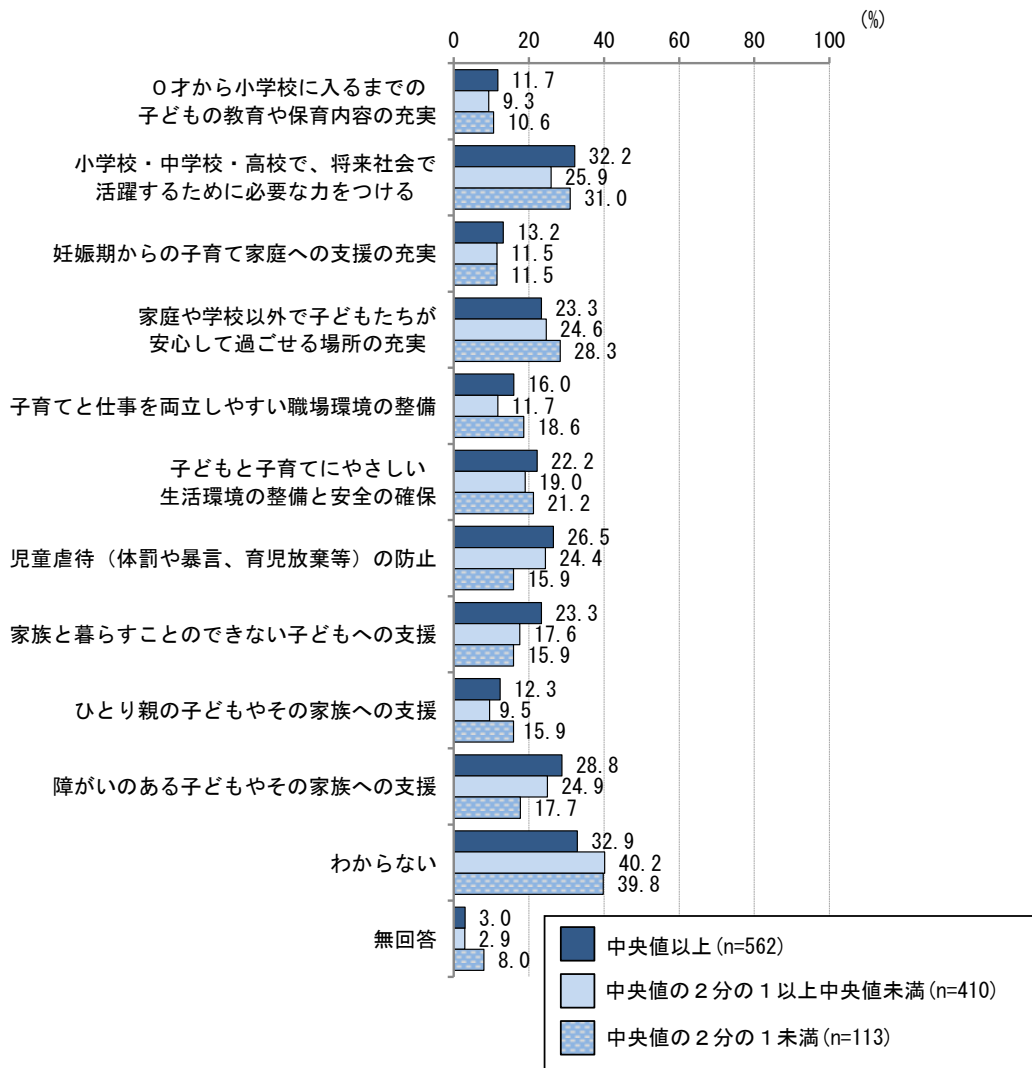
力を入れてほしい子どもに関する取組について、小学5年生では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が29.2%と最も高く、次いで「障がいのある子どもやその家族への支援」が25.6%、「児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止」が24.2%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生】



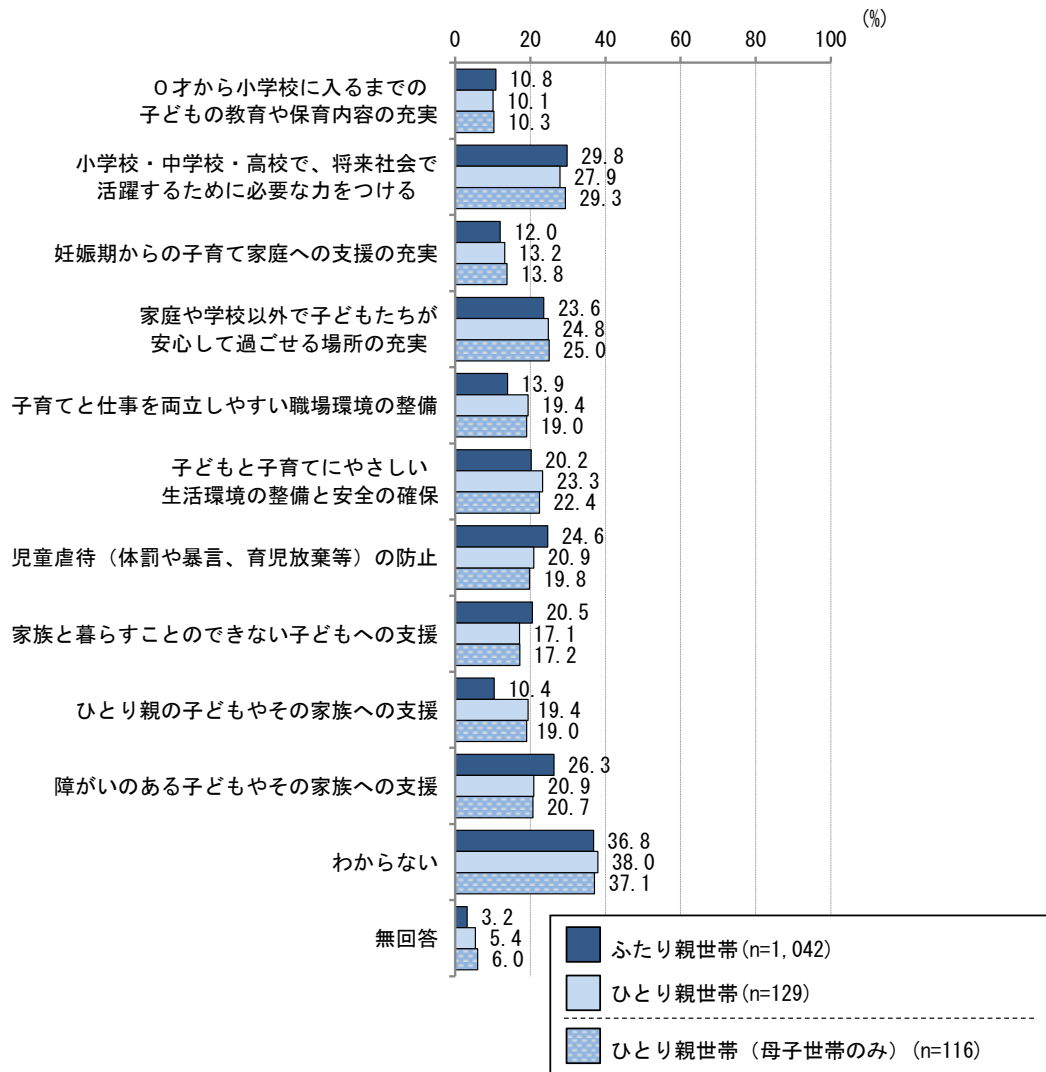
中学2年生では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が38.2%と最も高く、次いで「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」が28.5%、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が23.5%などの順となっている。また、「わからない」は30.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



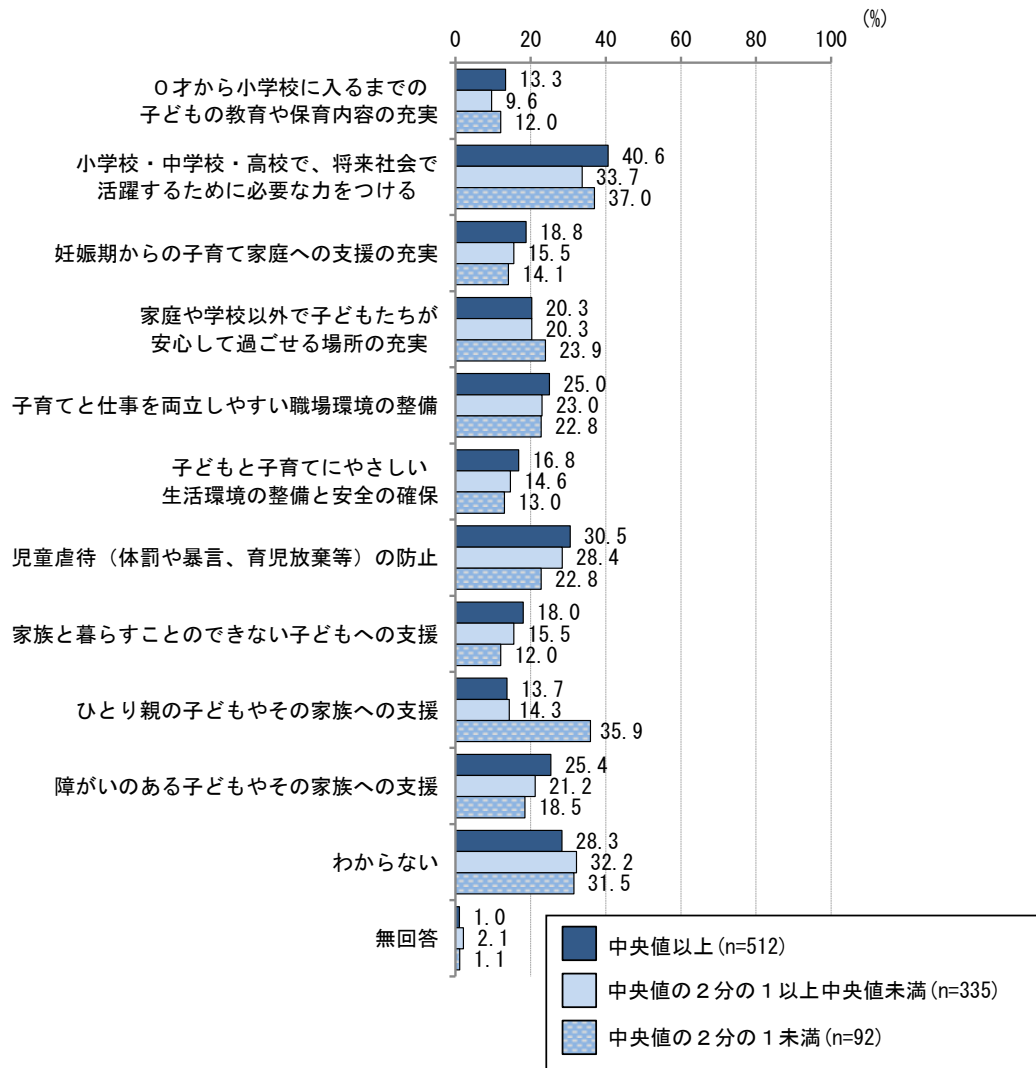
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」が28.3%他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



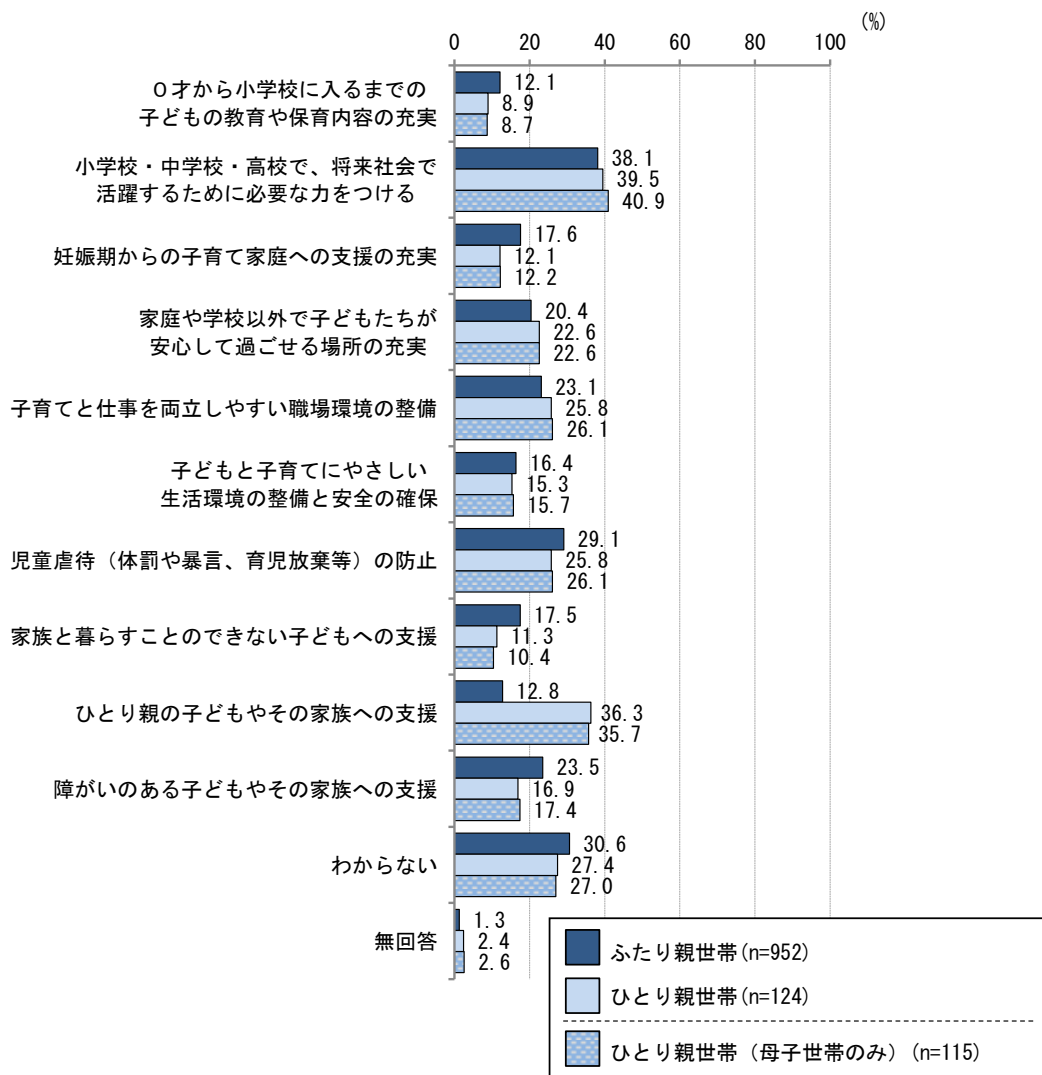
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が19.4%、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が19.4%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が35.9%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」は「ふたり親世帯」に比べて、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が36.3%と高くなっている。

※問 26 で「特に力を入れてほしい取組」と答えた方に

子ども票問 27. 理由があれば教えてください。(FA)

＝ 「0才から小学校に入るまでの子どもの教育や保育内容の充実」の理由 (46件) ＝

【主な理由】

主な理由	
1	幼稚園, 保育所に, 入れない人もいるかもだから。
2	少しでも小学校に入るまでに勉強をしていれば, 勉強にしっかりついていけると思うから。
3	小さい頃から人とのつきあい方を学んで, 小学校以降から人と接しやすい子が増えたらいいなと思うから。
4	ニュースで, 保育所の子が, 暴力をうけていると聞いていました。先生に, なやみごとがないかなど聞いてほしいです。
5	乳幼児期に脳や神経系, 体が著しく発達する時期であるため, そのころの運動や勉強のきかいを増やしたり, 家庭環境を整えたりすることが大切だと思うから。

＝ 「小学校・中学校・高校で, 将来社会で活躍するために必要な力をつける」の理由 (155件) ＝

【主な理由】

主な理由	
1	社会にでたりするとやっぱりコミュニケーションが高い方がいいし学んできた場所から活やくしてどんだん力をつけてほしいから。
2	日本人は自己肯定感が低いときいたことがあるので, 学力が高まれば, 自分に自信がもてて, 自己肯定感が高まると思ったから。
3	自分の学校は勉強ができる人とできない人の差がはげしくて, できない人はきそがあまり定着していないから。
4	大学までの資金援助を充実させることで, 貧しい家庭でも授業を受けれるようにすることで, 県民の基礎学力を上げ, 経済をまわすことができるから。
5	受験などでも自己PRをするときいているので, 自己表現などをもっとみにつけたい。

= 「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」の理由 (69 件) =

【主な理由】

主な理由	
1	妊娠のときは、不安になったりすることがあるかもしれないから、力をいれてほしい。
2	広島県から、少子高齢化をなくすきっかけになってほしいのと、少しでも産婦さんの不安をとりのぞいて、立派な教育方法を教えるなどして、未来のある子ども達に学ばせてもらいたい。
3	最近、少子化が進んでいるので子どもがいる家庭や妊娠している人たちにもっと安心できるような所を増やしたらいいと思う。
4	支援が充実していて、いつでも相談できるといいなと思ったから。
5	お金がないから子どもを生まないという現状があるため、子どもがいる家庭への援助。

= 「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」の理由 (75 件) =

【主な理由】

主な理由	
1	1人だとかわい所もあるのでみんなが安心できる場所がほしい。
2	安心して過ごせる場所が充実していれば、毎日を楽しく安全にできると思いました。
3	家庭や学校がっらい子が安心できる場所があつたらいろんな人が安心できると思うから。
4	学校に行くのが怖かったりなどで、上手くできていない人がいるのなら落ち着いた所でそうだんや自分の安心できる場所をみつけてあげたいから。
5	最近公園で遊んでいる子どもたちに「うるさい」という大人が増えているから。

= 「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」の理由 (93 件) =

【主な理由】

主な理由	
1	親の仕事場で、弟の病院のため1カ月に1回(または2回)、学校行事などで休みたいのに休みすぎと言われてたらしいから。
2	おなかに赤ちゃんがいるのに、子育てするのは大変だし、お父さんの育休が取れないかもしれないから。
3	パパとママは早くお仕事に行っているのに帰って来るのがめっちゃおそいから。
4	仕事と育児が両立できず、子どもを放置してしまっている人もいるので、家の中でパソコンを使い仕事をできるようにしてほしい。
5	女の人は家事、男の人は仕事という概念がまだ少し残っているため。

= 「子どもと子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の理由 (74 件) =

【主な理由】

主な理由	
1	子連れの人が訪れにくい店があると思うから。
2	子育てしやすい環境だとお母さんもお父さんも子どもも嬉しい。
3	子どもの声がうるさくて、それを気にしすぎて毎日を楽しめない人もいるんじゃないかと思ったからです。
4	子育てしやすい環境で母子ともに健康に育っていくのがとても大切なことだと思ったから。
5	子育ては、とても大変だから、そういう場所があったら少しでも負担が減ると思うから。

= 「児童虐待（体罰や暴言，育児放棄等）の防止」の理由（163件） =

【主な理由】

主な理由	
1	虐待はとてつらいことだし，助けてくれる人がいない子もたくさんいると思ったから。助けてあげたい。
2	最近上の世代がぎゃくたいうける→下の世代が…となることをしたから。
3	虐待された子がそのまま死んでしまったり，自分はいらない子，必要のない子と思って自殺したり，病んでしまったりしてほしくないから。
4	ニュースによくでる話題だから。そして，虐待されている子が可哀そうだから。
5	相談しにくかったりすると思うし，私が相談されたとしても助けることは難しいからそういう人がいると気持ちが楽になると思う。

= 「家族と暮らすことのできない子どもへの支援」の理由（91件） =

【主な理由】

主な理由	
1	家族と暮らしていなかったら，経済的にも心理的にも不安があると思うから。
2	1人でも多くの人が幸せだと思える出来事や生活をおくってほしいため。
3	親の愛を知らない子どもがいるから，里親でも良いから一緒に暮らして親の愛を知ってほしいと思ったから。
4	一人よりも多い人数がいたり頼れる人がいた方がいいから。
5	家族といっしょにさせない子は，いっしょに暮らしたいと思っているだろうし，家族としあわせに暮らしたいと思うしおでかけしたいと思うから。

= 「ひとり親の子どもやその家族への支援」の理由 (60 件) =

【主な理由】

主な理由	
1	夜おそくまで仕事をして、子どもがさみしい思いををすると思う。子どもはさんかんびなどの行事に来てほしいと思ったから。
2	自分がそうで、支援があると安心だと感じた。
3	自分が片親になったときに片親だからといって家族の時間がなくなったらいやだから。
4	身近にその子がいたし、これからも、苦しい生活をしてほしくないから。
5	片親は、収入が安定していなかったりする家庭も多く存在し、そのために支援は必要だと思うから。

= 「障がいのある子どもやその家族への支援」の理由 (130 件) =

【主な理由】

主な理由	
1	まだ障がいの人に対して自分とは関係ないものと考えている人が多いため、障がい者の理解もかねて福祉サービスを発達させる。
2	「障がいがあるから無理」とかいう変な考えを持つてる大人がたまにいるから。
3	設備をつけてあげたら障がいがある子だけじゃなく、みんなが助かるから。
4	だれもがびょうどうに社会生活を楽しんでほしいから。
5	私は障がいを持っていて、この先もっと暮らしやすくなってほしいため。

1 等価世帯収入の算出

IV 参考資料

1 等価世帯収入の算出

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする）。

○上記の値を、保護者票問3で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

●等価世帯収入の中央値：275万円，等価世帯収入の中央値の2分の1：137.5万円

【小学5年生世帯】

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
10.21	1	0.1	0.1
11.18	1	0.1	0.2
12.5	1	0.1	0.2
14.43	1	0.1	0.3
28.35	1	0.1	0.4
33.54	1	0.1	0.5
37.5	4	0.3	0.8
43.3	2	0.2	1.0
51.03	2	0.2	1.2
53.03	1	0.1	1.2
55.9	3	0.2	1.5
62.5	5	0.4	1.9
66.14	1	0.1	2.0
71.44	3	0.2	2.2
72.17	10	0.8	3.1
78.26	7	0.6	3.6
85.04	3	0.2	3.9
87.5	7	0.6	4.5
88.39	4	0.3	4.8
91.86	3	0.2	5.1
100.62	8	0.7	5.7
101.04	9	0.7	6.5
103.94	1	0.1	6.5
112.27	3	0.2	6.8
112.5	5	0.4	7.2
122.84	2	0.2	7.4
122.98	7	0.6	8.0
123.74	2	0.2	8.1
125	1	0.1	8.2
129.9	7	0.6	8.8
132.58	2	0.2	8.9
132.68	8	0.7	9.6
134.4	1	0.1	9.7

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
137.5	9	0.7	10.4
141.74	3	0.2	10.7
145.34	12	1.0	11.7
150.26	1	0.1	11.8
153.09	7	0.6	12.3
158.33	2	0.2	12.5
158.77	7	0.6	13.1
159.1	4	0.3	13.4
160.63	1	0.1	13.5
162.5	14	1.2	14.7
167.71	10	0.8	15.5
167.94	2	0.2	15.7
173.51	6	0.5	16.2
173.93	1	0.1	16.2
179.53	4	0.3	16.6
187.5	30	2.5	19.1
187.64	7	0.6	19.6
190.07	13	1.1	20.7
193.92	14	1.2	21.9
194.45	9	0.7	22.6
207.88	6	0.5	23.1
212.43	34	2.8	25.9
212.5	32	2.7	28.6
216.51	14	1.2	29.7
224.54	22	1.8	31.6
229.81	4	0.3	31.9
237.5	50	4.1	36.0
245.37	8	0.7	36.7
245.68	7	0.6	37.3
245.97	47	3.9	41.2
265.17	1	0.1	41.3
265.36	21	1.7	43.0
274.24	14	1.2	44.2

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
275	65	5.4	49.5
283.33	1	0.1	49.6
283.47	3	0.2	49.9
290.69	53	4.4	54.3
300.52	3	0.2	54.5
306.19	13	1.1	55.6
317.54	17	1.4	57.0
321.27	5	0.4	57.4
325	66	5.5	62.9
335.41	38	3.1	66.0
335.88	3	0.2	66.3
347.01	6	0.5	66.8
359.07	4	0.3	67.1
371.23	1	0.1	67.2
375	46	3.8	71.0
375.28	9	0.7	71.7
380.13	30	2.5	74.2
387.84	8	0.7	74.9
396.86	5	0.4	75.3
424.85	22	1.8	77.1
425	31	2.6	79.7
428.66	6	0.5	80.2
433.01	13	1.1	81.3
459.62	2	0.2	81.4
469.57	13	1.1	82.5
475	30	2.5	85.0
490.75	6	0.5	85.5
525	54	4.5	90.0
530.33	2	0.2	90.1
548.48	5	0.4	90.6
601.04	1	0.1	90.6
606.22	10	0.8	91.5
742.46	1	0.1	91.5

無回答	102	8.5	100.0
-----	-----	-----	-------

1 等価世帯収入の算出

【中学2年生世帯】

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
9.45	1	0.1	0.1
10.21	1	0.1	0.2
14.43	1	0.1	0.3
17.68	1	0.1	0.4
30.62	1	0.1	0.5
37.5	2	0.2	0.6
43.3	4	0.4	1.0
51.03	1	0.1	1.1
62.5	6	0.5	1.6
66.14	1	0.1	1.7
71.44	1	0.1	1.8
72.17	5	0.5	2.3
78.26	3	0.3	2.5
87.5	4	0.4	2.9
88.39	2	0.2	3.1
91.86	3	0.3	3.4
97.23	1	0.1	3.4
100.62	8	0.7	4.2
101.04	8	0.7	4.9
103.94	1	0.1	5.0
112.27	3	0.3	5.3
112.5	5	0.5	5.7
122.84	3	0.3	6.0
122.98	7	0.6	6.6
123.74	8	0.7	7.4
129.9	9	0.8	8.2
132.58	1	0.1	8.3
132.68	1	0.1	8.3
134.4	1	0.1	8.4

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
137.5	10	0.9	9.3
145.34	13	1.2	10.5
150.21	1	0.1	10.6
150.26	1	0.1	10.7
153.09	8	0.7	11.4
158.77	7	0.6	12.1
159.1	2	0.2	12.3
160.63	2	0.2	12.4
162.5	16	1.5	13.9
167.71	13	1.2	15.1
173.51	6	0.5	15.6
179.53	2	0.2	15.8
187.5	20	1.8	17.6
187.64	8	0.7	18.3
190.07	14	1.3	19.6
193.92	15	1.4	21.0
194.45	5	0.5	21.4
207.88	7	0.6	22.1
212.43	26	2.4	24.4
212.5	21	1.9	26.3
216.51	8	0.7	27.0
224.54	16	1.5	28.5
229.81	5	0.5	28.9
237.5	31	2.8	31.8
245.37	8	0.7	32.5
245.68	7	0.6	33.1
245.97	37	3.4	36.5
250	1	0.1	36.6
265.17	3	0.3	36.8
265.36	14	1.3	38.1
274.24	14	1.3	39.4

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
275	53	4.8	44.2
283.47	4	0.4	44.6
290.69	46	4.2	48.7
300.52	4	0.4	49.1
306.19	14	1.3	50.4
317.54	18	1.6	52.0
321.27	1	0.1	52.1
325	60	5.4	57.5
335.41	37	3.4	60.9
347.01	7	0.6	61.5
350	1	0.1	61.6
359.07	1	0.1	61.7
371.23	3	0.3	62.0
375	53	4.8	66.8
375.28	16	1.5	68.2
380.13	39	3.5	71.8
387.84	4	0.4	72.1
388.91	1	0.1	72.2
396.86	2	0.2	72.4
424.85	13	1.2	73.6
425	32	2.9	76.5
428.66	11	1.0	77.5
433.01	3	0.3	77.8
459.62	1	0.1	77.9
469.57	21	1.9	79.8
475	27	2.5	82.2
490.75	7	0.6	82.8
525	26	2.4	85.2
548.48	6	0.5	85.8
606.22	8	0.7	86.5

無回答	149	13.5	100.0
-----	-----	------	-------

2 調査票

(1) 保護者票



ばらのまち福山
イメージキャラクター
「ローラ」

ふくやましこ せいかつ かん じったいちょうさ 福山市子どもの生活に関する実態調査

ほごしゃひょう 【保護者票】

- この調査は、小学5年生または中学2年生のお子さんがある保護者の方に、生活の状況やお子さんのことなどについて伺うため、福山市が実施するものです。調査の結果は、子どもたちの支援や子育て世帯等への施策に役立てることを目的としています。
- この調査票は、小学5年生または中学2年生のお子さんの保護者の方がお答えください。
- この調査は無記名です。名前を書く必要はありません。
- この調査票は、調査の目的以外には使用しません。ご回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- 学校は、提出された回答を、封がされた「提出用封筒」のまま福山市に提出しますので、アンケートの回答内容を学校が知ることはありません。
- また、回答の内容について、福山市や委託業者などから問い合わせることは一切ありません。
- ご回答は、回答の番号に○をつけてください。
- ご記入いただいた調査用紙は、緑色の封筒に入れ、他の人に見られないようにテープで封をして、お子さんに渡してください。
- 令和5年7月24日（月曜日）までに答えてください。
- この調査は、福山市が実施しています。学校では、配布と回収のみ行います。
- 調査に関するお問合せ、ご意見などは、次の福山市の担当までお願いいたします。

（お問合せ先）

福山市子ども企画課（8：30～17：15 土日・祝日を除く）

電話：084-928-1296 FAX：084-922-0846

Eメール：kodomu-kikaku@city.fukuyama.hiroshima.jp

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学5年生又は中学2年生のお子さんのことをいいます。「親」「母親」「父親」とは、継母や継父、母親や父親に代わる保護者の方を含みます。

問1 お子さんとなあたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1 ははおや 母親	2 ちちおや 父親
3 そふほ 祖父母	4 た その他

問2 あなたがお住まいの市町を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1 ひろしまし 広島市	2 くれし 呉市	3 たけはらし 竹原市	4 みはらし 三原市
5 おのみちし 尾道市	6 ふくやまし 福山市	7 ふちゅうし 府中市	8 みよしし 三次市
9 しょうばらし 庄原市	10 おおたけし 大竹市	11 ひがしひろしまし 東広島市	12 はつかいちし 廿日市市
13 あきたかたし 安芸高田市	14 えたじまし 江田島市	15 ふちゅうちょう 府中町	16 かいたちょう 海田町
17 くまのちょう 熊野町	18 さかちょう 坂町	19 あきおたちょう 安芸太田町	20 きだひろしまちょう 北広島町
21 おおさかみじまちょう 大崎上島町	22 せらちょう 世羅町	23 じんせきこうげんちょう 神石高原町	24 ひろしまけんがい 広島県外

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a~hそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) そほ 祖母	b) そふ 祖父	c) ははおや 母親	d) ちちおや 父親	h) 合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	2 2人
1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	3 3人
2 2人	2 2人	2 2人	2 2人	4 4人
e) あね あに 姉・兄	たいしょう こ 対象のお子さん (本人)	f) いもうと おとうと 妹・弟	g) た その他	5 5人
0 いない		0 いない	0 いない	6 6人
1 1人		1 1人	1 1人	7 7人
2 2人	1人	2 2人	2 2人	8 8人
3 3人		3 3人	3 3人	9 9人
4 4人以上		4 4人以上	4 4人以上	10 10人以上

問4 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。
(母 親 ・ 父 親 それぞれについて数字で回答, いない場合やわからない場合は「—」と記入)

ははおや 母親		さい 歳		ちちおや 父親		さい 歳
------------	--	---------	--	------------	--	---------

問5 お子さんのご家族のうち, 現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。
(1~3については, あてはまるものすべてに○)

1 お子さんの母親が単身赴任中	2 お子さんの父親が単身赴任中
3 その他	4 単身赴任中の者はいない

問6 お子さんと同居し, 生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

1	結婚している (再婚や事実婚を含む。)
2	離婚
3	死別
4	未婚
5	わからない
6	いない

問7 前問で「2 離婚」を選んだ場合, 離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1	取り決めをしており, 受け取っている
2	特に取り決めはしていないが, 受け取っている
3	取り決めをしているが, 受け取っていない
4	取り決めをしておらず, 受け取っていない

問8 ご家庭ではどれくらい, 日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

1	日本語のみを使用している
2	日本語以外の言語も使用しているが, 日本語の方が多い
3	日本語以外の言語を使うことが多い

問9 ^こお子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) ^{ははおや} 母親	b) ^{ちちおや} 父親
^{ちゅうがく} 中学	1	1
^{ちゅうがく} 中学, ^{こうこう} 高校	2	2
^{ちゅうがく} 中学, ^{こうこう} 高校, ^{せんもんがっこう} 専門学校	3	3
^{ちゅうがく} 中学, ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校	4	4
^{ちゅうがく} 中学, ^{こうこう} 高校, ^{たんだい} 短大	5	5
^{ちゅうがく} 中学, ^{こうこう} 高校 (または ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校), ^{だいがく} 大学	6	6
^{ちゅうがく} 中学, ^{こうこう} 高校 (または ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校), ^{だいがく} 大学, ^{だいがくいん} 大学院	7	7
^た その他	8	8
わからない	9	9
いない	10	10

問10 ^こお子さんの親の^{しゅうろうじょうきょう}就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) ^{ははおや} 母親	b) ^{ちちおや} 父親
^{せいしやくいん} 正社員・ ^{せいきしやくいん} 正規職員・ ^{かいしゃやくいん} 会社役員	1	1
^{しよくだく} 嘱託・ ^{けいやくしやくいん} 契約社員・ ^{はけんしやくいん} 派遣職員	2	2
^{ぱーと} パート・ ^{あるぱいと} アルバイト・ ^{ひやと} 日雇い・ ^{ひじょうきんしやくいん} 非常勤職員	3	3
^{じえいぎょう} 自営業 (家族従業者, ^{ないしやく} 内職, ^{じゆうぎょう} 自由業, ^{ふく} フリーランスを含む。)	4	4
^{はたら} 働いていない (専業主婦/主夫を含む。)	5	5
わからない	6	6
いない	7	7

a, b いずれかで5を選んだ場合は問11に進んでください。

↓
問 11 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	ははおや a) 母親	ちちおや b) 父親
はたら 働きたいが、きぼう 希望する条件のじふごと 仕事がないため	1	1
こそだ 子育てをゆうせん 優先したいため	2	2
かぞく 家族のかいご 介護・かいじょ 介助のため	3	3
じぶん 自分のびょうき 病気やしょうがい 障がいのため	4	4
つうがく 通学しているため	5	5
た りゆう その他理由	6	6

問 12 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 認可保育所・認定こども園
- 2 その他の教育・保育等の施設
- 3 親・親族以外の個人
- 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
- 5 その他

問 13 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 幼稚園・認可保育所・認定こども園
- 2 その他の教育・保育等の施設
- 3 親・親族以外の個人
- 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
- 5 その他

問 14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

(a～e それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば、	あてはまらない どちらかといえば、	あてはまらない
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
e) SNS やインターネット上のトラブルにまきこまれなようなルールを決めている	1	2	3	4

問 15 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問 16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|---|
| 1 | ちゅうがく
中学 |
| 2 | ちゅうがく こうこう
中学, 高校 |
| 3 | ちゅうがく こうこう せんもんがっこう
中学, 高校, 専門学校 |
| 4 | ちゅうがく ねんせい こうとうせんもんがっこう
中学, 5年制の高等専門学校 |
| 5 | ちゅうがく こうこう たんだい
中学, 高校, 短大 |
| 6 | ちゅうがく こうこう ねんせい こうとうせんもんがっこう だいがく
中学, 高校 (または5年制の高等専門学校), 大学 |
| 7 | ちゅうがく こうこう ねんせい こうとうせんもんがっこう だいがく だいがくいん
中学, 高校 (または5年制の高等専門学校), 大学, 大学院 |
| 8 | その他 |
| 9 | まだわからない ➡ 問 18 に進んでください。 |

問 17 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

(1～5については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1 | こ お子さんがそう希望しているから |
| 2 | いっぱんてき しんろ おち
一般的な進路だと思うから |
| 3 | こ がくりよく かんが
お子さんの学力から考えて |
| 4 | かてい けいざいてき じょうきょう かんが
家庭の経済的な状況から考えて |
| 5 | その他 |
| 6 | とく りゆう
特に理由はない |

問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

(a~c それぞれについて、1~3のあてはまるもの1つに○)

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

(①~⑦のあてはまるものすべてに○)

	こそだ a) 子育てに かん そうだん 関する相談	しゅうよう b) 重要な ことがら そうだん 事柄の相談	c) いざと とき いう時の かね えんじょ お金の援助
たよ ひと 頼れる人がいる	1	1	1
かぞく しんぞく 家族・親族	①	①	①
ゆうじん ちじん 友人・知人	②	②	②
きんじょ ひと 近所の人	③	③	③
しよくば ひと 職場の人	④	④	④
みんせいいいん じどういいん 民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤
そうだん しえん しかん ふくし ひと 相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥
た その他	⑦	⑦	⑦
いない	2	2	2
そのことではひと たよ そのことでは人に頼らない	3	3	3

↓
①~⑦のあてはまるものすべてに○
1に○をつけた場合、

問 19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|------------------|
| 1 | たいへん
大変ゆとりがある |
| 2 | ゆとりがある |
| 3 | ふつう |
| 4 | くる
苦しい |
| 5 | たいへんくる
大変苦しい |

問 20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

※2022年の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の収入が含まれます。

- ・勤め先収入（定期収入、賞与等）
- ・事業収入（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
- ・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）
- ・資産収入（預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。）
- ・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

1	50万円未満	9	400～450万円未満
2	50～100万円未満	10	450～500万円未満
3	100～150万円未満	11	500～600万円未満
4	150～200万円未満	12	600～700万円未満
5	200～250万円未満	13	700～800万円未満
6	250～300万円未満	14	800～900万円未満
7	300～350万円未満	15	900～1000万円未満
8	350～400万円未満	16	1000万円以上

問 21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。（あてはまるもの1つに○）

1	よくあった
2	ときどきあった
3	まれにあった
4	まったくなかった

問 22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

(あてはまるもの1つに○)

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 まれにあった
- 4 まったくなかった

問 23 あなたの世帯では、過去1年の間に、次の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

- 1 電気料金
- 2 ガス料金
- 3 水道料金
- 4 あてはまるものはない

問 24 あなたの世帯では、過去1年の間に、次の費用の支払いについて、負担に感じたものがありますか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 授業料・学校納付金(給食費含む)
- 2 塾など、学校外でかかる教育費
- 3 習いごと(スポーツなど以外)
- 4 スポーツクラブ・部活動
- 5 お子さんの昼食代(弁当代含む)、夕食代、おやつ代(外食含む)
- 6 お子さんの服・靴
- 7 お小遣い
- 8 (お子さんの)携帯・スマートフォンの代金
- 9 特に負担に感じた費用はない

問 25 次^{つぎ}の a~f の質問^{しつもん}について、この 1 か月間^{げつかん}のあなた^{きも}の気持ちはどのようでしたか。
 (a~f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
a) 神経過敏 ^{しんけいかびん} に感じた ^{かん}	1	2	3	4	5
b) 絶望的 ^{ぜつぼうてき} だと感じた ^{かん}	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく ^{おつ} 感じた ^{かん}	1	2	3	4	5
d) 気分 ^{きぶん} が沈み込んで、何が起 ^こ こっても気が ^な は ^お 晴れないように ^き 感じた ^{かん}	1	2	3	4	5
e) 何 ^{なに} をするのも面倒 ^{めんどう} だと感じた ^{かん}	1	2	3	4	5
f) 自分は価値 ^{じぶん} のない人間 ^{かち} だと感じた ^{にんげん}	1	2	3	4	5

問 26 全体^{ぜんたい}として、あなたは最近^{さいきん}の生活^{せいかつ}に、どのくらい満足^{まんぞく}していますか。「0」(まったく満足^{まんぞく}していない) から「10」(十分に満足^{じゅうぶん}している) の数字^{すうじ}で答^{こた}えてください。
 (あてはまるもの 1 つに○)

0 : まったく満足 ^{まんぞく} していない					←————→		10 : 十分に満足 ^{じゅうぶん} している				
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

問 27 あなたの家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前（2019年以前）と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020年から2022年）では、どのように変わりましたか。（a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 世帯全体の収入の変化	1	2	3
b) 生活に必要な支出の変化	1	2	3
c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	1	2	3
d) お子さんと話をするこ	1	2	3
e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問 28 あなたの家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（2020年から2022年）と現在を比べて、どのように変わりましたか。

（a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 世帯全体の収入の変化	1	2	3
b) 生活に必要な支出の変化	1	2	3
c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	1	2	3
d) お子さんと話をするこ	1	2	3
e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問 29 あなたの家庭では、次の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～e それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

(①～⑤のあてはまるもの1つに○)

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 自立支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・ 自立支援センター※5
現在利用している	1	1	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3
制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思おうから	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	②	②	②	②	②
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	③	③	③	③	③
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

①～⑤のあてはまるもの1つに○

参考

- ※1 就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。
- ※2 生活保護：病気や事故その他様々な事情で生活が成り立たなくなったとき、最低限度の生活を保障するとともに、自分の力で生活していけるように援助する制度。
- ※3 生活困窮者の自立支援相談窓口：失業や病気など様々な問題により、経済的な面で生活に困っている方のために、どうしたらいいかを一緒に考え、各種関係機関と連携しながら解決に向けてサポートする相談窓口。
- ※4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。(児童手当とは異なります。)
- ※5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる。

問30 あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。

(1～10については、あてはまるもの上位3つまでに○。11を選ぶ場合は1つのみ○)

- 1 0才から小学校に入るまでの子どもの教育や保育内容の充実
(例) 幼稚園・保育所・認定こども園などでの質の高い教育 など
- 2 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける
(例) ・基礎的な学力の定着
・勉強以外の思考力や表現力、コミュニケーション能力を伸ばす など
- 3 妊娠期からの子育て家庭への支援の充実
(例) ・妊娠や子育てに関することをいつでも気軽に相談できる場の充実
・産婦人科や小児科などの医療の充実 など
- 4 家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実
(例) 保育所や放課後児童クラブの充実 など
- 5 子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備
(例) ・育児や子育てのための休暇をとりやすくする
・パソコンを使って自宅で仕事をしたり、時間や場所を有効に活用する働き方など
- 6 子どもと子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保
(例) ・授乳室や子ども向けの無料サービスなど、子連れで訪れやすい店や施設を増やす
・公園施設や公共交通機関のバリアフリー化(子連れでもスムーズに移動できたり、色んな人が使いやすくする)
・子どもたちへの防災・防犯・交通安全の教育 など
- 7 児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止
- 8 家族と暮らすことのできない子どもへの支援
(例) ・施設での受け入れや退所後の自立支援
・里親やファミリーホーム(5～6人の子どもを里親が養育)を増やす など
- 9 ひとり親の子どもやその家族への支援
(例) 親の就業(仕事につくこと)や子育て、養育費や面会の取り決めなどへの支援
- 10 障がいのある子どもやその家族への支援
(例) ・障がいの種類や程度に応じた医療や福祉サービスを受けられる仕組み
・卒業後の自立や社会参加に向けた学習支援や学習環境の整備
- 11 わからない



問 31 前問で1～10と答えた場合、理由があれば教えてください。特に理由がない場合は、記載しなくても構いません。

えら ばんごう 選んだ番号	りゆう じゆう きさい 理由 (自由に記載)

問 32 子どものことについて、現在、悩んでいることはありますか。

(1～13については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|--|
| 1 | こ どもに基本的な生活習慣 (あいさつ, 規則正しい食生活, 整理整頓など) が
み 身についていない |
| 2 | こ どもに対するしつけや教育について, 相談する相手がない |
| 3 | はいぐうしゅ こ ぞだ きょうりょくてき
配偶者が子育てに協力的でない |
| 4 | こ どもに十分な食事や栄養を与えることができていない |
| 5 | こ どもに必要な医療を受けさせることができていない |
| 6 | こ どもの進学先や受験のことが心配である |
| 7 | こ どもの教育費のことが心配である |
| 8 | こ どもの身体の発育や病気が心配である |
| 9 | こ どものいじめなど, 友人関係が心配である |
| 10 | こ どもの非行や問題行動が心配である |
| 11 | りこん しんけん よういくひ しんばい
離婚における親権や養育費のことが心配である |
| 12 | こ どもにかかわる時間が取れない |
| 13 | その他 () |
| 14 | げんざい とく なや
現在, 特に悩みはない |

問 33 あなたとあなたの子どもにとって、現在、または将来的に、どのような支援があると良いとおもいますか。(1～12については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | 保護者が家にいないときに子どもをあずかる場やサービスの提供 |
| 2 | 生活や就学のための経済的補助 |
| 3 | 進路や生活などについてなんでも相談できるところ |
| 4 | 仲間と出会い、一緒に活動できる自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供 |
| 5 | 地域における子どもの居場所の提供 |
| 6 | 読み書き計算など基礎的な学習への支援 |
| 7 | 職場体験等の機会や仕事に就けるようにするための就労に関する支援 |
| 8 | 子どもの医療費に対する支援 |
| 9 | 低い家賃で住める住居の提供 |
| 10 | 離婚前後の子どもの面会交流などの支援 |
| 11 | 母子世帯やDV被害の受け入れができる施設の充実 |
| 12 | その他 () |
| 13 | 特にない |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(2) 小学生票



ぼらのまち福山
イメージキャラクター
「ローラ」

ふくやまし こ せいかつ かん じったいちょうさ 福山市子どもの生活に関する実態調査

しょうがくせいひょう 【小学生票】

- これは、福山市の子どもの生活状況などを調べるための調査で、福山市が実施しています。
- この調査票の回答は、あなたが自分で答えてください。おうちの方や学校の先生には見せる必要はありません。
- 名前は、書かないでください。
- 自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。
- この調査票は調査の目的以外には使用しません。また、この調査票では名前を書かないので、あなたがどのように答えたかはだれにもわかりません。
- 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
- のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」や「あてはまるものすべてに○」などと書いてありますので、それにしたがってください。
- 全部書き終わったら、自分で赤色の封筒に入れて、テープでとじてください。それを、おうちの方の封筒といっしょに、大きい封筒に入れて、先生の指示にしたがって出してください。
- 令和5年7月24日（月曜日）までに答えてください。
- この調査は、福山市が実施しています。学校では、配布と回収のみ行います。わからないことがありましたら、学校ではなく、次のところにお問い合わせください。

（お問い合わせ先）

福山市子ども企画課（8：30～17：15 土日・祝日を除く）

電話：084-928-1296 FAX：084-922-0846

Eメール：kodomo-kikaku@city.fukuyama.hiroshima.jp

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 男 <small>おとこ</small> |
| 2 | 女 <small>おんな</small> |
| 3 | その他・答えたくない <small>た こと</small> |

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1 | 自分で勉強する <small>じぶん べんきょう</small> |
| 2 | 塾で勉強する <small>じゅく べんきょう</small> |
| 3 | 学校の補習を受ける <small>がっこう ほしゅう う</small> |
| 4 | 家庭教師に教えてもらう <small>かていきょうし おし</small> |
| 5 | 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する <small>ちいき ひと おこな りよう べんきょうかい さんか</small> |
| 6 | 家の人に教えてもらう <small>いえ ひと おし</small> |
| 7 | 友達と勉強する <small>ともだち べんきょう</small> |
| 8 | その他 <small>た</small> |
| 9 | 学校の授業以外で勉強はしない <small>がっこう じゅぎょういがい べんきょう</small> |

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない <small>30 ぶん すく</small>	1時間より少ない <small>1 じかん すく</small>	30分以上、 1時間より少ない <small>30 ぶん じょう 1 じかん すく</small>	1時間以上、 2時間より少ない <small>1 じかん じょう 2 じかん すく</small>	2時間以上、 3時間より少ない <small>2 じかん じょう 3 じかん すく</small>	3時間以上 <small>3 じかん じょう</small>
a) 学校がある日 <small>がっこう ひ</small> (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	
b) 学校がない日 <small>がっこう ひ</small> (土・日曜日・祝日) <small>ど にちようび しゅくじつ</small>	1	2	3	4	5	6	

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 上のほう
- 2 やや上のほう
- 3 まん中あたり
- 4 やや下のほう
- 5 下のほう
- 6 わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 いつもわかる
 - 2 だいたいわかる
 - 3 教科によってはわからないことがある
 - 4 わからないことが多い
 - 5 ほとんどわからない
- ⇒ 問7に進んでください。

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

(あてはまるもの1つに○)

- 1 1・2年生のころ
- 2 3年生のころ
- 3 4年生のころ
- 4 5年生になってから

問7 あなたは、^{しょうらい}将来、^{がっこう}どの学校に^{しんがく}進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|---|
| 1 | ^{ちゅうがく} 中学 |
| 2 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校 |
| 3 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校、 ^{せんもんがっこう} 専門学校 |
| 4 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校 |
| 5 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校、 ^{たんだい} 短大 |
| 6 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校(または ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校)、 ^{だいがく} 大学 |
| 7 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校(または ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校)、 ^{だいがく} 大学、 ^{だいがくいん} 大学院 |
| 8 | ^た その他 |
| 9 | まだわからない → ^{すす} 問9に進んでください。 |

問8 ^{まえ}前の^{しつもん}質問で1~8と^{こた}答えた場合、^{ばあい}その^{りゆう}理由を^{こた}答えてください。

(1~8については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1 | ^{きぼう} 希望する ^{がっこう} 学校や ^{しよくぎょう} 職業があるから |
| 2 | ^{じぶん} 自分の ^{せいせき} 成績から ^{かんが} 考えて |
| 3 | ^{おや} 親が ^い そう言っているから |
| 4 | ^{あに} 兄・ ^{あね} 姉が ^い そうしているから |
| 5 | ^{まわり} まわりの ^{せんぱい} 先輩や ^{ともだち} 友達が ^い そうしているから |
| 6 | ^{いえ} 家にお金がないと思うから |
| 7 | ^{はや} 早く ^{はたら} 働く ^{ひつよう} 必要があるから |
| 8 | ^た その他 |
| 9 | ^{りゆう} とくに理由はない |

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校のクラブ活動に参加していますか。
(あてはまるもの1つに○)

1	参加している	→ 問11に進んでください。
2	参加していない	

問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	入りたいクラブがないから
2	塾や習い事が忙しいから
3	費用がかかるから
4	家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5	一緒に入る友達がいないから
6	その他

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a~cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(週7日) 毎日食べる	週5~6日	週3~4日	ほとんど食べない 週1~2日、
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問 12 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

（あてはまるもの1つに○）

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問 13 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（1～9については、あてはまるものすべてに○）

- 1 おや 親
- 2 きょうだい
- 3 そふほ 祖父母など
- 4 がっこう せんせい 学校の先生
- 5 がっこう ともだち 学校の友達
- 6 がっこうがい ともだち 学校外の友達
- 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
- 8 た おとな ほうかごじどう じゆく なら こと せんせい ちいき ひと
その他の大人（放課後児童クラブの人、塾・習い事の先生、地域の人など）
- 9 ネットで知り合った人
- 10 だれにも相談できない、相談したくない

問 14 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

（あてはまるもの1つに○）

0：まったく満足していない ←————→ 10：十分に満足している

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

問 15 つぎ 次のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) わたしは、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) わたしは、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) わたしは、他の子どもたちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)。	1	2	3
d) わたしは、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) わたしは、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) わたしは、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) わたしは、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) わたしは、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) わたしは、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている。	1	2	3
j) わたしは、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) わたしは、年下の子どもたちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) わたしは、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) わたしは、自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・他の子どもたちなど)。	1	2	3
n) わたしは、他の子どもたちより、大人といる方がうまくいく。	1	2	3
o) わたしは、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問 16 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前（小学1年生の時）と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学2年生から小学4年生の時）では、どのように変わったと思いますか。（a～mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校のクラブ活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること	1	2	3
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
i) 家族で外食する回数	1	2	3
j) 家族で旅行する回数	1	2	3
k) 野外レジャーに行く回数 (キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など)	1	2	3
l) 屋内施設に行く回数 (映画、水族館、博物館、美術館など)	1	2	3
m) 家族で家で過ごす時間	1	2	3

問 17 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学2年生から小学4年生の時）と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

(a~m それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校のクラブ活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること	1	2	3
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
i) 家族で外食する回数	1	2	3
j) 家族で旅行する回数	1	2	3
k) 野外レジャーに行く回数 (キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など)	1	2	3
l) 屋内施設に行く回数 (映画、水族館、博物館、美術館など)	1	2	3
m) 家族で家で過ごす時間	1	2	3

問 18 あなたは今までに、次の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(個数について0~8のどれか1つに○)

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある。または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

- | | |
|---|------------------|
| 0 | ひとつもあてはまらない (0個) |
| 1 | 1個あてはまる |
| 2 | 2個あてはまる |
| 3 | 3個あてはまる |
| 4 | 4個あてはまる |
| 5 | 5個あてはまる |
| 6 | 6個あてはまる |
| 7 | 7個あてはまる |
| 8 | すべてあてはまる (8個) |

※つらい気持ちの場合は、学校のスクールカウンセラーや次の窓口にご相談してみてください。

- 福山市相談窓口：ネウボラ推進課 (084-928-1258)
- 児童相談所 虐待対応ダイヤル (189)
- LINE アカウント「こころのライン相談@広島県」
- ヤングテレホン広島 (082-228-3993)
- 「チャイルドライン」(0120-99-7777)
- 24時間子供SOSダイヤル (0120-0-78310)

問 19 あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはな
い場合、今後利用したいと思いませんか。

(a~d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	利用 した こと が あ る	利用 した こと は な い		
		あ れ ば 利 用 し た い と 思 う	今 後 も 利 用 し た い と 思 わ な い	ど う か 分 か ら な い 今 後 利 用 し た い か
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日 を過ごすことができる場所 (放課後児童クラブや 放課後子ども教室、児童館など)	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く 食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話 やネットの相談を含む。)	1	2	3	4

問 20 前の質問で、1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用
したことで、次のような変化がありましたか。

(1~8 については、あてはまるものすべてに○)

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみなことが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

問 21 あなたはヤングケアラーという言葉ことばを聞いたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

※ヤングケアラーとは、ふつう大人おとな おこなが行うような家事や家族の世話かじ かぞく せわなどを日常的にちじょうてきに行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利こ けんりが守られていないと思われる18歳未満さいみまんの子どもをいいます。

- | | |
|---|--|
| 1 | 聞いたことがあり、内容 <small>ないよう</small> も知っている |
| 2 | 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3 | 聞いたことはない |

問 22 あなたは自分じぶんが「ヤングケアラー」にあてはまると思おもいますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|---------|
| 1 | あてはまる |
| 2 | あてはまらない |
| 3 | わからない |

問 23 かぞく なか 家族の中にあなたが世話せわ（※）をしている人ひとはいますか。

（2～7については、あてはまるものすべてに○）

※この質問でいう「世話」とは、しつもん 世話せわとは、おとな おこな ふつう大人が行うような家事や家族の世話のさことを指します。

1 せわ 世話をしている人ひとはいない → 問 25 に進んでください。

2 ははおや 母親の世話をしている

3 ちちおや 父親の世話をしている

4 そぼ 祖母の世話をしている

5 そふ 祖父の世話をしている

6 せわ きょうだいの世話をしている

7 た かぞく その他の家族の世話をしている

問 24 まえ 前の質問で2～7と答えた場合、こた 学校や周りの大人おとなに助けてほしいことや、てっだ 手伝ってほしいことはありますか。（1～10については、あてはまるものすべてに○）

1 じぶん 自分はなしのことにきついて話を聞いてほしい

2 かぞく 家族の世話について相談そうだんにのってほしい

3 かぞく 家族の病気や障しょうがい、世話せわのことなどについてわかりやすく教えてほしい

4 じぶん 自分が行っている世話のすべてを代わってやってくれる方かたやサービスがほしい

5 じぶん 自分が行っている世話の一部を代わってやってくれる方かたやサービスがほしい

6 じゆう 自由に使える時間じかんがほしい

7 しょうらい 将来のことにそうだんついて相談にのってほしい

8 がっこう 学校の勉強や受験勉強など学がく習をサポートしてほしい

9 せいかつ 父だんの生活や習いごとなどに必要ひつようなお金かねの支援しえんをしてほしい

10 その他（ ）

11 特とくにない

12 わからない

問 25 もしもあなたが家族のお世話について、学校や周りの大人に話を聞いてもらったり、相談にのってもらおうとしたら、どのような方法が相談しやすいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 直接会って |
| 2 | 電話 |
| 3 | SNS (ラインやツイッターなど) |
| 4 | 電子メール |
| 5 | その他 () |

※つらい気持ちの場合は、学校のスクールカウンセラーや次の窓口にご相談してみてください。

【自分の学校へ相談】

- 担任の先生
- 保健室の先生
- その他の学校の先生
- 学校のスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー

【福山市へ相談】

- 福山市教育相談センター (0120-874-783)
- 学びづくり課 (084-928-1183)
- ネウボラ推進課 (084-928-1258)
- 青少年・若者相談窓口 (084-928-1297)

【広島県へ相談】

- こころのライン相談 LINE アプリ「こころのライン@広島県」で検索

【文部科学省へ相談】

- 「24時間子供SOS ダイアル」(0120-0-78310) ※24時間受付 (年中無休)

問 26 あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。

(1～10については、あてはまるもの上位3つまでに○。11を選ぶ場合は1つのみ○)

- 1 O才から小学校に入るまでの子どもの教育や保育内容の充実
(例) 幼稚園・保育所・認定こども園などでの質の高い教育 など
- 2 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける
(例) ・基礎的な学力の定着
・勉強以外の思考力や表現力、コミュニケーション能力を伸ばす など
- 3 妊娠期からの子育て家庭への支援の充実
(例) ・妊娠や子育てに関することをいつでも気軽に相談できる場の充実
・産婦人科や小児科などの医療の充実 など
- 4 家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実
(例) 保育所や放課後児童クラブの充実 など
- 5 子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備
(例) ・育児や子育てのための休暇をとりやすくする
・パソコンを使って自宅で仕事をしたり、時間や場所を有効に活用する働き方など
- 6 子どもと子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保
(例) ・授乳室や子ども向けの無料サービスなど、子連れで訪れやすい店や施設を増やす
・公園施設や公共交通機関のバリアフリー化(子連れでもスムーズに移動できたり、色んな人が使いやすくする)
・子どもたちへの防災・防犯・交通安全の教育 など
- 7 児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止
- 8 家族と暮らすことのできない子どもへの支援
(例) ・施設での受け入れや退所後の自立支援
・里親やファミリーホーム(5～6人の子どもを里親が養育)を増やす など
- 9 ひとり親の子どもやその家族への支援
(例) 親の就業(仕事につくこと)や子育て、養育費や面会の取り決めなどへの支援
- 10 障がいのある子どもやその家族への支援
(例) ・障がいの種類や程度に応じた医療や福祉サービスを受けられる仕組み
・卒業後の自立や社会参加に向けた学習支援や学習環境の整備
- 11 わからない

↓

問 27 前問で1～10と答えた場合、理由があれば教えてください。特に理由がない場合は、記載しなくても構いません。

えら 選んだ番号	りゆう 理由 (自由に記載)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(3) 中学生票



ふくやまし こ せいかつ かん じったいちようさ
福山市子どもの生活に関する実態調査

ちゅうがくせいひょう
【中学生票】

- これは、福山市の子どもの生活状況などを調べるための調査で、福山市が実施しています。
- この調査票の回答は、あなたが自分で答えてください。おうちの方や学校の先生には見せる必要はありません。
- 名前は、書かないでください。
- 自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。
- この調査票は調査の目的以外には使用しません。また、この調査票では名前を書かないので、あなたがどのように答えたかはだれにもわかりません。
- 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
- のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」や「あてはまるものすべてに○」などと書いてありますので、それにしてください。
- 全部書き終わったら、自分で黄色の封筒に入れて、テープでとじてください。それを、おうちの方の封筒といっしょに、大きい封筒に入れて、先生の指示にしたがって出してください。
- 令和5年7月24日（月曜日）までに答えてください。
- この調査は、福山市が実施しています。学校では、配布と回収のみ行います。
わからないことがありましたら、学校ではなく、次のところにお問い合わせください。

お問い合わせ先

福山市子ども企画課（8：30～17：15 土日・祝日を除く）

電話：084-928-1296 FAX：084-922-0846

Eメール：kodomu-kikaku@city.fukuyama.hiroshima.jp

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他・答えたくない

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 自分で勉強する
- 2 塾で勉強する
- 3 学校の補習を受ける
- 4 家庭教師に教えてもらう
- 5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
- 6 家の人に教えてもらう
- 7 友達と勉強する
- 8 その他
- 9 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(a, bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない 30分以上、	2時間より少ない 1時間以上、	3時間より少ない 2時間以上、	3時間以上
a) 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6
b) 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 うえ 上のほう
- 2 うえ やや上のほう
- 3 なか まん中あたり
- 4 した やや下のほう
- 5 した 下のほう
- 6 わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 いつもわかる
 - 2 だいたいわかる
 - 3 きょうか 教科によってはわからないことがある
 - 4 おお わからないことが多い
 - 5 おお ほとんどわからない
- } → **問7**に進んでください。

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

(あてはまるもの1つに○)

- 1 しょうがく 小学1・2年生のころ
- 2 しょうがく 小学3・4年生のころ
- 3 しょうがく 小学5・6年生のころ
- 4 ちゅうがく 中学1年生のころ
- 5 ちゅうがく 中学2年生になってから

問7 あなたは、^{しょうらい}将来、^{がっこう}どの学校に^{しんがく}進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|---|
| 1 | ^{ちゅうがく} 中学 |
| 2 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校 |
| 3 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校、 ^{せんもんがっこう} 専門学校 |
| 4 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校 |
| 5 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校、 ^{たんだい} 短大 |
| 6 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校(または ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校)、 ^{だいがく} 大学 |
| 7 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{こうこう} 高校(または ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校)、 ^{だいがく} 大学、 ^{だいがくいん} 大学院 |
| 8 | ^た その他 |
| 9 | まだわからない → ^{すす} 問9に進んでください。 |

問8 ^{まえ}前の^{しつもん}質問で1～8と^{こた}答えた場合、^{ばあい}その^{りゆう}理由を^{こた}答えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1 | ^{きぼう} 希望する ^{がっこう} 学校や ^{しよくぎょう} 職業があるから |
| 2 | ^{じぶん} 自分の ^{せいせき} 成績から ^{かんが} 考えて |
| 3 | ^{おや} 親が ^い そう言っているから |
| 4 | ^{あに} 兄・ ^{あね} 姉が ^い そうしているから |
| 5 | まわりの ^{せんぱい} 先輩や ^{ともだち} 友達が ^い そうしているから |
| 6 | ^{いえ} 家にお ^{かね} 金がないと思うから |
| 7 | ^{はや} 早く ^{はたら} 働く ^{ひつよう} 必要があるから |
| 8 | ^た その他 |
| 9 | ^{りゆう} とくに理由はない |

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
(あてはまるもの1つに○)

1	さんか 参加している	➔ 問11に進んでください。
2	さんか 参加していない	

問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	はい 入りたいクラブ・部活動がないから
2	じゅく なら ごと いそが 塾や習い事が忙しいから
3	ひよう 費用がかかるから
4	いえ じじょう かぞく せわ かし 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5	いっしょ はい ともだち 一緒にいる友達がいないから
6	た その他

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていきますか。
(a~cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(週7日) 毎日食べる	週5~6日	週3~4日	ほとんど食べない 週1~2日
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問 12 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

（あてはまるもの1つに○）

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問 13 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（1～9については、あてはまるものすべてに○）

- 1 おや 親
- 2 きょうだい
- 3 そふほ 祖父母など
- 4 がっこう せんせい 学校の先生
- 5 がっこう ともだち 学校の友達
- 6 がっこうがい ともだち 学校外の友達
- 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
- 8 た おとな じゆく なら こと せんせい ちいき ひと その他の大人（塾・習い事の先生，地域の人など）
- 9 ネットで知り合った人
- 10 だれにも相談できない，相談したくない

問 14 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

（あてはまるもの1つに○）

0：まったく満足していない ←————→ 10：十分に満足している

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

問 15 つぎ 次のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a~o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) わたしは、他人に対して親切にしている。わたしは、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) わたしは、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) わたしは、他の子どもたちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)。	1	2	3
d) わたしは、たいいて一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) わたしは、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) わたしは、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) わたしは、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) わたしは、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) わたしは、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている。	1	2	3
j) わたしは、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) わたしは、年下の子どもたちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) わたしは、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) わたしは、自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・他の子どもたちなど)。	1	2	3
n) わたしは、他の子どもたちより、大人といる方がうまくいく。	1	2	3
o) わたしは、こわがりですぐにおびえたりする。	1	2	3

問 16 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前（小学4年生の時）と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学5年生から中学1年生の時）では、どのように変わったと思いますか。（a～mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること	1	2	3
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
i) 家族で外食する回数	1	2	3
j) 家族で旅行する回数	1	2	3
k) 野外レジャーに行く回数 (キャンプ, バーベキュー, スポーツ観戦, 海水浴など)	1	2	3
l) 屋内施設に行く回数 (映画, 水族館, 博物館, 美術館など)	1	2	3
m) 家族で家で過ごす時間	1	2	3

問 17 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学5年生から
 中学1年生の時）と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

(a~mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増 え た	減 っ た	変 わ ら な い
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること	1	2	3
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
i) 家族で外食する回数	1	2	3
j) 家族で旅行する回数	1	2	3
k) 野外レジャーに行く回数 (キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など)	1	2	3
l) 屋内施設に行く回数 (映画、水族館、博物館、美術館など)	1	2	3
m) 家族で家で過ごす時間	1	2	3

問 18 あなたは今までに、次の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(個数について0~8のどれか1つに○)

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある。または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

- 0 ひとつもあてはまらない (0個)
- 1 1個あてはまる
- 2 2個あてはまる
- 3 3個あてはまる
- 4 4個あてはまる
- 5 5個あてはまる
- 6 6個あてはまる
- 7 7個あてはまる
- 8 すべてあてはまる (8個)

※つらい気持ちの場合は、学校のスクールカウンセラーや次の窓口に相談してみてください。

- 福山市相談窓口：ネウボラ推進課 (084-928-1258)
- 児童相談所 虐待対応ダイヤル (189)
- LINE アカウント「こころのライン相談@広島県」
- ヤングテレホン広島 (082-228-3993)
- 「チャイルドライン」(0120-99-7777)
- 24時間子供SOSダイヤル (0120-0-78310)

問 19 あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いませんか。

(a~d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	利用したことがある	利用したことはない		
		あれば利用したいと思ふ	思わない	今後も利用したいと どうも分らない 今後も利用したいか
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日をごすことができる場所 (交流館や図書館など、勉強などができる場所)	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4

問 20 前の質問で、1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。

(1~8 については、あてはまるものすべてに○)

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみなことが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

問 21 あなたはヤングケアラーという言葉ことばを聞いたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

※ヤングケアラーとは、ふつう大人おとな おこなが行うような家事かじや家族かぞくの世話せわなどを日常的にちじょうてきに行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利けんりが守られていないと思われる18歳未満さいみんの子どもをいいます。

- | | |
|---|--|
| 1 | 聞いたことがあり、内容 <small>ないよう</small> も知っている |
| 2 | 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3 | 聞いたことはない |

問 22 あなたは自分じぶんが「ヤングケアラー」にあてはまると思おもいますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|---------|
| 1 | あてはまる |
| 2 | あてはまらない |
| 3 | わからない |

問 23 かぞく なか 家族の中にあなたが世話せわ（※）をしている人ひとはいますか。

（2～7については、あてはまるものすべてに○）

※この質問でいう「世話」とは、しつもん 世話せわとは、おとな おこな ふつう大人が行うような家事や家族の世話のさことを指します。

1 せわ 世話をしている人ひとはいない → 問 25 に進んでください。

2 ははおや 母親の世話をしている

3 ちちおや 父親の世話をしている

4 そぼ 祖母の世話をしている

5 そふ 祖父の世話をしている

6 せわ きょうだいの世話をしている

7 た かぞく その他の家族の世話をしている

問 24 まえ 前の質問で2～7と答えた場合、こた 学校や周りの大人おとなに助けてほしいことや、てっだ 手伝ってほしいことはありますか。（1～10については、あてはまるものすべてに○）

1 じぶん 自分はなしのことにきついて話を聞いてほしい

2 かぞく 家族の世話について相談そうだんにのってほしい

3 かぞく 家族の病びょうき気や障しょうがい、世話せわのことなどについてわかりやすく教おしえてほしい

4 じぶん 自分おこなが行っている世話のすべてを代かわってやってくれる方かたやサービかたスがほしい

5 じぶん 自分おこなが行っている世話の一部を代かわってやってくれる方かたやサービかたスがほしい

6 じゆう 自由に使える時間じかんがほしい

7 しょうらい 将来そうだんのことにきついて相談にのってほしい

8 がっこう 学校の勉強べんきょうや受験勉強じゅけんべんきょうなど学がく習しゅうをサポートしてほしい

9 せいかつ 父ちちだんの生活や習ならいごとなどに必要ひつようなお金かねの支しえん援えんをしてほしい

10 その他（ ）

11 特とくにない

12 わからない

問 25 もしもあなたが家族のお世話について、学校や周りの大人に話を聞いてもらったり、相談にのってもらおうとしたら、どのような方法が相談しやすいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 直接会って |
| 2 | 電話 |
| 3 | SNS (ラインやツイッターなど) |
| 4 | 電子メール |
| 5 | その他 () |

※つらい気持ちの場合は、学校のスクールカウンセラーや次の窓口にご相談してみてください。

【自分の学校へ相談】

- 担任の先生
- 保健室の先生
- その他の学校の先生
- 学校のスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー

【福山市へ相談】

- 福山市教育相談センター (0120-874-783)
- 学びづくり課 (084-928-1183)
- ネウボラ推進課 (084-928-1258)
- 青少年・若者相談窓口 (084-928-1297)

【広島県へ相談】

- こころのライン相談 LINE アプリ「こころのライン@広島県」で検索

【文部科学省へ相談】

- 「24時間子供SOS ダイアル」(0120-0-78310) ※24時間受付 (年中無休)

問 26 あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。

(1～10については、あてはまるもの上位3つまでに○。11を選ぶ場合は1つのみ○)

- 1 O才から小学校に入るまでの子どもの教育や保育内容の充実
(例) 幼稚園・保育所・認定こども園などでの質の高い教育 など
- 2 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける
(例) ・基礎的な学力の定着
・勉強以外の思考力や表現力、コミュニケーション能力を伸ばす など
- 3 妊娠期からの子育て家庭への支援の充実
(例) ・妊娠や子育てに関することをいつでも気軽に相談できる場の充実
・産婦人科や小児科などの医療の充実 など
- 4 家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実
(例) 保育所や放課後児童クラブの充実 など
- 5 子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備
(例) ・育児や子育てのための休暇をとりやすくする
・パソコンを使って自宅で仕事をしたり、時間や場所を有効に活用する働き方など
- 6 子どもと子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保
(例) ・授乳室や子ども向けの無料サービスなど、子連れで訪れやすい店や施設を増やす
・公園施設や公共交通機関のバリアフリー化(子連れでもスムーズに移動できたり、色んな人が使いやすくする)
・子どもたちへの防災・防犯・交通安全の教育 など
- 7 児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止
- 8 家族と暮らすことのできない子どもへの支援
(例) ・施設での受け入れや退所後の自立支援
・里親やファミリーホーム(5～6人の子どもを里親が養育)を増やす など
- 9 ひとり親の子どもやその家族への支援
(例) 親の就業(仕事につくこと)や子育て、養育費や面会の取り決めなどへの支援
- 10 障がいのある子どもやその家族への支援
(例) ・障がいの種類や程度に応じた医療や福祉サービスを受けられる仕組み
・卒業後の自立や社会参加に向けた学習支援や学習環境の整備
- 11 わからない



問 27 前問で1～10と答えた場合、理由があれば教えてください。特に理由がない場合は、記載しなくても構いません。

えら ばんごう 選んだ番号	りゆう じゆう きさい 理由 (自由に記載)

しつもん いじょう きょうりょく
質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

名 称 福山市子どもの生活に関する実態調査 報告書
発 行 福山市保健福祉局 ネット推進部 子ども企画課
所 在 地 〒720-8501 広島県福山市東桜町3番5号
電 話 : 084-928-1296
F A X : 084-922-0846
E-mail : kodomo-kikaku@city.fukuyama.hiroshima.jp
発行年月 2024年(令和6年)3月